

1～2年生用

2022年度以降入学生用

教 育 要 項

2023年度開講科目



順天堂大学 医療看護学部

JUNTENDO UNIVERSITY Faculty of Health Care and Nursing

目 次

授業科目		学年	時期	頁数	
人間の理解	日本文学	1	前	1	
	英米文学	3	後後	4	
	音楽	1	前	6	
	伝統芸能入門	1	後後	8	
	人間の生き方	1	前	10	
	現代社会と倫理	1	後前	12	
	心理と行動	1	前前	14	
	子どもの発達と教育	2	前後	16	
	人間と社会	法と生活(日本国憲法)	2	前前	18
		現代社会と経済	3	後後	21
		世界と日本現代史	2	後前	23
		医療の歴史	1	前前	26
		世界の医療・福祉制度	2	後後	29
	人間と自然・技術	社会学入門	1	前	31
		基礎化学	1	前	34
		生物	1	前	37
		生命現象の科学	2	前前	39
		免疫の科学	2	後後	41
情報科学		1	前	43	
統計学		2	前前	46	
医療とコンピュータ		2	前前	49	
生活科学		1	前後	51	
医療看護のための物理学		1	前	54	
人間と言語表現	統計演習	2	後前	56	
	基礎英語 I (TOEFL・多読初級)	1	前	59	
	基礎英語 II (TOEFL・多読中級)	1	後	62	
	実践英語 I (看護英語初級)	2	前	65	
	実践英語 II (看護英語中級)	2	後	68	
	医療英語講読 I (初級)	3	後	71	
	医療英語講読 II (中級)	4	前	74	
	英語表現 I A(スピーキング)	1	前	77	
	英語表現 I B(スピーキング)	1	後	80	
	英語表現 II (ライティング)	2	後	83	
	メディア英語	3	前	86	
	フランス語 I (入門)	1	前	89	
	フランス語 II (初級)	1	後	92	
	中国語 I (入門)	1	前	95	
	中国語 II (初級)	1	後	98	
スポーツと健康	スポーツ理論・実技	1	前	101	
	健康運動方法論	1	後前	103	
	夏季野外スポーツ実習	1~3	前	105	
	冬季野外スポーツ実習	1	後	106	
	レクリエーションスポーツ	1	前	108	
健康と社会	スポーツ心理学	1	前	110	
	医療看護ゼミナール	1	前	113	
人間の健康	新しい世界を拓いた人々	1	前	115	
	保健学概論	1	後前	118	
	助産学概論	3	前前	122	
	保健医療社会学	2	後後	124	
	健康と疫学	2	後前	126	
	保健統計	3	前後	128	
	家族関係論	2	後前	130	
	社会福祉・社会保障論	1	前後	132	
	保健医療福祉行政論	3	前前	134	
	地球環境論	2	前前	137	
	心の健康	精神保健学	1	後前	139
		発達心理学	2	前前	141
		臨床心理学	3	後後	143
		人間関係論	1	前前	145
		母性の心理・社会学	3	前後	147
健康と医療	形態機能学 I A	1	前前	149	
	形態機能学 I B	1	前後	151	
	形態機能学 II	3	後後	153	
	生化学	1	後前	155	
	微生物学	1	後前	157	
	臨床栄養学	1	後後	159	
	薬理学	1	後後	161	
	臨床薬理学	3	後後	164	
	病理学	1	後前	166	
	臨床検査学	1	後後	168	
	症状別臨床病態学	1	後後	170	
	臨床医学 I A(内科)	2	前前	172	
	臨床医学 I B(内科)	2	後前	174	
	臨床医学 II A(外科)	2	前後	176	
	臨床医学 II B(外科)	2	後後	178	
リハビリテーションと看護	2	前前	180		
性と生殖	2	前前	182		

授業科目		学年	時期	頁数	
看護の基本	看護学概論	1	前前	184	
	看護倫理	3	前前	186	
	基礎看護方法論 I (看護援助論)	1	前後	188	
	基礎看護方法論 II (日常生活援助技術)	1	後	190	
	フィジカルアセスメント	3	前	193	
	基礎看護方法論 III (診療・治療援助技術)	2	前	196	
	看護理論・看護過程	1	後後	200	
	基礎看護学実習 I	1	前後	202	
	基礎看護学実習 II	2	前後	204	
	ライフステージと看護	生涯発達論	1	前後	206
		小児看護学概論	2	後前	208
		小児の健康障害と看護	2	後後	211
		小児看護方法論 I (病期別援助論)	3	前前	213
		小児看護方法論 II (状況別援助論)	3	前後	215
		小児看護学実習	3・4	複期	218
		成人看護学概論	1	後前	221
		成人看護方法論 I (病態・治療支援論)	2	前前	223
		成人看護方法論 II (周術期看護論)	2	後前	226
成人看護方法論 III (慢性疾患看護論)		2	後後	229	
成人看護方法論 IV (がん看護論)		3	後後	231	
成人看護学実習 I		3・4	複期	234	
成人看護学実習 II		3・4	複期	236	
高齢者看護学概論		1	後後	238	
看護の理論と方法		高齢者看護方法論 I (生活支援論)	2	前前	240
	高齢者看護方法論 II (治療・療養援助論)	2	後	242	
	高齢者ケアシステム実習	2	前後	245	
	高齢者看護学実習	3・4	複期	247	
	母性看護学概論	1	後前	249	
	周産期の看護	2	後	251	
	母性看護学実習	3・4	複期	253	
	ウィメンズヘルスナーシング	2	前後	255	
	助産診断技術学総論	3	後後	257	
	助産診断技術学 I (妊娠・分娩期の助産診断)	3	後後	259	
	助産診断技術学 II (妊娠・分娩期の助産技術)	4	前前	262	
	助産診断技術学 III (分娩介助技術)	4	前後	264	
	助産診断技術学 IV (産褥期)	4	前前	266	
	助産診断技術学 V (新生児・乳児期)	4	前後	268	
	助産管理	4	前後	270	
ソーシャルライフと看護	周産期の医療安全	4	前前	272	
	助産学実習	4	後	274	
	精神看護学概論	2	前後	276	
	精神の健康障害と看護	2	後後	278	
	精神看護方法論 I (精神看護援助の基礎)	3	前前	280	
	精神看護方法論 II (精神看護援助論)	3	前後	282	
	精神看護学実習	3・4	複期	285	
	在宅看護学概論	2	後前	287	
	在宅看護方法論 I (在宅看護展開論)	2	後後	289	
	在宅看護方法論 II (在宅看護技術論)	3	前前	291	
	在宅看護学実習	3・4	複期	294	
	公衆衛生看護学概論	2	前後	296	
	地域生涯保健活動論	2	後	298	
	公衆衛生看護活動論	3	前前	301	
	地域診断論	3	前後	304	
学校保健	3	後後	306		
産業保健	3	後後	308		
公衆衛生看護学実習 I (行政・地域)	4	後前	310		
公衆衛生看護学実習 II (産業)	4	後前	312		
医療看護の統合と発展	看護研究の原理と方法	3	前前	314	
	医療看護研究 I	3	後後	316	
	医療看護研究 II	4	通期	318	
	看護の質と安全管理	3	前後	320	
	看護管理学	3	後後	322	
	医療と看護政策	4	前前	324	
	地域包括ケアシステム論	3	後後	326	
	家族看護論	2	後後	328	
	感染看護	3	前後	330	
	エンド・オブ・ライフケア論	3	後後	332	
	救急看護	4	前前	334	
	統合実習	4	前	336	
	順天堂の先端医療と看護	3~4	前前	338	
	看護職キャリア開発論	3	前前	340	
	看護健康教育論	3	後後	342	
ナーシング・スキルアップ	4	後前	344		
国際看護	3	前前	347		
災害看護	4	前前	349		
多文化の医療と看護(海外研修)	2~4	通年	351		

*時期:前期, 後期, 通年, 前前(前期前半), 前後(前期後半), 後前(後期前半), 後後(後期後半)

**3-4年生の科目は、2024年度以降の開講予定科目です。変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

科目名	日本文学	必修・選択	選択
英語科目名	Japanese Literature	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	加藤 由紀子	ナンバリング	FNL11A1
担当教員	加藤 由紀子	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	日本の文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解し、医療従事者に求められる感性を磨く。日本語及び日本文学に対する知識と理解を深める。古典文学から近代文学まで幅広く親しむ態度を身につける。文学作品を通してわかったことや問題点について、自分の考えを持ち、他の人と意見を交わしながら考えを深める。他の人の考え方も含めてさらに深く検討し、自分の考えをレポートとして表現する能力を身につける。				
授業の位置づけ	当該授業は、日本の文学作品を通して人間についてより深く学ぶことによって、医療従事者に求められる豊かな感性と教養及び高い倫理観を備え、他を思いやり慈しむことのできる能力と、教養を身につけた市民として行動できる能力を養うための科目と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DPI-II				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、日本語の特色について理解し、日本語表記の歴史について説明することができる。 2、万葉集を通して、歌謡から和歌への流れを理解し、前期万葉と後期万葉の違いについて説明することができる。 3、歌の背景にある古代日本の社会や歴史を知り、万葉集の時代と和歌との関わりについて説明することができる。 4、万葉集の和歌から作者の思いを読み取り、古代日本の人びとの考え方や生き方について理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。 5、芥川龍之介の小説を読んで、登場人物の行動、言動、描写などを分析し、登場人物の心理を読み取り説明することができる。 6、原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる。 7、作者の人生について知り、作品を通して人間の生き方についてより深く理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	あらかじめ指定の小説を読んでおき、意味の分からない語句などは辞書で調べておくこと。準備学習（予習・復習）をした上で、積極的に授業に参加し、課題に取り組むこと。使用テキストを持参すること。				
成績評価の方法					
評価方法	授業に対する取り組み及び授業コメント20%、課題レポート2題40%、定期試験40%を総合して評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語や日本語表記の歴史について説明することができるか。（定期試験） ・万葉集を通して、和歌の流れや、歴史・社会と和歌との関わりについて説明することができるか。（定期試験） ・芥川龍之介の作品を読んで、登場人物の心理を読み取り説明することができるか。（定期試験） ・原典との比較を通して、作者の創作について説明することができるか。（定期試験） ・授業で取り上げた作品や作者を通してわかった人間の生き方について説明し、それに対する自分の考えを文章にまとめることができるか。（レポート） ・授業に対する取り組み及び毎時間の授業コメントで評価する。（平常点） 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
毎時間の授業コメントは、次の授業時にフィードバックを行う。課題レポート及び試験については、評価のポイントを提示する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	地獄変・偷盗	芥川龍之介	新潮文庫	978-4-10-102502-5	平成23年10月改版以降のもの
参考文献					
その他の教材についてはその都度コピープリントを授業の時に配布する。授業の中で紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] メールで質問を受け付ける。 (ykkatou@まで)</p> <p>[オフィスアワー] 授業時間の後に控室で。</p>				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	加藤	1、日本語表記の歴史 2、奈良時代の文学 3、万葉集 [キーワード] 日本語表記の歴史、奈良時代の文学、万葉集	講義	[予習] あらかじめシラバスを読んで授業全体を把握しておくこと。(学習時間1時間) [復習] 日本語表記の歴史や奈良時代の文学、万葉集について、整理しておくこと。(学習時間2時間)
2	加藤	1、万葉集 2、万葉仮名 [キーワード] 万葉集の時代、万葉仮名	講義	[予習] 万葉集について授業プリントを読んでおくこと。(学習時間1時間) [復習] 万葉仮名について整理しておくこと。万葉集について講義で学習したことを整理しておくこと。(学習時間2時間)
3	加藤	1、歌謡から和歌へ 2、万葉集の萌芽時代から万葉第一期 [キーワード] 歌謡から和歌へ、萌芽時代、万葉第一期	講義	[予習] 万葉集の時期区分について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。(学習時間1時間) [復習] 萌芽時代と万葉第一期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。(学習時間2時間)
4	加藤	1、時代と和歌の関係 2、万葉第二期の歌 [キーワード] 時代と和歌、万葉第二期	講義	[予習] 万葉第二期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。(学習時間1時間) [復習] 万葉第二期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。(学習時間2時間)
5	加藤	1、社会と和歌の関係 2、万葉第三期の歌 [キーワード] 社会と和歌、万葉第三期	講義	[予習] 万葉第三期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。(学習時間1時間) [復習] 万葉第三期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。(学習時間2時間)
6	加藤	1、社会と和歌の関係 2、万葉第四期の歌 [キーワード] 社会と和歌、万葉第四期	講義	[予習] 万葉第四期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。(学習時間1時間) [復習] 万葉第四期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。(学習時間2時間)
7	加藤	1、万葉集のまとめ 2、歌謡から和歌への流れ 3、前期万葉と後期万葉の違い 4、作者の考え方、生き方 [キーワード] 万葉びとの考え方と生き方	講義	[予習] 前回までの授業について整理しておくこと。 万葉集の歌からわかった人間の生き方についてまとめておくこと。(学習時間2時間) [復習] 万葉集の歌からわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。(学習時間4時間)
8	加藤	1、芥川龍之介について 2、『偷盗』の第一段落、第二段階 3、小説の手法 [キーワード] 小説の書き出し、舞台、登場人物の描写	講義	[予習] 授業プリント「芥川龍之介」を読んで理解を深めておくこと。 テキストの『偷盗』を読んで内容を把握しておくこと。(学習時間4時間) [復習] 小説の書き出し、登場人物の描写など、小説の手法について整理しておくこと。(学習時間2時間)

9	加藤	1、登場人物の心理 2、『偷盗』の第三段落、第四段落 [キーワード] 述懐、魂の力	講義	[予習] テキストの『偷盗』（第三、四段落）を読んで理解を深めておくこと。（学習時間1時間） [復習] 登場人物の心理について整理しておくこと。（学習時間2時間）
10	加藤	1、登場人物の心理 2、『偷盗』の第五段落、第六段落 [キーワード] 畜生、転機	講義	[予習] テキストの『偷盗』（第五、六段落）を読んで理解を深めておくこと。（学習時間1時間） [復習] 登場人物の心理について整理しておくこと。（学習時間2時間）
11	加藤	1、登場人物の心理 2、『偷盗』の第七段落 [キーワード] 生と死、愛	講義	[予習] テキストの『偷盗』（第七段落）を読んで理解を深めておくこと。（学習時間1時間） [復習] 授業で取り上げた問題点について整理しておくこと。 登場人物の心理について整理しておくこと。（学習時間2時間）
12	加藤	1、登場人物の心理 2、『偷盗』の第八段落、第九段落 [キーワード] 夜明け、救い、エピローグ	講義	[予習] テキストの『偷盗』（第八、九段落）を読んで理解を深めておくこと。 全体を通して問題点を整理しておくこと。（学習時間2時間） [復習] 作品を通してわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。（学習時間4時間）
13	加藤	1、『往生絵巻』 2、主人公の生き方 [キーワード] 五位の入道	講義	[予習] テキストの『往生絵巻』を読んで理解を深めておくこと。（学習時間1時間） [復習] 場面ごとの登場人物の役割を整理しておくこと。（学習時間2時間）
14	加藤	1、芥川龍之介のまとめ 2、『今昔物語』の原話 3、素材と創作について [キーワード] 人間の生き方	講義	[予習] 資料プリントの『今昔物語』の原話を読んで理解を深めておくこと。（学習時間2時間） [復習] 芥川龍之介の創作について自分の考えをまとめておくこと。 『往生絵巻』の主人公の生き方について自分の考えをまとめておくこと。 1～14の講義内容について整理して定期試験に備えること。 課題レポート2題を仕上げる。（学習時間10時間）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	英米文学	必修・選択	選択
英語科目名	English Literature	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	2単位
代表教員	山崎 遼	ナンバリング	PNL11A1
担当教員	山崎 遼	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	英語を介して行う異文化コミュニケーションには、英米社会で教養とされる主要文学作品（随筆、小説、演劇等）の知識が不可欠である。この授業では、近世（ルネサンス期）頃から現代までの英米文学の概要を学ぶことで、そして、文学作品に投影された時代・社会背景から欧米文化への理解を深めることを目標とする。文学作品の鑑賞を通して、英米文学・文化を理解する「教養ある医療人」となることを目指す。				
授業の位置づけ	この科目は「人間の理解」に位置付けられ、古典から現代の学術までに触れ、文化・芸術・文学への理解を深め、豊かな人間性を養うために3年次後期後半に学ぶ科目である。人間の本質を理解し、自己を見つめ直すことによって他者との円滑な人間関係を築こうとする基本的態度を身につける科目でもある。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	©DPI-II				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近世（ルネサンス期）頃からの英米文学の概略を説明できる。 2. 英米文学史上、代表的な作家の文学作品の内容が説明できる。 3. 文学作品のテーマや作品が書かれた時代の社会背景を説明できる。 4. 文学作品が書かれた時期の英米文化と日本文化の違いが説明できる。 5. 文学作品のテーマを理論的に分析したエッセイを作成できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	欧米文化の教養としての文学作品に親しむとともに、作品から学び感じたことを自分の言葉で表現する。授業中のディスカッションには主体的に参加すること。毎回授業の最後に、その日の授業がどれだけ理解できたか確かめるためのミニ・テストを出題するので、しっかり授業に取り組み、メモ等を取る。また、全授業終了後に提出するレポート作成時には、授業内でのディスカッションを踏まえ、議論を深め、発展させる形で主題を論じること。				
成績評価の方法					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート1題（50%）：最終授業（14回目の授業）にてレポート内容・提出期限についての説明がある。 ・授業時の課題（ミニ・テスト）（40%）：毎回の授業後に、その日の授業内容がきちんと把握できているか測るためのミニ・テストを実施する。ミニ・テストはオンライン（Googleフォーム）で出題・採点し、返却する際にフィードバックを与える予定。 ・日々の学習状況・授業参画度（10%）：授業態度など。 以上の項目から総合的に評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス期頃からの英米文学の概略を理解しているか ・英米文学史上、代表的な作家の作品とその内容を理解しているか ・主な作品について、その時代の社会背景を理解しているか ・同時代の英米文化と日本文化の違いを把握しているか ・文学作品のテーマを理解したうえで、テーマに関する理論的な文章を書くことができるか 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ・テストの結果は、次の授業までに返却し、解説する。 ・ミニ・テスト等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 ・レポート課題のフィードバックはJuntendo-PASSPORTで行う。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
William Shakespeare, Hamlet Mark Twain, Adventures of Huckleberry Finn Nathaniel Hawthorne, The Scarlet Letter Toni Morrison, Beloved Amy Tan, The Joy Luck Club その他、文学作品を取り上げる。レポート作成時には作品の原書（もしくは翻訳）を参照することが望ましい。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時メール（r.yamasaki.ch@）にて質問等受け付ける				
備考	授業時にプリントを配布する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	山崎	イントロダクション ・歴史と文学 ・英米文学史概観	講義	[予習]「文学」(literature)の意義について考えてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
2	山崎	イギリス文学 —15世紀まで— ・イギリスの始まり(ノルマン人による征服まで) ・文学の始まり —チョーサーの時代(14・15世紀)— ・シェイクスピアのイントロダクション	講義 ディスカッション	[予習]14・15世紀イギリスの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
3	山崎	イギリス文学 —16世紀— ・16世紀イギリスの時代思潮 ・文学 詩/演劇:シェイクスピア作品	講義 ディスカッション	[予習]16世紀イギリスの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
4	山崎	イギリス文学 —17・18世紀— ・17・18世紀イギリスの時代思潮 ・文学 詩:形而上詩人、新古典主義 小説・散文:伝記文学、近代小説、ゴシック小説	講義 ディスカッション	[予習]17・18世紀イギリスの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
5	山崎	イギリス文学 —19世紀①— ・19世紀初期～中期イギリスの時代思潮 ・文学 詩:ロマン主義 小説・散文:社会的階層、写実的物語	講義 ディスカッション	[予習]19世紀(初期～中期)イギリスの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
6	山崎	イギリス文学 —19世紀②・20世紀①— ・19世紀後期～20世紀初頭のイギリスの時代思潮 ・文学 小説・散文:デカダンス、世紀末・ブルームズベリー・グループ 演劇:演劇の大衆化 ・パレエ・リュスとのつながり	講義 ディスカッション	[予習]19世紀(後期)～20世紀初頭のイギリスの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
7	山崎	イギリス文学 —20世紀②— ・20世紀イギリスの時代思潮 ・文学 詩:モダニズム、牧歌的、イマジスト 小説・散文:「意識の流れ」、「性」の表現	講義 ディスカッション	[予習]20世紀イギリスの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
8	山崎	アメリカ文学 —植民地時代～19世紀初期— ・植民地時代～19世紀初期アメリカの時代思潮 ・文学 小説・散文: ・先住民の口承文学、航海記録、ピューリタン文学 ・英国感傷小説、ゴシック・ロマンス	講義 ディスカッション	[予習]植民地時代～19世紀(初期)アメリカの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
9	山崎	アメリカ文学 —ロマンティシズム— ・19世紀中・後期アメリカの時代思潮 ・文学 詩/小説・散文:超越主義、懐疑ロマン主義	講義 ディスカッション	[予習]19世紀(中期)アメリカの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
10	山崎	アメリカ文学 —リアリズム— ・19世紀後期～20世紀初頭アメリカの時代思潮 ・文学 小説・散文:リアリズム文学、地方色文学、自然主義文学	講義 ディスカッション	[予習]19世紀(後期)～20世紀(初頭)アメリカの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
11	山崎	アメリカ文学 —1920年代— ・1920年代アメリカの時代思潮 ・文学 小説・散文:「失われた世代」と呼ばれる作家たち	講義 ディスカッション	[予習]1920年代アメリカの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
12	山崎	アメリカ文学 —世界恐慌後— ・1930年代アメリカの時代思潮 ・文学 小説・散文:プロレタリア文学、南部作家	講義 ディスカッション	[予習]1930年代アメリカの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
13	山崎	アメリカ文学 —第2次世界大戦後～1960年頃まで— ・第2次大戦後～1960年頃までのアメリカの時代思潮 ・文学 小説・散文:南部作家、黒人文学、ビート小説	講義 ディスカッション	[予習]第2次世界大戦後～1960年頃までのアメリカの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]授業で学習した作品の時代背景、内容・テーマ、感想をまとめる。(学習時間:70分)
14	山崎	アメリカ文学 —1960年代～現代— ・1960年代～現代のアメリカの時代思潮 ・文学 小説・散文:不条理小説、ビート小説、ユダヤ系作家、女性の文学 レポート課題の説明	講義 ディスカッション	[予習]1960年代以降のアメリカの時代思潮について調べてくる。(学習時間:70分) [復習]これまでの授業で学習し、まとめたものを整理し、レポート作成の準備をする。(学習時間:70分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	音楽	必修・選択	必修
英語科目名	Music	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	寺島 慶子	ナンバリング	FNL11A2
担当教員	寺島慶子	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	【該当するコンピテンシー】 ◎DP1-II				
授業の位置づけ	音楽の全般的な知識を、西洋音楽史を通して学び、難しいと思われているクラシック音楽への理解を深め、音楽と人（心）との関わり（作用）を授業を通して体験する。また、音楽を基礎から学ぶことにより音楽の本質を理解することによって鑑賞力を高める事を目標とする。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	1. グローバル化が進む社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、音楽に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力 2. 「自分とは異なる人間や文化を理解する心を滋養し、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力 3. 音楽を用いたコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを説明し、相互の関係を築く能力 4. グローバル市民として活躍するための基盤となる教養に加え、活躍できる専門性（グローバルヘルスサービス領域）を蓄え、多面的かつ柔軟な思考力と行動がとれる能力。				
到達目標	【到達目標】 1) 音楽の三要素を説明できる。 2) 音楽の誕生から現代に至るまでの音楽の変遷を説明できる。 3) 各時代（古典派、ロマン派etc）について、作曲家名及び作品名を挙げ、音楽の特徴及び時代背景を説明できる。 4) 各時代の音楽を聞き分ける耳を作る。 5) 音楽が心に与える影響を説明できる。				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	【履修要件】 特になし 日頃から沢山の音楽に触れて欲しい。 コンサート、ミュージカル、オペラを体験して欲しい。 【履修上の注意】 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。				
成績評価の方法					
評価方法	【成績評価の基準】 1) 音楽の三要素を説明できる。 2) 音楽の誕生から現代に至るまでの音楽の変遷を説明できる。 3) 各時代（古典派、ロマン派etc）について、作曲家名及び作品名を挙げ、音楽の特徴及び時代背景を説明できる。 4) 各時代の音楽を聞き分ける耳を作る。 5) 音楽が心に与える影響を説明できる。				
評価基準	毎授業内レポート（30%）定期試験（70%）を総合して評価する。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
質問、及び、その他の問い合わせは授業後及びメールにて受け付けます。 メールアドレス kktera@juntendo.ac.jp					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
初めての音楽史 久保田慶一 音楽之友社 いちばんやさしい音楽史 北村英明 オンキョウ 音楽史 真條 将 全音楽譜出版 新西洋音楽史 グラウト・パリスカ共著 音楽之友社 クラシック音楽史大系 音楽史 グレゴリオ聖歌からバッハまで カール・パリシュ ジョン・オール共著 音楽之友社 頭が良くなるクラシック入門 樋口裕一 幻冬舎 新音楽史 H.M ミュラー					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業の前後。 kktera@jyuntendo.ac.jp				
備考	テーマに沿ってのプリントの配布				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	寺島慶子	音楽総論・音楽とは 私達の日常生活での音楽の役割	講義	予習 クラシック音楽とは何かを調べる。2時間 復習 日常生活での音楽の使い方を調べる。2時間
2	寺島慶子	宗教における音楽の役割について CD DVD使用	講義	予習 宗教における音楽の役割を調べる。2時間 復習 宗教に関係する色々な音楽を聴き比べなさい。2時間
3	寺島慶子	バロック音楽 CD DVD使用	講義	予習 オペラとは何かを調べる。2時間 復習 オペラが生まれた理由をまとめよう。2時間
4	寺島慶子	古典派の音楽1 (バロック音楽からの推移) CD DVD使用	講義	予習 古典派の音楽家を調べる。2時間 復習 古典派の時代背景を調べる。2時間
5	寺島慶子	古典派の音楽2 (古典派の音楽の確立) CD DVD使用	講義	予習 モーツァルトの音楽を聴いておく。2時間 復習 モーツァルトの音楽と彼の人間性についてまとめよう。2時間
6	寺島慶子	ロマン派の音楽1 CD DVD使用	講義	予習 ロマン主義について調べよう。2時間 復習 ロマン主義の文学作品を読んで、音楽に与えた影響を感じ取ろう。2時間
7	寺島慶子	ロマン派の音楽2 CD DVD使用	講義	予習 ロマン派の音楽家の作品を調べておこう。2時間 復習 古典派の音楽との相違点についてまとめよう。2時間
8	寺島慶子	ロシアの国民楽派について CD DVD使用	講義	予習 ロシアの国民楽派について調べよう。2時間 復習 ロシアの国民楽派がヨーロッパの作品の響きから距離をおいた理由をまとめよう。2時間
9	寺島慶子	東欧の国民楽派 CD DVD使用	講義	予習 チェコの音楽家について調べよう。2時間 復習 オーストリアの統制下にあったチェコの音楽家の苦悩を理解し、その響きを聴いて感じたことをまとめる。2時間
10	寺島慶子	近代(印象派) CD DVD使用	講義	予習 近代に起きた出来事についてまとめなさい。2時間 復習 印象派の音楽がどのような芸術から影響を受けていたのか具体的にまとめなさい。2時間
11	寺島慶子	現代音楽(21世紀)無調への歩み CD DVD使用	講義	予習 現代音楽とは何かを調べる。2時間 復習 新しい響き、複雑なリズムが生まれた時代背景を調べる。2時間
12	寺島慶子	劇場音楽1 オーケストラを聴こう。DVD使用	講義	コンサートに行き、生の音の響きを感想としてまとめる。
13	寺島慶子	劇場音楽2 ミュージカル・オペラ・バレエ鑑賞 DVD使用	講義	劇場公演を体験しよう。
14	寺島慶子	心と音楽 CD使用	講義	予習 どんな音楽が自分の心に響くか沢山の音楽に触れる。2時間 復習 自分にとっての癒しの音楽について分析する。2時間

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	伝統芸能入門	必修・選択	選択
英語科目名	Introduction to Traditional Entertainment	対象学年	1年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	立木 宏哉	ナンバリング	FNL11A3
担当教員	立木 宏哉	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>「伝統芸能」というと敷居が高く感じるだろう。しかし、最初の敷居さえ乗り越えたら、美術館や演劇・映画といった他の選択肢の一つに加わるような価値や魅力は十分にある。また、現代の演劇・映画・音楽・文学などにも「伝統芸能」のかすかな影響は息づいている。本講義では能楽を中心に、観劇の際の前提知識も与えながら、適宜、映像を用いて講義を行う。能の詞章やそれを理解するための背景についても、解説を加える。現代とは異なる死生観に接することもできよう。実際の能楽を見る導入として、現代演劇にも多く触れる。実際に伝統芸能を観に行く際の情報も提供する。</p>				
授業の位置づけ	日本古典の伝統芸能を学ぶことで、豊かな感性と教養を備えるための素地を作る。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎ DP1-11				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 自力で、観たい能の情報を集めることができる。 2) 能のあらすじや詞章を調べ、観劇のための準備ができるようになる。 3) 能の特殊性を理解し、それを実際の鑑賞と関連付けて説明することができる。 4) 現代の文化にも影響を与える伝統の力を知り、生涯にわたって、持続する関心の下地を作ることができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	担当者による解説と映像等の鑑賞が中心になるが、積極的な姿勢で講義に臨んでもらいたい。また、随時公演の情報を知らせるので、興味を感じるものがあれば各自で鑑賞してほしい。あくまでも、映像や音声は「記録」であり、生の舞台に接することが伝統芸能を楽しむ近道である。				
成績評価の方法					
評価方法	小課題2題（30%）、学期末のレポート（40%）、日々の学習状況（30%）。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的の情報にアクセスし、的確に情報を拾い上げて、相手にわかりやすいように表現できるか。 ・ 設定された観点から、対象を分析し、整理してまとめることができるか。 ・ 能を見る準備を自力で行い、自分なりの切り口で対象を記述できているか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
JUNTENDO-PASSPORTを用いる予定であるが、授業の最初に相談したい。 小課題は、提出後2週間以内にフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<p>『能ナビ 誰も教えてくれなかった能の見方』渡辺保（マガジンハウス） 『能狂言の基礎知識』石井倫子（角川選書） 『謡曲集』（新潮古典集成） 『能を読む』シリーズ（角川書店） 『中・高校生のための狂言入門』（平凡社ライブラリ）</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時、電子メールで質問を受け付ける。 htachiki@				
備考	毎回プリントを配布する予定。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	立木	初回イントロダクション 1. 伝統芸能と現代 2. 能楽前史 3. 春日おん祭り [キーワード] 民俗芸能、芸能史、春日社、若宮	講義形式	[予習] 特になし。 [復習] プリントを見直す。関東近辺で寺社の催しがないか調べる。(学習時間:2時間)
2	立木	能楽導入 1. 能楽堂 2. 世阿弥 3. 『道成寺』鑑賞 [キーワード] 宗教性、能楽堂、世阿弥、道成寺	講義形式	[予習] 能『道成寺』の詞章に目を通す。(学習時間:2時間) [復習] プリントを見直す。能のホームページを見て、観劇の仕方について確認し、興味の惹かれたところを読んでおく。(小課題①。学習時間:2時間)
3	立木	能楽『葵上』 1. 現代能楽集の取り組み 2. 三島由紀夫『近代能楽集』「葵上」 [キーワード] 観阿弥、世阿弥、三島由紀夫	講義形式	[予習] 三島由紀夫『近代能楽集』「葵上」を読む。(学習時間:2時間) [復習] もう一度、三島由紀夫『近代能楽集』「葵上」を読んで、映像を思い出す。(学習時間:2時間)
4	立木	能楽『葵上』 1. 『源氏物語』葵巻 2. 『葵上』鑑賞① [キーワード] 葵上、源氏物語、怨霊	講義形式	[予習] 能『葵上』の詞章に目を通す。(学習時間:2時間) [復習] 能の『葵上』と『近代能楽集』「葵上」の共通点と相違点について考えをまとめておく。(小課題②。学習時間:2時間)
5	立木	能楽『葵上』 1. 『葵上』鑑賞② 2. 狂言『茸』鑑賞 [キーワード] 験者、加持祈祷、怨霊調伏	講義形式	[予習] 能『葵上』の詞章に目を通す。(学習時間:2時間) [復習] 能の『葵上』と『近代能楽集』「葵上」の共通点と相違点について考える。(小課題②。学習時間:2時間)
6	立木	能楽と現代 1. 説経節『しんとく丸』 2. 折口信夫・寺山修司『身毒丸』 3. 蜷川幸雄演出『身毒丸』 [キーワード] 語り物、現代演劇、四天王寺、障害者	講義形式	[予習] 折口信夫『身毒丸』を読んでおく。(学習時間:2時間) [復習] 説経節『しんとく丸』を読み直し、あらすじを再把握する。(学習時間:2時間)
7	立木	能楽『弱法師』・まとめ 1. 観世元雅 2. 『弱法師』鑑賞 3. まとめ [キーワード] 観世元雅、心理ドラマ、草木国土悉皆成仏、日想観	講義形式	[予習] 能『弱法師』の詞章に目を通す。(学習時間:2時間) [復習] 伝統が現代にも影響を与えている文学芸術という例から、伝統の力について考える。(学習時間:1時間) [課題レポート] テーマは授業時間内に提示する。(学習時間:5時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人間の生き方	必修・選択	必修
英語科目名	Human Life	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	長沼 淳	ナンバリング	FNL11B1
担当教員	長沼淳	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>人間とは何か、人間が生きる意味とは何なのかという根源的な問いを基底に、人間の営為としての思想・哲学を取り上げ、人が人として生きるその基盤を捉え返す。</p> <p>どの思想家がどのような学説を主張したかという思想的な内容を中心に扱うのではなく、毎回具体的な哲学上の主要な課題を取り上げ、なぜそれが問題となるのか、その問題に対してどのようなアプローチがありうるのかを概観する。</p> <p>そのことによってわれわれの日常生活において「当たり前」と考えていることの根拠がいかに脆弱かを理解するとともに、われわれの知識、認識の曖昧さを確認する。その確認は、人が社会の中で何事もなく生きていくことができることの偶然性、僥倖を明らかにすることにつながるだろう。具体的には以下を目標とする。</p> <p>キーワード：日常生活 ルーティン 反省的捉え返し 主観と客観 世界の構成</p>				
授業の位置づけ	<p>哲学という学問はその対象に限界を持たない。その対象は、われわれの生そのものであり、その意味を探ることによって対象理解の多様化を図るものである。われわれの住む世界を多様に切り取ることで、世界との関わりを重層化させてほしい。</p>				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>◎：DP1-II ○：DP1-I</p>				
到達目標	<p>哲学の営みは、思索の深さに応じて結論も変わってくる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学という方法論を理解することができる。 2. 世界の多様な存在様式について確認でき、それを幅広い他者理解につなげることができる。 3. 他者との共存のためにコミュニケーションを通して調整することができる。 4. 哲学的な理解を日常生活に応用、実践につなげることができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	<p>本講義では、日常、問題があるとも思われていないような事象を取り上げて、それについて検討を加えていく。したがって受講者も、普段何気なくやり過ごしているものに対して「なぜ？」と問いかける視点を持つ「好奇心」がほしい。また適宜参考書等も紹介するので、必要に応じて担当教員まで尋ねること。</p> <p>提出物に対するフィードバックの希望者には随時メールにて行う。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末レポート（80%） ・講義後の小テスト（20%） <p>以上のほかに特段の評価点が認められる場合は総合的に判断して評価に加える。</p>				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分の「生き方」を相対化できるか。 ・「主観」の中から一般性を抽出できるか。 ・「一般性」が多様であることを説明できるか。 ・自分の関心事を哲学的に説明できるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの結果については、次回講義内で総評を述べるとともに、個別の質問についてはその都度対応する。 ・レポート評価は、メールやJ-Passなどで適宜コメントする。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを授業時に配布する。 ・参考図書については授業内において適宜指示する。 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>講義の前後の時間帯。 その他メール（atnaganu@）、J-Passでも適宜対応する。</p>				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長沼淳	オリエンテーション 哲学とは何か	講義	予習：なし 復習：小テストの回答。哲学とは何かをまとめておくこと(10分)
2	長沼淳	ロボットに心はあるか 心があるとはどのようなことか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。他人の心がわかるとはどういうことなのかを考えてみよう(30分)
3	長沼淳	本当とは何か われわれはなぜ間違えるのだろうか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。私が見ているものは見ているとおりに存在するのだろうか(30分)
4	長沼淳	同じとは何か 同一・相似・差異…	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。同じとは何が同じなのだろうか(30分)
5	長沼淳	見ることと考えること 意味はどこから現れるのだろうか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。同じものが違って見えるのはなぜか考えておくこと(30分)
6	長沼淳	現実とは何か 夢と現実は何が異なるのか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。夢を見続けていたら、それが現実になるのか考えてみよう(30分)
7	長沼淳	記憶とは何か 想起することと想像することとは何が異なるのか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。見て、思い出して、妄想したとき、その境界はどのようになっているか考えてみよう(30分)
8	長沼淳	独我論の基本 私のことを他人は理解できないのか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。「私のことは誰も理解できてはならない」とはどういうことなのか(30分)
9	長沼淳	確率とは何か 明日の降水確率は50%であるとはどういうことか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。一回限りの出来事を確率で予測する意味を考える(30分)
10	長沼淳	私らしさは私の中にあるか アイデンティティとは何か	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。私らしさと他者の関係を考えてみる(30分)
11	長沼淳	主観は客観的になりうるか 私は他人に届くのか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。私の客観はどこにあるか考えてみよう(30分)
12	長沼淳	言葉の意味はどのように決まるか 文脈原理と合成原理	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(10分) 復習：小テストの回答。言葉が意味を持つとはどのようなことか(30分)
13	長沼淳	名前と実体 名は何を表しているのだろうか	講義・討論	予習：配布プリントを確認しておくこと(30分) 復習：小テストの回答。名前を付けた瞬間にそのものを見なくなってしまうとはどういうことか考えてみよう(30分)
14	長沼淳	まとめ	講義	半期を振り返り、試験準備をきちんと行うておくこと

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	現代社会と倫理	必修・選択	選択
英語科目名	Modern Society and Ethics	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	長沼 淳	ナンバリング	FNL11B2
担当教員	長沼淳	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	<p>現代社会では科学技術の進歩に伴いこれまでの価値観では対応しきれない多くの問題が発生している。医療技術の進歩は、生命の価値や人間存在の意義を捉え返さざるをえない状況が生み出し、また科学技術の進歩は地球環境を作り変えるまでに立ち至っている。</p> <p>本講義では生命や環境の倫理を中心に、その問題の核心を明らかにし、未来をどのように展望するか、その基本的な足場を確認することから始める。われわれはどのように明日に向かっていくのか、その基本的な立場を倫理的な視点から考える。そのため現代社会で問題となっている事柄の基本的な構造を見直し、現状がどのような経緯をたどって作り上げられているのかの理解を最初の目標とする。そのうえで、多様な問題へ立ち向かう基本的な態度と解決の方向性を展望するための出発点の構築を目標年、現代社会において、倫理学がどのような意味でその役割を果たしているのかを理解する。</p> <p>具体的には以下を目標とする。 キーワード：パターンリズム 自己決定 医療の目的 QOL 行動規範</p>			
授業の位置づけ	本講義のねらいは、現代社会における課題とその調停の方法を学び、自らの実践につなげられるようにすることにある。医療を学ぶ上で、倫理的に行動することの意味を理解していることは必須の前提といえる。複雑多様化する現代社会における「倫理」の意味を理解し、実践に移せる能力を磨いておきたい。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎：DP1-III ○：DP1-I △：DP1-II			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理的に生きるとはどのようなことかについての基本的な見通しを立て、自分なりに説明することができる。 2. 社会生活を送る上で倫理が果たしている役割を説明することができる。 3. 医療の場面における倫理の基本的な役割を説明することができる。 4. 個人の尊重と倫理の関係について理解し、自分なりに説明することができる。 5. 規範を守ることの理解に基づき、他者との良好な人間関係構築・維持につなげることができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	なし			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会で問題となっている事柄について、新聞やテレビのニュースなどに関心を持って積極的に情報に触れるようにすること。 ・授業内で学んだことが実際の場面でのように取り扱われているかを考えること。 ・答えを探すというより、過程に目を向ける習慣をつけること。 ・提出物に対するフィードバックは希望者随時メールにて行う。 			
成績評価の方法				
評価方法	<p>学期末レポート（80%） 毎回の講義後の小テスト（20%） 以上のほかに特設の評価点が認められる場合は総合的に判断して評価に加える。</p>			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理の基本的役割を説明できるか。 ・医療における倫理解の変遷、その背景を説明できるか。 ・医療における「自己決定権」の意義を説明できるか。 ・「患者の主体性」を支援することの意味を説明できるか。 ・倫理におけるコミュニケーションの役割について説明できるか。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの結果については、次回講義内で総評を述べるとともに、個別の質問についてはその都度対応する。 ・レポート評価は、メールやJ-Passなどで適宜コメントする。 				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
授業中に適宜紹介する。				
参考文献				
<p>プリントを授業時に配布する。 参考図書については授業内において適宜指示する。</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>月曜の講義の前夜に対応する。 またメールでの問い合わせは随時対応する。(atnaganu@)</p>			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
01	長沼淳	オリエンテーション 倫理学の基本	講義	予習：不要 復習：小テストへの回答。配布資料の確認 (30分)
02	長沼淳	医療倫理と生命倫理	講義	予習：配布プリントを確認しておくこと (10分) 復習：小テストの回答。医療倫理と生命倫理の違いをまとめておくこと (30分)
03	長沼淳	生命・医療倫理の基本	講義	予習：配布プリントを確認しておくこと (10分) 復習：小テストの回答。患者の主体性と医療者の主体性についてまとめること (30分)
04	長沼淳	自己決定権① 他者危害の原則について	講義	予習：配布プリントを確認しておくこと (10分) 復習：小テストの回答。私らしさの尊重と他人らしさの尊重をどう両立させるか考えてみよう (30分)
05	長沼淳	自己決定権② 愚行権について	講義	予習：配布プリントを確認しておくこと (10分) 復習：小テストの回答。人と社会の関係について、どちらを優先させるのか考えてみよう (30分)
06	長沼淳	デザイナーベビーと自己決定権	講義	予習：配布プリントを確認しておくこと (10分) 復習：小テストの回答。選ばれて生まれた子どもは選ばれたとおりに生きなければいけないのか考えてみよう (30分)
07	長沼淳	半期の振り返りと今後の展開	講義	予習：配布プリントを確認しておくこと (10分) 復習：試験の準備をしっかりとしておくこと (適宜)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	心理と行動	必修・選択	選択
英語科目名	Psychology and Behavior	対象学年	1年
開講学期	前期前半	単位数	2単位
代表教員	吉武 尚美	ナンバリング	FNL11B3
担当教員	吉武尚美	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	医療や看護の専門的支援に従事する際には、被支援者のみならず自身の行動や心の働きについても知る必要がある。心理学とは人間の心と行動のメカニズムを科学的に解明する学問である。本科目は心理学の概論授業として、諸領域の基本的な概念や理論を学び、自他の心に関して科学的な根拠に基づいた理解を深める。これらの学修を通して、人間性への尊重と共感をもった専門的支援ができることを目指す。			
授業の位置づけ	Fundamental Nursing Levelの基礎的学習領域としての「人間と教養」に位置づけられる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-IV ○DP2-1			
到達目標	1. 人間の心や行動に関する心理学の基本的な概念や理論を説明することができる。 2. 自他の心や行動を心理学的知見に基づいて理解、予測、制御することができる。 3. 様々な社会的事象を心理学的観点から考察することを通じて、心理学的な思考スキルを獲得する。 4. 環境や人格の多様性に敏感になり、自他の受容感を高める。			
先修要件				
関連科目	子どもの発達と教育、統計学、発達心理学、臨床心理学、生涯発達論			
学修上の注意	・原則オンデマンド授業とする（開講途中で授業形態が変わることがありうる） ・行動観察や実験などの宿題を出すので、積極的に取り組むこと			
成績評価の方法				
評価方法	以下を総合して評価する： 課題レポート2題 20% 学習意欲（リアクションペーパー）30% 定期試験（中間試験／学期末試験）50%			
評価基準	・学習した内容を自分の経験と関連付けて理解することができる ・心理学の主要領域（認知・発達・社会・健康）における基本的な概念や理論を自分の言葉で説明できる ・心理学の概念や理論を用いて自己分析をすることができる ・心理学の研究手法と批判的思考の実践ができる			
試験・課題に対するフィードバック方法				
授業内コメントやGoogleClassroomを使用して返却する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献				
授業内で適宜紹介する				
その他				
連絡先・オフィスアワー	n-yoshitake@（予約メール必要）			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	吉武 尚美	【受講ガイダンス】 ・心理学とは ・心理学を学ぶということ	講義	【予習】（30分） 心とは何かを自分の言葉で説明できるようにしておく 【復習】（2時間） 心理学を学ぶ意義を整理し、授業で特に学びたい自分の関心事や目的を明確にする。 テキストの該当箇所を読んで、授業の内容を体系づけておく

2	吉武 尚美	【感覚と知覚】 1. 感覚・知覚・認知 2. ゲシュタルト心理学 3. 感覚・知覚の加齢による変化	講義	【予習】(2時間) 「錯覚」体験を2つ挙げ、状況を描写できるようにしておく 【復習】(2時間) 用語の理解を定着させる。
3	吉武 尚美	【学習と記憶(1)】 1. 行動主義心理学による学習理論 2. 行動科学の医療場面への応用	講義	【予習】(2時間) 自らの「学習の体験」を2つ挙げ、状況を描写できるようにしておく 【復習】(2時間) 日常の行動を条件づけの視点から説明できるようにする。
4	吉武 尚美	【学習と記憶(2)】 1. 情報処理理論による学習理論 2. 記憶と忘却 3. 幼児や高齢者の記憶	講義	【予習】(2時間) よく使う暗記の方法を2つ挙げ、長所と短所をまとめる 【復習】(2時間) 情報処理理論の概要を把握し、記憶のプロセスについて理解を定着させる。
5	吉武 尚美	【動機づけと情動(1)】 1. 動機づけとは 2. 動機づけの諸理論	講義	【予習】(2時間) 2. モチベーションを上げる方法を考える 【復習】(2時間) 様々な動機づけの特徴を整理し、理解を定着させる。
6	吉武 尚美	【動機づけと情動(2)】 1. フラストレーション 2. 情動 3. アンガーマネジメント	講義	【予習】(30分) あなたにとって抵抗し難い誘惑は何ですか。そして、それをどのようにコントロールしているか考えてみる 【復習】(30分) 防衛機制を具体例とともに理解する 【レポート課題①】(2時間) 変えたい行動や抵抗したい誘惑を1つ取り上げ、心理学の知見をもとに行動変容計画を立て、実践し、効果を評価する(詳細は授業内で指示する)
7	吉武 尚美	《中間試験》	授業内試験	【予習】(2時間) 授業資料を復習する 【復習】(2時間) 資料を再度読み理解を定着させる
8	吉武 尚美	【発達(1)】 1. 社会性の発達	講義	【予習】(2時間) エリクソンの発達段階理論について調べる 【復習】(2時間) エリクソンの理論を整理し、理解を定着させる
9	吉武 尚美	【発達(2)】 1. 性格理論 2. パーソナリティの検査法 3. パーソナリティの発達の要因	講義	【予習】(30分) 自分の性格を表す言葉を5つ考えてみる 【復習】(30分) パーソナリティの検査法とその限界を整理し、理解を定着させる 【レポート課題②】(2時間) 授業で得た心理結果とこれまでの人生の経験を統合させ、自分のパーソナリティを1枚のスライドに表現する(詳細は授業内で指示する)
10	吉武 尚美	【集団と社会(1)】 1. 社会的認知 2. 集団の影響	講義	【予習】(2時間) 1. 同調と服従について調べる 【復習】(90分) 集団圧力の影響について実験研究とともに理解する
11	吉武 尚美	【集団と社会(2)】 1. 関係の進展 2. 対人コミュニケーション	講義	【予習】(2時間) アサーションについて調べておく 【復習】(2時間) アサーションを日々実践する
12	吉武 尚美	【メンタルヘルス(1)】 精神障害と心理療法	講義	【予習】(2時間) 青年期に罹患しやすい精神障害について調べる 【復習】(2時間) 精神障害の特徴を整理し、理解を深める 様々な心理的介入方法の特徴を理解する
13	吉武 尚美	【メンタルヘルス(2)】 発達障害と支援	講義	【予習】(2時間) 発達障害について調べる 【復習】(2時間) 発達障害の特徴と支援の方法を整理し、理解を深める
14	吉武 尚美	【メンタルヘルス(3)】 1. ストレスとコーピング 2. ポジティブ心理学	講義	【予習】(2時間) 1. マインドフルネスについて調べる 2. ポジティブ心理学について調べる 【復習】(2時間) ポジティブサイコセラピーを通して精神的健康の維持と向上を実感する

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	子どもの発達と教育	必修・選択	選択
英語科目名	Child Development and Education	対象学年	2年
開講学期	2年前期後半	単位数	1単位
代表教員	小川 政範	ナンバリング	CNL11B1
担当教員	小川 政範	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	本科目では、まず子どもの行動を理解するための知識を習得する。どのように子どもと関わったらよいか、どのようにすれば子どもは能力を発揮するのか、また自主的で自立した行動をどのように身につけるのかに関する知識と方法についても習得する。その上で、子どもとのコミュニケーションの仕方、特に子どもに意図を伝える方法について理解する。				
授業の位置づけ	人間理解をベースとして子どもの発達と教育について学修する。その中で子どもに対して勇気と共同体体験を育むことを目指した看護実践を行うための効果的な理論と技法を学修し、発達心理学の応用と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-11、ODP2-1				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの行動を理解できる。 2. 子どもとの関わり方理解し、行動に移せる。 3. 勇気づけを理解し、子どもを勇気づけられる。 4. 子どもとのコミュニケーション法を理解し、実践できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの理解の前に自己を分析する。その時には正直に伝えること。 2. 授業時には書き込み用資料を配布するので、内容を整理し復習すること。 3. 初めて学ぶことも多いはずなので、疑問やわからないことは積極的に質問すること。 4. 自分なりの目的をもって授業に参加すること。そのためにはシラバスを確認すること。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（60%）、毎授業終了時のレポート（30%）、日々の学習状況（10%）、合計100点として得点を算出し、成績評価を行う。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの行動を目的論に従って説明できるか。 2. 子どもの不適切行動を分析し、適切な行動に修正するための方法を説明できるか。 3. 子どもへの勇気づけを行うことができるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
レポート内容については、提出回後の講義で解説する。 また、レポートは基本的には返却しないが、内容によっては個別にフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	特になし				
参考文献					
特になし					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問等は授業前後の時間、あるいはメール（ m-ogawa@ ）にて受け付ける。				
備考	毎授業時に資料を配布する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	小川政範	オリエンテーション 感じ方の世界 自己分析（影のパーソナリティ）	講義	〔予習〕 シラバスを確認する。 「認知」について調べる。（学習時間：2時間） 〔復習〕 人間の共通する「感じ方」を確認する。（学習時間：3時間） 〔キーワード〕 知覚・認知
2	小川政範	学習理論の基礎 ほめて伸ばす方法	講義	〔予習〕 ほめて伸ばす方法について確認しておく。（学習時間：2時間） 〔復習〕 授業資料を読み返し、褒めることによる功罪を理解する。（学習時間：3時間） 〔キーワード〕 学習理論、行動主義
3	小川政範	勇気づけの心理学	講義	〔予習〕 アドラー心理学について調べる。（学習時間：2時間） 〔復習〕 勇気づけと子どもへの言葉がけについて再確認する。（学習時間：2時間） 〔キーワード〕 勇気づけ、ベップトーク、ライフスタイル
4	小川政範	子どもの行動理解	講義	〔予習〕 子どもへのしつけや子育てについて調べておくこと。（学習時間：2時間） 〔復習〕 授業資料を読み返し、子どもの行動目的を理解する。（学習時間：2時間） 〔キーワード〕 正の注目・負の注目、不適切行動
5	小川政範	子どもとの関わり方と子どもへの勇気づけ	講義	〔予習〕 信頼と安心とはどのようなものか、イメージしておく。また、ご褒美がもたらす正負の効果について考える。（学習時間：2時間） 〔復習〕 資料を読み返し、子どもとの関わり方を再度理解する。 勇気づけを理解し、まずは自分を勇気づける。（学習時間：2時間） 〔キーワード〕 傾聴法、罰の罪悪、子どもの信頼、勇気づけ
6	小川政範	子どもの自立力・チャレンジカ ペアレントテスト	講義	〔予習〕 勇気づけの方法から考えられる自立していく子供をイメージする。 自分が失敗をした時にどのような感情や思いを抱くか、確認しておく。（学習時間：2時間） 〔復習〕 自分の課題とは何か、確認する。また、様々な人の欠点を再度ラベリングする。（学習時間：2時間） 〔キーワード〕 親の課題、子どもの課題、ラベリング、自然の結末、論理的結末
7	小川政範	子どもの「チャレンジ」する意識の育て方	講義	〔予習〕 子どもの神経症や発達障害、虐待について調べておく。（学習時間：2時間） 〔復習〕 アドラー心理学を生かして子どものこころを守り育てていく方法を再確認する。（学習時間：4時間） 〔キーワード〕 子どもの神経症、発達障害、虐待

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	法と生活（日本国憲法）	必修・選択	選択
英語科目名	Law and Life (Japanese Constitution)	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	2単位
代表教員	真島 信英	ナンバリング	CNL12A1
担当教員	真島 信英	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	「社会あるところに法あり」という言葉が示すように、法は我々の社会生活における行為を規律するものとして日常生活に深くかかわりを持ち且つ重要な役割を果たしている。しかし、法は複雑な構造を有するため、ひとたび何らかのトラブルに巻き込まれると自分はどこまで権利を主張することができ、どのような義務を負わされるのか判断し難い。そこで本講義では、まず法がどのように社会の中で機能しているか、法的な物の見方・考え方（リーガルマインド）とは何か、について学んだうえで生活と密接にかかわりのある具体的事例について説明する。なお看護職者をめざす受講生を考慮し、医療と法が関係する諸問題についても言及する。			
授業の位置づけ	当該授業は医療従事者にとって必要不可欠である医事法に関する理解を深めるだけでなく、教養を身につけた市民として行動できる能力を養うための科目と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DPI-II			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法律の基本的な概念・原則を理解できる。 2. 憲法の人権と統治機構に関する基礎知識を習得できる。 3. 最高法規たる憲法と法律（民法・刑法・商法等）との関係性を理解できる。 4. 民法の債権・親族・相続などに関する基礎知識を習得できる。 5. 医事法の基礎知識を習得できる。 6. 裁判の仕組みを理解できる。 7. 身近な法的トラブルへの対処法を身につけることができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	なし			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず予習・復習に取り組むこと。 ・生きた法を習得するため、受講に際して特に時事問題に関心を持って望むよう心がけてもらいたい。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100%）			
評価基準	法的な物の見方・考え方（リーガルマインド）ができるか。講義で取り上げた憲法・民法・刑法等の基本事項が理解できているか。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックは希望に応じて授業内に行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
ポケット六法 令和5年度版	佐伯仁志、大村敦志、荒木尚志編集代表	有斐閣	978-4641009233	
参考文献				
授業中に適宜紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	・授業終了後に教室で質問を受け付ける。			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。 ・「法と生活」という科目上、ポケット六法（有斐閣）の最新版を必ず持参すること。 			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	真島 信英	<ol style="list-style-type: none"> 1 法とは何か <ol style="list-style-type: none"> 1-1 法 の概念 1-2 法 と道徳 1-3 法 の種類など 2 法の解釈とその適用 <ol style="list-style-type: none"> 2-1 拡大・縮小解釈 2-2 事実認定・法の適用・量刑判断に至るまで 	講義	<p>[予習]: 「六法」とは何かを調べておくこと。そのうえで「日本国憲法と法律」の違いや「法と道徳」の違いについて調べておくこと。 (学習時間: 2時間)</p> <p>[復習]: 「六法」とは何か、を確認したうえで授業全体のイメージをつかむ。講義で配布したプリントをよく読み、理解を深めておく。 (学習時間: 2時間)</p>

2	真島 信英	3 日本国憲法① [幸福追求と法] 3-1 憲法第13条の根拠たるプライバシーの権利・環境権・自己決定権といった現代型人権について 3-2 プライバシー権とパブリシティ権 3-3 自己決定権の具体例について 3-4 憲法13条に関連する判例の考察～「宴のあと事件」「エホバの証人輸血拒否事件」など～	講義	[予習]: 中学・高校生時代に学んだ憲法第13条についてまとめておくこと。とりわけ「新しい人権」「現代型人権」とは何か、調べておくこと。 (学習時間: 3時間) [復習]: 配布プリントをよく読んでおくこと。とりわけ自己決定権については授業後半で取りあげる安楽死・尊厳死にも深く関係するため、それらを意識して理解を深めておくこと。 (学習時間: 3時間)
3	真島 信英	4 日本国憲法② [平等と法] 4-1 男女別定年制は法的に許されるのか。～「日産自動車事件」を素材として～ 4-2 リーガルマインド (法的な物の見方・考え方) ～「価値判断」と「法律論」～ 4-3 女性にのみ100日間の再婚禁止期間が設けられている背景 4-4 刑法第200条尊属殺人罪 (親殺し・子殺しの罪) が削除されるに至った背景には何かあったのか。～「栃木実父殺人事件」を素材として～ 4-5 憲法の直接適用と間接適用	講義	[予習]: 男女という性差をめぐる法的問題について考えてみる。例: 女性にのみ再婚禁止期間が設けられている背景、憲法第14条と「栃木実父殺人事件」の関連性について調べておくこと。 (学習時間: 3時間) [復習]: 配布プリントなどで紹介した性差をめぐる法的問題についての理解を深めておく。 (学習時間: 3時間)
4	真島 信英	5 日本国憲法③ [自由と法] 5-1 憲法における自由権の種類 5-2 精神的自由権～思想及び良心の自由 (憲法第19条)、信教の自由 (同第20条)、学問の自由 (同第23条) といった内面的活動の自由 (内心の自由) 及び表現の自由 (同第23条) 外面的精神活動について～ 5-3 経済的自由権～居住・移転・職業選択の自由 (憲法第22条)、財産権 (同第29条) について～ 5-4 身体的自由権～奴隷的拘束および苦役からの自由 (憲法第18条)、法的手続の保障 (同第31条)、遡求処罰の禁止・一事不再理・二重処罰の禁止 (同第39条)、被疑者・被告人の権利等 (同第33条から38条) について～ 5-5 表現の自由をめぐる判例の考察～「チャタレイ事件」を素材として～	講義	[予習]: 中学・高校で学んだ自由権の要点を理解しておくこと。 (学習時間: 2時間) [復習]: 今回学んだ自由権と対峙する関係にある社会権を意識しながら配布プリントをよく読み、理解を深めておくこと。 (学習時間: 2時間)
5	真島 信英	6 日本国憲法④ [社会福祉と法] 6-1 社会権とは何か 6-2 生存権 (憲法第25条)、教育を受ける権利 (同第26条)、勤労の権利 (同第27条)、労働基本権 (同第28条) 6-3 生存権における「プログラム規定説」と「法的権利説」 6-4 生存権と生活保護法との関係	講義	[予習]: 憲法第25条の生存権を根拠に生活保護受給者へエアコンを設置することは認められるか、考えておくこと。 (学習時間: 2時間) [復習]: 配布プリントをよく読んで「健康で文化的な最低限度の生活」の内容はどのように解釈されるのかを理解する。 (学習時間: 3時間)
6	真島 信英	7 日本国憲法⑤ [統治機構と法] 7-1 統治機構と権力分立 7-2 国会 (立法権) ～二院制、衆議院の優越など～ 7-3 内閣 (行政権) ～議院内閣制、首相公選制～ 7-4 裁判所 (司法権) ～裁判所とはどのような機関か、裁判を受ける権利 (憲法第32条)、裁判官の独立 (憲法第76条3項)、日本の「裁判員制度」とアメリカの「陪審員制度」の相違点など～	講義	[予習]: 中学・高校時代に学んだ「三権分立」「衆議院の優越」「議院内閣制や首相公選制」といった内容について確認しておく。 (学習時間: 3時間) [復習]: 「三権分立の目的」やわが国が「二院制」を採用している意義などについて理解を深めておく。 (学習時間: 3時間)
7	真島 信英	8 日本国憲法⑥ [住民参加と法] 8-1 地方自治とは何か 8-2 地方自治の本旨 8-3 地方自治の保障 8-4 地方自治特別法	講義	[予習]: 国レベルでの民主主義と各地方自治体レベルでの民主主義、それぞれの役割の違いについて考えておくこと。 (学習時間: 2時間) [復習]: 国の機関と地方公共団体で異なる部分とその理由について理解し、まとめる。 (学習時間: 2時間)
8	真島 信英	9 日本国憲法⑦ [憲法改正について] 9-1 日本国憲法と平和主義 9-2 憲法第9条の解釈 9-3 憲法第96条における憲法の改正手続きと国民投票法	講義	[予習]: あらかじめポケット六法を手に取り、憲法第9条と憲法第96条を読んでおく。そのうえで憲法第96条1項に定めのある「過半数」とは有権者総数、有効投票総数、投票総数のうち、どの過半数と解釈されているかを調べてみる。 (学習時間: 2時間) [復習]: 授業で説明した憲法第9条の諸学説、憲法第96条と国民投票法との関係等について把握しておく。 (学習時間: 2時間)

9	真島 信英	10 契約法 10-1 民法の売買契約 10-2 民法の法律行為 10-3 民法の債務不履行～「履行遅滞」「履行不能」「不完全履行」～ 10-4 民法の錯誤～「要素・表示の錯誤」と「動機の錯誤」～ 10-5 民法における詐欺・強迫 10-6 民法における隔地者間についての諸問題～契約の成立時期、パソコン等の誤操作による誤発注の問題、インターネット等のなりすまし発注の問題解決方法、文書や画像の盗用と法的責任～ 10-7 不正アクセスとインターネットをめぐる問題 10-8 インターネットを利用した犯罪～フィッシング詐欺（不正アクセス禁止法違反・電子計算機等使用詐欺罪の成否など）～	講義	[予習]：日常生活を営んでいる中で、私たちがおこなっている「契約」にはどのようなものがあるか考えてみる。「債権」とは何か調べておくこと。 (学習時間：2時間) [復習]：配布プリントをよく読み、理解を深めておくこと。また「取消し」と「無効」の違いなどについても確認しておく。 (学習時間：2時間)
10	真島 信英	11 事務管理・不当利得・不法行為 11-1 民法における債権の発生原因 11-2 民法における事務管理、緊急事務管理 11-3 民法における不当利得の成立要件と効果 11-4 民法の不当利得と不法原因給付 11-5 民法の不法行為の成立要件と効果 11-6 民法における責任無能力者の監督義務者等の責任 11-7 民法における使用者責任 11-8 民法における工作物責任 11-9 民法における共同不法行為など	講義	[予習]：どのような場合に「離婚」は認められるのか。妻子ある男性もしくは既婚女性が法律上愛人契約を結ぶことは可能なのか考えておくこと。 (学習時間：2時間) [復習]：配布プリントを熟読して理解を深める。 (学習時間：2時間)
11	真島 信英	12 家族と法 12-1 民法で「親族」として扱われる範囲とはどこまでであるのか。～配偶者、血族、姻族、直系、傍系、親等、尊属、卑属～ 12-2 民法における「婚姻」とは契約である。～婚姻契約の要件と効果～ 12-3 「選択的夫婦別姓制度」導入の可否をめぐる問題～民法第750条及び戸籍法第74条第1号の規定は憲法第24条に違反するのか～ 12-3 「婚約」と「内縁」の相違点 12-4 協議離婚、調停前置主義に基づく調停離婚、裁判離婚の違い 12-5 法律上の親子関係(1)～嫡出子と非嫡出子～ 12-6 認知とは～任意認知と強制認知～ 12-7 法律上の親子関係(2)～養子縁組の成立要件と効果、離縁、特別養子縁組など～	講義	[予習]：わが国の「離婚率」はどれくらいであるか。民法における「婚約」と「内縁」の相違点。わが国の成人年齢が何歳であるかなどについて確認しておくこと。最高裁判所2015年12月16日大法廷判決や最高裁判所2021年6月23日大法廷決定について新聞記事などをよく読んでおくこと。 (学習時間：3時間) [復習]：配布プリントをよく読み、理解を深めておく。 (学習時間：2時間)
12	真島 信英	13 相続法 13-1 相続とは何か 13-2 相続権者と相続順位 13-3 配偶者居住権～「配偶者短期居住権」と「配偶者長期居住権」～ 13-4 相続における「単純承認」「限定承認」「相続放棄」の相違点～ 13-5 相続における「特別受益者」「寄与分」 13-6 相続における被相続人の「遺言」「遺贈」～「自筆証書遺言」「公正証書遺言」「秘密証書遺言」の相違点など～ 13-7 相続における「遺留分」	講義	[予習]：配偶者居住権とは何か、相続人が相続するのはプラスの財産だけかマイナスの財産も含むのか、どのような相続方法があるのかといった点について調べておくこと。 (学習時間：3時間) [復習]：配布したプリントに書かれた内容について読み返し、きちんと理解すること。 (学習時間：2時間)
13	真島 信英	14 医療と法 14-1 尊厳死とは何か～「川崎協同病院事件」を素材として～ 14-2 安楽死とは何か～「東海大学安楽死事件」を素材として～ 14-3 尊厳死と安楽死の相違点 14-4 インフォームド・コンセント(アセント)と自己決定権 14-5 臓器移植法の要点～摘出可能な臓器など～	講義	[予習]：「東海大学安楽死事件」や「川崎協同病院事件」といった尊厳死・安楽死の代表的な事件について目を通しておくこと。「川崎協同病院事件」については第1審から第3審までのすべてに触れておくこと。 (学習時間：2時間) [復習]：配布プリントを読み返し理解を深めておく。とりわけ判決で示された尊厳死・安楽死が認められるための各要件とその相違点の把握に努めること。 (学習時間：2時間)
14	真島 信英	15 刑事法と裁判員制度 15-1 犯罪の成立要件とは何か～構成要件該当性、違法性、有責性～ 15-2 わが国の裁判員制度において職業裁判官とともに裁判員が行うこととはどのようなことか～事実認定(証拠の採否)、法の適用、量刑判断～ 15-3 裁判員制度のDVDを視聴することで裁判員の役割に関する全体像を把握する。	講義	[予習]：裁判員制度が導入されるに至った背景を考えてみる。アメリカの陪審員制度との相違点を調べてみる。 (学習時間：2時間) [復習]：裁判員法にもとづき裁判員の参加する仕事かどのようなものであるのかを理解し、まとめること。 (学習時間：2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	現代社会と経済	必修・選択	選択
英語科目名	Modern Society and Economy	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	2単位
代表教員	鈴木 慶春	ナンバリング	PNL12A1
担当教員	鈴木 慶春	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	経済学の用語や概念を理解したのち、それらを用いて具体的な経済問題を分析する。人々の経済行動を分析するミクロ経済学、および一国全体の経済状況を分析するマクロ経済学の双方をバランス良く学習する。				
授業の位置づけ	テレビや新聞等で報じられる経済ニュースは社会に出た途端に自身のビジネスや生活に関わるものとなる。経済学の学習を通じて、社会・経済で生活する上での基礎知識と考察力を習得することを、本講義の位置づけとする。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DPI-IT⑤、◎DPI-IT⑥、△DPI-IT⑧				
到達目標	1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語を理解し、それぞれの概念の定義について説明できる。 2. GDPや失業率など現実経済の様々な指標を、データから計算できる。 3. 具体的な経済問題を、講義で学んだ用語により解釈できる。				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	1. 講義内容に関係した演習問題を、毎回の授業内で行います。 2. 経済学に初めて触れる学生を対象として講義しますので、予備知識は要求しません。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験(筆記)100%で評価します。				
評価基準	1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語について説明できるか、定期試験で評価する。 2. GDPや失業率など現実経済の様々な指標をデータから正しく計算できるか、定期試験で評価する。 3. 現実の具体的な経済問題が、講義で学んだどの用語・概念と合致すると判断できるかを、定期試験で評価する。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
毎回の授業内で課す演習問題は、次回の授業の講義冒頭にて解答・解説を行います。また期末試験については模範解答をポータルにアップロードします。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし					
参考文献					
授業内で適宜紹介します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	担当教員は非常勤のため浦安キャンパスにオフィスがありません。質問があればいつでもメールで対応しますので、要件を添えて以下まで送信して下さい。 ksuzuki@chiba-u.jp				
備考	なし				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	鈴木 慶春	・この講義の概要と成績評価の基準についてガイダンスを行う。 ・経済学はどのような学問か、分析の対象と方法について理解する。 ・経済学の二大分野であるミクロ経済学とマクロ経済学の概要について解説する。	講義	予習：最近の日本や世界で起きた経済ニュースについて調査する。(学習時間：2時間) 復習：ミクロ経済学とマクロ経済学の特徴や相違点について整理し理解を再確認する。(学習時間：2時間)	
2	鈴木 慶春	・分業と交換のメリット、国際間の自由貿易のメリット・デメリットについて学習する。 ・機会費用、比較優位という概念を理解したのち、交易がもたらす経済的利益について素朴なモデルを用いて分析する。	講義	予習：なぜ自由貿易に反対する人々がいるのか、彼らの意見について調査する。(学習時間：2時間) 復習：自由貿易の長所と短所を把握して、どのような貿易政策が望ましいのかを考察する。(学習時間：2時間)	
3	鈴木 慶春	・ゲーム理論の基本的なトピックである、支配戦略均衡とナッシュ均衡、囚人のジレンマについて学習する。 ・複数の人の意思決定が相互に作用する状況において、各人がどのように行動するのか、そしてその結果どのような状態が実現するのかを分析する。	講義	予習：現実の企業間の価格競争の具体例を調べる。(学習時間：2時間) 復習：現実のどの事象が「囚人のジレンマ」に当てはまっているかを考える。(学習時間：2時間)	

4	鈴木 慶春	・ゲーム理論の基本的なトピックである、チキンゲーム、協調の失敗、サブゲーム完全均衡について学習する。 ・複数の人の意思決定が異なるタイミングで行われる状況において、各人がどのように行動するのか、そしてその結果どのような状態が実現するのかを分析する。	講義	予習: 「相手の行動を先読みして行動する」具体例を探す。また「相手より早く行動する」ことが自分の得になる例と損になる具体例を考える。(学習時間: 2時間) 復習: 現実のどの事象がチキンゲーム、協調の失敗に当てはまっているか考える。(学習時間: 2時間)
5	鈴木 慶春	・財が取引される「市場」において、財・サービスの価格はどのようにして決まるのかを学習する。 ・経済学の基礎となる「需要曲線」と「供給曲線」について学習する。	講義	予習: 世の中の財・サービスはどのようにしてそれぞれで価格が異なるのかを考える。また、どのようなときに価格が変化するか考える。(学習時間: 2時間) 復習: 経済に様々な外的ショックが発生したときに市場均衡がどう動くのかを整理する。(学習時間: 2時間)
6	鈴木 慶春	・政府が市場介入したときに均衡価格や均衡数量がどのように動くのかを学習する。 ・前回の内容を発展させ、価格規制や課税などの政策が市場に与える影響を需要曲線と供給曲線の図を用いて議論する。	講義	予習: 現実の政府はどのような財・サービスに対して市場介入を行っているか考える。(学習時間: 2時間) 復習: 現実の各種の課税がどの「租税原則」に則っているのかを考える。(学習時間: 2時間)
7	鈴木 慶春	・消費税や所得税など、日本や世界各国における税制の役割について学習する。 ・課税が持つ様々な経済学的機能を学習する。	講義	予習: 日本や世界にある税制について調査する。特に消費税率の違いについて調査する。(学習時間: 2時間) 復習: 日本の税制が講義で学んだ理論通りの経済学的機能を有しているか考察する。(学習時間: 2時間)
8	鈴木 慶春	・民間保険と社会保険の違いと役割を学ぶ。 ・現実の保険の種類や、逆選択やモラルハザードなど保険に付随する経済問題について解説する。	講義	予習: 日本にはどのような公的保険制度があるか調査する。また民間の保険会社がどのような種類の保険を販売しているか調べる。(学習時間: 2時間) 復習: 民間保険と社会保険の役割分担について再整理し、それぞれの保険が国または民間で提供されている理由を考察する。(学習時間: 2時間)
9	鈴木 慶春	・労働市場と失業について学習する。 ・失業が発生する理論的な理由を説明したのち、失業対策として政府がどのような政策をしているかを解説する。	講義	予習: 日本や世界の主要国の失業率の推移を調査する。また失業率が上下する理由を考える。(学習時間: 2時間) 復習: 失業の発生理由と政府の失業対策について再整理し理解を深める。(学習時間: 2時間)
10	鈴木 慶春	・社会的選択理論、特に投票理論について学習する。 ・メカニズムデザインと呼ばれる分野のうちのマッチング理論を学習する。	講義	予習: アメリカのボストンにおける公立学校の進学システムについて調査する。(学習時間: 2時間) 復習: 講義で学んだアルゴリズムを自分の手で再現できるかを確認する。(学習時間: 2時間)
11	鈴木 慶春	・日本と世界各国のマクロ経済の状態を、経済成長率や失業率等のデータを用いて把握する。 ・なぜ日本が長期的な不況に陥っているのかを考察する。	講義	予習: 日本のバブル崩壊、アメリカのリーマンショックなど、世界各国で起きた金融危機について調査する。(学習時間: 2時間) 復習: 世界各国の経済的特徴を把握し、相違点や共通点を見つける。(学習時間: 2時間)
12	鈴木 慶春	・一国の経済活動の規模を測る指標としての国内総生産 (GDP) について学習する。 ・GDPの定義や測定方法を説明する。	講義	予習: 日本や世界の国々のGDPの推移を調査する。(学習時間: 2時間) 復習: 名目GDPと実質GDPの違いについて整理し、講義の計算問題を自分の手で再現できるか確認する。(学習時間: 2時間)
13	鈴木 慶春	・日本の物価はどのように動いてきたのか、物価水準はどのようにして計測されるのかを学習する。 ・物価水準の指標をいくつか紹介したのち、それぞれの相違点を学習する。	講義	予習: 世界各国の物価の動向を調べる。(学習時間: 2時間) 復習: 過去と現在の貨幣価値を換算する方法を整理し、講義の計算問題をもう一度解く。(学習時間: 2時間)
14	鈴木 慶春	・2国間の為替レートはどのような原因で変動するのかを理論面から学ぶ。 ・購買力平価の概念を学び、2国間の本当の意味での経済的豊かさを比較する。	講義	予習: 日本円の為替レートの推移を調べる。また円ドルが固定相場制から変動相場性に変わった歴史的背景を調査する。(学習時間: 2時間) 復習: 購買力平価で測ったGDPのランキングを調べる。また講義で学んだ計算方法により講義資料のクロスレートをもう一度計算する。(学習時間: 2時間)
15	鈴木 慶春	・期末試験を行う。	期末試験	予習: 全ての講義内容を復習し、これまでに出題した演習問題をもう一度解く。(学習時間: 2時間) 復習: 模範解答を確認し、自己採点を通じて間違った問題を復習する。(学習時間: 2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	世界と日本現代史	必修・選択	選択
英語科目名	Modern Japanese History and the World	対象学年	2年
開講学期	後期前半	単位数	2単位
代表教員	金子 元	ナンバリング	CNL12A2
担当教員	金子 元	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	一般に、我々が生きる社会がどのような経緯をたどって形成されたかを知ることは、現代の諸問題に対処する際、貴重な手がかりを与えてくれる。また特に医療従事者にとっては、社会問題や災害そして平和について、日本がどのような経験を持ったかを知ることが、医療行為の意義を知るうえで極めて大切なことであろう。本講義はこうした観点から、戦後史を中心にした基本的な歴史的知識を習得し、また必要に応じて自ら歴史的な事象を調査・考察できるようになることを目指すものである。				
授業の位置づけ	国際化が進む現代社会を生きる上で国際社会のなかで日本が歩んできた道筋について知ることは必須の教養といえる。本講義ではそうした知識に加えて、歴史的な出来事を自分なりの視点で解釈し、またそれを手がかりにしてこれからの日本がいかにあるべきかという問題を考察することを通じて論理的な思考力を養うものである。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP1-II △ DP4-I				
到達目標	1) 日本の戦後史について、特に国際社会とのかかわりという観点から基本的な事項を説明できる。 2) 政治・社会・経済に関する日々のニュースについて、歴史的な観点から説明できる。				
先修要件	なし。				
関連科目	なし。				
学修上の注意	・ 予習、復習をプリントによって行います。 ・ 授業中の私語がはなはだしい人は退出していただく場合があります。 ・ 授業での発問に対する応答など、主体的な取り組みを望みます。				
成績評価の方法					
評価方法	コメントペーパー30%、レポート20%、学期末試験50%				
評価基準	1) 日本の戦後史について、特に国際社会とのかかわりという観点から基本的な事項を説明できる。 2) 政治・社会・経済に関する日々のニュースについて、歴史的な観点から説明できる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
・ 希望があった場合には個別にフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし。					
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> 『日本政治史講義 通史と対話』、御厨貴・牧原出、有斐閣、2021 『もういちど読む山川日本戦後史』、老川慶喜、山川出版社、2016 『日本外交史講義 新版』、井上寿一、岩波書店、2014 『戦後政治史 新版』石川真澄・山口二郎、岩波新書、2010 『近現代日本思想史 「知」の巨人100人の200冊』和田博文・山辺春彦編、平凡社新書、2023 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問は授業後とメールにて随時受け付ける メールアドレス：h-kaneko@juntendo.ac.jp				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	金子 元	現代社会と歴史 [キーワード] 歴史学、社会科学、外交史	講義	[予習] (学習時間70分) 中学校で学習する程度の歴史の知識を確認しておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。	

2	金子 元	戦前・戦中の日本社会と国際環境 [キーワード] 天皇制度、ブロック経済、アジア太平洋戦争	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
3	金子 元	占領下の日本 [キーワード] GHQ、民主化、日本国憲法	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
4	金子 元	冷戦と講和 [キーワード] 朝鮮戦争、サンフランシスコ講和会議、外交3原則	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
5	金子 元	高度成長期の社会 [キーワード] 所得倍増計画、大衆消費社会、公害問題	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
6	金子 元	高度成長期の内政と外交 [キーワード] 55年体制、日米安保改定問題、「教師と生徒の関係」	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
7	金子 元	「経済大国」と「自立外交」(1) [キーワード] ベトナム戦争、沖縄復帰問題、ニクソン・ショック	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
8	金子 元	「経済大国」と「自立外交」(2) [キーワード] 日中国交正常化、日本列島改造論、石油危機	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
9	金子 元	新自由主義と対米関係の模索 [キーワード] 第二臨調、環太平洋連帯構想、日米貿易摩擦	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
10	金子 元	バブル経済と冷戦終結 [キーワード] プラザ合意、バブル経済、マルタ会議	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。

11	金子 元	冷戦後の世界と政界再編 [キーワード] 「新しい中世」、湾岸戦争、55年体制崩壊	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
12	金子 元	小泉改革と日米同盟 [キーワード] 「聖域なき構造改革」、9・11テロ	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
13	金子 元	民主党政権から第二次安倍政権まで [キーワード] 政権交代、東日本大震災、アベノミクス、	講義	[予習] (学習時間70分) 事前に指示する動画や資料を視聴・熟読し、予備知識を身につけておくこと。 [復習] (学習時間70分) 授業で配布するプリントと授業で取ったノートを整理し、よく読み直して理解しておくこと。
14	金子 元	まとめ、授業内試験	講義、試験	[予習] (学習時間70分) これまで配布した資料や小テストなどをよく復習してテストにのぞむこと。 [復習] (学習時間70分) テストで特に間違ったところを中心に復習し、いままでの内容を自分なりにまとめなおしておくこと。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	医療の歴史	必修・選択	選択
英語科目名	History of Medicine	対象学年	1年
開講学期	前期前半	単位数	2単位
代表教員	月澤 美代子	ナンバリング	FNL12B1
担当教員	月澤 美代子、渡部 幹夫、陶 恵寧	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	人間の生老死に真摯に向き合ってきた医療の歴史は、人間の歴史そのものとも言えます。医療に関わる人間の歴史を、グローバルな観点に立って、社会、経済、文化、宗教、あるいは、患者と医師・看護師・助産師・薬剤師などの医療従事者といった様々な面から、時代の流れの中で一緒に考えていきます。なお、医療と密接な関連をもって展開してきた福祉の歴史についても、ふれていきます。			
授業の位置づけ	「医療の歴史」は、医療専門職の世界に入ってこようとしているあなたが、医療専門職とは何か、医療とは、人間とは何かを考え、そして、一人の医療専門職として自分の向かうべき方向を考えるきっかけとなることを目標にしています。あなたが、社会の中で生きる一人の人間として、これから出会う、さまざまな問題を解決しようとするとき、この「医療の歴史」の講義で学んだことや考えたことが、広い視野を与えてくれます。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP1-II、○ DP3-I、○ DP4-I			
到達目標	1) 医療の歴史に関心をもつ。 2) 医療専門職とは何であり、歴史的にどのように形成されてきたかを概説できる 3) 医療が多様な社会的・文化的背景の中で生きる人間に対して営まれてきたことを理解する。 4) 医療が集団的・蓄積的に行われてきたことを知り、現代の医学・医療を歴史の流れの中で理解することができる。 5) 医療の歴史から、自分自身の関心のある問題を切り出し、資料を調べながら深めていくことができる。			
先修要件	なし			
関連科目	なし			
学修上の注意	医学・医療の歴史は非常に広い範囲にわたっている。講義でふれることができるのは、このうちのほんの一部にすぎない。講義中にそれぞれの内容に関わる本やその他の情報の入手手段を紹介するので、自分の関心に応じていろいろ読んで知識を広げ、考えを深めてほしい。必ず復習をして、講義のポイントを理解し直しておくこと。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート成績（50%）、講義理解の確認問題への回答を含めた日々の学習状況（50%）を総合的に評価する。			
評価基準	「医療の歴史に関心を持ち、自ら課題を切り出し、資料を調べながら深めていくことができるか」、「医療の歴史を理解するための基礎事項について説明することができるか」を、課題レポート、講義中に課す学習状況確認問題に対する回答から講義担当者が判定して評価を行う。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
授業中に学習活動の一環として行った課題については、授業中にフィードバックを行い、理解を深めていく。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
『医学の歴史』 梶田昭 講談社学術文庫、2003 『医学の歴史』 William Bynum著、丸善出版、2015 『日本の看護のあゆみ』日本看護歴史学会編、日本看護協会出版会、2014 『新版 一冊でわかるイラストでわかる 図解 世界史』成美堂出版、2020 *それぞれの項目に関連する参考文献については、講義中に紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	urayasuj@juntendo.ac.jp（医療看護学部事務室）			
備考	特に指定しない。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	月澤	1. 人間と医療—イントロダクション	講義	[予習] これから学んでいこうとしている医療や看護職について、自分自身の中のイメージを確認しておく。（学習時間：2時間） [復習] 医療という観点から歴史を見ると、これまで考えてきた歴史と、どのように異なる世界が見渡せるのかを、理解してまとめる。（学習時間：2時間）

2	月澤	2. 医療はどこで、どのような人々によって行われてきたか : エーベルス・パピルス、黄帝内経、アユルヴェーダ	講義	[予習] 歴史と歴史史料との関係を確認しておく。(学習時間: 2時間) [復習] 「医療はどこで、どのような人々によって行われてきたか」を知る手掛かりについて講義の要点をまとめ、さらに、自分でも考えてみる。(学習時間: 2時間)
3	月澤	3. プロの医療者が登場するには何が必要だったのか 3-1. プロフェッショナルとは何か 3-2. 医療専門職集団とは何か : ヒポクラテス集典、医師・患者、無危害原則	講義	[予習] 紀元前の東地中海地方のおおよその歴史と関連地図を調べておく。(学習時間: 2時間) [復習] 医療専門職とは何かについて、講義の要点をまとめて理解を深める。(学習時間: 2時間)
4	月澤	4. 人間は4つの体液からできている : 体液病理学説、医学・医療理論	講義	[予習] 現代の医学・医療と伝統医学のそれぞれの特色を考えておく。(学習時間: 2時間) [復習] 医学・医療理論とは何かについて、自分が理解したポイントをまとめる。(学習時間: 2時間)
5	月澤	5. 医療の知識はどのように広がり豊かになっていくか 5-1. 医療の地域性と国際性、蓄積性 5-2. イスラム医学の特徴と医学史での位置付け	講義	[予習] 中央アジア史について基礎知識を学んでおく。(学習時間: 2時間) [復習] 医療史において、シルクロードとイスラム医学の果たした役割を理解する。医療の国際性について関連する本を読み、関心を広げる。(学習時間: 2時間)
6	月澤	6. 西欧伝統医学と医療 6-1. 西欧(ラテンキリスト教世界)とは? 6-2. 西欧の思想的・文化的背景と医学・医療 6-3. 学者の世界/職人の世界 : 人体解剖、外科、血液循環論	講義	[予習] 中学から高校で学んだ初期近代ヨーロッパについての基礎知識を復習しておく。(学習時間: 2時間) [復習] 西欧伝統医学の特徴と文化的背景について理解し纏める。(学習時間: 2時間)
7	月澤	7. 西欧で流行した感染症 : 病院/社会福祉のルーツ	講義	[予習] 中世から初期近代ヨーロッパに流行した疾患について調べておく。(学習時間: 2時間) [復習] 感染症の流行と医療施設の形成について、自分の関心に応じて時代と地域を広げて学習する。(学習時間: 2時間)
8	月澤	8. パリ学派と医療の制度化 8-1. 病院での臨床医学の誕生 8-2. パリ学派の特徴と医学史での位置づけ 課題レポートの説明	講義	[予習] フランス革命と近代との関係について基礎知識を学んでおく。(学習時間: 2時間) [復習] パリ学派によって医療の何が変化したのかを理解し、関連する参考書を読んで医療史の知識を深める。 課題レポートの説明を理解して、取り組みを開始する。(学習時間: 2時間)
9	月澤	9. 近代医学医療システムの形成と日本の医療の転換点	講義	[予習] 18世紀から19世紀の世界の動きについて基礎知識を確認しておく。(学習時間: 2時間) [復習] 東アジア文明圏の医療から近代医学・医療へと日本の医療システムと医学教育の転換がどのような時代にどのように起きたのかを、理解してまとめる。(学習時間: 3時間)
10	月澤	10. 近代医学の形成と看護専門職の誕生	講義	[予習] 専門職について、これまで「医療の歴史」の講義で学んだことを復習しておく。(学習時間: 2時間) [復習] 近代看護教育システムがどのように形成されたかを理解して纏める。日本への近代看護教育の紹介・導入・普及について、自分で関連する参考書を読んで知識を深める。(学習時間: 3時間)

11	陶	11. 東洋伝統医学の世界 11-1. 中国伝統医学(中医学)の過去と現在 11-2. 中医学の基本と特徴を知る	講義	[予習] 中国伝統医学(中医学)がどのように現在の医療に生かされているかを調べておく。(学習時間: 2時間) [復習] 中医学の特徴を理解して纏める。(学習時間: 2時間)
12	陶	12. 日本伝統医学とは 12-1. 日本伝統医学の誕生と発展 12-2. 東洋医学・漢方の特徴を知る	講義	[予習] 中国伝統医学(中医学)がどのように日本に伝来したかを調べておく。(学習時間: 2時間) [復習] 東洋医学・漢方の特徴を纏める。(学習時間: 2時間)
13	渡部	13. 近代医学の始まり 13-1. 病気の原因の理解:生理学、病理学、衛生学、細菌学 13-2. 治療法の開発:外科と麻酔、無菌法	講義	[予習] 基礎医学と臨床医学の専門分化を調べておく。(学習時間: 2時間) [復習] 現代の医学につながる科学技術の始まりを確認する。(学習時間: 3時間)
14	渡部	14. 現代医学の発展 14-1. 検査学、画像診断学の進歩と新しい治療手段の開発 14-2. 現在の医療の問題-COVID-19パンデミック	講義	[予習] 現代の診断法で可能となっている疾病の範囲を調べる。(学習時間: 2時間) [復習] 治療が可能な疾病の範囲を理解する。(学習時間: 3時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	世界の医療・福祉制度	必修・選択	選択
英語科目名	Medicine and Welfare in the World	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	2単位
代表教員	和田 勝	ナンバリング	CNL12B1
担当教員	和田 勝※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要					
全体内容	各国の医療・福祉に関する制度・政策は、それぞれの国の歴史と社会、経済財政状況等を反映して、多様なものとなっている。英国、ドイツ、フランス、スウェーデン・米国・中国を中心に、各国の医療、介護、福祉制度の現状と当面している課題、改革の動き等について学び、SDGsについての理解を深める。				
授業の位置づけ	必修科目「社会保障論」の受講で得た知識と理解を基本にして、特に医療と介護のサービスの制度と政策、サービスの提供と利用に関する制度運営の仕組みと運営の実態について学びたい。その場合、主要国の医療介護保障制度についての歴史的な変遷と展開・運営状況・当面している課題等について理解することを通じて、日本の制度に関する理解を深めるようにしたい。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DPI-II				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 世界の人口動態（平均寿命、出生率・少子化、高齢化）について説明できる。 2) 貧困問題、疾病動向について説明できる。 3) 社会保険方式と税方式について説明できる。 4) アメリカの医療保障制度について説明できる。 5) ドイツの医療・介護制度の沿革、現状について説明できる。 6) フランスの医療・介護制度の沿革、現状について説明できる。 7) イギリスのNHS（保健サービス制度）について説明できる。 8) スウェーデンの医療・介護制度について説明できる。 9) 中国の医療・介護問題、関連政策の動向について理解する。 10) わが国の医療保険・福祉制度について、世界各国の医療保障と比較した特徴、改革の課題について説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	社会保障論、社会福祉論				
学修上の注意	医療、看護の専門職の立場から、ケア・キュアのチームの一員として活躍していく上で求められる幅広い基礎知識を身につけられるようにしたい。 積極的に関心を持って授業に参加し、積極的に質問して欲しい。講義資料は別途作成し配布する。 各回の授業に関し、予習・復習に2時間程度をあてて十分に学習してほしい。				
成績評価の方法					
評価方法	期末試験(記述型)を行い、総合的に評価する。 定期試験(80%)、講義出席率(20%)を統合して評価する。 講義欠席1回につき、5点を減点とする。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 医療・福祉制度の視点から、世界の人口動態や貧困問題、疾病動向について理解している。 2) 世界各国の社会保険制度について理解している。 3) 世界各国と比較して、わが国の医療保険・介護保険制度の特徴や課題について理解している。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題やフィードバック等については、授業内に通知する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
「はじめての社会保障」 有斐閣 「日本医療保険制度史」(第3版) 東洋経済新報社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	urayasu@juntendo.ac.jp (浦安キャンパス事務室)				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	和田 勝	社会保障制度についての基本的な理解 [キーワード] 社会保障の方法、社会保障と社会保険、四つの自由、人権宣言、日本国憲法、基本的人権、児童憲章	講義	[予習] 社会保障制度とは何か、その目的と役割、歴史的な展開について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
2	和田 勝	世界の人口、貧困、疾病をめぐる問題 [キーワード] 所得・収入、水・食料・栄養、公衆衛生、環境衛生、公害・環境問題、疾病構造・医薬品・ワクチン、SDGs	講義	[予習] 平均寿命、出生率、人口構成、疾病状況、貧困について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
3	和田 勝	経済と社会保障 [キーワード] 日本と各国の少子化・高齢化の状況、少子化の要因、社会保障と経済・財政、SDGs	講義	[予習] 経済成長、雇用問題、高齢化と少子化、地域社会の変化、貧困問題と社会保障の問題について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
4	和田 勝	各国の医療福祉制度の基本的な特徴 [キーワード] 財政状況、国民負担率、付加価値税・消費税、医療・介護制度、目的税、保険料、拠出金・支援金、CSG、国と地方公共団体	講義	[予習] 社会保険方式と税方式、社会保障制度の財源、負担と給付について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
5	和田 勝	ドイツの医療・福祉 [キーワード] ビスマルク、疾病金庫の状況、介護保険の創設、現金給付、リスク構造調整、参照価格制度	講義	[予習] 疾病金庫、介護保険について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
6	和田 勝	フランスの医療・福祉 [キーワード] 保険制度の概要、ラロックプラン、医療地図、一般社会拠出金(CSG)制度	講義	[予習] 国民皆保険、税財源による制度調整について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
7	和田 勝	イギリスの医療・福祉 [キーワード] 救貧制度、ベバリッジプラン、国民保健サービス(NHS)、NHS改革(サッチャー、ブレア)	講義	[予習] ナショナル・ヘルス・サービス、家庭医について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
8	和田 勝	スウェーデンの医療・福祉	講義	[予習] ノーマライゼーション、コミュニティケア、ケアつき住宅、グループホームについて調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
9	和田 勝	アメリカの医療・福祉 [キーワード] 独立宣言、ニューディール、社会保障法、四つの自由、メディケア、メディケイド、オバマケア、トランプ政権とバイデン政権	講義	[予習] アメリカの社会、メディケア、メディケイド、マネージドケア、オバマ改革について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
10	和田 勝	中国の医療・福祉 [キーワード] 経済成長、人口問題、医療制度、医療保険制度、介護問題	講義	[予習] 経済成長、人口構成、ひとりっ子政策、都市と農村、較差問題について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
11	和田 勝	開発途上国の医療・福祉 [キーワード] 貧困、公衆衛生、人材の確保と養成、医療提供体制、SDGs	講義	[予習] 食糧・栄養、公衆衛生、ワクチン、医薬品、母子保健について調べてくる。(学習時間90分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間90分)
12	和田 勝	日本の医療・介護・福祉制度を巡る問題と改革の方向 [キーワード] 社会保障、消費税、目的税、プライマリーバランス、高齢者医療制度、拠出金、支援金、地域包括ケア、オンライン診療・マイナンバー制度	講義	[予習] 経済・財政と社会保障、税と保険料、マイナンバーと医療保険、医療の情報化について調べてくる。(学習時間150分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間150分)
13	和田 勝	世界の医療・福祉をめぐる課題 [キーワード] 貧困問題、人口問題、環境問題、感染症、ワクチン、生活習慣病、水・食料・栄養、高額医療・高額薬剤、ICT、終末期医療、看取り	講義	[予習] SDGsについて調べてくる。(学習時間150分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間150分)
14	和田 勝	経済・社会と医療・福祉 一まとめ [キーワード] 人権と世界平和、国際協力	講義	[予習] 13回までの講義資料、ノートを読み直して、課題や問題点を整理して授業に臨む。(学習時間180分) [復習] 授業中に指示する。(学習時間180分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	社会学入門	必修・選択	選択
英語科目名	Introduction to Sociology	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	渡 正	ナンバリング	FNL12A1
担当教員	渡 正	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	現代社会を取り巻く課題は数多く存在し、それらは私たちの身近なことから、国家規模の問題、世界全体の問題にまで広がっている。社会学の授業では、これら現代社会における諸課題とその背景知識について広く学び、様々な社会的課題を考察するための社会的理論について学ぶことを目的とする。 講義と設定されたワークによって社会学の基礎を学ぶ他、現代の社会的課題についてのグループディスカッションと発表を行い、理解を深める。				
授業の位置づけ	社会の中に生きる私達の生活や行動は社会的出来事と切り離すことはできない。医療も同様に、社会の中に存在し、かつ医療自体も社会的事象である。本授業では医療を含む様々な社会的諸課題の背景について学び、課題を考察するための理論と方法を学習することで、本学部における学修の基礎として位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DPI-II, ODP4- I				
到達目標	1. 現代社会における課題を理解し、それが生じる背景的な問題を理解できる。 2. 現代社会における課題を考えるための社会的理論／知識を理解し説明できる。 3. 現代社会における課題を社会的な観点から解釈し、自らの考えとしてまとめる事ができる。				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（筆記）70%、提出された課題の内容20%、その他課題の取り組み状況10%。 授業態度が授業進行上においてふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とする。				
評価基準	1. 現代社会における課題とその背景の問題を把握することができる（小テスト） 2. 現代社会における課題を理解するための社会学知識を理解している（定期試験） 3. 現代社会における課題を社会的な観点から考察することができる（ワーク）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックは授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考文献					
友枝俊雄・浜日出夫・山田真茂留編（2017）『社会学の力：最重要概念・命題集』有斐閣。 由井清光ほか（2020）『3STEPシリーズ 社会学』昭和堂。 上記は必ず用意しなければならないテキストではありませんが、レポート作成や準備学習の参考図書です。 その他、授業・準備学習に関わる必要な資料は、授業中に適宜配布するか、J-Pass上にアップロードしますので、各自ダウンロードしてください。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に受け付けるほか、随時メール等（t-watari@juntendo.ac.jp）で受け付ける。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	渡	テーマ：社会学的想像力とは 社会学の基本的な考え方を紹介する。	プリントとスライドを用いて講義形式で行う。提示されたワークを行い、提出する。	予習：2時間 J-Passにアップされた資料を読んでおくこと。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
2	渡	テーマ：近代社会の成立と社会学 大きな社会変動であった近代社会の成立と、それを分析する学としての社会学をコント・デュルケーム・ウェーバーの学説から考える	プリントとスライドを用いて講義形式で行う。提示されたワークを行い、提出する。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
3	渡	自己の社会学 自己つまり自分とはなにか？について、ミードやクーリー、ギデンズ、ルーマンの議論を紹介することから「私」の存在について、検討する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
4	渡	日常的行為の社会学 ゴフマンによる日常的行為の社会学から、およびエスノメソドロジーの会話分析から、私たちの日常的行為がいかに成り立っているかを解説する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
5	渡	テーマ：制度場面のコミュニケーション 地位-役割理論とIRE連鎖など「ワークの実践」について解説する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
6	渡	テーマ：教育制度と教育機能の社会学 現代社会における能力主義と学校教育の社会化／選抜・配分機能について解説し、学校教育の歴史とその機能について理解を深める。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
7	渡	テーマ：少子高齢化社会の諸相 人口動態および出生率、未婚化・晩婚化、諸国の対応などについて解説し、現代日本における少子高齢化問題について理解する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
8	渡	テーマ：貧困問題とは 絶対的貧困、相対的貧困、相対的剥奪やジニ係数について解説し、現代の格差社会の進展と日本の貧困問題について理解する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
9	渡	テーマ：社会的排除 社会階層論、社会的排除、基本的人権について解説し、日本における差別（部落・地域）の問題について理解する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
10	渡	テーマ：ジェンダーとセクシュアリティの多様性 ジェンダー、セクシュアリティ、セクシュアル・マイノリティについて解説し、マジョリティからの抑圧と性の多様性についてのフェミニズム理論を理解する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。

11	渡	テーマ：障害の社会学 ICF、障害の個人モデル、障害の社会モデル、共生社会について解説し、障害とは何か、共生社会とは何かについて理解する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
12	渡	テーマ：民族とナショナリズム 民族、国民、国民国家、ナショナリズムなどについて、B・アンダーソンの「想像の共同体」論の視点から解説する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
13	渡	テーマ：メディアはメッセージである エンコーディング／デコーディング、ホット／クールメディア、メディアの機能分析（順機能・逆機能）などについて解説し、現代社会の各メディアの特徴と機能について理解する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
14	渡	テーマ：グローバリゼーション グローバリゼーション、新自由主義、多文化主義、福祉国家など、現代社会のグローバル化の状況を解説し、グローバル化に伴う経済・社会・政治・文化の問題について理解する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。
15	渡	テーマ：現代社会の諸相 消費社会（記号消費）や、ポストモダン、データベース型社会や生権力など、現代社会で生起する事象を考えるための諸理論を解説する。	講義形式の授業に加え5名程度のグループになりワークシートに従ってワークとグループディスカッションを行う。	予習：2時間 J-Passにアクセスし、提示された課題について各自で調べて提出する。 復習：2時間 授業内容や資料を読み返し、理解を深めておく。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	基礎化学	必修・選択	選択
英語科目名	Basic Chemistry	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	堀内 優奈	ナンバリング	FNL13A1
担当教員	堀内 優奈	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	医学を学ぶに当たっては、生体内で起こる多様な生命現象を分子レベルで深く理解する必要がある。そのためには様々な物質の構造や性質、反応機構に関する知識が不可欠である。本講義では、理論化学、無機化学、有機化学の各分野から特に生命現象と関わりの深い領域を中心に扱う。高校までに修得してきた化学の知識を再確認し理解を深めながら、生化学、生理学、薬理学、病態学、臨床化学等の専門科目を理解するための基礎を養う。同時に看護職者として業務を遂行する上で、臨床現場において求められる知識を身につける。				
授業の位置づけ	医療について学び、また看護について実践するために必要不可欠となる生命現象の基礎について学修する。本授業は「人間の健康」「看護の理論と方法」に関する科目すべての基礎と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-1				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物質を構成する原子・分子についてその基本的な構造、性質を説明する事ができる。 2. 物質が示す気体・液体・固体という3つの状態についてその特徴を説明できる。特に気体の性質について説明できる。 3. 物質が水に溶ける、溶けないを決めている水との相互作用について説明できる。 4. 水溶液の性質、特に濃度、酸と塩基、緩衝作用について説明できる。 5. 有機化合物について、その基本構造と官能基とその反応について説明できる。 6. 脂質の種類と基本性質について説明できる。 7. 糖質の種類と基本性質について説明できる。 8. アミノ酸・タンパク質の基本構造と性質について説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用テキストを持参すること。 2. 記載されている予習項目を必ず授業時間までに学習し、疑問点を整理して授業に臨むこと。わからないところは質問や自習で積極的に解明するようにしてください。高等学校で化学を履修しなかった学生は特に疑問点をそのままにせず、積極的に質問して下さい。 				
成績評価の方法					
評価方法	中間試験 (30%)、期末試験 (50%)、小テスト (20%)で評価します。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物質を構成する原子や元素の概念について説明することができる。(中間試験、期末試験、小テスト) 2. 物質が示す気体・液体・固体という3つの状態についてその特徴を説明することができる。(中間試験、期末試験、小テスト) 3. 物質を構成する原子や元素について周期表と結びつけ、その基本的な構造、性質を説明することができる。(中間試験、期末試験、小テスト) 4. イオン結合、共有結合、金属結合についてその違いと特徴を説明することができる。(中間試験、期末試験、小テスト) 5. 原子量、分子量、物質量の概念を理解し、化学反応式を組み立てることが出来る。(中間試験、期末試験、小テスト) 6. 質量パーセント濃度とモル濃度の違いを理解し、その平易な計算が出来る。(中間試験、期末試験、小テスト) 7. 酸・塩基・pHの概念を理解し説明することが出来る。(中間試験、期末試験、小テスト) 8. 酸化反応・還元反応について説明することが出来る。(中間試験、期末試験、小テスト) 9. アシドーシス・アルカローシスについて理解し説明することが出来る。(中間試験、期末試験、小テスト) 10. 酵素反応について理解し、反応が促進される条件について述べる事が出来る。(期末試験、小テスト) 11. 有機化合物、炭化水素を、結合や官能基に基づき分類することが出来る。(期末試験、小テスト) 12. 糖質、脂質、タンパク質、核酸の種類と基本構造・性質について説明することができる。(期末試験、小テスト) 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業内に課す小テストについては、授業内で解説を行う。 定期試験については、J-PASS上で模範解答を示す。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	生理学・生化学につながるていねいな化学	白戸亮吉、小川由香里、鈴木研太	羊土社	978-4-7581-2100-2	
参考文献					
適宜、資料を配布します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	連絡先：y.horiuchi.bw@ オフィスアワーについては授業内で周知する。				
備考	学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	堀内 優奈	物質の構成 【キーワード】 原子、元素、物質の状態	講義	【予習】使用テキストのp12~p19を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
2	堀内 優奈	原子構造と周期表 【キーワード】 原子、周期表、電荷、陽イオン、陰イオン	講義	【予習】使用テキストのp20~p33を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
3	堀内 優奈	化学結合 【キーワード】 イオン結合、共有結合、金属結合	講義	【予習】使用テキストのp34~p57を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
4	堀内 優奈	物質と化学反応式 【キーワード】 分子量、濃度、化学反応式	講義	【予習】使用テキストのp58~p76を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
5	堀内 優奈	酸と塩基 【キーワード】 酸、塩基、pH、中和	講義	【予習】使用テキストのp77~p91を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
6	堀内 優奈	酸化還元反応 【キーワード】 酸化還元反応、酸化、還元	講義	【予習】使用テキストのp92~p104を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
7	堀内 優奈	体液の酸塩基平衡・第1回~第7回の復習 【キーワード】 酸塩基平衡、緩衝作用、アシドーシス、アルカローシス	講義	【予習】使用テキストのp114~p122を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。第1回~第6回の授業で学習した知識を復習し、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) ※使用テキスト上とは順番が前後しているので注意すること。 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
8	堀内 優奈	中間試験 【キーワード】 原子、化学結合、物質、化学反応、酸、塩基、酸化還元反応、酸塩基平衡	講義	【予習】第1回から第7回の授業内容について、教科書、講義資料、ノートなどを用いて自分の言葉で説明できるよう十分に理解しておく。その過程で疑問点が見つかった場合には、事前に質問や自習で解決しておく。(学習時間3時間) 【復習】試験内容について振り返り、理解が出来ていなかった箇所については、再度教科書、講義資料、ノートなどに戻って内容を確認する。(学習時間3時間)

9	堀内 優奈	中間試験の解説・酵素反応 【キーワード】 酵素、反応速度、活性化エネルギー、触媒	講義	【予習】中間試験で間違えた設問について、復習し、疑問点を整理しておく。使用テキストのp105～p113を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
10	堀内 優奈	有機化合物の基礎 【キーワード】 炭化水素、鎖式/環式炭化水素、飽和/不飽和炭化水素、官能基	講義	【予習】使用テキストのp123～p131を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
11	堀内 優奈	糖質 【キーワード】 単糖、二糖、多糖、異性体	講義	【予習】使用テキストのp132～p147を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
12	堀内 優奈	脂質 【キーワード】 脂質、脂肪酸、飽和/不飽和脂肪酸、単純/複合脂質	講義	【予習】使用テキストのp147～p158を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
13	堀内 優奈	タンパク質 【キーワード】 アミノ酸、タンパク質、ペプチド結合、等電点	講義	【予習】使用テキストのp159～p174を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。(学習時間2.5時間)
14	堀内 優奈	核酸 【キーワード】 核酸、DNA、RNA	講義	【予習】使用テキストのp175～p184を予め読み、概要を理解して、疑問点を整理しておく。(学習時間1.5時間) 【復習】予習でピックアップした疑問点が理解できたか確認をする。疑問点が残る場合には質問や自習で解決しておく。講義内容について再度教科書や講義資料を読み、必要に応じてノートにまとめ、理解を深めておく。さらに、第1回から第14回の授業内容について、教科書、講義資料、ノートなどをを用いて自分の言葉で説明できるよう十分に理解しておく。その過程で疑問点が見つかった場合には、そのままにせず質問や自習で解決しておく。(学習時間5.5時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	生物	必修・選択	選択
英語科目名	Biology	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	中山 仁志	ナンバリング	FNL13A2
担当教員	中山仁志※、岩淵和久※、山地俊之※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	生き物とは何かについて、進化と発生・分化を縦系に、高校までの生物と基礎医学の橋渡しを横系にして学んでいく。生体内でどのような化学反応が起こり、それらがいかに調節されているのかを学ぶ。細胞間の情報伝達や免疫応答の機構、ならびに細胞内情報伝達分子による情報伝達機構や遺伝子発現機構とは何かを概観する。そして、人間がどの様にして生命活動を営んでいるか、それがなぜ破綻するかを理解する。				
授業の位置づけ	生体内における化学反応やそれらの調節機構、さらには、細胞内外の情報伝達や免疫応答機構、遺伝子発現機構等を学修することで生命活動とその破綻に対する理解を深め、生化学や薬理学、臨床医学などを学ぶうえでの基礎となる講義と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎ DP2-I : 医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 △ DP1-II : 教養を身につけた市民として行動できる能力 △ DP1-III : 倫理的課題に対応できる基礎的能力				
到達目標	1) 生体を構成する分子について説明できる。 2) 生体内で行われる物質代謝について説明できる。 3) 酵素の性質と代謝反応について説明できる。 4) 遺伝と生物進化、その関連性について説明できる。 5) ホメオスタシスの仕組みを分子レベルで説明できる。 6) 生命誕生と個体の死について、その仕組みを分子レベルで説明できる。				
先修要件	生命現象の理解を履修することが望ましい				
関連科目	生命現象の科学、免疫の科学、形態機能学Ⅰ・Ⅱ、生化学、薬理学、臨床栄養学、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、性と生殖、その他生物としてのヒトが関連する科目全て				
学修上の注意	・ガイダンスに従って、講義内容について予習しておくこと。 ・覚えなければならぬ単語・用語が多く、新しい言葉や内容を進んで学び取るように努めること。 ・高校で生物を学ばなかった、または”生物基礎”しか履修しなかった学生はこの科目を必ず選択すること。				
成績評価の方法					
評価方法	・定期試験（60％）、レポート課題（25％）及び講義中の小テスト（15％）で評価する。				
評価基準	・以下の1)～6)の項目について、その仕組みを分子レベルで説明することができるか。 1) 生体を構成する分子 2) 生体内で行われる物質代謝 3) 酵素の性質と代謝反応 4) 遺伝と生物進化 5) ホメオスタシスの仕組み 6) 生命誕生と個体の死 ・専門基礎科目を中心とした看護学を学ぶ上で必要となる生物学の知識範囲を理解できているか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	生物学	高畑雅一、増田隆一、北田一博	医学書院	9784260015844	
	視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録		数研出版	9784410281662	高校の生物の図録を持っていれば、改めて購入する必要は無い
参考文献					
・基礎から学ぶ生物学・細胞生物学（第3版）（和田勝 著、羊土社） ・Essential細胞生物学（南江堂） ・ハーバー生化学（丸善） ・医歯薬系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学Ⅲ（日本医事新報社） ・好きになる生物学（講談社） ・アポトーシスの謎（小川勝洋 著、南山堂） ・ヒトはどうして老いるのか：老化・寿命の科学（田沼靖一 著、筑摩書房） ・絵でわかるがん遺伝子（野島博 著、絵でわかるシリーズ、講談社） ・シリーズ新・がん医学入門1～3（谷口直之 他 編集、中山書店） ・その他として図書館に備わっている生物学、生化学、分子生物学、免疫学の書物					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと）nhitoshi@				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	中山	生物とは何か キーワード：生物の定義、細胞の構造、細胞内オルガネラ	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
2	山地	生体を構成する物質と代謝（Ⅰ） キーワード：生体を構成する物質の種類、糖質・タンパク質・脂質の構造	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
3	岩淵	生体を構成する物質と代謝（Ⅱ） キーワード：酵素と代謝、酵素の種類、クエン酸回路、電子伝達系、ATP	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
4	中山	生物の進化と多様性（Ⅰ） キーワード：進化論、遺伝の仕組み、遺伝と突然変異	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
5	中山	生物の進化と多様性（Ⅱ） キーワード：生物進化、遺伝の法則、メンデル遺伝、染色体の乗換え、遺伝子の組換え、遺伝病	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
6	中山	生態系と環境 キーワード：生態系と環境変化、環境要因と遺伝・進化	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
7	中山	細胞生物学を紐解く（Ⅰ） キーワード：細胞の構造と機能を調べる方法、DNA・RNAの構造	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと。（学習時間：2時間） 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること。（学習時間：2時間）
8	中山	細胞生物学を紐解く（Ⅱ） キーワード：細胞間・細胞内情報伝達、ホルモンによる情報伝達	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと。（学習時間：2時間） 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること。（学習時間：2時間）
9	岩淵	ホメオスタシス（神経） キーワード：神経伝達、脳の構造と仕組み、シナプス、神経伝達物質	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと。（学習時間：2時間） 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること。（学習時間：2時間）
10	岩淵	ホメオスタシス（免疫） キーワード：主要組織適合抗原、自己と非自己、自然免疫、獲得免疫、抗原提示	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
11	岩淵	ホメオスタシス（内分泌・サイトカイン） キーワード：インスリンをはじめとするホルモンの作用、糖尿病、サイトカインネットワーク、炎症応答	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
12	中山	生命誕生と死（Ⅰ）：発生と分化 キーワード：遺伝子発現機構、DNA複製、RNAの転写、タンパク質翻訳、受精のメカニズム、オーガナイザー、ホメオボックス遺伝子	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
13	岩淵	生命誕生と死（Ⅱ）：発生と分化 キーワード：細胞周期・細胞死・老化・細胞分裂と細胞周期、アポトーシス、ネクローシス、テロメア	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。
14	中山	生命誕生と死（Ⅲ）：がん キーワード：細胞の不死化とがん、癌原遺伝子、癌抑制遺伝子	講義	予習：授業タイトルに相当する高校の生物の教科書をよく読んでおくこと（学習時間：2時間）。 復習：授業で出題した例題を解きよく理解すること（学習時間：2時間）。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	生命現象の科学	必修・選択	選択
英語科目名	Science of Life Phenomena	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	中山 仁志	ナンバリング	CNL13B1
担当教員	中山仁志※、岩淵和久※、山地俊之※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	21世紀は分子生物学とそれによって生み出された遺伝子工学（バイオテクノロジー）によって生命科学が革新的に発展しつつあります。医療の分野においても、COVID-19に対するワクチン、出生前診断や分子医薬、再生医療など新しい診断や治療法が次々と開発され、看護職者にとっても必須の知識となっています。そこで、看護職者として必要となる生命科学の知識を身につけることを目標にします。なお、授業内で実際に生体成分の分析に関する実験演習を行います。				
授業の位置づけ	人体の様々な生命現象の中でも分子生物学の恩恵を最も受け、進歩の著しい免疫に焦点を当て、生命科学が解き明かしつつある免疫の仕組みと、バイオテクノロジーを用いて実際に行われようとしている遺伝子診断、遺伝子治療、臓器移植などの先端医療について、その原理や方法・臨床応用について学びます。さらに、その結果として生じる生命倫理に関する問題などについて学びます。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎ DP2-I : 医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 △ DP1-II : 教養を身につけた市民として行動できる能力 △ DP1-III : 倫理的課題に対応できる基礎的能力				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体を構成する分子の分析方法を説明できる。 ・バイオテクノロジーの方法を説明できる。 ・遺伝子診断・遺伝子治療・臓器移植などの先端医療の原理・方法・臨床応用について説明できる。 ・バイオテクノロジーを活用した医療によって生じる生命倫理に関する問題について説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	生物、形態機能学、生化学、微生物学、薬理学、臨床医学全般、成人看護学全般、小児看護学全般、臨床薬理学				
学修上の注意	・ビデオ教材を用いるなど、できるだけ易しい講義を心がけますが、理解するためには予習と復習が欠かせません。				
成績評価の方法					
評価方法	課題提出試験80%、授業内でのプレゼンテーション・パフォーマンス20%				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫について説明できる ・組織主要適合性遺伝子複合体について説明ができる ・獲得免疫の仕組みを説明できる ・遺伝子工学の手法を理解している ・生命科学の進歩に基づく生命倫理の問題を説明できる 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<p>わかりやすい免疫学（廣川書店） スタンダード免疫学（丸善） 免疫 - 感染症と炎症性疾患における免疫応答（メディカルサイエンスインターナショナル） はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学（羊土社） 医歯薬系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学（日本医事新報社） 他 図書館に備わっている分子生物学、免疫学の書物</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時 nhitoshi@ 迄連絡し、アポイントをとること				
備考	現代 生命科学 羊土社				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	中山	生命科学とはどのようなものか キーワード：身近な技術としての分子生物学、遺伝子診断、遺伝子治療、分子医薬	講義	予習：第一章について読んでくる。(学習時間2時間) 復習：授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
2	中山	細胞はどのようにして情報を伝達しているのか (I) -ホルモン、サイトカインと受容体について調べる- キーワード：ホルモン、サイトカインとその受容体	講義	予習：タイトルにある内容について生化学の教科書と形態機能学の教科書について読んでくる。(学習時間2時間) 復習：授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
3	中山	細胞はどのようにして情報を伝達しているのか (II) -情報伝達機構を理解する- キーワード：シグナル伝達分子	講義	予習：予め配布するプリントとタイトルにある内容について生化学の教科書と形態機能学の教科書について読んでくる。(学習時間2時間) 復習：授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
4	岩淵	生物物質はどう分析するのか？ -生命科学の基礎技術を学ぶ- -カラムクロマトグラフィーを用いた実験演習を行う- キーワード：カラムクロマトグラフィー、HPLC	講義・演習	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
5	山地	遺伝子診断と遺伝子治療 -遺伝子工学の技術を学ぶ- キーワード：ゲノム編集、遺伝子干渉	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
6	中山	プロテオミクス、グライコミクス、リポミクス -タンパク質や糖鎖、脂質の構造解析について知る- キーワード：プロテオミクス、グライコミクス、リポミクス、構造解析	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
7	岩淵	生命科学と医療 キーワード：生命倫理	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	免疫の科学	必修・選択	選択
英語科目名	Immunological Science?	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	中山 仁志	ナンバリング	CNL13B2
担当教員	中山仁志※、岩淵和久※、山地俊之※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	COVID-19の世界的パンデミックに見られるように、感染とそれに対する免疫応答に関する知識は、看護学においても大変重要な内容です。この授業では、人体の様々な生命現象の中でも、分子生物学の進展により臨床応用が急速に進んでいる免疫学に焦点を当て、生命科学が解明しつつある自然免疫や獲得免疫の仕組みや、臨床応用されている免疫療法についての知識を身につけることを目標にします。				
授業の位置づけ	看護実践に必須の知識である、感染免疫についての知識を身につける				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎ DP2-I : 医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 △ DP1-II : 教養を身につけた市民として行動できる能力 △ DP1-III : 倫理的課題に対応できる基礎的能力				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫の仕組みが説明できる。 ・獲得免疫の仕組みについて説明できる。 ・炎症反応とサイトカインの機能について説明できる。 ・臨床応用されている免疫に関する分子標的薬を説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	生物、形態機能学、生化学、微生物学、薬理学、臨床医学全般、成人看護学全般、小児看護学全般、臨床薬理学				
学修上の注意	・ビデオ教材を用いるなど、できるだけ易しい講義を心がけますが、理解するためには予習と復習が欠かせません。				
成績評価の方法					
評価方法	課題提出試験80%、授業内演習でのプレゼンテーション・パフォーマンス20%				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子工学の手法を理解している ・生命科学の進歩に基づく生命倫理の問題を説明できる 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
わかりやすい免疫学（廣川書店） スタンダード免疫学（丸善）他 図書館に備わっている分子生物学、免疫学の書物					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと nhitoshi@ 迄）				
備考	ぜんぶわかる血液・免疫の事典（成美堂出版）				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	中山	免疫総論 [キーワード] 身近な技術としての分子生物学、遺伝子診断、遺伝子治療、分子医薬	講義	[予習] 免疫についてこれまで学んだ知識を整理する。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
2	中山	自然免疫 (I) -貪食細胞・NK細胞の機能- [キーワード] 病原体関連分子パターン	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
3	中山	自然免疫 (II) -補体系と炎症応答- [キーワード] 好中球、マクロファージ、補体、抗体、炎症メディエーター、サイトカイン、ケモカイン	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
4	岩淵	獲得免疫 (I) -主要組織適合遺伝子複合体- [キーワード] MHCクラスI・II分子、抗原提示細胞	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
5	岩淵	獲得免疫 (II) -液性免疫・細胞性免疫と粘膜免疫- [キーワード] Tリンパ球、Bリンパ球	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
6	中山	獲得免疫 (III) -免疫を用いた治療法- [キーワード] PD-1、CTLA-4、がん免疫	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)
7	山地	感染免疫 [キーワード] パターン認識受容体、薬剤耐性菌、細胞内寄生	講義	[予習] 予め配布するプリントとタイトルにある内容について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 授業で示されたプリントの内容を理解する。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	情報科学	必修・選択	選択
英語科目名	Information Science	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	大橋 真也	ナンバリング	FNL13B1
担当教員	大橋 真也、寺尾 勘太、橋 孝昌	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>医療の現場においては、様々な場面で情報通信技術（ICT：Information and Communication Technology）が盛んに活用されている。このため将来看護の仕事に携わる者にとっても、情報処理システムやネットワークの基本的概念を理解し、これを有効に利用することが必要不可欠である。</p> <p>本授業では、実際にパソコンを使用し、コンピュータの仕組みと操作方法から始め、インターネットを活用した情報収集の仕方、情報を整理するための基礎的な文書処理や数値処理の仕方を習得する。注目の高まっているAI（人工知能）技術が、どのように医療看護の分野で利用されているかも紹介する。</p> <p>さらに医療の現場に特有なデータ処理である、生体信号・医用画像のコンピュータ処理に関して、その基礎的な考え方を学ぶと共にコンピュータ実習を通し生きた知識を身につける。</p> <p>本授業では知識・技術の習得だけでなく、ネットワークの進んだ社会で一人一人が情報を正しく扱うために、情報モラルについても学ぶ。</p>				
授業の位置づけ	情報科学では医療看護における情報処理（コンピュータ処理、ネットワーク利用）の基礎を学び、2年次の医療とコンピュータへ発展させる。また情報科学で学ぶExcelによるデータ活用は、統計学・統計演習への第1歩でもある。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。</p> <p>◎ DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力</p> <p>○ DP1-II：教養を身につけた市民として行動できる能力</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) コンピュータの情報処理についてその基本を説明できる。 2) ネットワークの基本概念を説明できる。 3) インターネットを活用した情報収集ができる。 4) コンピュータによる文書処理や数値処理ができる。 5) AI技術が医療看護分野でどのように活用されているか、その概要を理解できる。 6) ネットワーク等で情報を活用するために、情報モラルを守ることができる。 7) 医用画像のデジタル化とコンピュータ処理の基礎を理解できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	医療とコンピュータ、統計学、統計演習				
学修上の注意	本授業では、パソコンの操作技術を段階的に習得していくため、1回でも欠席すると以降の内容が理解できなくなる恐れがある。そのため、遅刻・欠席等をしないようにすること。特に、12回目～14回目の授業は全て出席することが必要です。				
成績評価の方法					
評価方法	提出された課題内容の成績（70%）と平常点（30%）により総合的に行う。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) コンピュータの情報処理、ネットワークの基本概念について説明できるか。 2) インターネットを活用して情報収集ができるか。 3) コンピュータによる文書処理や数値処理ができるか。 4) 情報モラルを理解できているか。 5) 剽窃や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。 6) 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックは希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
授業の中で随時紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>授業担当者ごとに連絡先が異なります。まずはメールで連絡すること。</p> <p>・大橋 真也 (s. ohashi@juntendo. ac. jp)</p> <p>・寺尾 勘太 (k. terao. qd@juntendo. ac. jp)</p> <p>・橋 孝昌 (t. tachibana. oh@juntendo. ac. jp)</p>				
備考	自作のテキスト（資料）を使用する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
① 4/18- 3, 4限	寺尾・橋	テーマ：情報収集と情報交換 ガイダンス パソコンの基本的操作と情報モラル [キーワード] ・パソコンの起動・シャットダウン ・電子メールの使い方 ・SNSの利用における注意点（情報モラル）	講義	[予習] ・パソコンのキーボード入力になれておく（できればよい）（学習時間30分） [復習] ・パソコンの基本操作とメールの送信方法を確認しておく（学習時間30分）
② 5/2- 3, 4限	寺尾・橋	Wordによる文書作成 [キーワード] ・インデント、フォント、改ページ、ヘッダーとフッター ・図の挿入、文書校正機能 ・インターネットによる文献検索 ・文献の引用法、著作権（コピーライト）	講義・演習	[予習] ・Wordのできることを検索しておく（学習時間30分） [復習] ・Wordでの文書作成や情報の扱い方を確認する（学習時間30分）
③ 5/9- 3, 4限	寺尾・橋	Excelによる表やグラフの作成<1> [キーワード] ・データ入力 ・表の作成 ・関数の使い方	演習	[予習] ・Excelのできることを検索しておく（学習時間30分） [復習] ・Excelでの計算方法、表の作成方法を確認する（学習時間30分）
④ 5/16- 3, 4限	寺尾・橋	Excelによる表やグラフの作成<2> [キーワード] ・グラフの作成（複合グラフ） ・グラフの読み方	講義・演習	[予習] ・前回の内容（特にセル入力と計算方法）を確認する（学習時間30分） [復習] ・グラフの作成方法を確認する（学習時間30分）
⑤ 5/23- 3, 4限	寺尾・橋	Excelによる表やグラフの作成<3> [キーワード] ・データ解析の方法 ・統計学の初歩 ・平均、分散、正規分布	演習	[予習] ・前回の内容（特にセル入力と計算方法）を確認する（学習時間30分） [復習] ・基本的な統計について確認する（学習時間30分）
⑥ 6/6- 3, 4限	寺尾・橋	PowerPointによるプレゼンテーション技法 [キーワード] ・スライドの作成 ・テキストボックス ・図やイラストの挿入 ・音声入力	演習	[予習] ・PowerPointのできることを検索しておく（学習時間30分） [復習] ・スライドの作成方法を確認する（学習時間30分）
⑦ 6/13- 3, 4限	寺尾・橋	PowerPointによるプレゼンテーション作成 [キーワード] ・アウトラインの作成 ・スライドの作成 ・リハーサルの方法 ・プレゼンテーションの方法の検討 ・配付資料の作成	演習	[予習] ・班ごとに授業で行う作業をあらかじめ決めておく（学習時間30分） [復習] ・プレゼンの進行度合い、次の週末までに行うことについて確認する ・良いプレゼンとは？を考える（学習時間30分）
⑧ 6/20- 3, 4限	大橋	社会の変化 [キーワード] ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット ・データの増加、コンピュータの進歩 ・Society5.0、データ駆動型社会 ・人間の知的活動とAI	講義	[予習] ・ビッグデータやSociety5.0などのキーワードについて調べる（学習時間1時間） [復習] ・授業内容を復習し、課題に取り組む。（学習時間1時間）
⑨ 6/27- 3, 4限	大橋	社会におけるデータの活用 [キーワード] ・1次データと2次データ ・オープンデータ ・構造化データと非構造化データ ・データの作成と収集	講義	[予習] ・オープンデータや最近社会で使われているデータについて調べる。（学習時間1時間） [復習] ・授業内容を復習し、課題に取り組む。（学習時間1時間）
⑩ 6/29-3 限	大橋	データ・AIの活用領域とその技術① [キーワード] ・データ・AIの活用領域の進展 ・製造、物流、販売、マーケティング、サービス等での活用 ・仮説検証、知識発見、原因究明、判断支援等	講義	[予習] ・AIとデータの関連や活用分野について調べる。（学習時間1時間） [復習] ・授業内容を復習し、課題に取り組む。（学習時間1時間）
⑪ 7/4- 3, 4限	大橋	データ・AIの活用領域とその技術②、データ・AI活用の最新状況 [キーワード] ・データ解析（分類、予測） ・シミュレーション ・データの可視化 ・AIのできること ・認識技術、自動化 ・AIを活用した新たなビジネスモデル ・AIの最新の活用例	講義	[予習] ・身近でAIに用いられている技術について調べる。（学習時間1時間） [復習] ・授業内容を復習し、課題に取り組む。（学習時間1時間）

⑫ 7/6-3 限 オンデ マンド	大橋	AIの利活用の現場 [キーワード] ・データサイエンスのサイクル ・探索的データ解析 ・流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用	講義	[予習] ・EDAやCRISP-DMについて調べておく。 (学習時間1時間) [復習] ・授業内容を復習し、課題に取り組む。 (学習時間1時間)
⑬ 7/11- 3,4限 対面	大橋	データ・AIを活用する上での留意事項 [キーワード] ・個人情報保護法とGDPRなどの国際動向 ・データに関する情報モラル	講義	[予習] ・自分の身近で起きている個人情報保護に ついての問題や事件について調べておく。 (学習時間1時間) [復習] ・授業内容を復習し、課題に取り組む。 (学習時間1時間)
⑭ 7/20-4 限 オンデ マンド	大橋	データを守るための留意事項 [キーワード] ・データ駆動型社会のリスクとその対策 ・情報漏洩と情報セキュリティ ・情報を扱う際のルール	講義	[予習] ・自分のもっているPCについて、どのよう な脅威があり、そのような対策が必要なの か調べておく。(学習時間1時間) [復習] ・授業内容を復習し、課題に取り組む。 (学習時間1時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計学	必修・選択	必修
英語科目名	Statistics	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	米倉 佑貴	ナンバリング	CNL13B3
担当教員	米倉 佑貴※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要	
全体内容	統計学は根拠に基づく医療・看護 (Evidence Based Medicine (EBM)、Evidence Based Nursing (EBN)) を支える重要な学問です。統計学は健康や医療・看護の問題を発見、記述し、問題を解決する必要性を訴える手段です。また、人間の健康や医療という不確実な状況において、より正しいと思える意思決定をするための手段ともなります。本科目ではこうした統計学の基本的な考え方を理解し、標準的な手法を身につけることを目標とします。
授業の位置づけ	統計学の知識は統計解析を用いた科学論文から結果を読み取るのに必須です。科学論文に示された研究結果が蓄積して臨床実践の根拠となっていくため、根拠に基づいた医療・看護を実践する上で重要な位置を占めます。統計学は各分野の看護学の基盤となるほか、研究を実施する上でも必須の知識です。また、近年は大規模なデータを扱うことも多いため、そうしたデータを処理するためにはコンピュータの利用が必須です。コンピュータを利用してデータを処理し、統計解析を行う方法については後期の選択科目の統計演習で扱います。
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目は以下のディプロマポリシー・コンピテンシーと関連します ODP1-II, ◎DP2-I
到達目標	<p>【学修目標】</p> <p>統計学の基本的な考え方を理解し、標準的な手法を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報や知識をさまざまな角度から、論理的に分析し、表現できる。(論理的思考力) 2) 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。(問題解決力) 3) 批判的思考や分析的方法、問題解決法を活用して、人々の健康レベルに合った看護計画を立案できる。 4) 看護の課題を解決するために、適切に情報を活用することができる。 <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 統計学の基本的な概念について説明できる。 2) 記述統計の種類と特徴について説明できる。 3) 仮説検定の種類と特徴について説明できる。
先修要件	なし
関連科目	統計演習、健康と疫学、保健統計、医療看護研究Ⅰ、医療看護研究Ⅱ
学修上の注意	<p>可能な限り数学が苦手な人でも理解できるように工夫はしますが、高校までの数学 (IA, IIB程度、特に指数・対数、数列、集合論、確率、微分・積分、ベクトルと行列) を理解していた方が学習は進めやすいです。苦手意識がある人は、高校までの教科書等で復習したり、社会人向けの学び直しの本やサイトで復習しておくことをおすすめします。</p> <p>以下、役に立ちそうなサイトです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校数学学習 https://math.005net.com ・高校数学の無料学習サイトko-su- https://hs-math.komaro.net/ ・大人が学び直す数学 http://oto-suu.seesaa.net/
成績評価の方法	
評価方法	定期試験 (80%)、小テストの提出状況 (20%) を総合的に評価する。
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・データの尺度水準を区別することができる ・度数分布表を見て、データの分布の特徴を読み取ることができる ・データの尺度水準にあわせて適切な要約の方法を選択することができる ・分布の要約指標 (平均値、中央値、分位数、分散、標準偏差、範囲など) の意味を説明することができる ・分布の要約指標を計算することができる ・関連性、相関関係、因果関係の違いを説明することができる ・2つの変数の関連性を分析する方法を選ぶことができる ・クロス集計表からオッズ比やリスク比等の指標を算出するなどして、変数間の関連性を読み取ることができる ・平均値、標準偏差からCohen's dなどの関連性の指標を算出し、変数間の関連性を読み取ることができる ・共分散、相関係数を計算し、変数間の関連性を読み取ることができる ・最小二乗法により切片と回帰係数を算出し、変数間の関連性を読み取ることができる ・全数調査と標本調査の違いを説明できる ・標本抽出の種類を説明できる ・確率分布の性質を説明できる ・確率分布を応用して、確率変数値と確率または確率密度を対応付けることができる ・大数の法則、中心極限定理について説明できる ・点推定、区間推定について説明できる ・平均値、割合、分散、標準偏差の点推定値を算出できる ・平均値、割合の信頼区間を算出できる ・仮説検定の考え方を説明できる ・帰無仮説と対立仮説について説明できる ・仮説検定の誤り (第1種の過誤、第2種の過誤) について説明できる ・適切な種類の二変数の関連性の検定を選択できる ・二変数の関連性の検定の結果を読み取ることができる

試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックは原則として授業内に行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 神林博史, 三輪哲. 社会調査のための統計学. 技術評論社 2001. ・ Michael J. Crawley (野間口謙太郎, 菊池泰樹 訳). 統計学: Rを用いた入門書. 共立出版 2008. ・ 青木繁伸. R による統計処理. http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/R/ ・ 中山和弘. 看護学のための多変量解析入門. 医学書院. 2018. その他, 随時紹介します。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時メール(yyonekura@slcn.ac.jp)で受け付けます。			
備考	指定の教科書はありません。 授業時に資料を配信・配布します。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	米倉	1. 保健医療における統計学の必要性と応用例 2. データの種類, 尺度水準	講義	[予習(120分)] ・ キーワードの意味や内容を調べる。 ・ 配布資料を読む。 [復習(120分)] 保健医療看護の実践, 研究における統計学の応用例について調べる。 [キーワード] 保健統計, 保健統計指標, 根拠に基づいた医療・看護, Evidence Based Medicine, Evidence Based Nursing, Evidence Based Practice 量的データ, 質的データ, 名義尺度(変数), 順序尺度(変数), 間隔尺度(変数), 比率尺度(変数)
2	米倉	データの基本的な集計, 分布の記述	講義	[予習(120分)] ・ キーワードの意味や内容を調べる。 ・ 配布資料を読む。 [復習(120分)] ・ データの分類, 集計や図示の方法, 代表値と散布度の意味, 種類, 特徴について復習する。 ・ 練習問題に回答する [キーワード] 度数分布表, ヒストグラム, 箱ヒゲ図, 平均値, 中央値, 最頻値, 分位数, パーセンタイル, 最小値, 最大値, 範囲, 標準偏差, 分散
3	米倉	変数の関連性の分析方法(1)クロス集計表, 平均値の比較	講義	[予習(120分)] ・ キーワードの意味や内容を調べる。 ・ 配布資料を読む。 [復習(120分)] ・ クロス集計表, 平均値の比較, 相関係数と回帰分析の手法, 相関関係と因果関係の違いについて復習する。 ・ 練習問題に回答する。 [キーワード] クロス集計表, 平均値の比較, 相関係数, 散布図, 相関関係と因果関係, 回帰分析
4	米倉	変数の関連性の分析方法(2)相関, 回帰分析	講義	[予習(120分)] ・ キーワードの意味や内容を調べる。 ・ 配布資料を読む。 [復習(120分)] ・ クロス集計表, 平均値の比較, 相関係数と回帰分析の手法, 相関関係と因果関係の違いについて復習する。 ・ 練習問題に回答する。 [キーワード] クロス集計表, 平均値の比較, 相関係数, 散布図, 相関関係と因果関係, 回帰分析

5	米倉	推測統計(1)標本調査, 確率分布, 推定	講義	<p>[予習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードの意味や内容を調べる. ・配布資料を読む. <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率分布の応用, 母集団と標本抽出, 推定の考え方について復習する. ・練習問題に回答する. <p>[キーワード]</p> <p>確率分布, 正規分布, 標準正規分布, 二項分布 母集団, 標本, 無作為抽出法 点推定, 区間推定, 信頼区間</p>
6	米倉	推測統計(2)仮説検定の考え方	講義	<p>[予習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードの意味や内容を調べる. ・配布資料を読む. <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説検定の考え方について復習する. ・練習問題に回答する. <p>[キーワード]</p> <p>帰無仮説, 対立仮説, 有意水準, 検出力, 検定統計量</p>
7	米倉	推測統計(3)様々な二変量検定-平均値の差の検定, クロス表の検定, 相関係数の検定, ノンパラメトリック検定	講義	<p>[予習(120分)]</p> <p>キーワードの意味や内容を調べる. 配布資料を読む.</p> <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの検定を適用できるデータの種類, 結果の見方について復習する. ・練習問題に回答する <p>[キーワード]</p> <p>平均値の差の検定(t検定, F検定), クロス表の検定(カイニ乗検定, フィッシャーの正確確率検定), ノンパラメトリック検定(マン・ホイットニーのU検定, ウィルコクソンの符号順位検定, クラスカル・ウォリス検定)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療とコンピュータ	必修・選択	選択
英語科目名	Medicine and Computers	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	桑鶴 良平	ナンバリング	CNL13B4
担当教員	桑鶴 良平※、京極 伸介※、杉村 雅文 ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要				
全体内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者にとって必要なICTの知識、医療分野において情報がどのように取り扱われ処理されているか、特に病院における情報システム・ネットワークシステム、臨床データの取り扱いについて学習する。 2. 病院における情報システムの重要性と問題点を、医療の質、患者サービス、医療経済等の点から学習する。 3. 地域保険・介護認定システムを含めた看護分野における情報システムの重要性と現実について学習する。 4. 以上を学んだ上で、浦安病院の医療情報システムの実際について学び、学習を深める。 			
授業の位置づけ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子カルテの開発の歴史や現在までの進歩を学ぶことにより病院実習を行う際に、電子カルテの使用法や使用時の注意点を理解し、臨むことにより病院実習をより有意義に行う事が出来る。病院実習時に電子カルテの閲覧と記載する場合はそのルールについて予め学ぶことにより、効率的な実習が行える。 2. 将来看護師として実際に業務に携わる時にも活用が可能な知識である。 3. また、本講義では、電子カルテのみならずインターネット使用時の注意についても基礎から学習する。更には、電子カルテ等に蓄積されたデータを活用する際に必要な知識や関連法律についても学ぶことにより、将来データを使用した研究を行う時に役立つ。 			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>◎DP2-I、ODP1-II、△DP1-III</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ディプロマポリシーの中で、2のエビデンスに基づいた看護を実践できる能力を培う事が可能である。 2. コンピテンシーの中では、1-II-④の情報通信技術（ICT）を用いて、情報を収集・分析し適切に活用することができる（情報リテラシー）に該当する。 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 将来の医療従事者として必要な医療情報処理が理解できる。 2. 医療情報システムの果たす役割、現状と問題点、今後の発展性、臨床データの取り扱いについて理解できる。 3. 看護情報科学およびその他の看護分野における情報システムの実際について理解し実践が可能な基礎的能力を体得する。 			
先修要件	なし			
関連科目	情報科学、統計学、統計演習			
学修上の注意	コンピュータを主とする情報機器あるいは情報処理に関する知識は医療の分野において必須のものとなっており、看護分野においても例外ではない。厚生労働省により提示された将来の医療情報に関するグランドデザインにおいては、電子カルテを平成18年度までに400床以上の病院の6割以上に普及させる目標が明示されている。従って、将来の医療の情報化にとまどうことがないよう、十分な医療におけるIT知識の習得に努めることを望む。本科目では医学部附属浦安病院におけるIT関連施設についても学び、医療におけるITが実際のどのように運用・活用されているかを理解する。			
成績評価の方法				
評価方法	レポート課題（75%）および定期試験（25%）にて評価を行う。 レポート課題評価と定期試験を合わせて60%以上を合格とする。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者として必要な医療情報処理について説明できるか。 2. 医療情報システムの役割、現状と問題点、今後の発展性、臨床データの取り扱いについて述べる事ができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
質問に対して答える。 課題等は、希望者に後日フィードバックを行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
『医療情報学 第1巻、第2巻、第3巻』日本医療情報学会 『医科系学生のためのコンピュータ入門』共立出版株式会社 『医療の個人情報保護とセキュリティ』関原成允、樋口範雄 有斐閣 診療録等の電子媒体による保存について (http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1104/h0423-1_10.html) 厚生労働省ホームページ内法令等データベースシステム (http://www.hourei.mhlw.go.jp/) 診療録等の電子媒体による保存に関する解説書 (http://www.medis.or.jp/2_kaihatu/denshi/file/kaiyetu_9910.pdf)				
その他				
連絡先・オフィスアワー	質問は随時、浦安キャンパス事務室（urayasu@）まで連絡すること。			
備考	テキストは使用せず、パワーポイントや配布資料を用いて授業を行う。			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	杉村	コンピュータとネットワーク概説（歴史、ハードウェア、ソフトウェア概要、LAN、WAN、プロトコル、セキュリティ概要） [キーワード] コンピュータ、ネットワーク、LAN、WAN	講義	[予習] 配布資料の「コンピュータとネットワーク概説（歴史、ハードウェア、ソフトウェア概要、LAN、WAN、プロトコル、セキュリティ概要）」を読んでおくこと。（学習時間70分） [復習] 授業で説明したことを整理しポイントを押さえること。（学習時間70分）
2	杉村	医療情報学概説（情報とは、医療情報学の分野と各分野概説） [キーワード] 医療情報学、医療情報システム、病院情報システム	講義	[予習] 配布資料の「医療情報学概説（情報とは、医療情報学の分野と各分野概説）」を読んでおくこと。（学習時間70分） [復習] 授業で説明したことを整理しポイントを押さえること。（学習時間70分）
3	杉村	病院情報システム（歴史と概説、医事システム、オーダーリングシステム、電子カルテ、部門システム）、部門システム [キーワード] 病院情報システム、医事システム、オーダーリングシステム、電子カルテ、病院情報システム、部門システム、看護システム、病歴システム、薬剤システム、給食システム、放射線システム、地域医療情報システム、健診システム、救急システム	講義	[予習] 配布資料の「病院情報システム（歴史と概説、医事システム、オーダーリングシステム、電子カルテ、部門システム）、地域医療情報システム」を読んでおくこと。（学習時間70分） [復習] 授業で説明したことを整理しポイントを押さえること。（学習時間70分）
4	桑鶴	電子カルテ（病院情報システム）の定義と使用における注意点 ビッグデータの取り扱い時の注意点 [キーワード] 保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン、電子カルテ、標準化、IHE、DICOM	講義	[予習] 4回の講義で学んだことを復習し、病院情報システムの概略を把握しておくこと。（学習時間70分） [復習] プリントの内容を整理し病院情報システムの成り立ちを理解すること。（学習時間70分）
5	桑鶴	統合的医療情報システムについて [キーワード] 診療録等の電子媒体による保存の3原則、情報セキュリティ、遠隔画像診断、遠隔診療、次世代医療基盤法	講義	[予習] 5回の講義で学んだことを復習し、病院情報システムの概略を把握しておくこと。（学習時間70分） [復習] プリントの内容を整理し病院情報システムの成り立ちを理解すること。（学習時間70分）
6	京極	医療のIT化と医療情報・DPCとクリニカルパス [キーワード] 医療情報システムのメリットとデメリット、DPC、クリニカルパス	講義	[予習] 前回までの講義で学んだことを復習し、病院情報システムの概略を把握しておくこと。DPCとクリニカルパスについて調べておくこと。（学習時間70分） [復習] 医療のIT化の経緯、医療情報の取り扱い、DPCとクリニカルパスのIT化について復習する。（学習時間70分）
7	京極	浦安病院におけるコンピューター活用について（診療系環境・情報系環境） [キーワード] 医療情報システム全般	講義	[予習] 今までの講義で学んだことを復習し、医療情報システムの実際について自分なりに把握する。（学習時間70分） [復習] 病院内での医療情報システムについて学んだこと、今後学ばなければならないことを列挙して、今後の実習時に活かすようにする。（学習時間70分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	生活科学	必修・選択	選択
英語科目名	Life Science	対象学年	1年
開講学期	前期後半	単位数	2単位
代表教員	森田 考恵	ナンバリング	FNL13A3
担当教員	森田 考恵	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	生活の充実と更新は、持続可能な社会を目指す上で、重要な課題である。「生活とは何か」「生活科学とは何か」「自らが健康で快適な生活をおくるためにはどのようにしたらよいか」について、家庭生活を経営し、管理するために、衣食住の視点から生活環境、生活空間、生活行動を科学的、体系的に学修する。また、看護実践へむけて自ら考察し、実践する。				
授業の位置づけ	衣食住について自らの生活を充実させ、更新していくための基礎を学ぶ。また、看護実践へむけて、実践していく。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP1-II				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 福祉住環境を整え、安全で快適な住生活を送るための生活空間と生活行動、室内環境について理解し、自ら住生活を営む。 2) 持続可能な生活を送るためにはどうしたらよいか。SDGsを基盤として自ら考察する。 3) 食について理解を深め、自ら不足している栄養素について理解し、バランスの良い食生活を送る。 4) 食品衛生、食品表示について理解し、看護実践に応用できる。 5) 自らの体型はどのような体型か、加齢に伴う体型の変化に応じた衣服の選択ができる。 6) 被服材料、被服衛生と管理について理解し、看護実践に応用できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1、主体的に授業に取り組む。 2、講義内容を生かし、各種媒体から自ら得た情報を選択する能力を身につけ、自らの考えを発表し、実践できる。 				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポート5題（20%）、試験（70%）、日々の学習状況である出席率、授業後のレポート（10%）を統合して評価する。課題レポのフィードバックは授業内で行う。				
評価基準	<p>自らの生活を評価し、どのように反映させるか。具体的に説明ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福祉住環境が安全で快適な空間は何かについて理解されているか。 2 持続可能な社会とはどのようなものか理解し、どのように実践していくか具体的に説明できる。 3 自らバランスの良い食生活を送るためには、どのように実践していくか、対策をたて、実践していく。 4 自らの体型を理解し、自らに合った衣服選びができるか。 5 界面活性剤について理解し、家庭内での界面活性剤はどんなものがあるのか、選択し、利用できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートのフィードバックは授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
「食品成分表」女子栄養大学出版部 「系統看護学講座 専門基礎3 人体の構造と機能（3） 栄養学」 医学書院 「新編被服と人体 日本人間工学会衣服部会」 日本出版サービス 「高齢者・障害にいたわりの住宅改善プラン」 山根千鶴子、後藤義明 講談社					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問は随時、浦安キャンパス事務室（urayasu@）迄連絡すること				
備考	プリントを授業の時に配布する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	森田	生活科学概要 ・生活科学とは何か ・生活科学が看護学でなぜ必要か 住生活(1) 住居の役割と機能 [キーワード] 生活科学、看護学	講義	[予習] 「生活科学が看護学でなぜ必要か」について、考えてくる。(学習時間30分) [復習] 「高齢者住宅・障害者住宅」について資料を集め、レポートについてのイメージをかためる。(学習時間60分)
2	森田	住生活(2) ・家族と住居 ・住居と地域 [キーワード] ユニバーサルデザイン、バリアフリー住宅、高齢者住宅、障害者住宅	講義	[予習] 自宅の危険箇所(問題点)とその改良点について考察してくる。(学習時間30分) [予習・復習] 「高齢者住宅・障害者住宅」についてレポートの資料を集め、レポートの方向性を考える。(学習時間60分)
3	森田	住生活(3) ・生活行動と生活空間 ・住居の安全性 ・室内環境 ・災害から身を守る(減災) [キーワード] 生活動線、室内環境、減災	講義	[予習・復習] 「高齢者住宅・障害者住宅」について資料を集め、レポートを作成する。(学習時間60分) [復習] 講義内容を理解しまとめる。(学習時間30分)
4	森田	人間の生活と生物多様性、SDGs [キーワード] 生物多様性、生物多様性条約、生物多様性戦略、SDGs	講義	[予習] 生物多様性戦略、SDGsの背景・目的・内容について調べる。(学習時間30分) [復習] 講義内容を理解し、まとめる。(学習時間30分)
5	森田	家庭経済と消費者経済 ・食糧自給率 ・フードマイレージ ・消費者保護基本法 クーリング・オフ制度 ・PL法 ・悪質商法 [キーワード] フードマイレージ、世界の食料自給率、悪質商法	講義	[レポート課題1 提出](授業中) [予習] ・フードマイレージ、日本の食料自給率について調べる。 ・悪質商法について調べる。(学習時間30分) [復習] 講義内容を理解し、まとめる。(学習時間30分)
6	森田	食生活(1) ・栄養素とその働き1 炭水化物 ・食品群 ・食育、食育基本法 ・自らの食生活について考える [キーワード] 食品群、炭水化物 食育、食育基本法	講義	[レポート課題2 提出](授業中) [予習] ・「食育基本法」とは何か? ・その社会的背景・目的・内容について調べる。(学習時間30分) ・国民・行政・事業者の役割について調べる。(学習時間30分) [復習] 講義内容を理解しまとめる。(学習時間30分)
7	森田	食生活(2) ・栄養素とその働き2 脂質、トランス脂肪酸 タンパク質 [キーワード] 必須脂肪酸、トランス脂肪酸、必須アミノ酸、混合タンパク質、第1制限アミノ酸	講義	[予習] ・必須脂肪酸、トランス脂肪酸、必須アミノ酸について調べる。(学習時間30分) [復習] ・各栄養素のポイントを復習 ・自らの食生活で不足している栄養素は何か。その対策を考える。(学習時間30分)
8	森田	食生活(3) ・栄養素とその働き3 ビタミン、無機質、水 ・食品の栄養素 主食食品 [キーワード] ビタミン、無機質、水	講義	[予習] ・自らの食生活で不足している栄養素は何か。その対策を考える。(学習時間30分) [復習] ・各栄養素のポイントを復習 ・主食食品のポイントを復習(学習時間30分)
9	森田	食生活(4) ・食品の栄養素 副食食品(主菜食品、副菜食品) ・ライフサイクルと栄養素 [キーワード] ライフサイクル	講義	[予習] ・自らの食生活で不足している栄養素は何か。その対策を考える。(学習時間30分) [復習] ・各食品のポイントを復習(学習時間30分)

10	森田	<p>食生活（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生（食品衛生法） ・食品表示（JAS法） ・食物アレルギー ・遺伝子組み換え食品 ・食品中の放射性物質の新たな基準値 ・食の安全 <p>[キーワード]</p> <p>食品衛生法、JAS法 食中毒発生状況 食物アレルギー 遺伝子組み換え食品 食品の放射性物質の基準値</p>	講義	<p>[レポート課題3 提出]（授業中）</p> <p>[予習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒関連記事を調べる。 ・食物アレルギーについて調べる。 ・「遺伝子組み換え食品」とは何か？ ・「食品の放射性物質の基準値」とは何か？ <p>（学習時間60分）</p> <p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒発生状況について調べる。 ・食品の放射性物質の発生状況について調べる。 ・講義内容を理解しまとめる。 <p>（学習時間60分）</p>
11	森田	<p>被服生活（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服の役割と機能 ・ヒトの体型的特性 ・加齢に伴う変化と被服 <p>[キーワード]</p> <p>被服、衣服、高齢者の衣服、障害者の衣服</p>	講義	<p>[予習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服と衣服の違いは何か。 ・加齢に伴う体型変化とは何か。 ・高齢者、障害者の衣服について調べる。 <p>（学習時間30分）</p> <p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を理解し、まとめる。（学習時間30分）
12	森田	<p>被服生活（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JISサイズ、サイズ表示 ・体型と衣服の選び方 <p>[キーワード]</p> <p>JISサイズ</p>	講義	<p>[予習]</p> <p>JISサイズについて調べる。（学習時間30分）</p> <p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らのサイズをJISサイズで表す。 ・自らの体型を考える。 ・どのようなデザインが自らの体型に合うか考察する。 <p>（学習時間30分）</p>
13	森田	<p>被服生活（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料 ・繊維の種類と品質表示（JIS法） ・被服衛生と管理 <p>[キーワード]</p> <p>繊維の種類、衣類の品質表示</p>	講義	<p>[レポート課題4と5 提出]（授業中）</p> <p>[予習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類の品質表示について調べる。（学習時間30分） <p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を理解し、まとめる。（学習時間30分）
14	森田	<p>被服生活（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗剤について（汚れがおちる仕組み） ・漂白剤 ・柔軟剤 <p>[キーワード]</p> <p>石鹼洗剤、合成洗剤 漂白剤、柔軟剤、蛍光増白剤</p>	講義	<p>[予習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣料用洗剤、漂白剤、柔軟剤の品質表示を調べる。（学習時間30分） <p>[復習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食器洗い用洗剤の品質表示について調べる。 ・講義内容を理解し、まとめる。 <p>（学習時間30分）</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療看護のための物理学	必修・選択	選択
英語科目名	Physics for Health Care and Nursing	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	浅井 孝夫	ナンバリング	FNL13A4
担当教員	浅井 孝夫	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	看護の技術や器具、また人体の働きには、物理的原理に基づいているものが多くある。それらを学ぶ事で、より良い看護を工夫し、医療現場における過失をなくし機転を利かせる力を養う。医療現場を想定し、能動的に学習する。看護・医療の現場で活用できる物理学の知識を身につけることを目的として、単位、濃度、流体、音波、光、放射線、熱、電気、磁気、力学についての基礎的な内容を学修する。				
授業の位置づけ	看護を実践するための基本的な学修として、自然・技術に係る教養を身につけるための科目の1つに位置づけられ、根拠に基づいた看護を提供する能力につながる科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP1-II、△ DP2-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護・医療に関連する基本的な物理量の単位を使い分けることができる。 2. 溶液の濃度を計算することができる。 3. 医療ガスや薬液の流量を計算することができる。 4. 音波の振動数を計算することができる。 5. 光の波長を計算することができる。 6. 放射線の種類を区別することができる。 7. 熱量を計算することができる。 8. 合成抵抗や電力量を計算することができる。 9. 変圧器の電圧を計算することができる。 10. 加速度や合力を計算することができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	高校まで物理を履修していない人も臆することはありません。看護・医療に関連する物理現象や、検査・治療に使われる医療機器の仕組みに興味がある人はぜひ受講して欲しいと思います。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100%）				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護・医療に関連する基本的な物理量の単位を使い分けることができるか。 2. 溶液の濃度を計算することができるか。 3. 医療ガスや薬液の流量を計算することができるか。 4. 音波の振動数を計算することができるか。 5. 光の波長を計算することができるか。 6. 放射線の種類を区別することができるか。 7. 熱量を計算することができるか。 8. 合成抵抗や電力量を計算することができるか。 9. 変圧器の電圧を計算することができるか。 10. 加速度や合力を計算することができるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
確認問題の正解・解説を授業中にフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	おもしろくてよくわかる単位と計算	松井晃 著	学研メディカル秀潤社	978-4780913620	2,530円
参考文献					
・ベッドサイドを科学する 改訂第3版：看護に生かす物理学、平田雅子 著、学研メディカル秀潤社、ISBN-13：978-4780913002					
その他					
連絡先・オフィスアワー	浦安・日の出キャンパス1311研究室、訪問は随時（研究室前掲参照）、メール（t.asai.jq@juntendo.ac.jp）はいつでも。				
備考	履修者の学習進度や感染症発生状況に応じて授業計画や評価方法を変更する場合があります。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	浅井	看護・医療と物理学 [キーワード] 看護・医療で用いられる物理エネルギー、物理現象を理解するための数学	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
2	浅井	物理量の単位 [キーワード] SI単位、長さ、面積、量・重さ	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
3	浅井	濃度 [キーワード] 溶液、濃度、浸透圧・等張液、その他の濃度の表し方	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
4	浅井	流体1 [キーワード] 圧力、液体の圧力、気体の圧力	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
5	浅井	流体2 [キーワード] 粘性流体、流体の速度	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
6	浅井	波動1 [キーワード] 波動、音波	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
7	浅井	波動2 [キーワード] 光	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
8	浅井	放射線 [キーワード] 放射線の種類と性質、生体に対する放射線の影響	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
9	浅井	熱 [キーワード] 熱、生体の熱特性	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
10	浅井	電気1 [キーワード] 電気の流れ、直流回路	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
11	浅井	電気2 [キーワード] 電気の仕事量、交流、生体に対する電気の影響	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
12	浅井	磁気 [キーワード] 磁場、電流と磁場	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
13	浅井	力学1 [キーワード] 速さと速度、加速度	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
14	浅井	力学2 [キーワード] 力	講義	[予習] (60分) 教科書の当該範囲を通読する [復習] (60分) 確認問題を解き、理解を深める
		定期試験		

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計演習	必修・選択	選択
英語科目名	Statistics Practice	対象学年	2年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	米倉 佑貴	ナンバリング	CNL13B5
担当教員	米倉 佑貴※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	本科目では統計学で学んだ統計手法を表計算ソフトや統計解析ソフトで実施する方法を学ぶほか、統計解析をする前のデータ整理・加工の方法、集計データを図表にまとめる方法を学びます。				
授業の位置づけ	保健医療に関するものを含め、今日調査や研究で扱うデータは大規模なものであり、統計学で学んだ統計量の計算を手計算で行うことは現実的ではなく、コンピュータを使用して計算・解析するのが一般的です。本科目では表計算ソフトや統計解析ソフトの基本的な扱い方を学び、看護や研究の実践に役立てられるようになることを目指します。本科目で学ぶ内容は、他の科目で数量データを扱う必要があるときや調査・研究を実施する時に役立ちます。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目は◎DP1-11、○DP2-1と関連します。				
到達目標	<p>【学修目標】</p> <p>統計学で学んだ標準的な手法について、パソコンで表計算ソフト(Excel)や統計ソフト(EZR)を用いてデータ解析を行い、結果を整理、理解することができる。</p> <p>1) 情報や知識をさまざまな角度から、論理的に分析し、表現できる。(論理的思考力)</p> <p>2) 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決できる。(問題解決力)</p> <p>3) 批判的思考や分析の方法、問題解決法を活用して、人々の健康レベルに合った看護計画を立案できる。</p> <p>4) 看護の課題を解決するために、適切に情報を活用することができる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>1) インターネット上に公開されているデータを収集することができる。</p> <p>2) 質問紙調査の回答を入力する際のルールを作ることができる</p> <p>3) 質問紙調査の回答を入力することができる</p> <p>4) データを適切な方法を用いて要約し表現できる。</p> <p>5) データを用いて母集団のパラメータを推定できる。</p> <p>6) データを用いて統計的検定ができる。</p> <p>7) 出力された結果を整理して図表にすることができる。</p> <p>8) 出力された結果を理解し、文章にすることができる。</p>				
先修要件	統計学の科目を履修し、単位を修得していること。				
関連科目	情報科学、統計学、看護研究の原理と方法、看護研究				
学修上の注意	既習の統計学で学んだ内容について、テキスト等で復習した上で授業に臨むこと。 予習・復習時間は各回それぞれ120分程度を見込む。				
成績評価の方法					
評価方法	最終レポート(60%)、小レポート(40%)を総合的に評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 統計学の標準的な手法について、統計ソフトを用いてデータ解析ができる。 解析結果を適切な方法でまとめ、示すことができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックは授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 神田善伸. 初心者でもすぐできるフリー統計ソフトEZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析. 南江堂. 2015. ・ 神田善伸. EZRでやさしく学ぶ統計学 改訂3版 ~EBMの実践から臨床研究まで~. 中外医学社. 2020. ・ 中山和弘. 看護学のための多変量解析入門. 医学書院. 2018. 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時メール(yonekura@slcn.ac.jp)で受け付けます。				
備考	指定の教科書はありません。 授業時に資料を配布します。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	米倉	公的統計, 公開データの利用	講義と演習	[予習(120分)] ・公的統計や公開データについて調べる [復習(120分)] ・授業で紹介した公的統計, 公開データについて読み返す, さらに詳しい情報を調べる。 ・小レポートを作成し, 提出する [キーワード]公的統計, 政府統計の総合窓口(eStat), データ・アーカイブ
2	米倉	公的統計, 公開データの利用	講義と演習	[予習(120分)] ・公的統計や公開データについて調べる [復習(120分)] ・授業で紹介した公的統計, 公開データについて読み返す, さらに詳しい情報を調べる。 ・小レポートを作成し, 提出する [キーワード]公的統計, 政府統計の総合窓口(eStat), データ・アーカイブ
3	米倉	表計算ソフトによるデータ整理と図表作成	講義と演習	[予習(120分)] ・表計算ソフトの使い方を調べる [復習(120分)] ・授業で紹介した操作を繰り返し練習する ・小レポートを提出する [キーワード]コピーアンドペースト, 検索と置換, 行・列・セルの挿入・移動・削除, フィルタ, 並べ替え, グラフの挿入, 関数
4	米倉	表計算ソフトによるデータ整理と図表作成	講義と演習	[予習(120分)] ・表計算ソフトの使い方を調べる [復習(120分)] ・授業で紹介した操作を繰り返し練習する ・小レポートを提出する [キーワード]コピーアンドペースト, 検索と置換, 行・列・セルの挿入・移動・削除, フィルタ, 並べ替え, グラフの挿入, 関数
5	米倉	質問紙によるデータ収集とデータ入力・管理	講義と演習	[予習(120分)] ・事前に配布する資料を読む [復習(120分)] ・資料等を読み復習する [キーワード]質問紙調査, エディティング, コーディング, コードブック, データファイル
6	米倉	質問紙によるデータ収集とデータ入力・管理	講義と演習	[予習(120分)] ・事前に配布する資料を読む [復習(120分)] ・資料等を読み復習する [キーワード]質問紙調査, エディティング, コーディング, コードブック, データファイル
7	米倉	表計算ソフトによる統計量の計算, 統計解析	講義と演習	[予習(120分)] ・「統計学」で学習した様々な統計量を復習する [復習(120分)] ・授業で紹介した統計量の計算手法を繰り返し練習する ・小レポートに回答し, 提出する [キーワード]平均値, 中央値, 最頻値, 範囲, 分散, 標準偏差, 相関係数, 度数, 割合, 相対危険度, オッズ比, 寄与危険度, 寄与危険割合
8	米倉	表計算ソフトによる統計量の計算, 統計解析	講義と演習	[予習(120分)] ・「統計学」で学習した様々な統計量を復習する [復習(120分)] ・授業で紹介した統計量の計算手法を繰り返し練習する ・小レポートに回答し, 提出する [キーワード]平均値, 中央値, 最頻値, 範囲, 分散, 標準偏差, 相関係数, 度数, 割合, 相対危険度, オッズ比, 寄与危険度, 寄与危険割合

9	米倉	EZRによる統計解析(1)データの加工	講義と演習	<p>[予習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EZRの使い方を調べる ・事前配布資料を読む <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習課題を実施する ・資料を読み返す <p>[キーワード]</p> <p>量的データ, 質的データ, EZR, データの加工</p>
10	米倉	EZRによる統計解析(2)度数分布表の作成, 要約統計量の算出, 分布の図示	講義と演習	<p>[予習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EZRの使い方を調べる ・事前配布資料を読む <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習課題を実施する ・資料を読み返す <p>[キーワード]</p> <p>平均値, 中央値, 最頻値, 範囲, 標準偏差, 分散</p>
11	米倉	EZREによる二変量の統計解析(クロス集計表, t検定, 一元配置分散分析, 相関係数, 単回帰分析, ノンパラメトリック検定)	講義と演習	<p>[予習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計学で学んだ「変数の関連性の分析方法」, 「仮説検定」の学習内容を復習する。 <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習課題に取り組み, 小レポートとして提出する。 <p>[キーワード]</p> <p>クロス集計表, 平均値の比較, t検定, 一元配置分散分析, 相関係数, 単回帰分析, ノンパラメトリック検定</p>
12	米倉	EZRによる二変量の統計解析(クロス集計表, t検定, 一元配置分散分析, 相関係数, 単回帰分析, ノンパラメトリック検定)	講義と演習	<p>[予習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計学で学んだ「変数の関連性の分析方法」, 「仮説検定」の学習内容を復習する。 <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習課題に取り組み, 小レポートとして提出する。 <p>[キーワード]</p> <p>クロス集計表, 平均値の比較, t検定, 一元配置分散分析, 相関係数, 単回帰分析, ノンパラメトリック検定</p>
13	米倉	EZRによる二変量の統計解析(クロス集計表, t検定, 一元配置分散分析, 相関係数, 単回帰分析, ノンパラメトリック検定)	講義と演習	<p>[予習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計学で学んだ「変数の関連性の分析方法」, 「仮説検定」の学習内容を復習する。 <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習課題に取り組み, 小レポートとして提出する。 <p>[キーワード]</p> <p>クロス集計表, 平均値の比較, t検定, 一元配置分散分析, 相関係数, 単回帰分析, ノンパラメトリック検定</p>
14	米倉	分析結果のまとめ方	演習	<p>[予習(120分)]</p> <p>前回までの演習内容を復習する。</p> <p>[復習(120分)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習課題に取り組み, 小レポートとして提出する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	基礎英語I (TOEFL・多読初級)	必修・選択	必修
英語科目名	Basic English I	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	金子 育世	ナンバリング	FNL14A1
担当教員	金子 育世、山崎 遼、Deborah Grow、小林 猛久	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	国際社会でのコミュニケーションを可能にするための基礎力を養う。やさしい英語の読み物を大量に読み、聞くことで不足しがちな英語のインプット量を補い、和訳することなく英語を理解できるようになる。また、英語の多読・多聴に加え、TOEFL教材の学習も行う。文法、語彙、リスニング力、読解力などを総合的に強化し、TOEFL ITPのスコア向上につながるような英語運用力を身につける。				
授業の位置づけ	この科目は「人間と言語表現」に位置付けられ、実践的な英語運用能力の基礎を築くために1年次前期に学ぶ必修科目である。2年次必修科目である実践英語だけでなく、英語表現、医療英語講読、メディア英語などの英語選択科目の基盤ともなる科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP4-I、ODP1-II、ODP1-IV				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL ITPのスコアを10ポイント以上向上させる。 2. TOEFL教材は継続的に学習を行い、毎回の小テストと復習課題では60%以上正答する。 3. 基本的な文章を読みこなすための語彙力を身につける。 4. 読解力の向上を目指し、多読用の読み物を5万語以上、50冊以上読む。 5. Book+CD教材を利用し、CDを聴きながら本を読み、音声と文字を関連づけ、リスニング力を鍛える。 				
先修要件	なし				
関連科目	基礎英語II (TOEFL・多読中級) (1年後期必修)				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFLのスコア・アップを目指して、毎回テキストの指定された箇所を予習すること。(次回予習してくるテキストの指定箇所については、毎回の授業で説明する) 2. 継続して読解力を伸ばすために、授業時だけでなく日々の生活においても英語による読書を取り入れること。 3. 多読手帳に毎回、読んだ本を記録し、読書経過記録シートに毎回取り組みを記録する。その記録から自分の状況を的確に把握し、その後の読書に生かすこと。(多読に関する詳細説明は初回授業で行う) 4. プリント教材については、各自予習し、語彙・表現等は復習をしっかりと行うこと。 <p>※ 課外学習：年間を通じ、授業時の多読図書貸出・図書館貸出を利用して授業外で毎週2~3冊の本を読むこと。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	TOEFL結果 (50%)、小テスト (20%)、復習課題 (10%)、読書記録・読書量 (10%)、授業参画度 (10%) を加えて総合的に評価する				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFLの各セクション (リスニング、語法・文法、長文読解) 問題の正答を導くことができる 2. 基本的な文章を読みこなすための語彙力を身につけている 3. 基礎語彙 (300~400語程度) で書かれた英文の概要を把握できる 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストと復習課題の結果は、次の授業までに返却し、解説する。 ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	Longman Preparation Course for the TOEFL TEST	Deborah Phillips	Longman	978-0131408869	
参考文献					
Oxford Advanced Learner's Dictionary					
◆多読教材 Oxford Reading Tree, Foundations Reading Library, Penguin Readers, Macmillan Readers, Oxford Bookworms Library, Cambridge English Readers, I Can Read Books, Step Into Reading, Ready-to-Read Books, Usbourne Young Readers, Black Cat Earlyreads, Orion Early Readers 他多数					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時 (事前にメールで連絡のこと) ・金子: ikaneko@ ・山崎: r.yamasaki.ch@ ・Grow: d-grow@ ・小林: tk-kobayashi@				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	金子 山崎 Grow 小林	第1回 TOEFL Test TOEFL ITPにより能力別クラス編成を行う	試験	[予習] TOEFLの問題形式について調べる。(学習時間:30分) [復習] TOEFLのリスニング、文法、読解の3つのセクションで出題された問題で、わからなかった分野の語彙について調べる。多読を行う。(学習時間:30分)
2	金子 山崎 Grow 小林	オリエンテーション TOEFLテキストの学習方法 多読の導入 e-learningの説明	講義	[予習] 「多読多聴」(Extensive Reading & Listening)について調べてくる。(学習時間:30分) [復習] 多読を開始する。多読手帳の記録に不備がないか確認する。(学習時間:30分)
3	金子 山崎 Grow 小林	* 以下、[SW] : Structure & Written Expression [L] : Listening [R] : Reading [SW] Skill 20-23 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
4	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 1 [L] Skill 1-3 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
5	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 2 [R] Skill 1 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
6	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 3 [SW] Skill 24-26 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
7	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 4 [L] Skill 4-6 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
8	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 5 [R] Skill 2 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
9	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 6 [SW] Skill 27-29 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
10	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 7 [L] Skill 7-10 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
11	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 8 [R] Skill 3 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)

12	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 9 [SW] Skill 30-32 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
13	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 10 [L] Skill 11-13 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間:30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間:30分)
14	金子 山崎 Grow 小林	TOEFL 模擬テスト	試験	[予習] TOEFL模擬試験に向けて勉強する。(学習時間:1時間) [復習] TOEFL模擬試験を振り返り、テキストやe-learningを活用して半期の復習する。(学習時間:1時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	基礎英語II (TOEFL・多読中級)	必修・選択	必修
英語科目名	Basic English II	対象学年	1年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	金子 育世	ナンバリング	FNL14A2
担当教員	金子 育世、山崎 遼、Deborah Grow、小林 猛久	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	国際社会でのコミュニケーションを可能にするための基礎力を養う。やさしい英語の読み物を大量に読み、聞くことで不足しがちな英語のインプット量を補い、和訳することなく英語を理解できるようになる。また、英語の多読・多聴に加え、TOEFL教材の学習も行う、文法、語彙、リスニング力、読解力などを総合的に強化し、TOEFL ITPのスコア向上につながるような英語運用力を身につける。				
授業の位置づけ	この科目は「人間と言語表現」に位置付けられ、実践的な英語運用能力の基礎を築くために1年次後期に学ぶ必修科目である。2年次必修科目である実践英語だけでなく、英語表現、医療英語講読、メディア英語などの英語選択科目の基盤ともなる科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP4-I、ODP1-II、ODP1-IV				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL ITPのスコアを10ポイント以上向上させる。 2. TOEFL教材は継続的に学習を行い、毎回の小テストと復習課題では60%以上正答する。 3. 基本的な文章を読みこなすための語彙力を身につける。 4. 読解力の向上を目指し、多読用の読み物を5万語以上、50冊以上読む。 5. Book+CD教材を利用し、CDを聴きながら本を読み、音声と文字を関連づけ、リスニング力を鍛える。 				
先修要件					
関連科目	基礎英語I (TOEFL・多読初級) (1年前期必修)				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFLのスコア・アップを目指して、毎回テキストの指定された箇所を予習すること。(次回予習してくるテキストの指定箇所については、毎回の授業で説明する) 2. 継続して読解力を伸ばすために、授業時だけでなく日々の生活においても英語による読書を取り入れること。 3. 多読手帳に毎回、読んだ本を記録し、読書経過記録シートに毎回取り組みを記録する。その記録から自分の状況を的確に把握し、その後の読書に生かすこと。(多読に関する詳細説明は初回授業で行う) 4. プリント教材については、各自予習し、語彙・表現等は復習をしっかりと行うこと。 <p>※ 課外学習：年間を通じ、授業時の多読図書貸出・図書館貸出を利用して授業外で毎週2~3冊の本を読むこと。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	TOEFL結果 (50%)、小テスト (20%)、復習課題 (10%)、読書記録・読書量 (10%)、授業参画度 (10%) を加えて総合的に評価する				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFLの各セクション (リスニング、語法・文法、長文読解) 問題の正答を導くことができる 2. 基本的な文章を読みこなすための語彙力を身につけている 3. 基礎語彙 (300~400語程度) で書かれた英文の概要を把握できる 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストと復習課題の結果は、次の授業までに返却し、解説する。 ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	Longman Preparation Course for the TOEFL TEST	Deborah Phillips	Longman	978-0131408869	
参考文献					
Oxford Advanced Learner's Dictionary					
◆多読教材 Oxford Reading Tree, Foundations Reading Library, Penguin Readers, Macmillan Readers, Oxford Bookworms Library, Cambridge English Readers, I Can Read Books, Step Into Reading, Ready-to-Read Books, Usbourne Young Readers, Black Cat Earlyreads, Orion Early Readers 他多数					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時 (事前にメールで連絡のこと) ・金子: ikaneko@ ・山崎: r.yamasaki.ch@ ・Grow: d-grow@ ・小林: tk-kobayashi@				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	金子 山崎 Grow 小林	*以下、[SW] : Structure & Written Expression [L] : Listening [R] : Reading、 とする 小テスト 1 [SW] Skill 33-36 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
2	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 2 [L] Skill 14-15 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
3	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 3 [R] Skill 4 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
4	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 4 [SW] Skill 39-42 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
5	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 5 [L] Skill 16-17 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
6	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 6 [R] Skill 5 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
7	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 7 [SW] Skill 46-48 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
8	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 8 [R] Skill 6 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
9	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 9 [SW] Skill 49-51 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
10	金子 山崎 Grow 小林	小テスト 10 [SW] Skill 58-60 TOEFL問題総復習 (各クラス別対応) 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] TOEFLテキストの指定箇所の問題を解いてみる。次回の小テストに向けて勉強する。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだTOEFLのポイントを見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)

11	金子 山崎 Grow 小林	第2回 TOEFL試験	試験	[予習] TOEFL模擬試験に向けて勉強する。(学習時間:2時間) [復習] TOEFL模擬試験を振り返り、テキストやe-learningを活用して半期の復習する。多読を行う。(学習時間:2時間)
12	金子 山崎 Grow 小林	Group Work 1 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] グループワークの準備を各自行う。(学習時間:30分) [復習] グループワークで行った内容を見直し、次回の授業に活かす。多読を行う。(学習時間:30分)
13	金子 山崎 Grow 小林	Group Work 2 多読多聴	演習 GW ディスカッション	[予習] グループワークのプレゼンテーションの準備をグループメンバーと協力して行う。(学習時間:30分) [復習] クラスメイトからのフィードバックを見て、自分のグループの発表がどうであったか振り返る。多読を行う。(学習時間:30分)
14	金子 山崎 Grow 小林	Book Presentation 自分の好きな本を英語で紹介する	演習 GW ディスカッション	[予習] 多読図書プレゼンテーションの準備を各自行う。(学習時間:30分) [復習] クラスメイトからのフィードバックを見て、自分の発表がどうであったか振り返る。(学習時間:30分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	実践英語I (看護英語初級)	必修・選択	必修
英語科目名	Practical Nursing English I	対象学年	2年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	金子 育世	ナンバリング	CNL14A1
担当教員	金子 育世、山崎 遼、近野 幹結	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	看護現場で役に立つ会話を中心とした医療英語を身につけ、基礎的な医療記事の内容を理解できる。臨床現場において、異なる文化背景を持った看護対象者と信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションが取れる英語力を身につける。				
授業の位置づけ	この科目は「人間と言語表現」に位置付けられ、実践的な英語運用能力を養成するために2年次前期に学ぶ必修科目である。1年次必修科目である基礎英語で習得した英語能力を応用し、医療現場においても英語で円滑なコミュニケーションを図れることを目指す。メディア英語や医療英語講読の基礎となる英語力や知識を養う科目でもある。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-IV、○DP1-II、○DP4-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療に関する基本的な英語の語彙・表現を修得する。 2. 基礎的な医療記事の内容を理解することができる。 3. 医療現場のさまざまな場面で役に立つ表現や言い回しを修得する。 4. 医療現場のさまざまな場面に合わせて基本表現を応用することができる。 5. 異文化の看護対象者と信頼関係を築くことができる英語力を養成する。 6. 読解力の向上を目指し、多読用の読み物を5万語以上、50冊以上読む。 				
先修要件	なし				
関連科目	実践英語II (看護英語中級) (2年後期必修)				
学修上の注意	<p>基本の会話表現は口に出して何回も練習すること。 医療用語を正確に覚えること。 知らない単語は辞書を引くなど、予習をして授業に臨むこと。 授業には辞書を持参すること(電子辞書可)。 医療英語も特殊な表現や専門用語を除けば、一般の英文と違うものではないので、基礎力を充実させるために多読多聴を続けること。(多読に関する詳細説明は初回授業で行う)</p>				
成績評価の方法					
評価方法	期末試験(50%)、3 Unitsごとに実施する授業内テスト(Unit Test) 2回(20%)、復習課題(15%)、読書記録・読書量(15%)により総合的に評価する				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・医療現場で使用される英語の語彙を修得しているか ・医療現場のさまざまな場面に対応した英語のコミュニケーションができるか ・基本表現をふまえて、多様な場面に対応できる英語力があるか ・やさしい英語で書かれた医療系の読み物の内容が理解できるか 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・復習課題の結果は、次の授業までに返却し、解説する。 ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	Caring for People	黛道子、宮津多美子、Philip Hinder 他	センゲージ ラーニング	978-4863122567	
参考文献					
『看護英語辞典』(医学書院) Oxford Advanced Learner's Dictionary					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時(事前にメールで連絡のこと) <ul style="list-style-type: none"> ・金子: ikaneko@ ・山崎: r.yamasaki.ch@ ・近野: m.konno.xd@ 				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	金子 山崎 近野	オリエンテーション 医療単語テスト Extensive Readingについて	演習 GW ディスカッション	[予習] ガーゼ、ピンセットなど、医療現場で使われる外来語を思い浮かべてみる。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
2	金子 山崎 近野	Unit 1: Meeting Patients 初診時の登録方法 受診前の患者さんの基本情報や健康状態を把握する Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 1の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
3	金子 山崎 近野	Unit 2: Taking Medical History 患者さんやその家族の病歴を尋ねる Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 2の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
4	金子 山崎 近野	Unit 3: Assessing Patients' Symptoms 患者さんの病状や症状をアセスメントする Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 3の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
5	金子 山崎 近野	Coffee Break 1: Family Tree Essay 1: Beverages 1 Further Reading 1 Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] 学習するページ・プリントの語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
6	金子 山崎 近野	第1回 Unit Test (Unit 1-3) Additional Dialog Extensive Reading	試験 演習 GW ディスカッション	[予習] Unit Testに向けて勉強する。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 1時間) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、採点後に返却されたUnit Testの解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
7	金子 山崎 近野	Unit 4: Taking Vital Signs Vital Signsを計測する Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 4の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
8	金子 山崎 近野	Unit 5: Taking a Specimen 検体の採取法を説明し、的確に指示する Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 5の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
9	金子 山崎 近野	Unit 6: Conducting Medical Examinations 検査手順の説明をし、的確に指示する Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 6の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)

10	金子 山崎 近野	Coffee Break 2: Directions Essay 2: Beverages 2 Further Reading 2 Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] 学習するページ・プリントの語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
11	金子 山崎 近野	第2回 Unit Test (Unit 4-6) Additional Dialog Extensive Reading	試験 演習 GW ディスカッション	[予習] Unit Testに向けて勉強する。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 1時間) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、採点後に返却されたUnit Testの解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
12	金子 山崎 近野	Additional Dialog 外国人模擬患者演習の説明 Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 1~Unit 6で学習したKey ExpressionsやVocabularyを中心に復習しておく。(学習時間: 30分) [復習] クラスメイトからのフィードバックを見て、自分のグループの発表を振り返る。多読を行う。(学習時間: 30分)
13	金子 山崎 近野	外国人模擬患者 (SP) 演習① オリエンテーション 演習	演習 GW	[予習] 外国人模擬患者演習に備え、Unit 1~Unit 6で学習したKey ExpressionsやVocabularyを中心に復習しておく。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだことを振り返り、今後に活かす。多読を行う。(学習時間: 30分)
14	金子 山崎 近野	外国人模擬患者 (SP) 演習② グループごとに演習のプレゼンテーション 前期定期試験に向けて復習	演習 GW ディスカッション	[予習] 外国人模擬患者演習に備え、Unit 1~Unit 6で学習したKey ExpressionsやVocabularyを中心に復習しておく。プレゼンテーションの準備をする。(学習時間: 30分) [復習] 定期試験に備えて、テスト範囲を学習する。多読を行う。(学習時間: 1時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	実践英語II（看護英語中級）	必修・選択	必修
英語科目名	Practical Nursing English II	対象学年	2年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	金子 育世	ナンバリング	CNL14A2
担当教員	金子 育世、山崎 遼、近野 幹結	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	看護現場で役に立つ会話を中心とした医療英語を身につけ、基礎的な医療記事の内容を理解できる。臨床現場において、異なる文化背景を持った看護対象者と信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションが取れる英語力を身につける。			
授業の位置づけ	この科目は「人間と言語表現」に位置付けられ、実践的な英語運用能力を養成するために2年次後期に学ぶ必修科目である。1年次必修科目である基礎英語で習得した英語能力を応用し、医療現場においても英語で円滑なコミュニケーションを図れることを目指す。メディア英語や医療英語講読の基礎となる英語力や知識を養う科目でもある。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-IV、○DP1-II、○DP4-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療に関する基本的な英語の語彙・表現を修得する。 2. 基礎的な医療記事の内容を理解することができる。 3. 医療現場のさまざまな場面で役に立つ表現や言い回しを修得する。 4. 医療現場のさまざまな場面に合わせて基本表現を応用することができる。 5. 異文化の看護対象者と信頼関係を築くことができる英語力を養成する。 6. 読解力の向上を目指し、多読用の読み物を5万語以上、50冊以上読む。 			
先修要件				
関連科目	実践英語I（看護英語初級）（2年前期必修） 医療英語講読I（初級）（3年後期選択） 医療英語講読II（中級）（4年前期選択）			
学修上の注意	基本の会話表現は口に出して何回も練習すること。 医療用語を正確に覚えること。 知らない単語は辞書を引くなど、予習をして授業に臨むこと。 授業には辞書を持参すること（電子辞書可）。 医療英語も特殊な表現や専門用語を除けば、一般の英文と違うものではないので、基礎力を充実させるために多読多聴を続けること。（多読に関する詳細説明は初回授業で行う）			
成績評価の方法				
評価方法	期末試験（50%）、3 Unitsごとに実施する授業内テスト（Unit Test）2回（20%）、復習課題（15%）、読書記録・読書量（15%）により総合的に評価する			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・医療現場で使用される英語の語彙を修得しているか ・医療現場のさまざまな場面にに対応した英語のコミュニケーションができるか ・基本表現をふまえて、多様な場面にに対応できる英語力があるか ・やさしい英語で書かれた医療系の読み物の内容が理解できるか 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・復習課題の結果は、次の授業までに返却し、解説する。 ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
Caring for People	黛道子、宮津多美子、Philip Hinder 他	センゲージ ラーニング	978-4863122567	
参考文献				
『看護英語辞典』（医学書院） Oxford Advanced Learner's Dictionary				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと） ・金子：ikaneko@ ・山崎：r.yamasaki.ch@ ・近野：m.konno.xd@			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	金子 山崎 近野	Body Parts Face Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] 学習するページ・プリントの語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
2	金子 山崎 近野	Unit 7: Assessing Pain 患者さんに痛みの部位、期間、程度、変化などを尋ねる Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 7の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
3	金子 山崎 近野	Unit 8: Advising about Medication 薬歴を尋ねる 薬の服用方法、副作用を説明する Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 8の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
4	金子 山崎 近野	Unit 9: Improving Patients' Mobility 患者さんの機能訓練や運動を援助する Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 9の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
5	金子 山崎 近野	Further Reading 3 Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] 学習するページ・プリントの語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
6	金子 山崎 近野	第1回 Unit Test (Units 7-9) Coffee Break 3: Appointments Essay 3: Organic Food Extensive Reading	試験 演習 GW ディスカッション	[予習] Unit Testに向けて勉強する。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 1時間) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、採点後に返却されたUnit Testの解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
7	金子 山崎 近野	Coffee Break 3: Appointments Essay 3: Organic Food Additional Dialog Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] 学習するページ・プリントの語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
8	金子 山崎 近野	Unit 10: Maintaining a Good Diet 患者さんに食餌・栄養に関する指導をする Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 10の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
9	金子 山崎 近野	Unit 11: Caring for Inpatients 入院中の患者さんをケアする 手術前の注意、病院の規則の説明などを行う Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 11の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)

10	金子 山崎 近野	Unit 12: Coping with Emergencies 緊急患者への対応を学ぶ Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 12の語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
11	金子 山崎 近野	Emergency Resuscitation Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Emergency & Resuscitationの語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。PAIR WORKの作業プリントに取り組む。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
12	金子 山崎 近野	Further Reading 4 Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] 学習するページ・プリントの語彙を調べておく。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
13	金子 山崎 近野	第4回 Unit Test (Units 10-12) Additional Dialog Extensive Reading	試験 演習 GW ディスカッション	[予習] Unit Testに向けて勉強する。各担当教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 1時間) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、採点後に返却されたUnit Testの解答を見て、再度復習する。多読を行う。(学習時間: 30分)
14	金子 山崎 近野	Additional Dialog 後期定期試験に向けて復習 Extensive Reading	演習 GW ディスカッション	[予習] Unit 7~Unit 12で学習したKey ExpressionsやVocabularyを中心に復習しておく。(学習時間: 30分) [復習] 定期試験に備えて、テスト範囲を学習する。多読を行う。(学習時間: 30分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療英語講読I (初級)	必修・選択	選択
英語科目名	Medical English Reading I	対象学年	3年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	山崎 遼	ナンバリング	PNL14A1
担当教員	山崎 遼	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	これまでの英語学習を基礎に、医療系のニューズレター、医療記事、論文などを中心に読解練習を重ね、医療系の語彙、表現を学び、さまざまな医療文献が読める英語力を養う。また、大学院進学や留学なども視野に入れ、医療英語とともに、語彙、リスニング、スピーキング練習も行い、充実した英語基礎力を身につける。				
授業の位置づけ	この科目は「人間と言語表現」に位置付けられ、実践的な英語運用能力の中でも読解力を向上させるために3年次後期に学ぶ科目である。2年次までに培った英語力や知識を応用しながら医療文献を読み理解することで、グローバルに活躍できる医療従事者となる素地を作る科目でもある。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-IV、◎DP4-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 特に難解でなければ、ほとんどの医療記事・論文などが読めるようになる。 医療系の用語・語彙を理解し、医療文献の内容を理解できる。 テーマに沿って必要な文献や情報を収集し、ディスカッションを通して意見を交換することができる。 自分の関心のある問題についての意見をプレゼンテーションにより発信できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	医療英語講読II (中級) (4年前期選択)				
学修上の注意	テキストのReading部分の不明な単語は辞書で調べ、予習をして授業に臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	筆記試験 (40%)、復習課題 (30%)、プレゼンテーション (20%)、授業参画度 (10%) で総合的に評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 標準的な医療記事・論文などを読むことができるか 医療系の用語・語彙を理解しているか テーマに沿った文献や情報を収集し、意見交換することができるか 関心のある問題について自分の意見を発信することができるか 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> 復習課題の結果は、次の授業までに返却し、解説する。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 試験は採点后に返却し、必要に応じてフィードバックを与える。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	Because We Care --English for Healthcare Professionals (Second Edition)	Maki Inoue and Tadashi Ihara	センゲージ ラーニング	9784863123687	
参考文献					
John S. Lander, Movie English (Asahi Press)					
『看護英語辞典』 (医学書院) Oxford Advanced Learner's Dictionary					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時メール (r.yamasaki.ch@) にて質問等受け付ける				
備考	シラバス内の授業計画におけるテキスト“Because We Care”は「BWC」、「Movie English」は「ME」と表記する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	山崎	オリエンテーション 医療英語学習法：効率的な学び方 [BWC] Introduction: Hospital Floors and Healthcare Professionals	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Introductionの語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
2	山崎	[BWC] Unit 1: Body Parts 人体各部に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 1の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
3	山崎	医療系の記事・論文・ニューズレターの読み方 [ME] Unit 1: The Hunger Games: Catching Fire 『ハンガー・ゲーム2』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 1の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ英語論文の読み方と[ME]Unit 1の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
4	山崎	[BWC] Unit 2: Musculoskeletal System 筋肉と骨に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 2の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
5	山崎	医療系の記事・論文・ニューズレターの読み方 & 検索の仕方 [ME] Unit 2: Blue Jasmine 『ブルージャズミン』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 2の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ英語論文の読み方・検索方法と[ME]Unit 2の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
6	山崎	[BWC] Unit 3: Cardiovascular System 循環器に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 3の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
7	山崎	医療系の記事・論文・ニューズレターの検索の仕方 [ME] Unit 3: Oz the Great and Powerful 『オズ はじまりの戦い』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 3の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ英語論文の検索方法でプレゼンで取り上げる論文を決める。 [ME]Unit 3の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
8	山崎	[BWC] Unit 4: Respiratory System 呼吸器に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 4の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
9	山崎	プレゼンテーションの説明 & 準備について [ME] Unit 4: Trance 『トランス』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 4の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだプレゼンテーションの仕方になって、プレゼンテーションの原稿を作成する。 [ME]Unit 4の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点后に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)

10	山崎	[BWC] Unit 5: Digestive System 消化器に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 5の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間: 30分)
11	山崎	プレゼンテーションの最終アナウンス [ME] Unit 8: The Imitation Game 『イミテーション・ゲーム/エニグマと天才数学者の秘密』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 8の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだプレゼンテーションの仕方にならって、プレゼンテーションの原稿とスライドを作成する。[ME]Unit 8の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間: 1時間)
12	山崎	[BWC] Unit 6: Brain, Nervous System and Sensory System 脳・神経・感覚に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 6の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間: 30分)
13	山崎	試験	試験	[予習] 試験に向けてこれまでに学習したKey ExpressionsやVocabularyを中心に復習しておく。(学習時間: 1時間) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、採点後に返却された試験の解答を見て、再度復習する。(学習時間: 30分)
14	山崎	医療系の記事・論文・ニューズレターのプレゼンテーション & ディスカッション	演習 GW ディスカッション	[予習] プレゼンテーションの準備を行う。(発表原稿とPPTスライドの作成) (学習時間: 2時間) [復習] 他の学生からの意見等を振り返りながら、もう一度自分が選んだ文献を読み直す。(学習時間: 2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	医療英語講読II（中級）	必修・選択	選択
英語科目名	Medical English Reading II	対象学年	4年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	金子 育世	ナンバリング	ANL14A1
担当教員	金子 育世、山崎 遼	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	これまでの英語学習を基礎に、医療系のニューズレター、医療記事、論文などを中心に読解練習を重ね、医療系の語彙、表現を学び、さまざまな医療文献が読める英語力を養う。また、大学院進学や留学なども視野に入れ、医療英語とともに、語彙、リスニング、スピーキング練習も行い、充実した英語基礎力を身につける。				
授業の位置づけ	この科目は「人間と言語表現」に位置付けられ、実践的な英語運用能力の中でも読解力を向上させるために4年次前期に学ぶ科目である。3年次までに培った英語力や知識を応用しながら医療文献を読み理解することで、グローバルに活躍できる医療従事者となる素地を作る科目でもある。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-IV、◎DP4-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 特に難解でなければ、ほとんどの医療記事・論文などが読めるようになる。 医療系の用語・語彙を理解し、医療文献の内容を理解できる。 テーマに沿って必要な文献や情報を収集し、ディスカッションを通して意見を交換することができる。 自分の関心のある問題についての意見を、英作文や英語でのプレゼンテーションにより発信できる。 				
先修要件					
関連科目	医療英語講読I（初級）（3年後期選択）				
学修上の注意	テキストのReading部分の不明な単語は辞書で調べ、予習をして授業に臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	筆記試験（30%）、復習課題（30%）、プレゼンテーション（30%）、授業参画度（10%）で総合的に評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 標準的な医療記事・論文などを読むことができるか 医療系の用語・語彙を理解しているか テーマに沿った文献や情報を収集し、意見交換することができるか 関心のある問題について自分の意見を発信することができるか 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> 復習課題の結果は、次の授業までに返却し、解説する。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 試験は採点后に返却し、必要に応じてフィードバックを与える。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	Because We Care --English for Healthcare Professionals (Second Edition)	Maki Inoue and Tadashi Ihara	センゲージ ラーニング	9784863123687	
参考文献					
John S. Lander, Movie English (Asahi Press) 『看護英語辞典』（医学書院） Oxford Advanced Learner's Dictionary					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと） ・金子：ikaneko@ ・山崎：r.yamasaki.ch@				
備考	シラバス内の授業計画におけるテキスト“Because We Care”は「BWC」、「Movie English」は「ME」と表記する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	金子山崎	オリエンテーション 医療英語学習法：効率的な学び方 [ME] Unit 10: Big Hero 6 『ベイマックス』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 10の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ英語論文の読み方と[ME]Unit 10の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
2	金子山崎	[BWC] Unit 7: Urinary System 泌尿器に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 7の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
3	金子山崎	医療系の記事・論文・ニュースレターの読み方 [ME] Unit 11: Third Person 『サード・パーソン』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 11の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ英語論文の読み方と[ME]Unit 11の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
4	金子山崎	[BWC] Unit 8: Reproductive System 生殖器に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 8の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
5	金子山崎	医療系の記事・論文・ニュースレターの読み方 & 検索の仕方 [ME] Unit 12: 12 Years a Slave 『それでも夜は明ける』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 12の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ英語論文の読み方・検索方法と[ME]Unit 12の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
6	金子山崎	[BWC] Unit 9: Endocrine System 内分泌に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 9の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
7	金子山崎	医療系の記事・論文・ニュースレターの検索の仕方 [ME] Unit 13: The Butler 『大統領の執事の涙』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 13の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ英語論文の検索方法でプレゼンで取り上げる論文を決める。[ME]Unit 13の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
8	金子山崎	[BWC] Unit 10: Mental Disorder 精神疾患に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 10の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)
9	金子山崎	プレゼンテーションの説明 & 準備について [ME] Unit 14: Foxcatcher 『フォックスキャッチャー』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 14の語彙を調べ、教員が指示した範囲の予習を行う。(学習時間：30分) [復習] 授業で学んだプレゼンテーションの仕方にならって、プレゼンテーションの原稿を作成する。[ME]Unit 14の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取り組む。採点後に返却された解答を見て、再度復習する。(学習時間：30分)

10	金子山崎	[BWC] Unit 11: Cancer がんに関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 11の語彙を調べ、 教員が指示した範囲の予習を行う。(学習 時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見 直し、復習課題に取り組む。採点後に返却 された解答を見て、再度復習する。(学習 時間: 30分)
11	金子山崎	プレゼンテーションの最終アナウンス [ME] Unit 15: Interstellar 『インターステラー』	演習 GW ディスカッション	[予習] [ME] Unit 15の語彙を調べ、教 員が指示した範囲の予習を行う。(学習時 間: 30分) [復習] 授業で学んだプレゼンテーショ ンの仕方にならって、プレゼンテーショ ンの原稿とスライドを作成する。[ME]Unit 15 の語彙や英語表現を見直し、復習課題に取 り組む。採点後に返却された解答を見て、 再度復習する。(学習時間: 1時間)
12	金子山崎	[BWC] Unit 12: BLS (Basic Life Support) and ALS (Advanced Life Support) 一次救命処置と二次救命処置に関する英語を学ぶ	演習 GW ディスカッション	[予習] [BWC] Unit 12の語彙を調べ、 教員が指示した範囲の予習を行う。(学習 時間: 30分) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見 直し、復習課題に取り組む。採点後に返却 された解答を見て、再度復習する。(学習 時間: 30分)
13	金子山崎	試験	試験	[予習] 試験に向けてこれまでで学習し たKey ExpressionsやVocabularyを中心 に復習しておく。(学習時間: 1時間) [復習] 授業で学んだ語彙や英語表現を見 直し、採点後に返却された試験の解答を見 て、再度復習する。(学習時間: 30分)
14	金子山崎	医療系の記事・論文・ニューズレターのプレゼンテーション & ディス カッション	演習 GW ディスカッション	[予習] プレゼンテーションの準備を行 う。(発表原稿とPPTスライドの作成) (学習時間: 2時間) [復習] 他の学生からの意見等を振り返り ながら、もう一度自分が選んだ文献を読み 直す。(学習時間: 2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	英語表現IA (スピーキング)	必修・選択	選択
英語科目名	English Expressions IA (Speaking)	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	FNL14A3
担当教員	Deborah Anne Grow, Matthew Willemssen, James Knight	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	The English Speaking Course will help first-year students with their TOEFL course and score as it will serve as an aid to listening and speaking abilities. In addition, working creatively in groups will aid students in their nursing studies as harmonious teamwork is essential in the best medical practices.				
授業の位置づけ	This subject is positioned as "human beings and linguistic expressions" and is studied in the first and second semesters of the first year in order to lay the foundation for speaking in practical English proficiency. This course is closely related to English Expression II (writing) and is also linked to Practical English and Media English.				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-IV ○DP4-1 ○DP1-II				
到達目標	1. To assist students to be able to speak effectively on a variety of subjects in English. 2. To improve students' listening skills in English. 3. To broaden students' perspectives through cross-cultural understanding. 4. To enable students to assert their opinions on a variety of issues.				
先修要件	None				
関連科目	This course will help students learn useful conversational English that will aid in the Basic English in the first year as well as Nursing English in the Second Year.				
学修上の注意	Students will be expected to research online in English to prepare presentations and projects. To practice effective collaboration, students will be expected to work harmoniously in groups to prepare task-based projects. To explore creativity, students will be asked to create multi-media projects in groups in order to solve problems and find new perspectives. Students take 80minutes to do each homework and review.				
成績評価の方法					
評価方法	Evaluation is based on oral presentations (50%), class participation 30%, and notes/homework 20%.				
評価基準	Evaluation is based on the following factors: the ability to use the conversations and vocabulary studied in class, pronunciation, use of proper grammar, completion, and quality of homework assignments, and participation in classroom activities. Further details will be described in the class orientation. If students need some feedback on the subjects, teachers will tell them in class.				
試験・課題に対するフィードバック方法					
Students will get direct feedback form their instructor.					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし					
参考文献					
Japan Times, TED talks, computer-based research					
その他					
連絡先・オフィスアワー	d-grow@juntendo.ac.jp Office hours Fridays 11-4				
備考	No specific text. All materials will be provided by the instructor.				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Grow, Willemsen, Knight	Content: The first class is a general introduction to the speaking class. Each student will construct a 1-minute speech.	Practice speaking	Homework: (20 minutes) Prepare and practice a 1-minute speech according to instructions given in class. Practice your introduction out loud a minimum of 5 times, preferably in front of a mirror or in front of a friend/family member. Review: (30 minutes) Review the principles of a good speech in English.
2	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Presentation #1 – Speech Presentation Students will be asked to make a 1-minute speech and actively listen to the speeches of their classmates.	Presentation, Practice	Homework: (15 minutes) Write out the lyrics to your favorite English song in your notebook. Write your impression of what this song is about. Translate any words you do not know. Ask the teacher if there are any idioms you do not understand. (30 minutes) Review: (15 minutes) To present a one-minute speech in English. (Record your speech on your phone and submit it).
3	Grow, Willemsen, Knight	Topic: How to Organize a Short Speech Using the Cluster Organizational Method Students will learn how to organize their thoughts and prepare to speak in English. The first organizational pattern is a cluster organizational pattern. Students will be asked to prepare short speeches using this method to speak with classmates on a variety of topics. We will also work in teams on an exercise to broaden our perspectives by looking at words in new ways.	Lecture, Practice, Group Work	Homework: (20 minutes) Read the assigned short mystery. Write your impression in your notebook. Review: (20 minutes) Review role-playing to promote critical thinking as well as speaking and listening skills.
4	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Organizing a Short Speech with the Sandwich Organizational Method. The second organizational method we will study is the Sandwich Organizational Pattern. Students will learn how to make a short speech with a beginning, three points, and a conclusion. Students will practice this method to discuss various topics.	Practice, Group Work, Presentation	Homework: (20 minutes) Write a short speech using the Sandwich Organization on the topic of My Favorite Restaurant. Remember to list three points and explain them. Don't forget a beginning and a conclusion. Review: (20 minutes) Review how to make a short speech using the Sandwich Organizational Method.
5	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Organizing a Short Speech Using the Timeline Organizational Method. Students will be asked to tell a story either real or fictional which uses past progressive tense as well as simple past tense. Students will learn to recognize and use time passage signal words to tell a story.	Practice, presentation, Group Work	Homework: (30 minutes) Prepare a Time/Line Speech that tells the basic story of a TV drama, book or movie. Keep it to four main points. Use signal words such as: first, next, then, and finally.
6	Grow, Willemsen, Knight	Topic – The Rhythm of English. Exercises in pronunciation training. Presentation skill – Using Triangle Power (the power of 3 for clarity and memorization). Students will be asked to prepare several topics and speak with their classmates using three points.	Presentation, Group work, Practice	Homework: (20 minutes) Watch the assigned videos for pronunciation practice. Listen and speak. Try to match the pronunciation. Review: (20 minutes) To improve pronunciation, fluency, and listening skills by practicing the rhythm of English and understanding the link between rhythm and memory.
7	Grow, Willemsen, Knight	Topic – Describing People We will learn the vocabulary of how to describe people. Various exercises will help the students practice the new vocabulary.	Practice, Group Work	Homework: (20 minutes) In your notebook, write out a description of someone in your family. Use vocabulary we studied in class including height, body frame, face shape and features, and hair texture and style. Review: (30 minutes) Review of vocabulary to be able to ask about and describe physical appearance.

8	Grow, Willemsen, Knight	Topic – Describing the Location of Things Students will learn how to describe the location of things using positional prepositions. Students will work collaboratively to draw and furnish an imaginary apartment with a classmate.	Practice, Group Work	Homework: (15 minutes) In your notebook, describe the location of things in one room of your house. Review: (30 minutes) Review how to describe placement of objects.
9	Grow, Willemsen, Knight	Topic – Food and Restaurants Vocabulary will be introduced on how to describe the taste and texture of various foods as well as how to describe a restaurant. Students will be asked to describe various foods to their classmates. In addition, students will role-play ordering in a restaurant.	Practice, Group Work	Homework: (40 minutes) Students should prepare a short PPT speech recommending a favorite restaurant Review: (20 minutes) Review vocabulary to be able to discuss the flavor and texture of various foods and to be able to place a food order at a restaurant.
10	Grow, Willemsen, Knight	Presentation – Restaurant Recommendation Students will present a PPT presentation about their favorite restaurant describing the restaurant's atmosphere, cuisine, price, and recommended dishes.	Presentation	Homework: (20 minutes) Watch a program in English and try to describe the main character both physically and about their personality. Write it in your notebook. Review: A presentation using words to describe restaurants. Discussion and evaluation.
11	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Observation Students learn about selective perception and practice their ability to describe others by working in teams and giving a detailed description of one of their parents.	Practice, Group Work	Homework: (10 minutes) Watch a music video and sing along while looking at the English lyrics. Review: (20 minutes) Review and build vocabulary to describe people in English.
12	Grow, Willemsen, Knight	Topic Deductive Thinking Students will role-play a murder mystery and use deductive thinking skills to solve the mystery.	Practice, Role-Play, Group Work	Homework: (10 minutes) Watch the assigned youtube short mystery. Write your impression in your notebook.
13	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Interviews Students will be put in pairs or groups of 3 and will devise three in-depth questions to ask their partners. Answers should be about 1 minute each.	Practice, Pair work, Group Work	Homework: 30 minutes Students should practice the answers to their interview questions for the presentation next week.
14	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Interview Presentations In pairs or groups of three, students will present their interviews.	Presentation, Group Work, Pair work	Homework: (40 minutes) Prepare a 1-minute speech on a topic of your choosing. You may review a speech you have done before. This should be a memorized 1-minute speech. Review: Review of the topics we covered this semester.

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	英語表現IB（スピーキング）	必修・選択	選択
英語科目名	English Expressions IB (Speaking)	対象学年	1年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	FNL14A4
担当教員	Grow, Willemsen, Knight	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	The English Speaking Course will help first-year students with their TOEFL course and score as it will serve as an aid to listening and speaking abilities. In addition, working creatively in groups will aid students in their nursing studies as harmonious teamwork is essential in the best medical practices.				
授業の位置づけ	This subject is positioned as "human beings and linguistic expressions" and is studied in the first and second semesters of the first year in order to lay the foundation for speaking in practical English proficiency. This course is closely related to English Expression II (writing) and is also linked to Practical English and Media English.				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-IV ○DP4-I ○DP1-II				
到達目標	1. To assist students to be able to speak effectively on a variety of subjects in English. 2. To improve students' listening skills in English. 3. To broaden students' perspectives through cross-cultural understanding. 4. To enable students to assert their opinions on a variety of issues.				
先修要件	Speaking 1A				
関連科目	English Expression II, Media English				
学修上の注意	Students will be expected to research online in English to prepare presentations and projects. To practice effective collaboration, students will be expected to work harmoniously in groups to prepare task-based projects. To explore creativity, students will be asked to create multi-media projects in groups in order to solve problems and find new perspectives. Students take 80minutes to do each homework and review.				
成績評価の方法					
評価方法	Evaluation is based on oral presentations (50%), class participation 30%, and notes/homework 20%.				
評価基準	Evaluation is based on the following factors: the ability to use the conversations and vocabulary studied in class, pronunciation, use of proper grammar, completion, and quality of homework assignments, and participation in classroom activities. Further details will be described in the class orientation. If students need some feedback on the subjects, teachers will tell them in the class.				
試験・課題に対するフィードバック方法					
Students will get direct feedback form their instructor.					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
Japan Times, TED talks, computer-based research					
その他					
連絡先・オフィスアワー	d-grow@juntendo.ac.jp Office Hours 11-4 Fridays				
備考	No specific text. All materials will be provided by the instructor.				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Grow, Willemsen, Knight	Topic – Describing Movies Students will learn the vocabulary used to describe movies including genre and plot. Students will describe various movies to their friends in the form of a quiz.	Speaking Practice, Group Work, Pair Work	Homework: (20 minutes) In your notebook, write out a description of your favorite movie including genre, plot, location, and a brief synopsis Review: (30 minutes) Practice describing movies including setting, location, and plot.
2	Grow, Willemsen, Knight	Topic – Shopping Students will discuss the topic of shopping and then work in pairs to practice vocabulary for shopping.	Practice, Group Work, Pair Work	Homework: (20 minutes) Write out a simple dialogue between a sales clerk and a customer. Bring it to the next class.
3	Grow, Willemsen, Knight	Deductive Thinking Students will role-play a murder mystery and use deductive thinking skills to solve the mystery.	Practice, Group Work, Pair Work	Homework: (20 minutes) Read the assigned short mystery. Write your impression in your notebook. Review: (20 minutes) Review role-playing to promote critical thinking as well as speaking and listening skills.
4	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Halloween Students will learn the history of Halloween traditions and study vocabulary associated with Halloween.	Short Lecture, Practice, Group Work	Homework: (20 minutes) Prepare a short explanation of a Japanese tradition to explain in small groups. Review: (20 minutes) Review of vocabulary related to Halloween and holidays.
5	Grow, Willemsen, Knight	Topic: The News Students will form teams to make a news program. Students will research and paraphrase news from online English newspapers.	Practice, Group Work, Online Research	Homework: (40 minutes) In groups, students will submit their paraphrased new article and give the link to the original source. Review: (30 minutes) Review of formal English and understand current news in English.
6	Grow, Willemsen, Knight	Topic: News Presentation Preparation In Teams, students will prepare their PPT presentation of the news.	Group Work	Homework: (30 minutes) Each team will submit their PPT presentation for review. Review: (30 minutes) Review of how to effectively work in teams to create a PPT presentation of the news.
7	Grow, Willemsen, Knight	Topic: News Presentation In teams, students will present their news PPT presentations.	Presentation, Discussion	Homework: (20 minutes) Watch scenes on youtube of Beauty and the Beast animation version Review: Discuss what you learned from researching the news in English.
8	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Beauty and the Beast Play Students will be given scenes from the animation version of Beauty and the Beast and will be assigned parts to play. Students will work in groups to cast the roles and begin to practice the play.	Practice, Group Work	Homework: (30 minutes) Study the youtube animation videos of the scenes that you are to portray in the play. Review: Review of pronunciation and communication for doing a play.
9	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Beauty and the Beast Rehearsal Students will rehearse their scenes for the presentation. The instructor will check pronunciation.	Practice, Group Work	Homework: (30 minutes) Practice your part of the play. Review: (30 minutes) Review pronunciation and communication skills to effectively do a play.
10	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Presentation of Beauty and the Beast	Presentation, Group Work	Homework: (15 minutes) Make some notes about your favorite Christmas Memory Review: (20 minutes) Review the benefits of role-playing in learning communication for nursing and nurse/patient interactions.

11	Grow, Willemsen, Knight	<p>Topic: Christmas</p> <p>Students will discuss Christmas traditions around the world and share their research. We will also play some Christmas games to learn Christmas Vocabulary.</p>	Practice, Research, Group Work	<p>Homework: (30 minutes) Students should prepare 2 one-minute speeches for the next class. Topic one is "Something I am very proud of" Topic two, "What is your favorite song and why?"</p> <p>Review: How to present research effectively.</p>
12	Grow, Willemsen, Knight	<p>Topic: Short Speeches</p> <p>1. Something I am Very Proud Of 2. My Favorite Song and Why</p>	Presentation	<p>Homework: (15 minutes) Research a common home remedy in Japan</p> <p>Review: (30 minutes) Review the points of a well-organized speech in English.</p>
13	Grow, Willemsen, Knight	Topic: Home Remedies	Presentation, Discussion, Group Work	<p>Homework: Record a one-minute speech for the next class. The topic is "One Accomplishment that I am Proud of."</p> <p>Review: (10 minutes) Watch the short video of a home remedy in Google Classroom. Please write a brief comment in English about why you would want to try it or why you would not want to try it.</p>
14	Grow, Willemsen, Knight	<p>Topic: Fairy Tales</p> <p>In groups, students will choose and rewrite a traditional fairy tale into narration and dialogue. Students will create paper images for the characters and create a puppet theater for the final presentation.</p>	Practice, Group Work	<p>Homework: (30 minutes) Create the puppet characters for your play. Film your video with your teammates and present it on the exam day.</p> <p>Review: (30 minutes) Review how to change a story into dialogue.</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	英語表現II (ライティング)	必修・選択	
英語科目名	English Expressions II (Writing)	対象学年	2年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	CNL14A3
担当教員	Grow	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>The English Writing Course will help second-year students improve their academic writing skills as well as increase their vocabulary. Because presentations and writing share the same preparation skills, students can also advance in their presentation skills by learning the organization of essay writing. Students can also improve their speaking skills by presenting their essays as speeches in class.</p> <p>Keywords: Writing, English, Communication</p>				
授業の位置づけ	This subject is positioned as "human beings and linguistic expressions" and is studied in the second semester of the second year. This course is closely related to English Expression IA and 1B from the first year and is also linked to Media English.				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>©DP1-IV ©DP4-I</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. To assist students to be able to write effectively in English. 2. To improve students' skills in English academic writing for abstracts. 3. To broaden students' perspectives through cross-cultural understanding. 4. To enable students to assert their opinions on a variety of issues. 5. To help students become confident in their English writing ability. 				
先修要件	There is no prerequisite course for this class other than Basic English. It is open to any second-year student.				
関連科目	This course relates to Media English in the third year and Academic Reading English in the fourth year.				
学修上の注意	Students will be expected to write effective titles, paragraphs, and essays in English. Students will also study examples of good academic writing. Group work and presentations will also be included in this course.				
成績評価の方法					
評価方法	Evaluation is based on written work (50%), class participation 25%, and notes/homework 25%.				
評価基準	Evaluation is based on the following factors: the ability to effectively use the skills learned in class in written assignments. Assignments will be evaluated based on the use of proper grammar, completion, and quality of homework assignments. Active participation in classroom activities will also be evaluated. Further details will be described in the class orientation.				
試験・課題に対するフィードバック方法					
Students will receive feedback directly from the instructor.					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
www.writeandimprove.com					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>d-grow@juntendo.ac.jp</p> <p>Office Hours: Friday 11-4</p>				
備考	No specific text. All materials will be supplied by the instructor.				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Grow	Topic: Orientation and Introduction Students will learn the basic points of academic writing that will be covered in the English writing course. The first writing assignments will be given, discussed, and evaluated.	Individual Practice, Group Work, Discussion	Homework: (40 minutes) Complete the first writing assignment in the Write and Improve program. Review: (30 minutes) To understand the contents and expectations of the English writing course.
2	Grow	Topic: Paragraphs – The Topic Sentence Students will learn how to recognize a clear and specific topic sentence for a paragraph. Then students will complete exercises in choosing a correct topic sentence. Finally, students will be given paragraphs without a topic sentence and asked to write their own topic sentences.	Practice, Discussion, Group Work	Homework: (40 minutes) The second assignment is "Write and Improve". Review: (30 minutes) How to recognize an effective topic sentence and to write effective topic sentences.
3	Grow	Topic: Paragraphs – Supporting Sentences Students will learn to recognize effective supporting sentences. Then students will write supporting sentences and we will discuss and improve them.	Practice, Discussion, Group Work	Homework: (40 minutes) The third assignment Write and Improve Review: (20 minutes) To recognize effective supporting sentences in a paragraph.
4	Grow	Topic: Paragraphs – The Concluding Sentence Students will learn to recognize effective concluding sentences for a paragraph by reading examples. Then students will be asked to choose effective concluding sentences for paragraphs. Finally, students will be asked to write effective concluding sentences.	Practice, Discussion, Group Work	Homework: (40 minutes) Write and Improve Review: (20 minutes) To recognize effective concluding sentences.
5	Grow	Topic: Formal and Informal Writing Students will learn how to distinguish between formal and informal writing. Students will practice using formal and informal styles by writing an e-mail to a professor and one to a friend.	Practice, Discussion, Group Work	Homework: (40 minutes) Write and Improve Review: (20 minutes) To distinguish between formal and informal writing in English.
6	Grow	Topic: Opinion Paragraphs Students will learn how to write an opinion paragraph first by recognizing an effective opinion paragraph, then by writing an opinion paragraph. Paragraphs will be reviewed and corrected in class.	Practice, Discussion, Group Work	Homework: (40 minutes) Practice reading your opinion paragraph and present it as a speech at the next class. Review: (30 minutes) Discuss of homework in groups.
7	Grow	Topic: Presentation Opinion Paragraphs Students will present their opinion paragraphs as a speech. Then students will pick a new topic and write another opinion paragraph. Students will work together to improve their vocabulary and expression.	Practice, Group Work, Discussion	Homework: (40 minutes) Write and Improve Review: (30 minutes) To present opinion paragraphs as a short speech.
8	Grow	Topic: Problem-Solution Paragraph Students will learn how to write a problem-solution paragraph. The essays will be reviewed and corrected in class in preparation for next week's poster-making session.	Practice, Group Work, Discussion	Homework: (40 minutes) Paragraph review and revision. Review: (30 minutes) To discuss homework in groups and evaluate in class.
9	Grow	Topic: Poster Making Students will make an English poster using their problem-solution paragraphs. Posters will be reviewed and corrected in class.	Practice, Group Work, Discussion, Research	Homework: (20 minutes) Practice your problem-solution paragraph in order to present your poster next week. Review: (30 minutes) Review homework, discuss and evaluate.
10	Grow	Topic: Poster Presentation Students will present their posters based on their problem-solution paragraphs.	Presentation, Practice, Group Work	Homework: (30 minutes) Write and Improve Review: (20 minutes) Review the points of an effective poster presentation.

11	Grow	Topic: Essay – Essay Outline Students will learn how to make an essay outline. Then make an outline for the topic they have chosen.	Practice, Group Work, Discussion	Homework: (15 minutes) Make an outline for an essay to be written in class Review: (20 minutes) Discuss homework
12	Grow	Topic: Essay Writing Students will write a rough draft of their essays. The essays will be corrected and revised in class.	Practice, Group Work, Discussion	Homework: (15 minutes) Students should read their essays and make revisions. Review: (20 minutes) Go over the basic points to write an effective essay.
13	Grow	Topic: Essay Presentation Students will give an oral presentation of their essay. Review: (15 minutes) Students will practice their presentations in pairs.	Presentation, Pair Work	Homework: (20 minutes) Prepare an outline for an essay on the given topic. Review: (30 minutes) Essay Presentation Evaluation
14	Grow	Topic: Final Essay Writing Students will use the outline from their homework and write an essay in class on a given topic. Making sure to have a good topic sentence and opening paragraph. Each essay should have at least 3 supporting points and a concluding paragraph.	Practice, Presentation	Final Class Goal: To write an effective essay incorporating the elements learned in class. Review (20 minutes) Review the steps of essay writing.

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	メディア英語	必修・選択	
英語科目名	English in the Media	対象学年	3年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	PNL14A2
担当教員	Grow	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>The English Media course will help third-year students acquire more in-depth vocabulary as well as become more culturally aware of other countries and customs. Students will practice working in groups to accomplish tasks and share responsibilities. Speaking and listening skills will be honed through a variety of methods including lectures, online activities, Ted Talks, stories, discussion, and movies.</p> <p>Keywords: Media, English, Cross-cultural awareness, Social issues</p>				
授業の位置づけ	<p>This subject is positioned as “human beings and linguistic expressions” and is studied in the first semester of the third year. This course is connected to the previous English Expression 1A and 1B, English Expression II - Writing, and will assist students in Academic Reading in the fourth year.</p>				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>◎DP1-IV ◎DP4-1</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Students will be able to discuss in English a variety of social and academic topics. 2. Students will gain cross-cultural awareness. 3. Students will broaden their perspectives. 4. Students will increase their ability to collaborate. 				
先修要件	<p>There is no prerequisite for this course. It is open to all third-year students.</p>				
関連科目	<p>This course relates to Academic Reading in the fourth year.</p>				
学修上の注意	<p>Students will be expected to research online in English to prepare presentations and projects regarding international and cultural topics. To practice effective collaboration, students will be expected to work harmoniously in groups to prepare task-based projects. Students will be expected to analyze information and draw conclusions as well as solve problems through a variety of thinking skills.</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<p>Evaluation is based on oral presentations 30%, Written Tests/Essay 30%, Homework/Notes 10%, and Class Participation 30%</p>				
評価基準	<p>Students will be evaluated based on their understanding of the course material through discussion, essays, oral presentations, and group work. If students need some feedback on the subjects, teachers will tell them in class.</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>Students will get direct feedback from the instructor.</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<p>The Japan Times, NHK, BBC, The Guardian, NPR</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	<p>d-grow@juntendo.ac.jp Office Hours: Fridays 11-4</p>				
備考	<p>No specific text. All materials will be provided by the instructor.</p>				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	Grow	Topic: To give a course overview. "Where to Invade Next" Part I of the documentary To explore social welfare, school lunches, and sex education in other cultures.	Practice, Group Work, Discussion	Review and Discussion (20 minutes) Homework (30 minutes) Begin to prepare a PPT Presentation for today's class (30 minutes).
2	Grow	Topic: Social Issues in Europe "Where to Invade Next" Documentary Part II In today's class, we will explore drug laws, prison systems, health care, war history, and women's rights. Class discussions will follow each chapter of the movie.	Discussion, Group Work	Review: (30 minutes) Discussion about drug laws, prison systems, health care systems, war history, and women's rights in other countries. Homework: (30 minutes) Research work for the group PPT presentation.
3	Grow	Topic: Presentation Preparation on a Social Issue Students will be put in teams of two to compare one of the social issues discussed in the film with that same social issue in Japan. For example, students might compare the prison system in Japan with that of Norway. Online research will be conducted and students should gather statistics, etc.	Group Work, Discussion	Review: (30 minutes) To compare a social issue discussed in the film with the same social issue in Japan Homework: (30 minutes) In teams, prepare a PPT presentation with team members comparing one social issue discussed in the documentary and comparing that to the same issue in Japan. Practice speaking it aloud and try to have good eye contact when presenting.
4	Grow	Topic: PPT Presentation	Presentation, Group Work	Review: Discussion and Q/A of PPT presentations (20 minutes) Homework: Research your family history. Ask parents and grandparents about where your family is from. For example, if your grandparents live in Chiba, did their parents live in Chiba? Has your family always been from Chiba? (mother's side etc) (30 minutes)
5	Grow	Topic: Discrimination DNA Journey – We will study a short video regarding views about race and ethnic groups. Discussion of our ancestral background. Green Book – Discrimination in the US	Discussion, Video	Review: Watch the DNA journey of other subjects and then give a short talk about what you learned. Homework: Begin research on an example of discrimination in Japan (30 minutes)
6	Grow	Topic: Complete the film "Green Book" Discuss the topic of discrimination	Discussion, Group Work	Review: (30) To review the major themes and vocabulary for the test next class. Homework: (30 minutes) Research news articles concerning racial or gender discrimination in Japan.
7	Grow	Topic: Review Test #1	Test	Review: Open book test to review the concepts and vocabulary from class. Homework: Continue research on racial or gender discrimination in Japan.
8	Grow	Topic: Racial Discrimination Write a researched-based essay on racial or gender discrimination in Japan. Your essay should be 250-300 words.	Researched essay	Review: (100 minutes) Students will be able to write a researched essay on the topic of discrimination based on their research. Homework: Research the latest guidance for a healthy diet in Japan. How much salt, sugar, carbs, etc.?
9	Grow	Topic: Healthy Diet America's Health Crisis of Obesity "Gari-Gari" Syndrome Documentary "Supersize Me"	Discussion, Documentary, Video	Review: (30 minutes) Students will discuss their homework about finding the latest nutritional guidance for a healthy diet in Japan.

10	Grow	Topic: Dementia "Lost Property"	Group Discussion, Video	Review: (15 minutes) Discussion about our daily diets Research and Discussion of therapies for people with dementia in Japan.
11	Grow	Topic: Disabilities Students will watch the film "Intouchables" about a disabled man and his caregiver.	Discussion, Video	Review: (20 minutes) Discuss what you learned about the topic of disabilities in Japan from your research Homework: (30 minutes) Choose a country and research if it has different policies for people with disabilities.
12	Grow	Topic: Disabilities Complete the film "Intouchables"	Discussion, Video	Review: (20 minutes) Group discussion of homework and what is the current situation for disabled persons in Japan. Homework: (10 minutes) Research how many cases of dementia there are in Japan at present.
13	Grow	Topic: Empathy "The Doctor" We will watch a movie based on the true story of a surgeon who becomes a patient and in the process learns the importance of empathy in medicine.	Discussion, Video	Review: Discuss some ways that empathy can be achieved in nursing Homework: (15 minutes) Write down in a sentence or two what you think empathy is and how is it different from sympathy.
14	Grow	Topic: Empathy Finish the movie "The Doctor" Review Test 2	Discussion, Video, Short test	Homework: Write an essay based on your impressions of this movie and the importance of empathy in medicine. Review: The test topics of this class.

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語I (入門)	必修・選択	選択
英語科目名	French I	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	満島 直子	ナンバリング	FNL14A5
担当教員	満島 直子	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	フランス語の基本的な文法、語彙、発音を学び、あいさつ、日常表現を中心とした会話練習を行います。また、現地の映像を通して「知られているようで実はあまり知られていないフランス」を様々な側面から紹介していきます。分かり易い説明を心がけますので、「フランス語は難しいのでは?」と思っている方も是非受講してみてください。実際に自分で声に出したり聞き取ったりしながら身につけていきましょう。フランス語を学ぶと、旅行で使ったり、料理や芸術を始めとする豊かな文化に触れていけるといった楽しさがあります。また、ヨーロッパ、アフリカ、カナダ等多くの国と地域で使われており、様々な国際機関・団体の使用言語にもなっています(「国境なき医師団」、「世界保健機関」もその例です)ので、言語の学習を通して非英語圏についての教養を身につけ、多様な価値観を持つ人々とコミュニケーションをとっていく手がかりとしてくださればと思います。				
授業の位置づけ	フランス語の最重要項目を学び、日常表現を中心とした会話練習を行います。また、視聴覚教材などを利用してフランス文化を理解していきます。後期のフランス語II(初級)やフランス語検定受験への導入を行い、看護の基礎となる国際的教養とコミュニケーション能力を培う授業としての位置づけもっています。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ○ DP1-II : 教養を身につけた市民として行動できる能力 ○ DP1-IV : 人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ◎ DP4-I : 国際的視野をもって活動できる基礎的能力				
到達目標	1) 発音の仕組みを意識しながら、フランス語を声に出して読む。 2) 初級文法の重要項目を把握し、易しい文の意味がわかる。 3) 音声教材を使った練習問題を解き、簡単な会話文の聞き取りができる。 4) 文型の口頭練習を通して基本的な表現を覚え、発話を試みることができる。 5) 視聴覚教材を通してフランス文化の一端を理解し、興味のある視点から説明ができる。				
先修要件	なし				
関連科目	後期フランス語II(初級)				
学修上の注意	授業ではクラスメイトとの質疑応答練習を行います。間違ふことを恐れずに声に出して練習しましょう。教科書の映像・音声は、インターネットのサイトから自宅や携帯でも視聴できます。また、授業資料はJuntendo-Passport にアップしていきます。時間外学修でもこうしたコンテンツを活用して繰り返し復習しましょう。この他に、フランス語をノートに書く練習も大切です。進度については達成度に応じて調整します。このため、場合によっては一部を省略、または追加することもあります。一年を通して語学力を身に付けるカリキュラムとなっています。本科目を履修する場合は、原則として後期の「フランス語II(初級)」も履修して下さい。				
成績評価の方法					
評価方法	期末試験40%(口答10%および筆記30%)、小テスト30%、平常点30%(授業での積極的参加・発言) 履修者数や時間的制約等を考慮した上で、可能であれば口答試験を行います。実施が難しい場合には期末試験に代え定期試験(筆記40%)を行います。				
評価基準	日常生活に関する簡単な表現を理解し、使うことができるかどうかを重視します。 1) 発音の仕組みにそって、フランス語を声に出して読んでみることができる。 2) 初級文法の重要項目を用いた易しい文の意味がわかる。 3) 音声教材を使った練習問題を解き、簡単な会話文の聞き取りができる。 4) 文型の口頭練習を通して基本的な表現を覚え、発話を試みることができる。 5) 視聴覚教材を通してフランス文化の一端を理解し、興味のある視点から説明ができる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
試験及び小テストについては、原則として翌授業日に返却と解説を行います。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	『バリ-ポルドー』	藤田裕二	朝日出版社	978-4-255-35259-6	
参考文献					
『仏検公式ガイドブック 傾向と対策+実施問題 5級』、フランス語教育振興協会編(毎年発行) 『仏検公式基本語辞典 3級・4級・5級 新訂版』、羽賀 賢二、フランス語教育振興協会編、2020 辞書や学習に役立つ参考書は図書館で閲覧できます。 また、適宜プリントを配布します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業の前後、またはn-mitsushima@にて随時。				
備考	なし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	満島	フランス語の発音と綴り字	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 0課の音声教材を聞き、発音のイメージをつかんでおく。（学習時間1時間） [復習] 音声聞きながら繰り返し練習する。（学習時間1時間） [キーワード] アルファベ、綴り字の読み方、パリのセーヌ河岸
2	満島	自己紹介する	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 1課の文法説明と新出単語に目を通しておく。練習問題p. 12を解いておく。（学習時間1時間） [復習] etreの活用を練習する。該当部分の音声を聞いて練習する。（学習時間1時間） [キーワード] 主語人称代名詞、etre、国籍、世界の中のフランス語
3	満島	物を指し示す	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 2課の文法説明と新出単語に目を通しておく。（学習時間1時間） [復習] 名詞と冠詞、形容詞の組み合わせ方を整理する。ディアローグのシャドーイングをする。（学習時間1時間） [キーワード] 不定冠詞、指示代名詞 ce
4	満島	好きなものを説明する	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 練習問題p. 16を解いておく。（学習時間1時間） [復習] 該当部分の音声を聞きながら繰り返し練習する。（学習時間1時間） [キーワード] 形容詞、クール・ジャパン
5	満島	尋ねる	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 3課の文法説明と新出単語に目を通しておく。（学習時間1時間） [復習] 規則動詞の活用を練習する。ディアローグのシャドーイングをする。（学習時間1時間） [キーワード] -er 動詞、定冠詞、疑問文
6	満島	住んでいる地区を紹介する	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 疑問文の作り方を確認しておく。練習問題p. 20を解いておく。（学習時間1時間） [復習] 該当部分の音声を聞きながら繰り返し練習する。（学習時間1時間） [キーワード] 街にあるもの、モンパルナス地区
7	満島	買い物をする	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 4課の文法説明と新出単語に目を通しておく。（学習時間1時間） [復習] avoir の活用を練習する。ディアローグのシャドーイングをする。（学習時間1時間） [キーワード] 指示形容詞 ce、avoir、否定文
8	満島	値段と個数の表現	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 否定文と冠詞の組み合わせを確認しておく。練習問題p. 26を解いておく。（学習時間1時間） [復習] 数詞と値段の表現を練習する。該当部分の音声を聞いて練習する。（学習時間1時間） [キーワード] 数詞、市場
9	満島	物や人について尋ねる	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 5課の文法説明と新出単語に目を通しておく。（学習時間1時間） [復習] 疑問代名詞のしくみを整理する。aller の活用を練習する。（学習時間1時間） [キーワード] aller、近接未来、疑問代名詞
10	満島	行先と予定を言う	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 疑問代名詞と近接未来を確認しておく。練習問題p. 30 を解いておく。（学習時間1時間） [復習] 該当部分の音声を聞いて練習する。（学習時間1時間） [キーワード] フランスの主要都市、パリの鉄道の駅

11	満島	道を尋ねる	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] 6課の文法説明と新出単語に目を通しておく。練習問題p. 34を解いておく。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] 所有形容詞の表を覚える。該当部分の音声を聞いて練習する。（学習時間1時間）</p> <p>[キーワード] 所有形容詞、疑問形容詞、挨拶表現、世界遺産の街ポルドー</p>
12	満島	～したいと言う	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] 7課の文法説明と新出単語に目を通しておく。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] 強勢形と指示代名詞を覚える。ディアログ部分のシャドーイングをする。（学習時間1時間）</p> <p>[キーワード] 強勢形、指示代名詞 celui、il y a ～、je voudrais ～</p>
13	満島	総合練習	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] プリントの問題を解いておく。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] できなかった部分を繰り返し練習する。（学習時間1時間）</p>
14	満島	前期のまとめ、口答試験	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] 質疑応答の練習をする。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] 筆記試験に備え、前期の学習事項を復習する。（学習時間1時間）</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フランス語II (初級)	必修・選択	選択
英語科目名	French II	対象学年	1年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	満島 直子	ナンバリング	FNL14A6
担当教員	満島直子	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	<p>前期のフランス語I (入門) で学んだ音声や文法の知識を定着させながら、より複雑な文を扱えるよう語彙と文法事項を増やしていきます。新たに学んだ事項をとりいれながら、日常表現を中心とする会話練習も継続します。映像教材では、テーマを地方都市の魅力や国際関係の特徴へと移して文化面の理解を深めていきます。</p> <p>これらを通じて、フランス語の発音の美しさやフランス文化に触れる楽しさも味わいましょう。</p> <p>秋にはフランス語検定5級の受験により、力試しを行っていただきます。</p> <p>教科書をすべて終えると、4級の受験も可能になります。</p>			
授業の位置づけ	<p>前期のフランス語I (入門) で学んだ内容をもとに、引き続き会話練習を通して基本文法、語彙、発音 (フランス語検定5級~4級程度) の学習を行います。視聴覚教材を用いた文化紹介も継続します。これらを通して国際的教養とコミュニケーションの能力を高め、より発展的な看護学修に必要な基礎を形成して頂きます。</p>			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ DP1-II : 教養を身につけた市民として行動できる能力 ○ DP1-IV : 人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ◎ DP4-I : 国際的視野をもって活動できる基礎的能力 			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語を声に出して読み、発音をより明確にする。 2) 初級文法の重要項目と語彙を把握し、過去形を含む易しい文の意味がわかる。 3) 音声教材を使った練習問題を解き、簡単な会話文の聞き取り能力を向上させる。 4) 文型の口頭練習を通して基本的な表現を覚え、発話時に使える構文を増やす。 5) 視聴覚教材を通してフランス文化の理解を深め、興味のある視点から説明ができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	前期フランス語I (入門)			
学修上の注意	<p>前期フランス語I (入門) 程度の知識を有することを履修の前提とします。</p> <p>単位取得には、秋季フランス語検定5級 (11月実施) の受験をしていただくことが必要です。受験料は自己負担となります (合否は成績に影響しません)。検定準備のため、後期開始時から試験前まで、通常の授業以外に週一回程度の補講を行いますので極力ご参加ください。</p> <p>授業ではクラスメイトとの質疑応答練習を行います。間違ふことを恐れずに声に出して練習しましょう。</p> <p>教科書の映像・音声は、インターネットのサイトから自宅や携帯でも視聴できます。また、授業資料はJuntendo-Passport にアップしていきます。時間外学修でもこうしたコンテンツを活用して繰り返し復習しましょう。</p> <p>この他に、フランス語をノートに書く練習も大切です。</p> <p>進捗については達成度に応じて調整します。このため、場合によっては一部を省略、または追加することもあります。</p>			
成績評価の方法				
評価方法	<p>期末試験40% (口答10%および筆記30%)、小テスト30%、平常点30% (授業での積極的参加・発言)</p> <p>履修者数や時間的制約等を考慮した上で、可能であれば口答試験を行います。実施が難しい場合には期末試験に代え定期試験 (筆記40%) を行います。</p> <p>単位取得には、秋季フランス語検定5級の受験が必要です (合否は成績に影響しません)。</p>			
評価基準	<p>日常生活に関する簡単な表現を理解し、使うことができるかどうかを重視します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語をより明確な発音で読むことができる。 2) 初級文法の重要項目と語彙を把握し、過去形を含む易しい文の意味がわかる。 3) 音声教材を使った練習問題を解き、簡単な会話文の聞き取り能力を向上させている。 4) 文型の口頭練習を通して基本的な表現を覚え、発話時に使える構文を増やしている。 5) 視聴覚教材を通してフランス文化の理解を深め、興味のある視点から説明ができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
試験及び小テストについては、原則として翌授業日に返却と解説を行います。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
『バリ-ポルドー』	藤田裕二	朝日出版社	978-4-255-35259-6	
参考文献				
<p>『仏検公式ガイドブック 傾向と対策+実施問題 5級』、フランス語教育振興協会編 (毎年発行)</p> <p>『仏検公式基本語辞典 3級・4級・5級 新訂版』、羽賀 賢二、フランス語教育振興協会編、2020</p> <p>辞書や学習に役立つ参考書は図書館で閲覧できます。</p> <p>また、適宜プリントを配布します。</p>				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー		授業の前後、またはn-mitsushima@にて随時。		
備考		なし		
1	満島	旅の計画を立てる	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 前期の復習をし、練習問題p. 38を解いておく。(学習時間1時間) [復習] 該当部分の音声を聞いて練習する。(学習時間1時間) [キーワード] 観光、交通手段、ワインとシャトー
2	満島	興味を述べる	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 8課の文法事項と新出単語に目を通しておく。(学習時間1時間) [復習] 縮約形と補語人称代名詞を練習する。ディアローグのシャドーイングをする。(学習時間1時間) [キーワード] 定冠詞の縮約、補語人称代名詞
3	満島	国名の表現	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 練習問題p. 44を解いておく。(学習時間1時間) [復習] 国名の使い方を整理する。該当部分の音声を聞いて練習する。(学習時間1時間) [キーワード] 国名と前置詞、ワインの試験
4	満島	誘う	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 9課の文法説明と新出単語に目を通しておく。(学習時間1時間) [復習] 代名動詞の活用を練習する。ディアローグ部分のシャドーイングをする。(学習時間1時間) [キーワード] 代名動詞、中性代名詞 y、vouloir
5	満島	日常生活の動作を表現する	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 練習問題p. 48を解いておく。(学習時間1時間) [復習] 該当部分の音声を聞いて練習する。(学習時間1時間) [キーワード] 日常よく用いられる代名動詞、世界遺産の村サン=テミリオン
6	満島	天候と時刻を言う	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 10課の文法説明と新出単語に目を通しておく。練習問題p. 52を解いておく。(学習時間1時間) [復習] 非人称構文の種類と命令形を確認する。該当部分の音声を聞いて練習する。(学習時間1時間) [キーワード] 非人称構文、命令形、感嘆文、レストラン
7	満島	数量を表す	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 11課の文法説明と新出単語に目を通しておく。(学習時間1時間) [復習] 部分冠詞の用法を整理する。ディアローグのシャドーイングをする。(学習時間1時間) [キーワード] 部分冠詞、中性代名詞 en、数量表現
8	満島	食卓の会話	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 練習問題p. 58を解いておく。(学習時間1時間) [復習] 該当部分の音声を聞いて練習する。(学習時間1時間) [キーワード] 食べ物と飲み物、ホルダーの特産物
9	満島	比較する、未来のことを話す	演習（ロールプレイを含む）	[予習] 12課の文法説明と新出単語に目を通しておく。(学習時間1時間) [復習] 未来形の活用を練習する。ディアローグのシャドーイングをする。(学習時間1時間) [キーワード] 比較級、単純未来

10	満島	関係を語る	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] 比較級の作り方を確認する。練習問題p. 62を解いておく。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] 該当部分の音声を聞いて練習する。（学習時間1時間）</p> <p>[キーワード] 特殊な女性形をもつ形容詞、英仏関係</p>
11	満島	過去の出来事を話す	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] 13課の文法事項と新出単語に目を通しておく。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] 複合過去の作り方を整理する。ディアローグのシャドーイングをする。（学習時間1時間）</p> <p>[キーワード] 複合過去</p>
12	満島	過去の状況を語る	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] 練習問題p. 66を解いておく。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] 該当部分の音声を聞いて練習する。（学習時間1時間）</p> <p>[キーワード] 半過去、ヴァカンス</p>
13	満島	総合練習	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] プリントの問題を解いておく。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] できなかった部分を繰り返し練習する。（学習時間1時間）</p>
14	満島	後期のまとめ、口答試験	演習（ロールプレイを含む）	<p>[予習] 質疑応答の練習をする。（学習時間1時間）</p> <p>[復習] 筆記試験に備え、後期の学習事項を復習する。（学習時間1時間）</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	中国語Ⅰ（入門）	必修・選択	選択
英語科目名	Chinese I	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	劉 珍	ナンバリング	FNL14A7
担当教員	劉 珍	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	本授業では中国語の発音と文法を基礎から学習し、中国語を聞く・話す・読む・書くために、初歩的な能力を身につけることを目標とする。中国語発音表記法であるピンインを繰り返し聞きながらの復唱練習を行い、発音の定着を図る。簡体字を学び、初級文法、簡単な日常会話、よく使う表現を習得する。中国の文化や習慣、ものの考え方などについて理解を深める。中国語検定試験準4級を受験できるための基礎能力を身につける。			
授業の位置づけ	中国語は使用人口が多い言語である、中国語を基礎から学修し、基本の言い回しを理解し、中国語勉強の土台をつくり、初歩的なコミュニケーション能力の養成に加え、国際的視野を身につける基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1 - IV、◎DP4 - I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピンインと声調を正確に発音することができる。 2. 基本単語約400～500語を読み書きができる。 3. お礼を言ったり、謝ったりすることができる。 4. 簡単な自己紹介、家族、友人、趣味などについて聞いたり、答えたりできる。 5. 基本的な要求、買い物、評価など相手に伝えることができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	中国語Ⅱ（初級）			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音声教材を繰り返し聞き、中国語の声調に慣れ、しっかり身につける。 2. 簡体字を正しく書けるように練習する。語順を意識しながら例文を暗記する。 3. 同じ漢字でも全く意味が変わってしまうものについてしっかり勉強して、その違いを理解した上で正しく使うこと。 4. 毎回の予習、復習は、音声材料を利用して、声を出して発音し、覚える。課題の提出期限を守る。 <p>* 本科目を履修する場合、原則「中国語Ⅱ（初級）」も履修する。 * この講義では、中国語検定試験準4級の合格を1つの目標として学習に取り組むことを希望する。</p>			
成績評価の方法				
評価方法	平常点（課題の提出、小テスト、学習態度）（50%）、期末試験（50%）を統合して評価する。3分の2以上の出席を評価の前提条件として、欠席、遅刻は減点とする。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の発音表記「ピンイン（声調も含め）」を正しく読める、書ける。 2. 中国の簡体字を正確に書くことができる。 3. 自己紹介が中国語で出来る。 4. 学習した日常の挨拶などについて語彙、文型を正しく使用して表現することができる。 5. グループワークやペアワーク時の会話で質問したり、答えたりして、しっかり相手に伝えることができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
講義内で課題、小テストやレポート等に対する解説を加えながら回答を示す。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
使って学ぶ！中国語コミュニケーション	寺西光輝	朝日出版社	978-4-255-45327-9	
参考文献				
図書館に文法書や辞書、中国語検定試験過去問解説本などがあります。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に教室、オンライン講義の時チャットで質問を受け付ける、課題のコメント欄にて随時受け付ける。			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	劉 珍	授業ガイダンス 中国・中国語について 授業、試験、評価説明	演習	中国語に親しもう シラバスをよく確認しておく。
2	劉 珍	発音編1 単母音、声調と複合母音	演習	[予習](1時間) 音声教材用い、単母音、声調、複合母音を聞いておく。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、四声、母音の違いを把握し、正しい発音する。
3	劉 珍	前回の復習 発音編2 子音、鼻母音、声調記号の付け方 基本的な挨拶ができる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、子音と鼻母音を聞いておく。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、子音、鼻母音の違いを把握し、発音しながら練習する。
4	劉 珍	前回の復習 発音編3 声調の変化、r 化音、ピンインのまとめ 自分や友達の名前を言ったり、尋ねたりできる。 簡単な授業用語が理解できる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、声調の変化とr 化音を聞いておく。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、声調変化と軽音を把握し、発音しながら練習する。中国式ローマ字の綴り方を覚える。 付属教材の「言語記録-3」を使い、発音の自己評価を書きましょう。
5	劉 珍	第1課 新出単語 本文 身分や出身地について話す 文法事項 “是”“吗”の疑問文 「也」 相手の出身国/出身地を確認したり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 「是」「吗」の使い方を覚える。
6	劉 珍	第2課 新出単語 本文 身の回りのものや人について話す 文法事項 指示代名詞、“都” 身近にある物の情報について質問したり、答えたりできる。 身近な人について、自分との関係を表現できる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 副詞「也、都」の使い分けを確認する。
7	劉 珍	第1～2課の応用練習 小テスト 音声聞いて、ピンインと簡体字が書ける 読解練習 学生同士によるロールプレイング 小作文発表 簡単な自己紹介	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、第1～2課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、第1～2課の練習問題、簡体字を書いて覚える。付属教材第1～2課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。
8	劉 珍	第3課 新出単語 本文 年齢や学年、所有について話す 文法事項 数詞 名詞述語文(1) 年齢や学年について質問したり、答えたりできる。 相手の所有の有無について確認したり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 所有の「有」を使い、練習問題を解く。
9	劉 珍	第4課 新出単語 本文 時間や一日の行動について話す 文法事項 名詞述語文(2) 動詞述語文 日時や曜日について質問したり、答えたりできる。 いつ何をするのか、相手に質問したり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 動詞述語文の語順を覚える。
10	劉 珍	第3～4課の応用練習 小テスト 音声聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング 小作文発表 日常の一日	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、第3～4課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、第3～4課の練習問題、簡体字を書いて覚える。付属教材第3～4課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。

11	劉 珍	第5課 新出単語 本文 性質や状態、天候について話す 文法事項 形容詞述語文 程度副詞 人や物の性質や状態、まだその評価を尋ねたり、答えたりできる。 天気について尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 「怎么样」を使い、練習問題を解く。
12	劉 珍	第6課 新出単語 本文 趣味や好み、できることについて話す 文法事項 助動詞 趣味や好みについて尋ねたり、答えたりできる。 できるかどうか尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 能願動詞と動詞の語順を覚える。
13	劉 珍	第5～6課の応用練習 小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング 小作文発表 私の趣味	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、第5～6課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、第5～6課の練習問題、簡体字を書いて覚える。付属教材第5～6課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。
14	劉 珍	前期のまとめと復習 ヒヤリング、スピーキングの練習 Can-do 達成の確認	演習	[予習](1時間) 付属教材「ポートフォリオ」を用いて、前期学んだ語彙と会話を確認しておく。 [復習](1時間) 授業で学んだことをしっかり覚える。付属教材Can-doシートを使い、到達目標と表現例を見ながら、できるかどうか確認しましょう。前期末試験に備える。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	中国語II (初級)	必修・選択	選択
英語科目名	Chinese II	対象学年	1年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	劉 珍	ナンバリング	FNL14A8
担当教員	劉 珍	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	本授業では初歩段階で習得した発音の基礎を定着させつつ、中国語発音表記法であるピンインを完全にマスターすることを目指す。簡体字を正確に書き、初級文法、簡単な日常会話、よく使う表現を習得します。ロールプレイ形式での会話を習得し、将来いつか使うためにより現実的なコミュニケーションができるような表現を身につける。中国語検定準4級に合格できる能力を身につける。				
授業の位置づけ	中国語は使用人口が多い言語である、初級で身につけた中国語を活かしたり、初歩的なコミュニケーション能力を養成することで、国際的視野及び基礎的能力を身につけると位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1 - II、ODP1 - IV、②DP4 - I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 声調を含む発音を正しく発音することができる。 2. 中国語の基本的文法事項（中国語検定試験準4級レベル）を一通り理解し、問題を解くことができる。 3. 自己や他者の紹介、家族、趣味など簡単な中国語で話すことができる。 4. 時間、天候、場所、方法について、簡単な中国語で尋ねたり、答えたりできる。 5. 基本的な要求、買い物、評価など相手に伝えることができる。 *中国語検定試験準4級に合格するレベルに到達する。				
先修要件	中国語 I 終了				
関連科目	中国語 I (入門)				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音声教材を繰り返し聞き、正しい発音すること。 2. 基本文法を理解した上、ヒヤリング、スピーキングをしっかりと練習すること。 3. 毎回の予習、復習も音声教材を活用して、声を出して繰り返し発音し、簡体字を正確に書き、覚えること。 4. 課題の提出期限を守る。 *この授業の受講者は11月に行われる「中国語検定試験」を受験しないと、単位は取得できません。中国語検定試験の可否は中国語II (初級) の成績には影響しませんが、中国語検定試験準4級の合格を1つの目標として学習に取り組むことを希望する。受験に向けた補講を授業の他に開講します。極力出席するように注意して下さい。受験料は自己負担となります。				
成績評価の方法					
評価方法	平常点 (課題の提出、小テスト、学習態度) (50%)、期末試験 (50%) を統合して評価する。3分の2以上の出席を評価の前提条件として、欠席、遅刻は減点とする。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の発音表記「ピンイン (声調も含め)」を正しく書くことができる。 2. 中国語の簡体字で正確に書くことができる。 3. 学習した中国語の常用表現を正しく使用し、フレーズを正しく書くことができる。 4. グループワークやペアワークの時、学習した身近な会話について語彙、文型を正しく使用し、質問したり、答えたりして、しっかり相手に伝えることができる。 5. 中国語検定試験準4級の対策問題を正しく解くことができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
講義内で課題、小テストやレポート等に対する解説を加えながら回答を示す。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	使って学ぶ! 中国語コミュニケーション	寺西光輝	朝日出版社	978-4-255-45327-9	
参考文献					
図書館に文法書や辞書、中国語検定試験過去問解説本などがあります。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に教室、オンライン講義の時チャットで質問を受け付ける、課題のコメント欄にて随時受け付ける。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	劉 珍	前期の復習 第7課(1) 新出単語 本文 住んでいる場所や家族について話す。 文法事項 量詞 結果補語 住んでいる場所や仕事についてを尋ねたり、答えたりできる。 家族や身近な人物を紹介できる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 方位詞を覚える。
2	劉 珍	第7課(2) 新出単語 本文 住んでいる場所や家族について話す 文法事項 数量詞、“几”、“多少” 人や物の数を尋ねたり、答えたりできる。 仕事について尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 数量詞の使い分けを覚える。
3	劉 珍	第8課(1) 新出単語 本文 場所や存在について話す 文法事項 方向補語 存在の表現 場所について尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 補語の練習問題を解く。
4	劉 珍	第8課(2) 新出単語 本文 場所や存在について話す 文法事項 助動詞 “有”と“在” 存在について尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 動詞“有”と“在”の語順をしっかりと確認、練習問題を解く。
5	劉 珍	第7～8課の応用練習 小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング パフォーマンス課題① 家族を紹介しよう	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、第7～8課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、第7～8課の練習問題、簡体字を書いて覚える。付属教材第7～8課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。
6	劉 珍	第9課(1) 新出単語 本文 交通手段や希望について話す 文法事項 いつ、どのように、時間の長さ 交通手段や所要時間を説明できる。 いつするのか尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 「是...的」の使い方を覚える。
7	劉 珍	第9課(2) 新出単語 本文 交通手段や希望について話す 文法事項 前置詞、願望文 何がしたいか尋ねたり、答えたりできる。 どこで～するのか尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 時間と期間の語順に注意。
8	劉 珍	第10課(1) 新出単語 本文 動作の発生や進行について話す 文法事項 助詞、過去形 過去に行動や動作の発生の有無について確認したり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 結果補語の使い方を確認する。練習問題を解く。
9	劉 珍	第10課(2) 新出単語 本文 動作の発生や進行について話す 文法事項 進行形 動作の進行について確認したり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 進行形の言い方を覚える。練習問題を解く。

10	劉 珍	第9～10課の応用練習 小テスト 音声を聞いて、ピンインと簡体字をかける 読解練習 学生同士によるロールプレイング パフォーマンス課題② 自己紹介をしよう	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、第9～10課の本文を音読し、内容を確認する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、第9～10課の練習問題、簡体字を書いて覚える。付属教材第9～10課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。
11	劉 珍	第11課(1) 新出単語 本文 過去の出来事や値段について話す 文法事項 過去形、“是…的”構文 過去の出来事について、いつ、どこで、どのように～したのかを尋ねたり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。人民元の言い方を覚える。買い物の表現を暗記する。
12	劉 珍	第11課(2) 新出単語 本文 過去の出来事や値段について話す 文法事項 数量補語、値段の言い方 複数の物について説明できる。 基本的な買い物のやりとりができる。	演習	[予習](1時間) 音声教材を用い、新出単語と本文を聞き、内容を把握する。 [復習](1時間) 音声教材を聞き、単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 値段の聞き方を覚える。
13	劉 珍	第11課の復習 補充内容 新出単語 本文 インフルエンザワクチンを接種する 文法事項 病状の言い方 身体の状態、簡単な病状について確認したり、答えたりできる。	演習	[予習](1時間) 補充教材を用い、単語と本文を目に通しておく、内容を把握する。 [復習](1時間) 単語、基本表現を復習する。本文を音読する。 付属教材第11課のチェックシートを使い、単語、会話の習得状況をチェックしましょう。
14	劉 珍	後期のまとめと復習 ヒヤリング、スピーキングの練習 Can-do 達成の確認	演習	[予習](1時間) 後期学んだ語彙や表現に目を通しておく。 [復習](1時間) 授業で学んだことをしっかり覚える。付属教材Can-doシートを使い、到達目標と表現例を見ながら、できるかどうか確認しましょう。後期期末試験に備える。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	スポーツ理論・実技	必修・選択	選択
英語科目名	Sports Theory and Skills	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	門屋 悠香	ナンバリング	FNL15A1
担当教員	門屋悠香※、青木和浩※、福家瑠都、久永将太、稲川尚汰、花田祐	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	本授業では、コンディショニングの基礎理論とその具体的方法について、教室での講義や体育館等での実技を通して、健康やスポーツ科学への学問的な理解を深め、各自の健康づくりや体力向上を目的として展開する。講義では、健康や体力向上のための安全かつ効果的なコンディショニングの基礎理論及び実践方法について理解を深め、個々の体力に応じた効果的なトレーニングの実践及び対象者の目的に応じた安全なスポーツの実施方法について実技を中心に学修する。実技内容は、体力測定、ストレッチング、有酸素トレーニング、無酸素トレーニング、筋力トレーニング、ネット型ゲーム、ゴール型ゲーム等を実施する。また実技を通して対人へのコミュニケーション能力の養成も目標とする。				
授業の位置づけ	スポーツを通して、身体の健康のみならず精神的、社会的に良好な状態を築きくための実践力やコミュニケーション能力を高める。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DPI-II				
到達目標	1. 体力テストの内容が理解できる 2. 各種トレーニングの適応と禁忌が説明できる 3. 目的に合わせたトレーニング計画が作成できる				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	1. 運動に適した服装とシューズを用意すること。 2. 実習では、各種レクリエーションスポーツの器具や機器を使用する場合もあるので、安全には十分に配慮すること。 3. 実技を中心とした授業展開となるため、体調を整えて授業に臨むこと。 4. 複数のグループに分けておこなうため、授業の順番が前後する場合があります。 5. 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。				
成績評価の方法					
評価方法	授業内課題（50%）、レポート課題（20%）、平常点（30%）を総合して評価する。				
評価基準	1. 体力テストの内容および各種トレーニングの適応と禁忌が説明できる（授業内課題） 2. 目的に合わせたトレーニング計画が作成できる（レポート課題） 3. 実技への取組姿勢（平常点）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業内で課す小テストについては、授業内で解説を行う。 レポート課題については、J-PASS上で採点基準・ルーブリックを示す。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
授業中に、適宜、資料を配布する					
その他					
連絡先・オフィスアワー	連絡先については授業内でお知らせします				
備考	必要に応じて、授業時に資料を配布する				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	オリエンテーション コンディショニングとは	講義	[予習] コンディショニングについて調べる（学習時間30分） [復習] コンディショニングの定義を整理する（学習時間30分）	
2	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	理論（1）体力測定	演習	[予習] 新体力テスト（文部科学省）について調べる（学習時間30分） [復習] 自身の体力測定の結果を振り返る（学習時間30分）	

3	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	理論 (2) ウォーミングアップ・クーリングダウン	演習	[予習] ストレッチの重要性について調べる (学習時間30分) [復習] ウォーミングアップ、クーリングダウンの意義と効果を整理する (学習時間30分)
4	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	理論 (3) テーピング	演習	[予習] テーピングの目的を調べる (学習時間30分) [復習] テーピングの適応と禁忌を整理する (学習時間30分)
5	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	理論 (4) 筋力トレーニング	演習	[予習] 筋力トレーニングの種類を調べる (学習時間30分) [復習] 筋力トレーニングの適応と禁忌を整理する (学習時間30分)
6	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	理論 (5) 有酸素トレーニング	演習	[予習] 有酸素運動の種類を調べる (学習時間30分) [復習] 有酸素トレーニングの適応と禁忌を整理する (学習時間30分)
7	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	トレーニング計画の作成	演習	[予習] 健康づくりのための身体活動指針 (アクティブガイド) を調べる (学習時間30分) [復習] ディスカッションを経て、トレーニング計画を完成させる (学習時間30分)
8	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	実技 (1) ネット型スポーツ①	演習	[予習] 1週間のコンディショニングチェックを記録する (学習時間30分) [復習] 1週間の運動内容を振り返る (学習時間30分)
9	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	実技 (2) ネット型スポーツ②	演習	[予習] 1週間のコンディショニングチェックを記録する (学習時間30分) [復習] 1週間の運動内容を振り返る (学習時間30分)
10	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	実技 (3) ストレッチ	演習	[予習] 1週間のコンディショニングチェックを記録する (学習時間30分) [復習] 1週間の運動内容を振り返る (学習時間30分)
11	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	実技 (4) ゴール型スポーツ①	演習	[予習] 1週間のコンディショニングチェックを記録する (学習時間30分) [復習] 1週間の運動内容を振り返る (学習時間30分)
12	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	実技 (5) ゴール型スポーツ②	演習	[予習] 1週間のコンディショニングチェックを記録する (学習時間30分) [復習] 1週間の運動内容を振り返る (学習時間30分)
13	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	実技 (6) 筋力トレーニング	演習	[予習] 1週間のコンディショニングチェックを記録する (学習時間30分) [復習] 1週間の運動内容を振り返る (学習時間30分)
14	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	トレーニング計画の振り返り	演習	[予習] これまでの運動内容を振り返る (学習時間60分) [復習] ディスカッションを経て、今後のトレーニング計画を作成する (学習時間60分)
		定期試験を実施しない		

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	健康運動方法論	必修・選択	選択
英語科目名	Exercising and Skills	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	杉沼 喬	ナンバリング	FNL15A2
担当教員	杉沼 喬	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	適切な運動習慣が、生活習慣病の予防やうつ・認知症の予防にも役立つなど多くの知見が得られている。生涯を通じて健康づくりを実践するための知識や行動を学び、健康づくりのための幅広い視野と素養を身に付け、健康づくりのための指導方法を習得させる。				
授業の位置づけ	スポーツ理論で運動が身体に与える刺激によって、生理的变化が起こり、それが健康とどの様に結びつくのかを学び、対象者（患者）のアセスメントを十分に把握し、適切な治療及び必要があれば運動処方を作成し、指導及び実践出来る。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1-II : 教養を身につけた市民として行動できる能力 ODP1-IV : 人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ©DP2-I : 医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力				
到達目標	1) 自己及び周りの人の運動プログラムを作成できる 2) 健康づくりのための適切な運動について他人に説明できる				
先修要件	なし				
関連科目	人間関係論、高齢者看護学概論、スポーツ理論、レクリエーションスポーツ				
学修上の注意	模擬授業は、数人のグループに分かれて学生自身が指導者になって実技指導をやってもらおう。グループ毎の事前の打ち合わせや準備を十分に模擬授業に臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポート（20%）、出席状況（60%）、模擬授業（10%）、授業態度（10%）により総合的に評価する。				
評価基準	1) レポート提出の期日、文字数が守られ、内容が適切か、誤字、脱字の有無。 1) 自己及び周りの人の運動プログラムを作成できるか。 2) 健康づくりのための適切な運動について他人に説明できるか。 3) 主体性をもって授業参加が出来ているか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
希望に応じてレポートのフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし					
参考文献					
『健康スポーツ科学』 文光堂 『公認スポーツプログラマー』 日本体育施設協会 『公認スポーツ指導者養成テキスト』 日本体育施設協会					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時、メールで (t.suginuma.to@) 連絡すること				
備考	使用テキストは指定しないが、授業の都度必要に応じて資料を配付する。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
第1回目	杉沼 喬	授業ガイダンス 健康の定義について アルマ・アタ宣言とオタワ憲章について ヘルスプロモーションについて	講義	予習：健康の定義について調べてみる。 (学習時間：2時間) 復習：自分の日常生活において、健康活動を振り返る。(学習時間：2時間)	
第2回目	杉沼 喬	健康日本21の主な目標について	講義	予習：健康日本21について調べてみる。 (学習時間：2時間) 復習：我が国における健康づくりの現状についてまとめる。(学習時間：2時間)	
第3回目	杉沼 喬	機能改善プログラムの実践 集団指導の実際グループづくり・仲間づくり・組織づくりレクリエーション指導・軽スポーツ・ニュースポーツ指導	講義	予習：スポーツの種類について調べてみる。 (学習時間：2時間) 復習：機能改善プログラムの実践練習を行う。 (学習時間：2時間)	

第4回目	杉沼 喬	ライフステージ別運動指導法Ⅰ：幼児期・学童期の運動指導	講義	予習：自らのライフステージを振り返り、行って来た、学び・遊びやスポーツを書き出してみる。(学習時間：2時間) 復習：遊びやスポーツが身体に健康をもたらす事について、生理的に考えまとめる。(学習時間：2時間)
第5回目	杉沼 喬	ライフステージ別運動指導法Ⅱ：青年期・壮年期の運動指導	講義	予習：自分のライフステージ毎に体力づくりに必要な事柄にどの様なものがあったかを考え、書き出す。(学習時間：2時間) 復習：体力についての概念について、自らの気付きについて、考えをまとめる。(学習時間：2時間)
第6回目	杉沼 喬	エリクソンの発達理論 ライフステージ別運動指導法Ⅲ：高齢者・女性の運動指導	講義	予習：エリクソンの発達理論について調べ、自分のライフステージに当てはめ、考えてみる。(学習時間：2時間) 復習：高齢者及び障がい者の運動指導について、対象者を想定し、プログラムを作成してみる。(学習時間：2時間)
第7回目	杉沼 喬	トレーニングの原理と原則について ライフステージ別運動指導法Ⅳ：各種病態別の運動指導	講義	予習：トレーニングの原理と原則について調べてみる。(学習時間：2時間) 復習：障がい者・高齢者を対象とした場合の機能改善トレーニングをプログラムしてみる。(学習時間：2時間)
第8回目	杉沼 喬	運動指導の実際Ⅰ 各種運動指導法を体験する。 各グループの確定	演習・実技(高齢者・障がい者向けレクリエーション)日レクボール使用	予習：前半の講義授業で各自毎考案した運動指導プログラムを書式に従い、具体案の作成。(学習時間：2時間) 復習：体験した実技内容における印象について自らの考察をまとめ、レポート作成する。(学習時間：2時間)
第9回目	杉沼 喬	運動指導の実際Ⅱ 各種運動指導法を体験する。 各グループ毎に、各自作成したプログラムについて発表及び選考。	演習・実技(高齢者・障がい者向けレクリエーション)日レクボール等	予習：前回の演習授業で体験した活動について印象に残っている事を想起する。(学習時間：2時間) 復習：体験した実技内容における印象について自らの考察をまとめ、レポート作成する。(学習時間：2時間)
第10回目	杉沼 喬	模擬授業①：学生自身が各グループに別れて授業を展開し、発表会を行う。 高齢者・障がい者向けレクリエーション)日レクボール使用	演習・実技(高齢者・障がい者向けレクリエーション)日レクボール等	予習：各グループ毎、発表する実技プログラムについて指導案を作成する。(学習時間：2時間) 復習：発表したグループは内容の振り返り、体験したグループは印象(良かった点・改善点)について、レポート作成。(学習時間：2時間)
第11回目	杉沼 喬	模擬授業①：学生自身が各グループに別れて授業を展開し、発表会を行う。	演習・実技	予習：各グループ毎、発表する実技プログラムについて指導案を作成する。(学習時間：2時間) 復習：発表したグループは内容の振り返り、体験したグループは印象(良かった点・改善点)について、レポート作成。(学習時間：2時間)
第12回目	杉沼 喬	模擬授業②：学生自身が各グループに別れて授業を展開し、発表会を行う。	演習・実技	予習：各グループ毎、発表する実技プログラムについて指導案を作成する。(学習時間：2時間) 復習：発表したグループは内容の振り返り、体験したグループは印象(良かった点・改善点)について、レポート作成。(学習時間：2時間)
第13回目	杉沼 喬	模擬授業③：学生自身が各グループに別れて授業を展開し、発表会を行う。	演習・実技	予習：各グループ毎、発表する実技プログラムについて指導案を作成する。(学習時間：2時間) 復習：発表したグループは内容の振り返り、体験したグループは印象(良かった点・改善点)について、レポート作成。(学習時間：2時間)
第14回目	杉沼 喬	模擬授業④：自身が各グループに別れて授業を展開し、発表会を行う。	演習・実技	予習：各グループ毎、発表する実技プログラムについて指導案を作成する。(学習時間：2時間) 復習：発表したグループは内容の振り返り、体験したグループは印象(良かった点・改善点)について、レポート作成。(学習時間：2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	夏季野外スポーツ実習	必修・選択	選択
英語科目名	Outdoor Sports Practice (Summer)	対象学年	1～3年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	FNL15A3
担当教員	菅波盛雄	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	日常とは異なる自然環境の中で、自然の持つ偉大さ、素晴らしさ、恐怖心などを感じながら、さまざまな野外スポーツを体験することにより、その面白さ、楽しさに触れ、生涯スポーツを実践していくための資質の向上を図る。また、自然環境におけるマナーを理解し実践していくとともに、集団活動を通じた協調性や社会性を養うことも目標とする。				
授業の位置づけ	本科目は、養護教諭二種免許を取得するために必要な体育関連科目の1つに位置する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-II				
到達目標	(1) スクーバダイビング（夏季）の技術やマナーを理解し習得できる。 (2) 自然界の中でその偉大さと素晴らしさだけでなく、自然がもたらす脅威を体感し、自然への敬意を忘れないこころを培う。 (3) 自然の中で仲間やインストラクターと協力し合うこと、協調性の重要性を学習し、実行する。 (4) 自然環境のなかで生涯にわたり、スポーツを行う意義を理解し、楽しさを実感する。				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	本実習は集中授業であり、かつ日常と異なる野外での活動となるため、急激な運動量の増加やそれに伴う体力的な消耗が予想される。実習参加に際しては、実習期間中の体調管理に十分配慮すること。 経験の有無は問わないが、病気やケガの場合は医師の診断を必要とする。 医学部と一部合同で実施する。両学部合わせて参加希望者が60名を超えた場合は抽選となる。				
成績評価の方法					
評価方法	授業態度・取り組み姿勢(40%)、課題の習得度(40%)、知識の獲得度(20%)				
評価基準	(1) 各種活動を積極的に体験し、必要な知識・スキルおよびマナーを習得できること。 (2) 実習を通して対人関係や自然と人との相互関係について理解し実践できること。 単位認定については、事前オリエンテーションおよび実習期間全日程への出席を必要とする。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックは希望に応じて授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
必要に応じて授業中に紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	浦安キャンパス事務に連絡して、指示にしたがってください。				
備考	実習のしおりを配布する。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法*	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
夏季	菅波盛雄	スクーバダイビング 実習場所：さくら・浦安キャンパス、西伊豆土肥 実習時期：8月上旬～中旬を予定 (講義1日、プール講習1日、海洋実習2泊3日 計5日) ・事前オリエンテーション(2回) ・実習内容 講義(水中環境、深度下の障害、減圧、水中での安全管理 他) プールワーク(スキューバの基礎、緊急対応、スクーバコンビネーション他) 海洋実習(水中の安定、緊急対応、計画潜水他)	実習	予習： 安全に潜るための知識・スキルやマナー、環境を配慮した行動について調べておく。 (学習時間 合計10時間程度) 復習： 実習で身に付けた知識・スキルを確認し、理解を深める。(学習時間 合計5時間程度)	

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	冬季野外スポーツ実習	必修・選択	選択
英語科目名	Outdoor Sports Practice (Winter)	対象学年	1年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	FNL15A4
担当教員	櫻井 しのぶ	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	日常とは異なる自然環境の中で、自然の持つ偉大さ、素晴らしさ、恐怖心などを感じながら、さまざまな野外スポーツを体験することにより、その面白さ、楽しさに触れ、生涯スポーツを実践していくための資質の向上を図る。また、自然環境におけるマナーを理解し実践していくとともに、集団活動を通じた協調性や社会性を養うことも目標とする。				
授業の位置づけ	本科目は、養護教諭二種免許を取得するために必要な体育関連科目の1つに位置する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP1-II：教養を身につけた市民として行動できる能力				
到達目標	(1) スキーの技術やマナーを理解し習得できる。 (2) 実習を通して、対人関係や自然と人との相互関係について理解し実践することができる。				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	本実習は集中的に行い、かつ日常と異なる野外での活動となるため、急激な運動量の増加やそれに伴う体力的な消耗が予想される。実習参加に際しては、実習期間中の体調管理に十分配慮すること。 経験の有無は問わないが、病気やケガの場合は医師の診断を必要とする。				
成績評価の方法					
評価方法	授業態度・取り組み姿勢40%、課題の習得度40%、知識の獲得度20%				
評価基準	(1) 各種活動を積極的に体験し、必要な知識・スキルおよびマナーを習得できること。 (2) 実習を通して対人関係や自然と人との相互関係について理解し実践できること。 単位認定については、事前オリエンテーションおよび実習期間全日程への出席を必要とする。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックは希望に応じて授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
なし					
その他					
連絡先・オフィスアワー	浦安キャンパス事務室メールアドレス (urayasu@) 迄連絡すること				
備考	実習のしおりを配布する。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
冬季	櫻井 (未定)	(授業内容) 事前指導 1 実習の目的・概要を理解する (授業方法) 実習の概要、授業内容、参加方法などの説明する。		(予習：1時間) 本実習の目的を理解する (復習：3時間) 実習に向けた条件の確認をする	
	櫻井 (未定)	(授業内容) 事前指導 2 実習参加の心構え、準備内容、野外活動上の留意点を理解する (授業方法) 実習に向けて準備すべき内容、技能レベルのポイント、実習に向けたスケジュールなどを説明する		(予習：1時間) スキーに必要な用具を調べる (復習：5時間) 各目の用具を点検する	

櫻井（未定）・他	<p>（授業内容） 学外実習（集中）で、以下の内容を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班分け実技テスト ・班別実習 ・講義（スキー医事・技術） ・技能検定 <p>（授業方法） 技能別に班を編制するために実技テストを行い、技能別別に実習を行う。</p> <p>講義に関しては、班別講義・全体講義を行い、そのなかでディスカッションおよび質疑応答を行う。 実習手帖を利用して、学習内容についてまとめる。</p>		<p>（予習：5時間） スキーの技術体系、技能についてを調べる。</p> <p>実習中は、班ごとに出された課題に対して取り組む。</p> <p>（復習：5時間） 実習手帖を活用して、実習内容についてまとめる。 実習の成果をまとめる。</p>
----------	---	--	---

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	レクリエーションスポーツ	必修・選択	選択
英語科目名	Recreational Sports	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	門屋 悠香	ナンバリング	FNL15A5
担当教員	門屋悠香※、青木和浩※、福家瑠都、久永将太、稲川尚汰、花田祐	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	余暇社会において身近に親しめるレクリエーションスポーツやゲームを持ち合わせていることは人生を豊かにする。本授業では、さまざまなレクリエーションスポーツに触れながら、生涯にわたってスポーツを実践していくための資質を養うことを目的とする。				
授業の位置づけ	スポーツを通して、身体の健康のみならず精神的、社会的に良好な状態を築きするための実践力やコミュニケーション能力を高める。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DPI-II				
到達目標	1. 各種レクリエーションスポーツの実施方法や楽しみ方を理解し実践することができる。 2. ゲームやグループでの活動を通じて、リーダーシップや社会性を理解し実践することができる。				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	1. 運動に適した服装とシューズを用意すること。 2. 実習では、各種レクリエーションスポーツの器具や機器を使用する場合もあるので、安全には十分に配慮すること。 3. 実技を中心とした授業展開となるため、体調を整えて授業に臨むこと。 4. 受講人数に応じて、複数のグループに分けておこなうため、授業の順番が前後する場合があります。 5. 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。				
成績評価の方法					
評価方法	授業内課題（80%）、平常点（20%）				
評価基準	1. 各種レクリエーションスポーツの実施方法や楽しみ方を理解し実践できる（授業内課題） 2. ゲームやグループでの活動を通じて、リーダーシップや社会性を理解し実践できる（授業内課題） 3. 実技への取組姿勢（平常点）				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業内課題のフィードバックは当該時間内に解説を加えながらコメントする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
授業中に、適宜、資料を配布する					
その他					
連絡先・オフィスアワー	連絡先については授業内で知らせます				
備考	必要に応じて、授業時に資料を配布する				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	ガイダンス（授業の概要説明） レクリエーションスポーツについて	講義	[予習] レクリエーションについて調べる（学習時間30分） [復習] 授業内容を振り返る（学習時間30分）	
2	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	インドアスポーツ（1）	演習	[予習] 3X3バスケットボールについて調べる（学習時間30分） [復習] 授業内容を振り返る（学習時間30分）	

3	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	インドアスポーツ (2)	演習	[予習] ソフトバレーボールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
4	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	インドアスポーツ (3)	演習	[予習] ゴールボールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
5	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	インドアスポーツ (4)	演習	[予習] ボッチャについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
6	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	インドアスポーツ (5)	演習	[予習] 指定されたスポーツのルールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
7	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	インドアスポーツ (6)	演習	[予習] 指定されたスポーツのルールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
8	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	アウトドアスポーツ (1) 雨天時は内容を変更します	演習	[予習] アルティメットについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
9	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	アウトドアスポーツ (2) 雨天時は内容を変更します	演習	[予習] タグラグビーについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
10	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	アウトドアスポーツ (3) 雨天時は内容を変更します	演習	[予習] テニスのルールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
11	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	アウトドアスポーツ (4) 雨天時は内容を変更します	演習	[予習] 指定されたスポーツのルールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
12	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	アウトドアスポーツ (5) 雨天時は内容を変更します	演習	[予習] 指定されたスポーツのルールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
13	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	アウトドアスポーツ (6) 雨天時は内容を変更します	演習	[予習] 指定されたスポーツのルールについて調べる (学習時間30分) [復習] 授業内容を振り返る (学習時間30分)
14	門屋 青木 福家 久永 稲川 花田	まとめ・課題の確認	演習	[予習] これまでに学修した内容や課題を確認する (学習時間60分) [復習] 各種レクリエーションスポーツについて整理する (学習時間60分)
		定期試験を実施しない		

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	スポーツ心理学	必修・選択	選択
英語科目名	Sports Psychology	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	川田 裕次郎	ナンバリング	FNL15A6
担当教員	川田裕次郎	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	スポーツ場面で生じる心理的な現象や問題について具体的な事例を紹介して解説していく。これまで蓄積されてきたスポーツ心理学の基礎的な理論や枠組みを紹介し、学習内容をスポーツ現場で役立てる視点について、グループワークやディスカッションを通して学び、現場で応用できる力を身につけ、教養を身につけた市民としての行動できる能力を育むことを目指す。				
授業の位置づけ	本科目は「人間と教養」の「スポーツと健康」を構成する科目の一つである。本科目では、スポーツ場面で生じる心理的な現象や問題について学習し、スポーツ心理学の基礎的な理論や枠組みを理解するとともに、専門教養を学ぶための教養を身につけるための科目と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-II				
到達目標	(1) スポーツ心理学の成り立ち、役割、意義、基礎的な理論を説明できる。 (2) スポーツ心理学の心理的サポートについて自分の言葉で説明できる。 (3) スポーツ心理学の知見をコーチング、体育授業、運動の指導に応用できる。				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習をしてから授業に出席し、授業での学習内容を復習すること。 ・ 自分なりの目的意識をもって授業に参加すること。 ・ 授業ではグループワークやディスカッションを行う。 ※コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合がある				
成績評価の方法					
評価方法	(1) レポート試験 (50%)、(2) 授業毎の小テスト (50%)				
評価基準	(1) スポーツ心理学の成り立ち、役割、意義、基礎的な理論を説明できる (小テスト)。 (2) スポーツ心理学の心理的サポートとメンタルトレーニングについて自分の言葉で説明できる (小テスト)。 (3) スポーツ心理学の知見をコーチング、体育授業、運動の指導や日常生活に応用できる (レポート)。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題 (小テストやレポート等) に対するフィードバックの方法 小テストとレポートのフィードバックは授業中に返却して解説を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
下記の3点の書籍はレポートの作成や準備学習での参考書として薦めます。 (1) 最新スポーツ心理学-その軌跡と展望, 日本スポーツ心理学会 (編) (大修館書店) (2) スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版, 日本スポーツ心理学会 (編) (大修館書店) (3) スポーツ心理学事典, 日本スポーツ心理学会 (編) (大修館書店) 必要な資料は授業中に適宜配布します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時E-mailで受け付ける E-mail: yuukawa@ (@以降を追記してください)				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	川田	授業のオリエンテーション スポーツ心理学の定義 [キーワード] スポーツ心理学の歴史、定義、研究内容、現状と課題	講義 GW	[予習] 授業のシラバスを丁寧に読んでくる。スポーツ心理学の定義について事前に調べてくる。授業で学びたいと考えている内容を3つ考えてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業のオリエンテーションの内容について理解を深めるために授業資料を読み返す。スポーツ心理学がどのような学問であるのかについて復習する。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)	

2	川田	心理状態とパフォーマンスの関係 [キーワード] 不安、緊張、逆U字曲線、最適な緊張感、スランプ、プラトー	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心理状態とパフォーマンスの関係について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
3	川田	スポーツでの心理サポートとメンタルトレーニング [キーワード] 心理サポート、メンタルトレーニング	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。心理サポートとメンタルトレーニングについて事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
4	川田	スポーツにおける動機づけ [キーワード] 期待-価値理論、統制感、原因帰属理論	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける動機づけについて事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
5	川田	スポーツにおける自己効力感 [キーワード] 社会的認知理論、自己効力感、代理体験、観察学習	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける自己効力感について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
6	川田	スポーツにおける目標設定 [キーワード] 目標設定の理論、長期-中期-短期目標、結果目標とパフォーマンス目標	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける目標設定について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
7	川田	スポーツにおける心理的準備 [キーワード] 心理的準備、感情調整、レジリエンス	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおける心理的準備について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
8	川田	チームワークを高めるチームづくり [キーワード] 組織の構造、集団凝集性、集団のモラル	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。チームワークを高めるチームづくりについて事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
9	川田	リーダーシップとフォロワーシップ [キーワード] リーダーシップ、フォロワーシップコミュニケーション・スキル	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。リーダーシップとフォロワーシップについて事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)

10	川田	スポーツと心理的発達 [キーワード] パーソナリティの発達、社会性の発達、検査方法	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツと心理的発達について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
11	川田	スポーツにおけるストレスとストレス対処行動 [キーワード] ストレス、ストレス対処行動、ストレス反応	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるストレスとストレス対処行動について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
12	川田	スポーツ選手のバーンアウトの理解 [キーワード] 学習性無力感、ドロップアウト、バーンアウト	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツ選手のバーンアウトの理解と予防について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
13	川田	スポーツにおけるハラスメントと体罰の理解と予防 [キーワード] パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント、体罰	講義 GW	[予習] 資料の該当部分を丁寧に読んでくる。スポーツにおけるハラスメントと体罰について事前に調べてくる。(学習時間1時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間1時間)
14	川田	レポート課題の解説とスポーツ心理学の授業のまとめ [キーワード] カウンセリングの理論、相談の進め方、カウンセラー、クライアント	講義 GW	[予習] レポート課題(スポーツ心理学をコーチング、体育指導、運動指導に応用する方法の提案)を実施して提出する。(学習時間7時間) [復習] 授業資料を読み返す。ディスカッションで出された意見についてまとめる。復習時に疑問に思ったことについて調べ、わからなければ質問をできる準備をしておく。(学習時間2時間)
		スポーツ心理学テストと授業のまとめ		[予習] 1回~14回の授業内容の復習をしっかりと行う。(学習時間7時間) [復習:4時間] 試験で自信をもって解答できなかった箇所について、再度復習する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	医療看護ゼミナール	必修・選択	必修
英語科目名	Health Care and Nursing Seminar	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	FNL16A1
担当教員	飯島佐知子、伊藤龍子、岩淵和久、大月恵理子、櫻井しのぶ、佐藤まゆみ、種市ひろみ、野崎真奈美、平井周、湯浅美千代、水野恵理子、池田恵、金子育世、島田広美、高谷真由美、長瀬雅子、永野光子、若林律子、青柳優子、大西麻未、岡本隆寛、岡本美代子、加茂敦子、川上和美、佐野裕子、杉山智子、鈴木小百合、鈴木紀子、高山京子、松浦彩美、田中朋子、寺岡三左子、中山久子、中山仁志、原田静香、菱田一恵、樋野恵子、増田美恵子、高梨あさき、森田亜希子、高島えり子、横山久美、板井麻衣、仲里良子	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	大学教育のスタートとして、教員と少人数制のゼミナール形式の双方向的、相互啓発性の高い学習環境での学修を体験する。ゼミでは、関心ある学問的テーマについて各種情報を基に探究し、科学的／論理的思考を意識して議論し合い、大学生としてふさわしいアカデミックな書き方によるレポートの作成、及び、プレゼンテーションスキルを学ぶ。また、仲間のプレゼンテーションを聞く際は、自らの意見や感想を発言しながら互いに学びを深められるよう積極的な参加ができることを目指す。テーマの探究と発表の過程では、研究倫理を遵守した責任ある研究行為について学び、研究における不正行為、データの扱い、盗用等に関する倫理行為の防止について関心を高め適切な思考と行動ができるようにする。				
授業の位置づけ	本科目の学修態度やスキルは大学生が身に着けるべき基本的なものであり、これから展開されるあらゆる科目に関連する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1-II、ODP1-IV、◎DP5-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブラーニングとはどのようなものであるかを説明でき、実践できる。 2. 自らの関心あるテーマを選択でき、そのテーマについて論理的・科学的に調べるための計画についてレジュメを作成することができる。 3. 調べた内容についてまとめ、その都度レジュメを用いて、学生間で発表とディスカッションをすることができる。 4. 各自テーマに関して実施した探求過程とディスカッションして深まった知見を論理的、科学的文章と形式を用いたレポートとして作成することができる。 5. 一連の成果についてプレゼンテーション（口頭発表）することができる。 6. 各自テーマに関して正しい知識を持ち、上記1～5のいずれの過程においても高い倫理感を持って学修を進めることができる。 7. 上記を遂行し、自らのテーマが自らの力で具体的に解明される時の喜びを意識し、体験することができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	ゼミでの学修体験をとおして大学生の学修態度を身に着け、これからのあらゆる科目において実践すること。具体的なスケジュールやゼミの方法などについては、各担当教員の指示を確認すること。				
成績評価の方法					
評価方法	ゼミにおける参画度（30%）、プレゼンテーション（30%）、レポート（40%）を総合的に判断する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの興味・関心を持ったテーマ内容について論理的・科学的に調べるための計画を立案し、実践できている。 ・調べて明らかとなった内容について適切に説明でき、ディスカッションをすることができる。 ・仲間の発表時にも積極的にディスカッションに参加し、自らの意見や感想を述べるができる。 ・ディスカッションした結果を反映した内容で、論理的・科学的文章と形式でレポートを作成することができる。 ・研究倫理を常に意識した行為ができる。 ・最終的な成果を大学生としてふさわしいスキルを用いてプレゼンテーションすることができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
最終プレゼンテーション時に説明の仕方、内容、スライド等について教員より説明する。レポートの書き方等は適宜教員より説明あるいは添削される。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第3版	佐藤望ほか	慶應義塾大学出版会		
	アカデミック・スキルズ グループ学習入門 学びあう場づくりの技法	慶應義塾大学教養研究センター監修	慶應義塾大学出版会		
参考文献					
各教員が必要に応じて紹介する					

その他				
連絡先・オフィスアワー	各教員ともオフィスアワーに従って、メール等で連絡すること			
備考	1. 「2022年度 医療看護研究Ⅱ発表会」において4年生がおこなった研究発表の録画を観ることができる。大学生としてふさわしい研究の内容、及び発表の様子は1年生にとって将来の自己像を形成するのに役にたつ。 また、「2023年度医療看護研究Ⅱ発表会」（2023年11月予定）に聴衆としての参加も強く推奨する。 2. 具体的なスケジュールやゼミの方法等については、各担当教員の指示を確認してください。			
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	2022年度教務委員長	ガイダンス 1. 大学で学修すること 2. 研究／レポート等の作成にかかわる倫理的問題 1) 責任ある研究行為＜研究倫理について＞ 2) 研究における不正行為 3) データの扱い 4) 盗用	講義	予習：テキスト1 第1章、第2章を読んでおく。 (学習時間 2時間) 復習：どんなテーマに関心があり探究したいのか、それはなぜかについてゼミ用の自己のノートに記載しておく。また、身近にある書籍や文献からそのテーマに関するキーワードを探索しておく (学習時間 90分)
2	担当教員	自己紹介とゼミで探究したいテーマについて話し合う（必ず、1回は発言すること） ・現時点で取り組もうとしているテーマについて各自発表し、他の学生はそれに対する興味や関心について出し合う。 ・テーマの検討、今後のアクティブラーニングの方法について、各自提案し、スケジュールを立てる	GW	予習：自分の探究したいテーマに関連する情報収集を行い、プレゼンテーション用の資料を作成する。 (学習時間 2時間) 復習：教員やゼミメンバーの意見を参考にしながら、さらに文献等で探究し続け自らの考えを精練させたり明確化し、その内容をプレゼンテーションできるように準備をする。 (学習時間2時間)
3～13	担当教員	1. グループワーク（アクティブラーニング） 各自、準備してきた資料を提示してプレゼンテーションを行う。ディスカッションによって自らの偏った見方や考え方に気づき、真理の探究に近づけるよう意識して進めていく。 2. レポート作成・プレゼンテーション準備 レポートの書き方やプレゼンテーションの方法について学ぶ。 先行研究文献や書籍を引用する際に倫理的に配慮する方法を習慣化する。	GW	予習：テキスト第3章～第8章を読んでおく。 前回のゼミで明らかになった課題について各自調べ、パワーポイントを使ったり、資料作成をするなど、自分の意見を伝達するのにふさわしい方法を選択し準備する。 (学習時間 2時間) 復習：必要に応じて情報の探索を続け、その内容を順次整理しておく。(学習時間2時間)
14	担当教員	探究した各自のテーマについて口頭発表を一人ずつ行う。 聴衆となった学生は発表者への敬意をもちつつ、自分の意見を述べることで、ディスカッションを深め、共通理解ができるようにする。 レポート及び最終プレゼンテーションにおいて倫理的配慮が適切に行われているか確認する。	演習	予習：プレゼンテーションの準備を行う。 予行を行い、できるだけ原稿を見なくてもプレゼンテーションができるようにしておく。 (学習時間 2時間) 復習：仲間のプレゼンテーションを聞くととき聴衆としてふさわしい態度であったか振り返る。また、一連のゼミを振り返り、大学生としてふさわしい学修ができたかを見つめ、自分の課題を明確にする。 最終レポートを作成する。 (学習時間 2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	新しい世界を拓いた人々	必修・選択	選択
英語科目名	Academic Pioneers & their Achievements	対象学年	1年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	FNL16A2
担当教員	田中 和廣、金子 育世、廣津 信義、馬場 猛、寺岡 三左子、和田 麻理、石原 量、藤田 亮子、吉田 和人、和氣 秀文、種市 ひろみ	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	医療看護学部、医学部、スポーツ健康科学部、の3学部の学生を対象として、共通開講する一般教養の選択科目である。本学の全ての学部の一般教養担当教員を中心とした8名の教員が、それぞれの専門とする分野からインパクトのある話題、興味深い話題を選び、わかりやすく紹介する。特に、各分野に貢献した人物を糸口にして、分野の発展におけるターニング・ポイントにスポットを当てるほか、現在注目を浴びているホットな話題も取り上げる。				
授業の位置づけ	人文科学から自然科学さらに医療に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持ち、互いに意見を交換し、視野を広げ、考えを深めることを目的とする。この授業で登場する“新しい世界を拓いた人々”のエピソードや、授業のグループ・ディスカッションを通して自分の仲間たちの考え方からも学び、21世紀を生きていくために自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたて実行に移していく。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP1-II、○ DP5-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療および人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持つことができる。 2. 所属学部にとらわれることなく他学部の学生とも積極的に交流して意見を交換できる。 3. 物事を様々な視点から考えることができる。 4. チームでの討論を通して、問題点を掘り下げその解決策を提案することができる。 5. 自分の意見をわかりやすく具体的に述べ、簡潔な文でまとめることができる 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	<p>対象：医療看護学部、医学部、スポーツ健康科学部1年生（但し、スポーツ健康科学部は2年生以上も履修可） 受講希望者多数の場合は、抽選をすることもある。</p> <p>Zoomによるオンライン授業とオンデマンドのビデオ視聴を組み合わせる。3学部の学生が混合するようにグループを作り、Zoomのブレイクアウトルームにてグループ・ディスカッションをする時間を授業の中に設ける予定である。ブレイクアウトルームではZoomのカメラをONにすることし、顔出ししてグループ・ディスカッションに参加できることを履修の条件とする。ディスカッションに積極的に取り組めるよう、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性を高め準備しておくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 良い、悪い、驚いた等と感じたことがどの点であるかを、具体的に述べ簡潔な文でまとめられるようにしておくこと。 2. 自分の意見をわかりやすくまとめて述べられるようにしておくこと。 3. 通り一遍の意見にならないよう、自分の意見を掘り下げ深めようとする習慣をつけること。 4. 理路整然とした筋の通った文章を書く訓練をしておくこと。 <p>これらについて平日頃から意識して心掛け、身に付けるよう努めることが大切である。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）を担当の教員が10点満点で採点し、この結果（90%）と、授業態度およびグループ・ディスカッションへの参加態度（10%）と統合し、合計点を100点満点に換算して最終結果とする。				
評価基準	各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）により、 ・授業のグループ・ディスカッションを通して自分の考え方を発展させることができたか、 ・自分の意見をわかりやすく説明できるか、 を評価し、到達目標1～5の達成度を判定する。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
グループ・ディスカッションの内容を発表して全体で討論したり、各回の授業での提出物から解答例・感想の例をピックアップして紹介し、フィードバックする機会がある。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
授業の際に適宜紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	金子：随時メール（ikaneko@）にて質問等受け付ける 田中：授業終了時にZoomで質問等受け付ける				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	田中 和廣	世界は何からできているのか？ ・アナタハ、神ヲ、シンジマスカ？ ・物質の階層構造とそのスケール [キーワード] ・見えないものの“視覚化”、サイズと質量 ・原子、原子核、電子、陽子、中性子、クォーク	講義 SGD	[予習] 「世界は何からできているのか？」とそのエビデンスとして何を挙げることができるか、自己学習してくること。(学習時間1時間) [復習] この授業を踏まえ、自分自分は究極的には何からできていることになるのか、つきつめて考えてみよう。(学習時間1時間)
2	田中 和廣 金子 育世 廣津 信義 馬場 猛	4 学部共通講座ガイダンス ・授業の進め方とスケジュール ・受講者の心構え ・グループ分け [キーワード] ・グループ・ディスカッション ・グループ・リーダー、成績評価の方法	講義 SGD	[予習] グループ・ディスカッションの進め方について検索し自己学習してくること。(学習時間1時間) [復習] 受講者の心構えと成績評価の方法を確認し、ディスカッション・リーダー等の次回の役割分担をまとめておくこと。(学習時間1時間)
3	寺岡 三左子	医療の場における文化 ・在日外国人が実感した日本の医療における異文化体験 ・多様な背景をもつ患者 [キーワード] ・在日外国人、文化、異文化、International patients, Cultural competence ・文化的介入、異文化看護、異文化理解、Transcultural care	講義 SGD	[予習] 文化、異文化について考え、ディスカッションできるように考えたことを言語化してまとめておく。(学習時間1時間) [復習] 授業で紹介した研究成果やディスカッションを通して考察したことをまとめる。(学習時間1時間)
4	和田 麻理	再生 ～何にでもなれる細胞～ (1) ・幹細胞とは ・ES細胞 [キーワード] ・幹細胞、体細胞、分化、組織幹細胞 ・受精卵、ES細胞	講義 SGD	[予習] キーワードについて、図表など資料を用いて事前に調べておく。(学習時間1時間) [復習] 「何にでもなれる細胞」は必要か、また自分にとって、生命の始まりはいつの時点なのか、考えておく。(学習時間1時間)
5	和田 麻理	再生 ～何にでもなれる細胞～ (2) ・体細胞クローン、iPS細胞 ・多能性幹細胞の現状 [キーワード] ・体細胞、初期化、iPS細胞 ・再生医療、創薬	講義 SGD	[予習] キーワードについて、図表など資料を用いて事前に調べておく。(学習時間1時間) [復習] 多能性幹細胞の利点、欠点について、また、どの範囲まで「再生」可能か、自分なりに考えておく。(学習時間1時間)
6	石原 量	役に立つ材料をデザインする？ (1) ・人を見抜く？ ・マーカーの利用 [キーワード] ・因子、診断、(バイオ)マーカー ・(予防)医学、Sportology	講義 SGD	[予習] 人を評価するときどんなものを指標にしているか考えてみる。(学習時間1時間) [復習] 自分の興味のあるヒトの性質に対してどのようなマーカーが存在するのかを調べる。(学習時間1時間)
7	石原 量	役に立つ材料をデザインする？ (2) ・なぜ？ ・デザインへの落とし込み [キーワード] ・機能性材料、ものづくり ・その場検査、画像診断、AI	講義 SGD	[予習] 材料(Materials)に関して、できるだけ多くの情報を収集する。(学習時間1時間) [復習] 自分の興味のある人の性質に対してどのような機能性材料が存在するのかを調べる。(学習時間1時間)
8	藤田 亮子	英語教育学とは？ (1) ・英語教育学の理論 ・英語教育学の基礎 [キーワード] ・第二言語習得、言語獲得装置 ・英語教授法の歴史、ESL、EFL	講義 SGD	[予習] 自分が受けてきた英語教育はどのようなものだったか考えておく。(学習時間1時間) [復習] 授業で学んだ第二言語習得と、英語教授法の歴史を復習する。(学習時間1時間)
9	吉田 和人	スポーツにおける国際競技力向上 ・スポーツにおける国際競技力向上で大切なこと [キーワード] ・強化モデル、競技力向上の目的、医科学サポート	講義 SGD	[予習] 関心のあるスポーツにおける国際競技力向上について調べておく。(学習時間1時間) [復習] 授業内容の振り返り、参考文献調査などから、考察を深める。(学習時間1時間)
10	吉田 和人	スポーツにおける国際交流 ・スポーツにおける熾烈な競走と深い交流 [キーワード] ・スポーツマンシップ、オリンピック	講義 SGD	[予習] 関心のあるスポーツにおける国際交流について調べておく。(学習時間1時間) [復習] 授業内容の振り返り、参考文献調査などから、考察を深める。(学習時間1時間)
11	和氣 秀文	医療科学とスポーツ科学の接点について考える ・最大酸素摂取量とは？ATとは？ ・健康のための運動とは？ [キーワード] ・生理学、呼吸器系、循環器系、エネルギー代謝 ・体力、持久力、生活習慣病、運動処方・療法	講義 SGD	[予習] からだの仕組みについて、呼吸器系と循環器系を中心にこれまでの学びを振り返る。(学習時間1時間) [復習] 生活習慣病とその予防・改善方法について調べる。(学習時間1時間)

12	種市 ひろみ	地域共生社会を考える ・地域共生とは何か ・地域共生社会を実現するためにできること [キーワード] ・少子高齢化、地域共生、地域包括ケアシステム ・役割、協働、専門職	講義 SGD	[予習] キーワードについて、ネット検索等で調べる。(学習時間1時間) [復習] 地域共生社会を実現するために自分にできることを考える。(学習時間1時間)
13	藤田 亮子	英語教育学とは？(2) ・リスニングのプロセス ・リスニング指導とリスニング学習 [キーワード] ・基本4技能、リスニング理解に与える要因 ・リスニング教材、オーセンティック教材	講義 SGD	[予習] 英語のリスニングに関して疑問に感じた点をまとめておく。(学習時間1時間) [復習] 英語のリスニング指導方法と学習方法について復習する。(学習時間1時間)
14	田中 和廣 金子 育世 廣津 信義 馬場 猛	まとめ ・新しい世界はどう切り拓かれたか？ ・これから新しい世界を切り拓くには？ [キーワード] ・4学部共通講座のふりかえり ・必要となる“真の教養”とは？ ・大学生活でどう学んでいくか？	課題レポート作成	[予習] これまでの授業で感動した内容、印象に残ったグループ・ディスカッションをまとめておく。(学習時間1時間) [課題レポート作成] これまでの授業をふりかえり考える。将来の自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたてる。これらの課題について指示にしたがいレポートを作成し提出する。(学習時間1時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	保健学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Health Care Science	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	2単位
代表教員	岡本 美代子	ナンバリング	FNL21B1
担当教員	岡本美代子※、橋本晴男※、大森由紀※、片桐諒子※、武藤剛※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	健康についての基本的な概念を理解し、保健・医療・福祉関連分野の視点を交え、国内外における人々の健康や影響を及ぼす環境の概観について学ぶ。また、保健統計・疫学の基本を学び、集団における健康指標や疾病動向の捉え方を学ぶ。さらに、保健学、公衆衛生学の歴史を踏まえ、グローバル社会の全ての人々が健康を目指すための取り組みの変遷を学び、現在と将来の方向性を展望する。そして、現代社会の健康課題に対応し、多様な背景を持つ人々を含む地域住民を健康に導くための保健・医療・福祉活動やその発展性について考察する。			
授業の位置づけ	各領域の基盤となる科目であり、現代の国内外のグローバル社会に生活する人々についての幅広い保健・医療・福祉関連分野の教養を身につける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1-II：教養を身につけた市民として行動できる能力 ◎DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ODP3-I：保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力 ODP4-I：国際的視野をもって活動できる基礎的能力			
到達目標	1) 保健学、公衆衛生学の歴史を踏まえ健康やヘルス・プロモーションの概念を通して現在と将来の健康課題について考えを述べる ことができる。 2) 人々の健康を理解するための保健統計・疫学の基本を理解することができる。 3) 人々の生活をとりまく環境と健康のかかわりを理解することができる。 4) 人々を健康に導く保健・医療・福祉活動が地域社会でどのように展開されているか理解することができる。			
先修要件	なし			
関連科目	医療の歴史、世界の医療・福祉制度、保健医療社会学、健康と疫学、保健統計、社会福祉・社会保障論、公衆衛生看護学概論、地域生涯保健活動論、保健医療福祉行政論、国際看護			
学修上の注意	・本シラバスに掲載されている予習・復習に取り組むこと。 ・授業内で提示された課題は、期限までに取り組むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	1) 日々の学習状況（授業内で提示された課題） (30%) 2) 定期試験 (70%)			
評価基準	1) 日々の学習状況（授業内で提示された課題） ・健康やヘルス・プロモーションの概念を通して、現在と将来の健康課題について考えを述べる ことができる。 ・保健統計・疫学の基本を踏まえて人々の健康について述べる ことができる。 ・人々の生活をとりまく環境や労働と健康のかかわりについて述べる ことができる。 ・人々を健康に導く保健・医療・福祉活動が地域社会でどのように展開されているか を述べる ことができる。 2) 定期試験 ・授業内容をふまえた基本的知識について理解ができる			
試験・課題に対するフィードバック方法				
日々の学修状況（授業中に提出された課題）では、後続する授業やJuntendo-passportを通じて全体にフィードバックを行う。定期試験後の質問には、個別に対応する（要アポイントメント）。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
コンパクト公衆衛生学	松浦賢長、小林兼毅、荻田早苗 編	朝倉書店	978-4-254-64050-2	第7版
参考文献				
1. 国民衛生の動向 最新版（厚生労働統計協会） 2. 公衆衛生がみえる（メディックメディア） 3. 岡本美代子編著「海外で国際協力をした人々のための活動ハンドブック」（遠見書房） 4. 湯浅資之著「ヘルスプロモーションの原点回帰」（ライフ出版社） 5. 福田洋・江口泰正著「ヘルスリテラシー 健康教育の新しいキーワード」（大修館書店） 他、適時参考となる文献を提示する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	科目責任者の連絡先・オフィスアワー 研究室：浦安キャンパス 4階第3研究室 E-mail：myokamo@juntendo.ac.jp オフィスアワー：平日 月から金（9:00-18:00） 対面希望の場合は、メールでアポイントメントをお取りください。 科目責任者以外の担当教員へは、授業前後の時間（対面授業の場合）もしくは、科目責任者から連絡が取れます。			
備考	特になし。			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	岡本美代子	「健康の概念」 健康と病の歴史 健康の定義と概念 日本国民はどのくらい健康なのか 健康支援へのキーワード	講義	〔予習〕 教科書 第I部 公衆衛生学の基盤 1. 公衆衛生の課題、第III部 人々の健康 9. 健康教育・行動変容を予め読んで健康について自分の考えをまとめておく。(学習時間:2時間) 〔復習〕 健康の概念の多様性を確認する。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間:2時間) 〔キーワード〕 健康の定義、WHO憲章、ヘルス・プロモーション、公衆衛生、疾病予防の概念
2	岡本美代子	「地域での暮らしと保健・福祉」 地域社会の意味 地域社会に住む人々の生活と健康 地域保健活動 地域福祉活動	講義	〔予習〕 教科書 第I部 公衆衛生学の基盤 3. 疫学的方法による健康の理解 (D) 科学的根拠に基づく医療/看護、第III部 人々の健康 10. 母子保健、11. 学校保健、13. 精神保健福祉 (G)、16. 災害と健康、第IV部 公衆衛生のひろがり17. 地域保健行政、18. 保健と福祉、を予め読んでおく。地域社会の人々の暮らしと健康について考えておく。(学習時間:2時間) 〔復習〕 地域の保健、福祉のしくみ、課題について確認しておく。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間:2時間) 〔キーワード〕 エビデンス、ナラティブ、EBM/EBN、保健福祉行政、地域ケアシステム、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)、社会福祉協議会
3	橋本晴男	「身のまわりの環境と健康」 空気、温度、室内環境 化学的要因と健康 物理的要因と健康	講義	〔予習〕 教科書 第II部 環境・社会と健康 4. 日常生活環境と健康 (A) ~ (G) を予め読み、健康に影響を及ぼす「環境」とは何か考えておく。(学習時間:2時間) 〔復習〕 日常の暮らしと健康の関わりを確認しておく。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間:2時間) 〔キーワード〕 空気の組成、PM2.5、音、騒音性難聴、振動、気圧、電磁波、電離放射線、非電離放射線、確定的影響、確率的影響、熱中症、WBGT、二酸化炭素、シックハウス症候群
4	大森由紀	「上下水道」 普及率の推移 急速ろ過、緩速ろ過 水道水の水質基準 活性汚泥法 水質汚濁指標	講義	〔予習〕 教科書 第II部 環境・社会と健康 4. 日常生活環境と健康 (H) 水を予め読んでおく。上水・中水・下水とは何か調べておく。(学習時間:2時間) 〔復習〕 上下水道の発達、日本における水質保全のための規制を確認しておく。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間:2時間) 〔キーワード〕 水道法、水質汚濁防止法、一般細菌、大腸菌、大腸菌群、塩素、クリプトスポリジウム、トリハロメタン、DO、BOC/COD、富栄養化、水洗化人口、排水基準
5	岡本美代子	「健康の指標」 人々(集団)における健康をみる 人口問題と人口統計 統計情報の収集と見方 保健統計の活用	講義	〔予習〕 教科書 第I部 2. 人口問題と出生・死亡、3. 疫学的方法による健康の理解を予め読んでおく。(学習時間:2時間) 〔復習〕 集団の健康を示す保健統計の意味を理解する。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間:2時間) 〔キーワード〕 保健統計、疫学、健康の定量化、人口問題と人口統計、人口動態統計、人口静態統計、国勢調査、国民生活基礎調査、患者調査

6	岡本美代子	「社会保障とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」 社会保障とは 日本の社会保障制度とそのしくみ 国民皆保険と国民医療費 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ	講義	〔予習〕 教科書 第III部 人々の健康 12. 労働と健康、13. 精神保健福祉、第IV部 公衆衛生のひろがり 19. 医療制度と医療政策を予め読んでおく。(学習時間：2時間) 〔復習〕 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間：2時間) 〔キーワード〕 社会保障、国民皆保険、健康保険制度、国民医療費、年金制度、労働災害・雇用保険、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ
7	片桐諒子	「公衆栄養と食品衛生」 日本人の栄養・食事摂取基準 運動と休息 食の安全 食による健康被害 食品衛生管理	講義	〔予習〕 教科書 第II部 社会・環境と健康 6. 栄養と健康を予め読んでおく。日本人の食事摂取基準2020を調べ、I総論 2策定の基本事項の中の2-1指標の概要を読み栄養素の指標について理解を深めておく。(学習時間：2時間) 〔復習〕 推定平均必要量、推奨量、目標量、耐用上限量を確認しておく。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間：2時間) 〔キーワード〕 健康増進法、国民健康・栄養調査、NHANES、健康寿命、生活習慣病、BMI、食品添加物、食中毒、保健機能食品、食品安全委員会、消費者庁、アフラトキシン、ポジティブリスト制度、HACCP
8	岡本美代子	「格差社会と健康の社会的決定要因」 格差社会と健康格差 健康の社会的決定要因 貧困と健康 生活困窮世帯と自立支援	講義	〔予習〕 教科書 第II部 環境・社会と健康 8. 社会経済的要因と健康を予め読んでおく。(学習時間：2時間) 〔復習〕 健康の社会的決定要因を確認しておく。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間：2時間) 〔キーワード〕 健康格差、健康の社会的決定要因、相対的貧困、絶対的貧困、生活保護法、生活困窮者自立支援法
9	岡本美代子	「感染症とその予防」 感染症の成立 世界規模でのパンデミックと日本 現代の感染症・性感染症と対策 予防接種	講義	〔予習〕 教科書 第II部 環境・社会と健康 7. 感染症とその予防を予め読み、主な感染症について学習しておく。(学習時間：2時間) 〔復習〕 日本の感染症対策について確認をしておく。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間：2時間) 〔キーワード〕 感染症の歴史、感染症、性感染症、予防接種
10	武藤剛	「健康長寿に向けた保健」 疾病予防への公衆衛生的アプローチ 行動変容ステージモデル 成人期の健康課題と保健活動 健康長寿をめざす公衆衛生学の理論と実践	講義	〔予習〕 教科書 第III部 人々の健康 9. 健康教育 行動変容 14. 成人保健・生活習慣病を読んでおく。喫煙の害と禁煙指導を予習する。(学習時間：2時間) 〔復習〕 喫煙の害と禁煙指導を行動変容モデルから説明できるようにする。ヘルスリテラシーを高める方法を考える。健康行動の推進や健康長寿の実現をめざしてどのような公衆衛生的アプローチが望まれるか考える。(学習時間：2時間) 〔キーワード〕 予防医学、メタボリックシンドローム対策、がん対策、ヘルスリテラシー、禁煙指導、特定健康診査・特定保健指導、動機付け支援・積極的支援

11	岡本美代子	「グローバル社会と保健」 グローバル・ヘルス プライマリ・ヘルスケア 地域間の健康格差 国際協力とSDGs	講義	<p>〔予習〕 教科書 第IV部 公衆衛生のひろがり 20. 国際保健を予め読んでおく。アルマ・アタ宣言について調べ内容を理解しておく。(学習時間：2時間)</p> <p>〔復習〕 プライマリ・ヘルスケアの理念を確認しておく。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。(学習時間：2時間)</p> <p>〔キーワード〕 グローバル・ヘルス、SDGs、プライマリ・ヘルスケア、保健システム、国際協力、へき地医療</p>
12	大森由紀	「環境保全と廃棄物処理」 環境汚染と公害・地球環境 典型7公害の歴史と現状 環境放射能 都市環境問題 地球規模の環境問題とその対策 一般廃棄物と産業廃棄物 感染性廃棄物 放射性廃棄物	講義	<p>〔予習〕 教科書 第II部 環境・社会と健康、5. 環境汚染と公害を予め読み、地球環境問題はどのように起きるのか考えておく。身の回りの廃棄物、その処理方法を考えておく。(学習時間：2時間)</p> <p>〔復習〕 海洋汚染、砂漠化、環境放射能、公害、廃棄物の分類、処理責任者を確認する。講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。今、自分ができる環境への取り組みを考える。(学習時間：2時間)</p> <p>〔キーワード〕 廃棄物処理法、3R、マニフェスト、循環型社会、バイオハザードマーク、典型7公害、地球環境汚染、環境基本法、水俣条約、都市環境問題</p>
13	岡本美代子	「多様な背景をもつ人々と保健」 多様な背景を持つ人々 多文化理解と多文化共生 性の志向と健康	講義	<p>〔予習〕 教科書 第IV部 公衆衛生のひろがり 17. 地域保健行政、18. 保健と福祉を予め読んでおく。(学習時間：2時間)</p> <p>〔復習〕 講義で取り上げた箇所について教科書や紹介された資料を読み、理解を深めておく。(学習時間：2時間)</p> <p>〔キーワード〕 価値観の多様性、多文化理解、在留外国人、外国と繋がる人々、多文化共生社会、出入国管理及び難民認定法、トランスカルチャー、トランスジェンダー、SOGI</p>
14	岡本美代子	「最期まで自分らしく生きる」 クオリティ・オブ・ライフ クオリティ・オブ・デス アドバンス・ケア・プランニング 人生の終焉に向けてのケアリング 保健・医療・福祉分野の多職種連携	講義	<p>〔予習〕 教科書 第III部 人々の健康 15. 高齢者保健・在宅ケア、第IV部 公衆衛生のひろがり 17. 地域保健行政 (F) 地域保健行政に関わる主な専門職の役割を予め読んでおく。人が一生を終える時にできるケアとは何かを考えておく。(学習時間：2時間)</p> <p>〔復習〕 講義で取り上げた内容について教科書や資料を読み、理解を深める。(学習時間：2時間)</p> <p>〔キーワード〕 超高齢社会、孤立死、クオリティ・オブ・ライフ、クオリティ・オブ・デス、エンド・オブ・ライフ・ケア、アドバンス・ケア・プランニング、意思決定支援、医療介護連携、多職種連携</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	助産学概論	必修・選択	選択
英語科目名	Introduction to Midwifery	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	大月 恵理子	ナンバリング	PNL21B1
担当教員	大月恵理子※, 青柳優子※, 森田亜希子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	助産学の基盤となる概念および理論を理解するとともに、助産の専門性、助産師に求められる姿勢や態度を学ぶ。助産の意義、助産師の身分と法的責任、国内外の母子保健行政の変遷と現状、母子保健関連法規、助産の変遷、助産師教育、助産と文化について学習し、助産師の役割と活動、助産師の責務と機能、助産における倫理的課題の理解を深める。			
授業の位置づけ	人間の健康の健康と社会の枠組みに位置する科目である。助産師国家試験受験資格に関わる科目であり、助産学の基盤となる科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-Ⅲ, ○DP2-II			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の概念、助産師の定義、助産業務範囲について説明できる。 2. 助産師の専門職性と法的責任を説明できる。 3. 母子保健行政の変遷と現状を理解し、課題を考察できる。 4. 助産および助産師教育の変遷と現状を理解し、課題を考察できる。 5. 助産における日本および諸外国の文化的影響を説明できる。 6. 助産に関わる倫理的課題を理解し、その対応を考察できる。 7. 助産学研究の特徴を理解し、研究のあり方について考察できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	母性看護学概論、助産診断技術学総論、母子の心理社会学と深く関連し、助産診断技術学Ⅰ～Ⅴおよび助産管理、周産期の医療安全、助産学実習につながる科目である。			
学修上の注意	助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。授業は主体的に臨むこと。グループワークや発表等を通して、自分の考えを表現できるように心がけて欲しい。			
成績評価の方法				
評価方法	レポート課題（20%）、試験（80%）にて評価する。			
評価基準	<p>到達目標1～7の到達状況によって評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の概念、助産師の定義、助産業務範囲について説明できる。 2. 助産師の専門職性と法的責任を説明できる。 3. 母子保健行政の変遷と現状を理解し、課題を考察できる。 4. 助産および助産師教育の変遷と現状を理解し、課題を考察できる。 5. 助産における日本および諸外国の文化的影響を説明できる。 6. 助産に関わる倫理的課題を理解し、その対応を考察できる。 7. 助産学研究の特徴を理解し、研究のあり方について考察できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
希望者には、随時メール等で応じる				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
助産学講座Ⅰ 基礎助産学 [1] 助産学概論	我部山キヨ子他	医学書院	978-4-260-01997-2	
参考文献				
<p>工藤美子他：「助産師基礎教育テキスト1 助産概論」日本看護協会出版会、2022</p> <p>母子衛生研究会：「我が国の母子保健」令和5年、2023</p> <p>厚生労働統計協会：「国民衛生の動向」（最新版）</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時メールにて質問を受け付ける。面会の希望の場合は事前にメールにて連絡する。 科目責任者：大月恵理子 e.otsuki.up@			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	大月恵理子	助産の概念と定義 1) 助産とは 2) 助産師の定義 3) 助産業務範囲 4) 助産師の教育課程	講義	予習：保健師助産師看護師法の助産師の定義について復習し、助産とはについてテキスト1章を参考に、自身のイメージを持って臨むこと。(学習時間70分) 復習：授業計画を再度読み、授業全体のイメージをつかむ。助産師の業務範囲をイメージすると共に、授業で触れた助産師の定義について確認する。(学習時間70分)
2	青柳優子	助産師の役割・責務および助産師業務 1) 日本助産師会が示す助産師の役割・責務 2) WHOによる助産師の業務 3) ICMによる助産業務の範囲 4) 保健師助産師看護師法による助産師の業務範囲 5) 助産師業務の法的義務 6) これからの助産師に求められる役割と機能	講義	予習：テキスト第2章、助産師の役割について読んでおくこと。(学習時間70分) 復習：講義で取り上げた保健師助産師看護師法による助産業務の範囲、助産業務上の法的義務を確認しておくこと。(学習時間70分)
3	青柳優子	助産師と法律・人権・倫理 1) 助産行為と法・人権・倫理 2) 助産業務を取り巻く法律 3) 助産と倫理理論・主要概念・倫理綱領・ガイドライン	講義	予習：テキスト第4章を読んでおくこと。(学習時間70分) 復習：講義で取り上げた助産に関する法律、リプロダクティブヘルス・ライツ、倫理理論を自分なりに整理し、理解を深めておくこと。(学習時間70分)
4	森田亜希子	母子保健行政の変遷と現状 1) 母子保健の動向・母子保健の水準 2) 現在の母子保健施策と課題	講義	予習：テキスト第5章を読んでおくこと。提示された事前課題に取り組み、母子保健統計について復習しておく。(学習時間70分) 復習：授業資料、授業内容、テキストを確認しておく。(学習時間70分)
5	大月恵理子	助産と文化 1) 我が国の出産風俗 2) 多様な文化における妊娠・出産・育児 3) 多様な文化における女性の健康支援	講義	予習：テキスト第6章を読んでおくこと。(学習時間70分) 復習：授業内容、授業資料、テキストを確認しておく。(学習時間70分)
6	大月恵理子	助産学研究 1) 助産学研究とは 2) 助産学研究の利用方法 3) EBMと助産研究	講義	予習：テキスト第3章を読んでおくこと(学習時間70分) 復習：授業内容、授業資料、テキストを確認しておくこと。(学習時間70分)
7	大月恵理子	助産学研究 4) 助産学研究の実際	演習、グループワーク	予習：テーマにそって研究論文を1つ選び、その概要と論文のクリティークをA4用紙2枚にまとめてグループメンバー分をコピーして持参すること(学習時間250分) 復習：グループワークで得られた意見を参考に、自己の作成した内容を確認する。(学習時間30分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	保健医療社会学	必修・選択	選択
英語科目名	Health and Medical Sociology	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	北村 薫	ナンバリング	CNL21C1
担当教員	北村 薫	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	本講の目標は医療従事者としての教養を高めることにある。単に知識を豊かにするというだけを目標としない。現在起きている健康問題、将来起こるであろう健康問題について、自分はそれをどう考えるか、自分が考えたことをどう生かすか、答えのない問いに想像力をはたらかせて批判的に検討し、挑戦できる姿勢を形成することを学習目標とする。				
授業の位置づけ	看護にかかわる社会現象を広い視野から相対的・批判的に把握する能力を高めることで、他の医療従事者との協働的人間関係を構築するうえでの基礎となる科目と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DPI-III、△DPI-I				
到達目標	1) 提示された課題について多面的・多角的に多くの情報を入手することができる。 2) 入手した多くの情報を批判的に分析し自分の問題として考え発展させることができる。 3) 課題の健康問題について複数の解を検討してそのなかから最適解を提示することができる。				
先修要件	なし				
関連科目	社会学入門				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ●講義中・グループディスカッション中に資料や関連情報を確認してもらうことがあります。携帯・スマホ・タブレット・PC、いづれでも結構ですから、ネットワークに接続できる機器を必ず教室に持参してください。 ●授業の進捗状況により順序が変わったり、別のテーマで講義することもあります。 ●履修者70名以上の場合は曜日の異なる2クラスに分け、曜日の希望を取ります。 				
成績評価の方法					
評価方法	各授業の終了時に各自が提出するリフレクションペーパーの内容30%、授業時に行うグループワークの発表および発表用資料の内容20%、最終レポート30%、総合評価20%で評価する。 最終レポートが未提出の場合は評価の対象としない。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ●最終レポートの論理構成および訴求点が明確になっているか。 ●グループディスカッションでリーダーシップ・メンバーシップを発揮しているか。 ●講義内容を理解してリフレクションペーパーを書いているか。 ●最終レポート・リフレクションペーパーに授業内容を発展させた自分の意見が展開されているか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
J-passのクラスプロファイル機能を使用して行います。 毎回の提出文書に対しては毎回コメントをつけてお返しします。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
必要に応じ、その都度提示します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了後に応じます。 時間外の場合は事務へのメール (urayasu@) でアポをとってください。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の保健医療社会学の原点を探る ●physical, mental, spiritual and social well-beingとは何かについて個人研究し、かつてWHOで検討されたspiritual well-beingについてグループ討議をする。 ●討議の結果をまとめて発表する。 ●spiritual well-beingについて小講義を行う。 ●グループワーク、小講義を踏まえ自分の考えをまとめる。 	個人学習 グループディスカッション 講義	<p>[予習] 保健医療社会学会のホームページ等で保健医療社会学の研究領域について調べておく。(3時間)</p> <p>[復習] 現代社会における「心のよりどころ」、ハイマートロス問題などについて自分の考えをまとめておく(3時間)。</p>
2・3	北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●薬物依存と社会的健康について個人研究する。 ●個人研究をふまえ、グループ討議をする。 ●討議の結果をまとめて発表する。 ●薬物依存について小講義を行う。 ●グループワーク、小講義を踏まえ自分の考えをまとめる。 	個人学習 グループディスカッション 講義	<p>[予習] 外国における大麻合法化の流れとその意味について調べる(4時間)。</p> <p>[復習] 社会問題としての薬物問題、依存症と社会的繋がりの問題等について、様々な角度から考察し、自分なりの考えをまとめておく(4時間)。</p>
4・5	北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の地域社会での孤立等について個人研究する。 ●個人研究をふまえ、グループ討議をする。 ●討議の結果をまとめて発表する。 ●高齢者の生活・人間関係、セルフネグレクト、孤立死等について小講義を行う。 ●グループワーク、小講義を踏まえ自分の考えをまとめる。 	個人学習 グループディスカッション 講義	<p>[予習] 地域社会における高齢者の生活にかかわる情報をできるだけ幅広く収集する(4時間)。</p> <p>[復習] 高齢者のストローク飢餓と人間関係問題、高齢化と保健行政・看護の関係等について自分なりの考えをまとめておく(4時間)。</p>
6・7	北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●beの概念・well-beingの社会学的理解に講義を行い、これまでの授業内容の総括をする。 ●全体のまとめとして、保健医療問題に対する社会学的アプローチの理解を確認する。 <p>【最終レポート作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講義全体を振り返り、最終レポートを作成し、提出する。 	講義	<p>[予習] 前回までの講義内容を振り返り、自分の書いた文章だけでなく、グループ討議の結果、他のグループの発表などもふまえ、自分なりの意見をまとめておく(4時間)。</p> <p>[復習] 最終レポート返却時のコメントをもとにして学習内容全般の確認をする(4時間)。</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	健康と疫学	必修・選択	必修
英語科目名	Health and Epidemiology	対象学年	2年
開講学期	後期前半	単位数	2単位
代表教員	牧野 国義	ナンバリング	CNL21C2
担当教員	牧野 国義	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	疫学の学習は保健・医療・看護の分野でいろいろな問題を考えていく上で必要な疫学や健康問題について理解し、保健情報や看護研究、疫学を学ぶために応用出来ることを目的とする。				
授業の位置づけ	社会で頻発する疾病について生活環境との関係に基づいて考察するとともに、その消長の経過も観察する疫学の基礎と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-1：医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力との関連				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 疫学の目的や意義について説明できる。 2) いろいろな健康指標の特徴を説明できる。 3) 疫学的因果関係やその調査手法を説明できる。 4) 感染症、循環器疾患などの罹患の特徴について説明できる。 5) 基礎疾患になる高血圧、糖尿病について説明できる。 6) 各種統計調査の特徴を説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	統計学、統計演習、公衆衛生学				
学修上の注意	疫学ではさまざまな用語が使用される。まず用語の内容（意味や目的など）を正しく理解すること。また、死亡率や罹患率の年次推移について注意し、疾患による特徴を理解すること。				
成績評価の方法					
評価方法	試験成績（80%）、小レポートと参加意欲（併せて20%）を統合して評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> (1) 疫学の目的や意義について説明できる。 (2) いろいろな健康指標の特徴を説明できる。 (3) 疫学的因果関係やその調査手法を説明できる。 (4) 感染症、循環器疾患などの罹患の特徴について説明できる。 (5) 基礎疾患になる高血圧、糖尿病について説明できる。 (6) 各種統計調査の特徴を説明できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックは希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	標準保健師講座別巻2「疫学・保健統計」		医学書院		
参考文献					
『国民衛生の動向』厚生統計協会					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時、メールアドレス（kmakino@）迄連絡すること				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	牧野	疫学概論	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 疫学の目的や意義を理解するとともに、疫学の歴史について学習すること。(学習時間2時間)
2	牧野	疫学的研究方法	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 疫学の方法はその目的によりいろいろな方法がある。各方法の目的や特徴を理解すること。(学習時間2時間)
3	牧野	健康指標1	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 疫学で利用される健康指標は多い。それぞれの指標について、定義、利用方法を理解すること。(学習時間2時間)
4	牧野	健康指標2	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 疫学で利用される健康指標は多い。それぞれの指標について、定義、利用方法を理解すること。(学習時間2時間)
5	牧野	信頼性と妥当性	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 疫学的な信頼性と妥当性についてその意味を理解すること。(学習時間2時間)
6	牧野	疫学的因果関係・疾病予防	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 健康事象では因果関係が明確でない。その中で疫学的に因果関係を推定する考え方を理解すること。疾病予防の考え方を理解すること。(学習時間2時間)
7	牧野	調査票の作成・がん	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 疫学調査で利用される調査票について作成方法、特徴、留意点を理解すること。がんの疫学的な特徴を理解すること。(学習時間2時間)
8	牧野	感染症	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 感染症の疫学的な特徴を理解すること。(学習時間2時間)
9	牧野	心疾患・脳血管疾患	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 心疾患・脳血管疾患の疫学的な特徴を理解すること。(学習時間2時間)
10	牧野	高血圧症・糖尿病	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 高血圧症・糖尿病の疫学的な特徴を理解すること。(学習時間2時間)
11	牧野	精神疾患・自殺	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 精神疾患・自殺の疫学的な特徴を理解すること。(学習時間2時間)
12	牧野	不慮の事故・その他の疫学(環境疫学)	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 不慮の事故・環境疫学の疫学的な特徴を理解すること。(学習時間2時間)
13	牧野	生命表	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] その他の疾患についての疫学的な特徴を理解すること。(学習時間2時間)
14	牧野	統計調査	講義	[予習] テキストの該当するページを読んでくること。(学習時間1時間) [復習] 国勢調査などの統計調査について内容、特徴を理解すること。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	保健統計	必修・選択	必修
英語科目名	Health Statistics	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	2単位
代表教員	牧野 国義	ナンバリング	PNL21C1
担当教員	牧野 国義	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	疫学の解析ツールとなる保健統計の学習は保健・医療・看護の分野でいろいろな問題を考えていく上で必要な統計学の基礎を理解し、保健情報や看護研究、疫学を学ぶために応用出来ることを目的とする。さらに、保健情報の収集・分析及び統計的解析能力を養う。これはデータリテラシーを涵養し、データ・AI利活用の向上につながるものである。				
授業の位置づけ	健康事象の発生から消滅に至るまで、原因の解明、対策の効果判定などを正しく評価するためには量的な解析が不可欠で、その解析の基礎と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-I : 医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 各種統計手法の解析目的や結果の解釈について説明できる。 2) いろいろなグラフの特徴を説明できる。 3) 母集団と標本集団の性質と違いを説明できる。 4) 集団の代表値やばらつきについて説明できる。 5) 推定と検定について説明できる。 6) 文献情報の収集方法を説明できる。 7) データ・AI利活用の進め方を説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	統計学、統計演習、健康と疫学				
学修上の注意	疫学ではさまざまな用語が使用される。まず用語の内容（意味や目的など）を正しく理解すること。また、保健統計では多くの数式による手法が利用される。その手法を利用する目的、利用するための条件や制限、解析結果の解釈の仕方を理解すること。				
成績評価の方法					
評価方法	試験成績（80%）、小レポートと参加意欲（併せて20%）を統合して評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各種統計手法の解析目的や結果の解釈について説明できる。 (2) いろいろなグラフの特徴を説明できる。 (3) 母集団と標本集団の性質と違いを説明できる。 (4) 集団の代表値やばらつきについて説明できる。 (5) 推定と検定について説明できる。 (6) 文献情報の収集方法を説明できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックは希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	標準保健師講座別巻2「疫学・保健統計」		医学書院		
参考文献					
『国民衛生の動向』厚生統計協会					
その他					
連絡先・オフィスアワー	適時、Juntendoメールアドレス（kmakino@）迄連絡すること。 オフィスアワーとして、kmakino@juntendo.ac.jp を利用することができます。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	牧野	情報管理	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 情報の取り扱い、個人情報保護、倫理の問題とともに情報検索の手法を理解すること。(学習時間2時間)
2	牧野	データの性質	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 集団の代表値である平均値、メディアン、モードなどの性質、特徴を理解すること。(学習時間2時間)
3	牧野	グラフ	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] グラフの種類その特徴、使い方を理解すること。(学習時間2時間)
4	牧野	正規分布	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 正規分布の性質や他の統計分布の特徴を理解すること。(学習時間2時間)
5	牧野	ばらつき	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 集団のばらつきの意味、性質、特徴を理解すること。(学習時間2時間)
6	牧野	標本抽出、推定と検定	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 標本抽出法と統計学的な推定、検定について理解すること。(学習時間2時間)
7	牧野	独立性の検定	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 分割表の検定、適合度検定について理解すること。(学習時間2時間)
8	牧野	比率、平均値の検定	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 正規検定、t検定の手法を理解すること。(学習時間2時間)
9	牧野	相関と回帰	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 相関、回帰分析の意味と手法について理解すること。(学習時間2時間)
10	牧野	分散分析、ノンパラメトリック法	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 分散分析やノンパラメトリック法について理解すること。(学習時間2時間)
11	牧野	多変量解析、統計利用上の注意	講義	[予習] テキストの該当するページを読むこと。(学習時間1時間) [復習] 多変量解析の概略を理解し、統計利用上注意すべきことを理解すること。(学習時間2時間)
12	牧野	保健統計演習1	講義または演習	データを入力し、計算方法、グラフの描き方の操作法を習得すること。(学習時間2時間)
13	牧野	保健統計演習2	講義または演習	t統計手法を利用するためのパッケージ(分析ツール)の操作法を習得すること。(学習時間2時間)
14	牧野	保健統計演習3	講義または演習	いくつかの問題について Excel で統計解析を行うこと。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	家族関係論	必修・選択	必修
英語科目名	Family Sociology	対象学年	2年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	川口 遼	ナンバリング	CNL21B1
担当教員	川口遼	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	現代社会において家族は人間集団の最小単位と見做されており、健康維持活動を含め様々な個人的、集団的実践が家族を基盤に行われる。あまりに身近な存在であるため普遍的な存在として考えられがちな家族だが、そのあり方は歴史的、社会的に多様である。本授業では歴史的に変動する家族のあり方について特に社会学的に学修することを通じて、家族に関する市民的教養を養うとともに、看護現場での家族援助に活かせる知見を身につけることを目指す。				
授業の位置づけ	本科目は、人間集団の基礎的な単位である家族について理解を深めることにより、個人の生活を豊かにするとともに市民として求められる教養を身につけるものとして位置付けられる。また、学修内容を看護の場面での家族関係への配慮や援助に活かすことも期待される。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-1：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力				
到達目標	1. 家族を社会的、歴史的側面から説明できる。 2. 現代社会における家族関係の変化や多様化を説明できる。 3. 現代社会における家族の課題と今後の展望を考察できる。				
先修要件	なし				
関連科目	公衆衛生看護学概論、在宅看護学概論、母性看護学概論、助産学概論、母性の心理・社会学、家族看護論				
学修上の注意	主体的に授業に参加（考え、発言する）することを求めます。 日ごろから、家族や社会のニュースに関心を持ってください。				
成績評価の方法					
評価方法	授業参画度 10% 提出物（小レポート）40% 最終試験 50%				
評価基準	1) 家族の社会的、歴史的側面を説明できる。 2) 現代社会における家族関係の変化や多様化を説明できる。 3) 現代社会における家族の課題と今後の展望を考察できる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
なし					
その他					
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワー：特に設けず、質問は随時メールで受け付ける。 連絡先：r.kawaguchi.mf@juntendo.ac.jp				
備考	資料を随時配布し、特定のテキストは使用しない。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	川口	0. ガイダンスなぜ、家族について学ぶのか 1. 家族の構造と概念	講義	[予習] 家族とは何か、どのような関係であれば家族と呼べるのか、について考えてくる。 (学習時間30分) [復習] 授業資料と授業内容を確認し、家族と類似概念の定義を整理しておく。(学習時間30分) [キーワード] 法律上の家族、家族の定義
2	川口	2. 家族形態の変化(近代～現代の変遷)	講義	[予習] 時代による家族形態の変化について考えてくる。(学習時間30分) [復習] 授業資料と授業内容を確認し、家族形態の変遷と理由を整理しておく。(学習時間30分) [キーワード] 多義性、標準家族
3	川口	3. 家族とジェンダー	講義	[予習] 家族成員の家族内での役割や実際の言動に性別に基づく違いがないか、考えてくる。 (学習時間30分) [復習] 授業資料と授業内容を整理し、家族とジェンダーについて再考する。(学習時間30分) [キーワード] ジェンダー
4	川口	4. 家族と社会構造	講義	[予習] 雇用や社会保障における家族の役割について考えておく。(学習時間30分) [復習] 授業資料と授業内容を整理し、日本型の生活保障システムのあり方についてまとめる。(学習時間30分) [キーワード] 母性、父性、子育て、介護、共働き、ワーク・ライフ・バランス
5	川口	5. 結婚と夫婦・パートナー関係	講義	[予習] どのような夫婦／パートナー関係を築きたいか(築きたくない場合も含め)を考えておく。(学習時間30分) [復習] 授業資料と授業内容を確認し、現代社会における夫婦・パートナー関係の変化と課題を整理しておく。(学習時間30分) [キーワード] 未婚化、晩婚化、非婚化、同性婚、異性愛規範
6	川口	6. 少子化と親子関係	講義	[予習] 日本の少子化の状況について調べる。(学習時間30分) [復習] 授業内容と資料をもとに、少子化の現状と親子関係の変化について整理しておく。(学習時間60分) [キーワード] 少子化、親子関係、息子介護
7	川口	7. ジェンダー家族を超えて	講義	[予習] これまでの授業内容をもとに、現代の家族が抱える問題について整理しておく。(学習時間60分) [復習] 授業資料および授業内容をもとに、今後、日本社会における家族の位置づけがどのように変化するか(あるいはしないか)まとめておく。(学習時間60分) [キーワード] ジェンダー家族

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	社会福祉・社会保障論	必修・選択	必修
英語科目名	Social Welfare and Social Security	対象学年	1年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	松山 毅	ナンバリング	FNL21A1
担当教員	松山 毅	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	「社会福祉・社会保障とは何か？」-これを問い、考えることがこの授業の目標です。医療看護関係者にとっても必要な社会福祉サービスを理解するために、現代の社会福祉問題、社会福祉の意義と役割、基本思想、関連法規と社会保険の基礎、方法、資格、医療と福祉の連携等を学びます。				
授業の位置づけ	保健医療の対象者は、母子、障害者、高齢者、生活困窮を抱える方など、社会福祉の対象者と重複することも多くあります。社会福祉・社会保障などの社会資源（制度・サービス）の知識を学ぶことは、患者や家族の社会生活や人間関係など生活支援も視野に入れた対応を可能にします。またこの科目は保健医療行財政論などの基礎科目に位置づけることができます。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP3-1 保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力 ○DP2-1 医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力				
到達目標	1) 現代社会の福祉・介護問題とその社会的背景を説明できる 2) 社会福祉の基本思想（ノーマライゼーション等）を説明できる 3) 社会福祉・社会保険の基本的な法律・制度・資格について説明できる 4) 保健・医療・福祉の連携の意義について説明できる				
先修要件	なし				
関連科目	社会保障論、保健医療福祉行政論				
学修上の注意	テキストの予習（通読で構いません）をお勧めします。授業内容は、直接的に看護にかかわる内容ではありませんが、社会人として必要とされる知識です。自分の関心にひきつけて取り組んでください。				
成績評価の方法					
評価方法	講義に関する筆記試験で評価します。				
評価基準	(1) 現代社会の福祉・介護問題とその社会的背景を説明できる (2) 社会福祉の基本思想（ノーマライゼーション等）を説明できる (3) 社会福祉・社会保険の基本的な法律・制度・資格について説明できる (4) 保健・医療・福祉の連携の意義について説明できる				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付けます。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉		医学書院		
参考文献					
授業内で随時紹介します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時、松山毅メールアドレス（tmatsuya@）迄連絡してください。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松山	社会福祉・社会保障の概念-社会福祉の考え方 [キーワード] 社会保障制度（公的扶助制度含む）	講義・GW	[予習] テキスト第1章・A「社会保障制度」第3章「健康保険」第5章「年金保険」に目を通しておく（学習時間60分） [復習] 医療保障制度、年金保障制度、労働保障制度の概要について整理し、まとめておく（学習時間90分）
2	松山	現代社会の福祉問題-少子高齢化を中心に [キーワード] 少子高齢化問題、現代の社会福祉問題	講義・GW	[予習] テキスト第2章・A「現代社会の変化」を読んでおく（学習時間60分） [復習] 我が国の人口の変化、家族や個人のライフスタイルの変化についてまとめる。そのことが社会保障・社会福祉・保健医療にどのような影響を与えているか考えてみる。（学習時間90分）
3	松山	社会福祉の法制度、資格（沿革） [キーワード] 社会福祉の歴史、社会福祉法	講義・GW	[予習] テキスト第1章B「社会福祉の法制度」第9章「社会福祉の歴史」第8章「社会福祉実践と医療・看護」に目を通しておく（学習時間60分） [復習] 社会福祉の歴史をふまえて、今後の社会福祉や保健医療の制度がどのように展開されるか、考えてみる。医療と関連する社会福祉や社会保障の専門職についてまとめておく（学習時間90分）
4	松山	高齢者福祉と介護保険制度 [キーワード] 老人福祉法、介護保険法	講義・GW	[予習] テキスト第7章A「高齢者福祉」、第4章「介護保障」に目を通しておく（学習時間60分） [復習] 介護保険制度が創設された背景、介護保険制度の概要、課題についてまとめておく。（学習時間90分）
5	松山	児童家庭福祉 [キーワード] 児童福祉法、母子保健、少子化対策	講義・GW	[予習] テキスト第7章C「児童家庭福祉」に目を通しておく（学習時間60分） [復習] 児童家庭福祉の施策についてまとめておく。少子化対策はどのような取り組みがなされているか、今後どのような取り組みが期待されるか、考えてみる。児童虐待の実態や児童相談所の役割についてまとめておく。（学習時間90分）
6	松山	障害者福祉 [キーワード] 障害者福祉制度、関連制度、ノーマライゼーション	講義・GW	[予習] テキスト第7章B「障害者福祉」に目を通しておく（学習時間30分） [復習] ノーマライゼーションの理念についてまとめてみる。障害者の実態について整理し、障害者施策やサービスについてまとめておく。（学習時間90分）
7	松山	貧困問題について [キーワード] 公的扶助・生活困窮者自立支援法・格差	講義・GW	[予習] テキスト第6章「公的扶助」（学習時間60分） [復習] 低所得者対策の概要をまとめておく。生活保護の原理や原則、保護の種類などを整理しておく。（学習時間90分）
8	松山	定期試験		

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	保健医療福祉行政論	必修・選択	必修
英語科目名	HealthCare&Social Welfare Administration	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	2単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	PNL21C2
担当教員	櫻井しのぶ、寺島彰※、藤森誠※、原田静香	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	日本の現在の社会状況を踏まえ、保健・医療・福祉・その他関連する施策・法律・組織・行政活動の概要について学び、看護職者として地域における保健活動を行う際に必要な視点を養う。また、地域における健康問題を解決するために必要な施策を実践する際のシステム作りの考え方やシステムを支える経済的基盤についても学ぶ。				
授業の位置づけ	本科目は人間の健康「健康と社会」に位置づけられており、保健・医療・福祉・その他関連する施策・法律・組織・行政活動の概要について学び、看護職者として地域における保健活動を行う際に必要な視点を養う。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP2-I、◎DP3-I				
到達目標	(1) 国民の生活背景の変化と保健行政の関係について理解する。 (2) 保健行政の組織について理解する。 (3) 保健行政の展開と基本となる制度を理解する。 (4) 保健行政の課題と展望を考える。 (5) 保健行政と福祉行政の連携の重要性を知る。				
先修要件	なし				
関連科目	社会福祉論、社会保障論				
学修上の注意	教科書、講義資料を熟読すること。 保健・医療・福祉等に関する新聞記事に目を通すこと。				
成績評価の方法					
評価方法	各授業内容ごとの課題（10%）期末試験成績（90%）にて評価する。				
評価基準	(1) 国民の生活背景の変化と保健行政の関係について説明できる。 (2) 保健行政の組織と展開、基本制度と課題について説明できる。 (3) 保健行政と福祉行政の連携の重要性を説明できる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題や質問に関するフィードバックは、次回講義時、またはJuntendo-Passport 等を利用し、担当教員からの講評					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生看護学.jp		インターメディカル		最新版
	国民衛生の動向		厚生労働統計協会		最新号
参考文献					
『衛生行政大要』 日本公衆衛生協会 最新版 『厚生指標 国民の福祉と介護の動向』 厚生労働統計協会 最新号 『厚生指標 保険と年金の動向』 厚生労働統計協会 最新号					
その他					
連絡先・オフィスアワー	担当の教員への連絡は、事務メールアドレス（urayasu@juntendo.ac.jp）で随時受け付けます。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	藤森誠	(1) 公衆衛生と衛生行政 サブタイトル：保健所等の組織と活動	講義	[予習] 「国民衛生の動向」衛生行政活動の概況を読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、保健行政の概要の理解を深め、課題レポートを作成する。(学習時間60分) [キーワード] 地域保健法、保健所、市町村保健センター
2	藤森誠	(2) 医療提供体制の現状	講義	[予習] 「国民衛生の動向」医療対策を読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、医療対策についての理解を深め、課題レポートを作成する。(学習時間60分) [キーワード] 医療法、保健医療計画
3	藤森誠	(3) 保健と医療の動向 サブタイトル：感染症の最近の動向	講義	[予習] 「国民衛生の動向」感染症対策を読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、感染症対策についての理解を深め、課題レポートを作成する。(学習時間60分) [キーワード] 感染症法、結核、HIV、腸管出血性大腸菌
4	藤森誠	(4) 保健と医療の動向 サブタイトル：新型インフルエンザ対策	講義	[予習] 「国民衛生の動向」教科書の感染症対策を読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、感染症対策について理解を深め、課題レポートを作成する。(学習時間60分) [キーワード] 新型インフルエンザ、新興・再興、感染症
5	藤森誠	(5) 国民健康づくり対策 サブタイトル：健康日本21計画等健康づくり対策	講義	[予習] 「国民衛生の動向」の健康増進対策を読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、健康増進対策についての理解を深め、課題レポートを作成する。(学習時間60分) [キーワード] 健康日本21(第2次計画)、健康増進法
6	藤森誠	(6) 母子保健対策	講義	[予習] 「国民衛生の動向」母子保健、母子保健対策を読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、母子保健対策についての理解を深め、課題レポートを作成する。(学習時間60分) [キーワード] 健やか親子21、児童虐待児童と母子のための社会福祉制度
7	藤森誠	(7) 演習とまとめ	講義	[予習] 「国民衛生の動向」生命表を読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] これまでの授業で学んだことを総合的にまとめる。(学習時間60分) [キーワード] 生命表、平均寿命、地区診断
8	寺島彰	(8) 社会保障・社会福祉制度の体系・財政	講義	[予習] 教科書及び国民衛生の動向の「社会保障制度」を予め読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、社会保障・社会福祉関係法令の確認をする。(学習時間60分)

9	寺島彰	(9) 社会保障の仕組みと機能1 年金制度	講義	[予習] 教科書の「年金制度」を予め読んでおくこと。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、年金制度の概要と今後の動向についての理解を深める。(学習時間60分)
10	寺島彰	(10) 社会保障の仕組みと機能2 医療保険制度	講義	[予習] 医療保険制度の最近の動向を確認しておく。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、医療保険制度と行政の仕組みについての理解を深める。(学習時間60分)
11	寺島彰	(11) 社会保障の仕組みと機能3 生活保護制度の仕組みと生活福祉資金貸付制度	講義	[予習] 生活保護の原理・原則を再確認しておく。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、生活保護の原理・原則の理解を深める。(学習時間60分)
12	寺島彰	(12) 介護保険制度の概要と機能 高齢者のための社会福祉制度・介護保険制度	講義	[予習] 介護保険の利用手続きの再確認しておく。(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、高齢者のための社会福祉制度・介護保険制度と行政の仕組みについての理解を深める。(学習時間60分)
13	寺島彰	(13) 社会福祉制度の概要と機能1 児童と母子のための社会福祉制度	講義	[予習] 少子化対策をまとめる(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、児童と母子のための社会福祉制度と行政の仕組みについての理解を深める。(学習時間60分)
14	寺島彰	(14) 社会福祉制度の概要と機能2 障害者(児)の社会福祉制度	講義	[予習] 支援費制度を整理する(学習時間60分) [復習] 授業で学んだことを復習し、障害者(児)のための社会福祉制度と行政の仕組みについての理解を深める。(学習時間60分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	地球環境論	必修・選択	選択
英語科目名	Global Environmental Studies	対象学年	2
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	久保原 禪	ナンバリング	CNL21B2
担当教員	久保原 禪	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	<p>21世紀は「環境の世紀」とも言われている。地球的規模の環境変化は地球上の全ての生態系に影響をもたらす、人類の生活環境や健康に大きな影響を及ぼす。2011年には東日本大震災による原発問題が発生し、近年は地球温暖化による気候変動・災害が頻発し、地球規模での対策が喫緊の課題となった。2020年からは新型コロナウイルス感染症が全世界に広がり、全地球が一つになって対応すべき状況となっている。このような変容する社会とグローバル社会の進展における多様な健康問題に対応するために、広く健康にかかわる地球環境の諸問題を知り、併せて医学的基礎教養を広げる。</p> <p>地球は有限であるとして「宇宙船地球号」の概念も提唱されている。21世紀に生きる看護師、保健師、助産師は更に視野を広げ、健康に関わる地球的規模の様々な環境の諸問題について科学的に理解・考察し、持続可能な発展を目指す社会を形成出来るグローバルな人材となる事が求められており、これらについて学びを深め、看護に生かし、応用出来る人材を目指す。</p>			
授業の位置づけ	<p>「人間の健康」「健康と社会」に関する分野 DP2-1のうち「⑤人々を取り巻く環境を理解して看護実践に応用できる」が主な位置づけである。公害問題から地球温暖化問題に見られるように、「環境と健康は関連があり」、「環境は健康を育む重要な要素」である。 健康に関する諸環境問題を学び、理解することにより、看護師としての広い視野と深い考察力養成に位置づける。</p>			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、△DP4-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 健康を育む上で環境が重要な要素であることを理解できる。 2) 生涯健康には生活習慣のみならず生活環境が重要であることを理解できる。 3) 環境健康科学的取り組みを理解できる。 4) 生活環境問題から地球環境問題までの最近の現状、課題、対策について述べることができる。 5) 最新の環境トピックスの内容と問題点について深く考察し、看護に生かすことができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	なし			
学修上の注意	<p>地球環境論の学習を通じて健康、医療を広い視点から俯瞰的に捉えることの必要性和予防の重要性を理解し、看護を通じて実際行動(予防・対策)につなげて頂きたい。</p> <p>[準備学修] 事前に提示された課題があった場合、準備学修を行う。</p> <p>[時間外学修] 講義で提示された課題について振り返り、考察する。</p>			
成績評価の方法				
評価方法	平常点(40%)、授業課題・レポート点(60%)を総合して評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 健康を育む上で環境が重要な要素であることを理解できる。 2) 生涯健康には生活習慣のみならず生活環境が重要であることを理解できる。 3) 環境健康科学的取り組みを理解できる。 4) 生活環境問題から地球環境問題までの最近の現状、課題、対策について述べることができる。 5) 最新の環境トピックスの内容と問題点について深く考察し、看護に生かすことが期待できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題・レポートの評価結果については、最終講義日に説明する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本化学会編「暮らしと環境科学」東京化学同人刊 2) 日本環境教育学会編「環境教育」教育出版刊 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 担当：久保原 禪 E-mail: ykuboha[at]juntendo.ac.jp *[at]は@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー] 日時：講義後 or 随時電子メールで質問を受け付ける。</p>			
備考	なし			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	久保原	<ul style="list-style-type: none"> 授業ガイダンス 環境科学入門的な講義1（基礎生命科学を含む） [キーワード] 宇宙・地球・人体の組成、酸素と二酸化炭素の循環、生命と人類の歴史1	講義	(予習：2時間) 授業ガイダンス終了後、環境科学の入門的な講義をするので、参考書（任意）やその他の媒体で「環境科学」について学んでおく。 (復習：2時間) 配布した資料プリントを基に講義の内容を復習する。
2	久保原	<ul style="list-style-type: none"> 環境科学入門的な講義2 [キーワード] 生命と人類の歴史2、生活習慣病	講義	(予習：2時間) 生物進化と生命史、生活習慣病について参考書やインターネットを活用して予習しておく。 (復習：2時間) 配布した資料プリントを基に講義内容を復習する。
3	久保原	<ul style="list-style-type: none"> 地球の自然環境と生物 [キーワード] 大気とオゾン層、地下資源、水と生命、生物圏、物質（炭素・窒素・リン・硫黄）の循環	講義	(予習：2時間) 大気とオゾン層、地下資源、水と生命、生物圏、物質の循環等について参考書やインターネットを活用して予習する。 (復習：2時間) 配布した資料プリントを基に授業内容を復習する。
4	久保原	<ul style="list-style-type: none"> 水と食と環境 [キーワード] 飲料水、食品、安全性、添加物	講義	(予習：2時間) 飲料水、食品、安全性等について参考書やインターネットを活用して予習する。 (復習：2時間) 配布した資料プリントを基に授業内容を復習する。
5	久保原	<ul style="list-style-type: none"> 住まいと環境 [キーワード] 住まいの中の化学物質、室内環境と健康、シックハウス症候群	講義	(予習：2時間) 住まいの中の化学物質、室内環境と健康等について参考書やインターネットを活用して予習する。 (復習：2時間) 配布した資料プリントを基に授業内容を復習する。
6	久保原	<ul style="list-style-type: none"> ゴミとリサイクル [キーワード] 廃棄物、リサイクル関連法、3R	講義	(予習：2時間) ごみとリサイクル、身の回りのごみ問題等について参考書やインターネットを活用して予習する。 (復習：2時間) 配布した資料プリントを基に授業内容を復習する。
7	久保原	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術と社会 [キーワード] 科学技術の恩恵、科学技術のダークサイド、原子力	講義	(予習：3時間) 科学技術の恩恵やダークサイド、とりわけ原子力等について参考書やインターネットを活用して予習する。 (復習：3時間) 配布した資料プリントを基に授業内容を復習する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	精神保健学	必修・選択	必修
英語科目名	Mental Health Sciences	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	阿部 美香	ナンバリング	FNL23A1
担当教員	阿部 美香※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要					
全体内容	人間の心の健康を成長発達、社会との関係から理解し、精神の健康を保つことについて学習する。人は誰もがライフサイクルのなかで精神的健康の危機に陥る可能性がある。社会における様々な出来事の中で、人はどのように精神の健康を損なうのか、精神の健康を保つにはどのような支援が必要かについて学ぶ。				
授業の位置づけ	心の健康を多側面から学修することにより、看護の基礎となる人間理解を深める。様々な状況にある人の精神の健康を維持増進する支援、あるいは精神を病む人の看護を学ぶための基礎的知識となる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP1-III、○DP2-II				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康に影響を及ぼす要因について説明できる。 2. ライフサイクルの各発達段階における精神の健康と危機について説明できる。 3. 生活の場である家庭、学校、職場、地域における精神の健康と危機について説明できる。 4. 医療現場での患者や家族、医療スタッフの精神の健康と危機について説明できる。 5. 災害時における被災者と支援者の精神の健康と危機について説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	精神看護学概論、精神の健康障害と看護、精神看護方法論Ⅰ、精神看護方法論Ⅱ、精神看護学実習				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指示した予習を行い、授業中に意見を述べられるようにしておくこと。 2. テキストや配布資料を参考に各回の内容を復習し、ノートにまとめておくこと。 3. 定期試験受験資格を得るための出席日数は、各自の責任で確認しておくこと。事前に警告できないこともあるので注意すること。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（90%） 授業参加態度、リフレクションペーパーの記載内容（10%）				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康に影響を及ぼす要因を説明できる。 2. ライフサイクルにおける心理社会的発達課題を説明できる。 3. 家庭、学校、職場、地域、医療現場、災害時における精神の健康と危機について説明できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ナーシング・グラフィカ精神看護学①情緒発達と精神看護の基本	出口禎子ほか	メディカ出版	978-4-8404-7541-9	
	ナーシング・グラフィカ精神看護学②精神障害と看護の実践	出口禎子ほか	メディカ出版	978-4-8404-7542-6	
参考文献					
授業中に適宜紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと mikaabe@）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	阿部	精神保健とはなにか 1. 精神の健康 2. 生物・心理・社会的な理解 キーワード：精神保健、生物・心理・社会モデル、ストレス、コーピング（対処機制）、クライシス（危機）、レジリエンス	講義・討議	予習：自分の心が健康である時とそうでない時を振り返り、どのような状況の時だったか、具体的にノートにメモしておく。テキスト①の「こころの健康とは」の部分を読んでおく。（学習時間：90分） 復習：学修内容を整理してノートにまとめておく。自分が精神的危機を回避するために実践したことのある具体的な手段を、学修した用語を用いて説明できるようにノートに記載しておく。（学習時間：90分）
2	阿部	心の発達 1. 心の発達に関する理論 2. ライフサイクルと発達課題 キーワード：ライフサイクル、エリクソン、漸成的発達論	講義	予習：テキスト①の「ライフサイクル各期における特徴と危機」の部分を読んでおく。（学習時間：90分） 復習：学修内容を整理してノートにまとめておく。自分の現在の発達段階、心理社会的発達課題、徳を確認し、どのようなことが説明できるようにノートに記載しておく。（学習時間：90分）
3	阿部	現代社会とこころの問題 1. 家庭と地域における精神保健 キーワード：自殺、嗜癖と依存、家族関係、家庭内暴力（DV）、児童虐待	講義・討議	予習：現代の日本の社会には精神保健に関するどのような問題があるか調べ、関心ある一つについて、自分の考えも含めてノートに記載し発表できるようにしておく。（学習時間：90分） 復習：学修内容を整理してノートにまとめておく。（学習時間：90分）
4	阿部	現代社会とこころの問題 2. 学校と職場における精神保健 キーワード：ひきこもり、不登校、いじめ、養護教諭、産業保健、Caplanの予防モデル、労働災害、看護師のメンタルヘルス	講義・討議	予習：身近な人の仕事のストレスについて、どのようなストレスがあるかインタビューまたは考えてノートに記載し、発表できるようにしておく。（学習時間：90分） 復習：学修内容を整理してノートにまとめておく。看護職として働く上で、どのようなストレス対策が必要か、ノートにまとめておく。（学習時間：90分）
5	阿部	医療現場の精神保健 キーワード：危機モデル、障害受容、死にゆく人の心理過程、キューブラー・ロス、悲嘆（グリーフ）、リエゾン精神看護	講義・討議	予習：医療現場で患者や家族がどのような危機を体験し、それを乗り越えるにはどのようなサポートが役立つか、自分の考えをノートに記載して発表できるようにしておく。（学習時間：30分） 復習：学修内容を整理してノートにまとめておく。授業中に紹介するDVDや小説を利用して理解を深める。（学習時間：150分）
6	阿部	災害時の精神保健 キーワード：心的外傷後ストレス障害（PTSD）、トラウマ・インフォームドケア（TIC）、心理的応急処置（PFA）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、サバイバーズ・ギルト	講義・討議	予習：コロナ禍において自分や家族にとってどのようなことが心のケアになったか、ノートに記載して発表できるようにしておく。テキスト②の「災害時の支援」の部分を読んでおく。（学習時間：90分） 復習：学修内容を整理してノートにまとめておく。（学習時間：90分）
7	阿部	精神看護とはなにか 心をケアするコミュニケーション技術 キーワード：精神看護、傾聴、受容、共感、観察、安心できる関わり方	講義・討議	予習：テキスト①の「障害のとらえ方」、テキスト②の「信頼関係を築くためのコミュニケーション技術」の部分を読んでおく。（学習時間90分） 復習：学修内容を整理してノートにまとめておく。（学習時間90分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	発達心理学	必修・選択	選択
英語科目名	Developmental Psychology	対象学年	2年
開講学期	2年前期前半	単位数	1単位
代表教員	小川 政範	ナンバリング	CNL23A1
担当教員	小川 政範	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	本科目は人間の生涯の発達を心理学的側面から明らかにし、理解を深めていこうとするものである。従って発達障害も含めた青年期以降も発達し続ける人間を理解することが目標となる。そのためには基本的な発達理論の理解、各発達段階における発達課題と身体的・社会的・知的・人格的諸機能の発達についての知識を身につけることが必要となる。最終的には、発達の心理を学び、それを人間理解および医療現場に応用する視点を身につけることを目指す。				
授業の位置づけ	子どもの発達と教育の基礎 生涯発達論の各論と位置付ける				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-1				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯発達の観点から発達心理学全体をとらえ、端的に説明できる。 2. 発達心理学の基礎理論と各発達段階における発達課題を理解して説明することができる。 3. 発達心理学を人間理解に役立て、医療現場に応用することができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	生涯発達論				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎授業書き込み資料を配布するので、内容を記入後整理し、復習すること。 2. 授業内容をできるだけ自分の言葉で表現できるようにすること。 3. 目的意識をもって受講すること。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（60%）、授業ごとに課されるレポート（30%）、日々の学習状況（10%）、合計100点として得点を算出し成績評価を行う。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学の基礎理論を各発達段階ごとに説明できるか。 2. 発達課題がなぜ存在するのか、それを克服することができなければどのような状態に陥るのかについて説明できる。 3. 医療現場への応用例をあげて発達心理学を説明できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは基本的には返却しないが、個別に対応することがある。 課題等に対するフィードバックは講義内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	特になし				
参考文献					
特になし					
その他					
連絡先・オフィスアワー	授業終了前後またはメール（m-ogawa@）にて質問を受け付ける。				
備考	特になし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	小川政範	オリエンテーション 発達段階の理論 自己分析 〔キーワード〕 発育と発達、生涯発達、フロイト、エリクソン、発達課題	講義	〔予習〕 授業シラバスをよく読み、全体を理解するとともに、発達段階の概念について調べる。(学習時間：2時間) 〔復習〕 授業全体の流れを再確認し、各発達段階の特徴について再学習する。(学習時間：2時間)
2	小川政範	胎児期～乳児期の心理的特徴とこころの健康(対人態度) 〔キーワード〕 人見知り、愛着、基本的信頼感	講義	〔予習〕 胎児期と幼児期についてしらべる。(学習時間：2時間) 〔復習〕 授業内容を再度確認し、キーワードを中心とした理解を進める。(学習時間：3時間)
3	小川政範	幼児期～児童期の心理的特徴とこころの健康(こころの元気度チェック) 〔キーワード〕 愛着、社会的発達	講義	〔予習〕 幼児や児童の特徴についてしらべる。(学習時間：2時間) 〔復習〕 幼児期と児童期の心理とこころの健康について資料を読み返し、再度理解を深める。(学習時間：2時間)
4	小川政範	思春期・青年期の心理的特徴とこころの健康(青年期の深層心理チェック) 〔キーワード〕 自我同一性、身体を受容、モラトリアム	講義	〔予習〕 青年期の特徴についてしらべる。(学習時間：2時間) 〔復習〕 青年期特有の心理状況とこころの健康について再度確認する。(学習時間：2時間)
5	小川政範	壮年期の心理的特徴とこころの健康(第一印象が表すもの) 〔キーワード〕 喪失の時代、更年期、夫婦の役割	講義	〔予習〕 身近な壮年期・中年期の行動特徴から心理を洞察する。(学習時間：2時間) 〔復習〕 喪失の時代へと向かっていく壮年期の人生目的についてまとめておく。(学習時間：2時間)
6	小川政範	老年期の心理的特徴とこころの健康(色彩が示すパーソナリティ) 〔キーワード〕 長い高齢期の出現、喪失体験、死の受容	講義	〔予習〕 老年期とはどのような時代なのか確認しておく。(学習時間：2時間) 〔復習〕 老年期・高齢期の心理的特徴を再確認する。(学習時間：2時間)
7	小川政範	発達における人生目標の重要性 愛について まとめ 〔キーワード〕 人生目標、愛のタイプ	講義	〔予習〕 目標を持つことの意味について調べ、「愛」とはどのようなものか、自分が持っている「愛」についての価値観を確認する。(学習時間：2時間) 〔復習〕 自分の人生目標とこれからの人間的発達について、および「愛」とはどのようなものであったかについて再度確認する。(学習時間：3時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	臨床心理学	必修・選択	選択
英語科目名	Clinical Psychology	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	塚瀬 将之	ナンバリング	PNL23A1
担当教員	塚瀬 将之※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	臨床心理学の基本的な理論と視点を学ぶことを通して臨床心理学的な問題の捉え方と援助観について理解を深める。そして、その学びをチーム医療における相互理解の礎とし、看護実践への応用的展開についても考察する。				
授業の位置づけ	医療従事者として患者の「こころ」を理解することは重要である。しかし、ひとくちに「こころ」といっても幅広く、一般常識的な人の「こころ」の理解もあれば、医学的・精神医学的な意味での「こころ」や「精神」あるいは「精神機能」の理解など、「こころ」に関する見方や理解のあり方はさまざまである。医療看護学部ではさまざまな物事を医療の視点から学ぶが、その中で本講義は、医療のみに留まらない、患者のこころを理解していくための臨床心理学的な視点あるいは心理社会的な視点について学ぶ。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【該当するコンピテンシー】 本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 △DP1-CA：他者を思いやり慈しむことのできる能力（一部関連） ◎DP2-CA：医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理学的な視点からの患者理解について説明できる。 臨床心理学的な援助観について学び、チーム医療における相互の役割について説明できる。 臨床心理学的な立場における臨床実践の基本的態度を学び看護実践に活用できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	知的な理解にとどまらぬよう演習も取り入れた授業を展開する予定のため、積極的な姿勢で授業に臨むことを期待する。また、講義や演習のみならず、リフレクションシートに記入された質問やコメントにも返答する形で授業の一部を展開していくことから、リフレクションシートには積極的にコメントを記入すること。				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポート（70%）、授業参画度〔授業時の積極的な発言、リフレクションシートへの積極的な記入〕（30%）				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 心理社会的な観点からの患者理解について説明することができる。 チーム医療において臨床心理士が果たす役割と看護師の果たす役割について具体的に説明することができる。 臨床心理学的な基本的態度の学びが看護実践にどのように応用することができるのか、自分なりの考えを考察し述べるることができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
希望に応じて個別に対応する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし					
参考文献					
テキストは使用せず、毎回資料を配布する形で授業をすすめる。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	E-mail: m-tsukase@juntendo.ac.jp				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	塚瀬	臨床心理学概論：歴史と基本的発想	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を読み、授業内容を復習する。必要に応じて予習で示した参考文献を読み理解を深める（学習時間90分）
2	塚瀬	臨床心理アセスメントと心理検査①	講義	予習：前回講義の配布資料に目を通す（学習時間30分） 復習：配布資料を読み、授業内容を復習する。必要に応じて予習で示した参考文献を読み理解を深める（学習時間90分）
3	塚瀬	臨床心理アセスメントと心理検査②	講義	予習：前回講義の配布資料に目を通す（学習時間30分） 復習：配布資料を読み、授業内容を復習する。必要に応じて予習で示した参考文献を読み理解を深める（学習時間90分）
4	塚瀬	心理療法①	講義	予習：前回講義の配布資料に目を通す（学習時間30分） 復習：配布資料を読み、授業内容を復習する。必要に応じて予習で示した参考文献を読み理解を深める（学習時間90分）
5	塚瀬	心理療法②	講義	予習：前回講義の配布資料に目を通す（学習時間30分） 復習：配布資料を読み、授業内容を復習する。必要に応じて予習で示した参考文献を読み理解を深める（学習時間90分）
6	塚瀬	臨床心理的援助の実際②	講義	予習：前回講義の配布資料に目を通す（学習時間30分） 復習：配布資料を読み、授業内容を復習する。必要に応じて予習で示した参考文献を読み理解を深める（学習時間90分）
7	塚瀬	公認心理師・臨床心理士の基本的態度と看護実践への応用について考える	講義	予習：前回講義の配布資料に目を通す（学習時間30分） 復習：配布資料を読み、授業内容を復習する。必要に応じて予習で示した参考文献を読み理解を深める（学習時間90分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人間関係論	必修・選択	選択
英語科目名	Human Relationships	対象学年	1年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	本多 敏明	ナンバリング	FNL23A2
担当教員	本多 敏明	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>(1) 学生ひとり一人が、人との関わりの中での「見る・聞く・伝える・感じる」ことのトレーニングを重ね、対人関係のただなかで感じたことを言葉や態度で相手に返していくことが、自分も相手も大事にすることであることを体験的に学ぶ。(看護実践の基礎となる人へ関わる基本的態度の体験的理解)</p> <p>(2) 私たち人間はいかなる状態にありとも人との関係を生きる力を有している。対人援助はその力をひとつひとつ発見していく営みであるということに学生ひとり一人が体験的に気づき、その学びの意味を、毎授業ごとに小レポート、期末レポートに文章としてまとめることができる。(看護実践に必要な体験の言語化のトレーニング)</p> <p>したがって、対面授業の場合には4~5人でのグループワークを、遠隔授業の場合には授業時間以外での人の関わり(友人、家族、アルバイト等)を行う。</p>				
授業の位置づけ	「人間の健康」の最も基礎的な科目として、人と人が関わるさいの「基礎工事」として位置づけられる				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODPI-I、◎DPI-IV				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) コミュニケーションの相手に身体全体でつねに集中して関わるができる。 2) コミュニケーションのその時その場で感じたことを言語化して相手に伝えることができる。 3) 「会話・おしゃべり」ではなく「対話」として相手をわかろうとする臨床的態度で人に関わるができる 4) 人間理解が相互理解であることを体験的に理解できる。 5) 体験学習の意味を文章にまとめることができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	なし				
学修上の注意	<p>コミュニケーションのトレーニングを重視しますが、「自分は人と関わるのが苦手だから履修しづらい」とか「人見知りだからこの授業に向いていない」などと考える必要はまったくありません。むしろそういう人にこそ履修してほしいと思います。「得意だ」と自負している人ももちろん履修を歓迎します。</p> <p>なお、次の4点の受講に伴う負担を前提として履修してください。1点目はコミュニケーションのトレーニングに各自が取り組むことを重視するので基本的に欠席はしないよう注意してください。2点目は「予習」として毎回の授業で配布するテキストを2回以上読み込んでください(約80分)。3点目は「復習」として授業内容を参考に身近な人間関係でコミュニケーションの実践に取り組み小レポートをほぼ毎回提出してください(約80分)。2・3点目が疎かになると出席しても学びは期待しづらくなります。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	毎回の小レポート(10%)、授業への取り組みが如実に表れる期末レポート(90%)				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) コミュニケーションの相手に身体全体でつねに集中して関わるができる。 2) コミュニケーションのその時その場で感じたことを言語化して相手に伝えることができる。 3) 「会話・おしゃべり」ではなく「対話」として相手をわかろうとする臨床的態度で人に関わるができる 4) 人間理解が相互理解であることを体験的に理解できる。 5) 小レポートおよび期末レポートで、コミュニケーションの相手との関わりの意味を自・他の発見として文章にまとめることができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
小レポートを途中の回に一度回収し、次の回の授業にて、受講生全員で共有すべき内容のものをいくつか選び匿名化したうえで、コメントをおこなう					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<p>『関係からの発想』 早坂泰次郎 IPRテキスト(非売品)</p> <p>『対人援助グループからの発見』 佐藤俊一 中央法規</p> <p>『癒える力』 竹内敏晴 晶文社</p> <p>『わかりあえないことから』 平田オリザ 講談社現代新書</p> <p>『臨床社会福祉学の基礎研究 第2版』 足立勲 学文社</p> <p>『対人援助の臨床福祉学』 佐藤俊一 中央法規出版</p> <p>『私の手が語る』 本田宗一郎 講談社文庫</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	非常勤講師のため、授業終了後に教室で質問を受け付ける。または随時、電子メール(thonda@juntendo.ac.jp)で質問を受け付け48時間以内には返信を行う。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	本多	授業内容の再確認と、「対人関係」を学ぶということ 前半は、授業内容の再確認として「学習目標」や「評価方法」を説明します。また評価基準となるルーブリックを説明します。 後半は、「人間関係」と「対人関係」の違いについて説明し、第2講のテキストの解説を行います。	講義	[予習] シラバスの確認 (80分) [復習] テキストを読み返し、グループでの自らやメンバーの様子や発言、それに対する応答について書き留める (80分)
2	本多	対人関係と関心の相互性、「見ると見える」 第1回レポートのフィードバックを行う (相手との関係に入る、どのように「見えてきたか」に着目して)。第3回テキストの解説。	講義	[予習] 前回配布されたテキストを2回以上読んで筆者が伝えたいことを読み取ること (80分)。 [復習] テキストを読み返し、グループでの自らやメンバーの様子や発言、それに対する応答について書き留める (80分)
3	本多	対人関係の基礎工事と本体工事 第2回レポートのフィードバックを行う (相手との関係に入る、どのように「見えてきたか」に着目して)。第4回テキストの解説。	講義	[予習] 前回配布されたテキストを2回以上読み、筆者が伝えたいことを読み取る (80分)。 [復習] テキストを読み返し、身近な人間関係のトレーニングから相手の様子や発言、自分の応答について書き留めておくこと (80分)。
4	本多	対人関係における「つながり」と「ちがひ」 第3回レポートのフィードバックを行う (相手との関係に入る、どのように「見えてきたか」に着目して)。第5回テキストの解説。	講義	[予習] 前回配布されたテキストを2回以上読み、筆者が伝えたいことを読み取る (80分)。 [復習] テキストを読み返し、身近な人間関係のトレーニングから相手の様子や発言、自分の応答について書き留めておくこと (80分)。
5	本多	わかりあうということ、生きられるグループ 第4回レポートのフィードバックを行う (相手との関係に入る、どのように「見えてきたか」に着目して)。第6回テキストの解説。	講義	[予習] 前回配布されたテキストを2回以上読み、筆者が伝えたいことを読み取る (80分)。 [復習] テキストを読み返し、身近な人間関係のトレーニングから相手の様子や発言、自分の応答について書き留めておくこと (80分)。
6	本多	対人関係における言葉とからだ 第5回レポートのフィードバックを行う (相手との関係に入る、どのように「見えてきたか」に着目して)。第6回テキストの解説。	講義	[予習] 前回配布されたテキストを2回以上読み、筆者が伝えたいことを読み取る (80分)。 [復習] テキストを読み返し、身近な人間関係のトレーニングから相手の様子や発言、自分の応答について書き留めておくこと (80分)。
7	本多	期末レポートテーマの発表と解題、「別れ」という関係を生きるということ これまでの授業での学びの意味を改めて解説する。その後で、期末レポートテーマの発表をおこない、テーマの意味について解説する。	講義	[予習] これまでのテキストを読み返す (80分)。 [復習] これまでの小レポートを参考に、本講義での学びの要点を言語化し、期末レポートを作成・提出する (80分)。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	母性の心理・社会学	必修・選択	選択
英語科目名	Psychology&Sociology for Women's Health	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	植竹 貴子	ナンバリング	PNL23A2
担当教員	植竹貴子※, 大月恵理子※, 森田亜希子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	周産期における心理・社会的な特徴について理解する。女性に特徴的な心理・社会的な健康課題である妊娠・出産の心理、周産期のメンタルヘルス、母子の愛着形成、周産期の喪失と看護支援について理解する。新しい児の誕生における家族の機能と発達、およびその支援について理解する。また周産期におけるヘルスリテラシーについて学習し、意思決定支援について理解する。				
授業の位置づけ	大項目「人間の健康」の「心の健康」に位置し、周産期における女性の心理社会的な特徴について理解し、母性看護学実習や助産診断技術学の基礎となる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I, △DP2-II				
到達目標	1) 周産期における心理・社会的な特徴について説明できる。 2) 現代女性の妊娠・出産・産褥・育児に関する心理・社会的な問題を説明できる。 3) 周産期における代表的な心理・社会的問題に関する看護支援について説明できる。				
先修要件	なし				
関連科目	母性看護学概論, ウィメンズヘルスナーシング, 周産期の看護, 助産学概論, 性と生殖と深く関連し, 助産診断技術学 I ~ V, 助産学実習につながる。				
学修上の注意	助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験(80%)、課題レポートと授業参加状況およびリアクションペーパー(20%)を統合して評価する。				
評価基準	到達目標1-3の到達状況で評価する。 1) 周産期における心理・社会的な特徴について説明できる。 2) 現代女性の妊娠・出産・産褥・育児に関する心理・社会的な問題を説明できる。 3) 周産期における代表的な心理・社会的問題に関する看護支援について説明できる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
事前学習課題は、各授業内でコメントをする。 課題レポートは、提出後2週間以内にフィードバックする。 試験結果については、結果公表後、メールにて質問を受け付ける、もしくは時間調整の上面談する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
高橋真理、村本淳子編「女性のライフサイクルとナーシングー女性の生涯の発達と健康」ヌーベルヒロカワ、2017 村瀬聡美・我部山キヨ子編『助産学講座 4基礎助産学[4]母子の心理・社会学』第5版 医学書院 2022 堀内茂子・片岡弥恵子編「助産学講座5助産診断・技術学 I」医学書院 2022					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時メールにて受け付ける。面会を希望する場合は事前にメールにて連絡する。 植竹貴子 tuetake@				
備考	なし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	森田亜希子	1. 母性の心理・社会的な特徴 1) 妊娠・出産をめぐる問題 【キーワード】 晩婚化・非婚化・未婚化、離婚・シングルマザー、母親への心理適応過程、不妊治療、出生前診断、人工妊娠中絶、若年妊娠・出産、父性	講義	予習：Juntendo-passportに提示された妊娠・出産をめぐる事前課題学習する。(学習時間70分) 復習：授業内容を再確認し、現代社会の妊娠・出産をめぐる問題の概要を理解する。(学習時間70分)
2	植竹貴子	2. 母性の心理・社会的な問題 1) 周産期におけるメンタルヘルス 【キーワード】 マタニティーブルー、産後うつ、産後の不安症、産後の脅迫症、育児期の疲労	講義、グループワーク	予習：Juntendo-passportに提示された周産期におけるメンタルヘルスに関する事前課題を学習する。(学習時間70分) 復習：授業内容を再確認し、周産期におけるメンタルヘルスとその支援について理解する。(学習時間70分)
3	森田亜希子	2. 母性の心理・社会的な問題 2) 母子関係 - 愛着形成の障害 【キーワード】 愛着理論、アタッチメント理論、児に対する感情、胎児虐待、児童虐待	講義	予習：Juntendo-passportに提示された愛着形成に関する課題を読み、考えてくること。(学習時間90分) 復習：授業内容を再確認し、愛着形成および愛着形成障害の要因とその支援について理解する(学習時間70分)
4	植竹貴子	2. 母性の心理・社会的な問題 3) 周産期の喪失 【キーワード】 流産、死産、新生児死亡、周産期死亡、悲嘆、グリーフワーク、悲嘆のプロセス、児を亡くした家族への看護	講義、グループワーク	予習：Juntendo-passportに提示された死産に関する課題を学習してくること。(学習時間90分) 復習：授業内容を再確認し、死産、流産女性とその家族への支援について理解する。(学習時間70分)
5	大月恵理子	3. 母性にまつわる家族機能と家族の発達 【キーワード】 家族の機能、家族システム、家族の発達段階、家族の役割(父親、兄弟姉、祖父母)、DV	講義	予習：Juntendo-passportに提示された家族機能に関する課題を学習してくること。(学習時間90分) 復習：授業内容を再確認し、新しい児の誕生をむかえる家族の家族機能、家族の発達と発達上の問題について理解する。(学習時間70分)
6	植竹貴子	4. 母子・女性の健康支援と統合医療 【キーワード】 補完代替医療、統合医療、不定愁訴、快適性・癒しのケア	講義、グループワーク	予習：Juntendo-passportに提示された統合医療に関する課題を学習してくること。(学習時間90分) 復習：授業内容を再確認し、母子・女性の健康支援と統合医療について理解する。(学習時間70分)
7	大月恵理子	5. 周産期におけるヘルスリテラシー、意思決定支援 【キーワード】 ヘルスリテラシー、意思決定支援、メンタルヘルスリテラシー	講義	予習：Juntendo-passportに提示された周産期におけるメンタルヘルスリテラシー・意思決定支援についての課題を学習してくること。(学習時間70分) 復習：授業内容を再確認し、周産期におけるメンタルヘルスリテラシー・意思決定支援について理解する。(学習時間70分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	形態機能学IA	必修・選択	必修
英語科目名	Structure and Function of Human Body IA	対象学年	1年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	加茂 敦子	ナンバリング	FNL22A1
担当教員	加茂敦子※、平井周※、小池 正人※、辻川比呂斗※、中山仁志※、高梨あさき※、鎌田弥生※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	私たちの健康は正常な構造が正常に機能して初めて可能となる。看護師となるためには、私たちの身体の正常な構造を知り、それがどのように機能しているかを理解しておく必要がある。私たちの身体の中には胃や腸、心臓、筋肉等々、さまざまな器官・組織があるが、これらは互いに独立して働いているわけではなく、筋運動をすると心拍が速くなることからわかるように、相互に密接に関連しながら機能している。さらに、気温の高低、病原微生物の体内への侵入など、外界の変化にも対応して機能を変化させる必要がある。このような機能の調節も含めて、トータルとしての人体の構造と機能を理解することを目標とする。			
授業の位置づけ	本科目では、人体の正常な構造と機能を学び、説明できることを目標とする。これは、健康状態の理解に加え、疾病やその治療の理解に不可欠な基礎知識となるとともに、疾病をもつ患者の理解と適切な看護実践につながる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP2-II、○DP2-III			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全身の主な骨と骨格筋の名称を挙げ、骨の機能と筋収縮を説明できる。 ・消化器系の構造と機能を説明できる。 ・呼吸器系の構造と機能を説明できる。 ・循環器系の構造と機能を説明できる。 ・血液の成分を挙げ、その役割を説明できる。 ・泌尿器系の構造と機能を説明できる。 ・脱水、黄疸などの代表的な病態の原因と発生メカニズムを説明できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	形態機能学IB、病理学、薬理学、臨床医学I・II、その他ほぼすべての看護学系の授業に関連する。			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・講義資料の穴埋め（予習）に取り組み、講義に臨むこと。 ・講義には、教科書と配布された講義資料を持参すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（80%）、実習や実習レポートの取り組み状況（20%）により評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・骨格・筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系を構成する各臓器の形態やその機能について説明できるか。 ・講義内で提示する脱水、黄疸等の関連疾患の病態について簡単に説明できるか。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
試験、レポートは2週間程度で返却し、フィードバックを行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 第11版	坂井建雄・岡田隆夫・宇賀貴紀	医学書院	978-4-260-04687-9	
参考文献				
トートラ 人体の構造と機能 第5版、桑木共之ら監訳、丸善出版、2019				
その他				
連絡先・オフィスアワー	質問などはメール（akamo@）等で随時受け付ける。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法*	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	加茂	器官系の概観 生体恒常性について	講義	【予習】教科書 第1章を読む。（学習時間：2時間） 【復習】キーワードについて説明できるよう復習する。（学習時間：2時間） 【キーワード】細胞、組織の種類、器官系、生体恒常性
2	加茂	骨格系	講義	【予習】教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。（学習時間：2時間） 【復習】キーワードについて説明できるよう復習する。（学習時間：2時間） 【キーワード】全身の骨と関節、破骨と造骨

3	加茂	筋系	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 全身の骨格筋、関節運動、筋収縮</p>
4	加茂	消化器系 [1] 消化管の構造、腹膜	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 消化管粘膜、腹膜、嚥下運動、蠕動運動</p>
5	加茂	消化器系 [2] 消化と吸収 胃~十二指腸	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 胃~十二指腸の構造、糖質・タンパク質・脂肪の消化、消化管ホルモン</p>
6	加茂	消化器系 [3] 消化と吸収 小腸、大腸	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 小腸と大腸の構造、膜消化、栄養素の吸収、排便</p>
7	加茂	呼吸器系 [1] 呼吸器の構造と呼吸運動	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 呼吸器系の構造、呼吸筋、呼吸運動、胸郭、胸腔</p>
8	加茂	呼吸器系 [2] ガス交換、呼吸の調節	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 肺胞、肺毛細血管、ガス交換、酸素解離曲線、呼吸中枢、肺機能検査</p>
9	加茂	血液、血液凝固	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 血球、血漿、血液凝固、血液型</p>
10	加茂	循環器系 [1] 心臓の構造と刺激伝導系	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 体循環、肺循環、心臓の構造、刺激伝導系、心電図</p>
11	高梨	泌尿器系 [1] 腎臓の構造と排尿路	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 腎臓~尿道の構造、ネフロンの構造、尿路の性差</p>
12	加茂	循環器系 [2] 血圧の調節、全身の動静脈	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 血圧、全身の動静脈、胎児循環</p>
13	高梨	泌尿器系 [2] 尿の生成、体液の調節	講義	<p>[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 再吸収と分泌、クリアランス、蓄尿反射、排尿反射、脱水、酸塩基平衡</p>
14	加茂、平井、小池、辻川、中山、鎌田	組織学実習	実習	<p>[予習] これまでの講義資料を見直す。(学習時間: 2時間)</p> <p>[復習] 実習を振り返り、レポートを完成させる。(学習時間: 2時間)</p> <p>[キーワード] 顕微解剖</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	形態機能学IB	必修・選択	必修
英語科目名	Structure and Function of Human Body IB	対象学年	1年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	加茂 敦子	ナンバリング	FNL22A2
担当教員	加茂敦子※、平井周※、辻川比呂斗※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	私たちの健康は正常な構造が正常に機能して初めて可能となる。看護師となるためには、私たちの身体の正常な構造を知り、それがどのように機能しているかを理解しておく必要がある。私たちの身体の中には胃や腸、心臓、筋肉等々、さまざまな器官・組織があるが、これらは互いに独立して働いているわけではなく、筋運動をすると心拍が速くなることからわかるように、相互に密接に関連しながら機能している。さらに、気温の高低、病原微生物の体内への侵入など、外界の変化にも対応して機能を変化させる必要もある。このような機能の調節も含めて、トータルとしての人体の構造と機能を理解することを目標とする。				
授業の位置づけ	本科目では、人体の正常な構造と機能を学び、説明できることを目標とする。これは、健康状態の理解に加え、疾病やその治療の理解に不可欠な基礎知識となるとともに、疾病をもつ患者の理解と適切な看護実践につながる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP2-II、○DP2-III				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経系の構造と機能を説明できる。 ・末梢神経系を分類し、その機能を説明できる。 ・感覚器の構造と機能を説明できる。 ・内分泌腺を挙げ、そこから分泌されるホルモンの役割を説明できる。 ・男女の生殖器の構造と機能を説明できる。 ・非特異的生体防御機能と特異的生体防御機能（免疫）を説明できる。 ・体温調節と発熱のメカニズムを説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学 I A、病理学、薬理学、臨床医学 I・II、その他ほぼすべての看護学系の授業に関連する。				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・講義資料の穴埋め（予習）に取り組み、講義に臨むこと。 ・講義には、教科書と配布された講義資料を持参すること。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（80%）、実習や実習レポートの取り組み状況（20%）により評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系、感覚器系、生殖器系、内分泌系を構成する各臓器の形態やその機能について説明できるか。 ・体温に関する生体恒常性を維持するしくみについて説明できるか。 ・講義内で提示するアレルギー等の関連疾患の病態について簡単に説明できるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
試験、レポートは2週間程度で返却し、フィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 第11版	坂井建夫・岡田隆夫・宇賀貴紀	医学書院	978-4-260-04687-9	
参考文献					
トートラ 人体の構造と機能 第5版、桑木共之ら監訳、丸善出版、2019					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問などはメール（akamo@）等で随時受け付ける。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	加茂	中枢神経 [1] 神経細胞、神経伝達	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間2時間) [復習] キーワードについて説明できるよう復習する。(学習時間2時間) [キーワード] 活動電位、シナプス、神経伝達物質	
2	加茂	中枢神経 [2] 脳・脊髄の構造	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間2時間) [復習] キーワードについて説明できるよう復習する。(学習時間2時間) [キーワード] 大脳皮質の機能局在、脳脊髄膜、脳脊髄液	

3	加茂	中枢神経 [3] 脳の高次機能	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間2時間) [キーワード] 脳波、記憶、本能行動、情動行動
4	加茂	末梢神経 [1] 脊髄神経と脳神経	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間2時間) [キーワード] 脊髄神経、脳神経
5	加茂	末梢神経 [2] 自律神経系、伝導路	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間2時間) [キーワード] 交感神経、副交感神経、錐体路、痛み
6	加茂	内分泌系 [1] 下垂体、甲状腺、副甲状腺	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間：2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間：2時間) [キーワード] 視床下部ホルモン、下垂体、甲状腺、副甲状腺
7	加茂	内分泌系 [2] 膵臓、副腎	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間：2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間：2時間) [キーワード] 膵臓、副腎、ストレス
8	加茂	生殖器系	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間：2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間：2時間) [キーワード] 精子形成、勃起と射精、月経周期、卵巣周期、胎盤
9	加茂	感覚器系	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間：2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間：2時間) [キーワード] 視覚、聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚
10	加茂	生体の防御機構 [1]	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間：2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間：2時間) [キーワード] 免疫に関する細胞・物質・臓器
11	加茂	生体の防御機構 [2]	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間：2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間：2時間) [キーワード] 非特異的防御、特異的防御、予防接種、アレルギー
12	加茂	体温とその調節	講義	[予習] 教科書等を見て講義資料の空欄を埋める。(学習時間：2時間) [復習] キーワードについて説明できるように復習する。(学習時間：2時間) [キーワード] 熱の出納、体温調節中枢、発熱
13	加茂	解剖実習オリエンテーション	講義	[予習] これまでの講義資料を見直す。(学習時間：2時間) [復習] オリエンテーション資料を見直し、実習の準備をする。(学習時間：2時間) [キーワード] 肉眼解剖
14	加茂、平井、辻川	解剖見学実習	実習	[予習] これまでの講義資料を見直す。(学習時間：2時間) [復習] 実習を振り返り、レポートを完成させる。(学習時間：2時間) [キーワード] 肉眼解剖

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	形態機能学II	必修・選択	選択
英語科目名	Structure and Function of Human Body II	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	中山 仁志	ナンバリング	PNL22A1
担当教員	中山仁志※、加茂敦子※、岩瀬和久※、平井周※、渡邊マキノ※、辻川比呂斗※、高梨あさき※、花房慶※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	形態機能学 I（基礎）および生化学で学んだ知識を看護実践との関連の中で、実習形式で学ぶことにより、有機的に理解することを目標とします。具体的には、心電図を測定したり、運動負荷による血圧や脈の変化を調べるなど、ヒトの生理機能を実際に測定し・観察することで、循環や呼吸・反射などの生体機能に関する生理学的知識を確かなものにしていきます。ご献体の観察を通して、解剖学的知識を看護技術の根拠となる確かなものにしていきます。また、遺伝子改変動物のDNA解析やヒト免疫細胞の細胞膜表面抗原の同定あるいはタンパク質の発現解析を行うことで、臨床に活かされている生化学・分子生物学の技術を体験し、理論を学びます。				
授業の位置づけ	解剖・生理・生化学・免疫学の基礎知識に裏付けられたより高度な専門知識の習得と理解及び看護実践への応用力を高めることを目指す。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-CA：医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生体反応の観察、実験計画の立て方、測定機器の操作、データの収集・処理及び結果の評価・解釈方法が理解できる ・科学的な実験結果についてグループワークと討論を通して結果を解釈し結論を導き出すことができる ・実験結果の問題点を明らかにすることができる 				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学 I、生化学、生物、生命現象と免疫の科学、臨床医学、成人看護学（演習）、生命現象の理解				
学修上の注意	実習形式のため、参加者を把握するために、希望調査を行う場合があります。 実習は7回行い、8回目に全体の討議を行います。 事前に実習書を読んで各実習の内容を理解しておくこと。 また、これまでに学んだ関連知識を整理しておくこと。				
成績評価の方法					
評価方法	実習への参加態度40%、レポート40%、発表内容20%によって総合的に評価する。				
評価基準	各実習項目を理解し、方法と結果と考察について述べるができるか				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
必要に応じて提示する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー					
備考	実習書を事前に配布する。 形態機能学 I（基礎）及び生化学で用いた講義プリントおよび教科書				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	加茂敦子、平井周	看護技術につなげる解剖見学実習 [キーワード] 肉眼解剖、フィジカルアセスメント、看護技術、病理学的変化	実習	[予習] 実習書・レポートの予習に取り組む。(学習時間2時間) [復習] 実習書・レポートを完成させる。(学習時間2時間)
2, 3	加茂敦子、渡邊マキノ	心電図に関する実習 [キーワード] 標準肢導出、単極肢導出、胸部導出、心音	実習	[予習] 実習書・レポートの予習に取り組む。(学習時間2時間) [復習] 実習書・レポートを完成させる。(学習時間2時間)
4, 5	加茂敦子、高梨あさき	呼吸機能に関する実習、皮膚感覚に関する実習 [キーワード] スパイロメータ、換気障害、体位、体性感覚と皮膚温	実習	[予習] 実習書・レポートの予習に取り組む。(学習時間2時間) [復習] 実習書・レポートを完成させる。(学習時間2時間)
6, 7	加茂敦子、辻川比呂斗	血圧に関する実習 [キーワード] 最高血圧、最低血圧、脈圧、心拍数、寒冷昇圧試験、運動負荷	実習	[予習] 実習書・レポートの予習に取り組む。(学習時間2時間) [復習] 実習書・レポートを完成させる。(学習時間2時間)
8~10	中山仁志、岩淵和久、花房慶	免疫細胞の分析に関する実験 [キーワード] SDSポリアクリルアミドゲル電気泳動 (SDS-PAGE)、ウェスタンブロッティング、フローサイトメーター	実習	[予習] 自然免疫や獲得免疫機構の仕組み及び免疫細胞の分析方法について、生化学の教科書と免疫の科学のプリント(履修者のみ)、免疫学の参考書で関連する部分を読んでおく。(学習時間2時間) [復習] 提示された課題を行い、実習の内容を理解すること。(学習時間2時間)
11~13	中山仁志、岩淵和久、花房慶	遺伝子治療・診断に関する実験 [キーワード] PCR、DNA、アガロースゲル電気泳動	実習	[予習] 遺伝子発現の仕組みやPCR法について、生化学の教科書と生命現象の科学のプリント(履修者のみ)で、関連する部分を読んでおく。実習プリントに目を通しておく。(学習時間2時間) [復習] 提示された課題を行い、実習の内容を理解すること。(学習時間2時間)
14	中山仁志、加茂敦子、岩淵和久	全体発表 [キーワード] 発表、質疑応答	演習	[予習] 自分が発表を担当する実習について、自分のデータのみならず、他の学生のデータも利用して発表用スライドをパワーポイントで作成する。(学習時間2時間) [復習] 他の学生が発表したデータと自分自身のデータを比較し、個人やサンプル間の差異や特徴について考察する。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	生化学	必修・選択	必修
英語科目名	Biochemistry	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	中山 仁志	ナンバリング	FNL22A3
担当教員	中山仁志※、岩淵和久※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	人間は生きていくために生体の中でどのようなことを行い、恒常性（ホメオスタシス）を維持しているかについて分子のレベルで理解し、その分子機構がどのように破綻するとどのような病気が起こるかについて理解する。				
授業の位置づけ	医療によって人間を正常から逸脱した「異常」な状態である病気や怪我から健康な状態に戻すためには、先ず「正常（健康）」を理解しなければならない。生化学は生命現象を引き起こす目には見えない分子の変化（代謝）と役割について学ぶ授業である。生化学で学習するたくさんの知識は、解剖学・生理学と共に人体の正常機能を理解し医療を実践するための共通言語であり、生化学で学んだ言葉を使って初めて医学の理解と、看護を含む医療実践へと繋げることができる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-1：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生体には、どのような化学物質や分子があるのかを説明できる。 ・酵素と代謝反応（糖質代謝と生体エネルギー代謝・脂質代謝・タンパク質代謝・ヌクレオチド代謝・ビタミンとその機能）が説明できる。 ・細胞間の情報伝達と細胞内情報伝達の仕組みを説明できる。 ・遺伝子発現とタンパク質合成、その制御機構を説明できる。 ・代謝反応が破綻することでどのような病態が生じるかを分子レベルで説明できる。 ・体液バランス・酸-塩基平衡を説明できる。 ・人間がどのようにしてホルモンやサイトカイン、神経、免疫系のクロストークによるホメオスタシスの維持を行っているかを説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	生物、化学、生命現象の科学、免疫の科学、その他、生体分子とその代謝、並びにそれらが関わる疾患等が扱われる科目全て				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・全て教科書に沿って行われることから、教科書を用いて必ず予習すること ・授業で配布されるプリントを用いて、学んだことは復習し、理解に努めること。 ・知識を断片的に覚えるのではなく、系統的に理解すること。 ・ヒトがなぜ、どのようにして病気になるかを理解する上で、必須の知識であることを念頭に置いて学ぶこと。 <p>※ 配布した問題について次回講義時に質問をします。また、問題の解答は適宜教えます。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験80% 授業内小テスト20%で評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する分子について説明できる ・生体成分を合成・分解する代謝全体を説明することができる ・代謝異常によって引き起こされる生体反応の異常を説明できる ・恒常性の維持に関わるホルモン・ビタミンの役割を説明できる ・タンパク質合成を説明できる 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	人体の構造と機能2 生化学		医学書院	978-4-260-03556-9	
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすい 生化学第4版疾病と代謝・栄養の理解のために（ヌーヴェル ヒロカワ） ・ 医歯薬系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学（日本医時新報社） ・ 一目でわかる医科生化学 メディカル・サイエンス・インターナショナル ・ その他図書館に備わっている?化学・分子生物学の書物 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時 nhitoshi@ 迄連絡し、アポイントをとること				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	中山	生命とは、細胞とは キーワード： 細胞内小器官	講義	予習：教科書1章生化学を学ぶための基礎知識を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
2	岩淵	代謝総論・酵素 キーワード： 酵素の性質、Km、Vmax、阻害剤、阻害形式、アイソマー、逸脱酵素	講義	予習：教科書2章代謝の基礎・酵素を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
3	中山	糖質の構造 キーワード： 糖の構造と異性体について	講義	予習：教科書4章糖質を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
4	中山	糖質代謝 キーワード： 解糖系と細胞内呼吸、糖新生、グリコーゲン代謝	講義	予習：教科書4章糖質代謝を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
5	岩淵	脂質の構造 キーワード： 脂質の種類と構造	講義	予習：教科書5章脂質を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
6	岩淵	脂質代謝 キーワード： 栄養素としての脂質、糖と脂質の相互変換	講義	予習：教科書6章脂質代謝を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
7	中山	タンパク質の構造 キーワード： アミノ酸の名前と蛋白質の分類、2章・酵素を読んでくる。	講義	予習：教科書7章タンパク質、2章酵素を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
8	中山	タンパク質代謝とポルフィリン代謝 キーワード： アミノ酸の合成と分解、ポルフィリン、ビリルビン	講義	予習：教科書8章タンパク質代謝、9章ポルフィリン代謝を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
9	中山	ビタミン、水と無機質 キーワード： ビタミンの種類別機能と欠乏症、体液バランス、酸・塩基平衡	講義	予習：教科書2章ビタミンと補酵素を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
10	中山	核酸の構造とヌクレオチド代謝 キーワード： 塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチド、プリン、ピリミジン、尿酸	講義	予習：教科書10章の核酸の構造と核酸代謝を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
11	岩淵	タンパク質生合成(I) キーワード： DNAの複製、組換え、修復、転写、翻訳、翻訳後修飾	講義	予習：教科書11-13章DNA複製、転写、翻訳・翻訳後修飾を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
12	岩淵	タンパク質生合成(II)： ホルモン・サイトカイン キーワード： ホルモン、サイトカイン	講義	予習：教科書14章シグナル伝達を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
13	岩淵	遺伝・遺伝子疾患と生活習慣病 キーワード： 糖尿病、骨粗鬆症、遺伝子疾患と遺伝子診断	講義	予習：教科書これまでに学んだ代謝に関する部分と15章がんを読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)
14	中山	体液、血液、免疫 キーワード： 体液の成分と役割、血液の成分と役割、体液バランスや血圧と尿、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン、自然免疫、獲得免疫サイトカイン、細胞分化と細胞増殖	講義	予習：教科書7章血液と尿、配布される資料を読んでくる。(学習時間2時間) 復習：配布された問題を解いてくる。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	微生物学	必修・選択	必修
英語科目名	Microbiology	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	多田 達哉	ナンバリング	FNL22A4
担当教員	岡本徹、梶原健太郎、多田達哉、鈴木達也、伊東祐美、菱沼知美	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	感染症の原因となる病原微生物を理解し、看護に必要な知識を習得する。			
授業の位置づけ	感染症の原因となっている病原微生物の種類と特徴を学修し、予防と治療に必要な基礎知識を習得する。目に見えない微生物を理解することで、医療従事者媒介感染を起こさないための知識を習得し、感染制御及び看護における医療実践へつなげる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-1：医学及び関連領域の知識を看護に応用できる能力			
到達目標	1) 病原微生物の種類と特徴を述べることができる。 2) 感染の成立における宿主側の抵抗性と微生物の病原性との関係を理解し、述べるができる。 3) 感染症の予防と治療に関する基礎知識として、滅菌と消毒の違いを理解し、医療現場で応用する。			
先修要件	なし			
関連科目	なし			
学修上の注意	1) 講義には教科書を持参すること。 2) 病原微生物に関する問題は国家試験に必ず出題される。 3) 看護や内科学の基礎知識として重要であり、実際の医療現場で役立つ知識である。 4) 講義ではその主要なポイントを押さえて解説する。			
成績評価の方法				
評価方法	期末試験成績80%及び実習レポートと小テスト20%により評価する。			
評価基準	1) 病原微生物の種類と特徴を述べる。 2) 感染の成立における宿主側の抵抗性と微生物の病原性との関係を理解し、述べるができる。 3) 感染症の予防と治療に関する基礎知識として滅菌と消毒の違いを理解し、医療現場で応用することができる。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックの希望者は随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学		医学書院		
参考文献				
「標準微生物学」 山西弘一、平松啓一 編 医学書院 「目でわかる微生物学と感染症」 山本直樹 他 監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 国立感染症研究所ホームページ (https://www.niid.go.jp/niid/ja/)				
その他				
連絡先・オフィスアワー	浦安キャンパス事務 (urayasu@) で随時受け付けます。その後、転送します。			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	岡本	病原微生物の基礎知識 【キーワード】 微生物の発見、微生物の形態と特徴	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
2	岡本	感染症の種類と微生物 【キーワード】 感染の成立、感染経路、感染症の問題点	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
3	梶原	感染症を防ぐ人体の仕組み 【キーワード】 免疫担当細胞、抗原、抗体、ワクチン	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
4	多田	感染症の治療薬(抗菌薬) 【キーワード】 化学療法の基礎、抗菌薬、薬剤耐性	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
5	栗原・伊東	滅菌と消毒、検査・検出方法、細菌検査(採取) 【キーワード】 滅菌と消毒、滅菌方法、消毒薬の特性	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
6	岡本、梶原、 多田、鈴木、 伊東、菱沼、 栗原	本郷キャンパスにて実習 【キーワード】 鼻腔と口腔の常在細菌、グラム染色、顕微鏡観察	実習	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。グラム 染色の手技を確かめておく。グラム陰性、 陽性菌の染色性、構造について理解を深め る。常在菌について理解を深める。
7	多田	細菌学各論(1) グラム陰性桿菌 【キーワード】 グラム陰性好気性桿菌、グラム陰性微好気性桿菌、グラム陰性偏性嫌 気性菌	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
8	菱沼	細菌学各論(2) グラム陽性菌、グラム陰性球菌(淋菌、髄膜炎菌) 【キーワード】 ブドウ球菌、連鎖球菌、腸球菌、ナイセリア属菌(淋菌、髄膜炎菌)	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
9	菱沼	細菌学各論(3) グラム陽性桿菌、芽胞産生菌 【キーワード】 グラム陽性桿菌、バシラス属、リステリア、ジフテリア、クロストリ ジウム属	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
10	多田	細菌学各論(4) 抗酸菌、スピロヘータ、偏性細胞内寄生菌 【キーワード】 結核菌、スピロヘータ、クラミジア、リケッチア、マイコプラズマ	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。
11	栗原、伊東	真菌、原虫 【キーワード】 深在性真菌症、カンジダ、クリプトコッカス、アスペルギルス、皮膚 糸状菌、原虫、赤痢アメーバ。アカントアメーバ、鞭毛虫、マラリア 原虫、トキソプラズマ	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。真菌お よび原虫による代表的な感染症を理解す る。
12	鈴木	ウイルス(1) DNAウイルス と 感染症 【キーワード】 ポックスウイルス、ヘルペス、水痘帯状疱疹、EB、サイトメガロウイ ルス、アデノウイルス、パピローマウイルス他	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。DNAウ イルスの種類と代表的な感染症について理 解する。
13	岡本	ウイルス(2) RNAウイルス と 感染症 【キーワード】 インフルエンザ、ムンプス、麻疹、風疹、RS、コクサッキー、ポリオ、 狂犬病、日本脳炎、ノロ	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。RNAウ イルスの種類とそれによって起こる感染症 について理解を深める。
14	岡本	ウイルス(3) RNAウイルス と 感染症 【キーワード】 コロナ、SARS、レトロウイルス、ATL、HIV、肝炎ウイルス、プリオン	講義	【予習・復習】 配布した資料と教科書を読み、理解する (予習時間60分、復習時間60分)。レトロ ウイルスが起こす感染症、肝炎ウイルスつ いて、資料と教科書を読み、理解を深め る。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	臨床栄養学	必修・選択	必修
英語科目名	Clinical Nutritional Science	対象学年	1年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	榎本 真理	ナンバリング	FNL22B1
担当教員	榎本真理※、高橋徳江※、池田理香※、佐藤芳子※、山内真由美※、渡邊佳代※、岩岡愛美※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	人間の健康および生命維持における栄養摂取の意義と機能について、また、代謝や吸収の機能を理解する。さらに、人間のライフステージにおける必要エネルギー量と栄養状態の評価および補給方法を理解する。また、健康障害と栄養療法について、疾患別の食事療法の実際を学び、栄養管理に必要な知識を習得する。 キーワード：三大栄養素、栄養アセスメント、病院給食、食事療法、疾病別食事療法、エネルギー代謝、ライフステージ				
授業の位置づけ	当該授業は、人間の健康を司る栄養に関する知識を深めるとともに、看護師として栄養療法を実践するための基礎となる科目として位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP2- I				
到達目標	1) 栄養補給における看護師の役割を理解できる 2) 栄養素の種類とはたらきを理解できる 3) 食物の消化と栄養素の吸収・代謝を理解できる 4) 栄養補給方法を理解できる 5) 栄養状態の評価・判定ができる 6) 疾病別食事療法とチーム医療について理解できる 7) ライフステージに沿った栄養管理を説明できる				
先修要件	なし				
関連科目	生化学、臨床医学、成人看護学概論、高齢者看護学概論、小児看護学概論、母性看護学概論				
学修上の注意	事前に授業内容に関連する参考文献を調べ、使用テキストを一読すること。 授業では積極的に発言、参加をして欲しい。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100%）				
評価基準	1) 栄養補給における看護師の役割を理解できる 2) 栄養素の種類とはたらきを理解できる 3) 食物の消化と栄養素の吸収・代謝を理解できる 4) 栄養補給方法を理解できる 5) 栄養状態の評価・判定ができる 6) 疾病別食事療法とチーム医療について理解できる 7) ライフステージに沿った栄養管理を説明できる 各分野についての理解度を定期試験の成績で評価する。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックは授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能[3]		医学書院	978-4-260-03861-4	
参考文献					
『食事指導のABC』 日本医師会発行 『食事指導の看護へのいかしかた』 第2版 医歯薬出版株式会社 『病態栄養ガイドブック』 日本病態栄養学会発行 南江堂 『NSTガイドブック』 日本病態栄養学会発行 南江堂					
その他					
連絡先・オフィスアワー	各講義終了後20分間 又は随時、(urayasu@)迄メールすること。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	佐藤	人間栄養学と看護 ・食事における看護師の役割 栄養素の種類とはたらき ・糖質・脂質・たんぱく質・その他の栄養素 [キーワード] ・三大栄養素 ・保健と栄養 ・食事療法と医療制度	講義	[予習] ・三大栄養素を確認する ・保健・医療における栄養の役割を確認する(学習時間70分) [復習] 授業中配布資料を確認しておく(学習時間70分)
2	山内	栄養状態の評価・判定 ・評価判定の定義と目的 ・評価と判定法 [キーワード] ・栄養アセスメント ・身体計測で身長・体重からエネルギー摂取量を求める	講義	[予習] 栄養アセスメントについて調べておく(学習時間70分) [復習] 身体計測を行い自身のエネルギー摂取量を確認する(学習時間70分)
3	池田	臨床栄養・病院食について ・チームで取り組む栄養管理について ・病院食について ・栄養補給法について [キーワード] ・チーム医療での看護師の役割 ・病院食の意義と種類 ・栄養補給法	講義	[予習] ・チーム医療について確認する ・病院食の種類について調べておく(学習時間70分) [復習] 授業中配布資料を確認しておく(学習時間70分)
4	岩岡	疾病別食事療法(糖尿病・腎臓病) ・糖尿病と食事療法 ・腎臓病と食事療法 [キーワード] ・疾病に対して理解と食事療法を理解する ・制限内容の理由を理解する	講義	[予習] 糖尿病・腎臓病の食事療法について調べておく(学習時間70分) [復習] 授業中配布資料を確認しておく(学習時間70分)
5	高橋	疾病別食事療法(消化器疾患) ・肝臓病 ・胃・腸疾患と食事療法 [キーワード] ・疾病別食事療法(消化器疾患) ・肝臓病 ・胃・腸疾患と食事療法	講義	[予習] 肝臓病、胃・腸疾患の食事療法について調べておく(学習時間70分) [復習] 授業中配布資料を確認しておく(学習時間70分)
6	渡邊	エネルギー代謝 ・食品のエネルギー ・体内のエネルギー ・基礎代謝と消費エネルギー [キーワード] ・エネルギー代謝 ・基礎代謝 ・エネルギー消費	講義	[予習] エネルギーの摂取と消費によるエネルギー出納、および基礎代謝について確認しておく(学習時間70分) [復習] 授業中配布資料を確認しておく(学習時間70分)
7	榎本	ライフステージと栄養、栄養補給法(経腸栄養法・静脈栄養法) ・乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期・妊娠期・授乳期・更年期・高齢期の栄養について ・経腸栄養・静脈栄養について [キーワード] ・ライフステージの栄養管理 ・経管栄養の種類と活用法 ・静脈栄養	講義	[予習] 授業タイトルにある項目について調べておく(学習時間70分) [復習] 授業中配布資料を確認しておく(学習時間70分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	薬理学	必修・選択	必修
英語科目名	Pharmacology	対象学年	1年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	櫻井 隆	ナンバリング	FNL22B2
担当教員	櫻井 隆※、村山 尚※、櫻山 拓※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	病気には身体の機能が正常範囲を逸脱して亢進または低下した状態が深くかかわっている。その治療の一つとして薬物が使用されるが、薬物は生体の機能分子に作用することにより様々な機序によって効果を発現し、身体の機能を正常な状態に近づけるように働く。その一方で身体に有害な作用をもたらすこともある。本科目では、薬物を用いた疾病の治療、予防や検査に関連する看護を円滑に実践し、薬に関連する有害事象等を未然に防ぐために必要な基礎的な知識として、代表的な薬物の作用機序、副作用（有害反応）、投与上の注意点を習得する。薬の不適切な使用は人体に害をもたらすだけでなく、社会的な問題ともなりうることから、多くの法律により規制されている。また、新薬の開発では安全面や倫理面についてのルールがある。これらの法令、適切な管理について学ぶ。今後新たに登場する薬、また新たに報告される有害作用等に対応して、医薬品を適正かつ安全に使用していくためには、常に最新の情報を知る必要がある。添付文書等により最新の情報を入手する方法について学ぶ。			
授業の位置づけ	形態機能学、生化学、微生物学等で学んだ知識を活用し、薬の主な作用・副作用（有害反応）が生じるメカニズムを理解していく。薬の適正使用のために重要なポイントや関連する法律について基礎的な知識を学び、他職種との連携の重要性を理解するためのきっかけとする。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な薬物について、期待される主な作用と作用機序、重篤な副作用（有害反応）について述べることができる。 2. 主要な薬物について、適正使用のための注意点、有害反応の防止に当たって重要な点を述べるができる。 3. 薬に関する主要な法令や管理が必要な薬物について述べるができる。 4. 医薬品について、最新の情報（添付文書等）の入手方法を説明することができる。添付文書中の主要な内容を理解できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	形態機能学 I、生化学、微生物学、病理学、臨床検査学			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予習として、テキストの指定ページを読んでおくこと。復習では、配布資料および授業で解説される小テストについて復習した上で教科書の該当部分をよく読み理解を深めておくこと。 2. 1月には定期試験の参考問題を配布し、「まとめ」の授業において重要問題の解説を行う。 3. 薬の名前や作用を覚えるためには予習、復習が大切である。将来、新しい薬物について必要な情報（添付文書等）を入手し、理解することも必要となる。日頃から、自分が接する薬物については添付文書等を読む努力をしておくこと。添付文書は以下のホームページから検索・ダウンロードが可能である。 https://www.info.pmda.go.jp/psearch/html/menu_tenpu_base.html 4. 「まとめ」の授業において、配付される添付文書に基づいて症例関連問題についてのディスカッションを行う。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100%）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な薬物について、主な作用と作用機序、重篤な副作用（有害反応）を説明することができる（75%）。 2. 主要な薬物について、適正使用のための注意点、有害反応の防止にあたって重要な点を説明することができる（15%）。 3. 薬に関する主要な法令や管理が必要な薬物について説明することができる（5%）。 4. 医薬品について、添付文書中の主要な内容を説明できる（5%）。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題・小テストに対するフィードバックは授業内で行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学	吉岡充弘	医学書院	978-4-260-04716-6	第15版
参考文献				
『治療薬マニュアル』 高久史磨、矢崎義雄 監修 医学書院				
その他				
連絡先・オフィスアワー	講義の前またはメールでの問い合わせ（櫻井：tsakurai@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	櫻井	薬理学総論Ⅰ（薬理学とはなにか 薬による病気の治療 薬が作用するしくみ（薬力学） 薬物使用の有益性と危険性、薬害） [キーワード] 薬の主作用・副作用（有害作用）、薬物受容体、アゴニスト・アンタゴニスト、用量-反応曲線、治療係数、薬害	講義	[予習] テキストの薬理学総論 4～23、48～52、61～63ページを読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。薬害について動画を視聴し、レポートを作成する（学習時間60分）
2	櫻井	薬理学総論Ⅱ（薬の体内の挙動（薬物動態学）） [キーワード] ADME、バイオアベイラビリティ、生物学的半減期、TDM、酵素誘導・酵素阻害	講義	[予習] テキストの薬理学総論 24～40ページを読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
3	櫻山	各論Ⅰ（抗感染症薬） [キーワード] 抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬、日和見感染症、薬剤耐性菌	講義	[予習] テキストの薬理学各論 第3章「抗感染症薬」を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
4	櫻山	各論Ⅱ（抗がん薬、免疫治療薬） [キーワード] 細胞増殖抑制、副作用、がん性疼痛の治療、免疫抑制薬、免疫増強薬	講義	[予習] 第4章「抗がん薬」、第5章「免疫治療薬」を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
5	櫻山	各論Ⅲ（抗アレルギー・抗炎症薬） [キーワード] 抗ヒスタミン薬、非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）、ステロイド性抗炎症薬、副作用	講義	[予習] 第6章「抗アレルギー薬・抗炎症薬」を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
6	櫻山	各論Ⅳ（自律神経系作用薬） [キーワード] 神経伝達、交感神経、副交感神経、アドレナリン、アセチルコリン、 α 受容体、 β 受容体、ムスカリン受容体、ニコチン受容体	講義	[予習] 第7章「末梢での神経活動に作用する薬物」のうちp146～160を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
7	村山	各論Ⅴ（筋弛緩薬、局所麻酔薬） [キーワード] 神経-筋接合部、局所麻酔薬	講義	[予習] 第7章の161ページ以降を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
8	村山	各論Ⅵ（中枢神経系作用薬、麻薬） [キーワード] 全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	講義	[予習] 第8章「中枢神経系に作用する薬物」を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
9	村山	各論Ⅶ [心・血管系作用薬Ⅰ]（抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬） [キーワード] カルシウム拮抗薬、 β ブロッカー、強心配糖体、Naチャンネルブロッカー、Kチャンネルブロッカー	講義	[予習] 第9章のうち198-217ページを読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
10	村山	各論Ⅷ [心・血管系作用薬Ⅱ]（利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物） [キーワード] チアジド系利尿薬、HMG-CoA還元酵素阻害薬、抗血液凝固薬、血栓溶解薬、抗血小板薬	講義	[予習] 第9章のうち217-235ページを読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）

11	村山	各論IX（呼吸器、消化器、生殖器、泌尿器系に作用する薬物） [キーワード] 気管支喘息治療薬、消化性潰瘍治療薬、制吐薬、止瀉薬、性ホルモン、子宮収縮薬	講義	[予習] 第10章「呼吸器、消化器、生殖器、泌尿器系に作用する薬物」を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
12	村山	各論X〔物質代謝に作用する薬物〕（ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン）及び〔皮膚科用薬・眼科用薬、救急用薬、消毒薬〕 [キーワード] 糖尿病治療薬、甲状腺疾患治療薬、下垂体ホルモン、骨粗鬆症治療薬、水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、外用薬、ショック、薬物中毒、解毒薬、消毒薬	講義	[予習] テキストの第11章、第12章、第13章、第15章を読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
13	櫻井	薬理学総論Ⅲ（薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物の反復投与による影響） [キーワード] 遺伝的多型、耐性、依存、中毒、薬物相互作用	講義	[予習] テキストの40-54ページを読む。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読み理解を深めておく。（学習時間30分）
14	櫻井	薬理学総論Ⅳ（医薬品に関する法律、新薬の開発、添付文書）・まとめ [キーワード] 医薬品に関する法令、臨床試験、二重盲検法、プラセボ、ジェネリック医薬品、添付文書	講義、ディスカッション	[予習] テキストの54-61、328-334ページを読む。各自ホームページから指定の薬物の添付文書をダウンロードし、内容を読んでおくこと。（学習時間30分） [復習] 講義で取り上げた箇所と問題について教科書をよく読むとともに、添付文書の内容を確認し理解を深めること。（学習時間60分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	臨床薬理学	必修・選択	選択
英語科目名	Clinical Pharmacology	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	岸野 史志	ナンバリング	PNL22B1
担当教員	岸野史志	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>【該当するコンピテンシー】 本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力</p> <p>【学修目標】 薬理学で学んだ基礎知識をもとに、代表的な疾病とその基本となる薬物について学習し、薬物が人体に作用する仕組みと薬物を安全に使用するための基本的知識、看護における注意点を理解する。また、根拠に基づく医療を学び、個々の患者に合った薬物療法を考察する。</p>				
授業の位置づけ	代表的な疾病とその治療薬について学習し、臨床で繁用される医薬品を安全に使用するための基本的事項（作用機序、有効性、副作用、相互作用、等）、及び使用上の注意点について学び理解すると同時に、患者個々の病態に適した薬物療法を学び、看護師国家試験出題基準 1. 必須問題の目標Ⅲ、(12)「薬物の作用とその管理の基礎」と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力				
到達目標	<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療において、薬の果たす役割と適正使用法を説明できる。 2. 薬物の体の中での動き（吸収、分布、代謝、排泄）を説明できる。 3. 薬物の基本的な作用、副作用、及び作用機序を説明できる。 4. 副作用の概要、薬害の実態について学び、その原因と社会的背景、及び被害者救済制度の内容を概説できる。 5. 代表的な疾病とその治療薬について説明することができる。 6. 病態時（肝疾患、腎疾患、等）の薬物の適正な使用法を説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	薬理学				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだ薬理学の基本的な知識の復習と確認を行うこと。 ・代表的な疾病に対する治療薬について、基本的な知識を理解・再確認し、習得しておくこと。 ・予習と復習の学習時間は各80分。 				
成績評価の方法					
評価方法	成績評価方法 ・課題レポート 80%、授業態度（講義内容に沿った問題への理解度・学習態度など、総合的に評価） 20%				
評価基準	成績評価基準 ・授業態度と講義内容に基づく基礎知識の理解度を問う課題レポートにより評価する。 ・代表的な疾病とその治療薬について説明することができるか。 ・根拠に基づく医療を実践し、個々の患者に合った薬物療法を提案できるか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業の理解度を確認するために、毎回、講義内容に沿った国家試験、等、の問題を配布し、当該時間内で解説を加えながら解答する。また、課題レポートのフィードバックは、希望に応じて個別に対応する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
適宜、紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時、電子メール（skishino@juntendo.ac.jp）で質問を受け付ける。				
備考	毎回、プリントを配布する。 また、授業の理解度を確認するために、講義内容に沿った国家試験、等、の問題を配布する。 尚、テキストは適宜紹介する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	岸野史志	臨床薬理学 概論 [キーワード] 医薬品、薬物治療、個体差、有効性、安全性、副作用、薬害、被害者救済制度	講義	[予習] (70分) 教科書、検索サイトを利用して、医療現場において薬の果たす役割等を調べておくこと。 [復習] (70分) 配布資料を再度確認し、薬の基本的事項について理解を深める。
2	岸野史志	体の中での薬の動き 薬物動態、薬物相互作用、医薬品の管理 [キーワード] 主作用、副作用、薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）、血中薬物濃度、個体差、薬の飲み合わせ、薬物代謝酵素、血漿蛋白結合率、麻薬、特定生物由来製品、医薬品の管理	講義	[予習] (70分) 検索サイト等を利用し、体の中での薬の動態、及び問題となる薬の飲み合わせを調べておく。 [復習] (70分) 配布資料の内容を再度確認し、体の中での薬の動き、及び相互作用の機序（理由）を理解する。
3	岸野史志	悪性腫瘍と治療薬 [キーワード] 悪性腫瘍、大腸がん、抗悪性腫瘍薬、適正使用、レジメ	講義	[予習] (70分) 教科書を読み、一般的な癌の病態、治療法（抗がん剤）を調べておく。 [復習] (70分) 配布資料を再度確認し、抗がん剤の種類、特徴、レジメ等を理解する。
4	岸野史志	循環器系疾患と治療薬 [キーワード] 高血圧、心不全、狭心症、不整脈、治療薬	講義	[予習] (70分) 教科書を読み、循環器系疾患（高血圧、心不全、等）の病態、病因、治療法を調べておく。 [復習] (70分) 配布資料を再度確認し、循環器系疾患の概要、主な治療薬の作用機序、特徴、副作用等を理解する。
5	岸野史志	内分泌・代謝系疾患と治療薬 [キーワード] 糖尿病、I型、II型、治療薬	講義	[予習] (70分) 内分泌・代謝性疾患（主に、糖尿病）の病因、病態、主な治療薬を調べておく。 [復習] (70分) 配布資料を再度確認し、糖尿病の病因、病態、及び治療薬の特徴、副作用を理解する。
6	岸野史志	消化器系疾患と治療薬 [キーワード] 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、ピロリ菌、治療薬	講義	[予習] (70分) 教科書を読み、消化器系疾患（主に、胃潰瘍、十二指腸潰瘍）の病因、病態、治療法を理解しておく。 [復習] (70分) 配布資料を再度確認し、胃潰瘍、十二指腸潰瘍の病因、病態、及び治療薬の特徴、副作用等を理解する。
7	岸野史志	脂質異常症と治療薬 [キーワード] 脂質異常症、高脂血症、動脈硬化、メタボリックシンドローム、治療薬	講義	[予習] (70分) 教科書、検索サイト等を利用して、脂質異常症の概要、治療薬の種類、特徴等を予め調べておく。 [復習] (70分) 講義内容、配布資料を再度確認し、脂質異常症治療の必要性、及び問題点等を理解する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	病理学	必修・選択	必修
英語科目名	Pathology	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	平井 周	ナンバリング	FNL22B3
担当教員	平井 周※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	(1) 解剖学・生理学で学習する人体の正常な構造や機能に関する知識をもとに、人体の病的状態について学習する。 (2) 各疾患の病因・発生機序を形態学的見地から比較し理解する。				
授業の位置づけ	病理学は、解剖学や生理学などで学んだ人体の正常な形態や機能の知識をもとに、人体の異常（＝病的）な状態について、その本質や機序を形態学的な見地から学ぶ学問であり、全ての臨床医学の基盤となる。各種疾患の原因やしくみを病理学的な観点から学修することで、症状や徴候、病態を論理的に関連付けられるようになり、病態の的確なアセスメントや、看護の意義や目的を正しく理解することが可能となる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I				
到達目標	(1) 疾病は「病因」と「病理発生」によって成立することを理解した上で、疾病を病理学的に分類する事ができる。 (2) 医療における病理診断の意義について説明できる。 (3) 疾病や症状に対する看護的処置の意味を、病理学的変化や臓器間の相関性など、病理病態学的見地から説明することができる。				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学、臨床医学				
学修上の注意	(1) 講義は病理学総論を主体とする。 (2) 講義には使用テキストを持参し、該当箇所を読むなど事前学習を済ませておくこと。 (3) 各講義ごとに学習補助資料（プリント）を配布するので活用すること。 (4) 基礎および臨床講義、特に解剖学や臨床医学で得る知識と関連させ、学習内容を理論的・系統的に整理し習得すること。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100％）とするが、全出席は評価に加味する。				
評価基準	(1) 医療における病理診断の目的や具体的な関わりを説明することができるか。 (2) 病理学総論の大項目（細胞傷害、組織適応、先天異常、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍）について、各々代表的な疾患を挙げることができるか。 (3) 医療に携わる者が遭遇する代表的な疾患について、それらの本質（病因や病理発生）を科学的に理解・説明できるか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
試験問題に関する質問には、個別に対応しフィードバックする。 試験問題は詳解を後日配布する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	クイックマスター 病理学（第2版）	堤 寛	サイオ出版		
参考文献					
各講義で配布資料（学習補助資料）あり。 『はじめの一歩のイラスト病理学』 深山正久 羊土社 『パワーアップ問題演習 病理学』 堤 寛 サイオ出版					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	平井	病理学序論 [キーワード] 「病理学」とは？ 「病理診断」とは？	講義	[予習] (学習時間: 2時間) テキストP14~P26を読んでおくこと。 [復習] (学習時間: 2時間) 講義内容、配布資料をテキストと併せ読み、理解を深める。 講義で触れた代表的な疾患についてはテキスト(各論の項)で確認する。
2	平井	細胞傷害、組織適応 [キーワード] 細胞の死、細胞増殖 萎縮、肥大、過形成、再生、化生	講義	[予習] (学習時間: 2時間) テキストP27~P52を読んでおくこと。 [復習] (学習時間: 2時間) 講義内容、配布資料をテキストと併せ読み、理解を深める。 講義で触れた代表的な疾患についてはテキスト(各論の項)で確認する。
3	平井	先天異常 [キーワード] 先天異常とは？ 奇形とは？ 染色体異常(配偶子病)とは？ 遺伝病と遺伝子病	講義	[予習] (学習時間: 2時間) テキストP53~P64を読んでおくこと。 [復習] (学習時間: 2時間) 講義内容、配布資料をテキストと併せ読み、理解を深める。 講義で触れた代表的な疾患についてはテキスト(各論の項)で確認する。
4	平井	循環障害(1) [キーワード] 虚血、梗塞、うっ血と充血、出血、血栓と塞栓、浮腫、ショック	講義	[予習] (学習時間: 2時間) テキストP65~P75を読んでおくこと。 [復習] (学習時間: 2時間) 講義内容、配布資料をテキストと併せ読み、理解を深める。 講義で触れた代表的な疾患についてはテキスト(各論の項)で確認する。
5	平井	循環障害(2) [キーワード] 虚血、梗塞、うっ血と充血、出血、血栓と塞栓、浮腫、ショック	講義	[予習] (学習時間: 2時間) テキストP65~P75を読んでおくこと。 [復習] (学習時間: 2時間) 講義内容、配布資料をテキストと併せ読み、理解を深める。 講義で触れた代表的な疾患についてはテキスト(各論の項)で確認する。
6	平井	炎症・免疫異常・アレルギー [キーワード] 急性炎症と慢性炎症 特異性炎(肉芽腫性炎) 創傷治癒 細胞性免疫と液性免疫 アレルギー反応 免疫不全 日和見感染 自己免疫疾患	講義	[予習] (学習時間: 2時間) テキストP76~P102を読んでおくこと。 [復習] (学習時間: 2時間) 講義内容、配布資料をテキストと併せ読み、理解を深める。 講義で触れた代表的な疾患についてはテキスト(各論の項)で確認する。
7	平井	腫瘍 [キーワード] 腫瘍とは？ 良・悪性の違い 腫瘍の分類 前癌病変 腫瘍の進展・転移様式 腫瘍の発生機序 遺伝性腫瘍	講義	[予習] (学習時間: 2時間) テキストP118~P134を読んでおくこと。 [復習] (学習時間: 2時間) 講義内容、配布資料をテキストと併せ読み、理解を深める。 講義で触れた代表的な疾患についてはテキスト(各論の項)で確認する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	臨床検査学	必修・選択	必修
英語科目名	Clinical Laboratory	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	三宅 一徳	ナンバリング	FNL22B4
担当教員	三宅 一徳※、植木 純※、林 明人※、加藤 洋一※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	臨床検査は疾患の診断に用いられるばかりでなく、重症度の評価、治療の有効性などの判定や病態アセスメントに利用されており、その情報は看護に欠くことができない。また、看護師は検体の採取や検査の介助に直接関わることがある。医療における臨床検査の役割、検査が反映する病態生理について基本的な事項を学習する。				
授業の位置づけ	臨床検査は「健康と医療」で学修する各種疾病の診断や治療に横断的に関わる。臨床検査は形態機能学、生化学、微生物学、病理学などに基礎を置き、症状別臨床病態学、臨床医学Ⅰ、Ⅱで学修する各種病態の診断や臨床薬理学で学修する治療の効果判定などに横断的に関わる。1年次にその基礎を学修することで、臨床医学で学ぶ病態への理解を深めることができる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ③疾病の病態、診断、治療を理解して看護実践に応用できる。				
到達目標	1) 臨床検査の診断特性（感度・特異度）について説明できる。 2) 臨床検査の種類について述べるができる。 3) 適切な検体採取の原則を説明できる。 4) 主要な検体検査、生体検査の背景となる病態生理について概略を述べるができる。 5) 臨床検査を担当する臨床検査技師についてその業務を知る。				
先修要件	なし				
関連科目	微生物学、形態機能学、生化学、病理学、臨床栄養学				
学修上の注意	関連授業項目に上げた講義科目で得た知識と関連させ、学習内容を理論的・系統的に整理しながら学習するのが望ましい。授業資料は国家試験学習でも参考となるよう講義内容より踏み込んだものとして準備している。1年次はすべてを理解・記憶する必要はないが、要点を整理・学習するよう努めること。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験成績(80%)、平常点(授業参画等：20%)により評価する。				
評価基準	1) 臨床検査の診断特性（感度・特異度）について説明できるか 2) 臨床検査の種類について述べるができるか 3) 適切な検体採取の原則を説明できるか 4) 主要な検体検査、生体検査の背景となる病態生理について概略を述べるができるか				
試験・課題に対するフィードバック方法					
定期試験については正解を公開する。 課題等に対するフィードバックは授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし					
参考文献					
講義時に資料を配付する。 参考書：南山堂 なるほどなっとく！臨床検査 医学書院 系統看護学講座（第9版）別巻 臨床検査 その他は適宜紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	毎回の授業終了後に教室あるいはチャットで質問を受け付ける。				
備考	特になし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	三宅	臨床検査の基礎 1. 臨床検査の分類 2. 臨床検査の診断特性 3. 基準範囲と臨床判断値 4. 検体採取と検体取扱いの基本	講義	[予習] 以下のキーワードについてインターネットなどで調べておく。(70分) 「検査の感度と特異度」 [復習] 復習課題を行い理解を深める。(90分)
2	三宅	一般(尿・便・穿刺液)検査, 血液学検査 [キーワード] 採尿法, 尿検査, 血球数算定, 凝固機能検査	講義	[予習] 前回講義で示す予習課題を行っておく(70分) [復習] 講義で取り上げた臨床検査項目に係わりの深い疾患の病態生理について臨床系医学教科書等で知識を整理する。(120分)
3	三宅	生化学検査 [キーワード] 蛋白, 脂質, 糖, 酵素, 生体色素, 含窒素成分, 電解質, 腫瘍マーカー	講義	[予習] 前回講義で示す予習課題を行っておく(70分) [復習] 講義で取り上げた臨床検査項目に係わりの深い疾患の病態生理について臨床系医学教科書等で知識を整理する。(120分)
4	三宅	免疫学検査, 感染症検査, 輸血検査 [キーワード] 抗体(免疫グロブリン), 病原体検査, 血液型, 交差適合試験	講義	[予習] 前回講義で示す予習課題を行っておく(70分) [復習] 講義で取り上げた臨床検査項目に係わりの深い疾患の病態生理について臨床系医学教科書等で知識を整理する。(120分)
5	林	神経生理機能検査 [キーワード] 脳波検査, 筋電図検査	講義	[予習] 講義キーワードに示す検査がどのようなものかインターネットなどを利用して調べておく(70分) [復習] 講義で取り上げた臨床検査項目に係わりの深い疾患の病態生理について臨床系医学教科書等で知識を整理する。(120分)
6	加藤	循環機能検査 [キーワード] 心電図検査, 循環生理機能検査	講義	[予習] 講義キーワードに示す検査がどのようなものかインターネットなどを利用して調べておく(70分) [復習] 講義で取り上げた臨床検査項目に係わりの深い疾患の病態生理について臨床系医学教科書等で知識を整理する。(120分)
7	植木	呼吸機能検査 [キーワード] スパイロメトリー, 肺活量, 一秒率	講義	[予習] 講義キーワードに示す検査がどのようなものかインターネットなどを利用して調べておく(70分) [復習] 講義で取り上げた臨床検査項目に係わりの深い疾患の病態生理について臨床系医学教科書等で知識を整理する。(120分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	症状別臨床病態学	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Clinical Medicine	対象学年	1年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	植木 純	ナンバリング	FNL22B5
担当教員	植木 純※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患の病態メカニズムを理解し知識を修得する。				
授業の位置づけ	症状・症候の病態メカニズムを理解し、その背景にある代表的な急性・慢性疾患についてアセスメントするための知識を修得し、臨床医学や検査、治療を学ぶ基盤とする。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-1：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ODP2-11：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力				
到達目標	1) 発熱、全身倦怠感、ショック、チアノーゼ、アレルギー、肥満、るいそう、頭痛、意識障害、麻痺、動悸、胸痛、呼吸困難、腹痛、吐・下血、黄疸、貧血、口渇、多尿、浮腫などの症状・症候の発生機序を述べることができる。 2) さまざまな症状、症候の背景にある急性・慢性疾患について述べるができる。				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学IA・IB・II、微生物学、薬理学、臨床薬理学、病理学、臨床検査学、臨床医学IA・IB・IIA・IIB、フィジカルアセスメント、成人看護方法論I・II・III・IV、リハビリテーション看護、高齢者看護方法論I・II、感染看護、救急看護、エンド・オブ・ライフケア論、看護管理学、順天堂の先端医療と看護				
学修上の注意	授業前には「予習・復習キーワード」に記載されたキーワードに関して、テキストで予習すること。授業後は配布されたプリントの内容に沿って復習し、症状・症候の発生機序、症状・症候の背景にある代表的な急性・慢性疾患の病態メカニズムの知識を修得して、スムーズに説明できるようになること。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100%）で評価するが、日々の学習状況も考慮する。				
評価基準	代表的な症状・症候の発生機序、症状・症候の背景にある代表的な急性・慢性疾患の病態について説明することができるか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックは希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ナーシング・サブリ『イメージできる 病態生理学』改訂2版	ナーシング・サブリ編集委員会 編	メディカ出版	4-8404-6211-9	
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座、成人看護学 [2] 呼吸器、医学書院 ・系統看護学講座、成人看護学 [3] 循環器、医学書院 ・系統看護学講座、成人看護学 [4] 血液・造血器、医学書院 ・系統看護学講座、成人看護学 [5] 消化器、医学書院 ・系統看護学講座、成人看護学 [6] 内分泌・代謝、医学書院 ・系統看護学講座、成人看護学 [7] 脳・神経 ・系統看護学講座、成人看護学 [8] 腎・泌尿器、医学書院 ・系統看護学講座、成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症、医学書院 ・系統看護学講座、成人看護学 [12] 皮膚、医学書院 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問などは植木純メールアドレス（junueki@）で受け付けます。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	植木	情報の収集方法、および発熱、全身倦怠感、肥満、るいそうの症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患について学習する。 [キーワード] インタビュー、身体診察、基本的検査、体温調節機序、熱形、発熱物質、不明熱、疲労感、易疲労感、BMI、二次性（症候性）肥満、メタボリックシンドローム、減量で改善する健康障害、高齢者のるいそう、パセドウ病。	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。 (学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。 (学習時間100分)
2	植木	ショック、チアノーゼ、貧血、出血傾向の症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患について学習する。 [キーワード] アナフィラキシー、敗血症、前負荷、中枢性チアノーゼ、末梢性チアノーゼ、還元ヘモグロビン、鉄、エリスロポイエチン、ビタミンB12、溶血、血小板、凝固因子。	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。 (学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。 (学習時間100分)
3	植木	アレルギー、レイノー症状の症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患について学習する。 [キーワード] 免疫グロブリン、I・II・III・IV型アレルギー、食物アレルギー、ラテックスアレルギー、自己免疫、膠原病、関節リウマチ、特発性レイノー現象、二次性レイノー現象、気管支喘息。	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。 (学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。 (学習時間100分)
4	植木	頭痛、意識障害、麻痺、しびれ感（感覚障害）の症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患について学習する。 [キーワード] 機能的頭痛、症候性頭痛、片頭痛、頭蓋内圧亢進、髄膜刺激症状、くも膜下出血、Japan Coma Scale (JCS)、昏睡、せん妄、中枢性麻痺、末梢正麻痺、バビンスキー兆候、ブラウン・セカール症候群、ギランバレー症状群、手袋・靴下型知覚障害。	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。 (学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。 (学習時間100分)
5	植木	動悸、胸痛、咳嗽、喀痰、呼吸困難、嚥下障害の症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患について学習する。 [キーワード] 徐脈性・頻脈性不整脈、房室ブロック、アダム・ストークス症候群、心房細動、絞扼痛、放散痛、虚血性心疾患、解離性大動脈瘤、自然気胸、帯状疱疹、乾性咳嗽、湿性・漿液性痰、粘性痰、膿性痰、血痰、MRC分類、呼吸不全、心不全、嚥下性肺炎。	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。 (学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。 (学習時間100分)
6	植木	嘔気・嘔吐、腹痛、吐・下血、下痢、黄疸の症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患について学習する。 [キーワード] 嘔吐中枢、自律神経症状、前庭機能障害、内臓痛、体性痛、関連痛、筋性防御、マックバーニ一点、急性腹症、食道静脈瘤、コーヒー残渣様、タール便、血便、粘血便、消化管の水分出納、感染性腸炎、直接ビリルビン、間接ビリルビン。	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。 (学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。 (学習時間100分)
7	植木	腹水、腹部膨満、口渇、多尿、浮腫、排尿異常の症状・症候別に代表的な急性・慢性疾患について学習する。 [キーワード] 滲出性腹水、漏出性腹水、イレウス（腸閉塞）、クールボアジエ兆候、高張性脱水、低張性脱水、糖尿病、尿崩症、血漿膠質浸透圧、血管壁透過性の亢進、リンパ管障害、尿閉、腹圧性尿失禁、前立腺肥大症。	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。 (学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。 (学習時間100分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	臨床医学IA (内科)	必修・選択	必修
英語科目名	Clinical Medicine IA: Medicine	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	植木 純	ナンバリング	CNL22B1
担当教員	植木純※、京極伸介※、斎藤アネ優子※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	臨床医学の基本である内科学（呼吸器疾患、循環器疾患、消化管疾患、肝胆膵疾患、免疫・アレルギー疾患、放射線医学）について看護実践に必要な知識を修得する。				
授業の位置づけ	臨床医学の基本となる内科学（呼吸器疾患、循環器疾患、消化管疾患、肝胆膵疾患、免疫・アレルギー疾患、放射線医学）及び放射線医学における主要な疾患、検査、治療について修得し、看護に繋げることができる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-1：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ODP2-11：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力				
到達目標	1) 内科学：代表的な急性・慢性疾患の病態生理、症状、身体所見、検査・画像所見、鑑別診断、内科的治療法について述べることができる。 2) 放射線医学：画像診断法の理論、検査方法、正常・代表的な疾患の画像所見、放射線治療法について述べるができる。				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学Ⅰ、Ⅱ、微生物学、薬理学、臨床薬理学、病理学、臨床検査学、臨床医学Ⅱ、フィジカルアセスメント、成人看護方法論、リハビリテーション看護、高齢者看護方法論、感染看護、救急看護、エンド・オブ・ライフケア論、看護管理学、順天堂の先端医療と看護				
学修上の注意	授業前には「予習・復習キーワード」に記載されたキーワードに関して、テキストで予習すること。授業後は配布されたプリントの内容に沿ってテキストで復習し、代表的な疾患の病態、症状・身体所見、検査法・検査所見、治療法について理解し、自分の言葉で説明できるようになること。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100%）で評価するが、日々の学習状況も考慮する。				
評価基準	内科学、放射線医学における、代表的な疾患の病態生理、症状、身体所見、検査・画像所見、鑑別診断、治療法について説明することができるか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックは希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座 成人看護学 [2] 呼吸器		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器		医学書院		
	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学		医学書院		
	がん放射線治療パーフェクトブック		学研メディカル秀潤社		
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・症状から見た病態生理学、照林社 ・看護のための臨床病態学、南山堂 ・神経内科ハンドブック第3版、水野美邦編 医学書院 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問などは植木純メールアドレス（junueki@）で受け付けます。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	植木	内科総論、救急医学 [キーワード] 症候論、診断、治療、予防、患者教育、救急医学	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）	

2	植木	内科学・循環器疾患I [キーワード] 症候論（動悸、胸痛など）病態生理、画像診断、心電図、心不全（右心不全、左心不全）、強心薬、不整脈（心房細動、心室性期外収縮、心室細動など）、房室ブロック	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
3	植木	内科学・循環器疾患II [キーワード] 虚血性疾患（狭心症、急性冠症候群、心筋梗塞など）、PCI、心筋疾患、弁膜疾患、先天性心疾患、動脈疾患、高血圧症、降圧薬	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
4	京極	放射線医学I （総論・X線診断・CT） X線の発見から始まる画像診断の歴史を知り、そこから派生した単純X線診断や造影診断やCTについて、そのおおよその原理や画像として侵襲度を理解し説明できるようにする。 [キーワード] 放射線医学総論、放射線被曝、X線診断、CT、造影剤の種類と副作用	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
5	京極	放射線医学II （血管造影・IVR・MRI） 血管造影の方法と侵襲度を理解し、インターベンショナルラジオロジー（IVR）の手法や適応を理解し説明できるようにする。 MRIについても、その適応や侵襲度などを理解し説明できるようにする。 各種検査における前処置の内容と目的を理解し説明できるようにする。 [キーワード] MRI（T1強調像、T2強調像）、MRA、血管造影、前処置	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
6	京極	放射線医学III （US・核医学） 超音波の開発の歴史や原理を理解し、その長所と短所を理解し説明できるようにする。 核医学の原理や適応を理解し説明できるようにする。 [キーワード] 超音波医学、核医学検査	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
7	齋藤	放射線医学IV [キーワード] 放射線治療学	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
8	植木	内科学・呼吸器疾患I [キーワード] 症候論（呼吸困難、咳・痰など）、病態生理、呼吸機能、呼吸不全、CO2ナルコース、在宅酸素療法	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
9	植木	内科学・呼吸器疾患II [キーワード] 呼吸器感染症、COPD、気管支拡張薬、間質性肺炎、肺水腫、肺循環疾患、原発性肺癌、縦隔腫瘍、胸膜疾患	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
10	植木	内科学・消化管疾患I [キーワード] 症候論（腹痛、吐血・下血、下痢など）、食道疾患（逆流性食道炎、食道静脈瘤など）	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
11	植木	内科学・消化管疾患II [キーワード] 胃・十二指腸疾患（胃十二指腸潰瘍、胃がんなど）、ヘリコバクターピロリ、大腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸がんなど）、イレウス	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
12	植木	内科学・肝胆膵疾患I [キーワード] 症候論（黄疸、腹水など）、肝疾患（急性肝炎、劇症肝炎、ウイルス性肝炎など）、抗ウイルス療法	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
13	植木	内科学・肝胆膵疾患II [キーワード] 肝疾患（慢性肝炎、肝硬変、肝性脳症など）、胆道疾患（急性胆嚢炎・胆管炎、胆石症など）、膵疾患（急性膵炎、慢性膵炎、膵がんなど）	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）
14	植木	内科学・免疫・アレルギー・膠原病 [キーワード] 症候論（関節痛、レイノー現象、光線過敏など）、気管支喘息、食物アレルギー、関節リウマチ、SLE、PSS、PM/DM、シェグレン症候群	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	臨床医学IB (内科)	必修・選択	必修
英語科目名	Clinical Medicine IA: Medicine	対象学年	2年
開講学期	後期前半	単位数	2単位
代表教員	植木 純	ナンバリング	CNL22B2
担当教員	植木純※、野口雅章※、須賀康※、卜部貴夫※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	内科学（腎疾患、膠原病、代謝疾患、内分泌疾患、血液・造血器疾患、感染症、脳神経疾患）、皮膚科学について看護実践に必要な知識を修得する。				
授業の位置づけ	臨床医学の基本となる内科学（腎疾患、膠原病、代謝疾患、内分泌疾患、血液・造血器疾患、感染症、脳神経疾患）及び皮膚科学における主要な疾患、検査、治療について修得し、看護に繋げることができる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ○DP2-II：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力				
到達目標	1) 内科学：代表的な急性・慢性疾患の病態生理、症状、身体所見、検査・画像所見、鑑別診断、内科的治療法について述べることができる。 2) 皮膚科学：皮膚の構造と機能、代表的な疾患の病態、症状・所見、検査所見、治療法について述べるができる。				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学Ⅰ、Ⅱ、微生物学、薬理学、臨床薬理学、病理学、臨床検査学、臨床医学Ⅱ、フィジカルアセスメント、成人看護方法論、リハビリテーション看護、高齢者看護方法論、感染看護、救急看護、エンド・オブ・ライフケア論、看護管理学、順天堂の先端医療と看護				
学修上の注意	授業前には「予習・復習キーワード」に記載されたキーワードに関して、テキストで予習すること。授業後は配布されたプリントの内容に沿ってテキストで復習し、代表的な疾患の病態、症状・身体所見、検査法・検査所見、治療法について理解し、自分の言葉で説明できるようになること。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100%）で評価するが、日々の学習状況も考慮する。				
評価基準	内科学、皮膚科学における、代表的な疾患の病態生理、症状、身体所見、検査・画像所見、鑑別診断、治療法について説明することができるか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックは希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [11] アレルギ― 膠原病 感染症		医学書院		
	系統看護学講座 成人看護学 [12] 皮膚		医学書院		
参考文献					
・症状から見た病態生理学、照林社 ・看護のための臨床病態学、南山堂 ・神経内科ハンドブック第3版、水野美邦編医学書院					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問などは植木純メールアドレス（junueki@）で受け付けます。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	植木	内科学・腎臓疾患Ⅰ [キーワード] 症候論（浮腫、尿量・排尿回数・排泄の異常等）、電解質、糸球体腎炎（IgA腎症など）、ネフローゼ症候群	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。（学習時間100分） [復習] 講義資料のレジュメに沿って復習すること。（学習時間100分）	

2	植木	内科学・腎臓疾患II [キーワード] 慢性腎不全、利尿薬、動静脈シャント、血液透析、腹膜透析	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
3	卜部	内科学・脳神経疾患I [キーワード] 解剖・生理、検査、症候論(頭痛、意識障害、癲癇、しびれなど)	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
4	卜部	内科学・脳神経疾患II [キーワード] 脳血管障害、感染症、運動神経疾患	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
5	卜部	内科学・脳神経疾患III [キーワード] 脱髄性疾患、変性疾患(パーキンソン病、アルツハイマー病など)	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
6	野口	内科学・血液・造血器疾患I [キーワード] 症候論(貧血、リンパ節腫脹、出血傾向など)、多血症、再生不良性貧血、骨髄異形成症候群、造血幹細胞移植	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
7	野口	内科学・血液・造血器疾患II [キーワード] 白血病、悪性リンパ腫、血小板の機能、血液凝固因子、血友病	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
8	須賀	皮膚科学I [キーワード] 皮膚の構造と機能、皮膚の生理学、発疹学、検査、治療法	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
9	須賀	皮膚科学II [キーワード] 検査(パッチテスト、スクラッチテスト、理学的検査など)、治療(内服・外用療法、手術療法、光線療法、レーザー療法、放射線療法、凍結療法)	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
10	須賀	皮膚科学III [キーワード] 角化症、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、薬疹・中毒疹、紅斑症、水疱症、膿疱症	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
11	須賀	皮膚科学IV [キーワード] 脈管系の皮膚疾患、物理・化学的皮膚障害、腫瘍、色素異常症	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
12	植木	内科学・代謝疾患 [キーワード] 症候論(口渇・多飲多尿、意識障害等)、糖尿病、高脂異常症、痛風、高尿酸血症	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
13	植木	内科学・内分泌疾患 [キーワード] 症候論(肥満・やせ、女性化乳房等)、下垂体腫瘍、甲状腺疾患(バセドウ病など)、副腎疾患(クッシング症候群、アジソン病など)	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)
14	植木	内科学・感染症 [キーワード] 症候論(発熱など)、結核、ニューモシスティス肺炎、後天性免疫不全症候群	講義	[予習] キーワードを中心にテキストを見て学習すること。(学習時間100分) [復習] 講義資料のレジメに沿って復習すること。(学習時間100分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	臨床医学IIA (外科)	必修・選択	必修
英語科目名	Clinical Medicine IIA: Surgery	対象学年	2年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	平井 周	ナンバリング	CNL22B3
担当教員	平井周※ <浦安病院>石崎陽一※、稲葉博隆※、永坂邦彦※、岡伸一※、大和田哲郎※、王志明※ <練馬病院>須郷広之※、渡野邊郁雄※、中井克也※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	外科的治療の対象となる疾患の解剖、病態生理を理解し、外科的治療後の問題も理解する。				
授業の位置づけ	外科的治療に必要な関連知識（無菌法、麻酔、輸血・輸液など）を学ぶとともに、外科的侵襲による生体反応、臓器別（呼吸器、心・血管、内分泌・乳腺、消化器）の病態生理、術式、検査所見、予後、術後の治療などについての学修を通して、外科的療法を受ける患者の看護を考える。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ○DP2-II：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力				
到達目標	外科的治療の対象疾患に行われる手術が理解でき、その後の医学的問題も理解できる。 教室における講義形式に一部演習を加える。				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学Ⅰ、病理学、臨床検査学、臨床医学Ⅰ、順天堂の先端医療と看護				
学修上の注意	<p>総論として外科的侵襲と生体の反応、全身管理の知識と方法を学ぶ。麻酔学、蘇生学を含む内容とする。</p> <p>外科的治療の対象となる疾患の病理と病態をよく理解でき、検査による診断と治療による効果と問題についても理解できるようになることを目標とする。</p> <p>(1) 外科系の臨床医学の各領域で、解剖・生理と正常の機能を学ぶ。 (2) 疾病における病理と診断・治療・リハビリテーション・社会福祉資源の活用・看護のポイントを含めて学ぶ。 (3) 専門領域の進歩については、適宜ゲストによる講義を受ける。</p> <p>領域が広いために、各講義とも重複して話されることのない内容なので欠席することのないようにつとめること。</p> <p>(1) 質問・疑問・意見はその場で解決するよう積極的な授業参加が求められる。 (2) 興味を惹き出来るよう授業形態を工夫しているため、他者の邪魔になるものは退室させる。 (3) 単なる知識の詰め込みではなく、幅広く活用できるエッセンスを社会人の教養として教授する。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100％）で評価するが、日々の学習状況も考慮する。				
評価基準	(1) 外科的な治療が可能な疾患の解剖、病態生理および、外科的治療後の問題について説明できる。 (2) 外科的治療の対象疾患に行われる手術および、その後の医学的問題について説明できる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックは希望に応じて個別に行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座別巻1 臨床外科看護総論		医学書院		
	系統看護学講座別巻2 臨床外科看護各論		医学書院		
	系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学 [2][3][5][6][9]		医学書院		
参考文献					
『標準外科学』第15版医学書院2019年 『ゾリンジャー外科手術アトラス第2版』医学書院2018年					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問などは平井周メールアドレス（shuh@）で随時受け付ける。				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	須郷	外科総論 外科の歴史と基本的手技 [キーワード] 外科解剖、無菌法、麻酔、創傷の治療	講義	[予習] 外科の始まりについて調べておく。（学習時間100分） [復習] 基本的手術手技について現在の手技に至る歴史を理解する。（学習時間100分）	

2	渡野邊	外科と全身管理（ショックを含む） [キーワード] ショック、救急医学、呼吸と循環、意識障害、輸血、輸液	講義	[予習] 術前後の全身管理について予習する。（学習時間100分） [復習] 術前後の全身管理について理解する。（学習時間100分）
3	大和田	麻酔学総論 麻酔学各論局所麻酔 [キーワード] 周術期管理・局所麻酔法	講義	[予習] 麻酔とは？について考え、調べておく。（学習時間100分） [復習] 麻酔後の病態を復習する。（学習時間100分）
4	大和田	麻酔学各論 全身麻酔 [キーワード] 呼吸と循環・吸入麻酔薬	講義	[予習] 全身麻酔について調べる。（学習時間100分） [復習] 安全な麻酔について理解する。（学習時間100分）
5	中井	乳房の外科と内分泌外科 内分泌器官と疾患に対する外科手術の適応 [キーワード] 乳腺疾患、乳癌、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患	講義	[予習] 内分泌器官の仕組みと器官について予習しておく。（学習時間100分） [復習] 内分泌外科の適応と後療法について理解する。（学習時間100分）
6	岡	消化器疾患の外科的治療-1- [キーワード] 胃がん、早期胃がん、消化性潰瘍、ダンピング症候群、癌の転移	講義	[予習] 胃、十二指腸の解剖学と生理学を理解する。（学習時間100分） [復習] 手術の適応と術後の問題を理解する。（学習時間100分）
7	永俣	消化器疾患の外科的治療-2- [キーワード] イレウス、消化管出血、内視鏡手術、人工肛門	講義	[予習] 空腸、回腸、結腸、直腸の解剖学と生理学を予習する。（学習時間100分） [復習] 消化管の再建手術の方法とその後の問題を理解する。（学習時間100分）
8	石崎	肝胆膵疾患の外科的治療-1- [キーワード] 肝硬変、肝がん、門脈圧亢進症、すい臓がん、胆のう炎、胆石症、閉塞性黄疸、肝移植	講義	[予習] 肝、胆、膵と門脈系の解剖学と生理学を理解しておく。（学習時間100分） [復習] この領域の病態生理と手術による変化を理解する。（学習時間100分）
9	石崎	肝胆膵疾患の外科的治療-2- [キーワード] 肝硬変、肝がん、門脈圧亢進症、すい臓がん、胆のう炎、胆石症、閉塞性黄疸、肝移植	講義	[予習] 肝、胆、膵と門脈系の解剖学と生理学を理解しておく。（学習時間100分） [復習] この領域の病態生理と手術による変化を理解する。（学習時間100分）
10	王	呼吸器疾患の外科的治療-1- [キーワード] 胸部外傷、気胸、血胸、膿胸、乳び胸	講義	[予習] 胸郭、縦隔、胸腔、食道の解剖学と生理学を予習する。（学習時間100分） [復習] 胸部手術後の問題について理解する。（学習時間100分）
11	王	呼吸器疾患の外科的治療-2- [キーワード] 肺癌、病期分類、TNM分類と外科治療、縦隔腫瘍	講義	[予習] 肺の構造と機能、呼吸について予習しておく。（学習時間100分） [復習] 手術適応とされる肺の良性疾患と肺がんの手術後の問題を理解する。（学習時間100分）
12	稲葉	心・血管疾患の外科的治療-1- [キーワード] チアノーゼ性心疾患、非チアノーゼ性心疾患、呼吸不全、心不全、根治手術、姑息手術	講義	[予習] 心臓の発生と胎児の循環を予習する。（学習時間100分） [復習] 先天性心疾患の病態とその治療による変化を理解する。（学習時間100分）
13	稲葉	心・血管疾患の外科的治療-2- [キーワード] 弁置換、人工弁、弁形成術、冠状動脈バイパス手術、PTCA、抗凝固療法	講義	[予習] 正常な心拍動に伴う心室、弁膜の変化を血圧の変化を含めて予習する。冠状動脈の解剖と循環生理を予習する。（学習時間100分） [復習] 心臓弁膜症と虚血性心疾患に対する手術法と術直後と長期の問題を理解する。（学習時間100分）
14	稲葉	心・血管疾患の外科的治療-3- [キーワード] 大動脈瘤、大動脈解離、動脈硬化、急性動脈閉塞、静脈瘤、塞栓症、人工血管、心臓移植、ペースメーカー	講義	[予習] 大血管の解剖学と組織学を予習しておく。末梢の脈管構造を予習しておく。（学習時間100分） [復習] 大血管外科の歴史的変遷を理解する。末梢脈管疾患の治療の多様性を理解する。（学習時間100分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	臨床医学IIB (外科)	必修・選択	必修
英語科目名	Clinical Medicine IIB: Surgery	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	2単位
代表教員	平井 周	ナンバリング	CNL22B4
担当教員	平井周※ <浦安病院>牧野真太郎※、肥後隆三郎※、前澤克彦※、石井尚登※、佐久間俊郎※、白井雅人※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	外科的治療の対象となる疾患の解剖、病態生理を理解し、外科的治療後の問題も理解する。			
授業の位置づけ	外科的治療に必要な関連知識（無菌法、麻酔、輸血・輸液など）を学ぶとともに、外科的侵襲による生体反応、臓器別（腎臓・泌尿器、女性生殖器、脳神経、整形外科、感覚器、頭頸部）の病態生理、術式、検査所見、予後、術後の治療などについての学修を通して、外科的療法を受ける患者の看護を考える。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力 ODP2-II：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力			
到達目標	外科的治療の対象疾患に行われる手術が理解でき、その後の医学的問題も理解できる。 教室における講義形式に一部演習を加える。			
先修要件	なし			
関連科目	形態機能学Ⅰ、病理学、臨床検査学、臨床医学Ⅰ、順天堂の先端医療と看護			
学修上の注意	<p>総論として外科的侵襲と生体の反応、全身管理の知識と方法を学ぶ。麻酔学、蘇生学を含む内容とする。 外科的治療の対象となる疾患の病理と病態をよく理解でき、検査による診断と治療による効果と問題についても理解できるようになることを目標とする。</p> <p>(1) 外科系の臨床医学の各領域で、解剖・生理と正常の機能を学ぶ。 (2) 疾病における病理と診断・治療・リハビリテーション・社会福祉資源の活用・看護のポイントを含めて学ぶ。 (3) 専門領域の進歩については、適宜ゲストによる講義を受ける。</p> <p>領域が広いために、各講義とも重複して話されることのない内容なので欠席することのないようにつとめること。 (1) 質問・疑問・意見はその場で解決するよう積極的な授業参加が求められる。 (2) 興味を惹き出せるよう授業形態を工夫しているため、他者の邪魔になるものは退室させる。 (3) 単なる知識の詰め込みではなく、幅広く活用できるエッセンスを社会人の教養として教授する。</p>			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100%）で評価するが、日々の学習状況も考慮する。			
評価基準	(1) 外科的な治療が可能な疾患の解剖、病態生理および、外科的治療後の問題について説明できる。 (2) 外科的治療の対象疾患に行われる手術および、その後の医学的問題について説明できる。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
フィードバックは希望に応じて個別に行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座別巻Ⅰ 臨床外科看護総論』		医学書院		
系統看護学講座別巻Ⅱ 臨床外科看護各論		医学書院		
系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学 [7] [8] [9] [10] [13] [14]		医学書院		
参考文献				
『標準外科学』第15版 医学書院2019年 『ゾリンジャー外科手術アトラス第2版』医学書院2018年				
その他				
連絡先・オフィスアワー	質問などは平井周メールアドレス（shuh@）で随時受け付ける。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	白井	腎臓泌尿器疾患の病態生理と外科的治療 [キーワード] 腎臓泌尿器非腫瘍性疾患	講義	[予習] 泌尿生殖器の解剖を理解しておく。（学習時間100分） [復習] 泌尿生殖器疾患の病態生理を理解する。（学習時間100分）

2	白井	腎臓泌尿器疾患の外科的治療 [キーワード] 腎臓泌尿器腫瘍性疾患	講義	[予習] 泌尿生殖器の悪性腫瘍を予習する。(学習時間100分) [復習] 泌尿生殖器の外科治療に伴う障害を理解する。(学習時間100分)
3	牧野	女性生殖器の疾患(子宮の良性腫瘍と悪性腫瘍) [キーワード] 筋腫、子宮頸癌、子宮体癌	講義	[予習] 子宮の解剖と生理を理解しておく。(学習時間100分) [復習] 子宮の手術の適応を理解する。(学習時間100分)
4	牧野	女性生殖器の疾患(卵巣の良性腫瘍と悪性腫瘍) [キーワード] ショック、救急医学、呼吸と循環、意識障害、卵巣の良性腫瘍、卵巣癌	講義	[予習] ショックの病態生理を予習する。(学習時間100分) [復習] ショックの治療について理解する。(学習時間100分)
5	石井	脳血管障害 [キーワード] 脳血管障害・脳局所解剖	講義	[予習] 脳血管の解剖を予習する。(学習時間100分) [復習] 脳の血行障害に伴う症状を理解する。(学習時間100分)
6	石井	脳腫瘍 [キーワード] 意識障害・頭蓋内圧亢進	講義	[予習] 脳の解剖と生理を予習する。(学習時間100分) [復習] 脳外科の発展過程を復習する。(学習時間100分)
7	石井	頭部外傷と水頭症 [キーワード] 脳神経障害・髄液循環	講義	[予習] 頭部外傷について予習する。(学習時間100分) [復習] 治療について理解する。(学習時間100分)
8	前澤	1. 整形外科総論：整形外科とは？ 2. 整形外科各論：外傷①(骨折の症状・診断・検査・治療) [キーワード] 外傷(骨折)の症状・診断・検査・治療学	講義	[予習] 骨格と筋肉の解剖を予習する。(学習時間100分) [復習] 骨折について理解する。(学習時間100分)
9	前澤	1. 整形外科各論：外傷②(脱臼、捻挫、靭帯損傷の症状・診断・検査・治療) 2. 整形外科各論：先天性疾患、脊椎疾患、骨系統疾患、骨端症、神経損傷、骨軟部腫瘍など [キーワード] 脱臼、捻挫、靭帯損傷の症状・診断・検査・治療学、先天性疾患、脊椎疾患、骨系統疾患、骨端症、神経損傷、骨軟部腫瘍	講義	[予習] 身体各関節の解剖を予習する。(学習時間100分) [復習] 脱臼、捻挫、靭帯損傷について理解する。先天性疾患、脊椎疾患、骨系統疾患、骨端症、神経損傷、骨軟部腫瘍について理解する。(学習時間100分)
10	前澤	整形外科の炎症性疾患 骨髄炎・化膿性関節炎・結核性骨関節炎・変形性関節症・関節リウマチ・痛風・偽痛風・強直性脊椎炎・SAPHO症候群 [キーワード] 骨髄炎・化膿性関節炎・結核性骨関節炎・変形性関節症・関節リウマチ・痛風・偽痛風・強直性脊椎炎・SAPHO症候群	講義	[予習] 骨関節の炎症性疾患を予習する。(学習時間100分) [復習] それぞれの炎症性疾患の特徴を理解する。(学習時間100分)
11	佐久間	眼の解剖、生理と前眼部疾患、屈折異常、斜視 [キーワード] 前眼部疾患・屈折異常・斜視	講義	[予習] 眼球の解剖と生理を予習する。(学習時間100分) [復習] 眼科治療の仕組みを復習する。(学習時間100分)
12	佐久間	白内障、緑内障、視神経、網膜はく離、全身疾患と眼 [キーワード] 網膜の疾患・白内障・緑内障	講義	[予習] 白内障と緑内障について予習する。(学習時間60分) [復習] 眼科手術を理解する。(学習時間70分)
13	肥後	耳鼻咽喉科感覚器と疾患：耳科学および鼻科学 [キーワード] 耳疾患・鼻咽喉疾患	講義	[予習] 耳と鼻の解剖と生理を理解する。(学習時間100分) [復習] 感覚器の外科を理解する。(学習時間100分)
14	肥後	口腔・咽頭・喉頭疾患と頭頸部外科学 [キーワード] 頭頸部疾患	講義	[予習] 頭頸部の解剖を理解する。(学習時間100分) [復習] 消化器、呼吸器との関係を理解する。(学習時間100分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	リハビリテーションと看護	必修・選択	必修
英語科目名	Nursing practice in multidisciplinary rehabilitation	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	佐野 裕子	ナンバリング	CNL22A2
担当教員	佐野裕子※、若林律子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	リハビリテーションの概念、障がいの捉え方、チームアプローチにおける多職種専門性を理解し、看護の実践を学ぶ。急性期、急性期からの回復期、生活期から終末期まで、さらに周術期や術後回復期も含み、シームレスにチーム医療で実施されるリハビリテーションの実践、および対象者の身体機能やQOLの回復・維持、疾患進行の予防に取り組む介入手法、看護の役割について学ぶ。			
授業の位置づけ	人体の解剖・生理・機能・病態に関する知識を基に、既習の看護の知識・技術を活かして、対象者に対するリハビリテーションについて学習する科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II、○DP2-I、○DP2-III、○DP3-I			
到達目標	1) リハビリテーションの理念、主要な概念を理解する。 2) 障がいの捉え方（ノーマライゼーション・受容・スティグマ）について考えることができる。 3) 急性期、回復期、生活期、終末期、それぞれの病態を理解し、リハビリテーションについて説明できる。 4) 予防的なリハビリテーションについて理解する。 5) 対象者のセルフマネジメント教育について説明できる。 6) 多職種の専門性を理解し、チームアプローチの重要性について理解する。			
先修要件	なし			
関連科目	形態機能学Ⅰ、臨床医学ⅠA・ⅠA・ⅠB・ⅠB、症状別臨床病態学、家族関係論、保健学概論、地域生涯保健活動論、基礎看護方法論Ⅰ～Ⅲ、生涯発達論、成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ～Ⅳ、高齢者看護学概論、高齢者看護方法論Ⅰ～Ⅱ、在宅看護学概論、在宅看護方法論Ⅰ～Ⅱ *地域におけるリハビリテーションについては「地域生涯保健活動論」で講義する。			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は主体的に臨むこと。 ・授業内容を理解し、自分の言葉で説明できるようになること。 ・小テストを行い、授業内容の理解度を確認する。詳細は担当教員からの説明を確認すること。 ・課題レポートを実施し、知識の整理、および学習内容を深める。提出期限を守る。詳細は担当教員からの説明を確認すること。 ・本科目のテキストや授業資料のほか、形態機能学、臨床医学、看護方法論などの授業資料も活用する。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（70%）、小テスト（20%）、授業参画度（課題提出）（10%）を統合して評価する。			
評価基準	1) リハビリテーションの理念、主要な概念を理解することができるか。 2) 障がいの捉え方（ノーマライゼーション・受容・スティグマ）について考えることができるか。 3) 急性期、回復期、生活期、終末期、それぞれの病態を理解し、リハビリテーションについて説明することができるか。 4) 予防的なリハビリテーションについて理解することができるか。 5) 対象者のセルフマネジメント教育について説明できるか。 6) 多職種の専門性を理解し、チームアプローチの重要性について理解することができるか。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・課題は最終回の講義時にコメントと共に返却する。 ・小テストの結果は次の講義時に返却し解説する。 				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
<p>プリントを配布する。 随時指示する。 看護学テキストNICE「リハビリテーション看護 障害のある人の可能性とともに歩む」改訂第3版 酒井郁子（編集） 南江堂 現代リハビリテーション医学 改訂第4版 千野直一（監修） 金原出版 呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援マニュアル（呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 第32巻 特別増刊号 2022年）日本呼吸ケア・リハビリテーション学会/日本呼吸理学療法学会/日本呼吸器学会</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	佐野裕子：yu-sano@juntendo.ac.jp 随時メールにて連絡して下さい。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法*	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	佐野裕子	<p>授業ガイダンス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの基本的考え方 2) リハビリテーションとは 3) 歴史の変遷 4) 障がいの捉え方（ノーマライゼーション・受容・スティグマ） 5) リハビリテーションチームとは <p>[キーワード] リハビリテーション、ノーマライゼーション、受容、スティグマ、チームアプローチ</p>	講義	<p>[予習] 配布資料を読む。 (学習時間30分) [復習] 講義内容をふまえ、リハビリテーションの意義、障がいの受容、チームアプローチについて、説明することができる。 配布資料を読んで考えを再整理する。 (学習時間60分)</p>

2	佐野裕子	<p>2. 急性期のリハビリテーション</p> <p>1) ICUにおける早期リハビリテーション</p> <p>2) ICU-AW、PICSについて</p> <p>[キーワード]</p> <p>早期リハビリテーション、ICU-AW、PICS、早期離床、下側肺障害、腹臥位療法</p>	講義	<p>[予習]</p> <p>配布資料を読む。</p> <p>成人看護学概論、臨床医学等の関連科目の知識を確認し、疾患や機能低下について復習しておくこと。</p> <p>(学習時間30分)</p> <p>[復習]</p> <p>講義内容をふまえ、早期リハビリテーションの評価・アプローチについて、説明することができる。</p> <p>配布資料を読んで考えを再整理する。</p> <p>(学習時間60分)</p>
3	佐野裕子	<p>3. 回復期から生活期のリハビリテーション</p> <p>1) 回復期リハビリテーション</p> <p>回復過程と包括的ケア</p> <p>2) 生活期リハビリテーション</p> <p>日常生活活動の障害</p> <p>ADL評価</p> <p>[キーワード]</p> <p>回復期リハビリテーション、ADL、生活期リハビリテーション、連携</p>	講義	<p>[予習]</p> <p>配布資料を読む。</p> <p>成人看護学概論、高齢者看護学概論、在宅看護学概論等の関連科目の知識を確認し、疾患や機能低下について復習しておくこと。</p> <p>(学習時間30分)</p> <p>[復習]</p> <p>講義内容をふまえ、回復期および生活期のリハビリテーションの評価・アプローチについて、説明することができる。</p> <p>配布資料を読んで考えを再整理する。</p> <p>(学習時間60分)</p>
4	佐野裕子	<p>4. がん・終末期のリハビリテーション</p> <p>1) がんのリハビリテーション</p> <p>2) 終末期リハビリテーション</p> <p>[キーワード]</p> <p>がん、骨転移、がんリハビリテーション、終末期リハビリテーション、緩和</p>	講義	<p>[予習]</p> <p>配布資料を読む。</p> <p>成人看護学概論、高齢者看護学概論等の関連科目の知識を確認し、形態機能学、臨床医学等の関連科目よりがんの病態について復習しておくこと。</p> <p>(学習時間30分)</p> <p>[復習]</p> <p>講義内容をふまえ、がんのリハビリテーションおよび終末期リハビリテーションの評価・アプローチについて、説明することができる。</p> <p>配布資料を読んで考えを再整理する。</p> <p>(学習時間60分)</p>
5	佐野裕子	<p>5. 予防的リハビリテーション</p> <p>1) フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて</p> <p>2) 身体活動性について</p> <p>3) リハビリテーションにおける予防的な介入とは</p> <p>小テスト(1～5回の講義内容)</p> <p>[キーワード]</p> <p>予防、身体活動性、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム</p>	講義	<p>[予習]</p> <p>配布資料を読む。</p> <p>高齢者看護学概論や保健学概論等の関連科目の知識を確認し、高齢者の機能低下の予防について復習しておくこと。</p> <p>1～4回の講義内容を復習しておくこと。</p> <p>(学習時間60分)</p> <p>[復習]</p> <p>講義内容をふまえ、予防的リハビリテーションの評価・アプローチについて、説明することができる。</p> <p>配布資料を読んで考えを再整理する。</p> <p>(学習時間60分)</p>
6	若林律子	<p>6. リハビリテーションにおけるセルフマネジメント教育と看護</p> <p>1) セルフマネジメント教育</p> <p>2) 呼吸リハビリテーション看護の実際</p> <p>[キーワード]</p> <p>セルフマネジメント教育、リハビリテーション継続、リハビリテーション看護</p>	講義	<p>[予習]</p> <p>1、3～5回の講義をふまえ、リハビリテーションを開始する、または継続する対象者に必要となる看護の技術や知識をまとめる。</p> <p>(学習時間60分)</p> <p>[復習]</p> <p>リハビリテーションにおけるセルフマネジメント教育と看護の実際について、説明することができる。</p> <p>(学習時間60分)</p>
7	佐野裕子	<p>7. チームで行うリハビリテーション</p> <p>1) チームで行う退院時支援</p> <p>2) 退院後のリハビリテーション継続について</p> <p>課題返却、講評</p> <p>[キーワード]</p> <p>多職種連携、継続、退院時支援、リハビリテーションカンファレンス</p>	講義	<p>[予習]</p> <p>配布資料を読む。</p> <p>成人看護学概論、高齢者看護学概論、家族関係論、保健学概論、形態機能学、臨床医学等の関連科目の知識を確認しておくこと。</p> <p>1～6回の講義内容を復習しておくこと。</p> <p>(学習時間60分)</p> <p>[復習]</p> <p>講義内容をふまえ、退院時支援および退院後の継続について、説明することができる。</p> <p>配布資料を読んで考えを再整理する。</p> <p>(学習時間60分)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	性と生殖	必修・選択	選択
英語科目名	Biological Basis for Reproductive Health	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	森田 亜希子	ナンバリング	CNL22A1
担当教員	増田美恵子※、牧野 真太郎※、大槻 優子※、森田亜希子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	人間の性と生殖について多角的に理解し、ライフサイクル各期における性と生殖に関わる健康の増進と健康問題について理解する。人間の性の成り立ち、生殖の形態・機能、リプロダクティブヘルス（性と生殖に関する健康）、ライフサイクルにおける性の発達と疾患、性感感染症、遺伝、生殖補助医療、出生前診断について学習し、性と生殖に関わる意思決定や倫理的な問題に関して理解を深める。				
授業の位置づけ	「母性看護学概論」で学修した内容を基盤として、性と生殖に関わる健康の増進と健康問題について学修し、「ウイメンズヘルスナーシング」や他の助産学の科目の基礎と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-III、◎DP2-1				
到達目標	1. 人間の性と生殖機能を説明することができる。 2. ライフサイクルにおける性の発達と健康問題を説明することができる。 3. 性と生殖に関わる意思決定と倫理的な問題を考察することができる。				
先修要件	なし				
関連科目	母性看護学概論、周産期の看護、助産学概論、ウイメンズヘルスナーシング、母性の心理・社会学				
学修上の注意	助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 使用テキストを予め読んでおくこと。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（70％）、課題レポート（30％）				
評価基準	1. 人間の性と生殖機能を説明することができる。 2. ライフサイクルにおける性の発達と健康問題を説明することができる。 3. 性と生殖に関わる意思決定と倫理的な問題を考察することができる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは、第7回「10. 性と生殖に関わる意思決定と倫理」の授業内でフィードバックを行う。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	助産学講座 2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 第6版	我部山 キヨ子、武谷 雄二、藤井 知行編	医学書院	978-4-260-04204-8	
参考文献					
授業中に適宜紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと a.morita.zj@）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	森田 亜希子	1. 人間の性と生殖の概念 2. 人間の性行動 [キーワード] セクシュアリティ、ジェンダー、性反応	講義	予習：使用テキストの第2章AおよびBを予め読んでおくこと。性についての自分の考えをまとめておくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
2	牧野 真太郎	3. 生殖の形態・機能 4. 人体の発生 [キーワード] 性周期、視床下部 - 下垂体系機能、卵巣機能、精子形成、卵子形成、初期胚の発生分化、器官発生、胎盤の発生	講義	予習：使用テキストの第1章Bを予め読んでおくこと。「母性看護学概論」の授業内容を復習しておくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
3	牧野 真太郎	5. 女性のライフサイクル各期に起こる主な疾患 [キーワード] 性分化異常、月経異常、性器奇形、子宮内膜症、更年期障害	講義	予習：使用テキストの第8章AおよびBを予め読んでおくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
4	大槻 優子	6. ライフサイクルにおける性の発達と性の健康問題 [キーワード] セクシュアリティの発達、性機能、多様な性	講義	予習：使用テキストの第2章Cを予め読んでおくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
5	牧野 真太郎	7. 遺伝 8. 性感染症 [キーワード] 染色体異常、遺伝性疾患、出生前診断、性感染症	講義	予習：使用テキストの第3章Eを予め読んでおくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
6	牧野 真太郎	9. 生殖補助医療 [キーワード] 不妊症、人工授精、体外受精	講義	予習：使用テキストの第4章を予め読んでおくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
7	増田 美恵子	10. 性と生殖に関わる意思決定と倫理 [キーワード] 生殖補助医療、出生前診断、生命倫理、意思決定	GW 討議	予習：「母性看護学概論」の授業内容を復習しておくこと。事前課題（課題レポート）を行い、討議に必要な資料を準備すること。(学習時間：2時間) 復習：授業の内容を整理しておくこと。使用テキストの第3章Fを読んで整理しておくこと。(学習時間：2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Fundamental Nursing	対象学年	1年
開講学期	前期前半	単位数	2単位
代表教員	野崎 真奈美	ナンバリング	FNL31A1
担当教員	野崎真奈美※、鈴木小百合※、仁藤紀子※、込山洋美※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要					
全体内容	看護に関する重要な概念を学問的にとらえ、看護の本質、看護の対象、看護の役割・機能およびエビデンスに基づく看護実践の展開方法に関する知識を修得する。また、看護の変遷をたどり、看護職の専門性の発展過程を理解するとともに、現在の保健医療福祉における課題を自覚し、今後の看護のあり方を展望する。今後の看護・看護学の学習への動機づけを高める。				
授業の位置づけ	基礎看護学および各看護学の学習を積み上げていくための基盤づくりに位置づけられる。各看護学に共通する考え方と、これから看護・看護学を主体的に学習していく習慣づけも期待されている。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I1 ○DP1-I1 ○DP3-I1 ○DP5-I1				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の主要概念について述べるができる 2. 看護の本質について述べるができる 3. 看護専門職とは何か述べるができる 4. エビデンスに基づく看護実践を展開するための方法について述べるができる 5. 保健医療福祉における看護職の今後のあり方を考えることができる 6. 看護・看護学を学ぶ者としての自覚が芽生える 				
先修要件	なし				
関連科目	本科目の履修内容は各看護学に発展していく際の基盤になるが、特に基礎看護方法論Ⅰと関連している。				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート（事前学習課題、授業内容、講義資料を掲載している）を活用すること ・提示した予習・復習課題は必ずやってくる ・問いに対して活発に意見交換すること ・授業内容には当事者意識を持って取り組み、あきらめずに考え抜くこと ・課題レポートは引用のルールに則って作成し、期限を守って提出すること <p>※適宜、授業ノートへの記載状況を確認し、自己学習の進捗を確認し、不足は次回の授業で補う ※毎回の授業評価、提出物によって寄せられた質問、意見についてはJuntendoPassportを通じて全員に向けて返答する</p>				
成績評価の方法					
評価方法	筆記試験（50%）、課題レポート（30%）、日々の自己学習状況（20%）を総合して評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の本質について主要概念を関連づけながら説明することができるか ・対象を思いやることをケアリングとして説明することができるか ・看護専門職の役割・機能と研鑽努力し続ける必要性について説明することができるか ・エビデンスに基づく看護を提供するための方法について説明することができるか ・保健医療福祉の現状をふまえて看護が抱える課題を述べ、今後のあり方を述べることができるか ・チームの一員として積極的にグループ活動に参画できるか ・看護・看護学を学ぶ者としての自己の課題を述べることができるか 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックシートで質問や意見を受け付け、次回授業で回答する。 ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学1 看護学概論	志々岐 康子他	メディカ出版	978-4-8404-5794-1	
	看護覚え書き-本当の看護とそうでない看護	フローレンス・ナイチンゲール	日本看護協会出版会	978-4-8180-2214-0	
	看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン	日本看護協会出版会	978-4-8180-1996-6	
参考文献					
随時紹介する					
その他					
連絡先・オフィスアワー	電子メールで受け付ける。（野崎：ma-nozaki@、鈴木：sayusuzu@）				
備考	『看護学概論 授業ノート』を使用する。また、必要に応じて授業の時に資料を配布する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	野崎真奈美	1. 看護とは 2. 看護職とは 3. 保健師助産師看護師法 4. 看護学を学ぶ [キーワード] 看護、看護職、看護教育制度、保健師助産師看護師法、専門職、ケア、ケアリング	講義	[予習] 教育要項の「看護学概論」を読んでくる (学習時間30分) [復習] 教科書p18-p28および授業資料、の該当箇所を読み直し理解を深める(学習時間60分)
2	野崎真奈美	1. 看護学とは 2. 看護の主要概念 3. 看護技術の構造 4. 看護の歴史の変遷 5. ナイチンゲール看護論の背景 6. ナイチンゲールの功績 [キーワード] 人間、健康、環境、看護、看護技術、ナイチンゲールの功績	講義	予習: 2時間 ・教科書の該当箇所を読み、疑問点を整理しておく読み、疑問点を整理しておく ・授業ノートの自己学習シートの課題に答える 復習: 60分 ・教科書および授業ノートの該当箇所を読み直し、主要概念を使って看護を説明してみる ・教科書および授業ノートの該当箇所を読み直し、ナイチンゲールの足跡を振り返っておく
3 4	鈴木小百合 野崎真奈美 非常勤	【協同学習】 1. 看護であるもの、看護でないもの 2. ナイチンゲール看護論における主要概念 [キーワード] 看護であるもの、看護でないもの	グループワーク	予習: 4時間 ・『看護覚え書き』の該当箇所を読み、疑問点を整理しておく ・授業ノートを読み、自己学習シートの課題に答える 復習: 60分 ・授業ノート、教科書p58-102を読み直し理解を深め、ディスカッションで自分の意見を踏まえて、看護とそうでないものを説明する
5	野崎真奈美	看護の主要概念 1. 人間と環境 2. 健康と環境 [キーワード] 人間、健康、環境、看護	講義	予習: 60分 ・授業ノートを読み、自己学習シートの課題に答える 復習: 60分 ・人間と環境の関係、健康と環境の関係を説明する
6 7	野崎真奈美 鈴木小百合 非常勤	【GW】看護(職)の現状と課題 [キーワード] 看護、看護職、保健医療福祉	グループワーク	予習: 60分 社会で報道されている看護に関する記事のコピーと関連情報をもってくる 復習: 60分 グループで共有し意見交換した結果、新たに出てきた課題について調べる
8 9	鈴木小百合 野崎真奈美 非常勤	【協同学習】 1. ヘンダーソンによる「基本的欲求」の充足 2. ヘンダーソンによる常在条件、病理的状态 3. ヘンダーソンによる基本的看護ケア、看護の独自性 4. ヘンダーソン看護論による主要概念 [キーワード] 看護の基本となるもの、基本的欲求、常在条件、病理的状态、看護の独自の機能	グループワーク	予習: 4時間 ・『看護の基本となるもの』を読み、疑問点を整理しておく ・授業ノートを読み、自己学習シートの課題に答える 復習: 60分 ・ディスカッションで自分の意見を振り返り、理解を深める ・ナイチンゲール看護論とヘンダーソン看護論の共通点と相違点について考察を深める
10 11	野崎真奈美、 鈴木小百合	【発表会】看護(職)が抱える課題と今後の展望 [キーワード] 看護、看護職、保健医療福祉	プレゼンテーション	予習: 4時間 グループ毎にプレゼンテーションの準備をする 復習: 5時間 全ての発表内容を振り返り、問題意識をもち、今後の看護のあり方について考えてレポートにまとめる
12	野崎真奈美	1. 保健医療福祉システム 2. チーム医療における看護の役割・機能 3. 看護の質の保証 4. エビデンスに基づいた看護の提供 [キーワード] 保健医療福祉システム、チーム医療、問題解決思考、エビデンス、看護サービスの評価、看護倫理	講義	予習: 60分 授業ノート、教科書の該当箇所を読み、自己学習シートの課題に答える 復習: 60分 ・教科書p196-p248、p125-144および授業ノートの該当箇所を読み直し、保健医療福祉チームにおける看護の役割を考える
13 14	野崎真奈美 鈴木小百合 仁藤紀子 込山洋美 ゲストスピーカー カー	1. 看護専門職 2. 多様な場での看護実践 3. 看護職のキャリアデザイン [キーワード] 在宅看護、CNS、認定看護師、国際保健	講義と質疑応答	予習: 60分 授業ノート、教科書p249-p269の該当箇所を読み、看護師、保健師、助産師をはじめ、訪問看護師、CNS、認定看護師など、看護職の多様な活動について疑問点を整理しておく 復習: 60分 ・ゲストスピーカーの講義およびディスカッションを振り返り、多様な場での看護活動の特徴を理解する ・現時点での自分のキャリアデザインを描いてみる

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	看護倫理	必修・選択	必修
英語科目名	Ethics in Nursing	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	永野 光子	ナンバリング	PNL31A1
担当教員	永野光子※ ※実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	看護専門職者に必要な看護倫理に関する基礎的知識や態度の理解を通し、看護職者として倫理的に行動するための基盤を形成する。			
授業の位置づけ	看護倫理は、看護専門職者として看護を必要とする人々に安全で良質な医療を提供するために必要不可欠な知識であり、看護の基本に位置づけられている。本科目は、看護職者として倫理的に行動し、倫理的ジレンマに適切に対応するための基盤となる知識・態度の修得をめざし授業を行う。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP1-Ⅲ、ODP4-I、△DP1-I、△DP5-I、			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護倫理の定義および意義、看護倫理に関係する概念を説明することができる。 2) 倫理原則、看護職の倫理綱領の内容を説明することができる。 3) 「看護師としての倫理的行動」を看護実践と関連づけながら説明することができる。 4) インフォームド・コンセントに必要な看護職者の役割を説明することができる。 5) 看護実践に生じやすい倫理的ジレンマと倫理的問題解決のための方法を説明することができる。 6) 看護研究における倫理的配慮について説明することができる。 7) 看護実践、教育、研究における看護倫理の重要性を説明することができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	「人間の生き方」「現代社会と倫理」「法と生活」「看護学概論」「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」「高齢者ケアシステム実習」「看護研究の原理と方法」			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2年次までに学習した内容や実習などの経験を想起し、授業と関連づけながら理解を深めてほしい。 2. 授業では、学習カードの内容を紹介しつつ解説を行う。授業内で行うディスカッションとともに他者の意見を聞き、自己の考えを深める機会としてほしい。 3. 倫理に関する質問や意見は人前では回答しづらい内容もあるため、Googleフォームや学習カードを活用し、それらを授業に反映する。 			
成績評価の方法				
評価方法	筆記試験(60%)、課題(20%)、学習の記録(20%)			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護専門職者として倫理的に行動するために必要な基礎的知識を理解し、獲得できているか、授業ごとに提出する学習カードの記述と提出する課題により確認する。 2. 倫理的な看護実践について自分の意見や考えを授業ごとに提出する学習カードに記述しているか確認する。 3. 看護倫理に必要な基礎的知識を理解しているか、筆記試験により確認する。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題は、該当する授業においてフィードバックする。 学習カードに記載された質問・疑問、意見は次回授業にてフィードバックする。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
『看護倫理 よい看護・よい看護実践への道しるべ 改訂第3版』南江堂 『ナーシング・グラフィカ16 看護学概論』メディカ出版 『看護実践の倫理 第3版 倫理的意思決定のためのガイド』日本看護協会出版会				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時(事前にメールにて連絡下さい。mnagano@)			
備考	授業開始時に適宜資料を配付する。			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	永野	1. 倫理とは 2. 看護倫理とは 3. 専門職と倫理 [キーワード] 倫理、道徳、看護倫理、専門職の条件	講義	[予習] 高校までに学んだ倫理や道徳の内容を思い出しておく(学習時間:1時間) [復習] 授業資料と参考書を見直し、看護倫理の定義について理解を深める(学習時間:1時間)
2	永野	1. 看護倫理に関わる歴史 2. 倫理原則 3. 倫理綱領 [キーワード] 看護倫理に関わる歴史、倫理原則、原則の倫理	講義	[予習] 参考書の該当する箇所を読み、看護倫理の歴史について概要を理解しておく(学習時間:1時間) [復習] 授業資料、参考書の該当する箇所を読み、倫理原則について理解を深める(学習時間:1時間)
3	永野	1. 看護職の倫理綱領 日本看護協会ホームページ「看護倫理」より < https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/rinri.html > 2. 看護倫理と法 [キーワード] 看護職の倫理綱領、日本国憲法、保健師助産師看護師法	講義	[予習] 日本看護協会のホームページを開き、「看護職の倫理綱領」のページを見ておく(学習時間:1時間) [復習] 授業資料、および参考書の該当箇所を読み、「看護職の倫理綱領」と看護倫理に関係する法律について理解を深める(学習時間:1時間) [課題①] インフォームド・コンセントの定義を3種類の参考書を用いて調べる。(30分)
4	永野	1. 看護実践に関連する倫理的概念-ケアリング 2. インフォームド・コンセントと看護 3. インフォームド・コンセントにおける看護師の役割 [キーワード] インフォームド・コンセント、倫理的意思決定、アドボカシー	講義	[予習] インフォームド・コンセントについて参考書の該当箇所を読んでおく(学習時間:1時間) [復習] 授業内容と参考書を見直し、インフォームド・コンセントにおける看護師の役割について理解を深める(学習時間:1時間)
5	永野	1. 看護師の倫理的行動 2. 看護師の倫理的行動の特徴 3. 良いと感じる看護、良くないと感じる看護 4. 価値の明確化 ・学生同士のディスカッションにより経験した良いと感じる看護、良くないと感じる看護について共有する [キーワード] 看護師の倫理的行動に関する研究	講義	[予習] 実習や受診経験を想起し、「良い」と感じた看護、「良くない」と感じた看護の場面を記述してくる(学習時間:1時間) [復習] 授業資料を読み、看護師の倫理的行動の理解を深める。看護師の倫理的行動に関する研究論文を探索する(学習時間:1時間) [課題②] 提示した事例に対し、自己の考えを記述する(1時間)
6	永野	1. 看護職者の倫理的ジレンマ 2. 倫理的ジレンマの解決に活用可能な知識 [キーワード] 価値の対立、倫理的ジレンマ、倫理的意思決定モデル	講義	[予習] 参考書の該当箇所を読み理解を深めておく(学習時間:1時間) [復習] 授業資料、および参考書の該当箇所を読み、倫理的ジレンマについて理解を深める(学習時間:1時間)
7	永野	1. 看護研究と倫理 2. 研究に必要な倫理的配慮 [キーワード] 看護研究、倫理的配慮、研究者の倫理	講義	[予習] 看護研究の原理と方法の授業内容を思い出しておく(学習時間:1時間) [復習] 授業資料、および参考書の該当箇所を読み、看護研究に必要な倫理的配慮について理解を深める(学習時間:1時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	基礎看護方法論Ⅰ（看護援助論）	必修・選択	必修
英語科目名	Basic Nursing Skills Ⅰ	対象学年	1年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	鈴木 小百合	ナンバリング	FNL31A2
担当教員	鈴木小百合※、小林美紀※、都築梨沙※、長尾彩香※、檀谷ひとみ※、厚美彰子※、酒井悠里子※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	看護におけるコミュニケーションは、看護者が対象との援助的人間関係を形成するために欠かせないものであり、看護を実践する上で基盤となるものである。本科目では、看護における「援助とは何か」について考え、対象との援助的人間関係の成立・発展に必要なとされる基本的な知識とコミュニケーション技術を学習する。また、講義で学習した知識を演習で活用し振り返ることを通して、コミュニケーションにおける自己の傾向と課題を見出し、コミュニケーションの実践力を養う。				
授業の位置づけ	「看護の理論と方法」の科目群に属し、「看護学概論」の学習内容と関連させながら、初めての実習である「基礎看護学実習Ⅰ」の準備内容を含む科目である。人間関係を成立させるために必要な知識・技術を講義・演習を通して学ぶことで、看護の基礎を育む。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP1-IV、○ DP1-I、○ DP1-III、○ DP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における援助について説明できる。 2. 患者 - 看護師間の関係の特徴と関係構築に向けた看護師の役割を説明できる。 3. 人間関係の成立に関する理論について説明できる。 4. 看護におけるコミュニケーションの知識と技術を演習で活用できる。 5. コミュニケーションの体験と振り返りを通して、コミュニケーションにおける自己の傾向と課題を見出すことができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	看護学概論、人間関係論、基礎看護方法論Ⅱ、基礎看護方法論Ⅲ、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に授業に臨む。 2. 授業資料・テキストを活用し、学習内容の理解に努める。 3. 学習したコミュニケーション技術を日常的に活用し、自己のコミュニケーション能力を高める。 4. 7回のうち3回以上欠席すると定期試験受験資格がなくなるので、各自出席状況を確認し注意する。 				
成績評価の方法					
評価方法	筆記試験60%、授業参画度（事前・事後課題の実施状況、演習への取り組み）25%、課題レポート15%				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における援助とは何かを自分の言葉で説明できるか。 2. 患者 - 看護師間の関係の特徴と関係構築に向けた看護師の役割について説明できるか。 3. 人間関係の成立に関する理論について説明できるか。 3. 看護におけるコミュニケーションの知識と技術を演習で活用できるか。 4. コミュニケーションにおける自己の傾向と課題を見出し、説明もしくは記述できるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
毎回の授業評価、提出物に寄せられた質問、意見については、次回授業時もしくはJuntendoPassportを通じて全員に向けて返答する。課題レポートは、希望する者に適宜フィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志々岐康子他	メディカ出版	978-4-8404-5794-1	
	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる他	医学書院	978-4-260-04211-6	
参考文献					
授業資料に提示する					
その他					
連絡先・オフィスアワー	・随時（事前にメールで連絡してください。鈴木:sayusuzu@）				
備考	『基礎看護方法論Ⅰ 授業ノート』を使用する。また、必要に応じて授業の時に資料を配布する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	鈴木	<p>I. 看護援助について考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護における援助とは ケアリング <p>II. 援助的人間関係について考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 人が人と関わることの意味 援助的人間関係 患者-看護師間の専門的援助関係 <p><キーワード> 看護の機能、援助、ケアリング、援助的人間関係、専門的援助関係</p>	講義	<p>[予習] ・ナーシング・グラフィカ 看護学概論「1.看護への導入」を読みまとめる。 (学習時間2時間)</p> <p>[復習] ・講義内容をまとめる。 ・提示した事後課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p>
2	鈴木	<p>III. 人間関係を成立させるための技術</p> <ol style="list-style-type: none"> コミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> コミュニケーションとは コミュニケーションの構成要素と成立過程 看護援助におけるコミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> 看護におけるコミュニケーションの重要性 患者-看護師関係におけるコミュニケーションの特徴 看護におけるコミュニケーションの技術 <ol style="list-style-type: none"> 関係構築のためのコミュニケーション技術 効果的なコミュニケーションの技術 情報収集の技術 説明の技術 <p><キーワード> SMCRモデル、言語的・非言語的コミュニケーション、オープンエンドクエスチョン、クローズド・クエスチョン、接近的行動、対人距離、傾聴、共感的理解、コミュニケーション技法</p>	講義	<p>[予習] ・系統看護学講座 基礎看護技術I「第1章：コミュニケーション」を読みまとめる。 ・ナーシンググラフィカ 看護学概論「7.看護ケアの基本的役割」の章を読みまとめる。 (学習時間2時間)</p> <p>[復習] ・講義内容をまとめる。 ・提示した事後課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p>
3	鈴木 非常勤 他	<p>看護におけるコミュニケーションの実践 (1回目)</p> <ol style="list-style-type: none"> ベッドサイドでのコミュニケーション (看護師の最適な位置と距離を検討) シナリオに沿ったコミュニケーション 技法を活用した相手を知るためのコミュニケーション <p><キーワード> 対人距離、傾聴、共感的理解、コミュニケーション技法、オープンエンドクエスチョン、クローズドクエスチョン</p>	演習	<p>[予習] ・提示した事前課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p> <p>[復習] ・授業内容を振り返り、事後課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p>
4	鈴木	<p>V. 人間関係を成立させるための自己理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分を理解する 自己概念、自己認識 <p>VI. 人間関係を成立させるための他者理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 他者を理解する 病人・病者を理解する 対人関係に焦点をあてた看護理論 <p><キーワード> 全体的存在、病人、病気対処行動、患者(病者)役割行動、相互作用、ペプロウの理論、トラベルビーの理論</p>	講義	<p>[予習] ・ナーシンググラフィカ 看護学概論「2.看護の対象とその理解」「5.看護実践のための理論的根拠」を読みまとめる。 (学習時間2時間)</p> <p>[復習] ・講義内容をまとめる。 ・提示した事後課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p>
5	鈴木	<p>VI. 医療チームにおけるコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 看護・医療におけるコミュニケーションの特徴と重要性 多職種との協働を円滑にするコミュニケーション 医療安全とコミュニケーション <p><キーワード> 多職種協働、アサーティブコミュニケーション、インフォームド・コンセント、医療安全、患者中心の医療</p>	講義	<p>[予習] ・ナーシンググラフィカ 看護学概論「10.保健・医療・福祉システム」「11.看護の展開と継続性」を読みまとめる。 (学習時間2時間)</p> <p>[復習] ・講義内容をまとめる。 ・提示した事後課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p>
6	鈴木 非常勤 他	<p>看護におけるコミュニケーションの実践 (2回目)</p> <ol style="list-style-type: none"> 架空事例患者とのコミュニケーション SBARを使った報告 <p><キーワード> 共感的理解、コミュニケーション技法、自己開示、SBAR</p>	演習	<p>[予習] ・提示した事前課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p> <p>[復習] 授業内容を振り返り、事後課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p>
7	鈴木	<p>VII. 対人援助職が陥りやすいストレス傾向とその対応</p> <ol style="list-style-type: none"> 感情労働 感情規則 ケアの代償 <p>VIII. 看護実践に活かすコミュニケーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 積極的傾聴と共感 タッチング 事例から考える <p><キーワード> 感情労働、感情規則、バーンアウト、看護実践場面に応じたコミュニケーション、効果的なコミュニケーション</p>	講義	<p>[予習] ・提示した事前課題に取り組む。 (学習時間2時間)</p> <p>[復習] ・講義内容をまとめる。 ・授業全体を振り返って印象に残ったことと、学習した内容を今後どのように活用したいかについて、レポートにまとめて提出する。 (学習時間4時間)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	基礎看護方法論II（日常生活援助技術）	必修・選択	必修
英語科目名	Basic Nursing Skills II	対象学年	1年
開講学期	後期	単位数	2単位
代表教員	寺岡 三左子	ナンバリング	FNL31A3
担当教員	寺岡三左子※、野村菜摘※、菊地浩樹※、永野光子※、鈴木小百合※、高梨あさき※、齋藤雪絵※、村越春那※、野崎真奈美※、佐野裕子※、長尾彩香※、酒井悠里子※、檀谷ひとみ※、厚美彰子※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	人間が健康的な生活をおくる上で欠かすことのできない日常生活行動を援助するために必要な看護実践の知識、技術、態度を学習する。 看護実践の基盤となる感染予防の技術、観察の技術の他、日常生活行動を援助する技術として、環境調整、活動と休息、清潔・衣生活、栄養と食事、排泄に関わる看護技術を習得し、人間に共通する一般性と対象者特有の独自性を捉え、専門的知識と科学的根拠をもとに対象者個々の状態に適した安全で安楽な援助方法を探求する。			
授業の位置づけ	「看護の理論と方法」の科目群に属し、入学後初めて本格的に看護技術について学ぶ科目となる。既習の知識やコミュニケーション技術、基礎看護学実習Ⅰの体験を活用しながら学ぶことで看護の基礎を養うとともに、その後に学ぶ科目の基盤となる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II、ODP2-I、ODP5-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間における日常生活行動の意義を生理的・心理的・社会的・文化的側面から説明できる。 2. 日常生活行動を援助するために必要な看護技術について、原理・原則および留意事項を説明できる。 3. 専門的知識と科学的根拠に基づき、日常生活行動を援助するために必要な看護技術を実施できる。 4. 対象者の個別性に適した安全で安楽な援助方法を考察できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	看護学概論、基礎看護方法論Ⅰ、基礎看護方法論Ⅲ、看護理論・看護過程、看護倫理、フィジカルアセスメント、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、形態機能学ⅠA、形態機能学ⅠB、生化学、微生物学、臨床栄養学			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習目標、授業スケジュールを確認のうえ提示された事前課題を実施し授業に出席する。 2. 演習には、講義内容の復習およびeラーニングでの予習をして、実施する技術をイメージして臨む。 3. 技術習得には反復練習が必要である。課外時間を活用して繰り返し練習する。 4. 授業で取り扱った資料や自己学習した資料はファイリングし、授業後も実習等で活用できるようにポートフォリオを作成する。 5. 演習は複数グループに分かれて実施する。グループメンバーと共に考え協力して学習する。 			
成績評価の方法				
評価方法	筆記試験（50％）、実技チェック（30％）、課題提出状況（10％）、演習への参画度・態度（10％）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間における日常生活行動の意義を生理的・心理的・社会的・文化的側面から説明できる。（筆記試験・課題提出） 2. 日常生活行動を援助するために必要な看護技術について、原理・原則および留意事項を説明できる。（筆記試験） 3. 専門的知識と科学的根拠に基づき、日常生活行動を援助するために必要な看護技術を実施できる。（実技チェック） 4. 対象者の個別性に適した安全で安楽な援助方法を考察できる。（筆記試験・課題提出） 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックは随時行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野 香おる	医学書院	978-4-260-04211-6	
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ	任 和子	医学書院	978-4-260-04212-3	
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・『看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版』 株式会社メディックメディア ・『学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版』 医歯薬出版株式会社 ・ナーシングスキル日本版 ・提示した動画 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	・随時（事前にメールで連絡してください。寺岡：mteraoka@、野村：n-nomura@、菊地：h.kikuchi.yk@）			
備考	・学習内容に応じてシミュレーション教育研究センターを活用する。			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 2	寺岡 野村 菊地	○学習ガイダンス ・基礎看護実習室の活用 ・本科目で学習する看護技術 I. 本科目の前提となる知識と技術 ・看護技術とは ・看護における安全・安楽の概念 ・標準予防策 ・看護実践における説明と同意 ・看護技術とバイタルサイン II. 観察とバイタルサイン (一部演習) ・観察の基本 ・バイタルサインとは (聴診器の使い方, 脈拍測定, SpO2測定)	講義・演習	[予習] ・テキスト「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ」: 序章看護技術を学ぶにあたって, 第2章: 感染防止の技術 (標準予防策, 感染性廃棄物の取り扱い) を読む。 ・テキスト「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ」: 序章看護技術の根拠をなすものを読む。 (学習時間60分) [復習] ・講義とテキスト内容をまとめておくこと。 (学習時間: 60分)
3 4	寺岡 野村 菊地 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	適切なユニフォームの着用 観察の基本とバイタルサイン測定 標準予防策: 手指衛生とPPEの着脱	演習	[予習] ・指定された事前課題を実施する。 ・該当するeラーニングコンテンツを閲覧する。 (学習時間: 60分) [復習] ・学習した内容をまとめてファイリングする。 (学習時間: 60分)
5 6	寺岡 野村 菊地 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	III. 環境調整 ・患者の状態に適した療養環境 ・療養環境における安全・安楽と観察事項 ・臥床患者のベッドメイキング	講義・演習・グループワーク	[予習] ・テキスト「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ」: 環境調整技術を読む。 ・指定された事前課題を実施する。 ・該当するeラーニングコンテンツを閲覧する。 (学習時間: 60分) [復習] ・学習した内容をまとめてファイリングする。 (学習時間: 60分)
7	寺岡 野村 菊地 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	実技チェック① ・血圧測定・触診法と聴診法	演習	[予習] ・血圧測定シミュレータた学生同士で血圧測定の練習を行う。 (学習時間: 60分) [復習] ・フィードバックされた項目を復習する。 必要に応じて再チェックを行う。 (学習時間: 30~60分)
8 9 10 11 12	野村 佐野 菊地 寺岡 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	IV. 活動と休息 ・活動と休息における安全・安楽と観察事項 ・体位変換と良肢位 ・車椅子移乗と移送 ・歩行介助	講義・演習・グループワーク	[予習] ・テキスト「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ」: 第4章活動・休息を読む。 ・指定された事前課題を実施する。 ・該当するeラーニングコンテンツを閲覧する。 (学習時間: 60分) [復習] ・学習した内容をまとめてファイリングする。 (学習時間: 60分)
13 14 15 16 17	菊地 野村 寺岡 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	V. 清潔・衣生活 ・皮膚・粘膜の構造と機能 ・清潔の援助における安全・安楽と観察事項 ・清拭, 寝衣交換, 足浴, 洗髪	講義・演習・グループワーク	[予習] ・テキスト「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ」: 第6章清潔・衣生活援助技術を読む。 ・指定された事前課題を実施する。 ・該当するeラーニングコンテンツを閲覧する。 (学習時間: 60分) [復習] ・学習した内容をまとめてファイリングする。 (学習時間: 60分)
18 19 20	菊地 野村 寺岡 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	VI. 食事 ・食事の意義と栄養 ・食事介助における安全と観察事項 (嚥下機能) ・口腔内の清潔保持とその意義 ・食事介助と口腔ケア	講義・演習・グループワーク	[予習] ・テキスト「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ」: 第2章食事援助技術を読む。 ・指定した事前課題を実施する。 (学習時間: 60分) [復習] ・学習した内容をまとめてファイリングする。 (学習時間: 30~60分)

21 22 23	野村 菊地 寺岡 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	VII. 排泄 ・排泄の意義 ・排泄の援助における安全・安楽と観察事項 ・排泄介助と陰部洗浄	講義・演習・グループワーク	[予習] ・テキスト「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ」：第3章排泄援助技術を読む。 ・該当するeラーニングコンテンツを閲覧する。 (学習時間：60分) [復習] ・学習した内容をまとめてファイリングする。 (学習時間：60分)
24	寺岡 野村 菊地 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	実技チェック② ・学習した技術についてチェック	演習	予習 ・チェックリストにて学習した技術を振り返り練習する。 (学習時間：60分) [復習] ・フィードバックされた項目を復習する。 必要に応じて再チェックを行う。 (学習時間：30～60分)
25 26 27	寺岡 野村 菊地 永野 鈴木 高梨 齋藤 村越 非常勤	総合演習：シミュレーション演習	講義・演習・グループワーク	[予習] ・提示された事例について病態・治療等を調べる。 (学習時間：60分) [復習] ・学習した内容をまとめてファイリングする。 ・指定された課題を実施する。 (学習時間：60分)
28	寺岡 野村 菊地	まとめ	講義	[予習] ・作成したポートフォリオを整理する (学習時間：60分) [復習] ・指定された事後課題を実施する。 (学習時間：60分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	フィジカルアセスメント	必修・選択	必修
英語科目名	Physical Assessment	対象学年	3年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	寺岡 三左子	ナンバリング	PNL31A2
担当教員	寺岡三左子※、齋藤雪絵※、佐野裕子※、永野光子※、鈴木小百合※、高梨あさき※、野村菜摘※、村越春那※、菊地浩樹※、野崎真奈美※、原光寛※、長尾彩香※、檀谷ひとみ※、厚美彰子※、小林美紀※、都築梨沙※ ※…実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	適切な看護実践を導く根拠となるフィジカルアセスメントの基本的技術を学修する。学修した知識・技術を統合して対象者の健康状態を適切に評価する方法を学び、対象者に必要な看護について考察する。				
授業の位置づけ	2年次までに修得した人体の構造・機能、病態に関する知識を基に対象者の健康状態を適切に評価する能力を高め、既習の看護の知識・技術をもって対象者への適切な看護について学ぶ分野別実習の基礎となる科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP2-II、△DP2-III、△DP1-IV				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フィジカルアセスメントに必要な人体の構造と機能を理解し、記述できる。 2. フィジカルアセスメントに必要な基本手順を実施できる。 3. フィジカルアセスメントにより、正常と正常から逸脱した状態を判断できる。 4. 模擬事例によるフィジカルアセスメントから、対象者に必要な看護を明確にできる。 				
先修要件	なし				
関連科目	看護学概論、看護理論・看護過程、基礎看護方法論Ⅰ、基礎看護方法論Ⅱ、基礎看護方法論Ⅲ、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、成人看護方法論Ⅰ、形態機能学Ⅰ、症状別臨床病態学、臨床医学ⅠA・ⅠB				
学修上の注意	<p>【学習上の留意点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目のテキストや授業資料のほか、復習として形態機能学、臨床医学の授業資料も活用する。 2. 参考文献、eラーニング教材も活用して主体的に学習を進める。 <p>【使用教材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナーシングスキル日本版：手技の動画視聴による事前学習、復習、手順の確認 2. ザイゴット（iPad内アプリケーション）：演習時の人体の構造の確認 3. JUNTENDO PASSPORT：授業資料資料の提示、授業に関する情報提示、個別質問への対応（Q&A） 4. テキスト内に掲載のQRコード：フィジカルイグザミネーションに関する観察・手技の確認 				
成績評価の方法					
評価方法	筆記試験(60%)、実技チェック(20%)、課題の実施・提出状況(20%)				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. フィジカルアセスメントに必要な人体の構造と機能を理解し、記述できる。（筆記試験・課題で評価） 2. フィジカルアセスメントに必要な基本手順を実施できる。（実技チェックで評価） 3. フィジカルアセスメントにより、正常と正常から逸脱した状態を判断できる。（筆記試験で評価） 4. 模擬事例によるフィジカルアセスメントから、対象者に必要な看護を明確にできる。（筆記試験で評価） 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実技チェックは実施後にその場もしくは後日フィードバックする。 2. 授業に関する質問等は常にメールで受け付ける。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメントがみえる		メディックメディア		
参考文献					
必要に応じて授業時に資料を配布する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと mteraoka@）				
備考	・学習内容に応じてシミュレーション教育研究センターを活用する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 2	寺岡	1. 学習ガイド ・授業の進め方 ・演習の方法・留意点 ・教材の活用 2. フィジカルアセスメント総論 ・フィジカルアセスメントとは ・看護におけるフィジカルアセスメント 3. 基本的手技の知識 ・問診、視診、聴診、打診、触診 4. 臨床推論/臨床判断 ・臨床判断/臨床推論とは ・バイタルサインのアセスメントほか	講義・演習・グループワーク	予習： ・テキストの「フィジカルアセスメント総論」「バイタルサイン」を読む。 ・ナーシングスキルの「基本的手技」の動画を視聴し、手技をイメージする。 (学習時間60分) 復習： ・ナーシングスキルで設定した知識確認テストを満点になるまで実施する(自己採点可能)。 (学習時間30分)
3	寺岡 齋藤 佐野 永野 鈴木 高梨 野村 村越 菊地 非常勤教員	5. 基本手技の実際と観察 ・打診 ・腸蠕動音聴取 ・深い触診、圧痛点 (Lanz, McBurney) ・正常呼吸音の聴取 ・正常心音の聴取 ・浮腫の観察 ・脱水症状の観察	講義・演習・グループワーク	予習： ・ナーシングスキルの「基本的手技」の動画を視聴し、手技をイメージする。 (学習時間60分) 復習： ・演習を振り返り手技のポイントをまとめる。 (学習時間30分)
4 5	佐野 寺岡	6. 呼吸・循環器系のアセスメント 1) 呼吸器系 ・呼吸器系の解剖生理 ・呼吸器系のフィジカルイグザミネーション ・異常呼吸音の種類 2) 循環器系 ・循環器系の解剖生理 ・循環器系のフィジカルイグザミネーション ・心音聴取部位	講義・演習・グループワーク	予習： ・テキストの「呼吸器系・循環器系のアセスメント」を読む。 ・形態機能学の資料を確認して呼吸器の解剖図を描く。また、心臓・循環のしくみを図示する。 (学習時間60分) 復習： ・ナーシングスキルで設定した知識確認テストを満点になるまで実施する(自己採点可能)。 (学習時間30分)
6 7	佐野 寺岡 齋藤 永野 鈴木 高梨 野村 村越 菊地 非常勤教員	7. 呼吸・循環器系のアセスメントの実際 ・呼吸パターンの観察 ・異常呼吸音、心雑音 ・頸動脈の触知 ・プランチテスト、ホーマンズ徴候	講義・演習・グループワーク	予習： ・ナーシングスキルの「胸部(肺)」「循環」の動画を視聴し、手技をイメージする。 (学習時間60分) 復習： ・演習を振り返り手技のポイントをまとめる。 (学習時間30分)
8	佐野 寺岡 齋藤 永野 鈴木 高梨 野村 村越 菊地 非常勤教員	8. 筋・骨格系のアセスメント ・筋・骨格系の解剖生理 ・筋・骨格系のフィジカルイグザミネーション ・ROM-test, MMT の測定	講義・演習・グループワーク	予習： ・テキストの「筋・骨格系のアセスメント」を読む。 ・形態機能学の資料を確認して筋骨格系の解剖図を描く。 (学習時間60分) 復習： ・演習を振り返り手技のポイントをまとめる。 (学習時間30分)
9	齋藤	9. 脳神経・感覚器系のアセスメント 1) 脳神経系 ・脳神経系の解剖生理 ・脳神経系のフィジカルイグザミネーション 2) 感覚器系 ・感覚器系の解剖生理 ・感覚器系のフィジカルイグザミネーション	講義・演習・グループワーク	予習： ・テキストの「脳神経・感覚器系のアセスメント」「運動機能のアセスメント」を読む。 ・形態機能学の資料を確認して神経系・感覚器系(眼・耳)の機能を図示する。 (学習時間60分) 復習： ・ナーシングスキルで設定した知識確認テストを満点になるまで実施する(自己採点可能)。 (学習時間30分)
10	齋藤 寺岡 佐野 永野 鈴木 高梨 野村 村越 菊地 非常勤教員	10. 脳神経・感覚器系のアセスメントの実際 ・対光反射(直接・間接)、瞳孔の観察 ・上肢バレー徴候、ミンガッツーニ ・鼻指鼻試験 ・リンネ・ウェーバー試験	講義・演習・グループワーク	予習： ・ナーシングスキルの「神経、眼、耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭」の動画を視聴し、手技をイメージする。 (学習時間60分) 復習： ・演習を振り返り手技のポイントをまとめる。 (学習時間30分)

11 12	寺岡 齋藤 佐野 永野 鈴木 高梨 野村 村越 菊地 非常勤教員	11. フィジカルアセスメント総合学習① ・事例を活用したシミュレーション学習	演習・グループ ワーク	予習： ・課題の疾患・病態について調べておく。 ・事前課題について指定の用紙に記述する。 (学習時間60分) 復習： シミュレーション学習で見いだした自己の 課題およびディスカッション内容をまとめ る。 (学習時間30分)
13 14	寺岡 齋藤 佐野 永野 鈴木 高梨 野村 村越 菊地 非常勤教員	12. フィジカルアセスメント総合学習② ・事例を活用したシミュレーション学習 ・実技チェック	演習・グループ ワーク	予習： ・課題の疾患・病態について調べておく。 ・事前課題について指定の用紙に記述する。 (学習時間60分) 復習： シミュレーション学習で見いだした自己の 課題およびディスカッション内容をまとめ る。 (学習時間30分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	基礎看護方法論III (診療・治療援助技術)	必修・選択	必修
英語科目名	Basic Nursing Skills III	対象学年	2年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	高梨 あさき	ナンバリング	CNL31A1
担当教員	高梨あさき※、村越春那※、野村菜摘※、菊地浩樹※、寺岡三左子※、永野光子※、鈴木小百合※、齋藤雪絵※、原光寛※、野崎真奈美※、長尾彩香※、植谷ひとみ※、厚美彰子※、酒井悠里子※、小林美紀※、都築理沙※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	ヘンダーソン看護理論の基本的欲求を変容させる病的状態の究明および介入に必要な基本的知識と科学的根拠に基づいた看護実践について学ぶ。対象者が治療や検査を受けるに至った身体的状態を理解するとともに、心理的状态をも捉えて、援助のあり方について考える。治療・検査が順調に進むように、説明と同意のもと対象者の特性を把握し、診療過程に応じた看護を実践していくための基本的知識とアセスメント能力、技術、態度を習得する。			
授業の位置づけ	本科目は診療・治療支援技術として必要な基礎知識・技術を学ぶ科目である。無菌操作や感染経路別予防策に始まり、注射や採血といった侵襲を伴う技術、カテーテル類の取り扱いなど、医療従事者として必要な知識と技術を学ぶ。全ての専門的な医療技術の基礎に位置付けられる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【該当するコンピテンシー】 本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ○DP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ○DP2-II：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力 ○DP5-I：生涯にわたり専門職者として研鑽し続ける能力			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 侵襲を伴う看護援助場面において、安全・安楽を確保するための具体的な方法とその根拠を説明することができる。 2. 対象者の病的状態に応じた、必要な援助を判断するための観察項目を説明することができる。 3. 実施する援助技術の原理・原則および留意事項を説明することができる。 4. 援助技術に伴うリスクを説明することができる。 5. 援助技術に伴うリスクを予防するための具体的な方法を列挙することができる。 6. 援助技術を安全、安楽、個別性、効率性を考慮して正確に実施することができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	形態機能学Ⅰ、臨床栄養学、薬理学、臨床薬理学、臨床検査学、看護学概論、看護理論・看護過程、基礎看護方法論Ⅰ、基礎看護方法論Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバス上の授業順は単元の流れに沿って表示しているため、一部実際の演習実施順とは異なる場合がある。 ・クラス毎に演習日時が異なるため、演習授業のない時間には演習の事前学習、事後学習を行うこと。 ・オンデマンド授業は原則演習のない時間に受講できるように配信予定である。計画的に受講すること。 ・授業には主体的に臨むこと。 ・提示した予習・事前学習内容は必ず実施して授業に臨むこと。 ・使用テキストだけでなく、参考文献も用いて各演習項目を調べること。 ・一部の講義では小テストを使用して知識、理解度を確認する。 ・演習前は必ず該当単元のeラーニング(ナーシングスキル)を視聴すること。 ・演習やグループワークではグループメンバーと積極的に意見交換を行うこと。 ・演習ではタブレット端末で動画を撮影し技術の振り返りを行うことがある。 ・技術を習得できるようグループ間で協力して練習を行うこと。 ・技術習得には反復練習が必要である。時間が許す限り、繰り返し練習すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	・筆記試験(50%)、実技チェック・試験(30%)、事前学習の実施状況(10%)、授業小テスト(5%)、演習参画度(態度、演習準備・片付け含む)(5%)により評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・侵襲を伴う看護援助の具体的な方法とその根拠を説明することができる。 ・援助技術を安全、安楽、自立の促進、個別性、効率性を考慮して実施することができる。 ・グループメンバーで協力して相互評価しながら演習を行うことができる。 ・授業・演習の円滑な運営に協力することができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 ・演習の事前課題は、演習時に直接ノートを確認し、必要なフィードバックをします。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おるら	医学書院	978-4-260-04211-6	第18版
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ	任 和子ら	医学書院	978-4-260-04212-3	第18版
参考文献				
『看護ケアの根拠と技術-学ぶ・試す・調べる』 医歯薬出版 『演習・実習に役立つ基礎看護技術 根拠に基づいた実践をめざして』ヌーベルヒロカワ 『ナーシング・ポケットマニュアル 基礎看護技術』 医歯薬出版 『看護技術 看護過程のなかで技術を理解する [DVD付き]』 南江堂 『看護がみえるvol2 臨床看護技術』メディックメディア				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー		・随時（できるだけ事前にメールで連絡してください。高梨:atakana@、村越:h.murakoshi.fo@、野村:n-nomura@、菊地:h.kikuchi.yk)		
備考		その他：e-ラーニング（ナーシング・スキル） 『基礎看護方法論Ⅲ 授業ノート』も使用する。また、必要に応じて授業の時に資料を配布する。		
1 2	高梨	科目オリエンテーション I. 前提となる技術 1. 学習する技術の法的位置付けと看護師の責務 2. 安全管理 ・無菌操作（滅菌物の取り扱い） ・滅菌手袋の装着 ・ガウンテクニック ・医療廃棄物の分別 ・6Rの確認 [キーワード] ・保健師助産師看護師法 ・感染安全 ・リスクマネジメント ・感染予防 ・凶タンダードプリコーション ・CCOガイドライン	講義	[予習]（学習時間60分） ・使用テキスト（2）の診察・検査・処置の介助技術、感染防止の技術を予め読んでおくこと。 [復習]（学習時間30分） ・講義とテキストの内容をまとめておくこと。
3 4	高梨 村越 野村 菊地 寺岡 永野 鈴木 齋藤 原 非常勤	演習1：前提となる技術 ・無菌操作（滅菌物の取り扱い） ・滅菌手袋の装着 ・ガウンテクニック ・医療廃棄物の分別 *滅菌手袋の実技チェック [キーワード] ・無菌操作 ・个人防护具 ・感染経路別予防策	演習	[予習]（学習時間：各60分程度） ・授業ノートの『前提となる技術』について演習事前学習課題を行うこと。 ・『前提となる技術』に含まれる演習項目についてeラーニングコンテンツを閲覧しておくこと。 [復習]（学習時間：各60分程度） ・授業ノートに実施後の評価を記載し、技術の振り返りを行うこと。 ・講義内容とも照らし合わせ演習手順や留意点に修正、追記を行うこと。
5 6	高梨	II. 排尿障害のある患者の看護 1. 排尿のアセスメント 2. 導尿 ・膀胱留置カテーテル挿入・管理 III. 排便が困難な患者への看護 1. 排便のアセスメント 2. 洗腸 ・グリセリン洗腸 3. 摘便 [キーワード] ・排尿のメカニズム ・カテーテル関連尿路感染症 ・水分出納 ・排便のメカニズム ・便秘 ・下痢	講義	[予習]（学習時間：60分） ・使用テキスト（2）の排泄援助技術を予め読んでおくこと。 [復習]（学習時間：40分） ・講義とテキストの内容をまとめておくこと。
7 8 9	高梨 村越 野村 菊地 永野 寺岡 鈴木 齋藤 原 非常勤	演習2-1：一時的導尿 演習2-2：持続的導尿 *持続的導尿実技チェック [キーワード] ・ネラトンカテーテル ・フォーリーカテーテル ・留置カテーテル	演習	[演習の予習]（学習時間：各60分） ・授業ノートの『排尿障害のある患者の看護』について演習事前学習課題を行うこと。 ・『排尿障害のある患者の看護』に含まれる演習項目についてeラーニングコンテンツを閲覧しておくこと。 ・授業ノートの『排便が困難な患者の看護』について事前学習課題を行うこと。 [演習の復習]（学習時間：各60分） ・授業ノートに実施後の評価を記載し、応用課題と発展課題についてまとめておくこと。 ・講義内容とも照らし合わせ演習手順や留意点に修正、追記を行うこと。

10	高梨 村越 野村 菊地 永野 寺岡 鈴木 齋藤 非常勤	<p>演習3：浣腸、摘便</p> <p>[キーワード] ・グリセリン浣腸</p>	演習	<p>[演習の予習]（学習時間：60分） ・授業ノートの『排便が困難な患者の看護』について事前学習課題を行うこと。 ・『排便が困難な患者の看護』に含まれる演習項目についてeラーニングコンテンツを閲覧してくること。</p> <p>[復習]（学習時間：30分） ・授業ノートに実施後の評価を記載し、応用課題と発展課題についてまとめておくこと。 ・講義内容とも照らし合わせ演習手順や留意点に修正、追記を行うこと。</p>
11	野村	<p>IV. 非経口的栄養法が必要な患者の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 非経口的栄養法の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・非経口的栄養法の選択 ・非経口的栄養法の種類・特徴 2. 非経口的栄養法における看護師の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・NSTの役割 3. 非経口的栄養法の看護援助の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養法 <p>[キーワード] ・中心静脈栄養法（IVH） ・完全非経口栄養法（TPN） ・胃瘻（PEG） ・栄養サポートチーム（NST）</p>	オンデマンド講義	<p>[予習]（学習時間：各60分程度） 使用テキスト（2）の「非経口的栄養摂取の援助」を予め読んでおくこと。 ・授業ノートの『非経口的栄養法が必要な患者の看護』について事前学習課題を行うこと。</p> <p>[復習]（学習時間30分） ・講義とテキストの内容をまとめておくこと。</p>
12	野村 高梨 村越 菊地 永野 寺岡 鈴木 齋藤 非常勤	<p>演習4：経鼻経管栄養法</p> <p>[キーワード] ・経管栄養法 ・半消化態栄養剤</p>	演習	<p>[予習]（学習時間45分） ・授業ノートの『非経口的栄養法が必要な患者の看護』について演習事前学習課題を行うこと。 ・『非経口的栄養法が必要な患者の看護』に含まれる演習項目についてeラーニングコンテンツを閲覧してくること。</p> <p>[復習]（学習時間45分） ・授業ノートに実施後の評価を記載し、応用課題と発展課題についてまとめておくこと。 ・講義内容とも照らし合わせ演習手順や留意点に修正、追記を行うこと。</p>
13	高梨	<p>V. 呼吸・循環管理が必要な患者の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸・循環を整える技術の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・酸素療法、人工呼吸療法 ・排痰ケア、吸入 2. 呼吸・循環管理における看護師の役割 3. 呼吸・循環管理の援助の実際 <p>VI. 救急救命処置の基礎知識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 救急対応の考え方 2. 初期対応 3. 心肺蘇生法 4. 一次救命処置の実際 <p>[キーワード] ・酸素療法 ・排痰ケア ・吸引 ・一時救命 ・心肺蘇生法 ・トリアージ</p>	オンデマンド講義	<p>[予習]（学習時間：60分程度） ・使用テキスト（2）の呼吸・循環を整える技術、救急救命処置技術を予め読んでおくこと。</p> <p>[復習]（学習時間：30分程度） ・講義とテキストの内容をまとめておくこと。</p>
14 15	野村	<p>VII. 検査を受ける患者の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検査における看護師の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・検査説明 ・検体の取り扱い ・検査結果のアセスメント 2. 検体検査 <ul style="list-style-type: none"> ・血液検査（静脈血採血） 3. 生体検査 <ul style="list-style-type: none"> ・検査・処置の介助 <p>[キーワード] ・説明と同意 ・検査結果 ・検体検査 ・生体検査 ・血液採血</p>	講義	<p>[予習]（学習時間：45分程度） ・使用テキスト（2）の「検体検査」「検査・処置の介助」を予め読んでおくこと。</p> <p>[復習]（学習時間：60分程度） ・講義とテキストの内容をまとめておくこと。</p>

16 17 18	野村 高梨 村越 菊地 鈴木 齋藤 原 非常勤	<p>演習5：静脈採血法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シリンジを用いた採血 ・ 真空管採血法 ・ 安全器具の使用 <p>* 採血実技チェック</p> <p>[キーワード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 真空採血管 ・ 翼状針 	演習	<p>[演習の予習] (学習時間：60分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ノートの『検査を受ける患者の看護』について事前学習課題を行うこと。 ・ 『検査を受ける患者の看護』に含まれる演習項目についてeラーニングコンテンツを閲覧していただくこと。 <p>[演習の復習] (学習時間：45分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ノートに実施後の評価を記載し、技術の振り返りを行うこと。 ・ 講義内容とも照らし合わせ演習手順や留意点に修正、追記を行うこと。
19 20	村越、菊地	<p>VIII. 薬物療法を受ける患者の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 与薬の基礎知識 2. 与薬における看護師の役割 3. 与薬の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内服、点眼、貼用、吸入など ・ 点滴静脈注射 ・ 皮下注射 ・ 筋肉内注射 <p>[キーワード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンブル製剤 ・ バイアル製剤 ・ 輸液製剤 ・ 与薬時の6R ・ 薬物の体内動態 ・ 薬物の管理 ・ 与薬の原則 ・ アドヒアランス ・ セルフメディケーション ・ 中心静脈カテーテル管理 	講義	<p>[予習] (学習時間：60分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト(2)の与薬の技術を予め読んでおくこと。 ・ 授業ノートの『薬物療法を受ける患者の看護』について授業事前学習課題を行うこと。 <p>[復習] (学習時間：30分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義とテキストの内容をまとめておくこと。
21 22 23 24 25 26	村越 菊地 野村 高梨 永野 寺岡 鈴木 齋藤 原 非常勤	<p>演習6-1：注射薬液の準備</p> <p>演習6-2：皮下注射法</p> <p>演習6-3：筋肉内注射法</p> <p>演習6-4：点滴静脈内注射法</p> <p>注射法まとめ：発展課題</p> <p>* 注射法実技チェック</p> <p>[キーワード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンブル製剤 ・ バイアル製剤 ・ 輸液製剤 ・ 与薬時の6R 	演習	<p>[予習] (学習時間：各60分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ノートの『薬物療法を受ける患者の看護』について演習事前学習課題を行うこと。 ・ 『薬物療法を受ける患者の看護』に含まれる演習項目についてeラーニングコンテンツを閲覧していただくこと。 <p>[復習] (学習時間：各45分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ノートに実施後の評価を記載し、発展課題についてもまとめておくこと。 ・ 講義内容とも照らし合わせ演習手順や留意点に修正、追記を行うこと。
27	菊地 高梨 村越 野村 非常勤	<p>IX. 創傷管理が必要な患者の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創傷管理の基礎知識 2. 創傷管理における看護師の役割 3. 創傷処置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 創洗浄と創保護 ・ 包帯法 4. 褥瘡予防 <p>演習6 包帯法</p> <p>[キーワード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創傷治療過程 ・ ドレッシング材 ・ 包帯法 	講義・演習(教室内)	<p>[予習] (学習時間：各30分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト(2)の創傷管理技術を予め読んでおくこと。 ・ 授業ノートの『創傷管理が必要な患者の看護』の演習事前課題を行うこと。 ・ 『創傷管理が必要な患者の看護』に含まれる演習項目についてeラーニングコンテンツを閲覧していただくこと。 <p>[復習] (学習時間：各30分程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業ノートに実施後の評価を記載し、技術の振り返りを行うこと。 ・ 講義内容とも照らし合わせ演習手順や留意点に修正、追記を行うこと。
28	高梨 村越 野村 菊地	<p>X. 輸血療法を受ける患者の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 輸血製剤の種類 2. 輸血療法における看護師の役割 <p>[キーワード]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸血管理 ・ 輸血事故 <p>科目全体のまとめ</p>	オンデマンド講義	<p>[予習] (学習時間：40分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用テキスト(2)の「与薬の技術」内の「輸血管理」を予め読んでおくこと。 ・ 薬理学テキストの「輸血」を復習する事。 <p>[復習] (学習時間：40分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義とテキストの内容をまとめておくこと。 ・ 科目全体を振り返り、要点をまとめておく。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	看護理論・看護過程	必修・選択	必修
英語科目名	Nursing Theory and Nursing Process	対象学年	1年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	齋藤 雪絵	ナンバリング	FNL31A4
担当教員	齋藤雪絵※、村越春那※、菊地浩樹※ ※…実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	看護問題を解決するための方法論である看護過程に関する基本的知識・技術を習得する。 看護理論について学び、看護理論が看護過程の中でどのように活かされていくのかについて理解する。			
授業の位置づけ	看護の問題解決のための論理的思考および科学的探求のプロセスを学修する看護実践の基盤となる科目であり、基礎看護学実習Ⅱにつながる科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅲ、○DP4-Ⅰ			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践における看護過程の意義を説明できる 2. 看護過程の定義と理論的基盤について説明できる 3. 看護過程の構成要素であるアセスメント・看護診断・計画立案・実施・評価の各プロセスに必要な知識と技術を説明できる 4. 授業資料を活用しながら習得した知識を活用し、模擬事例について看護計画を記述できる 			
先修要件	なし			
関連科目	看護学概論、基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基礎看護学実習Ⅱ、フィジカルアセスメント			
学修上の注意	<p>【学修上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業資料、テキスト、参考文献、eラーニングなど複数の教材を活用して主体的に学習をすすめる。 ・自己学習ノートを準備し、予習・復習等をまとめる。ノートは講義中も活用し、内容の理解がすすむように工夫する。 ・質問や自己学習に関する内容については、対面、メール、JUNTENDO PASSPORTのQ&Aでも受け付ける。疑問点、わからないところはそのままにしない。 <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナーシングスキル日本版：課題の動画視聴、知識確認テスト等 ・JUNTENDO PASSPORT：学習資料の提示、情報提供、個別の質問対応（Q&A）など 			
成績評価の方法				
評価方法	筆記試験(50%)、事例課題(40%)、グループ学習への参加等授業参画度(10%)			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の構成要素の各プロセスについて、目的・必要な知識・技術を記述できるか（筆記試験） 2. データ収集、アセスメントを経て、教材を活用しながら基本的な看護計画を立案できるか（事例課題） 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題について解説講義を行う。また、課題等に対する個別のフィードバック希望者には随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第4版	秋葉公子ほか	ヌーヴェルヒロカワ		
ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第4版	江崎フサ子ほか	ヌーヴェルヒロカワ		
看護の基本となるもの	ヴァージニア・ヘンダーソン 著/湯慎ます・小玉香津子訳	日本看護協会出版会		
参考文献				
第1回授業で配布する「授業資料」に掲載				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p><連絡先・オフィスアワー></p> <p>齋藤雪絵：ysaito@ 随時（事前にメールで連絡をください） 村越春那：h.murakoshi.fo@ 随時（事前にメールで連絡をください）</p>			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1, 2	齋藤	<p><講義></p> <p>I. 看護過程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程と問題解決思考 2. 看護過程の構成要素 3. 看護理論とは 4. 看護過程に必要な考え方 <p>II. 看護過程の事例展開①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の全体像の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・病態の理解 ・ヘンダーソンの看護理論の活用 ・データ収集 (S, Oデータ) ・関連図と全体像の記述 	講義	<p>予習：ヘンダーソン著「看護の基本となるもの」読み14項目の充足状態について自己学習ノートにまとめる。 (学習時間60分)</p> <p>復習：事例についての課題を実施し、記録用紙にまとめる。 (学習時間30分)</p>
3, 4	齋藤	<p>II. 看護過程の事例展開①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の全体像の理解 <p><グループ学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連図と全体像の記述 ・看護問題の推論 <p>2. アセスメントと看護診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護問題の明確化 (仮説) ・看護問題の優先順位 ・共同問題 	講義・グループ学習	<p>予習： ・事例①の疾患概要、検査データ等を調べ、所定の用紙にまとめる ・所定の用紙に関連図と全体像を記述する (学習時間60分)</p> <p>復習： ・予習で記述した内容を修正する ・講義で学習したデータ収集方法や全体像の把握に必要な知識をノートに整理する (学習時間60分)</p>
5, 6	齋藤	<p>II. 看護過程の事例展開①</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 援助計画の立案 <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定 ・具体策の立案方法 <p><グループ学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期目標と短期目標 ・具体策 (OP, TP, EP) <p>4. 実施・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再アセスメント ・看護記録の種類と法的位置づけ ・評価の指標と具体策の修正 	講義・グループ学習	<p>予習： ・アセスメント～看護問題の明確化まで記述する ・既習の知識を活用して問題解決の方法を考え記述する (箇条書きで良い) (学習時間60分)</p> <p>復習： ・予習で記述した内容を修正する ・看護過程一連のプロセスで行う事項をノートに整理する (学習時間60分)</p>
7, 8	7. 齋藤 8. 村越	<p>II. 看護過程の事例展開①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ収集・アセスメントから計画立案までのプロセスを復習 ・看護過程の展開に必要な基礎知識の確認 <p>III. 看護過程の事例展開②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病理的状态の理解：疾患の解説講義 	講義	<p>予習： ・共同問題についての配布資料を読む ・事例②の疾患について調べまとめておく (学習時間60分)</p> <p>復習： ・共同問題についての学習内容をまとめる ・事例②の課題を実施する (学習時間60分)</p>
9, 10	村越	<p>III. 看護過程の事例展開②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加データの収集 <p><グループ学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体像の理解 ・基本的欲求の充足状態の判断 	講義・グループ学習	<p>予習： ・関連図、全体像を記録用紙に記述する (学習時間60分)</p> <p>復習： ・グループ学習をふまえ、予習の記録を修正する (学習時間60分)</p>
11, 12	11. 村越 12. 齋藤	<p>III. 看護過程の事例展開②</p> <p>ホームワーク解説</p> <p>IV. 看護過程の事例展開③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームワークガイド 	講義	<p>予習： ・提出した記録を見直し、指定された課題を実施する (学習時間30分) ・架空事例③の疾患について調べてまとめておく。 (学習時間60分)</p> <p>復習： ・個人課題用紙を修正し、看護過程のプロセスにおいて理解できていない点を明確にする ・事例③の課題を実施する (学習時間60～90分)</p>
13, 14	齋藤	<p>IV. 看護過程の事例展開③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームワーク解説 <p><グループ学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の表現 ・援助計画の記載方法 	講義・グループ学習	<p>予習： ・提出した記録を見直し、指定された課題を実施する (学習時間30分)</p> <p>復習： ・個人課題用紙を修正し、看護過程のプロセスにおいて理解できていない点を明確にする ・事例③の課題の修正を行う (学習時間60～90分)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	基礎看護学実習I	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Basic Nursing I	対象学年	1年
開講学期		単位数	1単位
代表教員	野崎 真奈美	ナンバリング	FNL31A5
担当教員	野崎真奈美※、寺岡三左子※、永野光子※、高梨あさき※、鈴木小百合※、齋藤雪絵※、野村菜摘※、村越春那※、菊地浩樹※、原光寛※、大西麻未※、加茂敦子※、酒井悠里子※、小林美紀※、都築梨沙※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	看護職の役割と、看護の対象である人間についての理解を深め、看護学を学ぶための素地を養う。				
授業の位置づけ	基礎看護学科目において学んだ知識について体験をとともに理解を深める。その後に続く演習において、臨床場面を想起することで臨場感をもって学習を進めることに貢献する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【該当するコンピテンシー】 本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP1-IV ◎DP2-II ◎DP3- I ◎DP5- I				
到達目標	1) 人間の生活と健康との関係について説明する。 2) 人間の健康と環境との関係について説明する。 3) 看護職の役割について理解したことを説明する。 4) 多職種連携における看護師の役割について理解したことを説明する。 5) 看護師に必要な知識・技術・態度を身につけていくための自己の学習課題を記述する。 6) 看護学生としての基本的態度を身につける。				
先修要件	なし				
関連科目	看護学概論、基礎看護方法論Ⅰ、基礎看護方法論Ⅱ、看護理論・看護過程				
学修上の注意	予習) 実習までに看護学概論、基礎看護方法論Ⅰで学習した内容を振り返っておく。 実習中) 今後の臨床実習の導入となる科目である。 1) 実習の目的・目標を理解して主体的に実習に臨む。 2) 学内で学習した知識や技術を実習経験と統合させて考える。 3) 実習で体験したことを自分の言葉で意味づける。 4) グループで学習内容を共有する。				
成績評価の方法					
評価方法	実習内容20%、実習記録30%、実習参画度30%、実習レポート20% 出席が3.5日以上あり、実習レポートを提出していることが評価を受ける最低条件である。				
評価基準	オリエンテーションを含め、実習期間全体を通して評価する。 ・看護学生としてふさわしい身だしなみ、言葉遣いを心がけているか ・患者の様子に関心をもち、人間の生活と健康、健康と環境の関係を説明できるか ・看護職の活動に関心をもち、看護師の役割について説明できるか ・自己の健康管理に努め、学習者としての基本的行動を守り実習に取り組んでいるか ・他者の意見をよく聞き、自分の考えを積極的に述べることができるか ・学んだことを既習の知識を活用して意味づけし、看護について自己の考えを記述できるか ※日々グループ毎に担当教員が学生の学習状況を把握し、不足については個別に指導する。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
実習期間内に個別指導やカンファレンスの場でフィードバックする。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
1. 『ナースング・グラフィカ16 看護学概論』 メディカ出版 2. 『看護覚え書き-本当の看護とそうでない看護』 日本看護協会出版会 3. 『看護の基本となるもの』 日本看護協会出版会					
その他					
連絡先・オフィスアワー	電子メールで随時受け付ける。				
備考	特になし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
	野崎真奈美 寺岡三左子 永野光子 高梨あさき 鈴木小百合 齋藤雪絵 野村菜摘 村越春那 菊地浩樹 原光寛 大西麻未 加茂敦子 酒井悠里子 小林美紀 都築梨沙	学内オリエンテーション：実習の進め方、諸注意、情報管理、ユニフォームの着方、身だしなみ、手指衛生、個人防護具着脱 5日間の内、4日間病棟実習、1日学内とする。 【実習方法】 ・看護部長・教育課長による臨床講義を受ける ・病棟オリエンテーションを受ける ・看護活動を見学する ・患者とのコミュニケーションをはかる ・臨床看護師の看護観を聴く ・看護について意見交換をする ・病棟実習を通した学びを振り返り、発表する 【キーワード】 教育理念、看護の本質、看護の対象、環境、生活、健康観、看護観		予習：60分 「基礎看護学実習Ⅰ実習要項」、「看護学実習要綱」の内容を整理する。また、「看護学概論」、「基礎看護方法論Ⅰ」の使用テキストや講義資料を活用し、授業内容を確認すること。 復習：60分 経験内容を既習の知識と関連させ、批判的思考によって学習内容を振り返る。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	基礎看護学実習II	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Basic Nursing II	対象学年	2年
開講学期	前期後半	単位数	2単位
代表教員	野崎 真奈美	ナンバリング	CNL31A2
担当教員	野崎真奈美※、寺岡三左子※、永野光子※、高梨あさき※、鈴木小百合※、齋藤雪絵※、野村菜摘※、村越春那※、菊地浩樹※、原光寛※、大西麻未※、酒井悠里子※、小林美紀※、都築梨沙※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	入院生活を送る患者への援助を通して、看護を系統的に実施するための基本を習得する。患者とのコミュニケーション、観察・測定技術、生活援助技術、看護過程等の知識・技術を適用し、エビデンスに基づいた看護を行うことにより、論理的・科学的に思考し実践することの有用性について学ぶ。				
授業の位置づけ	既習内容を総動員して、臨地で患者を受け持ち、実際に看護過程を展開する。現場に身を置く経験から、看護学生として適切な態度を習得する。分野別実習を積み重ねていくうえでの大事な基盤となる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II ○DP1-IV ○DP2-III ○DP5-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者を全体的存在として理解し、記述することができる。 2) 患者との間に援助的人間関係を形成することの重要性を述べることができる。 3) 得られたデータを分析・解釈し、必要な看護問題を列挙できる。 4) 優先度の高い看護問題について目標および具体策を記述することができる。 5) 判断に基づいた援助計画を患者に説明することができる。 6) 患者の理解を得て看護援助を実施することができる。 7) 実施した看護を患者の反応と援助結果から評価し記述することができる。 8) 医療チームの一員としての基本的態度について述べるることができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	看護学概論、基礎看護方法論Ⅰ、基礎看護方法論Ⅱ、基礎看護方法論Ⅲ、看護理論・看護過程、基礎看護学実習Ⅰ、形態機能学ⅠA、形態機能学ⅠB、臨床栄養学、薬理学、臨床薬理学				
学修上の注意	<p>[準備]</p> <p>実習開始までに以下の自己学習を行うこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 参考テキスト「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」を読んでおくこと 2) 看護理論・看護過程の講義資料を活用し、講義内容を確認すること 3) 基礎看護方法論Ⅱで学習した基礎看護技術を授業資料と授業ノート、ナーシングスキルを活用し、自己学習・技術練習をしておくこと <p>[実習中の学習上の注意事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習目的・目標を理解して主体的に実習に臨むこと 2) 学内での学習および「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ」で学んだ知識・技術を体験と統合すること 3) 実習で体験したことをグループカンファレンスや日々の実習記録でリフレクションし、実習目標の達成の評価と翌日の学習課題を明確にし実習に取り組むこと 4) グループダイナミクスを高め、学習内容を共有し、思考を発展させること 				
成績評価の方法					
評価方法	実習内容および実習記録(60%)、学習者としての姿勢・態度(20%)、実習レポート(20%)				
評価基準	<p>オリエンテーションを含め、全実習期間を通して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者に関心を持ち自発的に関わることにより援助関係を形成できるか ・受け持ち患者のアセスメント、計画立案、実施、評価ができるか ・日々の実習をふり振り返り、実習目標の達成状況を自己評価するとともに課題を明確にすることができるか ・カンファレンスで他者の意見を聞き、自己の考えを積極的に述べているか ・学習者として責任ある態度で実習に取り組んでいるか <p>※日々グループ毎に担当教員が学生の学習状況を把握し、不足については個別に指導する。</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習期間中、記録や態度について個別指導やカンファレンスの場でフィードバックを行う。 ・実習記録およびレポートは、成績が確定した後に、返却する。 ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<p>秋葉公子他 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 ニューヴェルヒロカワ</p> <p>江崎フサ子他 ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト ニューヴェルヒロカワ</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p> <p>村中陽子他 学ぶ・試す・調べる 看護ケアの根拠と技術 医歯薬出版株式会社</p> <p>e-ラーニング(作って教材、ナーシングスキル)</p>					

その他				
連絡先・オフィスアワー		実習期間中は実習グループの担当教員が毎日相談を受け付ける。		
備考		なし		
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
	野崎真奈美 寺岡三左子 永野光子 高梨あさき 鈴木小百合 齋藤雪絵 野村菜摘 村越春那 菊地浩樹 原光寛 大西麻未 酒井悠里子 小林美紀 都築梨沙	<p>実習オリエンテーション (学内、A・Bグループ合同)</p> <p>実習1日目： 病棟オリエンテーション 受持患者の選定 復習：2時間、予習：2時間</p> <p>実習2~8日（内1日は学内実習）： 受持患者の看護 グループカンファレンス 復習：2時間、予習：2時間</p> <p>実習9日目： 学内実習 グループ毎のまとめ 復習：2時間、予習：2時間</p> <p>[キーワード] ヘンダーソン看護論、人間の基本的欲求、看護過程、基礎看護技術</p>		<p>[予習] 1. 参考テキスト「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」を読んでおくこと。 2. 看護理論・看護過程の授業資料を活用し、講義内容を確認すること。 3. 基礎看護方法論Ⅱで学習した基礎看護技術を授業資料と演習要項を活用し、自己学習・技術練習をしておくこと。</p> <p>[復習] 本実習で学習した患者とのコミュニケーション、観察・測定技術、生活援助技術、看護過程等の知識、技術を整理・統合すること。</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	生涯発達論	必修・選択	必修
英語科目名	Life-long Human Development	対象学年	1年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	湯浅 美千代	ナンバリング	FNL32ABC1
担当教員	伊藤 龍子※, 佐藤 まゆみ※, 湯浅 美千代※, 鈴木 紀子※, 野崎 真奈美※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	人間を統合的な存在としてとらえ、成長・発達の観点より、生命の誕生から小児期、成人期、老年期を経て死にいたるまでの概要を学ぶ。				
授業の位置づけ	母性看護学、小児看護学、成人看護学、高齢者看護学の基礎として、人間の生命の誕生から死にいたるまでを成長・発達の観点から学ぶ。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP1-I				
到達目標	1. 生涯発達とは何かについて説明できる。 2. 生涯発達の過程である胎児期、生命の誕生、小児期、成人期、老年期各期の発達段階別の特徴について説明できる。 3. 人の生涯に関わる専門職として、自身の考えを述べることができる。				
先修要件	なし				
関連科目	心理と行動、子どもの発達と教育、発達心理学、「看護の理論と方法」の各科目				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 日々の社会状況に関心を持ち、主体的に取り組むことを期待する。 使用するテキストを持参する。 授業資料に掲載している予習・復習課題を確実に行う。 				
成績評価の方法					
評価方法	第1～5回に関する定期試験85%、第6・7回に関する成果物及びグループへの貢献度15%により評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達とは何かについて説明できる。 生涯発達の過程である胎児期、生命の誕生、小児各期、成人期、老年期の特徴について説明できる。 グループワークに参加し、チームの一員として行動できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>* 提出された課題レポートは、2週間以内にコメントを付して返却する。(伊藤)</p> <p>* 提出された課題については、次の授業回等にポイントを解説する。(湯浅)</p> <p>* 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。(全員)</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	生涯人間発達論-人間への深い愛情を育むために- 第2版	服部祥子	医学書院		
	看護学テキストNice 成人看護学-成人看護学概論, 改訂第3版		南江堂	978-4-524-24176-7	
	ナーシング・グラフィカ 老年看護学①高齢者の健康と障害		メディカ出版	978-4-8404-7840-3	第7版
参考文献					
授業時に提示する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	科目責任者：湯浅美千代 myuasa@ 各講義担当者もオフィスアワーを設けていますが、実習等で不在の日も多いため、Eメールで事前に連絡してください。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	伊藤 龍子 鈴木 紀子	オリエンテーション 生涯発達とは 胎児期からの発達 妊娠中の胎児の発育 胎児の発育に影響を及ぼす要因 妊娠中からの母子相互作用と親役割 出産に伴う母子への影響	講義	[予習] ・使用テキストA p1-12を読み考えをまとめる、自分の親に出産体験を聞く（学習時間60分） [復習] ・胎児の発達と親となる過程の発達について自己の考えをまとめる（学習時間60分）
2	伊藤 龍子	小児各期の成長発達の概要 I 発達理論の概要 成長発達的一般原則 乳幼児期の子どもの発達 学童思春期の子どもの発達 小児各期の昨今の課題	講義	[予習] ・使用テキストA p12-107を読む（学習時間40分）。 [復習] ・配布資料とテキストに記載されている乳幼児期と学童思春期の子どもの成長発達の特徴を読み、要点をノートに記述する（学習時間30分）。
3	伊藤 龍子	小児各期の成長発達の概要 II 小児各期の身体的な発達 小児各期の機能的な発達 子どもの誕生：DVD視聴 小児各期の成長発達の概要 III 乳幼児期の発達の問題と課題 学童思春期の発達の問題と課題	講義	[予習] ・前回配布資料を再度読む（学習時間60分）。 ・使用テキストp25-24, 41-51, 60-70, 77-85, 95-101を読む（学習時間30分）。 [復習] ・配布資料とテキストに記載されている小児各期の身体的、機能的、心理社会的な成長発達の特徴を読み、要点をノートに記述する。（学習時間40分） ・DVDを視聴して、家族にとって子どもが誕生することの意味を考えてレポートにまとめる（学習時間40分）。 ・小児各期の発達に関する学説と知見、発達の問題とそのケア、今日的課題の要点をノートに記述する（学習時間40分）。
4	佐藤まゆみ	成人期の成長・発達と発達課題 ①青年期 ②壮年期・中年期の特徴 ③向老期の特徴	講義	[予習] テキスト「看護学テキストNice 成人看護学—成人看護学概論, 改訂第3版」のp2-p40を読む。（学習時間1時間） [復習] 授業資料とテキストを読み、要点を整理する（学習時間1時間）
5	湯浅美千代	老年期における発達の考え方と実際 ・サクセスフルエイジング ・老年期の発達課題	講義 * 配付資料をもとに進める。適宜、テキストを参照する。 * 写真、DVD等の老年期にある人の映像を見て、自分の考えを述べる。	[予習]自分のもつ高齢者イメージを表現する。（学習時間10分） [復習]学習した理論を整理し、老年期の発達について自分の考えをまとめる。（学習時間100分） 第1回から第5回の復習をする。（学習時間100分）
6-7	野崎 真奈美 他	生涯にわたって対象を中心とした医療・看護を提供するために、多職種が連携していることを理解する。他学部学生とのチームビルディングを通して、多職種連携におけるコミュニケーションのあり方を考える。	グループワーク （医学部との合同）	[予習]患者中心の医療に参画する職種にはどのようなものがあるか職種と役割について調べる。（学習時間60分） [復習]グループワーク（チームビルディング）の内容を振り返り、多職種連携におけるコミュニケーション重要性について自分の考えをまとめる。（学習時間60分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	小児看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Child Health Nursing	対象学年	2年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	伊藤 龍子	ナンバリング	CNL32C1
担当教員	伊藤龍子※、倉田慶子※、森多毅※、本間誠淳 ※、厚美彰子※ ※実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	子どもと家族の様々な問題、病態の本質を正確に理解することに重点を置き、子どもの成長・発達から子どもの権利まで、小児看護学に求められる理論を幅広く学び、また、子どもの健康問題をライフサイクルの観点から捉えることを通して、子どもと家族のケアの基盤づくりを学修する。			
授業の位置づけ	生涯発達論、子どもの発達と教育で学んだ知識を基に、乳幼児期と学童思春期の子どもを総合的に理解するために、あらゆる健康レベルに応じた小児看護学の特徴と役割について学修する。小児看護方法論、小児の健康障害と看護、小児看護学実習の基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-Ⅲ、◎DP2-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の対象である各期の子どもの発達段階と発達課題について説明できる。 2. 小児保健医療や小児看護学の欧州とわが国の歴史の変遷についてその概要を説明できる。 3. 世界的な子どもの権利保障と医療倫理の動向を踏まえて子どもとその家族にどのように対応する必要があるのかについて説明できる。 4. 子どもを取り巻くさまざまな環境について説明できる。 5. 成長発達に応じた子どもの生活のあり方について発達段階別に説明できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	子どもの発達と教育、発達心理学、生涯発達論			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に使用テキストを持参し、関連ページを開き、重要な箇所はマーカーを引いて聴講する。 ・授業の事前にシラバスに掲載している授業内容、予習・復習課題を確認し、必ず予習・復習課題に取り組む。 ・本科目は小児看護学の基盤となる科目であり、主体的に学修しながら、看護職者としての子ども観と子ども看護観を形成する。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験70%、授業参画度と事前課題30%とし、総合的に評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護学の対象である各期の子どもの発達段階と発達課題について説明できる。 2. 小児保健医療や小児看護学の欧州とわが国の歴史の変遷についてその概要を説明できる。 3. 世界的な子どもの権利保障と医療倫理の動向を踏まえて子どもとその家族にどのように対応する必要があるのかについて説明できる。 4. 子どもを取り巻くさまざまな環境について説明できる。 5. 成長発達に応じた子どもの生活のあり方について発達段階別に説明できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題の提出後に授業中にフィードバックする。試験については、補講で解説してフィードバックする。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
新体系 看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論 小児保健	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3401-0	第7版 2022.
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1) 及川郁子監修、伊藤龍子、及川郁子編集：小児慢性疾患療養育成指導マニュアル、診断と治療社、2006. 2) 及川郁子監修、西海真理、伊藤龍子責任編集：フィジカルアセスメントと救急対応、中山書店、2014. 3) 伊藤龍子編著：子ども急性期看護、医歯薬出版株式会社、2015. 4) 伊藤龍子編著：子どもの看護技術、医歯薬出版株式会社、2012. 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	・随時（事前にメールで連絡のこと r-ito@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	伊藤龍子	オリエンテーション 小児看護学の理念 成人と異なる子どもの特徴 子どもを取り巻く環境	講義	〔予習〕 ・テキストp1-14を読み、子どもという存在について考える。 ・生涯発達論のテキスト、配付資料とノートを読み、要点を記述する。 (学修時間1時間) 〔復習〕 ・配付資料を再度読み、授業計画から7回の授業全体をイメージする。(学修時間1時間) 〔キーワード〕 ・子ども、親、家族 ・成長発達、乳児期、幼児期、学童期、思春期 ・取り巻く環境、社会、教育 〔参考文献〕1) 2)
2	伊藤龍子	欧米とわが国の子ども観の歴史の変遷 小児保健医療と小児看護学の歴史の変遷 子どもの権利と倫理原則の世界的動向	講義	〔予習〕 ・テキストp16-56, 118-130を読み、子ども観と小児医療の歴史の変遷を学習する。 (学修時間1時間) 〔復習〕 ・配付資料とノートを再度読み、小児看護学の歴史の変遷、子どもの権利と倫理原則の世界的動向の要点を記述する。(学修時間1時間) 〔キーワード〕 ・子ども観の歴史の変遷 ・小児保健医療と小児看護学の歴史の変遷 ・子どもの権利条約 ・児童憲章 ・病院の子ども憲章 〔参考文献〕1) 2)
3	倉田慶子	乳幼児期の子ども生活 I 乳幼児の身体的発達、心理社会的発達 エリクソン、ピアジェ、ボウルビィ、スターンの理論概要 乳幼児の生活リズムと安全 予防接種	講義	〔予習〕 ・テキストp82-144, 148-173, 176-192を読み、乳幼児をイメージする。(学修時間1時間) 〔復習〕 ・配付資料とノートを再度読み、乳幼児の生活の要点を記述する。(学修時間1時間) 〔キーワード〕 ・乳幼児の身体的、心理社会的発達 ・粗大運動機能と微細運動機能 ・遊びと生活リズム ・会話と言語機能 ・母子関係の様相 ・自己中心性とアニミズム ・基本的な生活習慣 ・事故予防と安全 ・予防接種の種類とスケジュール 〔参考文献〕2) 3)
4	伊藤龍子	学童・思春期の子ども生活 I 学童・思春期の子ども身体的、心理社会的発達 二次性徴と自我同一性、こころの問題 いじめを改善するための対策 DVD視聴	講義、DVD視聴	〔予習〕 ・テキストp194-212, 216-233を読み、学童・思春期の子どもをイメージする。(学修時間1時間) 〔復習〕 ・配付資料とノートを再度読み、学童・思春期の子ども生活の要点を記述する。 (学修時間1時間) 〔キーワード〕 ・生活リズムの乱れ ・学修と学校生活 ・友人関係、家族関係 ・自我同一性と拡散、孤独感 ・事故予防 ・予防接種 ・児童虐待、いじめ問題

5	伊藤龍子	<p>学童・思春期の子ども生活Ⅱ いじめの定義 いじめをなくすための北欧とわが国の取り組み</p> <p>小児看護学の特徴と役割 小児看護学の目標 小児看護学の特徴と役割 小児看護学が目指す最大のゴール</p>	講義	<p>〔予習〕 ・テキストp194-233, 2-14, 16-37を読む。 ・メディアやマスコミの記事を検索して児童虐待やいじめの問題を把握する。(学修時間1時間)</p> <p>〔復習〕 ・配付資料とノート、テキストを再度読み、学童・思春期の子どもがいじめやそれによる自殺等の社会問題の要点を記述する。(学修時間1時間)</p> <p>〔キーワード〕 ・児童虐待といじめ ・児童虐待をなくす取り組み ・学童・思春期のこころの問題 ・いじめをなくすための取り組み ・いじめをなくす対策</p>
6・7	伊藤龍子、 倉田慶子、 森多毅、 本間誠淳、 厚美彰子	<p>乳幼児期の子ども生活Ⅱ—演習 人工乳と離乳食演習 子どもの生活—食事・清潔・排泄の援助演習 子どもの生活—移動・安全技術演習</p>	演習、GW	<p>〔予習〕 ・テキストp148-192を読み、乳幼児の生活の援助技術をイメージする。(学修時間1時間)</p> <p>〔復習〕 ・配付資料とノート、テキストを再度読み、指定した演習記録を完成させる。 ・各自時間を調整して実習室で技術演習を実施する。(学修時間1時間)</p> <p>〔キーワード〕 ・乳幼児の生活リズム ・人工乳・離乳食・幼児食 ・トイレトレーニング ・入浴・歯磨き・洗髪 ・衣類の着脱 ・移動、事故防止 〔参考文献〕3) 4)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	小児の健康障害と看護	必修・選択	必修
英語科目名	Children's Disability and Nursing	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	倉田 慶子	ナンバリング	CNL32G2
担当教員	西崎 直人※、岡崎 任晴※、伊藤龍子※ ※…実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	小児看護を行う上で必要な小児期特有の疾患の病態と治療について理解し学修する。また、子どもの成長発達について理解し、疾病・障害をもつ子どもとその家族への看護について学修する。				
授業の位置づけ	小児期特有の疾患について、その病態生理・治療を理解し、疾患や障害を持ちながら生活する子どもと家族が直面する健康問題とその看護について学修し、小児看護方法論Ⅰ、小児看護方法論Ⅱ、小児看護学実習の基礎と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、ODP2-II				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期特有の解剖生理、身体機能や構造をふまえ、疾患の病態生理、治療を説明することができる。 2. 疾患をもつ子どもを看護するために必要な医学的知識の必要性を述べることができる。 3. 小児期特有の疾患や子どもの成長発達を理解し、どのように看護実践するかを述べるができる。 				
先修要件	なし。				
関連科目	生化学、微生物学、薬理学、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、形態機能学Ⅰ、臨床検査学、小児看護学概論、小児看護方法論Ⅰ、小児看護方法論Ⅱ、小児看護学実習				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学生としての学修態度を培い、予習を行い授業に主体的に臨む。 2. レジュメの重要部分にマーカーを引き、ポイントはメモする。 3. 理解を深めるために、テキストを復習し自分なりにまとめておく。 4. 解剖生理を理解した上で、診断基準、病態、治療、検査、予後については正確に覚える。 5. 授業内容についての質問は適宜受け付け、授業の際に学生全体に解答する。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（90%）および出席態度、授業の参加度などの学習状況（10%）を総合して評価する。				
評価基準	小児期に特有な疾病の病態生理、治療、検査、看護について説明することができるか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
定期試験に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新体系 看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論/小児保健	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3401-0	第7版
	新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3402-7	第7版
参考文献					
授業の中で紹介する。 各授業で配付プリントあり。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	伊藤 龍子 随時（事前にメールで連絡のこと r-ito@）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	西崎 直人	小児疾病論 1 : 染色体・先天異常の疾患、新生児の特徴と疾患 <キーワード> 先天異常(21トリソミー等)、胎内環境、胎児期、染色体・遺伝子、新生児期、低出生体重児、新生児の呼吸・循環、生理的体重減少、生理的黄疸	講義	予習：胎児期・新生児期の解剖生理、キーワードについてテキストの関連項目を読んでおく。 (学習時間2時間) 復習：胎児期・新生児期の解剖生理を復習し、講義を受けた疾患を理解する。 (学習時間2時間)
2	西崎 直人	小児疾病論 2 : 呼吸器疾患、循環器疾患 <キーワード> 小児感染症、気管支喘息、肺炎、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、ファロー四徴症、川崎病	講義	予習：呼吸器・循環器の解剖生理、キーワードについてテキストの関連する項目を読んでおく。 (学習時間2時間) 復習：小児の呼吸器・循環器の解剖生理を復習し、講義を受けた疾患を理解する。小児感染症の特徴と病期の症状を覚える。それぞれの疾患の発生機序、メカニズム、診断、検査、治療予後について理解し、自分の言葉で説明できる。 (学習時間2時間)
3	西崎 直人	小児疾病論 3 : 内分泌・代謝性疾患、アレルギー疾患、免疫疾患 <キーワード> 小児の糖尿病、成長ホルモン分泌不全、先天性副腎皮質過形成、先天性甲状腺機能低下症・亢進症、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息	講義	予習：関連臓器の解剖生理、機能、キーワードについてテキストの関連項目を読んでおく。 (学習時間2時間) 復習：疾患の発生機序、メカニズム、診断、検査、治療予後について理解し、自分の言葉で説明できる。 (学習時間2時間)
4	西崎 直人	小児疾病論 4 : 血液疾患・腫瘍、腎・泌尿器疾患 消化器疾患 <キーワード> 白血病、固形腫瘍、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、尿路感染症、クローン病、潰瘍性大腸炎、感染性胃腸炎	講義	予習：腎・尿路系、消化器系の解剖生理を理解しておく。小児がんに関する分類や治療、キーワードにある疾患についてテキストの関連項目を読んでおく。 (学習時間2時間) 復習：解剖生理を理解した上で、疾患の診断基準、病態、治療、予後を理解する。特に、疾患の経過に焦点を置いて覚える。 (学習時間3時間)
5	西崎 直人	小児疾病論 5 : 神経疾患、神経発達症候群 災害医療、虐待 <キーワード> けいれん性疾患、てんかん、脳性麻痺、自閉症スペクトラム障害、ADHD(注意欠如多動性障害)、虐待、夜尿症	講義	予習：キーワードについてテキストの関連項目を読んでおく。 (学習時間2時間) 復習：疾患の経過を理解すると共に、病態治療を理解し、説明できる。 (学習時間3時間)
6	岡崎 任晴	小児疾病論 6 : 小児外科疾患 <キーワード> 小児外科的疾患、小児外科の子どもが抱える問題、小児外科の課題と展望、小児の麻酔・周手術期管理、食道閉鎖症、横隔膜ヘルニア、胆道閉鎖症、鎖肛、ヒルシュスプルング病、腸重積症、肥厚性幽門狭窄症、鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、水腎症、膀胱尿管逆流症、神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫	講義	予習：キーワードについてテキストの関連項目を読んでおく。 (学習時間2時間) 復習：小児外科特有の疾患について、発生機序、病態、診断、治療、予後について整理する。疾患や診断に関するキーワードを覚える。 (学習時間3時間)
7	伊藤 龍子	疾患をもつ子どもの看護 <キーワード> 疾患の病態生理、治療、子どもの成長発達、小児看護	講義	予習：小児看護学概論、形態機能学で学んだ子どもの成長発達について関連項目を復習しておく。 (学習時間2時間) 復習：疾患をもつ子どもを看護するために必要な知識について説明できるようにする。 (学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	小児看護方法論I (病期別援助論)	必修・選択	必修
英語科目名	Child Health Nursing Skills I	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	倉田 慶子	ナンバリング	PNL32C1
担当教員	伊藤龍子※、倉田慶子※、森多毅※、本間誠淳※、込山洋美※ ※実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	子どもと家族が抱える様々な問題と病態を正確に理解し、子どもの成長・発達の特徴と発達評価から子どもの権利まで、小児看護学に求められる理論を幅広く学び、子どもの健康問題をライフサイクルの観点から捉えることを通して、子どもと家族中心のケアの基盤を構築し、あらゆる病期に応じた看護援助方法や技術、現代の医療における看護師の役割を習得する。				
授業の位置づけ	小児看護学概論、小児の健康障害と看護で学んだ知識を基に、様々な健康状態にある子どもとその家族への看護ケアを学ぶために、成長・発達発達段階や症状・病期別に、子どもと家族との通した対象理解と、それに基づいたアセスメントと看護過程を展開する。また、子どもと家族の看護に必要な看護技術や意志決定支援、教育的支援、発達評価について、病態理解に基づく看護実践を念頭に、小児期によくみられる疾患の定義・特徴、処置・治療の方法について学修する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-IV、○DP2-I、○DP2-II、◎DP2-III、△DP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の健康障害と成長発達に応じた看護と発達評価の方法について説明できる。 2. 小児期によく見られる健康障害を理解し、看護援助に必要な方法について説明できる。 3. 小児期によく見られる健康障害に伴う病態と治療を理解し、病期に応じた看護について説明できる。 4. さまざまな健康状態にある子どもと家族への看護援助方法や看護技術について説明できる。 				
先修要件	なし。				
関連科目	生涯発達論、子どもの発達と教育、小児看護学概論、小児の健康障害と看護				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に使用テキストを持参し、関連ページを開き、重要な箇所はマーカーを引いて聴講する。 ・初回授業時に配布する事前および事後課題、参考文献を読み、計画的に予習を進める。 ・提示した課題は必ず提出期限を守り提出する。 ・提示されたテキストの予習範囲は必ず熟読して授業に臨む。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験 (80%)、課題レポート・学習参画度 (20%) を総合的に評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の健康障害と成長発達に応じた看護と発達評価の方法について説明できるかどうか。 2. 小児期によく見られる健康障害を理解し、看護援助に必要な方法を説明できるかどうか。 3. 小児期によく見られる健康問題に伴う病態と治療を理解し、病期に応じた看護について説明できるかどうか。 4. さまざまな健康状態にある子どもと家族への看護援助方法や看護技術について説明できるかどうか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>課題は初回授業のオリエンテーションで課題内容と提出日時の一覧を提示し、事務室の前の課題提出用メールボックスを用意する。</p> <p>試験・課題については、終了後に授業において解説しながら解答を示す。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	小児看護学① 小児看護学概論 小児保健	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3359-4	第6版 テキスト1
	小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3360-0	第6版 テキスト2
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 及川郁子監修、伊藤龍子、及川郁子編集、小児慢性疾患療養育成指導マニュアル、診断と治療社、2006。 2) 及川郁子監修、西海真理、伊藤龍子責任編集、フィジカルアセスメントと救急対応、中山書店、2014。 3) 伊藤龍子編著、子どもの看護技術、医歯薬出版株式会社、2012。 4) 伊藤龍子編著、子ども急性期看護、医歯薬出版株式会社、2015。 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	・随時 (事前にメールで連絡のこと k.kurata.xu@)				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	倉田慶子	1. 小児期の健康障害と成長発達に応じた看護 2. 子どもの病気の理解と看護 <キーワード> コミュニケーション方法, 遊び, 学習, 認知の発達, 病気の理解, 病児, デンバーⅡ発達スクリーニング検査, 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法, 小児基本動作スケール, 小児基本動作スケール・タイプ1	講義	予習: 既存の関連授業の資料を読む。テキスト2 p2-20, 78-95を読み、子どもの発達段階別の健康障害をイメージする。 (学習時間2時間) 復習: 小児看護方法論Ⅰ(病児別援助論)の学習目標を理解し、テキストの関連ページを読む。キーワードを復習し、テキストの内容を確認する。 (学習時間2時間) 参考文献: 1) 2)
2	倉田慶子	3. 急性期にある子どもと家族の看護 <キーワード> 急性症状, 先天性疾患, 観察, アセスメント, 救急看護	講義	予習: テキスト2 p126-142, 205-210, 急性期および先天性疾患の子どもの特徴について理解する。 (学習時間2時間) 復習: 急性期および先天性疾患の子どもと家族の特徴を踏まえたアセスメントについて理解する。 (学習時間2時間) 参考文献: 2) 4)
3	倉田慶子	4. 障害のある子どもと家族の看護 <キーワード> 国際生活機能分類, 身体障害, 知的障害, 発達障害, 日常生活援助	講義	予習: テキスト2 p210-217 ・小児の健康障害と看護の授業資料を復習し、心身障害, 重症心身障害, 医療的ケアの必要な超重症児とその家族の特徴について理解する。 ・障害の定義, 障害児とその家族の特徴, 子どもと家族の障害受容, アセスメントについて理解する。 (学習時間2時間) 復習: ・配付資料とテキストを再度読み、障害の種類, 子どもと家族の障害受容モデルを理解する。 ・障害児と家族のための看護の実際についてノートにまとめる。(学習時間2時間) 参考文献: 1)
4	倉田慶子	5. 検査や処置を受ける子どもと家族の看護 <キーワード> プレパレーション, 骨髄穿刺, 腰椎穿刺, 吸引, 吸入, コミュニケーション方法, 発達段階	講義	予習: テキスト2 p166-169, 277-285, 320-348 ・子どもの病気の理解, 検査や処置を受ける子どもと家族の看護について復習する。 テキスト2 p26-75 ・発達段階別の身体構造機能の特徴を復習し、テキストを読む。 (学習時間3時間) 復習: ・子どもの検査や処置の留意点を理解する。 ・子どもの検査や処置の目的, 方法, プレパレーション, 検査や処置前中後の看護について理解する。 (学習時間3時間)
5	森 多毅	6. 手術を受ける子どもと家族の看護 <キーワード> 手術, プレパレーション, 全身麻酔, 侵襲, 痛み, ショック, 合併症, 日帰り手術	講義	予習: テキスト2 p. 102-112, 132-142 ・成人看護学の周手術期の看護を復習する。 ・テキストを読み、周手術期の子どもと家族の特徴を理解する。 (学習時間2時間) 復習: ・手術を受ける子どもと家族の周手術期の一連の看護, 検査や処置の意味や留意点, 麻酔による影響, 合併症を理解する。 (学習時間2時間) 参考文献: 4)
6	倉田慶子	7. 慢性期にある子どもと家族の看護 <キーワード> 小児慢性特定疾病対策, 糖尿病, 気管支喘息, ネフローゼ症候群	講義	予習: 代表的な小児の慢性疾患(糖尿病, 気管支喘息, ネフローゼ症候群など)の病態生理, 治療, 経過を理解する。 (学習時間2時間) 復習: 慢性期にある子どもと家族の生活, 成長発達に応じた看護を理解する。 (学習時間2時間)
7	込山 洋美	8. 終末期にある子どもと家族の看護 <キーワード> 小児緩和ケア, 子どもの死の捉え方, 看取りのケア, グリーフワーク, グリーフケア	講義	予習: テキスト2 のp155-161を読み、学生自身が子どもの頃に「死」という事象をどのように捉えていたのか振り返る。 (学習時間2時間) 復習: 配付資料を熟読し、看護のあり方について検討する。 (学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	小児看護方法論II（状況別援助論）	必修・選択	必修
英語科目名	Child Health Nursing Skills II	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	倉田 慶子	ナンバリング	PNL32C2
担当教員	伊藤龍子※、倉田慶子※、森多毅※、本間誠淳※、込山洋美※、厚美彰子※、白幡峰子※、菅原淳※、磯邊聡子※ ※実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	様々な健康状態にある子どもとその家族への看護ケアを学ぶために、成長・発達段階や症状・経過・状況・場ごとに、子どもと家族との体験を通じた対象理解と、それに基づくアセスメント・看護ケアを展開するための看護者の役割について学修する。また、子どもの看護に必要な看護技術や意志決定支援・教育的支援について、実践に裏付けられたあり方を学び、病態理解に基づく看護ケアを念頭に、小児期によくみられる疾患の定義・特徴・検査・処置の方法などを学修する。			
授業の位置づけ	生涯発達論、子どもの発達と教育、小児看護学概論、小児の健康障害と看護の既習の知識を基に、小児看護方法論Ⅰの病期別援助論を学んだ後に、小児看護方法論Ⅱを習得し、小児看護学実習の基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-Ⅳ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅱ、◎DP2-Ⅲ、△DP3-Ⅰ			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の健康障害と成長発達に応じた看護について説明できる。 2. 小児期によく見られる健康障害を理解し、看護援助に必要な方法について説明できる。 3. 小児期によく見られる健康障害に伴う病態と治療を理解し、状況に応じた看護について説明できる。 4. さまざまな健康状態にある子どもと家族への看護援助方法や看護技術について実践できる。 5. 事例演習を通して子どもと家族に必要な看護計画を立案し、看護を展開できる。 			
先修要件	なし。			
関連科目	生涯発達論、子どもの発達と教育、小児看護学概論、小児の健康障害と看護			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に使用するテキストを持参し、関連ページを開き、重要な箇所はマーカーを引いて聴講する。 ・初回授業時に配布する事前および事後課題、参考文献を読み、計画的に予習を進める。 ・看護過程の課題に関する資料は授業開始後に配付する。 ・提示した課題は必ず提出期限を守り提出する。 ・提示されたテキストの予習範囲は必ず熟読して授業に望む。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（70%）、課題レポート・学習参画度（30%）を総合的に評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の健康障害と成長発達に応じた看護について説明できるかどうか。 2. 小児期によく見られる健康障害を理解し、看護援助に必要な方法について説明できるかどうか。 3. 小児期によく見られる健康障害に伴う病態と治療を理解し、状況に応じた看護について説明できるかどうか。 4. さまざまな健康状態にある子どもと家族への看護援助方法や看護技術を実践できるかどうか。 5. 事例演習を通して子どもと家族に必要な看護計画を立案し、一連の看護を展開できるかどうか。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックを希望する学生には随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
新体系 看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論 小児保健	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3359-4	第6版 テキスト1
新体系 看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3360-0	第6版 テキスト2
参考文献				
伊藤龍子編著、子どもの看護技術、医歯薬出版株式会社、2012。 及川郁子監修、西海真理、伊藤龍子責任編集、フィジカルアセスメントと救急対応、中山書店、2014。 伊藤龍子編著、子ども急性期看護、医歯薬出版株式会社、2015。 及川郁子監修、伊藤龍子、及川郁子編集、小児慢性疾患療養育成指導マニュアル、診断と治療社、2006。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと k.kurata.xu@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	倉田慶子	1. 小児感染症・隔離・行動制限がある子どもと家族の看護 <キーワード> 小児感染症、潜伏期間、安静、隔離、行動制限、感染予防、子どもの権利、発達段階、認知とコミュニケーション、遊び、学習	講義	予習：テキスト2 p546-557 ・小児の健康障害と看護の授業資料を復習し、テキストの指摘ページを読む。 (学習時間1時間) 復習： ・小児感染症の特徴と予防、感染時の対策を理解する。 ・隔離や行動制限が必要な子どもと家族の置かれている状況を理解し、必要な看護について記述する。 (学習時間2時間)
2	白幡 峰子	2. 特別な支援を受ける新生児・乳児と家族の看護 <キーワード> 低出生体重児、NICU、デベロップメンタルケア、ミニマルハンドリング、長期フォローアップ	講義	予習：テキスト2 p26-47, 200-205, 374-402を読む。 ・NICUに関するメディアの情報を調べる。 (学習時間1時間) 復習： ・低出生体重児の解剖・生理・機能の特徴を理解し、看護のポイントを整理する。 ・低出生体重児の社会的背景について調べ、看護のあり方について理解する。 (学習時間2時間)
3, 4, 5	森 多毅 本間誠淳 倉田 慶子 込山 洋美 磯邊 聡子 伊藤龍子	3-1) 2) 3) 子どもによく見られる症状の観察：フィジカルアセスメント <キーワード> フィジカルアセスメント、バイタルサイン測定、身体計測、コミュニケーション方法、各発達段階、発熱、脱水、嘔吐、下痢、呼吸困難、疼痛	講義・演習	予習：テキスト2 p288-318を読む。 ・発達段階別の身体の構造と機能の特徴を復習する。 ・症状の定義、メカニズム、特徴、原因、観察項目、フィジカルアセスメントの方法を学習し、グループワークのプレゼンテーションの準備をする。 ・課題レポート：グループワークのための事前課題あり。詳細は授業内で説明する。 (学習時間4時間) 復習：配付資料を熟読し、子どもの発達に合わせたフィジカルアセスメントを理解する。 (学習時間2時間)
6, 7, 8	森多毅 本間誠淳 倉田慶子	4-1) 2) 3) 健康障害のある子どもと家族に必要な看護過程の展開 <キーワード> 看護過程、情報収集、充足・未充足、アセスメント、関連図、看護問題、看護目標、看護計画、評価	講義・演習	予習：テキスト2 p78-123を読む。 ・基礎看護学で学んだ漢語過程の目的と方法について復習する。 ・小児各期の成長発達、子どもによく見られる疾患と治療について復習する。 ・課題レポート：授業内に提示する。 (学習時間2時間) 復習：子どもと家族の看護過程の特徴を理解し、看護に必要な情報を整理、アセスメント、関連図、看護問題の抽出、目標設定、具体策の立案を実施する。 (学習時間2時間)
9	倉田慶子	5. 内分泌疾患をもつ子どもと家族の看護 <キーワード> 下垂体疾患・甲状腺疾患・骨・副工場制疾患・性腺疾患・性分化疾患・成長ホルモン・低身長・ボディイメージ・抗利尿ホルモン・新生児マススクリーニング・自己免疫機序・長期フォローアップ・移行期支援	講義	予習：・テキストp558~565を読み、内分泌疾患を持つ子どもと家族について理解する ・内分泌疾患をもつ子どもと家族がどのような生活をしているのかを手記やSNSなどを調べ、子どもと家族の体験を理解する。(学習時間1時間) 復習：配布資料を熟読し、内分泌疾患をもつ子どもと家族の看護について理解する (学習時間2時間)
10	倉田慶子	6. 虐待が疑われる子どもと家族の看護 7. 子どもの事故と事故防止 <キーワード> 児童虐待防止法、児童福祉法、成育基本法、児童虐待の分類と特徴、児童虐待のリスク因子、マルトリートメント、虐待防止策、児童相談所、福祉事務所、警察署、通告、通報、貧困、子どもの事故の特徴、窒息、誤嚥・誤飲、転落、溺水、熱傷、入院で起こる事故と特徴、安全教育	講義	予習： テキスト1 p42-43, 62-65, 261-262 テキスト2 p254-261, 602-603, 611-619 ・テキストの指摘ページを読む。 ・児童虐待に関するメディアの情報を調べる。 ・提示された事前課題を遂行する。 (学習時間1時間) 復習： ・配付資料を熟読し、被虐待児と家族の特徴と看護について理解する。 ・児童虐待の現状を把握し、看護職者としての対策を理解する。 (学習時間1時間)

11	森 多毅 倉田 慶子 本間誠淳 伊藤 龍子 菅原 淳 込山 洋美 厚美彰子 磯邊 聡子	8. 健康障害のある子どもと家族に必要な看護：技術演習 <キーワード> 輸液管理、経口与薬、小児各期の発達、インフォームド・アセント、インフォームド・コンセント、プリパレーション、ディストラクション、安静、安楽、最善の利益、子どもの権利	演習	予習： テキスト2 p78-123, 329-332, 334-338 ・子どもへの与薬・輸液管理について、テキストの指摘ページ・参考文献を活用して事前課題を完成させる。 ・子どもへの与薬・輸液管理について、Nursing Skills にて動画視聴を行い、手順と技術を理解する。 (学習時間：2時間) 復習： ・演習で展開した子どもへの与薬と輸液管理について、看護のポイントを理解する。 ・子どもの健康問題と発達段階に応じた安全な与薬・輸液管理の技術を理解する。 (学習時間：2時間) 事前課題： ・技術演習のための事前課題あり。詳細は授業内で説明する。
12	倉田 慶子	9. 重症心身障害児と家族の看護 10. 在宅療養を要する子どもと家族の看護 <キーワード> 国際生活機能分類、身体障害、知的障害、重症心身障害、超重症児、医療的ケア、日常生活援助、障害受容、セルフケア促進、身体障害者手帳、療育手帳、在宅療養移行支援、多職種連携	講義	予習：テキスト2 p205-223, 235-245 ・テキストの指摘ページを読む。 ・重症心身障害児、超重症児、在宅療養を要する子どもと家族に関するメディアの情報を調べる。 (学習時間2時間) 復習： ・重症心身障害児とその家族の特徴と看護のポイントについて記述する。 ・入院生活から在宅療養への移行に向けた意思決定支援とセルフケア行動の促進を含む看護の役割について記述する。 ・多職種の連携と社会資源の活用における看護のポイントについて記述する。 (学習時間2時間)
13	森 多毅	11. 災害を受けた子どもと家族の看護 <キーワード> 自然災害、事故災害、要配慮者、ストレス障害、トラウマ反応、災害トリアージ、心のケア、災害時小児周産期リエゾン	講義	予習： テキスト2 p261-266 ・テキストの指摘ページを読む。 ・災害に関するメディアの情報を調べる。 (学習時間1時間) 復習： ・災害による子どもへの影響とストレスについて理解する。 ・災害に遭遇した子どもと家族への看護について記述する。 (学習時間1時間)
14	本間誠淳	12. 救命救急を要する子どもと家族の看護 <キーワード> 不慮の事故、外傷、熱傷、誤飲・誤嚥、溺水、熱中症、薬物中毒、食中毒、アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アナフィラキシー、エピベン	講義	予習： テキスト2 p105-113, 126-132, 188-200, 570-578, 611-619 ・テキストの指摘ページを読む。 ・救命救急に関するメディアの情報を調べる。 (学習時間1時間) 復習： ・救命救急処置を要する子どもと家族の特徴とその看護について記述する。 ・救急医療において著名な病態に対する処置法について理解する。 (学習時間1時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	小児看護学実習	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Child Health Nursing	対象学年	3, 4年
開講学期	複期	単位数	2単位
代表教員	伊藤 龍子	ナンバリング	PNL32C3
担当教員	伊藤龍子※、倉田慶子※、森多毅※、本間誠淳※、厚美彰子※、磯邊聡子※ ※実務家担当教員	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	既習の知識と技術を統合して、あらゆる健康レベルにある子どもと家族に対し、子どもの権利を尊重した適切な看護を実践するための基礎的な能力を修得する。				
授業の位置づけ	小児看護学概論、小児の健康障害と看護、小児看護方法論Ⅰ・Ⅱを通して、様々な健康状態にある子どもと家族に対する看護援助方法と看護技術を習得した。この既習の知識と技術を駆使して、保育所・幼稚園・認定こども園において、地域で生活する子どもへの対応の仕方を学び、実際に病棟に入院している子どもと家族を受け持ち、子どもの健康状態に応じた看護援助方法と看護技術を実践するための看護過程を展開する。子どもと家族への看護を提供するために、カルテやコミュニケーションを通して必要な情報を収集してアセスメントし、看護問題を見極め、問題の解決や改善のための看護計画を立案する。その看護計画に基づいて、受け持ちの子どもと家族に対して、教員と実習指導者からの指導の下に、実際に看護の実践する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-CB、○DP2-III				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもに関心を持ち、子どもおよび家族との関係を築く。 2. 子どもの成長発達を理解する。 3. 子どもの生活を理解し、成長発達を促進する援助について学ぶ。 4. 健康障害や入院が子ども家族に及ぼす影響を理解する。 5. 入院している子どもと家族のアセスメントを行い、看護を実践する。 6. 子どもの安全について理解し、事故を防止する。 7. チーム医療を学び、他職種における看護職者の役割を理解する。 8. 主体的に学習し、責任ある態度を培う。 				
先修要件	小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ				
関連科目	看護学概論、生涯発達論、小児看護学概論、小児の健康障害と看護、微生物学、薬理学、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、形態機能学Ⅰ、臨床検査学、臨床栄養学				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の科目を統合して事前課題を遂行し、オリエンテーション時の技術演習を通して知識と技術を統合するための能力を養い、実習に臨む。 ・提示された注意事項を順守し、日々の健康管理を行い、あらゆる健康レベルにある子どもと家族を尊重し、実習施設の医療職者と職員の指導に対する感謝の念を忘れない。 <p>【事前準備】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期に多い感染症の抗体価を自分自身で確認し、保育所等の実習施設より指示されている検体検査を確実にを行い、万全な体調で実習に臨む。 2. 指定された事前課題は、実習で活用できる有効な資料となるよう効率的に学習する。 3. 効果的に実習に臨むために、オリエンテーションの内容は十分に理解する。 4. オリエンテーションで実践する技術演習は、事前学習を行い、オリエンテーション終了後に個別に練習する。 5. 実習記録は、大学の教員と臨地実習指導者の双方から指導を受ける。 6. 受け持ちの子どもについて発育評価と発達評価を確実にを行い、成長発達レベルに応じた看護実践をする。 				
成績評価の方法					
評価方法	実習内容と実習記録・レポートを基に到達目標の達成度85%、カンファレンスを含む実習態度15%を目安として総合的に評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもに関心を持ち、子どもおよび家族との関係を築くことができる。 2. 子どもの成長発達についてその概要を説明できる。 3. 子どもの生活を理解し、成長発達を促進する援助について説明できる。 4. 健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響について説明できる。 5. 入院している子どもと家族のアセスメントを行い、看護を実践できる。 6. 子どもの安全について理解し、事故を防止できる。 7. チーム医療を学び、他職種における看護職者の役割について説明できる。 8. 主体的に学習し、責任ある態度を培うことができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
カンファレンスと個人面接でフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
新体系 看護学全書	小児看護学①小児看護学概論 小児保健	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	978-4-8392-3359-4	第6版
新体系 看護学全書	小児看護学②健康障害をもつ小児の看護	小林京子、高橋孝雄編集	メヂカルフレンド社	987-4-8392-3460-0	第6版

参考文献				
伊藤龍子編著、子ども急性期看護、医歯薬出版株式会社、2015。 伊藤龍子編著、子どもの看護技術、医歯薬出版株式会社、2012。 及川郁子監修、西海真理、伊藤龍子責任編集、フィジカルアセスメントと救急対応、中山書店、2014。 及川郁子監修、伊藤龍子、及川郁子編集、小児慢性疾患療養育成指導マニュアル、診断と治療社、2006。				
その他				
連絡先・オフィスアワー		・随時（事前にメールで連絡のこと r-ito@）		
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1日目	実習配置表参照	保育所・幼稚園・認定こども園実習 〔キーワード〕 ・成長発達 ・乳幼児の食事と排泄 ・発達段階に応じた遊び ・基本的生活習慣の自立 ・実習施設の健康管理と安全管理	実習	〔予習〕 ・実習要項、小児看護学概論、小児看護方法論Ⅰ・Ⅱの乳幼児に関するページを読む。（学習時間60分） 〔復習〕 ・1日関与した乳幼児の発達段階に応じたコミュニケーション、生活と遊びについての実践、保育士と幼稚園教員の援助方法を振り返り、学びを深めたことなどを記載して実習記録を完成させる。（学習時間80分）
1日目	実習配置表参照	小児病棟の特徴の理解 小児病棟で起こりやすい事故の特徴と事故防止対策 受け持ち患児とのコミュニケーション 〔キーワード〕 ・乳幼児期、学童思春期の特徴 ・小児期の病態と治療の特徴 ・小児病棟の構造 ・発達段階別に起こりやすい事故の特徴 ・入院中に起こりやすい事故の特徴 ・事故防止対策	実習	〔予習〕 ・実習要項、小児看護学概論、小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ、小児の健康障害と看護のテキストと配付資料を読む。（学習時間80分） 〔復習〕 ・小児病棟の特徴を理解し、受け持ち患児の情報を把握して疾患や症状に対する看護を調べて実習記録を記述する。（学習時間80分）
2日目	実習配置表参照	受け持ち患児と家族のための情報収集 収集した情報の整理とアセスメント 受け持ち患児の生活援助の見学実習 〔キーワード〕 ・子どもと家族とのコミュニケーション ・必要と判断した情報の収集 ・アセスメントと関連図 ・生活援助 ・事故防止対策	実習	〔予習〕 ・受け持ち患児の病態を理解し、病態生理、症状、検査・診断と治療、予後、看護のポイントをまとめ、看護の方向性を明確にし、関連図を用いた発表の準備をする。（学習時間80分） 〔復習〕 ・受け持ち患児の病態を踏まえ、必要な情報を収集してアセスメントし、関連図を完成させる。（学習時間80分）
3日目	実習配置表参照	受け持ち患児と家族の看護問題の見極めと看護実践 小児外来実習 〔キーワード〕 ・アセスメント：情報の分析、解釈、統合 ・看護計画立案 ・看護実践の評価 ・外来実習（4-9日目）	実習	〔予習〕 ・日々の実習記録を完成させ、受け持ち患児に必要な看護技術を学習し、実践できるように準備する。 ・情報をアセスメントし、受け持ち患児と家族の看護問題を見極めて看護計画を立案する。（学習時間90分） 〔復習〕 ・1日を振り返り、提供した看護実践を評価し、看護問題リストと看護計画を完成させる。（学習時間90分）
4日目	実習配置表参照	看護計画立案と看護実践 1週目の到達目標の到達度と2週目の課題の明確化 〔キーワード〕 ・看護計画立案 ・看護計画に基づいた看護実践 ・計画の評価と加筆修正 ・新たな情報収集	実習	〔予習〕 ・日々の実習記録を完成させ、受け持ち患児に必要な看護技術を学習し、実践できるように準備する。 ・看護実践のための看護計画を完成させる。（学習時間80分） 〔復習〕 ・看護計画を実践して評価し、計画の加筆修正により看護計画を完成させる。 ・受け持ち患児の変更がある場合は、情報収集してアセスメント、看護問題リスト、看護計画を立案する。（学習時間100分）

5日目	実習配置表参照	2週目の課題に応じた情報収集、アセスメント、看護計画立案、計画の実践と評価、加筆修正 〔キーワード〕 ・看護計画に基づいた看護実践 ・新たな情報収集、アセスメント、計画立案 ・看護計画と看護実践の評価	実習	〔予習〕 ・1週目で実践した看護過程を見直し、看護計画の発表の準備をする。 ・2週目の課題に応じた学習をする。 ・見学実習に関する実習目標と実習内容、事前学習課題を熟読する。(学習時間90分) 〔復習〕 ・自己の課題に応じた実習記録を作成する。 ・受け持ち患児に必要な看護技術の中で未習得の技術について調べて実践できるように計画する。(学習時間90分)
6-7日目	実習配置表参照	2週目の到達目標と実習記録の完成、今後の課題の明確化 NICU・新生児治療室見学実習、手術見学など 〔キーワード〕 ・看護計画に基づいた看護実践 ・見学実習 ・NICU・新生児治療室看護 ・到達目標の到達度評価	実習	〔予習〕 ・2週目の課題に応じた学習をする。 ・見学実習に関する実習目標と実習内容、事前学習課題を熟読する。(学習時間80分) 〔復習〕 ・自己の課題に応じた実習記録を完成させる。 ・受け持ち患児に関する申し送り事項を明確にして記録する。(学習時間80分)
8-9日目	実習配置表参照	2週目の到達目標と実習記録の完成、今後の課題の明確化 NICU・新生児治療室見学実習、手術見学など 〔キーワード〕 ・看護計画に基づいた看護実践 ・見学実習 ・NICU・新生児治療室看護 ・到達目標の到達度評価	実習	〔予習〕 ・2週目の課題に応じた学習をする。 ・見学実習に関する実習目標と実習内容、事前学習課題を熟読する。(学習時間80分) 〔復習〕 ・自己の課題に応じた実習記録を完成させる。 ・受け持ち患児に関する申し送り事項を明確にして記録する。(学習時間80分)
10日目	実習配置表参照	2週間の実習のまとめ 実習記録の完成と提出	実習	

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	成人看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Adult Nursing	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	佐藤 まゆみ	ナンバリング	FNL32B1
担当教員	佐藤まゆみ※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要					
全体内容	生涯発達論での「成人期にある人の成長・発達の特徴」の学びをふまえて、成人期にある人の健康問題の特徴を理解する。また、成人期にある人への看護アプローチの基本を理解するとともに、健康状態に応じた看護のあり方について理解する。				
授業の位置づけ	成人期にある人の特徴を理解し、成人期にある人に対する看護のあり方／考え方を学ぶ科目である。成人看護方法論Ⅰ～Ⅳ、及び、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱの基盤となる科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅰ ○DP2-Ⅱ ○DP2-Ⅲ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある人の健康問題の特徴について説明できる。 2. 成人期にある人への看護アプローチの基本について説明できる。 3. 健康の保持・増進に取り組む成人の特徴と看護のあり方について説明できる。 4. 健康状態が急激に悪化した成人の特徴と看護のあり方について説明できる。 5. 障害のある成人の特徴と看護のあり方について説明できる。 6. 慢性疾患と共存する成人の特徴と看護のあり方について説明できる。 7. 凶生の最期の時を迎える成人の特徴と看護のあり方について説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	看護学概論、生涯発達論、成人看護方法論Ⅰ～Ⅳ、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業にはテキストを持参すること ・予習、復習課題に取り組むこと 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験90%、課題レポート10%。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある人の健康問題の特徴について説明できるか。 2. 成人期にある人への看護アプローチの基本について説明できるか。 3. 健康の保持・増進に取り組む成人の特徴と看護のあり方について説明できるか。 4. 健康状態が急激に悪化した成人の特徴と看護のあり方について説明できるか。 5. 障害のある成人の特徴と看護のあり方について説明できるか。 6. 慢性疾患と共存する成人の特徴と看護のあり方について説明できるか。 7. 凶生の最期の時を迎える成人の特徴と看護のあり方について説明できるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは、提出後2週間程度でフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	看護学テキストNiCE 成人看護学-成人看護学概論、改訂第4版		南江堂	978-4-524-23073-0	
参考文献					
授業の中で紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと） m.sato.qh@				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	佐藤	成人期にある人の健康問題の特徴 1) 成人の健康の動向 2) 成人期にある人の健康問題 [キーワード] 成人期の特徴, 成長発達, 社会的役割, 健康問題	講義	[予習] テキストp86-97, p113-133, p141-146を読む(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストを読み理解を深める(学習時間2時間)
2	佐藤	成人への看護アプローチの基本 1) 大人の学びの特徴 2) 大人の学びへの支援 (1) 援助関係の構築 (2) エンパワメント 3) 意思決定支援 4) 専門職連携/チーム医療 [キーワード] 患者-看護師関係, アンドラゴジーモデル, エンパワメント, 意思決定支援, 専門職間連携	講義	[予習] テキストp192-196, p209-213, p300-309を読む(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストを読み理解を深める(学習時間2時間)
3	佐藤	健康状態に応じた看護1: 健康の保持・増進に取り組む成人と看護のあり方 1) 健康の保持・増進に取り組む成人の特徴 2) ヘルスプロモーション 3) 行動変容 4) 健康の保持・増進に取り組む成人への看護のあり方 [キーワード] ヘルスプロモーション, 変化ステージモデル, 自己効力, 特定健康診査・特定保健指導	講義	[予習] テキストp98-102, p 205-208, p240-248を読む(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストを読み理解を深める(学習時間2時間)
4	佐藤	健康状態に応じた看護2: 健康状態が急激に悪化した成人と看護のあり方 1) 健康状態が急激に悪化した成人の特徴 2) ストレス・危機 3) 健康状態が急激に悪化した成人への看護のあり方 [キーワード] 急性期, ストレス, 危機理論, アキュレラの危機の問題解決モデル, フィンクの危機モデル	講義	[予習] テキストp174-186, p257-266を読む(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストを読み理解を深める(学習時間2時間)
5	佐藤	健康状態に応じた看護3: 障害のある成人と看護のあり方 1) 障害とは 2) 障害のある成人の特徴 3) リハビリテーション 4) 障害のある成人への看護のあり方 [キーワード] 生活機能, 生活機能障害, リハビリテーション, 回復期リハビリテーション	講義	[予習] テキストp267-275を読む(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストを読み理解を深める(学習時間2時間) [課題レポート] テーマは授業時間内に提示する(学習時間2時間)
6	佐藤	健康状態に応じた看護4: 慢性疾患と共存する成人と看護のあり方 1) 慢性疾患と共存する成人の特徴 2) セルフケア・セルフマネジメント 3) 慢性疾患と共存する成人への看護のあり方 [キーワード] 慢性期, 慢性疾患, セルフケア, セルフマネジメント	講義	[予習] テキストp197-204, p276-287を読む(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストを読み理解を深める(学習時間2時間)
7	佐藤	健康状態に応じた看護5: 人生の最期のときを迎える成人と看護のあり方 1) 人生の最期のときを迎える成人の特徴 2) 人生の最期のときを迎える成人への看護のあり方 [キーワード] 終末期, 死, 脳死, スピリチュアルペイン, 緩和ケア, ホスピスケア, エンド・オブ・ライフケア	講義	[予習] テキストp288-297を読む(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストを読み理解を深める(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	成人看護方法論I (病態・治療支援論)	必修・選択	必修
英語科目名	Adult Nursing Skills I	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	高谷 真由美	ナンバリング	CNL32B1
担当教員	高谷真由美※、長瀬雅子※、池田恵※、樋野恵子※、高山京子※、田中朋子※、阿久澤優佳※、坂本亜弓※、北村幸恵※、瀬尾昌枝※、宮津珠恵※ ※実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	成人期にあり、様々な健康レベルにある患者の病態と治療について理解し、患者・家族のセルフケア能力に応じた援助方法を理解する。			
授業の位置づけ	成人看護学概論を基盤に、機能障害を持つ成人患者の看護におけるアセスメントや看護援助方法について学修する。学修した内容は成人看護方法論Ⅱ、Ⅲ、Ⅳおよび成人看護学実習Ⅰ・Ⅱで活用する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅲ ○DP2-Ⅰ ○DP2-Ⅱ ○DP3-Ⅰ			
到達目標	1. 成人期にあり疾患を持つ患者の身体に生じている病態を理解し、症状・検査データなどに基づいた機能障害のアセスメントができる。 2. 成人期にあり身体的機能障害や疾患を持つ患者に行われる医学的治療の特徴と必要な看護援助の特徴を理解できる。 3. 成人期にあり疾患の検査・治療を受ける患者と家族の看護援助に関して、必要な情報・アセスメント・ケアプランについて理解し、セルフケア能力に応じた実践方法を考えることができる。			
先修要件	なし			
関連科目	成人看護学概論、形態機能学、病態学、臨床検査学、臨床医学、成人看護方法論Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、フィジカルアセスメント			
学修上の注意	講義・演習の前には必ず関連する既習科目を復習しておく。 受動的な態度で授業に臨むのではなく、自らの疑問や課題を持ちながら積極的・意欲的な態度で授業に参加することを期待する。			
成績評価の方法				
評価方法	試験成績80%、授業内課題レポート20%			
評価基準	1. 疾患を持つ患者の身体に生じている病態と、機能障害のアセスメントに必要な症状・検査データを説明できる。 2. 成人期にあり身体的機能障害や疾患を持つ患者に対して、健康レベルに応じて行われる医学的治療の特徴と看護援助の特徴を説明できる。 3. 成人期にあり疾患の検査・治療を受ける患者と家族の看護援助に関して、必要な情報・アセスメント・ケアプランについて説明でき、対象者のセルフケア能力に応じた実践方法を考えて記述できる。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
提出課題等に対しては、授業内で全体にフィードバックする。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
成人看護学 成人看護技術 改訂第3版	野崎真奈美他編	南江堂	978-4-524-22954-3	
参考文献				
「リハビリテーション看護」南江堂 「成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護」南江堂 「成人看護学 慢性期看護」南江堂				
その他				
連絡先・オフィスアワー	科目全体のこと、授業・技術演習・試験等に関する質問・相談は科目責任者高谷までメールで連絡をとる (mtakaya@) 各授業については授業担当教員に直接メールで連絡する。			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高谷	成人患者の看護 1) 健康レベル(急性期・回復期・慢性期・終末期)に応じた成人患者の看護 2) 成人患者のセルフケア能力とセルフケア支援 3) 身体の機能障害と検査 4) 健康障害のある患者に行われる主な治療と看護の特徴	講義	[予習]成人患者の健康レベルとセルフケア能力について、成人看護学概論等のテキスト・授業資料を復習しておく。 (学習時間1時間) [復習]疾患を持つ成人患者に行われる主な検査、治療について機能障害ごとにまとめておく。 (学習時間1時間)

2	長瀬	リハビリテーションを行う人への看護 1) 様々な健康レベルにおけるリハビリテーションの特徴 2) リハビリテーションの場とチーム医療 3) リハビリテーションにおける看護の役割	講義	<p>【予習】リハビリテーション看護の教科書を参考に、健康レベルに応じたリハビリテーションの特徴や看護の役割について考えておく。 (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】リハビリテーションにおける看護の役割について、健康レベル、機能障害、治療の場、チーム医療、の項目別に整理する。 (学習時間 1 時間)</p>
3	田中	呼吸機能障害と看護 1) 呼吸機能障害のアセスメント 2) 呼吸機能障害のある人に行われる検査と治療 3) 呼吸機能障害のある人への看護	講義	<p>【予習】呼吸機能障害、呼吸器疾患について、既習科目のテキスト、資料を用いて復習しておく。 (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】呼吸機能障害のある人の症状、検査データとその解釈、行われる治療と看護の特徴について説明できるように、授業資料とテキストを見直し、まとめてみる。 (学習時間 1 時間)</p>
4	北村	循環機能障害と看護 1) 循環機能障害のアセスメント 2) 循環機能障害のある人に行われる検査と治療 3) 循環機能障害のある人への看護	講義	<p>【予習】循環機能障害、循環器疾患について、既習科目のテキスト、資料を用いて復習しておく (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】循環機能障害のある人の症状、検査データとその解釈、行われる治療と看護の特徴について説明できるように、授業資料とテキストを見直し、まとめてみる。 (学習時間 1 時間)</p>
5	高谷	腎機能障害と看護 1) 腎機能障害のアセスメント 2) 腎機能障害のある人に行われる検査と治療 3) 腎機能障害のある人への看護	講義	<p>【予習】腎機能障害、腎疾患について、既習科目のテキスト、資料を用いて復習しておく。 (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】腎機能障害のある人の症状、検査データとその解釈、行われる治療と看護の特徴について説明できるように、授業資料とテキストを見直し、まとめてみる。 (学習時間 1 時間)</p>
6	坂本	肝機能障害と看護 1) 肝機能障害のアセスメント 2) 肝機能障害のある人に行われる検査と治療 3) 肝機能障害のある人への看護	講義	<p>【予習】肝機能障害、肝疾患について、既習科目のテキスト、資料を用いて復習しておく。 (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】肝機能障害のある人の症状、検査データとその解釈、行われる治療と看護の特徴について説明できるように、授業資料とテキストを見直し、まとめてみる。 (学習時間 1 時間)</p>
7	瀬尾	運動機能障害と看護 1) 運動機能障害のアセスメント 2) 運動機能障害のある人に行われる検査と治療 3) 運動機能障害のある人への看護 排泄機能障害と看護	講義	<p>【予習】運動機能障害、運動器疾患について、既習科目のテキスト、資料を用いて復習しておく。 (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】運動機能障害のある人の症状、検査データとその解釈、行われる治療と看護の特徴について説明できるように、授業資料とテキストを見直し、まとめてみる。 (学習時間 1 時間)</p>
8	阿久澤	排泄機能障害と看護 1) 排泄機能障害のアセスメント 2) 排泄機能障害のある人に行われる検査と治療 3) 排泄機能障害のある人への看護	講義	<p>【予習】排泄機能障害、排尿・排便に関連する疾患について、既習科目のテキスト、資料を用いて復習しておく。 (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】排泄機能障害のある人の症状、検査データとその解釈、行われる治療と看護の特徴について説明できるように、授業資料とテキストを見直し、まとめてみる。 (学習時間 1 時間)</p>
9	樋野	感覚機能障害と看護 1) 感覚機能障害のアセスメント 2) 感覚機能障害のある人に行われる検査と治療 3) 感覚機能障害のある人への看護	講義	<p>【予習】感覚機能障害、感覚器疾患について、既習科目のテキスト、資料を用いて復習しておく。 (学習時間 1 時間)</p> <p>【復習】感覚機能障害のある人の症状、検査データとその解釈、行われる治療と看護の特徴について説明できるように、授業資料とテキストを見直し、まとめてみる。 (学習時間 1 時間)</p>

10	池田	救命救急・集中治療と看護 1) 救急患者のアセスメント 2) 救急外来で行われる治療 3) 集中治療室で行われる治療 4) 集中治療を受ける患者の特徴と看護	講義	<p>[予習]救命救急・集中治療が必要な患者の状態について既習科目テキスト、資料を用いて復習し、救急看護、集中治療室における看護の役割について考えてくる。 (学習時間 1 時間)</p> <p>[復習] 救急看護、集中治療室で行われる治療と看護の特徴を整理し、必要な知識と技術に関する自己の課題を考える。 (学習時間 1 時間)</p>
11~14	高谷、長瀬、池田、樋野、高山、田中、阿久澤、坂本、北村、瀬尾、宮津	治療・検査を受ける患者に必要な看護技術<技術演習>	技術演習・GW	<p>[予習]事前に配布される、演習資料をよく読み、提示されている事前課題を行い、演習に関連する知識を再確認する。 (学習時間 1 時間)</p> <p>[復習]演習後、実施した項目の注意点や手技について振り返り、自己の課題を確認して資料やテキストで知識・技術について補足する。必要に応じて実技練習を行う。 (学習時間 1 時間)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	成人看護方法論II（周術期看護論）	必修・選択	必修
英語科目名	Adult Nursing Skills II	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	池田 恵	ナンバリング	CNL32B2
担当教員	池田 恵※、佐藤まゆみ※、高山京子※、田中朋子※、阿久澤優佳※、宮津珠江※ ※…実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	成人期にあり、手術を受ける患者と家族の身体・心理・社会的特徴について理解する。また周術期（術前・術中・術後）におけるセルフケアの変化を理解し、セルフケア能力に応じた支援や維持・向上に向けた援助の具体的な方法を理解する。				
授業の位置づけ	成人期にあり、手術を受ける患者と家族を対象とした、周術期（術前・術中・術後）における継続的な看護のあり方を学ぶ。この授業は、成人看護方法論Ⅳ、成人看護学実習Ⅰの基礎と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅲ、○DP2-I、○DP2-II、○DP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にあり、手術を受ける患者・家族について、身体・心理・社会的特徴と周術期におけるセルフケア能力の変化について説明することができる。 2. 手術を受ける患者・家族の支援に必要なアセスメント方法と援助の具体的な方法について説明することができる。 3. 手術を受ける患者・家族に必要な看護に関して、アセスメントに必要な情報を収集し主要な看護問題の抽出について講義を通して理解し、事例課題の看護計画立案用紙に記述できる。さらに具体的なケアプランの内容と個性性を考慮した計画立案について講義を通して理解し、事例課題の看護計画用紙に記述できる。 4. 授業内の課題について他者と討論し、自分の考えを言葉にして発表することができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ、成人看護方法論Ⅲ、成人看護方法論Ⅳ、臨床医学ⅠA、臨床医学ⅠB、臨床医学ⅡA、臨床医学ⅡB				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義・演習の前には必ず関連する既習科目を復習しておく。 2. 受動的な態度で授業に臨むのではなく、自らの疑問や課題を持ちながら、積極的・意欲的な態度で授業に参加することを期待する。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（70%）、課題レポート（30%）				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期の手術を受ける患者・家族の身体・心理・社会特徴と周術期（術前・術中・術後）におけるセルフケアの変化について説明できる。 2. 手術を受ける患者・家族の支援に必要なアセスメント方法と援助の具体的な方法について説明できる 3. 手術を受ける患者・家族に必要な看護に関して、アセスメントに必要な情報を収集し主要な看護問題の抽出について講義を通して理解し、事例課題の看護計画立案用紙に記述できる。さらに具体的なケアプランの内容と個性性を考慮した計画立案について講義を通して理解し、事例課題の看護計画用紙に記述できる。 4. 授業内の課題について他者と討論し、自分の考えを言葉にして発表することができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは提出から4週間以内に返却する。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	成人看護学 周手術期看護論（第3版）	雄西智恵美、秋元典子	ヌーヴェルヒロカワ	978-4-86174-060-2	
	看護学テキストNICE 成人看護学 成人看護技術（改訂第3版） 生きた臨床技術を学び看護実践能力を高める	野崎真奈美、林直子、佐藤まゆみ、鈴木久美	南江堂	978-4-524-22954-3	
参考文献					
「成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」南江堂 「成人看護学 健康危機状況/セルフケアの再獲得」メディカ出版 「成人看護学 セルフマネジメント」メディカ出版 「リハビリテーション看護」南江堂					
その他					
連絡先・オフィスアワー	池田恵（meg-i@） *実習等で不在にしていることもあるため、事前にメールで連絡をしてください。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	池田	<p>周術期にある対象の特徴の理解と看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 周手術期とは 2) 手術期看護の概念と専門性 3) 周手術期医療における倫理 4) 手術による患者の心身への影響 <p>[キーワード] 周手術期、手術侵襲、生体反応、ムーアの術後患者の回復過程</p>	講義	<p>[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」の第I章、II章を読み、手術を受ける成人患者と家族に必要な看護について考える。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>
2	池田 阿久澤	<p>手術前期の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術前患者のインフォームドコンセント 2) 術前アセスメント(身体的・心理社会的)の目的と方法 3) 術前オリエンテーション・術前準備 <p>[キーワード] インフォームドコンセント、術前オリエンテーション、術前準備、ストレスコーピング</p>	講義	<p>[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」の第IV章1,2を読み、術前看護について考える。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>
3	池田	<p>手術期の看護(麻酔前、手術中、麻酔後)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術室の環境 2) 手術期における看護 3) 麻酔・手術体位による身体への影響と合併症予防 <p>[キーワード] 全身麻酔、局所麻酔、硬膜外麻酔、対位固定、神経障害、挿管・抜管</p>	講義	<p>[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」の第IV章3,4を読み、手術期(術中)及び術直後の看護について考える。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>
4	田中	<p>手術後期の看護 術後合併症のアセスメントと看護(1) 意識、呼吸、循環、疼痛</p> <p>[キーワード] 意識レベル(JCS、GCS、瞳孔所見)、意識障害、呼吸器合併症(無気肺、肺水腫、肺炎)、後出血、ドレーン管理、深部静脈血栓、急性心不全、術後疼痛、ペインスケール、PCAシステム</p>	講義	<p>[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」の第V章を読み、術後合併症と予防のための看護について考える。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>
5	田中	<p>術後合併症のアセスメントと看護(2) 感染、消化器系、術後せん妄</p> <p>[キーワード] 手術部位感染(SSI)、術後イレウス、術後せん妄</p>	講義	<p>[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」の第V章を読み、術後合併症と予防のための看護について考える。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>
6	阿久澤 田中	<p>手術後期の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 早期離床の促進 2) 日常生活援助と心理的援助、 3) 退院に向けた支援 <p>[キーワード] 早期離床、日常生活の援助、セルフケア、退院支援</p>	講義	<p>[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」の第VI章を読む。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>
7	池田 宮津	<ol style="list-style-type: none"> 1) 術後集中治療室での看護 2) 開頭腫瘍摘出術を受ける患者の看護 <p>[キーワード] ICU、モニター、PICS、ICU-AW、脳腫瘍、頭蓋内圧亢進、神経症状、けいれん発作</p>	講義	<p>[予習] 事前資料及び教科書「成人看護学 周手術期看護論」のVII章「開頭術を受ける人の看護」を読む。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>
8	池田	<p>手術を受ける成人患者・家族への看護(1) 看護過程の事例提示、個人作業</p> <p>[キーワード] 術前アセスメント、全体像、看護過程</p>	講義、個人ワーク	<p>[予習] 看護過程(得られた情報から患者の全体像の把握、アセスメント、看護問題の抽出と優先度の決定、期待する成果)について復習をしておく(学習時間60分)</p> <p>[復習] 手術を受けた成人患者・家族の事例から、全体像、アセスメント、看護問題の抽出と優先度の決定、その問題が上った根拠と具体策について考え、記述する。(学習時間120分)</p>
9	田中	<p>肺葉切除術を受ける患者の看護</p> <p>[キーワード] 肺がん、肺葉切除術、胸腔ドレーン、低圧持続吸引器、ミルキング、エアリーク</p>	講義	<p>[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」のVII章「開胸術を受ける人の看護」を読む。(学習時間45分)</p> <p>[復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理解を深める。(学習時間60分)</p>

10	池田	冠動脈バイパス術を受ける患者の看護 (オンデマンド) [キーワード] 冠動脈バイパス術、低心拍出量症候群、心不全、周術期心筋梗塞、不 整脈、心タンポナーデ、バストバンド	講義 (オンデマン ド)	[予習] 教科書「成人看護学 周手術期看護論」の Ⅶ章「開心術を受ける人の看護」を読む。 (学習時間45分) [復習] 講義資料と教科書の該当ページを読み、理 解を深める。(学習時間60分)
11, 12	佐藤 池田 高山 田中 阿久澤 宮津	手術を受ける成人患者・家族への看護 (2) 事例演習:グループワーク [キーワード] 看護方針、看護問題リスト、優先度、看護計画	グループワーク	[予習] 事前課題を11回目授業前に提出する。(学 習時間120分) [復習] グループで作成した関連図、立案した看護 計画と自己の計画を比較・検討し良い点や 改善点について明らかにする。また、13~ 14回目で発表ができるように役割分担等、 必要な準備を行う。(学習時間60分)
13, 14	佐藤 池田 高山 田中 阿久澤 宮津	手術を受ける成人患者・家族への看護 (3) ・事例発表 まとめ	プレゼンテーショ ン	[予習] 発表ができるように役割分担等、必要な準 備をしておく。(学習時間60分) [復習] 発表や講義から事例課題の全体像、具体策 で不足していた部分等について振り返り、 記述する。(学習時間60分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	成人看護方法論III (慢性疾患看護論)	必修・選択	必修
英語科目名	Adult Nursing Skills III	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	長瀬 雅子	ナンバリング	CNL32B3
担当教員	長瀬雅子※、高谷真由美※、樋野恵子※、坂本亜弓※、北村幸恵※、瀬尾昌枝※ ※…実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	慢性疾患をもち、生涯にわたって症状・生活管理が重要となる成人期の人々とその人々をとりまく環境（家族や社会）を理解する。また、セルフケア能力の維持・向上を目指した支援に必要な理論と、健康レベルに応じた具体的な援助方法を理解する。			
授業の位置づけ	成人期にある人々を対象にした、慢性疾患の予防から病いのマネジメント、死までの看護を学ぶ。また、看護援助を検討したり説明したりするために、慢性看護でよく使われる理論やモデルを活用する方法を学ぶ。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-1 ODP2-11 ◎DP2-III ODP3-1			
到達目標	1. 成人期にあり、慢性的な身体機能障害をもつ患者とその家族を身体的、心理・社会的側面および人生の行路の視点からアセスメントし、主要な看護問題の抽出、具体的なケアプランの立案とその評価方法を理解することができる。 2. 成人期にあり、慢性的な身体機能障害のある患者が病いや障害をもちながらも社会生活を営むことができるような支援方策を考えることができる。 3. 慢性的な身体機能障害が患者本人及び家族に及ぼす影響について理解することができる。 4. 慢性的な身体機能障害を急性期、回復期、慢性期、終末期という時間軸で捉え、支援チームに必要な職種について理解し、多職種連携・協働について考えることができる。			
先修要件	なし			
関連科目	成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ、成人看護方法論Ⅱ、成人看護方法論Ⅳ、臨床医学Ⅰ、臨床医学Ⅱ			
学修上の注意	講義・演習の前には必ず関連する既習科目を復習しておく。 初回授業の時に学修ノート配布する。学修ノートには、各回で提示される課題が記載できるようになっており、実習時に復習できるようにになっている。 「提出用のノート」ではなく、「使えるノート」になるように取り組むことを期待する。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験 70 % 課題レポート 30 % (内訳) 各回の課題 (学修ノート) への取り組み 24% 事例検討会の取り組み 6%			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性的な身体機能障害のある成人期の患者と取り巻く人々について、身体・心理・社会・人生の行路の視点から考えることができる。 ・慢性的な身体機能障害のある成人期の患者の健康の維持・増進、あるいはセルフケア促進における看護上の課題を抽出することができる。 ・慢性的な身体機能障害のある成人期の患者への支援を検討するにあたり、講義等を通して学んだ理論やモデルを活用し、個別性を考慮したケアプランを立案することができる。 ・授業内の課題について他者（グループメンバー）と討論し、自分の考えを言葉にして発表することができる。 ・個人ワーク、グループワークに積極的に取り組み、自己の学びと課題が自覚できる。また、他者の学びにも貢献することができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
授業の中でフィードバックする。 また、学修ノートを確認し、必要に応じてコメントする。 個人ワークとグループワークについては全体へのコメントを通してフィードバックする。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
成人看護学 慢性期看護(改訂第3版)-病気とともに生活する人を支える(看護学テキストNICE)		南江堂	978-4524241981	
リハビリテーション看護(改訂第3版)-障害のある人の可能性とともに歩む		南江堂	978-4524246298	
成人看護学 成人看護技術(改訂第2版)-生きた臨床技術を学び看護実践能力を高める		南江堂	978-4524254187	
参考文献				
マージョリー・ゴードン：ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 よくわかる機能的健康パターン。照林社 江川隆子：ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断。ヌーヴェルヒロカワ ピエール・ウグ編：慢性疾患の病みの軌跡-コービンとストラウスによる看護モデル。医学書院				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー		長瀬雅子 mnagase@juntendo.ac.jp ※対面を希望されるときは、実習等で不在にすることがあるので、事前にメールで連絡をください。		
備考				
1	長瀬	授業ガイダンス ※課題について 慢性疾患をもつ人の理解	講義	[予習]教科書『成人看護学 慢性期看護』の第I章と第七章を読んでおくこと。(60分) [復習]講義内で指示する。(60分)
2-3	高谷	「慢性の病」をもつという体験とセルフマネジメント力に着目した支援 ※糖尿病 教育的支援、トランスセオレティカル	講義、演習	[予習]教科書『成人看護学 慢性期看護』の第三章と第V章4節1.を読んでおくこと。(30分) [復習]講義内で指示する。2回目の講義後は学修ノート課題を実施する。3回目の講義後は、討議・発表を通して考えたことを整理して学修ノートに書きこむ。(60分～90分) [学修ノート課題] II型糖尿病の患者事例課題について看護援助の基本的な方針とそれに合わせた具体的な看護援助方法を考えてみる。 事例課題は2回目の講義中に提示する。
4-5	北村	「症状の体験」の特徴と症状マネジメント方法獲得に向けたケア ※心不全 生活調整、症状マネジメント、患者教育、行動変容	講義、演習	[予習]教科書『成人看護学 慢性期看護』の第四章3と第V-2章を読んでおくこと。(60分) [復習]講義内で指示する。(60分)
6-7	瀬尾	長期にわたる療養がもたらす影響と生活の立て直しに向けた支援 ※自己免疫疾患 自己効力感、パワーlessness、エンパワメント	講義、演習	[予習]教科書『成人看護学 慢性期看護』の第四章4節と第V章6節5を読んでおくこと。(60分) [復習]講義内で指示する。(60分)
8-9	坂本	「慢性の病をもつ人の家族」の体験とケア ※脳卒中と高次脳機能障害 家族へのケア、代理意思決定、退院調整	講義、演習	[予習]教科書『成人看護学 慢性期看護』の第V-7章を読んでおくこと。(60分) [復習]講義内で指示する。(60分)
10-11	樋野	「病い」体験における様々な意思決定 ※慢性呼吸不全 病みの軌跡、ヘルスピリーフ、意思決定支援	講義、演習	[予習]教科書『成人看護学 慢性期看護』の第V章1節「呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助」を読んでおくこと。(60分) [復習]慢性呼吸不全をもつ患者の病期に応じた意思決定支援についてまとめる。教科書『成人看護学 慢性期看護』の第VI章F「急性増悪を繰り返す患者への教育的支援」を読み、必要な支援を考える。(60分)
12-13	長瀬雅子、高谷真由美、樋野恵子、坂本亜弓、北村幸恵、瀬尾昌枝	事例検討会(討議と発表) 提示された事例について看護過程(アセスメント、アセスメントの統合、焦点化したアセスメント、健康レベル、看護方針)を検討し、発表する。	演習(グループワーク)	[予習]アセスメントとは何かを確認し、ゴードンのアセスメントモデルについて復習しておくこと。(60分程度) [復習]ゴードンのアセスメントモデルを使って全体アセスメントをする。また提示された事例の病態を整理する。(120分程度) [課題]期日までに提出すること。
14	長瀬	まとめ-慢性看護の特徴	講義	[予習]1回目からのすべての授業内容を復習しておくこと。(60分) [復習]講義内で指示する。(60分) [学修ノート課題]慢性疾患をもつ人の治療上の特徴、生活や心理・社会的な側面の変化、慢性疾患看護に必要な能力をまとめる。 また、講義内で提示した事例の看護方針を検討し、その過程を含めて記述する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	成人看護方法論Ⅳ（がん看護論）	必修・選択	必修
英語科目名	Adult Nursing Skills IV	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	高山 京子	ナンバリング	PNL32B1
担当教員	高山京子※、宮津珠恵※、佐藤まゆみ※、高谷真由美※、長瀬雅子※、池田恵※、樋野恵子※、田中朋子※、北村幸恵※、坂本亜弓※、瀬尾昌枝※、阿久澤優佳※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	がんとともに生きる人とその家族について臨床経過の特徴をふまえて理解する。また、がん治療や緩和ケアを受ける患者とその家族を支えるために必要な知識を習得し、その人らしい生活を送るための援助方法を理解する。				
授業の位置づけ	がんとともに生きる人とその家族がその人らしい生活が送れるように、がんの臨床経過に沿って援助方法を学修する。成人看護学概論を基礎とし、成人看護学方法論Ⅰ～Ⅲと共に成人看護学実習の基盤と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-Ⅳ、◎DP2-Ⅱ、○DP2-Ⅲ、△DP3-Ⅰ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. がんの動向や我が国のがん対策について説明できる。 2. がんとともに生きる人とその家族の特徴をふまえた看護について説明できる。 3. がんの病態、診断、治療のプロセスと患者の意思決定支援について説明できる。 4. がん治療（放射線療法、薬物療法）を受ける患者の看護について説明できる。 5. ボディーイメージの変容を伴う患者の看護について説明できる。 6. 症状マネジメントについて説明できる。 7. 終末期にあるがん患者とその家族に対する看護について説明できる。 8. がんとともに生きる人とその家族の事例について、情報の収集、アセスメント、看護問題の抽出、看護計画の立案を行い、そのプロセスについて自分の考えを説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ～Ⅲ、臨床医学ⅠA・ⅠB、臨床医学ⅡA・ⅡB、薬理学				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された予習内容に取り組んだ上で、授業に参加すること。 ・授業後は復習内容に取り組むこと。 ・指定された期日までに個別で事例の課題に取り組み、第11回と第12回のグループワークに臨むこと。 ・第13回と第14回では、グループで話し合った課題についてプレゼンテーションを行う。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験80%、課題レポート20%を統合して評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの動向や我が国のがん対策について説明できるか。 ・がんとともに生きる人とその家族の特徴をふまえた看護について説明できるか。 ・がんの病態、診断、治療のプロセスと患者の意思決定支援について説明できるか。 ・がん治療（放射線療法、薬物療法）を受ける患者の看護について説明できるか。 ・ボディーイメージの変容を伴う患者の看護について説明できるか。 ・症状マネジメントについて説明できるか。 ・終末期にあるがん患者とその家族に対する看護について説明できるか。 ・がんとともに生きる人とその家族の事例について、情報の収集、アセスメント、看護問題の抽出、看護計画の立案までを記述することができるか。また、そのプロセスについて自分の考えをグループワークの場で述べることができるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
看護過程の課題レポートは、後日コメントをつけて返却する。また、グループワークの発表時に全体に対してフィードバックをする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	看護学テキストNiCE がん看護	鈴木久美・林直子・佐藤まゆみ（編者）	南江堂	978-4-524-24812-4	
参考文献					
『緩和ケア 第3版』、恒藤 暁・田村 恵子（編集）、医学書院、2020。 『がん薬物療法看護ベスト・プラクティス』、佐々木常雄（監修）、照林社、2020。 『がん放射線治療パーフェクトブック』、唐澤久美子・藤本美生（編集）、学研メディカル秀潤社、2016。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと、k.takayama.sv@）				
備考	なし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高山	<p>がんの総論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) がんの病態 2) がんの疫学 3) がん対策と予防、がん教育 4) 緩和ケア、トータルペイン <p>[キーワード] 転移、罹患率、死亡率、がん対策基本法、がんの予防、がん検診、緩和ケア、トータルペイン</p>	講義	<p>[予習] がんの病態について、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>
2	高山	<p>がんとともに生きる人と家族の理解と看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 臨床経過における特徴と看護 2) 発達段階における特徴と看護 3) がんサバイバーの特徴と支援 <p>[キーワード] がんの臨床経過、AYA世代の特徴、就労問題、妊孕性保持、高齢がん患者の特徴、がんサバイバーシップ、ソーシャルサポート</p>	講義	<p>[予習] 臨床経過と発達段階の特徴について、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>
3	佐藤	<p>がんの診断・治療と患者の意思決定支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) がんの診断、治療の決定プロセス 2) インフォームド・コンセント 3) 患者の意思決定における支援 <p>[キーワード] 病理診断、画像診断、病期、集学的治療、全身状態の評価、治療効果の評価、インフォームド・コンセント、意思決定、セカンドオピニオン</p>	講義	<p>[予習] がんの診断・治療の決定プロセスについて、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。使用テキスト p281-p287 (事例Cさん) を読んでおく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>
4	高山	<p>がん薬物療法を受ける患者の看護 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 薬物療法の目的、種類 2) レジメンと起こりうる有害事象 3) 薬物療法治療前の看護 <p>[キーワード] 抗がん薬の種類と作用機序、レジメン、CTCAE、RECIST、有害事象、治療前のアセスメント</p>	講義	<p>[予習] がん薬物療法の目的、種類、レジメンについて、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>
5	高山	<p>がん薬物療法を受ける患者の看護 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 薬物療法の治療中、治療後の看護 2) 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 3) 抗がん薬の曝露対策 <p>[キーワード] セルフケア支援、造血幹細胞移植、GVHD、感染予防、抗がん薬の曝露対策</p>	講義	<p>[予習] 造血幹細胞移植について、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>
6	高山	<p>症状マネジメント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 症状のアセスメント 2) 症状緩和に向けた支援 <p>[キーワード] 症状マネジメント、がん疼痛、痛みの評価、オピオイド、WHO 3段階除痛ラダー、倦怠感の緩和の方法、悪液質への援助</p>	講義	<p>[予習] がん疼痛の治療法と悪液質の病態について、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>
7	宮津	<p>がん放射線療法を受ける患者の看護 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線療法の目的、種類 2) 急性有害事象と晩期有害事象 3) 放射線療法開始前の看護 <p>[キーワード] 根治照射、緩和照射、外部照射、内部照射、治療計画、急性期有害事象、晩期有害事象、治療前のアセスメント</p>	講義	<p>[予習] 放射線療法の目的、種類、方法について、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>
8	宮津	<p>がん放射線療法を受ける患者の看護 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線療法治療中、治療後の看護 2) 放射線防護対策 <p>[キーワード] 放射線宿酔、放射線皮膚炎、放射線粘膜炎、セルフケア支援、放射線防護の三原則</p>	講義	<p>[予習] 放射線宿酔、放射線皮膚炎、放射線粘膜炎の発生機序について、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間)</p> <p>[復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)</p>

9	宮津	ボディイメージの変容を伴う患者の看護 [キーワード] ボディイメージ、アビランスケア	講義	[予習] ボディイメージの変容に関わる有害事象と生活への影響について、既習の授業資料やテキストを用いて考えておく。(学修時間1時間) [復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)
10	高山	終末期(エンド・オブ・ライフ期)にあるがん患者と家族に対する看護 1) 終末期患者の抱える全人的苦痛と看護 2) 緩和ケアチーム、緩和ケア病棟の役割 3) 鎮静における患者と家族への支援、倫理的課題 4) 看取りのケア [キーワード] 全人的苦痛、緩和ケア、緩和ケアチーム、鎮静、ACP、倫理的課題、看取りのケア	講義	[予習] 終末期患者の全人的苦痛、ACP、鎮静について、既習の授業資料やテキストを用いて理解しておく。(学修時間1時間) [復習] キーワードについて、テキストや授業資料を見直して理解を深める。(学修時間1時間)
11 12	高山 宮津 佐藤 高谷 長瀬 池田 樋野 田中 北村 坂本 瀬尾 阿久澤	事例を用いた看護過程の展開	グループワーク	[予習] 事前に配布された事例に対して、個別で情報の整理とアセスメント、看護問題の抽出と看護計画の立案を行う。(学修時間3時間) [復習] グループワークを通して、他の学生のアセスメント、看護計画から自分の課題で不足しているところを明らかにし、理解を深める。(学修時間1時間)
13 14	高山 宮津 佐藤 高谷 長瀬 池田 樋野 田中 北村 坂本 瀬尾 阿久澤	看護過程の発表	プレゼンテーション、全体討議	[予習] グループワークの成果発表に向けて発表準備を行う。(学修時間1時間) [復習] 他のグループが担当した事例について、自己の理解が不足しているところを明らかにし、理解を深める。(学修時間1時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	成人看護学実習Ⅰ	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Adult Nursing I	対象学年	3, 4年
開講学期	複期	単位数	3単位
代表教員	池田 恵	ナンバリング	PNL32B2
担当教員	池田 恵※、佐藤まゆみ※、高山京子※、田中朋子※、宮津珠恵※、阿久澤優佳※、坂本亜弓※、瀬尾昌枝※、北村幸恵※、酒井悠里子※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	手術に伴いセルフケアが制限される成人患者およびその家族への看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する。				
授業の位置づけ	成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ～Ⅳの学修内容を基盤とし、病院実習を通して手術を受ける成人患者およびその家族への看護実践に必要な知識・技術・態度について習得する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅱエビデンスに基づいた看護を適切に実践できる能力 ○DP2-Ⅲ健康レベルに応じた看護を展開する能力 ○DP3-Ⅰ保健医療福祉における多職種と協働・連携する能力				
到達目標	1) 周手術期にある患者と家族の身体的・心理的・社会的状態及びセルフケア能力を説明できる。 2) 周手術期にある患者と家族の問題解決に向けた援助を、対象者の個性やセルフケア能力を踏まえながら計画し、実施・評価することができる。 3) 周手術期にある患者と家族に対し専門職者としての態度・姿勢で看護実践を行うことができる。 4) 周手術期医療チームにおける看護師の役割を説明できる。				
先修要件	成人看護学方法論Ⅳ（がん看護論）				
関連科目	生涯発達論、成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、形態機能学ⅠA・ⅠB、生化学、微生物学、臨床栄養学、薬理学、病理学、臨床検査学、臨床医学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB				
学修上の注意	【準備学習】 ・実習開始までに予習欄にある課題に必ず取り組むこと。 ・課題はメモやノート等にまとめ、実習場で使用できるようにしておくこと。 【実習中の注意事項】 ・対象者は自立した成人であることを念頭に誠実な態度で実習すること。 ・実習場は患者の療養の場であるため、医療チームメンバーとしてふさわしい態度で実習すること。 ・チームメンバーの一員として報告、連絡、相談を実施すること。 ・実習期間が長いために体調管理に留意すること。 ・体調が悪く、特に感染が疑われる症状がある場合は、病棟に行く前に必ず教員に連絡すること。				
成績評価の方法					
評価方法	日々の学習状況10%、実習目標への到達度90%。評価は担当教員と臨床指導者の合議により決定する。				
評価基準	1) 周手術期にある患者と家族の身体的・心理的・社会的状態及びセルフケア能力を説明できたか。 2) 周手術期にある患者と家族の問題解決に向けた援助を、対象者の個性やセルフケア能力を踏まえながら計画し、実施・評価することができたか。 3) 周手術期にある患者と家族に対し専門職者としての態度・姿勢で看護実践を行うことができたか。 4) 周手術期医療チームにおける看護師の役割を説明できたか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 実習記録は、提出されたものを指導教員がコメントして返却する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
関連授業科目の授業資料や文献、その他は実習中に適宜紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	実習全体については、科目責任者の池田（meg-i@）にメールで連絡する。 実習期間中は各実習担当教員に連絡すること。連絡先は実習開始前のオリエンテーションで提示する。				
備考	実習中に適宜提示・配布する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1-15	池田 佐藤 高山 田中 宮津 坂本 阿久澤 瀬尾 北村 酒井	<p>1. 実習施設</p> <p>①順天堂医院 ②順天堂大学浦安病院</p> <p>2. 実習内容</p> <p>1)実習1日目 実習施設でオリエンテーション等</p> <p>2)実習2日目 病棟指導者の協力を得て、大学内で技術演習を行う。</p> <p>3)実習3～13日目 ・実習施設の外科系病棟で手術をうける患者を1～3名受け持ち、看護を実践する。 ・患者の受け持ちは、術後から退院まで、術前のみなど、周手術期のある期間を担当することもあり、統合して周手術期看護を実践する。 ・手術室で同行実習を行い、患者がうける手術侵襲について理解するとともに、危機的状況にある患者を支える手術室看護の実際を理解する。 ・集中治療室（ICU・救命センターICU）で同行実習を行い、集中治療をうける術後患者の看護の実際を理解する。</p> <p>4)実習14～15日目 大学内でカンファレンス、個別面接（実習評価）を行う。</p> <p><受け持つ患者が受ける主な手術> 開腹術、開胸開腹術、開胸術、開心術、開頭術、人工関節置換術、関節鏡手術、乳腺手術、脊椎手術、腹腔鏡手術、胸腔鏡手術、膀胱鏡手術</p>	臨地実習・学内演習	<p>[予習]</p> <p>実習オリエンテーション前</p> <p>1) テキストや資料を見直し復習する 2) 3年生7月のオリエンテーション時に提示した「事前課題」について取り組む 3) 周手術期看護に必要な援助技術について、e-learning「ナーシングスキル」で確認する (学習時間:120分)</p> <p>実習開始後</p> <p>1) 受け持ち患者の看護実践を行う上で必要な学習を行い実習に臨む 2) 同行実習を行う上で必要な学習を行い実習に臨む。 3) カンファレンスや個人面接に必要な準備を行い実習に臨む。 (学習時間:90分)</p> <p>[復習]</p> <p>1) 実習記録を作成し自己の実習内容を振り返る 2) 不足していた知識・技術について関連するテキストや資料で学習する。 3) 看護実践を評価し、翌日の看護援助計画を立案する (学習時間:90分)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	成人看護学実習II	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Adult Nursing II	対象学年	3, 4年
開講学期	複期	単位数	3単位
代表教員	高谷 真由美	ナンバリング	PNL32B3
担当教員	佐藤まゆみ※, 高谷真由美※, 長瀬雅子※, 樋野恵子※, 坂本亜弓※, 瀬尾昌枝※, 北村幸恵※, 宮津珠恵※, 阿久澤優佳※, 酒井悠里子※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	慢性疾患をもち、生涯にわたりセルフケアが重要となる成人患者および家族への看護実践に必要な知識・技術・態度を修得する。				
授業の位置づけ	成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ～Ⅳで学修したことを中心に、患者・家族への看護実践を通して知識・技術を再確認しながら学修を深め、実践力を身に付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅲ ○DP2-Ⅰ ○DP2-Ⅱ ○DP3-Ⅰ				
到達目標	1) 患者の発達段階や身体的・心理的・社会的状態及びセルフケア能力を説明できる。 2) 患者が患者自身の持てる力を発揮できるように援助できる。 3) 症状コントロールに必要な援助を実施できる。 4) 生活習慣の改善・変更に伴う生活行動の維持・再構築への援助を実施できる。 5) 疾病をもつ患者・家族の心理的安寧がはかれるような援助を実施できる。 6) 医療チームにおける看護師の役割を説明できる。				
先修要件	成人看護方法論Ⅳ（がん看護論）				
関連科目	生涯発達論、成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ、形態機能学ⅠA・ⅠB、生化学、微生物学、臨床栄養学、薬理学、病理学、臨床検査学、臨床医学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB				
学修上の注意	<p>【準備学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な既習科目の復習をしておくこと。特に、対象者の疾患から起こり得る機能障害、対象者の疾患に対して行われる治療、予測される看護問題、原則的な看護ケア方法などを学習しておくこと。 <p>【実習中の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者は自立した成人であることを念頭に誠実な態度で実習すること。 ・実習場は患者の療養の場であるため、医療チームメンバーとしてふさわしい態度で実習すること。 ・チームメンバーの一員として報告、連絡、相談を実施すること。 ・実習期間が長い場合、体調管理に留意すること。 ・体調が悪く、特に感染が疑われる症状がある場合は、病棟に行く前に必ず教員に連絡すること。 				
成績評価の方法					
評価方法	日々の学習状況10%、実習目標への到達度90%。評価は担当教員と臨床指導者の合議により決定する。				
評価基準	1) 患者の発達段階や身体的・心理的・社会的状態及びセルフケア能力を説明できたか。 2) 患者が患者自身の持てる力を発揮できるように援助できたか。 3) 症状コントロールに必要な援助を実施できたか。 4) 生活習慣の改善・変更に伴う生活行動の維持・再構築への援助を実施できたか。 5) 疾病をもつ患者・家族の心理的安寧がはかれるような援助を実施できたか。 6) 医療チームにおける看護師の役割を説明できたか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
事前課題は、実習1週目に担当教員がコメントし返却する。 実習中に作成する記録類は、原則として提出日の翌日にコメントして返却する。 最終提出されたレポート類は、担当教員・実習指導者がコメントし、適宜返却する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
関連授業科目の授業資料や文献、その他は実習中に適宜紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	実習全体に関することは科目責任者（高谷 mtakaya@）にメールで連絡する。 実習期間中は各担当教員に直接連絡する。				
備考	実習中に適宜提示・配布する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1~1 5回	高谷 長瀬 樋野 坂本 北村 瀬尾 宮津 阿久澤 酒井 佐藤	<p>【3週間の実習の流れ】</p> <p>1. 病棟実習</p> <p>1) 初日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習病棟等病院内実習関連部署のオリエンテーション ・担当患者の決定と情報収集 <p>2) 2日目を降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主として内科病棟で患者を受け持ち、看護援助を実践する。 ・第1週後半から病棟実習終了までの期間に、看護師同行実習1日、外来実習（透析室・外来化学療法室・検査室）半日を行う。スケジュールは学生によって個別に決定する。 <p>2. 学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3週後半に学内で実習のまとめを行う。 <p>【実習施設】</p> <p>①順天堂医院 ②順天堂大学浦安病院</p> <p><受け持つ患者の主な疾患></p> <p>慢性腎臓病、慢性呼吸不全、肺がん、肝炎、肝細胞がん、慢性心不全、虚血性心疾患、自己免疫性疾患、血液疾患、胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆管がん、脳梗塞、脳血管疾患、脳神経系疾患、糖尿病、白内障など。</p>	臨地実習・学内演習	<p>【予習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の援助に必要な、病態・検査・治療・看護援助技術・理論について、教科書や参考書、授業での配布資料などで学習しておく。必要な援助技術は、e-learningの「ナーシング・スキル」で確認しておく。 ・事前課題は実習直前のオリエンテーション時に提示する。 (学習時間：2時間) <p>【復習】</p> <p>その日の実習で不十分だった知識や新たに経験したことなどを中心に資料などを確認する。 (学習時間：2時間)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	高齢者看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Gerontological Nursing	対象学年	1年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	湯浅 美千代	ナンバリング	FNL32A1
担当教員	湯浅 美千代※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老年期にある人（高齢者）の特徴について、身体的、心理・精神的、社会的側面から理解する。 ・高齢者とその家族の生活の現状と課題、健康状況について理解を深め、わが国の保健、医療、福祉システムにおける高齢者看護の目標と果たすべき役割について理解する。 				
授業の位置づけ	人の生涯を概観した「生涯発達論」に引き続き、老年期にある人の加齢に伴う心身の変化、ライフサイクルにおける高齢者とその家族の特徴、社会における高齢者の位置づけや制度を概観し、高齢者看護の基礎とする。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、ODP1-III				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 加齢による変化が高齢者の心身機能や生活活動にもたらす影響について説明できる。 2) 我が国の高齢化の実態と高齢者を支える保健医療福祉制度について説明できる。 3) 高齢者が暮らす様々な場の種類と特徴およびそれぞれの場における看護師の役割・機能を説明できる。 4) 高齢者に関わる倫理的な課題について自分の考えを述べるができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	生涯発達論、保健学概論				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の授業で、毎回の授業内容、予習・復習課題等の詳細を記したガイドを配付する。授業前にこれを読み、授業の概要を把握し主体的に授業に参加すること。 ・予習課題は必ず授業前に行っておくこと。予習課題を行っていることを前提に授業を進める。予習課題の内容について、授業中の発表や課題の提出を求める。 ・授業中や授業後に出される課題は必ず期限を守って提出すること。 				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポート（30%）および筆記試験（70%）とする。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による身体的変化について説明できる。 ・加齢変化が高齢者の心身機能や生活活動にもたらす影響について説明できる。 ・我が国の高齢化の実態について説明できる。 ・高齢者を支える保健医療福祉制度について説明できる。 ・高齢者が暮らす様々な場の種類と特徴について説明できる。 ・高齢者が暮らす様々な場における看護師の役割・機能を説明できる。 ・高齢者に関わる倫理的な課題について、自分の考えを述べるができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
提出した課題について、次の授業の最初に解説する。 課題レポートは2年以降の学習に活用できるよう返却する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 第7版	堀内ふき 他	メディカ出版	978-4-8404-7840-3	
参考文献					
高齢者看護学ガイドに記載するほか、授業の中で紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問は随時受け付けます。不在の時間もありますので、事前にメールで連絡してください。 myuasa@				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	湯浅美千代	オリエンテーション 老年看護学の理念・超高齢社会の現状・高齢者の心理的特徴と看護 高齢者の身体的特徴と看護 1) 老化理論 2) 老年症候群および老年疾患の特徴 [キーワード] 老年看護の特徴と理念、高齢化率、平均寿命、サクセスフルエイジング、おいへの適応、加齢変化、老化、高齢者の疾患の特徴、フレイル、サルコペニア	講義	予習：生涯発達論（老年期）の資料を確認する。（学習時間60分） 復習：テキストの関連ページを読む。（学習時間60分）
2	湯浅美千代	高齢者の身体的特徴と看護 3) 生活維持のための諸機能の変化と看護 [キーワード] 外見の変化、感覚器の変化（老視、難聴、閾値の上昇）、運動能力の変化、知的能力の特徴	講義	予習：テキストの関連ページを読み、事前に配付される資料に記入する。（学習時間90分） 復習： 1) 以下について自分の考えをまとめる。（学習時間30分） ・老化の影響に関連して高齢者自身で対処していること ・加齢に伴うさまざまな変化と生活への影響をふまえて、どのような看護が必要か 2) テキストの関連ページを読み、知識を整理する。（学習時間60分）
3	湯浅美千代	高齢者の身体的特徴と看護 4) 生命維持のための諸機能の変化と看護 [キーワード] 呼吸器・循環器の変化、消化器の変化、泌尿器の変化、生殖器の変化、内分泌の変化、造血機能・免疫機能の変化、睡眠・覚醒の変化	講義	予習：テキストの関連ページを読み、事前に配付される資料に記入する。（学習時間90分） 復習： 1) 以下について自分の考えをまとめる。（学習時間30分） ・加齢に伴う身体内部の変化に対して、高齢者自身で対処、セルフケアできないか ・加齢の影響を受けて高齢者のQOLが低下するのを防ぐために、看護として何ができるか 2) テキストの関連ページを読み、知識を整理する。（学習時間60分）
4	湯浅美千代	高齢者が生きてきた時代・ライフサイクルからみた老年期 高齢者の生活と生活を支える制度 [キーワード] 100歳女性の個人史、昭和の時代、高齢者の健康状態、高齢者の暮らし、老人福祉法、高齢社会対策基本法、介護保険法、後期高齢者医療制度、高齢者すまい法	講義	予習：テキストの関連ページを読む。（学習時間30分） 復習： 1) テキストの関連ページを読み、知識を整理する。（学習時間30分） 2) 自分の未来予想（自分のライフイベントとその時代・社会の変化の予想）をまとめる。（提出形式あり）（学習時間60分）
5	湯浅美千代	高齢者と家族との関係と家族への看護 [キーワード] 家族の機能・発達課題、世帯構造の変化、多様化する家族観、介護が必要になった原因、主介護者の状況、さまざまな介護、介護負担、家族への看護、レスパイト・ケア	講義	予習：テキストの関連ページを読む。（学習時間60分） 復習： 1) 父母または身近な人へのインタビュー「将来どのような老後をおくりたいか」（提出形式あり）（学習時間60分） 2) テキストの関連ページを読み、知識を整理する。（学習時間30分）
6	湯浅美千代	さまざまな生活の場と看護 [キーワード] リロケーション、終の棲家、介護の社会化、介護保険制度、介護支援専門員、居宅サービス、施設サービス、介護老人福祉施設、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、地域密着型サービス、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、施設における看護職の役割、環境アセスメント	講義	予習：高齢者の終の棲家として在宅で過ごすメリットとデメリット、介護施設で過ごすメリットとデメリットをまとめる。（提出形式あり）（学習時間60分） 復習：テキストの関連ページと資料を読み、重要な用語を整理する。（学習時間60分）
7	湯浅美千代	高齢者の看護における倫理的課題 [キーワード] エイジズム（年齢による差別）、アドボカシー（権利擁護）、高齢者虐待、高齢者虐待防止法、身体拘束、意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング	講義	予習：テキストの関連ページを読む。（学習時間60分） 復習：授業全体の内容を整理する。（学習時間180分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	高齢者看護方法論I（生活支援論）	必修・選択	必修
英語科目名	Gerontological Nursing Skills I	対象学年	2年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	湯浅 美千代	ナンバリング	CNL32A1
担当教員	湯浅 美千代※、島田 広美※、杉山 智子※、横山 久美※、王 迪※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	老化の影響や機能障害を有する高齢者の日常生活援助に必要な知識・技術を学ぶ。			
授業の位置づけ	「高齢者看護学概論」で学んだ知識をもとに、高齢者の日常生活を支援するための知識・技術を学び、「高齢者ケアシステム実習」および「高齢者看護学実習」に活用する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP2-I、○ DP1-IV、DP2-II、DP2-III			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の特徴をふまえた日常生活援助について説明できる。 2. 高齢者の特徴に配慮したコミュニケーションを説明できる。 3. 高齢者介護施設で療養する高齢者のQOL向上に向けた看護を説明できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	生涯発達論、高齢者看護学概論、高齢者ケアシステム実習、高齢者看護方法論II、基礎看護方法論I・II・III、看護理論・看護過程、基礎看護学実習I・II、成人看護方法論I・II・III、形態機能学I AB、微生物学、臨床栄養学、薬理学、病理学、臨床検査学、症状別臨床病態学、臨床医学I AB・II AB			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・コースガイドに基づいて進める。 ・コースガイドには予習・復習課題の締め切り日を提示しているので、計画的に行うこと。 ・予習課題に基づいて授業を進め、復習課題により学習内容を定着させる。授業内で提示する課題も含め、必ず取り組むこと。 ・援助方法は、科目群「看護の基本」において学んだ援助技術を応用する。関連する既習知識を復習すること。 ・高齢者ケアシステム実習で実際に援助することを念頭に学ぶこと。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%による。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴をふまえた日常生活援助方法を説明できるか。 ・高齢者の特徴に配慮したコミュニケーション方法を説明できるか。 ・高齢者介護施設で療養する高齢者のQOL向上に向けた看護方法を説明できるか。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題レポートは高齢者ケアシステム実習時に活用できるように返却する。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門分野II 老年看護学	北川 公子他	医学書院	978-4-260-03186-8	
参考文献				
『カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術』第2版 医歯薬出版 『今はこうする！ 高齢患者ケア』第1版 照林社、2022年発行 そのほか、授業の中で紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	質問は随時受け付けます。不在の時間もありますので、事前にメールで連絡してください。 myuasa@（科目責任者：湯浅）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	島田 広美 王 迪	高齢者の生活機能を整える看護 1) 食事と看護ケア [キーワード] 摂食嚥下過程、低栄養、誤嚥、多職種協働	講義	予習：形態機能学、基礎看護方法論Ⅱで学習した食事に関する内容を復習する。さらに、テキストの摂食・嚥下過程の項目を読む。(学習時間：90分) 復習：とろみ剤を用いた飲み物を作成・試食してレポートを提出する。嚥下障害のある高齢者への食事介助のポイントをまとめる。(学習時間：90分)
2	湯浅 美千代	長期ケア施設を利用する高齢者への看護 1) 生活リズムと看護ケア 2) 施設における転倒リスクと予防策 * 予習課題をもとに授業を進める。 [キーワード] 不眠時のケア、レクリエーション、アクティビティ、転倒リスク、歩行介助、環境調整、転倒恐怖感	講義	予習：テキストの関連ページを読み、睡眠と休息の援助について整理する。施設で行うアクティビティのアイデアを出す。病院や施設で高齢者が転倒しやすい場面を考える。(記載用紙あり)(学習時間：90分) 復習：配布資料およびテキストを読み、知識を整理する。(学習時間：60分)
3	杉山 智子	長期ケア施設を利用する高齢者への看護 3) コミュニケーションと看護ケア① * 予習課題をもとに授業を進める。 [キーワード] 言語的・非言語的コミュニケーション、難聴、視力障害	講義	予習：以下について取り組む。(学習時間：90分) 自分と高齢者とのコミュニケーション場面を振り返り、整理する(プロセスレコード)。 概論で学んだ高齢者の身体的な特徴について整理する。 基礎看護方法論の授業で学んだ日常生活援助とコミュニケーションについて復習する。 復習：授業資料およびテキストの関連ページを読み、コミュニケーション障害の原因別に援助方法をまとめる。(学習時間：90分)
4	杉山 智子	長期ケア施設を利用している高齢者への看護 3) コミュニケーションと看護ケア② [キーワード] 言語的・非言語的コミュニケーション、認知症	講義	予習：テキスト第6章③認知症の章を読み、事前課題で提示された内容についてまとめる(学習時間：90分)。 復習：テキストの関連ページを読んで知識を整理する。(学習時間：90分)
5	横山 久美	高齢者の生活機能を整える看護 2) 排泄と看護ケア [キーワード] 禁制、排泄リズム、排尿障害、排便障害	講義	予習：形態機能学、基礎看護方法論Ⅱ・Ⅲで学習した排泄および排泄障害に関する内容を復習し、事前課題に必要事項を記入する。(学習時間：90分) 復習：配付資料およびテキストの関連ページを読む。(学習時間：90分)
6	横山 久美	高齢者の生活機能を整える看護 3) 清潔と看護ケア [キーワード] 清潔の意義、皮膚障害、清潔ケア	講義	予習：以下について取り組む。(学習時間：90分) ①基礎看護方法論Ⅱで学習した清潔の意義・目的と援助のポイントを踏まえて、左片麻痺がある高齢患者に清潔援助を行う時のポイントを考える。 ②左片麻痺で左上肢が屈曲拘縮している患者が、清潔を保ちにくい部分を考える。 復習：左片麻痺のある高齢患者が自立して安全かつ安楽に着脱衣できる方法と自立に向けた援助の工夫について考察する。(学習時間：90分)
7	横山 久美 杉山 智子	長期ケア施設を利用する高齢者への看護 4) 感染症の発生・拡大予防 [キーワード] 免疫機能の加齢変化、施設における感染予防対策 5) 施設における看取りケア * 動画を視聴し、ディスカッションする。 [キーワード] エンドオブライフ・ケア、グリーフケア	講義	予習：以下について取り組む。(学習時間：90分) ①微生物学、基礎看護学で学んだ、以下の用語の意味を復習する。 ・感染とは(感染と感染症、内因性感染と外因性感染、感染源、感染経路、感受性宿主) ・宿主の防御機構(免疫のしくみ、免疫担当細胞の種類と働き、自然免疫と獲得免疫) ・感染の予防(標準予防策、感染経路別予防策) ②テキストを参考にし、事前課題で提示された死因順位や高齢者の終末期の定義についてまとめる。 復習：授業後課題に取り組む。(学習時間：90分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	高齢者看護方法論II (治療・療養援助論)	必修・選択	必修
英語科目名	Gerontological Nursing Skills II	対象学年	2年
開講学期	後期	単位数	1単位
代表教員	湯浅 美千代	ナンバリング	CNL32A2
担当教員	湯浅 美千代※、島田 広美※、杉山 智子※、川上 和美※、横山 久美※、河西 恵美※、王 迪※、八木 範子※	授業形態	

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	治療を必要とする高齢者への看護のための知識・技術を学ぶ。			
授業の位置づけ	「高齢者看護学概論」、「高齢者看護方法論I」、および他の看護分野や関連領域の知識をふまえ、治療を必要とする高齢者に必要な看護を展開するための知識・技術を学び、「高齢者看護学実習」で活用する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP2-I、○ DP1-III、DP2-II、DP2-III			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査・治療に関連した高齢患者へのリスクとそれを最小にする援助を説明できる。 2. 継続する治療を円滑に行い、高齢患者のセルフケア能力を高めるための看護を説明できる。 3. 治療を必要とする高齢者の事例に基づき看護を計画・立案できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	生涯発達論、高齢者看護学概論、高齢者ケアシステム実習、高齢者看護方法論I、基礎看護方法論I・II・III、看護理論・看護過程、基礎看護学実習I・II、成人看護方法論I・II・III、形態機能学I AB、微生物学、臨床栄養学、薬理学、病理学、臨床検査学、症状別臨床病態学、臨床医学I AB・II AB			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・コースガイドに基づいて進める。 ・コースガイドには、予習・復習課題の提出期日を提示しているので、計画的に取り組むこと。 ・予習課題に基づいて授業を進め、復習課題により学習内容を定着させる。授業内で提示する課題も含め、必ず取り組むこと。 ・老年期の対象への援助方法は、科目群「看護の基本」において学習した援助技術を応用する。関連する既習知識を復習しておくこと。特に、基礎看護学実習IIや高齢者ケアシステム実習での学習を振り返りながら学ぶこと。 ・3～4年次の高齢者看護学実習で用いる看護の知識・技術を学ぶ。自分が実際に看護を提供することを念頭に学ぶこと。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%による。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・検査・治療に関連した高齢患者へのリスクとそれを最小にする援助を説明できるか。 ・継続する治療を円滑に行い、高齢患者のセルフケア能力を高めるための看護を説明できるか。 ・治療を必要とする高齢者の事例に基づき、所定の用紙を用いて看護を計画・立案できるか。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<p>課題レポートはコメントを入れ、1月の授業内で返却する。 看護過程の提出物については、高齢者看護学実習の際にコメントを入れて返却する。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。</p>				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門分野II 老年看護学	北川 公子他	医学書院	978-4-260-03186-8	
参考文献				
『エビデンスに基づく老年看護ケア関連図』 中央法規出版 2019年 『今はこうする！ 高齢患者ケア』第1版 照林社、2022年発行 『看護判断のための気づきとアセスメント 老年看護』 中央法規出版 2022年発行 そのほか授業の中で紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	質問は随時受け付けます。不在の時間もありますので、事前にメールで連絡してください。 myuasa@ (科目責任者：湯浅)			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	湯浅 美千代	治療を必要とする高齢者への看護 1) 薬物療法を受ける高齢者への看護 ・糖尿病患者の事例 [キーワード] 薬物動態、薬物有害事象、ポリファーマシー、服薬支援	講義	予習：(学習時間：90分) ①基礎看護学方法論Ⅲで学修した「薬物療法を受ける患者の看護」を復習する。 ②事前に提示される課題について、テキストを参考にまとめる。 ③事例を読み、わからない用語、薬について調べる。 復習：事例の看護をまとめる。テキストの関連ページを読み、知識を整理する。(学習時間：90分)
2	島田 広美	治療を必要とする高齢者への看護 2) 検査を受ける高齢者への看護 [キーワード] 加齢に伴う検査への支障、検査の影響	講義	予習：配付資料にそって以下をまとめる。 高齢者が受けることの多い検査について①加齢に伴う検査への支障、②検査による高齢者の心身への影響、③受診・検査のプロセスにおける高齢者・家族の心理と行動を記述する。(学習時間：90分) 復習：授業資料およびテキストの該当ページを読み、配付事例の看護をまとめる。(学習時間：90分)
3	横山 久美	治療を必要とする高齢者への看護 3) 高齢者特有の症状と看護 [キーワード] 痛み、脱水、痒み	講義	予習：以下について取り組む。(学習時間：90分) ①形態機能学ⅠA「体液とその調整」、高齢者看護学概論「高齢者の身体的特徴と看護(外観の変化)」について復習する。 ②事例を読み、分からない用語を調べる。事例のアセスメントと症状を緩和する看護について考える。 復習：授業資料およびテキストの高齢者特有の症状に関連するページ(第6章 A症候のアセスメントと看護, p.226-248)を読み、内容を整理する。(学習時間：90分)
4	川上 和美	治療を必要とする高齢者への看護 4) 手術を受ける高齢者への看護① ・総論 ・前立腺切除術を受ける高齢者への看護 * 予習課題を発表してもらいながら、授業を進める。 [キーワード] 周術期、術後合併症予防、前立腺切除術、退院指導	講義	予習：(学習時間：90分) ①形態機能学Ⅰで学習した男性泌尿器・生殖器の構造および前立腺の機能について、配布された用紙にまとめる。 ②指定された事例を読み、高齢者に多い術後合併症とその原因・誘因をアセスメントし、観察・予防のためのケアを調べ、配布された用紙にまとめる。 復習：前立腺切除術を受けた高齢者の事例について、必要な看護を考え配布された用紙へ記述する。(学習時間：90分)
5	湯浅 美千代 河西 恵美	治療を必要とする高齢者への看護 5) 高齢者への教育方法 ・糖尿病患者へのセルフケア事例 ・心不全患者の事例 * 予習課題を発表してもらいながら、授業を進める。 [キーワード] 糖尿病、心不全、自己管理、患者教育、家族教育、教育教材	講義	予習： ①加齢による学習への影響について、配布された用紙にまとめる。(学習時間：30分) ②高齢者の自尊心ややる気を損ねる教え方と高齢者のやる気を引き出す教え方について、配布された用紙に自分の考えをまとめる。(学習時間：20分) ③指定された事例を読み、わからない用語を調べる。事例に関して、加齢による学習への影響と、個別性に配慮した看護が示された箇所をチェックする。(学習時間：50分) 復習： ①身近にある医療用教育教材を見つけ、工夫点をあげる。提出用紙あり。(学習時間：20分) ②提示された事例の個別性に配慮した教育教材を作成する。提出にあたっては教育計画ならびに自己評価を記載する。提出形式・提出用紙あり。(学習時間：100分)
6	川上 和美	治療を必要とする高齢者への看護 4) 手術を受ける高齢者への看護② ・白内障手術を受ける高齢者への看護 ・大腿骨頸部骨折後手術を受ける高齢者への看護 [キーワード] 白内障手術、人工骨頭置換術、術後合併症予防、退院指導	講義	予習：1年次の形態機能学Ⅰで学んだ眼球の構造、下肢の骨格について、配布された用紙にまとめる。(学習時間：90分) 復習：配布資料およびテキストの関連ページを読み、整理する。(学習時間：90分)
7	島田 広美	治療を必要とする高齢者への看護 6) リハビリテーションを行う高齢者への看護① ・総論 ・廃用症候群の予防 ・脳卒中患者の看護 [キーワード] リハビリテーション、退院支援、退院調整、廃用症候群、脳卒中、失行、失認、失語症、構音障害	講義	予習：形態機能学、臨床医学ⅠBで学習した脳卒中に関連する基本的な知識を整理する。(学習時間：90分) 復習：配布資料およびテキストの関連ページを読む。(学習時間：90分)

8	島田 広美	治療を必要とする高齢者への看護 6) リハビリテーションを行う高齢者への看護② ・脳卒中患者の事例 [キーワード] 日常生活活動、リスク管理、チームアプローチ	講義	予習：事例を読み、アセスメントを記述する。(学習時間：90分) 復習：配布資料およびテキストの関連ページを読む。(学習時間：90分)
9	湯浅 美千代 八木 範子 河西 恵美 島田 広美 杉山 智子 川上 和美 横山 久美 王 迪	実習にむけた看護過程展開演習①展開の特徴 ・治療のため入院した高齢患者の事例 [キーワード] 情報収集、情報の整理、アセスメント、看護計画立案、評価	講義 演習	予習：提示された事例について、わからない用語、疾患、治療、検査、看護について調べる。(学習時間：50分～100分) 復習：授業内容をふまえて看護過程用紙No. 1、2を記載する。(学習時間：50分～100分)
10	湯浅 美千代 八木 範子 河西 恵美 島田 広美 杉山 智子 川上 和美 横山 久美 王 迪	実習にむけた看護過程展開演習②事例展開 [キーワード] 情報収集、情報の整理、アセスメント	講義 演習	予習：看護過程用紙No. 1～2を記載する。(学習時間：50分) 復習：看護過程用紙No. 3を記載する。授業をふまえて事例の情報について調べ、分析する。(学習時間：90分)
11	湯浅 美千代 八木 範子 河西 恵美 島田 広美 杉山 智子 川上 和美 横山 久美 王 迪	実習にむけた看護過程展開演習③事例展開 [キーワード] アセスメント、看護計画立案	講義 演習	予習：看護過程用紙No. 3、4を記載する。(学習時間：50分～100分) 復習：記載した看護過程用紙No. 1～3を見直し、修正する。(学習時間：50～100分)
12	杉山 智子	認知機能の低下した高齢者への看護① *動画で提示する事例について考え、ディスカッションしながら、授業を進める。 [キーワード] 認知機能障害、生活機能障害、アルツハイマー型認知症	講義	予習：(学習時間：90分) ①高齢者ケアシステム実習でかかわった認知症や認知機能障害をもつ高齢者やまとめについて振り返りをする。 ②疾患等の知識を整理しておく。 復習：授業資料、テキストの授業に関連したページを読み返し、まとめておく。(学習時間：90分)
13	杉山 智子	認知機能の低下した高齢者への看護② *動画で提示する事例について考え、ディスカッションしながら授業を進める。 [キーワード] 認知機能障害、環境、せん妄、うつ	講義	予習：第12回で学ぶ認知機能障害について復習し、整理する。(学習時間：90分) 復習：テキスト関連ページならびに授業資料を読み返し、整理する。(学習時間：90分)
14	湯浅 美千代 八木 範子 河西 恵美 島田 広美 杉山 智子 川上 和美 横山 久美 王 迪	実習にむけた看護過程展開演習④事例展開、評価 まとめ [キーワード] 看護計画立案、評価	講義 演習	予習：看護過程用紙No.3を修正し、No.4～5を記載する。(学習時間：50分～100分) 復習：記載した看護過程用紙No.3～5について自己評価する。高齢者看護方法論全体を復習する。(学習時間：100分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	高齢者ケアシステム実習	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Care System for the Elderly	対象学年	2年
開講学期	前期	単位数	1単位
代表教員	島田 広美	ナンバリング	CNL32A3
担当教員	湯浅 美千代※、島田 広美※、杉山 智子※、川上 和美※、横山 久美※、河西 恵美※、王 迪※、八木 範子※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	介護老人保健施設および介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における体験を通して高齢者を理解し、高齢者看護の基礎とする。				
授業の位置づけ	「高齢者看護学概論」および「高齢者看護方法論Ⅰ」で得た知識、および関連する分野で得た知識・技術を活用して高齢者と関わる。また、施設職員が提供しているケアや施設環境から高齢者への看護・介護の実際を学ぶ。これらの学びを統合し、高齢者看護の基礎的実践力を修得する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-Ⅲ、△DP1-Ⅳ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅱ、○DP2-Ⅲ、◎DP3-Ⅰ				
到達目標	介護老人保健施設および介護老人福祉施設について、 (1) 各施設の役割、機能を説明できる。 (2) 利用している高齢者の健康と生活状況を説明できる。 (3) 各施設において高齢者に提供されている介護・看護活動を説明できる。 (4) 各施設における看護職者の役割ならびに関連職種者との連携の重要性を説明できる。				
先修要件	なし				
関連科目	高齢者看護学概論 高齢者看護方法論Ⅰ 高齢者看護方法論Ⅱ 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 社会福祉論 社会保障論				
学修上の注意	〔準備〕 ・実習に必要な知識を整理し、活用するために、事前課題を課すので十分学習を深めて実習に臨む。 〔実習中の学修上の注意事項〕 ・実習では、オリエンテーション等で示される注意事項を守る。 ・毎朝健康チェックを行い、体調を管理して臨む。 ・高齢者に対していたわる気持ちを持ち、尊重する態度で実習を行う。 ・施設スタッフに対する礼儀、挨拶を忘れない。 ・実習後の記録により1日の振り返りと翌日の実習に対する準備を行う。 ・最終日は実習の学びについてグループや教室毎にプレゼンテーション及びディスカッションを行う。 *新型コロナウイルス感染症の状況により、実習内容を一部変更する可能性がある。				
成績評価の方法					
評価方法	以下の実習状況を総合し、実習目標の達成度を評価する。 1) 実習場での活動・グループワークの参加度 (50%) 2) 記録物の内容 (50%)				
評価基準	・各施設の概要を説明できるか ・各施設を利用している高齢者の健康と生活状況を説明できるか ・各施設において高齢者に提供されている介護・看護活動を説明できるか ・各施設における看護職者の役割ならびに関連職種者との連携の重要性を説明できるか ・高齢者や施設職員と積極的に関わり、主体的に学習できるか				
試験・課題に対するフィードバック方法					
・施設内のカンファレンスおよび学内でのカンファレンスでの発表について、担当教員ならびに施設指導者からコメントする。 ・記録物は施設担当者が確認後、担当教員が確認、コメントし、学生へフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
関連授業科目で使用したもの					
その他					
連絡先・オフィスアワー	・随時受け付ける。事前にメールで連絡してください。 hishima@ (科目責任者：島田)				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
	島田 広美、 湯浅 美千 代、 杉山 智子、 川上 和美、 横山 久美、 河西 恵美、 王 迪、 八木 範子	実習オリエンテーション ・実習目標、概要 ・準備する物品 ・事前学習内容 ・実習での留意点 ・体調管理について ・個人情報保護について 演習 ・シニアシミュレーション ・高齢者ケア技術演習	オリエンテーショ ン 演習	[準備] ・基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ、高齢者看護学概 論、高齢者看護方法論Ⅰで学習した知識、 技術を活用できるように、自己学習する。 (学習時間：60分) ・高齢者看護学概論、高齢者看護方法論Ⅰ で行った以下の課題・授業内容を復習す る。(学習時間：40分) 1) 介護保険制度、各施設の機能、看護の 役割等に関するレポート 2) 認知症高齢者とその家族に関するレ ポート
1～4 日目	島田 広美、 湯浅 美千 代、 杉山 智子、 川上 和美、 横山 久美、 河西 恵美、 王 迪、 八木 範子	施設内での実習 実習内容 1) 学生を各実習施設に2～6名ずつ配置する。 2) 施設の指導担当者からオリエンテーションを受ける。 3) 施設職員と共に高齢者に関わる。 4) 施設のプログラムに参加、補助する。 5) 日々の記録を通して振り返りを行う。 6) 施設指導者、教員を交えて、実習で学んだことや疑問点を報告し、学生同士の学びを共有する。	実習	[準備] 翌日の実習予定を確認し、行動目標をた て、目標達成に必要な知識・技術を復習す る。(学習時間：50分)
5日目	島田 広美、 湯浅 美千 代、 杉山 智子、 川上 和美、 横山 久美、 河西 恵美、 王 迪、 八木 範子	報告会 1) 他の施設で実習した学生とグループを組み、実習期間 中に書いた学びメモを報告しあい、模造紙に整理し、学びを共有す る。 2) グループ毎に、他の学生と共有したい学び、疑問、課題を発表 し、ほかのグループの学生も含めて討議する。 自己評価とレポート提出 1) 技術経験リストにより体験した技術をチェックする。 2) 実習のまとめとなる実習レポートを提出する。	実習	[準備] 施設で学んだことを用紙に整理し、報告会 に臨む。(学習時間：50分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	高齢者看護学実習	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Gerontological Nursing	対象学年	3, 4年
開講学期	複期	単位数	3単位
代表教員	湯浅 美千代	ナンバリング	PNL32A1
担当教員	湯浅 美千代※、島田 広美※、杉山 智子※、川上 和美※、横山 久美※、河西 恵美※、王 迪※、八木 範子※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	治療を必要とする高齢患者への看護過程の展開を通して、高齢患者への看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。				
授業の位置づけ	「高齢者看護学概論」「高齢者看護方法論Ⅰ・Ⅱ」および「高齢者ケアシステム実習」の学習内容、ならび既習知識を活用して、教員ならびに病棟の実習指導者の支援を受けながら治療を必要とする高齢患者への看護過程を展開する。その過程を記録し、振り返ること看護実践能力の修得を目指す。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅲ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅱ、○DP3-Ⅰ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢患者の特徴と健康上の問題を説明できる。 2. 高齢患者と家族に対する看護援助を計画、実践、評価できる。 3. 高齢患者・家族との信頼関係のもとに看護を実践することができる。 4. 高齢患者の生命と人格を尊重できる倫理的態度のもとに実践できる。 5. 保健・医療・福祉の専門職との連携について考えることができる。 6. 高齢者看護を実践し、看護職者の役割と機能を考えることができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	生涯発達論 高齢者看護学概論 高齢者看護方法論Ⅰ・Ⅱ 看護学概論 基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ フィジカルアセスメント 看護理論・看護過程 成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 形態機能学ⅠAB 病理学 症状別臨床病態学 臨床医学ⅠAB・ⅡAB 薬理学 微生物学 臨床栄養学 臨床検査学				
学修上の注意	<p>実習前に関連授業科目を復習し、積極的に実習を行ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な知識を整理し、活用するために、事前課題を課すので十分学習を深めて実習に臨むこと。 ・実習のスケジュール、経験すべき看護技術、記録の書き方、成績評価基準・配分等を高齢者看護学実習要項に示している。参照して実習準備を行うこと。 ・予習、復習に要する時間は各自の技術・知識の修得状況ならびに受け持ち患者の疾患や状況によって異なる。実習前には自身の修得状況を自覚して事前学習を行っておくこと。実習後は不足を感じた知識・技術を復習すること。 ・実習では、オリエンテーション等で示される注意事項を守る。特に、学生自身の健康を管理し、毎朝健康チェックを行うこと。 ・実習後の記録により1日の振り返りと翌日の実習に対する準備を行う。 <p>*感染症流行の状況等によっては、方法等を変更する可能性があります。</p>				
成績評価の方法					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席日数、実習内容、実習態度、実習記録を総合し、目標到達度を高齢者看護学実習要項に示す評価表の評価配分（下記）にそって評価する。 1. 老化や疾病に伴う健康上の問題をもつ高齢者の個別性を身体的、精神的、社会的側面から理解する。（20%） 2-1. 高齢者の心身の苦痛を理解し、事故や二次障害を予測し、安全で安楽な療養生活を支援する。（30%） 2-2. 高齢者の自立と依存の欲求を理解し、その人に適した自立への支援ができる（退院後の療養生活も含む）。（15%） 3. 看護師として高齢者との関係性を発展させる基本的能力を身につける。（15%） 4. 高齢者への倫理的配慮ができる。（10%） 5. 6. 保健・医療・福祉の関連職者間の連携と看護師の役割を理解する。（10%） <p>評価は担当教員ならびに臨床の実習指導者により行う。</p>				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老化や疾病に伴う健康上の問題をもつ高齢者の個別性を身体的、精神的、社会的側面から理解し、実習できたか。 2-1. 高齢者の心身の苦痛を理解し、事故や二次障害を予測し、安全で安楽な療養生活を目指して支援できたか。 2-2. 高齢者の自立と依存の欲求を理解し、その人に適した自立への支援ができたか。 3. 看護師として高齢者との関係性を発展させることができたか。 4. 高齢者への倫理的配慮ができたか。 5. 保健・医療・福祉の関連職者間の連携の実際を把握できたか。 6. 高齢患者に対する看護の役割を理解し、実習生として適切な態度で実習できたか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・最終日の面接において、学生による自己評価をもとに実習全体を振り返る。 ・実習記録は、臨床実習指導者および担当教員が確認の上、コメントを入れて返却する。 ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。 					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
実習に関連する授業科目のテキスト、参考文献を活用すること。資料は実習中に適宜紹介する。					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー		・質問等があれば、科目責任者または担当教員に連絡してください。 科目責任者（湯浅）：myuasa@		
備考				
	湯浅 美千代 島田 広美 杉山 智子 川上 和美 横山 久美 河西 恵美 王 迪 八木 範子	実習オリエンテーションと事前課題提示	説明	予習：（学習時間概ね2時間） 事前課題：実習で行う技術ならびに必要な知識の復習 1. 高齢者看護において多く活用する技術について配付資料にまとめる。 2. 高齢者看護学概論、高齢者看護方法論Ⅰ・Ⅱにおいて学んだ内容について、テキストや配付資料を見直す。 3. 看護技術について自己学習、技術練習を行う。 復習：（学習時間90分） オリエンテーション内容を整理し、高齢者観を再考する。
	湯浅 美千代 島田 広美 杉山 智子 川上 和美 横山 久美 河西 恵美 王 迪 八木 範子	学内での実習（病棟での実習前） 病棟での実習に必要な知識・技術について演習する。 病棟での実習 1) 学生を各実習施設1病棟あたり2～6名配置する。 2) 病棟の指導担当者からオリエンテーションを受ける。 3) 患者を受け持ち、看護に必用な患者情報を収集して患者の状態を把握し、看護過程を展開する。 4) 日々の実習記録により自己の看護を振り返る。 5) 前日の実習での学びや気づきに基づき、翌日の看護援助計画を立案する。 6) 必要時、実習グループでのカンファレンスを行う。 7) 病棟での実習最終日に、病棟ごとで実習を総括する報告会を行う。 中間カンファレンス 病棟内でカンファレンスをもち、実習指導者ならびにスタッフから看護計画に対する助言を受ける。 実習グループで看護過程の検討や技術の復習を行う。 学内での実習*時期、期間、学生の状況等により、以下から選択して実施する。 病棟実習に向けて、配置病棟に特徴的な疾患、治療、看護について学習する。 看護過程の基礎知識の復習、高齢患者に対する看護技術の実技演習を行う。 受け持ち患者の看護（看護過程）について振り返りを行う。 高齢患者の看護に関する演習（ロールプレイ）を行う。 高齢者のもつ可能性、エンパワメントについてグループディスカッションを行う。 急性期治療の場における倫理的課題についてグループディスカッションを行う。 認知症や障害をもつ高齢者に関するアセスメントについて学習する。 総括 1) 評価表をもとに、実習の自己評価を行い、教員と確認する。 2) 基本看護技術リストを記入し、担当教員が確認する。 3) 教員と面接をもち、看護過程の評価、実習全体の振り返りを行う。	実習	予習：（学習時間：概ね2時間） 1. 高齢者看護方法論Ⅱで学習した看護過程を見直す。 2. 受け持ち患者の疾患と主な治療法、看護（または実習する病棟で多い疾患と主な治療法、その看護）について調べる。 準備： 学生自身の体調管理を行う。 ユニフォームや新しいメモ帳等の必要物品を準備する。 参考資料を集める。 復習：（学習時間：毎日30分～2時間） 1. 不足していた看護技術、実施しなかった看護技術について自己学習、技術練習を行う。 2. 不足していた知識（特に解剖生理、病態、治療）について関連するテキストを読み、まとめる。 3. 提出する記録物を整理する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	母性看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Maternal-Newborn Nursing	対象学年	1年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	大月 恵理子	ナンバリング	FNL33A1
担当教員	大月恵理子※、増田美恵子※、高島えり子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	母性看護に関連する諸概念を理解し、母性看護の役割を学ぶ。リプロダクティブ・ヘルスに関する動向と施策を学び、リプロダクティブ・ヘルスに関連する倫理的問題について理解した上で、思春期から老年期までの女性の健康課題を理解し、今後の母性看護を展望する。			
授業の位置づけ	「看護の理論と方法」の「ウィメンズヘルスと看護」に位置する。母性看護学ひいては助産学の基盤となる科目である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP2-II、DP2-III			
到達目標	1) 母性看護に関連する諸概念と母性看護の役割を説明することができる。 2) リプロダクティブ・ヘルスに関連する倫理的問題を説明することができる。 3) リプロダクティブ・ヘルスに関する動向と施策を説明することができる。 4) 思春期から老年期までの女性の健康課題を説明できる。 5) 今日の我が国における母性看護の課題について考察することができる。			
先修要件	なし			
関連科目	看護学概論、周産期の看護、母性看護学実習、ウィメンズヘルスナーシング、母性の心理・社会学、助産学概論			
学修上の注意	使用テキストの該当箇所を読んでおくこと。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（80％）、課題レポート（20％）により評価する。			
評価基準	到達目標1)～5)の達成度で評価する			
試験・課題に対するフィードバック方法				
希望者にはメールなどで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座専門分野Ⅱ母性看護学1母性看護学概論	責任編集 森恵美	医学書院	978-4-260-04223-9	
参考文献				
随時提示する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時メールにて受け付ける。面会が必要な場合は事前にメールで予約する。 科目責任者：大月恵理子 e.otsuki.up@			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	大月恵理子	1. 母性に関連する概念 2. 母性看護の基盤となる概念 3. リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	講義	予習：使用テキスト第1章A～Fを予め読んでおくこと。(学習時間70分) 復習：授業資料と教科書の該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間70分)
2	増田美恵子	4. リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理的問題 1) 妊娠婦・新生児の権利と擁護 2) 自己決定の尊重 3) プライバシーの保護 4) 性と生殖に関わる歴史 5) 人間の性と生殖や医療における倫理	講義	予習：使用テキスト第1章G「母性看護における倫理」を予め読んでおくこと。(学習時間70分) 復習：授業資料と教科書の該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間70分)
3	増田美恵子	5. リプロダクティブ・ヘルスに関する動向と施策 1) 母子保健の変遷と現状 2) 母子保健統計からみた動向 3) 母子保健法 4) 母性保護の関係法規 5) 子育て支援施策 6) 女性の就労の関係法規	講義	予習：授業内で予め提示された母子保健統計および関係法規に関する課題を学習しておくこと。(学習時間70分) 復習：授業資料と教科書の該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間70分)
4	増田美恵子	6. 女性のライフサイクルと看護	講義	予習：使用テキスト第3章および第5章A、D、Fを読み、女性の生殖機能について学習する。(学習時間70分) 復習：授業資料と教科書の該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間70分)
5	高島えり子	7. 思春期・成熟期にある女性の健康課題	講義	予習：使用テキスト第5章B、Cおよび第6章B、Cを読み、思春期および成熟期女性の健康課題について学習する。(学習時間70分) 復習：授業資料と教科書の該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間70分)
6	高島えり子	8. 更年期・老年期にある女性の健康課題	講義	予習：使用テキスト第5章D、Eを読み、加齢に伴う身体的変化について学習する。(学習時間70分) 復習：授業資料と教科書の該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間70分)
7	大月恵理子	9. まとめ ・母性看護学の今日的課題	演習	予習：事前に提示された課題をまとめて提出すること。(学習時間150分) 復習：講義を振り返り、今日の我が国における母性看護の課題について考察を深める。(学習時間30分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	周産期の看護	必修・選択	必修
英語科目名	Maternal-Newborn Nursing	対象学年	2年
開講学期	後期	単位数	2単位
代表教員	高島 えり子	ナンバリング	CNL33A1
担当教員	増田 美恵子※、森田 亜希子※、高島 えり子※、植竹 貴子※、梶川 未菜※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	正常な妊娠、分娩、産褥、新生児の生理を理解した上で、周産期にある対象者の健康課題と看護援助に関する基本的な知識と技術を習得し、母性看護実践の展開に必要な基礎的能力を学修する。さらに、周産期の異常と看護を理解しその支援方法を学修する。			
授業の位置づけ	母性看護学概論で学習した知識を基盤として、周産期（妊娠、分娩、産褥、新生児）に焦点を当てて、子供を産み育てる過程を中心に、母子およびその家族に対する援助を学修する。母性看護学実習、助産診断技術学の基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II、○DP1-IV、○DP2-I、○DP2-III			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正常な妊娠、分娩、産褥、新生児および家族の看護を説明することができる。 2. ハイリスクの妊娠・分娩・産褥・新生児および家族への看護を説明することができる。 3. 母性看護における看護過程を理解した上で、事例の看護診断を立案できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	母性看護学概論、生涯発達論、ウィメンズヘルスナーシング、性と生殖、小児の健康障害と看護、家族看護論、母性看護学実習			
学修上の注意	「母性看護学概論」を復習しておくこと。 TBL（チーム基盤型学習）では、配布するガイドブック、事例集および母子手帳を熟読し、必ず事前課題を学習して授業に臨むこと。			
成績評価の方法				
評価方法	筆記試験(50%)、TBL試験(40%)、事前課題(4%)、授業への参画度(6%)で評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠、分娩、産褥、新生児の生理と異常を理解し、アセスメントできる。 2. 妊娠・分娩・産褥・新生児および家族に必要な看護を説明することができる。 3. 事例の看護診断を立案できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
TBL試験は、授業内でフィードバックを行う。 課題は、授業内でフィードバックを行う。 授業への参画度はピア評価にて行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論	森 恵美 他	医学書院		
参考文献				
太田操編著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版 医師薬出版 2017				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメール連絡のこと etakashi@juntendo.ac.jp）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高島 えり子	1. TBL (チーム基盤型学習) のガイダンス 2. チーム作成 3. TBLをやってみよう	講義	予習: TBLのガイドブックを読み、TBL (チーム基盤型学習) とは何かを調べておく (学習時間30分) 復習: TBLのガイドブックと事例集を熟読する。TBLとは何か、今後の自己学習方法を整理する。母性看護学における看護過程について整理する。 (学習時間30分)
2~4	高島 えり子	1. 妊娠期の理解 1-1 妊娠期の身体的、心理社会的特徴 1-2 妊娠経過のアセスメント 1-3 妊娠と不快症状 1-4 日常生活とセルフケア 1-5 親になるための準備 1-6 妊娠期の異常 2. 妊娠期の看護 (TBL) 2-1 iRAT、tRAT 2-2 応用問題 2-3 フィードバック	講義 TBL	予習: テキストの該当箇所を確認する。TBLの事前課題を行ってくる。 (学習時間2時間) 復習: 授業内容、テキストの該当箇所を確認して整理する。 (学習時間2時間)
5~6	増田 美恵子 梶川 未菜	1. 分娩期の理解 1-1 分娩期の身体的、心理社会的特徴 1-2 分娩各期のアセスメント 1-3 分娩各期の援助 1-4 分娩期の異常 2. 分娩期の看護 (TBL) 2-1 iRAT、tRAT 2-2 応用問題 2-3 フィードバック 2-4 ピア評価	講義 TBL	予習: テキストの該当箇所を確認する。TBLの事前課題を行ってくる。 (学習時間2時間) 復習: 授業内容、テキストの該当箇所を確認して整理する。 (学習時間2時間)
7~9	植竹 貴子	1. 新生児期の看護 1-1 新生児の特徴 1-2 新生児期のアセスメント 1-3 出生直後の看護 1-4 日常の看護 1-5 新生児期の異常 2. 新生児期の看護 (TBL) 2-1 iRAT、tRAT 2-2 応用問題 2-3 フィードバック 2-4 ピア評価	講義 TBL	予習: テキストの該当箇所を確認する。TBLの事前課題を行ってくる。 (学習時間2時間) 復習: 授業内容、テキストの該当箇所を確認して整理する。ワークブックを読み、新生児期の看護過程を展開する。 (学習時間3時間)
10~12	森田 亜希子	1. 産褥期の看護 1-1 産褥期の身体的、心理社会的特徴 1-2 産褥経過のアセスメント 1-3 子宮復古及び全身の回復への援助 1-4 母乳栄養及び育児への援助 1-5 家族関係再構築への援助 2. 産褥期の看護 (TBL) 2-1 iRAT、tRAT 2-2 応用問題 2-3 フィードバック	講義 TBL	予習: テキストの該当箇所を確認する。TBLの事前課題を行ってくる。 (学習時間2時間) 復習: 授業内容、テキストの該当箇所を確認して整理する。ワークブックを読み、産褥期の看護過程を展開する。 (学習時間3時間)
13~14	高島 えり子	1. 母性看護における看護過程 1-1 ウェルネス看護診断・看護過程チームワーキング 1-2 看護過程ポスター発表会 1-3 ピア評価	講義 TBL	予習: TBLガイドブックの「ウェルネス看護診断と看護過程」「看護過程の展開・記録用紙の使い方」をよく読み、授業内で予め提示された事前課題を行ってくる。 (学習時間3時間) 復習: 授業内容を確認して、事例展開 (妊娠期~産褥期、新生児期) を整理しておく。 (学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	母性看護学実習	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Maternal-Newborn Nursing	対象学年	3, 4年
開講学期	複期	単位数	2単位
代表教員	増田 美恵子	ナンバリング	PNL33A1
担当教員	大月 恵理子※、増田 美恵子※、青柳 優子※、森田 亜希子※、鈴木 紀子※、高島 えり子※、植竹 貴子※、梶川 未菜※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	周産期を中心とした母性看護の対象を理解し、母性看護実習における知識・技術を学ぶ。				
授業の位置づけ	「母性看護学概論」および「周産期の看護」で学修した内容に基づいて、周産期を中心とした母性看護の対象への看護を学ぶ実習と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	○DP2-I、○DP2-II、◎DP2-III、○DP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期にある対象を身体的、心理的、社会的側面から総合的に理解することができる。 2. 褥婦、新生児及びその家族の健康課題を抽出し、看護計画を立案することができる。 3. 妊婦、産婦、褥婦、新生児に必要な看護を実施し、評価することができる。 4. 妊婦、褥婦に対する保健指導の意義・方法を説明することができる。 5. 母性看護における継続看護の必要性を説明することができる。 6. 周産期を通して家族の発達を考察することができる。 7. 女性のライフサイクルにおける母性看護の役割を説明することができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	母性看護学概論、周産期の看護				
学修上の注意	<p>準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「母性看護学概論」「周産期の看護」の授業内容を復習しておくこと。 2. 実習オリエンテーション時に提示した課題を学習しておくこと。 <p>実習中</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本実習目的・目標を理解して主体的に実習に臨むこと。 2. 学内での所定の演習課題を達成してから実習施設での実習に臨むこと。 3. 所定の実習記録用紙を用いて、看護診断、看護計画を立案し、実施した内容を評価すること。 4. 日々の実習目標と行動計画を立案して、実習内容を評価し、翌日の学習課題を明確にすること。 5. 実習で経験したことをグループカンファレンスで共有し、学習を深めること。 				
成績評価の方法					
評価方法	実習態度（10%）、実習内容および実習記録をもとに実習目標の達成度（90%）を総合して評価				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子（褥婦と新生児）を受け持ち、看護過程を展開できる。 2. 周産期にある対象を理解し、必要な看護を実施できる。 3. 妊婦、褥婦に対する保健指導の意義・方法を説明することができる。 4. 母性看護について考察することができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には随時対応する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
必要時紹介する。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと m-masuda@）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
実習1 日目	大月 増田 青柳 森田 鈴木 高島 植竹 梶川	実習オリエンテーション 実習に必要な知識の確認、演習、実技評価 [キーワード] 看護過程、ウェルネス型看護診断、母性看護技術、保健指導	学内実習	予習：「周産期の看護」の授業資料およびテキストを復習しておくこと。 「周産期の看護」で学習した看護過程を確認しておくこと。 「周産期の看護」で学習した技術演習の授業内容を確認し、自己学習・技術練習をしておくこと。 (学習時間：90分) 復習：実習で学習した看護過程、看護技術を整理すること。 (学習時間：60分)
実習2 ～9日 目	大月 増田 青柳 森田 鈴木 高島 植竹 梶川	1. 1組の母子を受け持ち、看護診断及び看護計画立案・実践・評価を行う。 2. 周産期の看護を実施又は見学する。 3. 妊婦・褥婦及び育児期の母子への個別指導・集団指導を見学又は実施する。 4. グループカンファレンス（ケースカンファレンスを含む）を行う。	臨地実習	
実習10 日目	大月 増田 青柳 森田 鈴木 高島 植竹 梶川	グループごとのまとめ	学内実習	

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ウィメンズヘルスナーシング	必修・選択	選択
英語科目名	Women's Health Nursing	対象学年	2年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	青柳 優子	ナンバリング	CNL33A2
担当教員	大月恵理子※、青柳優子※、森田亜希子※、高島えり子※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要					
全体内容	女性のライフサイクルに関する健康問題とその援助方法を学ぶ。一生を通じた心身の生理的変化から不調が起こりやすいこと、ライフコースの選択を含めて身体心理社会的な影響を受けやすいこと等、女性特有の健康問題について理解を深めると共にそれらに対する援助方法を学修する。				
授業の位置づけ	看護の理論と方法「ウィメンズヘルスと看護」の枠組みであり、母性看護学概論で学んだ女性の一生に起こり得る健康問題を取り上げ具体的な看護援助を学修する。 助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学修することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-111、ODP1-Ⅲ、ODP2-1、ODP2-11				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のフィジカルアセスメントの特徴が説明できる。 2. 女性の健康課題に必要な相談・教育の各原理と技法が説明できる。 3. プレコンセプションケアの概念と方法について説明できる。 4. 思春期女性の性の健康問題への援助が説明できる。 5. 不妊に悩む女性への援助が説明できる。 6. 家族計画の基本的概念と現状を理解し、課題について考察できる。 7. LGBTQIに関する健康問題への援助が説明できる。 8. 更年期女性の健康問題への援助が説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	母性看護学概論、助産学概論、母性の心理・社会学、生涯発達論				
学修上の注意	助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 使用テキスト、参考文献の該当部分を読み、提示された課題に取り組んだ上で授業に臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（100％）により評価する。				
評価基準	<p>到達目標1～8の達成度レベルで評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のフィジカルアセスメントの特徴が説明できる。 2. 女性の健康課題に必要な相談・教育の各原理と技法が説明できる。 3. プレコンセプションケアの概念と方法について説明できる。 4. 思春期女性の性の健康問題への援助が説明できる。 5. 不妊に悩む女性への援助が説明できる。 6. 家族計画の基本的概念と現状を理解し、課題について考察できる。 7. LGBTQIに関する健康問題への援助が説明できる。 8. 更年期女性の健康問題への援助が説明できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックの希望者には、随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
A.	系統看護学講座 母性看護学概論	森 恵美編	医学書院	978-4-260-04225-3	14版
B.	系統看護学講座 母性看護学各論	森 恵美編	医学書院	978-4-260-04223-9	14版
参考文献					
1. 母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護, 渡邊浩子 他編, メヂカルフレンド社, 第7版					
その他					
連絡先・オフィスアワー	・随時（事前にメールで連絡のこと yaoyagi @）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	青柳 優子	1. 女性のフィジカルアセスメント 2. 女性の健康問題に対する相談・教育	講義	[予習] 母性看護学概論を復習し、女性と男性の身体、心理社会的な特徴について調べてくる。(学習時間70分) [復習] 授業内容について整理し、女性のフィジカルアセスメントの特徴について理解する。(学習時間70分) [キーワード] フィジカルアセスメント、相談、教育
2	森田 亜希子	3. プレコンセプションケア	講義	[予習] 参考書：母性看護学概論／ウイメンズヘルスと看護 p67～70を読み、プレコンセプションケアについて学習する。(学習時間60分) [復習] 授業内容と参考資料を確認し、整理しておくこと。(学習時間60分) [キーワード] プレコンセプション、WHO、ライフプラン
3	高島 えり子	4. 特別な支援を要する健康問題と援助 1) 思春期の性の健康問題への援助	講義	[予習] テキストA p185～204、p256～269を読み、思春期の健康問題について学習する。(学習時間70分) [復習] 授業内容とテキストの該当部分を確認して、整理しておくこと。(学習時間70分) [キーワード] 思春期、月経、性感染症、体重異常
4	青柳 優子	2) 不妊に悩む女性への援助	講義 GW	[予習] テキストB p30～60を読み、不妊治療と援助について整理する。(学習時間70分) [復習] 授業内容を確認し、不妊の各局面における当事者への援助について理解する。(学習時間70分) [キーワード] 不妊(症)、不育症、生殖医療、生殖看護
5	大月 恵理子	3) LGBTQに関する健康問題への援助	講義	[予習] LGBTQに関して提示された課題に取り組み授業に臨むこと。(学習時間70分) [復習] 授業内容を再確認し、性的少数者(LGBTQ)の現状・健康問題と援助について理解する。(学習時間70分) [キーワード] LGBT、セクシャリティ、性的マイノリティ
6	高島 えり子	4) 更年期障害に悩む女性への援助	講義	[予習] テキストA P217～232を読み、加齢に伴う身体的変化について学習する。(学習時間70分) [復習] 授業内容とテキストの該当部分を確認して整理しておくこと。(学習時間70分) [キーワード] 閉経、更年期症状、更年期障害
7	森田 亜希子	5. 家族計画	講義	[予習] テキストp250～256を読み、家族計画と受胎調節について学習する。(学習時間70分) [復習] 授業内容とテキストの該当部分を確認し、整理しておくこと。(学習時間70分) [キーワード] 家族計画、受胎調節、避妊法

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	助産診断技術学総論	必修・選択	選択
英語科目名	Scientific Basis for Midwifery Practice	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	増田 美恵子	ナンバリング	PNL33B1
担当教員	増田 美恵子※、牧野 真太郎※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	助産診断学および助産技術学の基本的な概念を理解するとともに、妊娠・分娩・産褥にある女性の健康に関する基礎的知識を修得し、妊娠期、分娩期、産褥期における異常の診断と治療および合併症の管理について理解する。			
授業の位置づけ	「周産期の看護」で学修した妊娠・分娩・産褥の生理を基礎として、妊娠期、分娩期、産褥期における異常の診断と治療および合併症の管理について理解するとともに、助産診断学および助産技術学の基本的な概念を学修し、「助産診断技術学Ⅰ」～「助産診断技術学Ⅴ」の基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅱ、○DP2-ⅢCC			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産診断学および助産技術学の基本的な概念を理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥期における異常を説明することができる。 3. 合併症妊娠を説明することができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	母性看護学概論、周産期の看護、助産学概論、母性の心理・社会学、性と生殖、ウィメンズヘルスナーシング、助産診断技術学Ⅰ～Ⅴ			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 2. 「母性看護学概論」「周産期の看護」の授業内容を復習しておくこと。 3. 使用テキストを予め読んでおくこと。 4. 予め提示された予習を行ってこること。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（100%）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産診断学および助産技術学の基本的な概念を理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥期における異常を説明することができる。 3. 合併症妊娠を説明することができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
助産学講座6助産診断・技術学Ⅱ妊娠期(第6版)	我部山キヨ子・武谷雄二編	医学書院	978-4-260-04208-6	
助産学講座7助産診断・技術学Ⅱ分娩・産褥期(第6版)	我部山キヨ子・武谷雄二編	医学書院	978-4-260-04210-9	
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 我部山キヨ子・武谷雄二編：助産学講座3基礎助産学3母子の健康科学(第6版) 医学書院 2023 2. 我部山キヨ子・武谷雄二編：助産学講座2基礎助産学2母子の基礎科学(第6版) 医学書院 2021 3. 我部山キヨ子・武谷雄二編：助産学講座5助産診断・技術学Ⅰ(第6版) 医学書院 2021 4. 産婦人科診療ガイドライン 産科編2020 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと m-masuda@）			
備考	なし			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	増田 美恵子	1. 助産診断技術学の概要 1-1 助産診断と助産技術 1-2 援助技術 [キーワード] 助産過程、助産診断、援助技術、根拠に基づく助産活動	講義 GW	予習：テキスト（助産学講座6）第1章を読み、助産過程および助産診断の概要について調べて授業に臨む。参考文献3の第3章を参考に、個人および集団へのアプローチの方法を調べて授業に臨む。（学習時間：2時間） 復習：授業内容、テキスト内容を確認しておく。（学習時間：2時間）
2 3	牧野 真太郎	2. 妊産褥婦の異常 2-1 妊娠の生理と妊娠期の異常 [キーワード] 妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、流産、早産、頸管無力症、過期妊娠、異所性妊娠、前置胎盤、癒着胎盤、子宮内胎児死亡、胎児発育不全、血液型不適合妊娠、多胎妊娠、前期破水、絨毛膜羊膜炎、羊水量の異常、常位胎盤早期剥離、絨毛性疾患、母子感染	講義	予習：テキスト（助産学講座6）第4章Aを予め読んでおくこと。（学習時間：各回2時間） 復習：授業資料を確認して整理しておくこと。（学習時間：各回2時間）
4 5	牧野 真太郎	2-2 分娩の生理と分娩期の異常 [キーワード] 娩出力の異常、産道の異常、胎児の異常、胎児付属物の異常、分娩経過の異常、軟産道損傷、出血量の異常、産科ショック	講義	予習：テキスト（助産学講座7）第6章を予め読んでおくこと。（学習時間：各回2時間） 復習：授業資料の該当箇所を確認して整理しておくこと。（学習時間：各回2時間）
6	牧野 真太郎	2-3 産褥の生理と産褥期の異常 [キーワード] 性器の異常、産褥感染症、血栓・塞栓症、乳頭・乳房・乳腺異常、産褥後遺症	講義	予習：テキスト（助産学講座7）第13章を予め読んでおくこと。（学習時間：2時間） 復習：授業資料を確認して整理しておくこと。（学習時間：2時間）
7	牧野 真太郎	3. 合併症妊娠の管理 [キーワード] 心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、甲状腺疾患、糖尿病、子宮奇形、子宮筋腫、アレルギー性疾患	講義	予習：テキスト（助産学講座6）第4章Bを予め読んでおくこと。（学習時間：2時間） 復習：授業資料を確認して整理しておくこと。（学習時間：2時間）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	助産診断技術学I (妊娠・分娩期の助産診断)	必修・選択	選択
英語科目名	Midwifery practice I	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	2単位
代表教員	鈴木 紀子	ナンバリング	PNL33B2
担当教員	大月恵理子※、増田美恵子※、青柳優子※、鈴木紀子※、森田亜希子※、植竹貴子※、梶川未菜※、吉田幸洋※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	妊娠期および分娩期の助産診断とケアについて理解し、助産過程展開の基礎的能力を養う。さらに、正常および正常から逸脱した事例を用いて、妊娠期および分娩期の助産診断・助産過程を展開する。妊娠・分娩の生理、妊娠期および分娩期に行う検査、フィジカルアセスメント、心理社会的アセスメント、支援方法を理解する。			
授業の位置づけ	正常に経過する妊婦および産婦の助産診断とケアを理解するための基礎となる授業と位置づける。また、正常から逸脱した場合の助産診断とケアについて、助産師としての対応を理解するための基礎となる授業である。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II、○DP2-I、○DP2-III			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠の生理や妊娠期に行う検査について説明できる。 2. 妊婦のフィジカルアセスメントの方法を説明できる。 3. 妊婦に対する日常生活適応へのケア、親になる準備へのケア方法を説明できる。 4. 妊娠期の異常、ハイリスク・異常妊婦へのアセスメントと支援方法が説明できる。 5. 分娩三要素および関連因子を用いて、分娩進行状況を判断する方法が説明できる。 6. 事例に基づき、妊娠期および分娩期の助産診断・助産過程を展開することができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	周産期の看護、ウィメンズヘルスナーシング、助産診断技術学総論、助産診断技術学II、助産診断技術学III、助産診断技術学IV、助産診断技術学V			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 2. これまで習得してきた妊娠・分娩に関する基礎的知識を用いて、主体的に臨んで欲しい。 3. 授業は事前課題および自己学習による予習のもとに展開される。 			
成績評価の方法				
評価方法	レポート課題 (40%)、定期試験 (60%)			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の助産診断と妊婦への支援方法を説明できる。 2. 妊娠期の事例の助産診断を行い、助産計画を立案することができる。 3. 分娩期の助産診断と産婦への支援方法を説明できる。 4. 分娩期の事例の助産診断を行い、助産計画を立案することができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
事例を用いた助産過程は、事例ごとに授業内外でのフィードバックを行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
助産学講座6 [1] 妊娠期 第6版 助産診断・技術学II	我部山キヨ子、武谷雄二	医学書院	978-4-260-04208-6	
助産学講座7 [2] 分娩期・産褥期 第6版 助産診断・技術学II	我部山キヨ子、藤井知行	医学書院	978-4-260-04210-9	
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日の助産 改訂第4版北山真理子編、南山堂、2019. 2. 臨床助産テキスト 第1巻 妊娠、竹田 省 (監修)、福井 トシ子 (編集)、メディカ出版、2016. 3. Birth ベリネイタルナーシング、1 (8)、2012. 4. 産婦人科診療ガイドライン産科編2020・日本産科婦人科学会、日本産婦人科医学編集/監修・2020 5. 助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第2版、我部山キヨ子・大石時子編、医学書院、2018. 6. 助産師基礎教育テキスト 第4巻 (2022年版) 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会、2022. 7. 助産師基礎教育テキスト 第7巻 (2022年版) ハイリスク妊産婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会、2022. 8. 第3版 プリンシプル産科婦人科学 1 (婦人科編)・武谷雄二監・メディカルビュー・2014 9. 第3版 プリンシプル産科婦人科学 2 (産科編)・武谷雄二監・メディカルビュー・2014 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時 (事前にメールで連絡のこと no-suzuki@juntendo.ac.jp)			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 2	増田 美恵子	1. 妊娠の診断 1-1 妊娠の成立 1-2 妊娠期の早期診断 1-3 妊娠に伴う全身の変化 1-2 妊娠に伴う心理社会的変化	講義 GW	予習：テキスト助産学講座6 [1] 妊娠期第1章「助産診断・技術学の概要と助産診断」第2章「妊娠の生理」を読み授業に臨む。妊娠の診断方法、分娩予定日の算出・修正方法をまとめてくる。(学習時間：90分) 復習：授業で触れた箇所をテキストで確認し、整理しておく。(学習時間：90分)
3 4	吉田 幸洋	2. 胎児の発育と診断 2-1 超音波検査の基本と判読 2-2 妊娠経過と産科学的診断 2-3 超音波検査	講義 GW	予習：事前に配布する参考文献「Birth」、テキスト助産学講座6 [1] 妊娠期 付章1「周産期に用いられる検査法」を読み授業に臨む。(学習時間：90分) 復習：講義内容をふまえ、超音波検査について参考文献を見て確認しておく。(学習時間：90分)
5 6 7 8 9 10	鈴木 紀子	3. 妊娠期の助産診断・助産過程(正常編) 3-1 妊娠初期 3-2 妊娠中期 3-3 妊娠後期 3-4 心理的・社会的アセスメント	講義 GW	予習：テキスト助産学講座6 [1] 妊娠期第2章「妊娠の生理」第4章「妊娠期の助産診断」第5章「妊婦への支援」を読み重要な点をまとめておく。事前課題として提示された妊娠各期の事例のアセスメント、診断、計画立案を行ってこよう。(学習時間：120分) 復習：各自のアセスメント、診断、ケアプラン等で不足している点を確認しておく。(学習時間：90分)
11 12	植竹 貴子	3. 妊娠期の助産診断・助産過程(正常編) 3-5 日常生活への支援 3-6 マイナートラブルへの支援 3-7 親になる準備への支援	講義 GW	予習：テキスト助産学講座6 [1] 妊娠期第5章「妊婦への支援」を読み授業に臨む。医学的知識を関連させながら理解する。(学習時間：90分) 復習：授業内容、授業資料、テキストを確認し、日常生活適応、マイナートラブルへのケアのポイントを整理しておく。(学習時間：90分)
13 14	鈴木 紀子	4. 胎児モニタリング 4-1 胎児の健康状態の評価 4-2 NST (non-stress test) 4-3 CTG (cardiotocograph) 4-4 CST (contraction stress test) 4-5 胎児機能不全の対応	講義 GW	予習：テキスト助産学講座6 [1] 妊娠期付章1「周産期に用いられる検査法」を読んで重要な点をまとめておく。(学習時間：90分) 復習：授業内容、テキストを確認しておく。参考書「産婦人科診療ガイドライン」の該当部分を読んでおく。(学習時間：90分)
15 16	植竹 貴子 梶川 未菜	5. 妊娠期のフィジカルアセスメント 5-1 腹部診察 5-2 子宮底測定 5-3 胎児心音聴取 5-4 浮腫の観察 5-5 内診 5-6 モニターの装着	講義 GW	予習：周産期の看護、母性看護学実習等で学んだ診察技術(レオポルド触診、胎児心拍聴取、子宮底、腹囲、浮腫)についてナーシングスキルを用いて知識と技術の確認を行って臨む。(学習時間：90分) 復習：各自、診察技術に関する課題を整理し、自己学習を行う。(学習時間：90分)
17	高島 えり子	7. 妊娠期の助産過程(異常編)	講義 GW	予習：これまで学習した妊娠期に関わる知識、アセスメントとケアのポイント、分娩に向けての診断を整理しておく。(学習時間：90分) 復習：各自で行った助産過程のポイントを整理しておく。(学習時間：90分)
18 19 20	青柳 優子	8. 分娩期の助産診断 8-1 分娩の三要素	講義 GW	予習：分娩の三要素とは何かについて、それぞれまとめる。三要素と分娩経過との関連を考えてくる。(学習時間：90分) 復習：授業内容、授業資料、テキストを確認する。(学習時間：90分)
21 22	青柳 優子	8-2 分娩期の助産診断の特徴 8-3 分娩経過の初期診断と助産計画	講義 GW	予習：助産学講座7 [2] 分娩期 第2章「分娩期の助産診断」を読み授業に臨むこと。分娩経過に関連する基礎知識、アセスメントのポイントを整理しておく。提示された事例の課題に取り組む。(学習時間：120分) 復習：テキスト、参考書を用いて各自の助産過程を振り返り、診断の方法を整理しておく。(学習時間：90分)

23 24	青柳 優子	9. 分娩期の助産過程 9-1 初産婦の分娩事例	講義 GW	<p>予習：提示された事例の全体像、初期診断、ケアの方向性をまとめて授業に臨む。分娩経過の助産診断に必要な指標を整理して持参する。(学習時間：90分)</p> <p>復習：事例の助産過程展開内容を振り返り、テキスト・参考書を用いて追加修正する。助産計画を立案する。(学習時間120分)</p>
25	青柳 優子	9-2 経産婦の分娩事例	講義 GW	<p>予習：経産婦の分娩経過の助産診断に必要な指標を整理して持参する。(学習時間：90分)</p> <p>復習：経産婦の助産診断過程を確認し、実習に向けて整理しておく。(学習時間：90分)</p>
26	高島 えり子	9-3 正常からの逸脱	講義 GW	<p>予習：破水の種類と診断方法、分娩への影響、対応について調べる。分娩誘発・促進の種類、適応、方法、留意点などについて調べる。鉗子分娩、吸引分娩について方法と留意点について調べる。(学習時間：90分)</p> <p>復習：臨地実習までに典型的な助産計画(前期破水、分娩誘発等)を立案しておく。(学習時間：90分)</p>
27 28	大月 恵理子	10. ハイリスク妊産婦への支援 10-1 ハイリスク妊産婦の事例	講義 GW	<p>予習：テキスト助産学講座6 [1] 妊娠期第3章「妊娠期の異常・ハイリスク妊娠」を読んで授業に臨む。助産学講座7 [2] 分娩期・産褥期 第6章「ハイリスク・異常分娩時のアセスメントと支援」を読んで授業に臨む。医学的知識を関連させながら理解する。(学習時間：90分)</p> <p>復習：授業内容、授業資料、テキストを確認し、ハイリスク妊産婦に対するケアの理解を深める。(学習時間：90分)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	助産診断技術学Ⅱ（妊娠・分娩期の助産技術）	必修・選択	選択
英語科目名	Midwifery practice Ⅱ	対象学年	4
開講学期	前期前半	単位数	2単位
代表教員	鈴木 紀子	ナンバリング	ANL33B1
担当教員	青柳優子※、鈴木紀子※、森田亜希子※、植竹貴子※、梶川未菜※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	妊娠期の助産ケアの実践能力を養うために、妊婦健康診査、妊婦に対する個別の保健指導、妊婦とその家族に対する集団指導の実践について学修する。さらに分娩期の助産ケアの基本となる技術について学修する。			
授業の位置づけ	妊娠期・分娩期の助産ケアについて理解し、助産過程実践の基礎的能力を養うための基礎となる授業と位置づける。また、助産診断技術学Ⅲ、助産診断技術学Ⅳ、助産診断技術学Ⅴに繋がるための基盤となる授業と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅱ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅲ、○DP3-Ⅰ			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例を通して妊婦への個別の保健指導ができる。 2. 妊婦とその家族の集団を対象とした模擬健康教育を実施し評価できる。 3. 妊婦の状況に応じた健康診査が、シミュレーターを用いて実施できる。 4. 分娩期の母子のフィジカルアセスメントの方法を説明できる。 5. 分娩介助技術の基本を説明できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	周産期の看護、ウイメンズヘルスナーシング、助産診断技術学総論、助産診断技術学Ⅰ、助産診断技術学Ⅲ、助産診断技術学Ⅳ、助産診断技術学Ⅴ			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 2. 助産実践能力の修得のために、自主的な課題への取り組みを求める。 3. 妊婦健康診査場面を想定したOSCE（客観的臨床能力試験）を授業内に行う。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（30％）、妊婦OSCE（客観的臨床能力試験）（20％）、学修課題（個別指導・集団指導を含む）への取り組み（50％）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦とその家族への健康教育を実施できる。 2. 妊婦の健康診査が事例に応じて実施できる。 3. 分娩期のフィジカルアセスメントを実施できる。 4. 分娩介助技術の基本を説明することができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
個別保健指導、集団保健指導、妊婦健康診査場面を想定したOSCE実施後は、授業内外でのフィードバックを行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
助産学講座 6 [1] 妊娠期 第6版 助産診断・技術学Ⅱ	我部山キヨ子、武谷雄二	医学書院	978-4-260-04208-6	
助産学講座 7 [2] 分娩期・産褥期 第6版 助産診断・技術学Ⅱ	我部山キヨ子、藤井知行	医学書院	978-4-260-04210-9	
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日の助産 改訂第4版北山眞理子編、南山堂、2019. 2. 臨床助産テキスト 第1巻 妊娠、竹田 省（監修）、福井 トシ子（編集）、メディカ出版、2016. 3. 産婦人科診療ガイドライン産科編2020・日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会編集/監修・2020 4. 助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第2版、我部山キヨ子・大石時子編、医学書院、2018. 5. 助産師基礎教育テキスト 第4巻(2022年版) 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会、2022. 6. 助産師基礎教育テキスト 第5巻(2022年版) 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会、2022. 7. 第3版 プリンシプル産科婦人科学 1(婦人科編)・武谷雄二監・メディカルビュー・2014 8. 第3版 プリンシプル産科婦人科学 2(産科編)・武谷雄二監・メディカルビュー・2014 9. 竹田省 高橋眞理、CG動画でわかる！分娩の仕組みと介助法、メディカルビュー、2016 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと no-suzuki@juntendo.ac.jp）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 2	鈴木 紀子	1. 妊娠期の集団指導 1-1 出産に向けての準備教育 1-2 親になる準備教育	講義 GW	予習：助産診断技術学総論で触れた健康教育の内容を復習して臨む。(学習時間60分) 復習：妊婦とその家族を対象にした健康教育の実際に計画立案できるように基礎知識を整理しておく。(学習時間60分)
3 4	植竹 貴子	2. 妊娠期の保健指導(個別指導)	演習	予習：これまで学習した妊娠期に関わる知識、アセスメントとケアのポイントを整理しておく。事例を使って、ニーズに合う保健指導に向けて準備をする。(学習時間120分) 復習：各自で行った保健指導を自己評価、修正する。(学習時間60分)
5 6 7	青柳 優子 鈴木 紀子 森田 亜希子 植竹 貴子 梶川 未菜	3. 妊婦健康診査OSCE(客観的臨床能力試験)	演習	予習：これまでの授業で学修した助産診断、助産過程、保健指導、フィジカルアセスメントを復習し、試験に臨むこと。(学習時間120分) 復習：妊婦健康診査一連の実施について振り返り、評価すると共に自己の課題を明確にする。(学習時間60分)
8 9	青柳 優子 鈴木 紀子 梶川 未菜	4. 集団指導の実際(模擬両親学級)	演習	予習：グループごとに企画した妊婦とその家族を対象とした健康教育の指導計画の推敲及び教材・環境等の準備を行う。健康教育のリハーサルを実施する。(学習時間180分) 復習：取り組んだ模擬集団指導の評価や学びを整理する。(学習時間60分)
10 11	森田 亜希子 梶川 未菜	5. 産婦のフィジカルアセスメント	講義 演習	予習：妊娠期のフィジカルアセスメントを復習する。助産学講座7[2]分婧期・産褥期第2章「分婧期のフィジカルアセスメント」を読んで授業に臨む。(学習時間60分) 復習：授業内容、テキストを確認しておく。臨地実習での実践に向け、各自モデル教材を用いて練習しておく。(学習時間60分)
12	森田 亜希子	6. 産婦への支援 6-1 産痛緩和 6-2 リラクゼーション 6-3 基本的ニーズ	講義 演習	予習：助産学講座7[2]分婧期・産褥期第4章「産婦への支援」を読んで授業に臨む。(学習時間60分) 復習：授業内容、テキストを確認しておく。臨地実習での実践に向け、メンバーと協力して練習しておく。(学習時間60分)
13 14	青柳 優子	7. 分婧介助の原理と方法	講義 演習	予習：分婧のメカニズムと関連する因子について復習する。テキスト及び参考書を活用して、基本的な分婧介助法とその根拠をノートに整理する。(学習時間120分) 復習：授業内容、テキストを確認し、分婧介助法を再確認し、ノートの追加修正をする。分婧介助実施に向け流れを理解する。(学習時間60分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	助産診断技術学III（分娩介助技術）	必修・選択	選択
英語科目名	Midwifery practice III	対象学年	4年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	青柳 優子	ナンバリング	ANL33B2
担当教員	青柳優子※、鈴木紀子※、森田亜希子※、植竹貴子※、梶川未菜※、青木まり子※、角倉弘行※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	分娩介助の意義・原理を理解し、基本的な分娩介助技術を修得する。				
授業の位置づけ	看護の理論と方法「ウイメンズヘルスと看護」の枠組みに含まれる。「助産診断技術学」の一連の科目と同様に、助産実践の基礎を学び助産学実習に繋がる内容である。助産師国家試験受験資格取得希望者は必須科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【該当するコンピテンシー】 本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP2-II、○DP2-I、○DP2-III、△DP3-I				
到達目標	1) 産婦の状況に応じた基本的分娩介助技術を、シミュレーターを用いて実施できる。 2) フリースタイル分娩の意義、方法を説明することができる。 3) 分娩における緊急時の対応方法について説明することができる。 4) 無痛分娩の方法と特徴、対応方法を説明することができる。				
先修要件	なし				
関連科目	「助産学概論」「母子の心理社会学」「助産診断技術学総論」「助産診断技術学Ⅰ」「助産診断技術学Ⅱ」「助産学実習」「周産期の看護」「母性看護学実習」				
学修上の注意	1. 助産選抜試験合格者のみ履修可能となる。 2. 根拠に基づく実践方法を理解し修得するには、既習知識を活用できるように準備して臨む必要がある。 3. 技術修得には反復練習が必要である。授業時間外の時間も主体的に活用し、有効な演習とすることで学修目標を達成してほしい。				
成績評価の方法					
評価方法	成績評価方法 分娩介助実技試験（80%）、学修への取り組み（20%）を総合して評価する。				
評価基準	到達目標1～4の達成レベルで評価する。 1. 産婦の状況に応じた基本的分娩介助技術を、シミュレーターを用いて実施できる。 2. フリースタイル分娩の意義、方法を説明することができる。 3. 分娩における緊急時の対応方法について説明することができる。 4. 無痛分娩の方法と特徴、対応方法を説明することができる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
試験のフィードバックは個別面接により実施する。 その他、適宜個別指導を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期	我部山キヨ子・藤井知行 編	医学書院		第6版
参考文献					
助産師基礎教育テキスト5 分娩期の診断とケア. 町浦美智子編. 日本看護協会出版会. 2021 助産師基礎教育テキスト7 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア. 遠藤俊子編. 日本看護協会出版会. 2021 産婦人科診療ガイドライン産科編2020. 日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会編集/監修. 2020 第3版. プリンシプル産科婦人科学2（産科編）. 武谷雄二監. メジカルビュー. 2014 胎児心拍数モニタリング講座. 藤森敬也. メディカ出版. 2011 今日の助産 第4版. 北川真理子、内山和美編. 南江堂. 2019 CG動画でわかる！分娩のしくみと介助法. 竹田省、高橋真理. メジカルビュー. 2016					
その他					
連絡先・オフィスアワー	・随時（事前にメールで連絡のこと yaoyagi@）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1~2	鈴木 紀子	分娩介助技術の実際	演習	予習：基本的な分娩介助法の流れ、使用物品、方法について理解する。 (学習時間70分) 復習：授業内容・テキストを確認し、各自の分娩介助手順の一とに追加・修正する。 基本的な分娩介助法がスムーズに実施できるよう練習に取り組む。 (学習時間2時間)
3~5	鈴木 紀子 青柳 優子 植竹 貴子 梶川 美奈	状況に応じた分娩介助技術	演習	予習：事例設定を行い、産婦の状況に応じた分娩介助法の要点をまとめる。 初産婦経産婦の違い、分娩室入室の判断と対応、いきみ方を調べる。 (学習時間各70分) 復習：授業内容、テキストを確認し、各自の分娩介助ノートに追加・修正する。 産婦の状況に対応した分娩介助技術が実施できるよう、学生同士でシミュレーション教材を用いて練習を重ねる。 (学習時間3時間以上)
6	森田 亜希子	フリースタイル分娩の介助法	講義 演習	予習：指示された課題に取り組む (学習時間70分) 復習：授業内容について確認し、フリースタイル分娩の特徴、利点・欠点について理解する。 (学習時間70分)
7~8	青木 まり子	産科救急時の対応	講義 シミュレーション 演習	予習：産科異常出血の原因、対処方法について調べる。 (学習時間70分) 復習：授業内容、テキストを読み産科異常出血の病態と判断およびチームでの対応のあり方について確認しておく。 (学習時間70分)
9~10	角倉 弘行 植竹 貴子	麻酔分娩の現状と対応 麻酔分娩における助産師の対応	講義	予習：麻酔分娩の種類と方法、合併症について調べる。 提示された課題に取り組む。 (学習時間各70分) 復習：授業内容を確認し、安全な麻酔分娩の方法と異常時の対応について整理する。 (学習時間各70分)
11~12	鈴木 紀子 青柳 優子 植竹 貴子 梶川 美奈	状況に応じた分娩介助技術Ⅱ	総合的な演習	予習：各自が事例設定を行い、産婦の状況に応じた分娩介助法の要点をまとめる。 人工破膜、臍帯巻絡、胎児徐脈、産婦への声かけを調べる。 (学習時間各70分) 復習：授業内容、テキストを確認し、各自の分娩介助ノートに追加・修正する。 産婦の状況に対応した分娩介助技術が実施できるよう、学生同士でシミュレーション教材を用いて練習を重ねる。 (学習時間3時間以上)
13	鈴木 紀子 青柳 優子 植竹 貴子 梶川 美奈 森田 亜希子	分娩介助技術実技試験	実技試験	予習：事例設定場面に応じた一連の基本的分娩介助技術が安全安楽に実施できるようシミュレーターを用いて練習して臨む。 (学習時間：3時間以上) 復習：実技試験の自己評価、他者評価、教員評価から自己の課題を明確にし、実践に向けて練習する。 (学習時間：3時間以上)
14	青柳 優子 鈴木 紀子 植竹 貴子 梶川 美奈 森田 亜希子	分娩介助シミュレーション (OSCE：客観的臨床能力試験)	シミュレーション 演習	予習：分娩場面を想定して、分娩経過の判断および産婦とのコミュニケーションを含む一連の分娩介助技術を練習して臨む。 (学習時間3時間以上) 復習：分娩介助における自己の課題を明確にし、臨地実習での実践に向けて練習する。 (学習時間3時間以上)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	助産診断技術学Ⅳ（産褥期）	必修・選択	選択
英語科目名	Midwifery practice Ⅳ	対象学年	4年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	高島 えり子	ナンバリング	ANL33B3
担当教員	青柳 優子※、高島 えり子※、植竹 貴子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	産褥期の生理、フィジカルアセスメント、心理・社会的アセスメントを理解しながら、産褥期の健康教育、母乳育児支援の方法の実際を学修する。さらに、産褥期の異常とその支援、ハイリスク異常褥婦のアセスメントとその支援方法を学修する。			
授業の位置づけ	「周産期の看護」「母性看護学実習」の学修内容を基盤とし、褥婦の健康状態及び産褥経過に関わる助産診断、褥婦の援助技術を理解しながら、褥婦に対して適切な助産診断と助産技術を実践できる基礎的能力を学修する。したがって、助産師教育「助産診断技術学」における妊産褥婦のアセスメント、およびそれに基づく支援の理解を深め、助産学実習の基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅲ、○DP1-Ⅳ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅱ			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産褥の生理に基づき、産褥期の身体的・心理的变化、社会的適応、家族の発達について説明できる。 2. 産褥期のフィジカルアセスメントに必要な診察技術を実施できる。 3. 褥婦の身体的回復と、効果的な母乳育児支援、家族の発達の支援について説明できる。 4. 産褥期に起こり得る異常について説明できる。 5. ハイリスク・異常の褥婦に対する援助について説明できる。 6. 母子を取りまく子育て支援を理解し、継続支援の必要性について考察できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	周産期の看護、ウィメンズヘルスナーシング、助産診断技術学総論、助産診断技術学Ⅱ、助産診断技術学Ⅲ			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 2. これまで習得してきた産褥に関する基本的知識と技術を用いて主体的に臨むこと。 3. 授業は毎回の事前課題による予習のもとに展開される。 4. 健康教育、母乳育児支援については、シミュレーション演習を通して援助を学修する。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験(70%)、課題レポート(30%)			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産褥の生理に基づき、産褥期の身体的・心理的变化、社会的適応、家族の発達について説明できる。 2. 産褥期のフィジカルアセスメントに必要な診察技術を実施できる。 3. 褥婦の身体的回復と、効果的な母乳育児支援、家族の発達の支援について説明できる。 4. 産褥期に起こり得る異常について説明できる。 5. ハイリスク・異常の褥婦に対する援助について説明できる。 6. 母子を取りまく子育て支援を理解し、継続支援の必要性について考察できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
事前学習課題は、各授業内でコメントをする。 課題レポートは、提出後2週間以内にフィードバックする。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ【2】 分娩期・産褥期 第6版	我部山キヨ子、藤井知行編集	医学書院		
参考文献				
母乳育児支援スタンダード第2版、NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会編集、医学書院				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと etakashi@juntendo.ac.jp）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高島 えり子	1. 産褥期の診断過程とフィジカルアセスメント 1-1 退行性変化のアセスメント 1-2 進行性変化のアセスメント 1-3 心理・社会的変化のアセスメント 1-4 家族の発達のアセスメント	GW シミュレーション 演習	予習：テキスト第2部第9、10章を読み、架空事例（妊娠期からの継続事例）のアセスメントを行う。 （学習時間2時間） 復習：産褥期の身体的・心理的变化、社会的適応、家族の発達について復習する。 褥婦のフィジカルアセスメントについて整理する。（学習時間2時間）
2	高島 えり子	2. ハイリスク褥婦の診断過程	GW	予習：テキスト第2部第12、13章を読み、架空事例（妊娠期からの継続ハイリスク事例）のアセスメントを行う。 （学習時間2時間） 復習：ハイリスク褥婦へのアセスメント、支援について整理する。 （学習時間2時間）
3	青柳 優子	3. 産褥期の健康教育 3-1 産褥早期の保健指導	GW シミュレーション 演習	予習：テキスト第2部第11章を読み、架空事例の褥婦の保健指導を計画立案する。 （学習時間3時間） 復習：褥婦への健康教育について整理する。 （学習時間1時間）
4	高島 えり子	3-2 産後の家庭訪問	GW シミュレーション 演習	予習：テキスト第2部第11章を読み、架空事例の産後家庭訪問の計画立案する （学習時間2時間） 復習：退院後の褥婦の支援についてまとめる （学習時間2時間）
5	高島 えり子	4. ハイリスク・異常褥婦への支援	講義 GW	予習：テキスト第2部第12章、第13章を読む （学習時間2時間） 復習：産褥期の異常について整理する。 （学習時間2時間）
6	植竹 貴子	5. 母乳育児支援 5-1 母乳育児継続の支援 5-2 乳房トラブルへの支援	講義 GW	予習：テキスト第2部第14章を読む （学習時間2時間） 復習：母乳育児支援について整理する。 （学習時間2時間）
7	植竹 貴子	6. 子育て支援	講義 GW	予習：子育てを行う対象のニーズについて調べる （学習時間2時間） 復習：子育て支援について整理する （学習時間2時間）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	助産診断技術学Ⅴ（新生児・乳児期）	必修・選択	選択
英語科目名	Midwifery practice Ⅴ	対象学年	4年
開講学期	前期後半	単位数	2単位
代表教員	森田 亜希子	ナンバリング	ANL33B4
担当教員	大月恵理子※、植竹貴子※、梶川未菜※、西崎直人※、森田亜希子※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	出生直後の新生児のフィジカルアセスメントとケア、新生児の異常と管理、NICUとハイリスク新生児のケアについて理解し、乳児の発達発育と精神運動機能発達、健康診査とケアについて学習する。				
授業の位置づけ	大項目「看護の理論と方法」の「ウィメンズヘルスと看護」に位置する。周産期の看護、母性看護学実習の学びに基づき、さらに出生直後の新生児やハイリスク新生児への看護を学ぶことで、統合実習（母性看護）などにつながる科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II、○DP2-I、○DP2-III、○DP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 新生児の生理変化、子宮外適応過程を促す援助について説明できる。 2) 新生児のフィジカルアセスメントに必要な診察技術を実施できる。 3) 出生直後の母児早期接触の実際とパースレビューについて説明できる。 4) 新生児の蘇生法についてシミュレーターを用いて実施できる。 5) 新生児の異常とその支援について理解できる。 6) ハイリスク新生児とその家族に必要な援助を説明できる。 7) 乳児期のフィジカルアセスメントに必要な診察技術を実施できる。 8) 新生児期・乳児期に必要な栄養を理解できる 				
先修要件	なし				
関連科目	周産期の看護、助産診断技術学総論、母性看護学実習、統合実習（母性看護）				
学修上の注意					
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（50%）、演習参加状況および課題レポート（50%）を統合して評価する。				
評価基準	到達目標1)～8)の達成度で評価する				
試験・課題に対するフィードバック方法					
事前学習については、授業中に確認する。事後課題は、提出後1週間を目安にコメントを返却する。試験結果については、結果公表後、メールにて質問を受け付ける、もしくは時間調整の上面談する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	助産学講座6助産診断・技術論Ⅱ（3）新生児期・乳幼児期	石井邦子、廣間武彦編	医学書院	978-4-260-04219-2	
	日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト	細野 茂春	メジカルビュー社	978-4758319980	
参考文献					
仁志田博司「新生学入門 第5版」医学書院、2018					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時メールにて受け付ける。面会を希望する場合は事前にメールにて連絡する。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1-2	梶川 未菜	1. 出生直後の新生児の診断技術	演習	予習：出生直後の新生児のフィジカルアセスメントに必要な診察技術について学習する。(学習時間120分) 復習：新生児の子宮外適応を促す診察技術について反復練習する。(学習時間60分)
3	森田亜希子	2. 出生直後の母児早期接触とパースレビュー	演習	予習：母児早期接触の効果、方法、留意点について学習する。パースレビューの目的、方法について学習する。(学習時間60分) 復習：母児早期接触の管理について理解する。パースレビューの方法について理解する。(学習時間30分)
4-5	西崎直人、大月恵理子、森田亜希子	3. 新生児蘇生法	演習	予習：テキストを読み、新生児の蘇生法について学習する。(学習時間90分) 復習：NCPDRガイドラインに基づいた蘇生法について理解する。(学習時間30分)
6-8	西崎直人	4. 新生児の異常と管理	講義	予習：テキスト「私生児のおもな疾患とケア」「低出生体重児・早産児のケア」を読み、新生児の異常について学習する。(学習時間60分) 復習：早産児、低出生体重児、異常の管理について理解する。(学習時間60分)
9-10	植竹貴子	5. 乳児期のフィジカルアセスメントとケア 6. 新生児・乳児期の栄養	演習	予習：テキスト「乳幼児のおもな疾患とケア」を読み、乳児の健康診査について学習する。新生児期・乳児期の栄養について学習する。(学習時間90分) 復習：乳児のフィジカルアセスメントと栄養について考えをまとめる。(学習時間60分)
11-12	大月恵理子	7. ハイリスク新生児の診断過程	講義、演習	予習：ハイリスク新生児における事前学習課題を読み、事例展開を行う。(学習時間120分) 復習：グループワークを通してハイリスク新生児の診断過程について理解を深める。(学習時間60分)
13-14	森田亜希子	8. NICUとハイリスク新生児のケア	演習	予習：テキスト「治療を受ける新生児のアセスメントとケア」を読み、ハイリスク新生児と親・家族への援助について学習する。(学習時間60分) 復習：授業内容を再確認し、NICUにおけるケアと親・家族への支援について理解する。(学習時間30分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	助産管理	必修・選択	選択
英語科目名	Midwifery Management	対象学年	4年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	増田 美恵子	ナンバリング	ANL33B5
担当教員	増田美恵子※、武田智子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	助産業務管理の原理と技法を学習する。助産管理の理念と基本概念、母子保健制度と助産業務に関する法律・規則、助産管理に必要な社会保障制度を学び、病産院や助産所における管理と運営について理解する。				
授業の位置づけ	「看護管理学」や「助産学概論」で学んだ内容を基盤として、助産業務管理の原理と技法を学習し、「助産学実習」での助産管理や地域母子保健の実習の基礎と位置づける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	○DP2-I、○DP2-II、○DP2-III、◎DP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産管理の基本概念、関連法規と助産師の業務・責任について説明することができる。 2. 病産院における助産管理の特徴を理解し、多職種連携のあり方を説明することができる。 3. 助産院における助産管理の特徴を理解し、助産所の開設と運営について説明することができる。 4. 地域母子保健活動における助産師の役割を考察することができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	看護管理学、助産学概論、助産診断技術学Ⅰ～Ⅴ、助産学実習、周産期の医療安全				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 2. 助産学概論で学習した知識等を復習した上で臨むこと。 				
成績評価の方法					
評価方法	レポート課題（30%）、授業への参画度（10%）、筆記試験（60%）				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産管理の基本概念、関連法規と助産師の業務・責任について説明することができる。 2. 病産院における助産管理の特徴を理解し、多職種連携のあり方を説明することができる。 3. 助産院における助産管理の特徴を理解し、助産所の開設と運営について説明することができる。 4. 地域母子保健活動における助産師の役割を考察することができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
レポート課題は、授業内でフィードバックを行う。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時対応する。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	助産学講座10 助産管理（第6版）		医学書院	978-4-260-04709-8	
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 成田伸編：助産師基礎教育テキスト 周産期における医療の質と安全（2022年版） 日本看護協会出版会 2022 ISBN：978-4-8180-2373-4 2. 日本助産師会：助産所開業マニュアル2021ー開設・管理・運営ー（2021年版） 日本助産師会出版会 2021 ISBN：978-4-905023-36-4 3. 我部山キヨ子・武谷雄二編：助産学講座1基礎助産学1助産学概論 第6版 医学書院 2022 ISBN：978-4-260-04708-1 4. 福井トシ子編：新版 助産師業務要覧 第3版【基礎編】2022年版 日本看護協会出版会 2022 ISBN：978-4-8180-2378-9 5. 我部山キヨ子編：助産学講座9地域母子保健・国際母子保健 第6版 医学書院 2023 ISBN：978-4-260-05004-3 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと m-masuda@）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	増田 美恵子	1. 助産管理とは 1-1 管理・マネジメントの定義 1-2 助産管理の概念 [キーワード] 助産管理、助産師の業務、助産管理に必要な能力	講義 GW	予習：「助産学概論」で学んだ助産師の業務について復習した上で、テキスト「助産管理」第1章Bを読んで、助産管理とは何かを考えてくること。(学習時間：2時間) 復習：授業資料、テキスト、参考文献で授業内容確認する。(学習時間：2時間)
2	増田 美恵子	2. 関連法規と助産師の義務・責任 2-1 助産に関わる関連法規 2-2 助産師の法的責任と義務 [キーワード] 助産業務と関連法規、助産師の義務と責任	講義 GW	予習：参考文献「助産学概論」付章の関係法規を復習した上で、テキスト「助産管理」第2章を読んで、助産に関する法律にはどのようなものがあるか整理してくること。事前に提示された課題を行ってくること。(学習時間：2時間) 復習：授業資料、授業内容、助産業務に関する法律を整理し、理解を深める。(学習時間：2時間)
3 4	増田 美恵子	3. 周産期医療システムとマネジメント 3-1 病院における助産管理 3-2 診療所における助産管理 3-3 周産期医療における多職種連携のあり方 [キーワード] 母体搬送システム、院内助産システム、助産外来、地域連携	講義 GW	予習：テキスト「助産管理」第4章Cを読んで、病院における助産管理のあり方を考えてくること。(学習時間：各回2時間) 復習：授業内容、授業資料、テキスト、参考文献等で確認しておく。(学習時間：各回2時間)
5	増田 美恵子	4. 地域母子保健における助産師の役割 [キーワード] 地域母子保健行政、母子保健関係法規、母子保健制度、母子保健施策	講義 GW	予習：参考文献「地域母子保健・国際母子保健」第4章を読んだ上で、地域における助産師の活動にはどのようなものがあるか考えてくること。(学習時間：2時間) 復習：授業内容、授業資料を確認し、整理しておく。(学習時間：2時間)
6 7	武田 智子	5. 助産所における助産管理 5-1 助産師の法的責任 5-2 助産所開設の実際 5-3 助産所の管理 5-4 助産所における業務の実際 [キーワード] 助産所、助産所開設、助産所の管理、助産所における業務	講義	予習：参考文献「助産所開業マニュアル」I～IVを読んで、事前に提示された課題を行ってくること。(学習時間：各回2時間) 復習：授業内容、授業資料、テキストを確認しておく。(学習時間：各回2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	周産期の医療安全	必修・選択	選択
英語科目名	Safety in Perinatal Care	対象学年	4年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	増田 美恵子	ナンバリング	ANL33B6
担当教員	増田美恵子※、島守洋子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	母子保健福祉の動向を理解し、母子および家族の健康を高めるためのマネジメントのあり方、周産期医療システムの連携のあり方を学習する。周産期医療における安全管理（医療事故、災害）について理解する。			
授業の位置づけ	「看護の質と安全管理」および「助産学概論」等の助産学の授業で学修した内容を基盤として、周産期医療における安全管理について学修し、「助産学実習」の基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	○DP2-I、○DP2-II、○DP2-III、◎DP3-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子保健福祉の動向と周産期医療の現状を説明することができる。 2. 周産期医療システムと周産期医療における連携を説明することができる。 3. 周産期におけるリスクマネジメントを説明することができる。 4. 周産期における医療事故を分析し、助産師の役割を考察することができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	看護の質と安全管理、助産学概論、助産診断技術学Ⅰ～Ⅴ、助産管理、助産学実習			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師国家試験受験資格取得希望者には必須科目である。 2. 助産学概論で学習した知識等を復習した上で臨むこと。 			
成績評価の方法				
評価方法	レポート課題（30%）、授業への参画度（10%）、筆記試験（60%）により評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子保健福祉の動向と周産期医療の現状を説明することができる。 2. 周産期医療システムと周産期医療における連携を説明することができる。 3. 周産期におけるリスクマネジメントを説明することができる。 4. 周産期における医療事故を分析し、助産師の役割を考察することができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
レポート課題は、提出後1か月以内にフィードバックを行う。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時対応する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
助産学講座10 助産管理（第6版）		医学書院	978-4-260-04709-8	
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 成田伸編：助産師基礎教育テキスト 周産期における医療の質と安全（2022年版） 日本看護協会出版会 2022 ISBN：978-4-8180-2373-4 2. 日本助産師会：助産所開業マニュアル2021—開設・管理・運営—（2021年版） 日本助産師会出版会 2021 ISBN：978-4-905023-36-4 3. 我部山キヨ子・武谷雄二編：助産学講座1基礎助産学1助産学概論 第6版 医学書院 2022 ISBN：978-4-260-04708-1 4. 福井トシ子編：新版 助産師業務要覧 第3版【基礎編】2022年版 日本看護協会出版会 2022 ISBN：978-4-8180-2378-9 5. 我部山キヨ子編：助産学講座9地域母子保健・国際母子保健 第6版 医学書院 2023 ISBN：978-4-260-05004-3 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと m-masuda@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	増田 美恵子	1. 周産期における医療安全管理	講義 GW	予習：新聞報道などから、日本の周産期医療の現状を考えてくること。(学習時間：2時間) 復習：授業資料を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
2	増田 美恵子	2. 日本の周産期医療システムと周産期医療システムにおける連携 [キーワード] 周産期医療の集約化と連携、周産期医療ネットワーク	講義 GW	予習：使用テキスト第3章Aを予め読んでおくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
3	島守 洋子	3. 周産期医療における安全管理の実際 [キーワード] 病院における医療安全、感染管理、災害対策	講義	予習：使用テキスト第3章Bを予め読んでおくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
4	増田 美恵子	3. 周産期医療における安全管理の実際 [キーワード] 周産期医療システム、産科医療補償制度	講義 GW	予習：使用テキスト第3章Bを予め読んでおくこと。(学習時間：2時間) 復習：授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
5 6	増田 美恵子	4. 事故事例の分析 [キーワード] 事故事例、事故分析	講義 GW	予習：予め提示された事例について考えてくること。(学習時間：2時間) 復習：授業資料と分析結果を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)
7	増田 美恵子	5. 災害対策 [キーワード] 災害対策、災害時の支援、避難所運営	講義 GW (避難所HUG)	予習：災害対策および災害時の支援について考えてくること。(学習時間：2時間) 復習：授業資料と授業内容を確認して整理しておくこと。(学習時間：2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	助産学実習	必修・選択	選択
英語科目名	Practicum in Midwifery	対象学年	4年
開講学期	後期	単位数	10単位
代表教員	大月 恵理子	ナンバリング	ANL33B7
担当教員	大月恵理子※、青柳優子※、増田美恵子※、鈴木紀子※、森田亜希子※、高島えり子※、植竹貴子※、梶川美菜※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	助産学の理論と技術を実践の場で統合し、妊娠・分娩・産褥・新生児期にある母子とその家族に応じた、エビデンスに基づく助産活動を実践するための基礎的能力を習得する。また、妊娠期から子育て期までの包括的な支援の実践を理解するとともに、その中での助産師の役割を学ぶ。				
授業の位置づけ	大項目「看護の理論と方法」の「ウィメンズヘルスと看護」に位置づく。これまでの助産学関連科目での学びを統合する科目である。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II、ODP2-I、ODP2-III、ODP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援における助産活動 <ol style="list-style-type: none"> 継続事例における助産活動 <ol style="list-style-type: none"> 妊娠・分娩・産褥・新生児期の各期における健康診査及び助産診断ができる。 助産診断に基づく助産計画を立案し、実施・評価できる。 妊婦・褥婦に対する保健指導を計画、実施、評価できる。 切れ目のない子育て支援の視点を持ち、地域母子保健との関連が考察できる。 地域における助産活動 <ol style="list-style-type: none"> 市町村における母子保健事業の位置づけと役割説明することができる。 母子保健活動における地域での連携のあり方を説明することができる。 助産所における助産管理の実践を説明できる 助産業務の実践を通して助産師の責任と役割を考察できる。 地域で活動する助産師の役割を考察することができる。 分娩期の助産活動 <ol style="list-style-type: none"> 妊娠期の経過をふまえ、分娩期における母子の総合的な診断ができる。 分娩経過に応じた助産診断の修正ができる 基本的分娩助産技術を10例程度実践できる。 正常範囲からの逸脱の可能性を予測するとともに、異常発生時の助産師としての対応が理解できる。 定期的なりフレクシオンを通して、自己評価能力を高める。 周産期の対象に関わるチームとしての活動ができる。 				
先修要件	助産師国家試験受験資格取得に必要な講義演習科目が不合格の場合、原則として助産学実習は履修できない				
関連科目	母性看護学概論、周産期の看護、母性看護学実習、ウィメンズヘルスナーシング、助産診断技術学総論、母性の心理・社会学、助産診断技術学Ⅰ～Ⅴ、助産管理、周産期の医療安全				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 助産師国家試験受験資格取得希望者には必修科目である。 実習目的・目標を理解した上で事前準備を周到に行うことが必要である。 実習中は、実習目標達成状況をその都度評価しながら次の課題を明確にして進める。 関連科目の学びを統合し、積極的に実践に取り組むことを期待する。 実習内容の進行状況によって実習時間の延長や変更の可能性があるため、体調管理に十分に配慮する。 				
成績評価の方法					
評価方法	実習内容・実践（50%）、実習記録・課題レポート（50%）を統合して評価する。				
評価基準	<p>以下の項目について到達目標1、および2、の達成度に基づき評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 継続事例の妊娠期における助産過程が実践できる 分娩期の助産診断および助産診断の修正ができる 分娩助産が実践できる 産褥期の助産過程が実践できる 新生児期の助産過程が実践できる 継続事例の退院後の母子への助産過程が実践できる 地域における助産活動について説明できる 適切な自己評価ができ、自己の課題を明確化できる 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
定期的なりフレクシオンとカンファレンスを行い、目標達成状況を自己評価できるよう支援する					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
履修済みの関連授業科目のテキスト、参考書等を活用すること。その他、必要時紹介する。					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー		随時メールにて受け付ける。面会が必要な場合は事前にメールにて連絡する。 科目責任者：大月恵理子e.otsuki.up@		
備考				
1～9週	大月恵理子、青柳優子、増田美恵子、鈴木紀子、森田亜希子、高島えり子、植竹貴子、梶川美菜	1. 妊娠期の助産活動（継続事例） (1) 妊婦の助産診断・助産計画 (2) 妊婦の健康診査 (3) 個別保健指導 (4) 母親学級、両親学級の見学 (5) 異常のある妊婦の妊婦健診の見学 2. 分娩期の助産活動（継続事例を含む） (1) 産婦の助産診断・助産計画 (2) 産婦の健康診査 (3) 産婦への基本的ニード・心理面のケア (4) 産痛緩和 (5) 家族へのケア (6) 経陰分娩の介助 (7) 出生直後の早期接触への援助 (8) 出生直後の新生児の健康診査 (9) 出生直後の新生児に必要な処置およびケア (10) 分娩後の産婦の観察およびケア (11) 異常分娩（帝王切開術、急速遂娩術）の見学 3. 産褥期の助産活動（継続事例を含む） (1) 褥婦の助産診断・助産計画 (2) 褥婦の健康診査 (3) 褥婦の健康生活への援助 (4) 母乳養育確立への援助 (5) パースレビュー、心理面のケア (6) 個別保健指導 (7) 母子関係、父子関係確立への援助 4. 新生児期の助産活動（継続事例を含む） □ (1) 新生児の助産診断・助産計画 (2) 新生児の健康診査 (3) 新生児の子宮外生活適応への援助 5. 退院後の母子に対する助産活動（継続事例） (1) 家庭訪問、電話訪問 (2) 1か月健診	実習	予習：妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の助産過程展開方法を復習しておく。妊婦・褥婦・新生児の健康診査の技術を修得しておく。基本的な分娩助産技術を修得する。（学習時間180分） 復習：母子に対するケアの評価、および自己評価を行う。（90分）
10週	大月恵理子、青柳優子、増田美恵子、鈴木紀子、森田亜希子、高島えり子、植竹貴子、梶川美菜	6. 地域における助産活動 1) 保健センターにおける母子保健事業と助産活動 (1) 当該地域の特性と健康課題を理解する。 (2) 市町村での母子保健事業の実際について説明を受ける。 (3) 母子保健事業の実際を学び、実践可能な援助に参加する。 ① 母子の家庭訪問 ② 乳幼児健康診査 ③ 母親学級・両親学級、育児学級など 2) 子育て支援施設の助産活動 (1) 子育て支援施設で行われている母子保健活動の実際を学び、実践可能な援助に参加する。 ① 母乳育児支援 ② 育児相談 ③ 産後ケア 3) 助産所における助産活動 (1) 助産所の施設、設備、管理の実際について説明を受ける。 (2) 助産所で提供される対象の健康問題・ニーズに対する看護の実際を学び、実践可能な援助に参加する。 (3) 助産業務に必要な法的文書の記載と取り扱いについて見学する。	実習	予習：対象地域の特性、健康課題（問題）について調べる。実習施設に関する基礎知識を確認し、実習計画を立案する。（180分） 復習：実習で学修した内容を確認して整理しておく。（90分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	精神看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Psychiatric Mental Health Nursing(Intro)	対象学年	2年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	水野 恵理子	ナンバリング	CNL34A1
担当教員	水野恵理子	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	人々の精神の健康と保持・増進および疾病予防を図るとともに、精神疾患を有する人に対する援助・支援活動の基本的な知識を学修する。精神力動論や関連要因の解説をもとに精神疾患と精神障害者の言動の意味を知る手がかりとし、セルフケア理論を基盤とした援助論を学ぶ。また、精神疾患患者の処遇の歴史を概観し、患者と家族の人権擁護の問題を考え、看護職としてふさわしい態度とは何かを学修する。			
授業の位置づけ	精神疾患を有する人とその家族の援助はどうあるべきかを考える基盤的諸理論と倫理的課題について学修することは、精神看護方法論I（精神看護援助の基礎）、精神看護方法論II（精神看護援助論）、精神看護学実習の基礎となる。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1-III、◎DP2-I、○DP2-III、○DP3-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の概要を学び、精神看護とは誰を対象とする何を目的とした看護学であるのかを説明できる。 2. 精神力動論、精神機能、心の健康への要因を学び、精神の健康とは何かを説明できる。 3. 精神疾患患者・障害者の人権と関連法規を学び、看護職として人権擁護の具体的な方法を説明できる。 4. ペプロウの人間関係論とオレム・アンダーウッドのセルフケア理論の概要について説明できる。 5. 昨今の精神医療福祉の統計データを概観し、精神看護活動の場・目的・役割・課題について説明できる。 6. 精神医療福祉における多職種の役割とチーム連携について説明できる。 7. 自身の障害観について考え、将来の看護職としての態度・行動にどのように影響しうるか推察できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	精神保健学、精神の健康障害と看護、精神看護方法論I、精神看護方法論II、精神看護学実習			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提示された予習を行い、授業で自分の意見が述べられるよう準備しておく。 2. 授業内で提示された復習を行い、課題がある場合は指定日に必ず提出する。 3. 課題レポートを課す予定である。講義内容の復習をしておく。 4. 定期試験受験資格を得るための出席日数は、各自の責任で確認しておく。警告しないこともあり得る。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験90%、課題レポート10%を総合して評価する。評価の割合は予定であり、若干の変更可能性あり。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理論の概要や基本的知識を説明できる。 2. 精神疾患を有する人を生物学的・心理学的・社会的な観点からホリスティックに捉えることについて説明できる。 3. 精神疾患患者・障害者の基本的人権を守ること、看護職に求められる倫理的姿勢を説明できる。 4. 日本の精神医療福祉の現状と課題を述べることができる。 5. 精神看護の特徴や支援方法について説明できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
定期試験後、個別の質問に応じる。課題レポートについては、課題のポイントを解説する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
1. ナーシング・グラフィック精神看護学1 情緒発達と精神看護の基本第5版	出口禎子ほか	メディカ出版	978-4-8404-7542-6	
2. ナーシング・グラフィック精神障害と看護の実践第5版	出口禎子ほか	メディカ出版	978-4840475419	
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 厚生統計協会：厚生指針 増刊 国民衛生の動向、最新版 2. 落合滋之監修：精神神経疾患ビジュアルブック、学研、2015。 3. 水野恵理子ほか編著：精神看護の看護過程、サイオ出版、2020。 ほか、授業内で適宜紹介する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワーを確認し、メール等で連絡をとる。			
備考	なし			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	水野恵理子	精神看護とは ・精神看護の対象と目的 ・精神看護の方法 ・精神の健康と成熟とは	講義	予習: シラバスをよく読み、授業内容を理解しておくこと。テキスト1の1精神障害についての基本的な考え方を読んでおく。(学習時間2時間) 復習: 授業資料を基に講義内容を理解し、以下について説明できるようにしておく。精神看護の対象と目的、精神看護実践の方法、精神の健康。(学習時間2時間)
2	水野恵理子	フロイトの精神力動論の基本概念 ・精神の構造と機能 ・意識と無意識	講義	予習: テキスト1の2-1人のこころのさまざまな理解を読み、前回の復習をしておく。(学習時間 1時間30分) 復習: 授業資料を基に講義内容を理解し、以下について説明できるようにしておく。イド(エス)、自我、超自我、自我の機能、意識、無意識、精神機能。(学習時間2時間)
3	水野恵理子	精神の健康を維持するための自我機能 ・防衛機制、不安、コーピング 各自の不安時の対処方法について討議する。	講義	予習: テキスト1の2-2ところと環境を読んでおく。(学習時間1時間30分) 復習: 授業資料を基に講義内容を理解し、以下について説明できるようにしておく。防衛機種の種類と内容、コーピング、不安の対処。(学習時間2時間)
4	水野恵理子	精神の健康に影響する要因 ・人と環境の関係 ・ソーシャルサポート ・ストレス学説 ・首尾一貫感覚 (Sense of Coherence: SOC) ・多様な場面での精神保健医療福祉-家庭・学校・職場のメンタルヘルス	講義	予習: 前回授業の復習をしておく。(予習1時間30分) 復習: 授業資料を基に講義内容を理解し、以下について説明できるようにしておく。ソーシャルサポート、ストレス学説、首尾一貫感覚 (SOC) の要素。
5	水野恵理子	精神保健医療福祉の現状と課題 ・精神医療の歴史の変遷と今日の課題 ・国際生活機能分類 ICF、欠格条項、スティグマ	講義	予習: テキスト1の10精神医療の歴史と看護を読んでおく。(学習時間1時間30分) 復習: 授業資料を基に講義内容を理解し、以下について説明できるようにしておく。精神医療の歴史の変遷、精神疾患患者の家族の役割の変遷、偏見とスティグマ、アンチスティグマ活動。(学習時間2時間)
6	水野恵理子	精神保健医療福祉の関連法規と倫理 ・精神保健福祉法、障害者総合支援法、医療観察法ほか ・精神科入院患者の処遇 ・精神科病棟の入院環境	講義	予習: テキスト1の11精神保健医療福祉をめぐる法律を読んでおく。(学習時間1時間30分) 復習: 授業資料を基に講義内容を理解し、以下について説明できるようにしておく。精神保健福祉法の対象と目的、障害者総合支援法の対象と目的、入院形態、行動制限、スティグマ、アドボカシー (人権擁護)。(学習時間2時間)
7	水野恵理子	精神看護援助の理論と役割機能 ・ペプロウの人間関係論の基本概念 ・オレム・アンダーウッドのセルフケア看護論 ・集団力動論の基礎	講義	予習: テキスト2の第2部-4精神科看護における対象の理解を読んでおく。(学習時間1時間30分) 復習: 授業資料を基に講義内容を理解し、以下について整理しておく。対象との治療的関係とは何か、セルフケア看護論の概要、グループダイナミクスを活用した実践。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	精神の健康障害と看護	必修・選択	必修
英語科目名	Mental Health Disability and Nursing	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	重田 ちさと	ナンバリング	CNL34A2
担当教員	重田ちさと※、島田隆史※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要				
全体内容	最初に、意識・注意・知覚・記憶・知能・思考・感情・意志・意欲・自我意識の障害について、専門用語の意味とともに理解し、それぞれの障害がある患者をどう支援していくかについて学ぶ。その後、精神医学総論、器質性精神障害、統合失調症、気分障害、神経症・パーソナリティ障害、児童精神医学・睡眠障害・中毒性精神障害、という順で、主な精神疾患の症状、病因、経過、有病率、検査法、診断、治療法等を体系的に学んでいく。精神疾患を患う患者を看護する上で必要な基本的知識を学修し、精神疾患の症状や状態像を、その疾患を患う人々の生活と関連づけて理解し、必要な看護について考える力を身につける。			
授業の位置づけ	主な精神疾患についての基本的な医学的知識、その疾患を患う人々が社会で生活する上で、どのような支援、環境が必要か、具体的な援助方法について学習し、精神看護方法論Ⅰ、Ⅱ、精神看護学実習の基礎と位置付ける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I、○DP2-II、○DP2-III、○DP3-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 代表的な精神疾患について、病態、検査法と診断、治療の概要を説明できる。 2) 精神症状や精神疾患が人々の生活やセルフケアに与える影響と、看護師はどのように介入できるかその方向性を説明できる。 3) 精神疾患を患う人に対する看護の基本を説明できる。 4) 精神機能としての思考・感情・意欲、自我意識、知覚、意識、記憶等が障害される状態について説明できる。 5) 各論を学び、その過程において触れる現在の精神医療の問題と課題について、自分の考えを述べることができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	精神保健学、精神看護学概論、精神看護方法論Ⅰ、精神看護方法論Ⅱ、精神看護学実習			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学生としての学習態度を培い、授業には主体的に臨む。 2. 各自、講義内容について自己学習をしておく（予習・復習）。 3. 7回のうち3回以上欠席すると定期試験受験資格がなくなるので、各自出席状況を確認し、注意すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（90％）、課題（10％） 授業に関連した課題を授業中に提示し、期限までに提出してもらう。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な精神疾患の症状、検査法、診断、治療法についての基本的知識を理解しているか。 ・ 精神症状や精神疾患を患う人々について、精神的、身体的、社会的側面から理解し、看護の方向性を説明できるか。 ・ 精神医療の現状と課題について、理解しているか。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題については、適宜フィードバックを行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
ナーシンググラフィカ 精神看護学①情緒の発達と精神看護の基本	出口禎子ほか	メディカ出版		
ナーシンググラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実践	出口禎子ほか	メディカ出版		
参考文献				
尾崎紀夫、三村将、水野雅文、村井俊哉編：標準精神医学 第8版、医学書院				
その他				
連絡先・オフィスアワー	メールは、平日の9-17時で受け付ける。メールアドレス（c-shigeta@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	重田	精神症状の理解と看護 (意識・注意・知覚・記憶・知能・思考・感情・意志・意欲・自我意識の障害、身体的訴えや行動面に現れる精神症状) [キーワード] 意識・注意・知覚・記憶・知能・思考・感情・意志・意欲・自我意識の障害、身体症状	講義	予習：テキストの該当部分を読んでおく。(学習時間：2時間) 復習：重要な専門用語の整理と看護のポイントについてノートにまとめる。(学習時間：2時間)
2	島田	精神医学総論 [キーワード] 精神医学、精神障害の診断と分類、外因・心因・内因、生物・心理・社会モデル	講義	予習：テキストの該当部分を読み、質問事項をまとめておく。(学習時間：2時間) 復習：講義における重要事項をノートにまとめる。(学習時間：2時間)
3	島田	認知症、器質性精神障害 [キーワード] 認知症、外因性精神障害	講義	予習：テキストの該当部分を読み、質問事項をまとめておく。(学習時間：2時間) 復習：講義における重要事項をノートにまとめる。(学習時間：2時間)
4	島田	統合失調症 [キーワード] 統合失調症、内因性精神障害、陽性症状、陰性症状	講義	予習：テキストの該当部分を読み、質問事項をまとめておく。(学習時間：2時間) 復習：講義における重要事項をノートにまとめる。(学習時間：2時間)
5	島田	気分障害 [キーワード] 気分障害、うつ状態、躁状態、うつ病、双極性障害	講義	予習：テキストの該当部分を読み、質問事項をまとめておく。(学習時間：2時間) 復習：講義における重要事項をノートにまとめる。(学習時間：2時間)
6	島田	神経症、パーソナリティ障害 [キーワード] 神経症、摂食障害、パーソナリティ障害	講義	予習：テキストの該当部分を読み、質問事項をまとめておく。(学習時間：2時間) 復習：講義における重要事項をノートにまとめる。(学習時間：2時間)
7	島田	児童精神医学、睡眠障害、中毒性精神障害 [キーワード] 発達障害、睡眠障害、アルコール関連障害、覚せい剤関連精神障害	講義	予習：テキストの該当部分を読み、質問事項をまとめておく。(学習時間：2時間) 復習：講義における重要事項をノートにまとめる。(学習時間：2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	精神看護方法論I（精神看護援助の基礎）	必修・選択	必修
英語科目名	PsychiatricMentalHealthNursingSkills I	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	松浦 彩美	ナンバリング	PNL34A1
担当教員	松浦彩美※、大島泰子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	【学修目標】 精神に障害を持つ人の対象理解と、治療的関係を築く上での援助の諸理論、精神科看護師の役割、精神障害者の理解と支援、家族理解、多職種連携、諸制度等を統合し、具体的な看護アプローチの基礎となる技法や療法を修得する。				
授業の位置づけ	精神保健学、精神看護学概論、精神の健康障害と看護における学修を統合し、精神障害者に対する具体的な看護アプローチの基礎となる技法や療法を修得する。 精神看護学実習の基礎と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ○DP1-Ⅲ：倫理的課題に対応できる基礎的能力 ◎DP1-Ⅳ：人間関係を構築できるコミュニケーション能力 △DP2-Ⅰ：医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力 ○DP2-Ⅱ：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力 ○DP2-Ⅲ：健康レベルに応じた看護を展開する能力 ○DP3-Ⅰ：保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力				
到達目標	【到達目標】 1. 精神障害による生活のしづらさを生活障害として理解し説明できる。 2. 地域生活を行うための精神科リハビリテーションの基本的な知識とアプローチ法、諸制度について説明できる。 3. 精神障害者の家族が抱える課題や支援方法に関する基本的な知識を理解できる。				
先修要件	なし				
関連科目	精神保健学（1年後期前半） 精神看護学概論（2年生後期前半） 精神の健康障害と看護（2年生後期後半）				
学修上の注意	1. 各自授業ノートを作成し、予習・復習、授業のポイントなどをまとめておく。 2. 2年次で学習した精神保健学精神看護学概論精神の健康障害と看護における講義内容を統合して看護と医療の知識を関連付け看護実践につなげる。 3. 3年次後期から4年次前期に、精神看護学実習にて担当する精神障害者に対する看護過程の展開、適切な看護実践につなげる。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（90%） 授業内小テスト（10%）				
評価基準	1. 精神障害による生活のしづらさを生活障害として理解できる。 2. 精神症状のアセスメント法と主な精神疾患患者への看護アプローチ法を説明できる。 3. 精神障害者の家族が抱える課題や支援方法に関する基本的な知識について説明できる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
・課題については、講義終了後にフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①	武井麻子	医学書院		
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学②	武井麻子	医学書院		
参考文献					
なし					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時メール連絡にて対応する。松浦彩美 atatei@juntendo.ac.jp				
備考	なし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松浦	精神に障害を持つ人の援助 1 1) 精神障害者の抱える「生きづらさ」と「生きにくさ」を生活障害として理解 2) 当事者が感じている病的世界/体験を理解 [キーワード] 精神症状、主観的体験、生活障害	講義	[予習] 精神障害による「生きにくさ」としての生活障害についてノートにまとめておく。(学習時間2時間30分) [復習] 講義内容と資料の確認、精神障害の生物・心理・社会的側面からの理解、依存から自律に向けた治療的関係についてノートにまとめておく。(学習時間2時間30分)
2	松浦	精神に障害を持つ人の援助 2 1) 精神看護に用いる技法 2) ストレングス・リカバリー [キーワード] 医学モデル、リカバリーモデル、ストレングスモデル、当事者意識	講義	[予習] 医学モデルとストレングスモデルの違いについて調べてノートにまとめておく。(学習時間2時間) [復習] 講義内容と資料の確認、当事者を主体としたリカバリーについてノートにまとめておく。(学習時間2時間)
3	大島	精神看護における援助的関係 ①精神看護の患者-看護師関係における援助技法 ②治療的コミュニケーション技法 ③精神看護実践に共通する働きかけの技法 [キーワード] 患者-看護師の相互作用、治療的関わり、治療的環境	講義	[予習] 教科書の内容(精神看護学2:8章A~C)を確認し、精神看護における対人援助について考えたことをノートにまとめる。(学習時間2時間) [復習] 講義資料と教科書を確認し、要点をノートにまとめる。(学習時間2時間)
4	大島	看護の対人関係論と治療的関わり ①看護の対人関係論(ペプロウ・オランダ・ウィーデンバック・トラベルビー) ②精神科病棟の治療的な環境と、患者-看護師関係の治療的関わり ③精神科看護における看護師と患者の関わり [キーワード] リフレクション、相互作用、自己一致、再構成、転移	講義	[予習] 基礎看護学実習 I/II を振り返り、印象に残っているコミュニケーション場面を選択し、患者と接しているときに自分が感じ、考えたことについてノートにまとめておく。(学習時間2時間) [復習] 講義資料と教科書(精神看護学2:第8章D・E)を確認し、要点をまとめる。印象に残っている看護におけるコミュニケーション場面について、プロセスレコードを用いて分析する。そして自分の看護におけるコミュニケーションの特徴と学び(大切にしたいこと・課題)をノートにまとめておく。(学習時間2時間)
5	松浦	精神科薬物療法と看護師の役割 [キーワード] 向精神薬、有害反応、アドヒアランス、コンコーダンス	講義	[予習] コンプライアンスとアドヒアランスの違いについて、ノートにまとめておく。(学習時間2時間) [復習] 向精神薬の薬理作用、有害反応から看護師の観察の視点と患者のアドヒアランスを高める方法についてノートにまとめておく。(学習時間2時間)
6	松浦	精神医療における様々な治療法 [キーワード] 精神分析、電気けいれん療法、集団精神療法、心理教育、SST、認知行動療法、対人関係療法、森田療法、マインドフルネス	講義	[予習] 「精神の健康障害と看護」で学習した疾患と治療法を復習しておく。(学習時間:2時間) [復習] 授業内容を整理し、精神科における様々な治療法についてノートにまとめる。(学習時間2時間)
7	松浦	精神障害者の地域生活支援と諸制度 精神障害者の退院促進と地域生活支援 [キーワード] 障害者総合支援法、社会復帰施設、精神科訪問看護、リカバリー、SST、デイケア、就労支援、WRAP	講義	[予習] 地域で生活する精神障害者のリカバリーとは何か、自分なりに考え、ノートにまとめておく。(学習時間2時間) [復習] 精神障害者の生活を支える制度には、どのようなものがあるか、日本において地域で生活する精神障害者の現状と課題、訪問看護師の役割、リカバリーに役立つ資源についてノートにまとめておく。(学習時間3時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	精神看護方法論II（精神看護援助論）	必修・選択	必修
英語科目名	PsychiatricMentalHealthNursingSkills II	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	松浦 彩美	ナンバリング	PNL34A2
担当教員	水野恵理子※ 松浦彩美※ 阿部美香※ 重田ちさと※ 大島泰子※ 須藤りつ※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<p>主な精神疾患患者への看護アプローチの基本を学び、諸理論を用いた看護過程の展開方法を修得する。地域で生活している精神障害者に対する精神科リハビリテーションの基本的な知識とアプローチ法を修得する。さらに家族の問題や援助、リエゾン精神看護の基礎的な知識と方法についても修得する。</p> <p>こころの健康問題を抱えている人や家族の理解を深め、その人らしく生きることを支えるための精神科看護師としての役割と機能を学ぶ。また、こころの健康問題を持つ人々の外来・入院治療や地域生活を支えるための諸理論と諸制度、ならびに具体的な看護アプローチ法を学ぶ。</p>				
授業の位置づけ	こころの健康問題を持つ人々の外来・入院治療や地域生活を支えるための諸理論と諸制度、ならびに具体的な看護アプローチ法を理解し、臨地実習にて実際に患者を担当することができる。精神看護学実習における看護実践の基礎と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。</p> <p>△DP1-Ⅲ：倫理的課題に対応できる基礎的能力 ○DP1-Ⅳ：人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ○DP2-Ⅰ：医学および関連領域の知識を看護に活用できる能力 ○DP2-Ⅱ：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力 ◎DP2-Ⅲ：健康レベルに応じた看護を展開する能力 ○DP3-Ⅰ：保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力</p>				
到達目標	<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神症状のアセスメント法と主な精神疾患患者への看護アプローチの基本を説明できる。 2. セルフケア看護理論を用いて看護過程を展開するための知識を習得し活用できる。 3. 精神医療と保健福祉をめぐる現状と課題、看護の展望について理解できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	精神保健学（1年後期前半） 精神看護学概論（2年後期前半） 精神の健康障害と看護（2年後期後半） 精神看護方法論Ⅰ（精神看護援助の基礎）（3年前期前半）				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ノートを作成し、予習、復習、授業のポイントについてまとめておく。 2. 2年次で学習した精神保健学精神看護学概論精神の健康障害と看護における講義内容を統合して看護と医療の知識を関連付け看護実践につなげる。 3. 3年次後期から4年次前期に、精神看護学実習にて担当する精神障害者に対する看護過程の展開、適切な看護実践につなげる。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（80％）、看護過程の演習参加状況と課題レポート（20％）				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神症状のアセスメント法と主な精神疾患患者への看護アプローチの基本を説明できる。 2. セルフケア看護理論を用いて看護過程を展開するための知識を習得し活用できる。 3. 精神医療と保健福祉をめぐる現状と課題、看護の展望について理解できる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは、講義終了後にフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①	武井麻子	医学書院		
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学②	武井麻子	医学書院		
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時メール連絡にて対応する。松浦彩美 atatei@juntendo.ac.jp				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	松浦	精神科医療における患者の処遇と看護 [キーワード]精神保健福祉法、幻覚妄想、抑うつ躁状態、希死念慮、安全管理、隔離拘束、行動制限、人権擁護	講義・演習	[予習] 精神科医療における身体拘束・隔離について調べ自身の考えをノートにまとめておく。(学習時間1時間) [復習] 治療として隔離・拘束を受けている患者の思いを追体験してみる。当事者が疾患を受容し治療を継続していくために、必要な看護を再度検討する。(学習時間1時間)
2	重田	統合失調症の看護 [キーワード] 統合失調症、陽性症状、陰性症状、認知機能障害	講義・演習	[予習]精神の健康障害と看護(統合失調症)を復習し、病態生理と症状、治療についてノートにまとめておく。(学習時間1時間) [復習]統合失調症の症状・病期・治療に応じた看護の方法についてノートにまとめておく。(学習時間1時間)
3	重田	慢性期の統合失調症の看護 神経症性障害・ストレス反応・適応障害の看護 [キーワード]統合失調症、不安障害(パニック障害)、強迫性障害、急性ストレス障害、心的外傷後ストレス障害、適応障害	講義・演習	[予習] ①前回の授業(統合失調症の看護)で学習した統合失調症の方への看護についてノートにまとめた内容を復習しておく。 ②精神の健康障害と看護(神経症)を復習し、神経症性障害の代表的な疾患について、症状の特徴と治療法をノートにまとめておく。(学習時間1時間) [復習]慢性期の統合失調症と神経症性障害の看護のポイントについてノートにまとめておく。(学習時間1時間)
4	大島	セルフケア理論(オレム/アンダーウッドモデル)の活用 [キーワード]セルフケア、自己決定能力、セルフケアニード、セルフケア能力、セルフケア不足、看護システム	講義・演習	[予習]精神看護学概論で学修したセルフケア理論(オレム/アンダーウッドモデル)を復習しておく。 テキスト②を参考に、アセスメントの目的と、どのようなことをアセスメントすべきか、ノートに記述しておく。(学習時間1時間) [復習]セルフケア理論(オレム/アンダーウッドモデル)はどのような理論で、精神科看護にどう役立つか、ノートにまとめておく。(学習時間1時間)
5-8	大島 水野 松浦 阿部 重田 須藤	精神科における看護過程 演習1-4回目(統合失調症) [キーワード] オレム・アンダーウッドセルフケア理論、発達課題、ストレングス、リカバリー、病識、薬物療法、服薬管理、SST、OT、地域生活支援、退院調整、家族支援	講義・演習	[演習方法] 1回目:情報収集・全体像の把握 2回目:アセスメント、アセスメントの発表・ディスカッション 3回目:看護計画立案 4回目:看護計画の発表・ディスカッション 演習は原則4回出席し、レポートを提出すること。 演習4回の参加態度および作成したレポートは成績評価に加える。 [予習] 統合失調症の看護を復習しておく。(各回1時間 計4時間) [復習] 演習時間内に到達できなかった部分は自己学習となる。次回の演習で発表およびディスカッションができるよう準備しておく。(学習時間 各回1時間30分 計6時間) ※提出物の提出方法と期限は授業内で提示する。
9	大島	気分障害の看護 [キーワード] うつ病、双極性障害、傾聴、認知行動療法、自殺予防	講義・演習	[予習] ①精神の健康障害と看護(気分障害)を復習し、病態生理と治療についてノートにまとめておく。(学習時間1時間) ②あなた自身や身の回りの方のうつ状態に関する経験を振り返り、看護で大切にしたいと考えたことをノートにまとめておく。(学習時間15分) [復習] 症状、病相に応じた看護方法についてノートにまとめておく。(学習時間1時間)
10	重田	パーソナリティ障害・摂食障害の看護 [キーワード]パーソナリティ障害、摂食障害	講義・演習	[予習]精神の健康障害と看護の該当疾患の部分復習しておく。(学習時間1時間) [復習]疾患の特徴と対応についてノートに整理しておく。(学習時間1時間)

11	阿部	物質関連障害の看護 [キーワード]アルコール使用障害、アディクション（嗜癖）、依存、ARP、自助グループ、家族支援	講義・演習	[予習]アルコール使用障害に関連する身体合併症と看護についてノートにまとめておく。（学習時間1時間） [復習]依存症の看護、自助グループ、リハビリテーション施設についてノートにまとめておく。（学習時間1時間）
12	阿部	器質性精神障害の看護 [キーワード]器質性精神障害、若年性認知症、てんかん、せん妄	講義・演習	[予習]「精神の健康障害と看護」の認知症・器質性精神障害の部分を復習し、病態生理と治療についてノートにまとめておく。（学習時間1時間） [復習] 代表的な器質性精神障害の看護のポイントについてノートにまとめておく。（学習時間1時間）
13	松浦	児童・思春期精神看護 自閉スペクトラム症（ASD）・注意欠如・多動症（ADHD）・限局性学習障害（LD） [キーワード]自閉症スペクトラム、注意欠如・多動症、限局性学習障害（LD）、発達障害	講義・演習	[予習]自閉症スペクトラム症（ASD）の特徴についてノートにまとめておく。（学習時間1時間） [復習]講義内容と配布資料を整理して、発達障害の特徴と支援についてノートにまとめておく。（学習時間1時間）
14	松浦	リエゾン精神看護 [キーワード]リエゾン精神看護、コンサルテーション、心身相関、危機介入、看護師のメンタルヘルス、専門看護師、役割	講義・演習	[予習]教科書のリエゾン精神看護に関係する部分を読んでおく。（学習時間1時間） [復習]リエゾン精神看護とは何か、リエゾン精神看護の対象（どのような場面で必要とされるか）、リエゾン看護の方法について、ノートにまとめておく。（学習時間1時間）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	精神看護学実習	必修・選択	必修
英語科目名	Psychiatric Nursing Practicum	対象学年	3, 4年
開講学期	複期	単位数	2単位
代表教員	松浦 彩美	ナンバリング	PNL34A3
担当教員	水野恵理子※ 松浦彩美※ 阿部美香※ 重田ちさと※ 大島泰子※ 須藤りつ ※ 櫻沢早人子※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	精神の健康に障害を持つ人々を理解し、その人の人権を擁護しながらセルフケア能力を高め、地域へつなげていくために必要な看護を実践できる基礎的能力を養う。			
授業の位置づけ	精神看護学実習では、エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力を身につけ、臨床看護につなげる基礎と位置付ける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。</p> <p>ODP1-Ⅲ：倫理的課題に対応できる基礎的能力 ODP1-Ⅳ：人間関係を構築できるコミュニケーション能力 ODP2-I：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ODP2-II：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力 ODP2-Ⅲ：健康レベルに応じた看護を展開する能力 ODP3-I：保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間関係における相互理解と信頼関係を築き、治療的関係の重要性を説明できる。 2. 受け持ち患者の症状や言動を諸理論を用いて分析し、看護過程を展開する事ができる。 3. 精神科医療における治療や治療環境の特殊性、看護師の役割を説明できる。 4. 地域社会復帰施設の概要を理解し、精神障害者の地域生活の現状を理解できる。 5. 精神障害者を「生活者」として理解し、退院促進と地域生活支援の方法を理解できる。 6. 看護学生としての学習態度を身につけることができる。 			
先修要件	精神看護方法論Ⅰ 精神看護方法論Ⅱ			
関連科目	精神保健学（1年後期前期） 精神看護学概論（2年前期後期） 精神の健康障害と看護（2年後期後半） 精神看護方法論Ⅰ（3年前期前半） 精神看護方法論Ⅱ（3年前期後半）			
学修上の注意	<p>・事前学習については、以下の7項目を手書きでノートにまとめ、実習初日に担当教員に提出する。（コピーは不可）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健福祉法（処遇/人権擁護の方法、入院形態、身体拘束、安静室使用、通信、精神保健指定医制度等） 2. リスクマネジメント：予測される患者に関わる事故・危険事項およびその予防法 3. 主な精神障害（認知症を含む）と主症状、主な検査方法 4. 精神科における治療法・各種療法（薬物療法、修正型/電気痙攣療法m-ECT/EST、作業療法OT、精神療法等・看護について） 5. 外来・訪問看護・デイケア・生活療法・社会生活技能訓練SST・レクリエーションの目的または意義、多職種連携 6. 精神障害者の社会復帰をサポートする人的資源や社会資源（障害者総合支援法に規定される精神障害者通所施設や各種サービス、自立支援医療等）、障害年金、生活保護制度、精神障害者福祉手帳制度 7. 国際生活機能分類ICF生活機能構造モデルを通して障害の理解、社会参加支援の方法 8. 当事者を主体とした援助方法（リカバリーモデル、ストレングスモデル） <p>・実習のスケジュールは、実習する施設によって異なるので、詳しくは実習オリエンテーションで伝える。</p>			
成績評価の方法				
評価方法	実習内容と実習記録、課題のレポート、カンファレンス参加状況をもとに到達目標の達成度（80%）、実習態度（20%）を総合して評価し合否判定を行う。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康に障害を持つ患者を受け持ち、信頼関係を築く方法と自己活用の方法を理解できているか 2. 精神の健康に障害を持つ患者を受け持ち、看護過程を展開することができているか 3. 精神の健康に障害を持つ患者の退院の促進と地域定着支援について理解できているか 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
実習記録、課題のレポートは、卒業試験の時期に返却する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護学 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 第2版 田中美恵子編著 医歯薬出版株式会社 2015. 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	実習の担当教員のメールアドレスに、随時連絡してください。			
備考	なし			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1日目 ～ 2日目	水野 松浦 阿部 重田 大島 須藤 櫻沢	病棟オリエンテーションと患者決定 精神科病棟の安全管理と特殊性の理解 カルテ、コミュニケーション、観察を通して情報収集 [キーワード] 精神保健福祉法、入院形態、隔離拘束、安全管理、人権擁護	実習	[予習] 1. 指定された事前学習をノートにまとめ 実習初日に担当教員に提出する。 2. コミュニケーション技術、セルフケア 理論について確認しておくこと。 (学習時間180分) [復習] 1. 精神保健福祉法に基づく精神科病院の 安全管理(入院形態、隔離/拘束、通信/面 会、危険物の持ち込み等)について、実際 の病棟実習を通してどのような注意が必要 か整理しておくこと。 2. 受け持ち患者の全体像をイメージしな がら看護の方向性と必要な情報を整理して おくこと。 (復習時間60分)
3日目	水野 松浦 阿部 重田 大島 須藤 櫻沢	学内 セルフケアの評価と全体像の分析 看護過程の素案作成 (指定された教室に集合、教員から指導を受ける) [キーワード] オレム・アンダーウッドセルフケア理論、発達課題、ストレングス、 リカバリー、病識、服薬管理、SST、OT、地域生活支援、退院調整、家 族支援	実習	[予習] 1. 受け持ち患者の現病歴、既往歴、治療 について確認すること。 2. 症状と生活管理において必要となる観 察項目、退院に向け活用できる社会資源に ついて確認すること。 (学習時間90分) [復習] 課題としてセルフケア理論と発達理論を用 いて看護過程の素案を立てる。 (復習時間60分)
4日目 ～ 7日目	水野 松浦 阿部 重田 大島 須藤 櫻沢	患者-看護者関係の構築 担当患者の看護計画の立案/問題と目標の共有 看護計画の実施 ケースカンファレンスにおける看護計画の検討と修正 病棟別実習まとめのカンファレンス 看護計画の評価 地域実習オリエンテーション [キーワード] 精神科看護師の役割、治療的関係、プロセスレコード、自己活用、社 会的入院、訪問看護、継続看護	実習	[予習] 1. 対人関係論、患者-看護者関係につ いて確認すること。 2. ストレングス/リカバリーモデルにつ いて確認すること。 (学習時間60分) [復習] 1. 受け持ち患者の看護過程を展開する。 その際、ストレングス/リカバリーモデル の視点を用いて計画を立案する。 2. プロセスレコードを通して、受け持ち 患者との治療的関係について振り返る。 3. ケースカンファレンスの内容を統合し て看護計画の評価と修正をする。 (復習時間30分)
7日目 ～ 9日目	水野 松浦 阿部 重田 大島 須藤 櫻沢	指定された社会復帰施設にて2～3日間の実習 (各施設1～4名配置) 各施設で行われているプログラムに参加 [キーワード] 障害者総合支援法、精神保健福祉法、精神保健福祉士、障害者サービ ス事業、障害年金、生活保護、治療継続、リカバリー	実習	[予習] 1. 精神障害者の地域生活支援と諸制度、 就労継続支援A/B型事業所、就労移行支援 事業、地域活動支援センター、クラブハウ ス等についてノートにまとめておくこと。 2. 精神保健福祉士の役割について確認す ること。 (学習時間60分) [復習] 地域で暮らす精神障害者に対する看護師の 役割、他職種連携、精神障害者のケアマネ ジメントについて施設実習を通して学んだ ことをまとめておくこと。 (復習時間30分)
10日目	水野 松浦 阿部 重田 大島 須藤 櫻沢	学内 精神看護学実習まとめ 報告会	実習	課題：病院実習及び地域精神実習を統合 し、看護師の役割についてまとめ、発表す る。 (学習時間60分) 14時までに実習記録を提出

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	在宅看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Home Care Nursing	対象学年	2年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	種市 ひろみ	ナンバリング	CNL34B1
担当教員	種市ひろみ※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	さまざまな疾病や障害をもつ療養者とその家族に対し、在宅という生活の場で提供される看護活動の基本的考え方を学ぶ。具体的には、在宅看護に関連する法的基盤と制度の概要、在宅医療・連携の動向、訪問看護の実際、在宅ケアシステム、家族支援、ケアマネジメントを理解し、在宅看護を取りまく現状や課題について考察する。			
授業の位置づけ	看護と理論の方法の中の「ソーシャルライフと看護」の科目のひとつである。在宅看護学は、あらゆる年代を対象とし、多様な疾病や障害をもちながら地域で暮らしている人々への看護について学修する。そのため、看護学概論、看護理論・看護過程、基礎看護方法論、小児・成人・高齢者・精神・公衆衛生看護学概論、人間関係論、家族関係論、社会福祉・社会保障論、看護倫理、の学修が基盤になる。在宅看護学概論を履修後、在宅看護方法論Ⅰにて多様な対象者への看護展開論を学び、在宅看護方法論Ⅱにて在宅看護技術を学び、在宅看護学実習にて臨地実習を行う。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-I、ODP2-II、◎DP2-III、ODP3-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅という生活の場で提供される看護活動の基本的考え方を説明できる 2. 在宅看護に関連する法的基盤と制度の概要を説明できる 3. 在宅看護を取りまく現状や課題について考え、改善策を検討する意欲をもつことができる 			
先修要件	なし			
関連科目	看護学概論、看護理論・看護過程、基礎看護方法論、小児・成人・高齢者・精神・公衆衛生看護学概論、人間関係論、家族関係論、社会福祉・社会保障論、看護倫理			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回、授業開始時に小テストを行い、評価の対象とするので、指定された教科書を読み授業に臨むこと 2. 毎回、授業終了前にリフレクションペーパーを配布する。記載後、翌日13時までに事務ボックスへ提出すること 3. 2回目の授業までに、自分の住んでいる地域の市役所等で作成されている介護保険のパンフレットを入手し、介護保険や諸サービスについて事前学習しておくこと 4. 授業中に配布された資料、厚生労働省など関連機関のホームページや参考図書を用いて復習を行うこと 			
成績評価の方法				
評価方法	小テスト（7回）（35%）、定期試験（65%）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅という生活の場で提供される看護活動の基本的考え方を説明できるか 2. 在宅看護に関連する法的基盤と制度の概要を説明できるか 3. 在宅看護を取りまく現状や課題について考えることができるか 以上の達成度によって評価する。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時小テストの内容は当該時間内に解説を加えながら回答を示す ・リフレクションペーパーの質問や意見について、次回の授業でフィードバックを行う ・課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける 				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
NICE 在宅看護論：自分らしい生活の継続をめざして 改訂第2版	石垣和子/上野まり編	南江堂		
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・河原加代子ほか：地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第6版 系統看護学講座(専門分野)、医学書院、2022 ・河原加代子ほか：地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実際 第6版 系統看護学講座(専門分野)、医学書院、2022 ・正野逸子、本田彰子：関連図で理解する在宅看護過程第2版、メヂカルフレンド社、2018 ・渡辺裕子監修：家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第6版、日本看護協会出版会、2022 ・清崎由美子 編著：訪問看護師のための診療報酬&介護報酬のしくみと基本 2022(令和4)年度診療報酬・2021(令和3)年度介護報酬改定対応版 メディカ出版、2022 ・永井康徳：たんぼ先生の在宅報酬算定マニュアル第7版、日経NP社、2022 ・島内節：現場で使える在宅ケアのアウトカム評価：ケアの質を高めるために、ミネルヴァ書房、2018 ・福井小紀子：病院からはじまる在宅看取りケア、メヂカルフレンド社、2018 ・角田直枝：よくわかる在宅看護：知識が身につく！実践できる！ 第3版、Gakken、2020 ・訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル 第4版、日本訪問看護振興財団、2021 ・一般社団法人全国訪問看護事業協会（編集）：訪問看護ステーションの開設・運営ガイドブック：ここから始める、メディカ出版、2021 ・押川 真喜子：新訂版 写真でわかる訪問看護 アドバンス、インターメディカ、2020 ・宮崎和加子：在宅・施設での看取りのケア：自宅、看多機、ホームホスピス、グループホーム、特養、日本看護協会出版会、2016 ・正野逸子、本田彰子：看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術、メヂカルフレンド社、2015 ・宮崎和加子：訪問看護でいきいき働く！：20のステーションから見えてきた キラリ★看護の底力、メディカ出版、2015 ・宮崎和加子：在宅ケア リスクマネジメントマニュアル 第2版“生活の場”のリスクをさらに検証、日本看護協会出版部、2016 ・山内豊明、岡本茂雄：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版、中央法規出版、2015 				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	種市ひろみ	在宅看護の理念と目的・歴史 1) 在宅看護の定義・理念を理解する 2) 在宅看護が必要とされる社会的背景を理解する 3) 訪問看護制度が確立するまでの歴史を理解する	講義	【予習】 教科書 第I章を読む(学習時間70分) 【復習】 教科書 第I章と配布されたプリントを読む(学習時間70分) 【キーワード】 在宅看護の定義、在宅看護の歴史
2	種市ひろみ	在宅看護の法的基盤と制度 1) 介護保険制度を理解する 2) 訪問看護制度を理解する	講義	【予習】 教科書 第III章1.3.8を読む(学習時間70分) 【復習】 教科書 第III章1.3.8と配布されたプリントを読む(学習時間70分) 【キーワード】 介護保険制度、医療保険制度、訪問看護制度
3	種市ひろみ	在宅看護の場の広がり連携 1) 在宅看護をとりまく医療機関や施設について理解する 2) 在宅医療における連携を考える	講義	【予習】 教科書 第III章5~7を読む(学習時間70分) 【復習】 教科書 第III章5~7と配布されたプリントを読む(学習時間70分) 【キーワード】 在宅医療・連携
4	種市ひろみ	在宅看護と家族支援 1) わが国の家族の特徴について理解する 2) 在宅における家族看護を理解する	講義	【予習】 教科書 第II章1.2と第V章3を読む(学習時間70分) 【復習】 教科書 第II章1.2と第V章3と配布されたプリントを読む(学習時間70分) 【キーワード】 在宅療養者の特性、家族支援
5	種市ひろみ	在宅ケアシステム 1) 在宅ケアシステムについて理解する	講義	【予習】 教科書 第III章2.4を読む(学習時間70分) 【復習】 教科書 第III章2.4と配布されたプリントを読む(学習時間70分) 【キーワード】 在宅ケアシステム
6	種市ひろみ	在宅におけるケアマネジメント 1) 在宅におけるケアマネジメントの定義と実際を理解する	講義	【予習】 教科書 第IV章2.3を読む(学習時間70分) 【復習】 教科書 第IV章2.3と配布されたプリントを読む(学習時間70分) 【キーワード】 ケアマネジメント、ケアプラン
7	種市ひろみ	在宅における看護過程の展開と倫理的課題 1) 在宅における看護過程の展開の特徴を理解する 2) 在宅看護における倫理的課題について考える 3) 在宅看護の今後の展望について考える	講義	【予習】 教科書 第V章1.2.4.5を読む(学習時間70分) 【復習】 教科書 第V章1.2.4.5と配布されたプリントを読む(学習時間70分) 【キーワード】 在宅看護過程、在宅看護における倫理的課題

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	在宅看護方法論I（在宅看護展開論）	必修・選択	必修
英語科目名	Home Care Nursing Skills I	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	菱田 一恵	ナンバリング	CNL34B2
担当教員	菱田一恵※、種市ひろみ※、松浦志野※、宮本圭※、吉田めぐみ※、西村あをい※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	さまざまな疾病や障害をもつ在宅療養者とその家族への特徴的な看護の展開方法を学ぶ。具体的には、認知症・難病・精神疾患の在宅療養者とその家族の支援方法、在宅で療養する子どもとその家族への支援方法、看取りを見据えたがん・非がんの在宅療養者とその家族への支援方法を理解する。さらに、在宅療養支援における看護師の役割と課題について考察する。			
授業の位置づけ	看護と理論の方法の中の「ソーシャルライフと看護」の科目の一つである。在宅看護学概論をもとに、在宅看護方法論Ⅱ、在宅看護学実習に向けて、多様な対象者への看護展開論を学び、在宅療養支援の方法、看護師の役割について理解を深める。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-I、ODP2-II、◎DP2-III、ODP3-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 2. 難病の在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 3. 精神疾患の在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 4. 在宅で療養する子どもとその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 5. 看取りを見据えたがん・非がんの在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 6. 在宅療養支援の方法について説明することができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	在宅看護学概論、在宅看護方法論Ⅱ、在宅看護学実習			
学修上の注意	主体的・積極的に授業に臨むこと。 予習・復習を行って、授業で具体的にイメージができるように学習すること。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポートと授業参加態度（30%）、定期試験（70%）。授業参加態度は、授業内で提示される課題やリフレクションペーパーの提出等で評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 2. 難病の在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 3. 精神疾患の在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 4. 在宅で療養する子どもとその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 5. 看取りを見据えたがん・非がんの在宅療養者とその家族の在宅療養上の課題と支援方法を説明することができる。 6. 在宅療養支援の方法について説明することができる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックを希望する場合は随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして 改訂第2版、2017.	石垣和子、上野まり	南江堂	978-4-524-25862-8	
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 臺有桂他編集：ナーシンググラフィカ在宅看護論、地域療養を支えるケア第6版、メディカ出版、2018. ・ 河原加代子他：在宅看護論（系統看護学講座統合分野）第5版、医学書院、2017 ・ 正野逸子、本田彰子：関連図で理解する在宅看護過程 第2版、メヂカルフレンド、2018 ・ 河野あゆみ：強みと弱みから見た在宅看護過程、医学書院、2018 ・ 杉本正子他：在宅看護論 実践をこばに第6版、ヌーヴェルヒロカワ、2016 ・ 押川真喜子：新訂版 写真でわかる訪問看護 アドバンス、インターメディカ、2020 ・ 福井小紀子：病院からはじまる在宅看取りケア、メヂカルフレンド社、2018 ・ 宇都宮宏子他：看護がつながる在宅療養移行支援、日本看護協会、2014. ・ 角田直枝：よくわかる在宅看護：知識が身につく！実践できる！ 第3版、Gakken、2020 ・ 山内 豊明、岡本 茂雄：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版、中央法規出版、2015 ・ 川越正平：在宅医療バイブル（家庭医療学、老年医学、緩和医療学も3領域からアプローチする）第2版、日本医事新報社、2018 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと k-hishida@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	菱田一恵	在宅における認知症をもつ療養者とその家族への支援方法 1) 認知症の在宅療養者とその家族の特徴 2) 認知症の在宅療養者とその家族への看護の実際 3) 在宅療養支援の現状と課題	講義	【予習】 概論で使用したテキスト p. 147~p. 156 を読んでおく。(学習時間70分) 【復習】 講義開始時に配布するリフレクションペーパーに記入し指定の期日までに事務ボックスに提出する。(学習時間70分) 【キーワード】 認知症高齢者の在宅療養上の課題と看護、介護者支援、認知症に関する制度
2	吉田めぐみ	難病の在宅療養者とその家族への支援方法 1) 難病の在宅療養者とその家族の生活の特徴 2) 難病の在宅療養者とその家族の生活を支える社会資源 3) 難病の在宅療養者とその家族への看護の実際	講義	【予習】 概論で使用したテキスト p. 166~p. 177 を読んでおく。(学習時間70分) 【復習】 講義時に配布するリフレクションペーパーに記入し、指定の期日までに事務ボックスに提出する。(学習時間70分) 【キーワード】 難病の定義、難病に関する制度、難病を持つ人の在宅療養上の課題と看護、家族支援、意思決定支援
3	宮本圭	精神疾患をもつ在宅療養者とその家族への支援方法 1) 精神疾患をもつ在宅療養者とその家族の生活の特徴 2) 精神疾患をもつ在宅療養者とその家族の生活を支える社会資源 3) 精神疾患をもつ在宅療養者とその家族への看護の実際	講義	【予習】 概論で使用したテキスト p. 198~p. 207 を読んでおく。(学習時間70分) 【復習】 講義開始時に配布するリフレクションペーパーに記入し指定の期日までに事務ボックスに提出する。(学習時間70分) 【キーワード】 統合失調症、精神保健福祉法、障害者総合支援法、服薬管理、日常生活技能、社会参加
4	西村あをい	在宅で療養する子どもとその家族への支援方法 1) 在宅で療養する子どもとその家族の特徴 2) 在宅で療養する子どもとその家族への看護の実際 3) 在宅療養支援の現状と課題	講義	【予習】 概論で使用したテキスト p. 186~p. 197 を読んでおく。(学習時間70分) 【復習】 講義から学んだことを指定の用紙に記入し、授業終了時に教室で提出する。(学習時間70分) 【キーワード】 重症心身障害児の在宅療養上の課題と看護、療育、母子関係への支援
5	松浦志野	看取りを見据えたがんの在宅療養者とその家族への支援方法 1) 在宅ホスピスケアの視点 2) 在宅看取りに至るプロセス 3) がん・非がんの在宅療養者とその家族の特徴 4) 在宅看取りを見据えた支援の実際 ・症状コントロール ・意思決定支援 ・家族支援 ・グリーフケア	講義	【予習】 概論で使用したテキスト p. 20~p. 31、p. 157~p. 165 を読んでおく。(学習時間70分) 【復習】 講義開始時に配布するリフレクションペーパーに記入し、指定の期日までに事務ボックスに提出する。(学習時間70分) 【キーワード】 がん、在宅看取り、在宅ホスピスケア、症状コントロール、意思決定支援、家族支援、グリーフケア
6	松浦志野	看取りを見据えた非がんの在宅療養者とその家族への支援方法 1) 在宅ホスピスケアの視点 2) 在宅看取りに至るプロセス 3) 非がんの在宅療養者とその家族の特徴 4) 在宅看取りを見据えた支援の実際 ・症状コントロール ・意思決定支援 ・家族支援 ・グリーフケア	講義	【予習】 概論で使用したテキスト p. 20~p. 31、p. 208~p. 216 を読んでおく。(学習時間70分) 【復習】 講義開始時に配布するリフレクションペーパーに記入し、指定の期日までに事務ボックスに提出すること。(学習時間70分) 【キーワード】 非がん、在宅看取り、在宅ホスピスケア、症状コントロール、意思決定支援、家族支援、グリーフケア
7	種市ひろみ	在宅療養支援とは 1) 在宅療養支援における看護師の役割と連携を理解する 2) 退院支援の実際を映像から読み取る	講義	【予習】 概論で使用したテキスト p. 74~p. 79 を読んでおく。(学習時間70分) 【復習】 講義開始時に配布するリフレクションペーパーに記入し、指定の期日までに事務ボックスに提出すること。(学習時間70分) 【キーワード】 在宅療養支援、退院支援、継続看護、意思決定支援

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	在宅看護方法論II（在宅看護技術論）	必修・選択	必修
英語科目名	Home Care Nursing Skills II	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	菱田 一恵	ナンバリング	PNL34B1
担当教員	菱田一恵※ 種市ひろみ※ 松浦志野※ 宮本圭※ 吉田めぐみ※ 森谷千春※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	さまざまな疾病や障害をもつ在宅療養者とその家族へ提供される具体的な看護技術を修得する。			
授業の位置づけ	看護と理論の方法の中の「ソーシャルライフと看護」の科目の一つである。在宅看護学概論、在宅看護方法論Iをもとに、在宅看護学実習に向けて、療養者宅への初回訪問において必要な態度、知識、技術を修得する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-Ⅲ、△DP1-Ⅳ、○DP2-I、○DP2-II、◎DP2-Ⅲ、○DP3-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.呼吸、栄養、排泄、スキンケア、服薬に関する在宅看護方法について説明できる。 2.呼吸、栄養、排泄、スキンケア、服薬に関して、在宅における医療的ケアの具体的方法を考え、看護計画を立案できる。 3.療養者宅への初回訪問に関する看護計画、行動計画を立案できる。 4.療養者宅への初回訪問において必要な態度、知識、技術について、実演と評価ができる。 5.生活の場における援助関係形成に必要な態度、知識、技術について説明できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	在宅看護学概論、在宅看護方法論I、在宅看護学実習			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では個人ワーク・グループワークや発表を中心に行う。取り扱うテーマについて、事前学習を必要とする。 ・授業全体を通して学習内容が積み重なるように構成されているため、毎回、授業中に配布された資料や関連書籍等にて予習・復習を行うこと。 			
成績評価の方法				
評価方法	小テスト（20％）、課題および授業への参加態度（20％）、定期試験（60％）を総合して評価する。小テストは、第1～4回の授業開始時に行う予定である。課題は、授業内で提示する。授業への参加態度は、授業内で提示される課題の提出状況、および発表の準備状況と参加態度等により評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1)呼吸、栄養、排泄、スキンケア、服薬に関する在宅看護方法について説明できる。 2)呼吸、栄養、排泄、スキンケア、服薬に関して、在宅における医療的ケアの具体的方法を考え、看護計画を立案できる。 3)療養者宅への初回訪問に関する看護計画および行動計画を立案できる。 4)療養者宅への初回訪問において必要な態度、知識、技術について、実演と評価ができる。 5)生活の場における援助関係形成に必要な態度、知識、技術について説明できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題等に対するフィードバックの希望は随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
NICE 在宅看護論：自分らしい生活の継続をめざして 改定第2版	石垣和子/上野まり編	南江堂	978-4-524-25862-8	
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・臺有桂他編集：ナースングラフィカ在宅看護論、地域療養を支えるケア第6版、メディカ出版、2018。 ・河原加代子他：在宅看護論（系統看護学講座統合分野）第5版、医学書院、2017 ・正野逸子、本田彰子：関連図で理解する在宅看護過程 第2版、メヂカルフレンド、2018 ・河野あゆみ：強みと弱みからみた在宅看護過程、医学書院、2018 ・杉本正子他：在宅看護論 実践をこぼに第6版、ヌーヴェルヒロカワ、2016 ・押川 真喜子：新訂版 写真でわかる訪問看護 アドバンス、インターメディカ、2020 ・福井小紀子：病院からはじまる在宅看取りケア、メヂカルフレンド社、2018 ・宇都宮宏子他：看護がつながる在宅療養移行支援、日本看護協会、2014 ・角田直枝：よくわかる在宅看護：知識が身につく！実践できる！ 第3版、Gakken、2020 ・山内 豊明、岡本 茂雄：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版、中央法規出版、2015 ・川越正平：在宅医療バイブル 家庭医療学、老年医学、緩和医療学も3領域からアプローチする 第2版、日本医事新報社、2018 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと k-hishida@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	菱田一恵	講義 1「食べるを助ける」 1) 口腔ケアと嚥下訓練 2) 在宅経管栄養法 3) 在宅輸液療法 ・予習内容について、授業開始時に小テストを行う。 [キーワード] 口腔ケアと嚥下訓練、低栄養予防、在宅経管栄養法、在宅中心静脈栄養法	講義	[予習] 左記 1)～3) の課題について、テキストを参考に、1課題につき1枚の指定された記録用紙(技術学習)に記述し持参する。(学習時間60分) [復習] 授業内容を、技術学習に追加で記述する。(学習時間30分)
2	松浦志野	講義 2「排泄を助ける」 4) 排泄支援 5) 人工肛門管理 6) 在宅膀胱留置カテーテル法 ・予習内容について、授業開始時に小テストを行う。 [キーワード] 排泄支援、移動の援助、在宅膀胱留置カテーテル法、人工肛門管理	講義	[予習] 左記 4)～6) の課題について、テキストを参考に、1課題につき1枚の指定された記録用紙(技術学習)に記述し持参する。(学習時間60分) [復習] 授業内容を、技術学習に追加で記述する。(学習時間30分)
3	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程演習 1「食べるを助ける」事例演習 ・各自が予習した在宅看護過程演習 1 個人ワーク①～③の記録用紙を持参する。 ・事例に対する看護過程の展開について発表を聞き、各自担当事例の在宅看護計画を完成させる。 ・指定の期日までに担当事例の在宅看護計画を提出(詳細は授業内で説明)	個人での発表、講義	[予習] 第1回～第2回の授業内で提示された事例を熟読する。そのうち、担当する事例について、在宅看護過程を指定された記録用紙(在宅看護過程演習 1)に記載し、持参する。(学習時間60分) [復習] 発表を聞いて、新たに気づいたことや不足していた内容について、在宅看護計画に追加し記述する。(学習時間30分) [キーワード] 授業1回目～2回目を参照
4	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程演習 1「排泄を助ける」事例演習 ・各自が予習した在宅看護過程演習 1 個人ワーク①～③の記録用紙を持参する。 ・事例に対する看護過程の展開について発表を聞き、各自担当事例の在宅看護計画を完成させる。 ・指定の期日までに担当事例の在宅看護計画を提出(詳細は授業内で説明)	個人での発表、講義	[予習] 第1回～第2回の授業内で提示された事例を熟読する。そのうち、担当する事例について、在宅看護過程を指定された記録用紙(在宅看護過程演習 1)に記載し、持参する。(学習時間60分) [復習] 発表を聞いて、新たに気づいたことや不足していた内容について、在宅看護計画に追加し記述する。(学習時間30分) [キーワード] 授業1回目～2回目を参照
5	吉田めぐみ	講義 3「呼吸を助ける」 7) 在宅人工呼吸療法 8) 在宅酸素療法 9) 排痰法と吸引(鼻腔・口腔・気管内) ・予習内容について、授業開始時に小テストを行う。 [キーワード] 肺炎・感染予防、在宅持続陽圧呼吸法、排痰法、在宅酸素療法、吸引・吸入法	講義	[予習] 左記 7)～9) の課題について、テキストを参考に、1課題につき1枚の指定された記録用紙(技術学習)に記述し持参する。(学習時間60分) [復習] 授業内容を、技術学習に追加で記述する。(学習時間30分)
6	種市ひろみ	講義 4「スキンケア・服薬を助ける」 10) 清潔ケアとフットケア 11) 褥瘡管理 12) 服薬管理 ・予習内容について、授業開始時に小テストを行う。 [キーワード] 清潔ケアとフットケア、褥瘡管理、在宅自己注射法、服薬管理	講義	[予習] 左記 10)～12) の課題について、テキストを参考に、1課題につき1枚の指定された記録用紙(技術学習)に記述し持参する。(学習時間60分) [復習] 授業内容を、技術学習に追加で記述する。(学習時間30分)
7	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程演習 2「呼吸を助ける」事例演習 ・各自が予習した在宅看護過程演習 2 個人ワーク①～③の記録用紙を持参する。 ・事例に対する看護過程の展開について発表を聞き、各自担当事例の在宅看護計画を完成させる。 ・指定の期日までに「呼吸を助ける」の在宅看護計画を提出(詳細は授業内で説明)	個人での発表、講義	[予習] 第5回の授業内で提示された事例を熟読し、在宅看護過程を指定された記録用紙(在宅看護過程演習 2)に記載し、持参する。(学習時間60分) [復習] 発表を聞いて、新たに気づいたことや不足していた内容について、在宅看護計画に追加し記述する。(学習時間30分) [キーワード] 肺炎・感染予防、在宅持続陽圧呼吸法、排痰法、在宅酸素療法、吸引・吸入法

8	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程展開演習 1) 初回訪問事例の在宅看護計画立案 ・看護過程に関する講義をもとに、提示された事例について、各自で在宅看護計画を立案する。 [キーワード] 在宅看護計画	個人ワーク	[予習] 第1～6回の授業資料をよく読み復習する。(学習時間30分)。 [復習] ・在宅看護計画の情報整理、関連図、在宅療養上の長期目標と課題に関する記録用紙を完成させる。(学習時間60分) [キーワード] 食べる、排泄、呼吸、スキンケア
9	宮本圭	講義5「リスクマネジメント」 [キーワード] リスクマネジメント	講義	[予習] リスクマネジメントについて、概論で使用したテキストp363～373を読んでおく。(学習時間60分) [復習] リスクマネジメントについて復習し、実習で訪問する際の注意点をまとめておく。(学習時間30分)
10	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程展開演習 2) 初回訪問事例の在宅看護計画立案 (GW) ・優先順位の高い課題への具体的な看護計画、教員に確認したいことについてグループごとにディスカッションし、在宅看護計画を完成に近づける。 3) グループごとの役割決定 [キーワード] 在宅看護計画	グループワーク	[予習] 在宅看護計画を立案し授業時に持参する(学習時間60分)。 [復習] 在宅看護計画立案の考え方についてまとめる。(学習時間30分)。
11	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程展開演習 4) 在宅看護計画発表 ・優先順位の高い課題についての具体的な看護計画をグループごとに発表 [キーワード] 在宅看護計画	グループごとに発表	[予習] これまでの授業資料を熟読し、様々な事例に対する看護方法を理解する。(学習時間30分) [復習] 授業内容について復習する。(学習時間30分)
12	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程展開演習 5) 初回訪問ロールプレイについて講義 6) 初回訪問の行動計画 (個人ワーク) [キーワード] 初回訪問、援助関係形成過程	講義、個人ワーク	[予習] マナーレポートを提出に向け準備する。内容は、①訪問時の礼儀作法 (コートの脱衣場所、畳の歩き方、靴の脱ぎ方、座る場所など)、②尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い方、に関するレポートを作成し、指定の期日までに提出する。①については、茶道の作法を参照する。ただし、お手前の方法ではなく訪問時のマナーについて調べる。また、自身の立案した在宅看護計画を授業時に持参する。(学習時間60分) [復習] マナーレポートを完成させ、指定された期日までに事務ボックスに提出する。(学習時間30分) [キーワード] 初回訪問、援助関係形成過程
13	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程展開演習 7) 初回訪問の実演 ・初回訪問の場面を実演し発表する。 ・提示された課題用紙を指定の期日までに提出する。 [キーワード] 初回訪問、援助関係形成過程	ロールプレイ	[予習] 各自初回訪問の行動計画を完成させ実演の準備をする。(学習時間30分) [復習] 提示された課題用紙を完成させ、指定の期日までに提出する。詳細は、授業内で説明する。(学習時間30分)
14	菱田一恵、種市ひろみ、松浦志野、宮本圭、吉田めぐみ、森谷千春	在宅看護過程展開演習 7) 初回訪問の実演 (続き) ・初回訪問の場面を実演し発表する。 ・提示された課題用紙を指定の期日までに提出する。 [キーワード] 初回訪問、援助関係形成過程	ロールプレイ	[予習] 各自初回訪問の行動計画を完成させ実演の準備をする。(学習時間30分) [復習] 提示された課題用紙を完成させ、指定の期日までに提出する。詳細は、授業内で説明する。(学習時間30分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	在宅看護学実習	必修・選択	必修
英語科目名	Practicum in Home Care Nursing	対象学年	3, 4年
開講学期	複期	単位数	2単位
代表教員	種市 ひろみ	ナンバリング	PNL34B2
担当教員	種市ひろみ※、菱田一恵※、松浦志野※、宮本圭※、吉田めぐみ※、渡邊明子※、森谷千春※、早坂玉緒※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	多様な健康問題を持つあらゆる年代（ライフステージ）の在宅療養者とその家族に対し、生活の場で提供される看護活動の実際を学ぶ。具体的には、訪問看護ステーションの訪問看護師と療養者宅に同行訪問し、在宅看護過程の展開の実際を学び、可能であれば看護を実践する。また、専門職間連携の場へ参加し、日常的に行われている協働の様子を見学する。実習で得た学びをもとに学内でカンファレンスを行い実習体験を共有して学びを深め、在宅看護の意義や課題を考察する。			
授業の位置づけ	看護と理論の方法の中の「ソーシャルライフと看護」の科目のひとつである。在宅看護学は、あらゆる年代を対象とし、多様な疾病や障害をもちながら地域で暮らしている人々への看護について学修する。そのため、看護学概論、看護理論・看護過程、基礎看護方法論、小児・成人・高齢者・精神・公衆衛生看護学概論、人間関係論、家族関係論、社会福祉・社会保障論、看護倫理、の学修が基盤になる。在宅看護学概論を履修後、在宅看護方法論Ⅰにて多様な対象者への看護展開論を学び、在宅看護方法論Ⅱにて在宅看護技術を学び、在宅看護学実習にて臨地実習を行う。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-CC、△DP1-CD、○DP2-CA、○DP2-CB、◎DP2-CC、○DP3-CA			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者とその家族の生活を理解できる。 2. 在宅における看護過程を展開できる。 3. 訪問看護師として倫理的配慮のもとに看護を提供する意義を理解できる。 4. 在宅療養における医療・保健・福祉に関する多職種連携と社会資源の活用的重要性を理解できる。 5. 看護者としての自己の役割を理解できる。 			
先修要件	在宅看護方法論Ⅱ			
関連科目	在宅看護概論、在宅看護方法論Ⅰ・Ⅱ			
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習前に関連科目を復習し、事前課題を行った上で臨むこと。 2. 主体的・積極的に実習をすること。 3. 援助を実施する場合は、訪問看護師と一緒に行うこと。 4. 家庭を訪問しての実習のため、訪問マナーやプライバシーには十分に配慮すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	実習内容と実習記録による実習目標の達成度（80%）、実習への参加態度（20%）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者とその家族の生活を説明できるか。 2. 在宅における看護過程を展開できるか。 3. 訪問看護師として倫理的配慮のもとに看護を提供する意義を説明できるか。 4. 在宅療養における医療・保健・福祉に関する多職種連携と社会資源の活用的重要性を説明できるか。 5. 看護者としての自己の役割を説明できるか。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
事業所実習中は、教員が事業所へ出向き、課題等に対するフィードバックを行う。 希望者には随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
NICE 在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして、改訂第2版	石垣和子/上野まり編	南江堂		
参考文献				
<ul style="list-style-type: none"> ・角田直枝：スキルアップのための在宅看護マニュアル、Gakken、2010 ・押川 真喜子：新訂版 写真でわかる訪問看護 アドバンス、インターメディアカ、2020 ・在宅ケア ナースポケットマニュアル：ウィル訪問看護ステーション、医学書院、2019 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	連絡先：各実習担当教員の実習用携帯電話（オリエンテーションにて伝える）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
実習開始前週 金曜日 午後	種市ひろみ ※、菱田一恵 ※、松浦志野 ※、宮本圭 ※、吉田めぐみ ※、渡邊明子 ※、森谷千春 ※、早坂玉緒 ※	実習直前オリエンテーション	事前オリエンテーションおよび施設別オリエンテーションを行う 【キーワード】 生活の理解、対象者の理解、在宅看護過程、看護師としての倫理的配慮、多職種連携、社会資源の活用	【事前課題】 1. 自己の到達目標をあらかじめ提出する。 2. 事前学習課題(①～⑫)等を直前オリエンテーションまでに、指定の記録用紙に記載する。 ①在宅人工呼吸療法 ②在宅酸素療法 ③吸引(鼻腔、口腔、気管内) ④口腔ケアと嚥下訓練 ⑤在宅経管栄養法(胃瘻の管理を含める) ⑥在宅輸液療法 ⑦排泄支援(排便、洗腸を含める) ⑧在宅膀胱留置カテーテル法 ⑨人工肛門管理 ⑩清潔ケアとフットケア ⑪褥瘡管理 ⑫在宅自己注射法、服薬管理 (学習時間80分)
実習2 日目～ 4日目	種市ひろみ ※、菱田一恵 ※、松浦志野 ※、宮本圭 ※、吉田めぐみ ※、渡邊明子 ※、森谷千春 ※、早坂玉緒 ※、ステーション職員	訪問看護ステーションにて臨地実習	一日2～4件の同行訪問 継続して訪問する療養者(在宅看護過程対象者)の決定 多職種間連携の場への参加	
実習5 日目 (1週 目金曜日 内)	種市ひろみ ※、菱田一恵 ※、松浦志野 ※、宮本圭 ※、吉田めぐみ ※、渡邊明子 ※、森谷千春 ※、早坂玉緒 ※	中間カンファレンス	カンファレンスにおいて実習における学びを発表し、思考を整理し、在宅看護計画立案へとつなげる。	
実習6 日目～ 9日目	種市ひろみ ※、菱田一恵 ※、松浦志野 ※、宮本圭 ※、吉田めぐみ ※、渡邊明子 ※、森谷千春 ※、早坂玉緒 ※、ステーション職員	訪問看護ステーションにて臨地実習	一日2～4件の同行訪問 多職種間連携の場への参加 施設における最終カンファレンス	【実習9日目までの課題】 ・統合カンファレンスにおいて、実習目的の達成に向けて協議したいトピックス・テーマを考えておく。 ・看護過程サマリーを作成し、継続して訪問した療養者の看護に関して整理する。 (学習時間80分)
実習10 日目 (2週 目金曜日 内)	種市ひろみ ※、菱田一恵 ※、松浦志野 ※、宮本圭 ※、吉田めぐみ ※、渡邊明子 ※、森谷千春 ※、早坂玉緒 ※	統合カンファレンス	カンファレンスにて、在宅看護実習の学びを発表・共有し、学習の統合をはかる。	

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	公衆衛生看護学概論	必修・選択	必修
英語科目名	Introduction to Public Health Nursing	対象学年	2年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	CNL34C1
担当教員	櫻井しのぶ※ 斎藤恭平	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	地域に生活する個人、家族、集団、組織、全てを対象とし、全ての健康レベルと地域特性に応じた健康の保持増進や疾病の発生予防を支援するための公衆衛生看護の基礎を学修する。				
授業の位置づけ	地域に生活する個人、家族、集団、組織、全てを対象とし、全ての健康レベルと地域特性に応じた健康の保持増進や疾病の発生予防を支援するための公衆衛生看護の基礎を学修し、地域生涯保健活動論、公衆衛生看護活動論、地域診断論、学校保健、産業保健、地域包括ケアシステム論、公衆衛生看護実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱの基礎と位置付ける				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-1 ○DP2-111 ○DP3-1				
到達目標	1) 公衆衛生看護学の変遷、対象と場、活動の特性を説明できる。 2) 地域保健活動を公衆衛生看護の視点で捉えて、どのような看護支援の特徴があるかを説明できる。 3) 地域で生活する個人、家族、集団、組織を対象とし、健康レベルと地域特性に応じた健康の保持増進および、ヘルスプロモーション、疾病発生や悪化の予防を支援するための看護の概要と地域ケアシステムの概略について説明できる。				
先修要件	なし				
関連科目	地域生涯保健活動論、公衆衛生看護活動論、地域診断論、学校保健、産業保健、地域包括ケアシステム論、公衆衛生看護学実習Ⅰ、公衆衛生看護学実習Ⅱ				
学修上の注意	本講義は非常に短期間に集中して開講されます。そのため、夏休みに事前課題を皆さんに提示しますので、必ず、講義前に行って、参加してください。提示された課題は提出して頂きます。 また、保健師資格を取得したいと考えている人は、この講義がベースとなります。 講義資料なども保管し、その後に続く科目（地域生涯保健論等）でも使用することがありますので、復習も必須となります。				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（70%）、課題（30%）				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生看護の概念と活動領域の特徴、機能、役割について説明することができる。 わが国における公衆衛生看護の歴史について概略を述べ、公衆衛生看護の専門的特質を歴史的背景から説明できる。 健康に影響を及ぼす地域特性と人々の生活の関係性が説明できる。 公衆衛生看護活動に必要とされる理論や支援の基礎となる種々の概念について概略を述べることができ、その支援の実際について説明することができる。 公衆衛生看護の多様な特性を有する集団に対する看護の概要について説明できる 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題に対するフィードバックは次回の講義またはJUNTENDO PASSPORTなどを利用して、講評や解説を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生看護学 j p 第5版	荒賀直子、他	インターメディカル	978-4-900828-81-0	
	国民衛生の動向 2022/2023		厚生労働統計協会		8月末発刊の最新版
参考文献					
講義において紹介します					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡してください ssakura@juntendo.ac.jp）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	櫻井	オリエンテーション 公衆衛生看護とは何か 公衆衛生看護の対象となる個人・集団について 公衆衛生看護の対象の健康レベルについて 公衆衛生看護活動の歴史と発展(国外および国内)	講義	【予習】 公衆衛生看護学の概念を予め読んで理解しておくこと(学習時間2時間) 【復習】 予習課題と授業で学んだことを復習し、公衆衛生看護の対象となる個人・集団についての特性についての理解を深めておく(学習時間2時間)
2	齊藤	公衆衛生活動の基となる健康に対する考え方と世界の健康戦略 -プライマリーヘルスケア・ヘルシーシティ・ヘルスプロモーション-	講義	【予習】 プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーションの言葉について、どのような経緯で発生したのか調べる。(学習時間2時間) 【復習】 世界における保健活動の動きが我が国の公衆衛生看護活動ように反映されているかを考える。(学習時間2時間)
3	櫻井	公衆衛生看護における健康の捉え方の特徴 -生活と環境と健康-	講義	【予習】 教科書の地域診断の章を読み、その内容を基に、自分の出身地の概況を調べる(学習時間2時間) 【復習】 予習した課題と授業の内容に基づいて出身地の健康課題を考える(学習時間2時間)
4	櫻井	公衆衛生看護活動に必要な理論や概念 -コミュニティズパートナーモデル、プリシードプロセスモデル、ポピュレーションアプローチ、エンパワメント、ソーシャルキャピタル-	講義	【予習】 コミュニティズパートナーモデルを調べて、対象となるコミュニティのアセスメント項目を調べて、自分の住む地域に当てはめて考える。(学習時間2時間) 【復習】 授業で学んだ内容をもとにポピュレーションアプローチ、エンパワメント、ソーシャルキャピタルの集団に働きかけの特性とその利点について考える。(学習時間2時間)
5	櫻井	学校保健における公衆衛生看護活動	講義	【予習】 学校の現場で今、子供たちが抱える健康問題はどのようなものかを調べる(学習時間2時間) 【復習】 予習課題と授業で学んだ内容を基に学校保健において看護職の支援を考える(学習時間2時間)
6	櫻井	産業保健における公衆衛生看護活動	講義	【予習】 我が国の労働現場において職業における健康問題について調べる。(学習時間2時間) 【復習】 予習課題と授業で学んだ内容を基に産業保健における看護職の支援について考える。(学習時間2時間)
7	櫻井	ヘルスケアシステムの中での公衆衛生看護活動	講義	【予習】 我が国のヘルスケアシステムはどのようなものがあるのかを社会保障論や医療の成り立ちなどを既習科目から復習しておく(学習時間2時間) 【復習】 予習課題と授業で学んだ内容を基に地域のヘルスケアシステムの中において公衆衛生看護職の看護活動や支援を考える(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	地域生涯保健活動論	必修・選択	必修
英語科目名	Community Lifelong Health Care Nursing	対象学年	2年
開講学期	後期	単位数	3単位
代表教員	仲里 良子	ナンバリング	CNL34C2
担当教員	櫻井 しのぶ※、原田 静香※、仲里 良子※、板井麻衣※、佐野裕子※、新井 信之※、浦川 美奈子※、森川洋※、近藤満※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	人間の成長発達と地域の人々が生活する場とを統合的に理解し生涯を通じた保健活動や、難病や精神疾患のような疾病・障がいをもちながら地域で暮らす人々への保健活動の理論と知識、並びに特徴ある活動方法を学ぶ。また、地域で生活する人々を対象に疾病の発生および悪化を予防するための基礎的な保健活動の方法と実際を学ぶ（健康危機管理体制を含む）。さらに保健活動を展開していく上で必要な多職種や地域の人々との連携、チームアプローチの重要性を学ぶ。			
授業の位置づけ	人間の成長発達と地域の人々が生活する場とを統合的に理解し、生涯を通じた保健活動や、難病や精神疾患のような疾病・障がいをもちながら地域で暮らす人々への保健活動の理論と知識、並びに特徴ある活動方法やその実際を学修し、公衆衛生看護活動論、地域診断論の基礎と位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎ DP2-I、○ DP2-II、○ DP2-III、○ DP3-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子・成人・高齢者といった生涯を通じた対象の特徴を捉えた保健活動の理論と実際について考えることができる。 2. 難病や精神疾患のような疾病・障がいをもちながら地域で暮らす人々への保健活動の実際について理解する。 3. 地域で生活する人々を対象に疾病の発生および悪化を予防するための基礎的な保健活動の方法と実際（集団感染発生時、災害時などの健康危機管理体制を含む）について理解する。 4. 対象となる人々を援助していく上で必要な他職種や地域の人々との連携、チームアプローチの重要性を理解する。 			
先修要件	なし			
関連科目	保健学概論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論、地域診断論、学校保健、産業保健、地域包括ケアシステム論、統合実習、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は受け身ではなく、主体的に臨むこと。 ・授業内容は、深く考え理解し、自分の言葉で説明できるようになること。 ・授業内容ごとに小テストを行う予定です。小テストは受講した授業内容に関する理解度を確認するものですので、授業中はしっかり学習するよう心掛けてください。詳細はシラバスや担当教員からの説明を確認すること。 ・授業内容ごとに課題レポートを実施する予定です。課題は講義で学んだことを深める機会のため、主体的に取り組み、提出期限を守ることを。詳細についてはシラバスや各担当教員からの説明を確認すること。 			
成績評価の方法				
評価方法	各授業内容ごとの課題（40%）、定期試験（60%）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子・成人・高齢者といった生涯を通じた対象の特徴を捉えた保健活動の理論と実際について説明できる。 2. 難病や精神疾患のような疾病・障がいをもちながら地域で暮らす人々への保健活動の実際について理解している。 3. 地域で生活する人々を対象に疾病の発生および悪化を予防するための基礎的な保健活動の方法と実際（感染症、災害時）について理解している。 4. 保健活動を展開していく上で必要な多職種や地域の人々との連携、チームアプローチ、地域のケアシステムを創造することの重要性について理解している。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題に関するフィードバックは、次回講義時、またはJuntendo-Passport等を利用し、担当教員から講評や解説を行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
公衆衛生看護学 JP	荒賀尚子、後閑容子他	インターメディカル		最新版
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会		最新版
参考文献				
保健師業務要覧 最新版 日本看護協会 最新公衆衛生看護学 総論、各論1～3 最新版 日本看護協会				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと r-nakazato@juntendo.ac.jp 迄）			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	板井麻衣	1. 母子保健活動① 母子保健の理念に基づく健康管理體系 母子保健施策 母子保健の現状と課題 母子保健活動の実際 [キーワード] 母子保健法、健やか親子21（第二次）、母子保健施策	講義	【予習】 公衆衛生看護学概論、小児看護学概論、母性看護学概論で学習した母子保健関連の内容について理解しておくこと。教科書（.JP）第4章II. 母子保健活動、国民衛生の動向 第3編第2章 保健施策1. を予め読んでおくこと。（学習時間：2時間） 【復習】 講義の内容をふまえ、教科書、国民衛生の動向の該当箇所を読み、母子保健全般における関連法、保健施策について説明できるようにしておくこと。（学習時間：2時間）

2	板井麻衣 近藤満 (非常勤)	2. 母子保健活動② 健康上のリスクを持つ母子への保健活動 障害児への支援 発達障害児とその家族に関する対象理解 発達障害児とその家族が抱える健康課題 発達障害児とその家族への支援活動 〔キーワード〕 乳幼児の発育・発達 広汎性発達障害、発達障害者支援法	講義	〔予習〕 教科書（JP）第4章 障害者（児）保健活動について予め読んで理解し、発達障害児とその家族の生活について調べておくこと。国民衛生の動向を用いて「発達障害者支援法」を調べておくこと。（学習時間：2時間） 〔復習〕 講義の内容をふまえ、教科書、国民衛生の動向の該当箇所を読み、発達障害児や健康上のリスクを持つ母子への保健活動について具体的に考え、理解を深める。（学習時間：2時間）
3	板井麻衣	3. 母子保健活動③ 母子保健活動の実際と保健師の役割 妊産婦の健康と保健指導 乳幼児の育児支援と保健指導 様々な背景・リスクを持つ母子への支援 児童虐待 知識の確認小テスト（母子） 〔キーワード〕 子育て支援、育児不安、産後うつ、児童虐待	講義	教科書（JP）第4章II. 母子保健活動、国民衛生の動向 第3編第2章 保健施策 1. を予め読んでおくこと。（学習時間：2時間） 〔復習〕 課題レポート1：詳細は授業中に提示されます。（学習時間：2時間）
4～6	仲里良子	4. 成人保健活動①②③ 成人期の健康問題 成人期の生活習慣 健康づくり施策の変遷 特定健康診査・特定保健指導 がん対策 知識の確認小テスト（成人） 〔キーワード〕 生活習慣病、健康日本21（第二次）、健康増進法、高齢者医療確保法、がん対策基本法、特定健康診査、特定保健指導	講義	〔予習〕 公衆衛生看護学概論で学習した成人保健関連の内容について理解しておくこと。教科書（JP）第4章III. 成人保健活動、国民衛生の動向 第3編 第1章 生活習慣病と健康増進対策を予め読んで理解しておくこと。（学習時間：2時間） 〔復習〕 課題レポート2：詳細は授業中に提示されます。（学習時間：2時間）
7～8	原田静香	5. 高齢者保健活動①② 高齢者保健の動向 高齢者保健と福祉施策の変遷 健康高齢者への支援（介護予防、独居高齢者） 地域における高齢者保健活動の実際（特別講義） 要介護高齢者への支援（高齢者虐待、認知症） 知識の確認小テスト（高齢者） 〔キーワード〕 介護保険法、健康増進法、高齢者医療確保法、地域包括ケアシステム、地域包括支援センター、健康なまちづくり、介護予防、フレイル健診、高齢者虐待、認知症、地域でのアドバンス・ケア・プランニング	講義	〔予習〕 公衆衛生看護学概論、高齢者看護学概論で学習した高齢者保健関連の内容について理解しておくこと。教科書（JP）第4章IV. 高齢者保健活動、国民衛生の動向 第3編 第2章 2. 老人保健を予め読んで理解しておくこと。（学習時間：2時間） 〔復習〕 課題レポート3：詳細は授業中に提示されます。（学習時間：2時間）
9	櫻井しのぶ	6. 災害保健活動 災害の定義と災害サイクル 災害に関連する健康問題と発生時期 避難所における健康問題 〔キーワード〕 災害サイクル、トリアージ、クラッシュ症候群、地域連携、災害要援護者	講義	〔予習〕 教科書（JP）第5章II. 災害保健活動を予め読んで理解しておくこと。（学習時間：2時間） 〔復習〕 講義の内容をふまえ、教科書の該当箇所を読み、災害時における保健活動について理解を深め、自分達が平時からできる減災の活動について具体的な方策を考える。（学習時間：2時間）
10	原田静香	7. 難病保健活動 地域で生活する難病患者の健康課題 難病支援施策 地域で暮らす難病患者と家族を対象とした保健師活動 知識の確認小テスト（難病） 〔キーワード〕 難病、特定疾患、難病法、難病対策要綱	講義	〔予習〕 公衆衛生看護学概論で学習した難病保健活動の内容について理解しておくこと。教科書（公衆衛生看護学 Jp）にある難病保健活動の該当ページを読んでおくこと。国民衛生の動向の難病対策を予め読んで理解しておくこと。（学習時間2時間） 〔復習〕 講義の内容をふまえ、教科書、国民衛生の動向の該当箇所を読み、関連法や保健施策、疾患や障害を抱える人々への健康課題を概観し、それらの人々への保健活動について説明できるようにしておくこと。（学習時間：2時間）

11~12	森川洋 (非常勤)	8. 障害者保健活動①② 障害者保健施策 障害者の生活特性と自立支援 障害者に対する保健師活動 知識の確認小テスト(障害者) 〔キーワード〕 ノーマライゼーション、リハビリテーション、障害の定義、障害者総合支援法、高次脳機能障害、社会復帰支援	講義	〔予習〕 教科書(.jp)第4章VI. 障害者(児)保健活動、国民衛生の動向 3編第2章保健対策3. 障害児者施策を予め読んで理解しておくこと。(学習時間:2時間) 〔復習〕 講義の内容をふまえ、教科書、国民衛生の動向の該当箇所を読み、障がい者支援の関連法、保健施策、保健活動について説明できるようにしておくこと。(学習時間:2時間)
13~14	佐野裕子	9. 地域リハビリテーション①② 地域におけるリハビリテーションの現状 地域におけるチームアプローチ 予防的観点から取り組む地域リハビリテーション 災害時リハビリテーション 知識の確認小テスト(地域リハビリテーション) 〔キーワード〕 地域リハビリテーション、地域包括ケア、地域連携、予防的介入、身体活動	講義	〔予習〕 「リハビリテーションと看護」で学習した内容を理解しておくこと。 厚労省ホームページ ①「地域包括ケアを支えるリハビリテーション-地域リハビリテーション支援体制の再強化-」(社会保障審議会 介護保険部会 第51回(H25.10.30) 齊藤正身委員提出資料) ②「地域包括ケアとリハビリテーション」(社保審-介護給付費分科会 第109回(H26.9.29) ヒアリング資料3)を参照し理解しておくこと。(学習時間:2時間) 〔復習〕 講義の内容をふまえ、地域で行うリハビリテーションについて理解し、高齢者が身体活動を維持・向上して暮らし続けるために、予防的に介入するための地域リハビリテーションについて説明できるようにしておくこと。(学習時間:2時間)
15~16	新井信之 (非常勤)	10. 地域精神保健活動①② 精神保健の動向 地域で暮らす精神障がい者の現状と生活 精神保健における保健師活動 知識の確認小テスト(精神) 〔キーワード〕 精神保健法、うつ病、統合失調症、アルコール関連問題、自殺対策、社会復帰と自立支援	講義	〔予習〕 教科書(.jp)第4章VII. 精神保健活動を予め読んで理解しておくこと。国民衛生の動向 第3編 第2章保健対策4. 精神保健を予め読んで理解しておくこと。(学習時間:2時間) 〔復習〕 講義の内容をふまえ、教科書、国民衛生の該当箇所を読み、地域で暮らす精神障がい者への支援をするための関連法、保健施策、保健活動について説明できるようにしておくこと。(学習時間:2時間)
17~20	浦川美奈子 (非常勤)	11. 感染症保健活動①~④ 感染症対策の変遷 日本の感染症法 保健所の感染症対策における役割 病原体と感染経路 食中毒発生とその対応 流行調査 予防接種 結核対策 知識の確認小テスト(感染症) 〔キーワード〕 感染症法、健康危機管理体制、流行調査、食中毒、予防接種、結核対策	講義	〔予習〕 教科書(.jp)第4章VIII. 感染症保健活動、国民衛生の動向 第3編 第3章感染症対策を予め読んで理解しておくこと。(学習時間:2時間) 〔復習〕 講義の内容をふまえ、教科書、国民衛生の動向の該当箇所を読み、感染症に関する健康危機管理について、関連法、保健施策、保健行政の役割について説明ができるようにしておく。(学習時間:2時間)
21	原田静香	12. 歯科口腔保健活動 歯科口腔保健対策の動向 ライフステージ別の歯科口腔保健指導 〔キーワード〕 う歯、健康日本21(第2次)、健康増進法、介護予防事業	講義	〔予習〕 教科書(公衆衛生看護学.jp)の歯科口腔保健活動を予め読んでおくこと。国民衛生の動向の歯科保健の該当部分を予め読んでおくこと。(学習時間:2時間) 〔復習〕 講義の内容をふまえ、歯科保健に関する、関連法、保健施策、保健活動について説明できるようにしておくこと。(学習時間:2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	公衆衛生看護活動論	必修・選択	選択
英語科目名	Public Health Nursing Processes	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	板井 麻衣	ナンバリング	PNL34C1
担当教員	板井麻衣※、岡本美代子※、仲里良子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	地域に生活する個人、家族、集団、組織、全てを対象として、健康レベルや地域特性に応じた健康の保持増進を図り、疾病の発生及び悪化を予防するための基礎的な看護活動の方法と実際を学ぶ。			
授業の位置づけ	本科目は看護の理論と方法に位置づけられており、地域に生活する個人、家族、集団、組織、全てを対象として、健康レベルや地域特性に応じた健康の保持増進を図り、疾病の発生及び悪化を予防するための基礎的な看護活動の方法と実際を学ぶ。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-1、◎DP2-II、ODP2-III、ODP3-1			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健師による公衆衛生看護活動の場、活動内容、方法について理解し、説明できる。 2) 保健師の家庭訪問技術について必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、実践できる。 3) 健康相談・健康診査について必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、実践できる。 4) 保健師による保健指導について必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、実践できる。 5) 保健師のグループ支援における役割、住民の力を引き出す支援について理解し、説明できる。 6) 地域の様々な場面、対象、条件を考慮した健康教育の企画から評価にいたる過程を学び、現場での基本的実践方法について説明できる。 			
先修要件	なし			
関連科目	公衆衛生看護学概論、地域生涯保健活動論、地域診断論、学校保健、産業保健、地域包括ケアシステム論、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ			
学修上の注意	授業は受け身ではなく、主体的に臨むこと。 授業内容は、考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになること。			
成績評価の方法				
評価方法	定期試験（80％）、学習状況および課題レポート（20％）			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健師による公衆衛生看護活動の場、活動内容、方法について理解し、説明できている。 2) 保健師の家庭訪問技術について必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、実践できている。 3) 健康相談・健康診査について必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、実践できている。 4) 保健師による保健指導について必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、実践できる。 5) 保健師のグループ支援における役割、住民の力を引き出す支援について理解し、説明できる。 6) 地域の様々な場面、対象、条件を考慮した健康教育の企画から評価にいたる過程を学び、現場での基本的実践方法について説明できる。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはJUNTENDO-PASSPORTなどを利用して各担当教員が講評や解説を行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
公衆衛生看護学. JP		インターメディカル		最新版
国民衛生の動向		厚生労働統計協会		最新版
保健師業務要覧		日本看護協会出版会		最新版
最新公衆衛生看護学総論・各論Ⅰ・各論Ⅱ		日本看護協会出版会		最新版
参考文献				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時(事前にメールで連絡) 板井 麻衣 : m.itai.bq@juntendo.ac.jp			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	板井麻衣	公衆衛生看護に求められる機能と技術 地域保健活動の基盤となる理論		<p>[予習] 教科書1)3)4)の保健師と公衆衛生看護活動を予め読んで理解しておく。公衆衛生看護学概論、地域生涯保健活動論の内容を理解しておくこと。 (学習時間90分)</p> <p>[復習] 予習した内容と授業で学んだことを復習し、公衆衛生看護活動の場、活動内容、方法についての理解を深める。 (学習時間90分)</p> <p>[キーワード] ヘルスプロモーション、一次予防・二次予防・三次予防、保健行動と保健活動、保健師、保健指導、地域診断、家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査、グループ支援・地区組織活動</p>
2	板井麻衣	地域保健活動の方法と技術 1) 家庭訪問		<p>[予習] 家庭訪問の特徴や対象者、訪問のプロセスについて、教科書1)3)4)を読み理解しておく。 (学習時間90分)</p> <p>[復習] 家庭訪問における保健師の役割と方法についてまとめる。 (学習時間90分)</p> <p>[キーワード] 対象選定と優先順位、家族アセスメント、訪問計画・訪問記録、ケースマネジメント</p>
3	板井麻衣	地域保健活動の方法と技術 2) 健康診査 3) 健康相談		<p>[予習] 教科書1)3)4)を読み、健康診査、健康相談にはどのような場面や対象、相談内容があるかについて調べる。 (学習時間90分)</p> <p>[復習] 健診・健康相談における保健師の役割と方法について、教科書の該当箇所を読み振り返る。 (学習時間90分)</p> <p>[キーワード] ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、信頼関係、コミュニケーション技法、カウンセリング技法</p>
4	板井麻衣	地域保健活動の方法と技術 4) 保健指導		<p>[予習] 保健師が行う保健指導の特徴について、教科書を読み理解しておく。 (学習時間90分)</p> <p>[復習] 保健師が行う保健指導の特徴、目的・対象に応じた方法の選択について教科書の該当箇所を読み振り返り、保健指導案を作成する。 (学習時間100分)</p> <p>[キーワード] 保健セルフケア行動、行動変容、エンパワメント、自己効力感、ヘルスリテラシー</p>
5~6	仲里良子	地域保健活動の方法と技術 5) 健康教育		<p>[予習] 教科書1)3)4)を読み、健康教育の目的や対象、プロセスについて学習しておく。 (学習時間90分)</p> <p>[復習] 対象者の特性に合わせた健康教育の方法について考える。 (学習時間100分)</p> <p>[キーワード] 行動変容理論、健康教育企画書・指導案、教育媒体(教材)、健康教育の評価</p>

7	岡本美代子	地域保健活動の方法と技術 6) 住民グループ支援	<p>[予習] 教科書1)3)4)を読み、グループ支援の目的やグループの種類、支援方法について学習しておく。 (学習時間90分)</p> <p>[復習] グループ支援における保健師の役割、住民の力を引き出す保健師の支援について考える。 (学習時間90分)</p> <p>[キーワード] グループ支援、セルフ・ヘルプ・グループ、地区組織化活動、リーダーシップ・メンバーシップ、グループ・ダイナミックス</p>
---	-------	-----------------------------	---

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	地域診断論	必修・選択	選択
英語科目名	Community Health Assessment	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	原田 静香	ナンバリング	PNL34C2
担当教員	原田静香※、櫻井しのぶ※、岡本美代子※、仲里良子※、板井麻衣※、岡部花枝※、中西唯公※、鹿島田祐子※、中山久子※、森永みさ子※	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	地域に生活する個人・家族・集団・組織を対象とした、保健師活動の展開に必要な地域診断を行うための知識と技法を学ぶ。				
授業の位置づけ	<p>本科目は看護の理論と方法に位置づけられており、地域に生活するあらゆる健康レベルの個人・家族・集団・組織を対象として保健師活動を展開する上で必要な、アセスメント・地域診断、さらには地域の特性に応じた公衆衛生看護活動を展開するための企画・評価・管理について理論と技術を学ぶ。</p> <p>公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論、地域生涯保健活動論を通して、公衆衛生看護学の基本的理念・理論、活動方法やその実際について学修したことをつなげて地域診断レポートを作成することによって、本科目の学びはさらに地域の包括的なシステム形成へと繋がり、実践としての公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱへと学習が展開される。</p>				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-Ⅳ、○DP2-Ⅰ、◎DP2-Ⅱ、○DP2-Ⅲ、○DP3-Ⅰ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域診断のプロセスを理解し、実施できる 2. 地域の健康状態を表す社会で活用されている指標(人口動態統計、各種保健統計等)や、自治体等が公開している人の健康行動に関する調査データ、地域の環境や社会資源等の情報を実際に収集することが出来る。 3. 収集した情報を分析し、既存の知識を用いて地域のアセスメントが出来る 4. 既習の学習で得た多様な知識を用いて、健康問題解決に向けた方策を考えることができる 5. 地域の健康水準向上を目指す保健師活動について理解する 6. 世の中で起きている健康課題について興味を持つようになる 7. 主体的に学ぶ姿勢が身につく 				
先修要件	なし				
関連科目	公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論、地域生涯保健活動論、地域包括ケアシステム論、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は受け身ではなく、主体的に臨むこと。自分自身で考え、理解し、自分の言葉で発言できるようになること。 ・講義内ではグループによる協同学習も実施するため、自ら積極的に学習し、メンバーと協働して活動を行うこと。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験、および地域診断レポートでそれぞれ基準以上の成績を修めること。どちらか一方でも評価が基準を下回る場合は不合格となる。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験 60点以上 2. 地域診断レポート60点以上 <p>事前課題・地域診断レポートの作成と提出(40%)、事前課題・地域診断レポートの評価(40%)、上級課題の提出(詳細は講義内で説明)(20%)</p> <p>*なお、地域診断レポートの質の評価基準は以下の5つを用います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域診断に必要な情報(アセスメントの8側面に該当)が十分に収集できる 2. レポートが理論的に述べられる(データを適切に読み取り、統合・推察・判断し、健康問題を推測するという流れ) 3. 健康問題の抽出が適切である 4. レポートの体裁が適切である(図表の書き方、出典、マップの有無など) 5. GWでの学びや教員コメントに対して適切な修正・改善がなされる <p>※1と2の両方の条件を満たすこと。再試験等は実施しない。</p>				
試験・課題に対するフィードバック方法					
事後課題(復習)で作成した個人レポートは、次の講義(グループワーク)に用いて学習を進めることとなる。よって、グループワークの際に各担当教員からのコメントやアドバイスによってフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生看護学 JP		インターメディカル		
	国民衛生の動向		厚生労働統計協会		
	最新公衆衛生看護総論・各論Ⅰ・各論Ⅱ		日本看護協会出版会		
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・保健師業務要覧 日本看護協会出版会 ・エリザベス T. アンダーソン他編、金川克子他監訳：コミュニティズパートナー地域看護学の理論と実際、医学書院 ・佐伯和子編著：地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版、医歯薬出版株式会社 ・日本公衆衛生協会：2. 地域診断ガイドライン、http://www.jpna.or.jp/sub/pdf/menu04_2_10_02.pdf 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時(事前にメールで連絡のこと) sharada@juntendo.ac.jp				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	原田	<p>地域診断とは何か 保健師活動と地域診断のつながり 地区を知るコミュニティーアズパートナーモデルとは</p> <p>地域診断のプロセス① モデル中のコアと8側面の視点 地域の情報収集</p> <p>地区踏査とは 地区踏査の方法と地区を見る視点</p>	講義	<p>[予習] 「浦安市紹介動画」にある資料をすべて熟読（視聴）し、課題に回答せよ（詳細は別途連絡）（学習時間60分）</p> <p>[復習] 担当地区の地区踏査を実施し、レポートを作成する。詳細は別途説明する（学習時間60分）</p>
2	櫻井 原田 岡本 仲里 板井 岡部 中西 中山 鹿島田 森永	<p>地域診断のプロセス② 地域診断に必要な情報（人口動態統計、各種保健統計、自治体等で公開されている人の健康行動に関する調査データ等）の入手と活用方法 収集した情報の解釈・分析・統合と判断・推論の考え方</p> <p>演習のオリエンテーション 地域診断の評価について・上級課題について 演習の進め方・課題の進め方 ICEルーブリックについて</p>	講義 GW	<p>[予習] 前回の授業内容・課題について理解しておくこと。（学習時間20分）</p> <p>[復習] 個人課題、グループ課題を出題予定。詳細は別途説明する。（学習時間60分）</p>
3	櫻井 原田 岡本 仲里 板井 岡部 中西 中山 鹿島田 森永	<p>グループワーク① 健康に関する情報収集とアセスメント</p>	GW	<p>[予習] 前回の授業内容・課題について理解しておくこと。（学習時間20分）</p> <p>[復習] 個人課題、グループ課題を出題予定。詳細は別途説明する。（学習時間60分）</p>
4	原田	<p>健康問題の抽出 健康問題の明確化 優先順位の決定 目標の設定 解決の方向性（保健活動の方向性）を考える</p>	講義	<p>[予習] 前回の授業内容・課題について理解しておくこと。（学習時間20分）</p> <p>[復習] 個人課題、グループ課題を出題予定。詳細は別途説明する。（学習時間60分）</p>
5	櫻井 原田 岡本 仲里 板井 岡部 中西 中山 鹿島田 森永	<p>グループワーク② 健康問題の抽出</p>	GW	<p>[予習] 前回の授業内容・課題について理解しておくこと。（学習時間20分）</p> <p>[復習] 個人課題、グループ課題を出題予定。詳細は別途説明する。（学習時間60分）</p>
6	櫻井 原田 岡本 仲里 板井 岡部 中西 中山 鹿島田 森永	<p>グループワーク③ 健康問題の解決に向けた保健師活動の方向性の提案</p>	GW	<p>[予習] 前回の授業内容・課題について理解しておくこと。（学習時間20分）</p> <p>[復習] 個人課題、グループ課題を出題予定。詳細は別途説明する。（学習時間60分）</p>
7	板井	<p>地区活動計画の立案 保健事業の組み立て・予算と施策化 地域診断のまとめ</p>	講義	<p>[予習] 教科書を読み、計画策定のプロセスや予算のしくみについて確認する（学習時間30分）</p> <p>[復習] 地域や住民の状況に合わせた活動を行うための保健師の役割と地域診断のつながりを考える（学習時間30分）</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	学校保健	必修・選択	選択
英語科目名	School Health	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	仲里 良子	ナンバリング	PNL34C3
担当教員	仲里良子※、中西唯公※、吉越聖子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	学校保健における保健活動の実際とその方法を学び、養護教諭の果たす役割を学ぶ。児童・生徒の健康問題の現状を理解し、必要な対応方法を学ぶ。学校保健活動と地域保健活動の連携について学ぶ。				
授業の位置づけ	本科目は看護の理論と方法に位置づけられており、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論、地域生涯保健活動論を通して、公衆衛生看護学の基本的理念・理論、活動方法やその実際について学修したことをつなげて、学校保健における保健活動の実際とその方法を学び、養護教諭の果たす役割、学校保健と地域保健活動の連携について学ぶ。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-I、◎DP2-II、ODP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校保健の構造や仕組みについての理解を深め、関係法規、関係職種の役割について説明できる。 2. 現在の児童・生徒の特徴と健康問題を知り、計画立った保健室経営や養護教諭としての活動を考えることができる。 3. 保健管理の目的、対象や構造、内容とその方法、事後措置を整理し、学校保健管理のあり方について説明できる。 4. 個々の対象に応じた支援や保健教育のあり方について説明できる。 5. 学校保健活動を推進する仕組みと地域保健との連携について説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	公衆衛生看護学概論、地域生涯保健活動論、公衆衛生看護方法論、地域診断論、産業保健、地域包括ケアシステム論、統合実習、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ				
学修上の注意	授業は受け身ではなく、主体的に臨むこと。 提示した課題に必ず取り組むこと。 授業内容は、考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになること。				
成績評価の方法					
評価方法	課題レポートによる授業への取り組みに対する評価（20%）、定期試験（80%）				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校保健の構造や仕組みや関係法規、関係職種の役割について説明することができるか。 2. 現在の児童・生徒の特徴と健康問題に沿った保健室経営や養護教諭としての活動について説明することができるか。 3. 保健管理の目的、対象や構造、内容とその方法、事後措置を整理し、学校保健管理のあり方について説明できるか。 4. 個々の対象に応じた支援や保健教育のあり方について説明できるか。 5. 学校保健活動を推進する仕組みと地域保健との連携について説明できるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはJUNTENDO-PASSPORTなどを利用して講評や解説を行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生看護学 JP		インターメディカル		最新版
	国民衛生の動向		厚生労働統計協会		最新版
	最新公衆衛生看護学各論1		日本看護協会出版会		最新版
参考文献					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 学校保健マニュアル 第9版 南山堂 2) 子どもの心と臨床発達 学陽書房 3) 新訂版 学校保健実務必携 第5次改訂版 第一法規株式会社 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時(事前にメールで連絡のこと) r-nakazato@juntendo.ac.jp				
備考					
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	仲里良子	<p>学校保健と公衆衛生看護 (地域診断から学校保健をとらえる)</p> <p>学校保健の概要 (学校保健の考え方、学校保健のしくみ：組織、構造、法規など)</p>	講義	<p>予習：これまでに講義等で習ったことや参考文献から学校保健の構造や関係法規について調べる。(学習時間120分)</p> <p>復習：学校保健の仕組みについて理解を深め、関係法規、関係職種の役割についてまとめる。(学習時間120分)</p> <p>キーワード：学校保健安全法 学校教育法 教育基本法 保健教育 保健管理</p>	

2	中西唯公	児童生徒の健康問題の現状と学校保健における対応 養護教諭の役割と保健室の機能	講義	<p>予習：学童期、思春期の身体・精神的特徴とどのような方法で健康状態を把握しているかを調べる。 法的根拠や答申などを参考に養護教諭の職務内容、求められている役割と保健室の機能について調べる。（学習時間120分）</p> <p>復習：発達段階と健康問題についてまとめ、対象の特性に応じた対応について考える。 学校や対象の特性を踏まえ、養護教諭の活動のあり方や保健室経営についてまとめる。（学習時間120分）</p> <p>キーワード：発達課題、思春期、学童期、健康状態、保健室、養護教諭、保健室経営計画</p>
3	仲里良子	学校保健の概要（各論） ・保健管理 （感染症、健康診断、健康観察、健康相談、学校環境衛生）	講義	<p>予習：学校における保健管理としての健康診断、健康観察、健康相談、感染症予防、学校環境衛生に関する関係職種、関係法規について調べる。（学習時間120分）</p> <p>復習：保健管理の目的、対象や構造、内容とその方法、事後措置を整理し、学校保健の管理のあり方についてまとめる。学校保健管理における養護教諭の果たす役割についてまとめる。（学習時間120分）</p> <p>キーワード：保健管理、健康診断、健康観察、感染症予防、健康相談、学校環境衛生、学校安全</p>
4	中西唯公	学校保健の概要（各論） ・保健教育	講義	<p>予習：学校における保健教育について学習指導要領などを参考に学年と内容について調べる。（学習時間120分）</p> <p>復習：よりよい保健教育のあり方（健康教育の方法）についてのポイントをまとめる。 個々の対象または集団に応じた支援や健康教育のあり方の実際についてまとめる。（学習時間120分）</p> <p>キーワード：保健教育、保健体育、学習指導要領、学校教育法、食育基本法</p>
5~6	吉越聖子 （非常勤）	学校における学校保健と養護教諭の実際 （現役養護教諭からの講義と質疑応答）	講義 グループワーク	<p>予習：現在の児童生徒に生ずる疾病や健康障害、感染症や心の健康問題の現状を調べる。 法的根拠や答申などを参考に保健室の役割と養護教諭の職務内容、求められている役割について調べる。（学習時間120分）</p> <p>復習：個々の対象に応じた支援や健康教育のあり方の実際についてまとめる。 学校や対象の特性を踏まえ、計画立った保健室経営や養護教諭の活動の実際についての考えをまとめる。（学習時間120分）</p> <p>キーワード：保健室、養護教諭、保健室経営計画、養護教諭による健康相談、健康教育、保健管理</p>
7	中西唯公 仲里良子	学校保健と公衆衛生看護 ・保健組織活動 ・学校保健を推進する仕組みと地域との連携 学校保健の今後の課題と展望 （まとめ）	講義	<p>予習：学校保健を展開する中でどのような職種や機関との協働・連携が必要であり、効果的であるかを考える。（学習時間120分）</p> <p>復習：これまで学んだことから学校保健の概要についてまとめ、対象に応じた対応の仕方をまとめる。（学習時間120分）</p> <p>キーワード：組織活動、学校保健委員会、地域、連携、学校保健の推進</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	産業保健	必修・選択	選択
英語科目名	Occupational Health	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	PNL34C4
担当教員	櫻井しのぶ※、岡部花枝※、福田洋※、鈴木真鳥※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	企業の特性に応じて労働者の仕事と健康の調和をはかる産業保健について、実践的に学ぶ科目である。現場で実際に勤務する産業医や産業保健師を講師に迎え、産業保健の現状と課題について学習する。産業保健の概要とその仕組み、労働衛生における健康問題（職業性疾患、生活習慣病、メンタルヘルスなど）について理解する。働く人々の健康と職務との両立を支えるための産業保健活動として、労働衛生の3管理を中心に理解する。			
授業の位置づけ	本科目は看護の理論と方法に位置付けられており、企業の特性に応じて労働者の仕事と健康の調和をはかる産業保健について、実践的に学ぶ科目である。現場で実際に勤務する産業医や産業保健師を講師に迎え、産業保健の現状と課題について学習し、次年度に行う公衆衛生看護学実習Ⅱ（産業）へと繋がっていく。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-I、◎DP2-II、ODP3-I			
到達目標	1) 産業保健の法的根拠や制度について説明できる。 2) 現代の労働の現状を踏まえ、労働者の健康問題を考えることができる。 3) 産業保健活動について、労働衛生の3管理の観点から説明ができる。 4) 労働者の健康問題に対応し、労働と健康の調和をはかることで労働生産性の維持向上に貢献する産業保健師の役割について説明できる。 5) 産業保健と地域保健の連携について説明できる。			
先修要件	なし			
関連科目	公衆衛生看護学概論、地域生涯保健活動論、公衆衛生看護学活動論、地域診断論、学校保健、地域包括ケアシステム論、公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ			
学修上の注意	授業は受け身ではなく、主体的に臨むこと。 提示した課題は必ずやってくる。 授業内容は、考え、理解し、自分の言葉で説明できるようになること。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポートと講義ごと的小テストによる知識の確認（20%） 定期試験（80%）			
評価基準	1) 産業保健の法的根拠や制度について説明できるか。 2) 現代の労働の現状を踏まえ、労働者の健康問題を考えることができるか。 3) 産業保健活動について、労働衛生の3管理の観点から説明ができるか。 4) 労働者の健康問題に対応し、労働と健康の調和をはかることで労働生産性の維持向上に貢献する産業保健師の役割について説明できるか。 5) 産業保健と地域保健の連携について説明できるか。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはJUNTENDO-PASSPORTなどを利用して講評や解説を行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
産業看護学第2版	河野啓子 著	日本看護協会出版会	978-4-8180-2547-9	最新版
国民衛生の動向 2022/2023		厚生労働統計協会		最新版
公衆衛生看護学、JP 第5版	荒賀直子 編	インターメディカル	978-4-900828-81-0	最新版
最新公衆衛生看護学第3版 各論2	宮崎美砂子 編	日本看護協会出版会	978-4-8180-2370-3	最新版
参考文献				
1) 労働衛生のしおり 令和4年度 中央労働災害防止協会（編集） 2) 産業保健マニュアル 改訂8版 南山堂				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと ssakura@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	櫻井しのぶ	産業保健の目的・対象 産業保健の成り立ちと労働者の健康問題 労働衛生行政と施策	講義	<p>[予習] 教科書の産業保健や国民衛生の動向の労働衛生の項を予め読んでおくこと。 公衆衛生看護学概論の産業保健の資料を読んでおくこと。 (学習時間120分)</p> <p>[復習] 予習した内容と授業で学んだことを復習し、産業保健の概要について理解を深める。 (学習時間120分)</p> <p>[キーワード] 産業保健、労働基準法、労働安全衛生法、ILO、産業保健師</p>
2	岡部花枝	労働者の健康状態の現状と労働衛生における健康問題 産業保健師による企業や対象の特性を踏まえた産業保健活動の展開と産業保健師の役割	講義	<p>[予習] 教科書を読み、産業保健活動における保健師の活動内容や求められている役割について調べる。 (学習時間120分)</p> <p>[復習] 企業や対象の特性を踏まえ、産業保健師の活動のあり方、保健指導方法についてまとめる。 (学習時間120分)</p> <p>[キーワード] 産業保健師、職場環境改善、職業病、保健指導、トータル・ヘルスプロモーション、ワーク・ライフ・バランス、地域職域連携</p>
3~4	鈴木真鳥	IT企業の産業保健師による産業保健活動の実際 企業における労働者の今日的な健康問題（特にシステム・エンジニア職について） 産業保健師の役割 産業保健における今後の課題	講義	<p>[予習] これまで学習した内容から健康管理の内容と関係法規、関係職種についてまとめておく。 (学習時間120分)</p> <p>[復習] 事業所に固有の健康課題と固有の安全衛生組織・機構について理解を深める。産業保健活動の法的根拠をまとめる。 事業所における看護職の職務の実際を理解し、機能集団や組織を対象として行われる労働者の健康管理に果たす看護職の役割を考察する。 (学習時間120分)</p> <p>[キーワード] 産業保健師、VDT作業、過重労働対策、メンタルヘルス</p>
5	福田洋	大企業の産業医による産業保健活動の実際 1 (1) 産業保健の法規と労働衛生管理体制・労働衛生の3管理・職場における災害対策 (2) 健康管理 (3) 健康教育とヘルスプロモーション 国際学会の話題から産業保健の今日的なトピックスについてもとりあげる。	講義	<p>[予習] 公衆衛生看護学概論や教科書から産業保健の構造や関連法規について調べる。 (学習時間120分)</p> <p>[復習] 授業プリントを見直し、職場の安全衛生管理体制と労働衛生の3管理について理解を深め、関係職種の役割についてまとめる。 (学習時間120分)</p> <p>[キーワード] 労働安全衛生関係法規、労働基準法、労働安全衛生法、ヘルスプロモーション、生活習慣病、メタボリック・シンドローム</p>
6~7	福田洋	大企業の産業医による産業保健活動の実際 2 (4) 職業病・作業関連疾患・業務上疾病と作業環境管理・快適職場 (5) 作業管理と職場巡視 (6) 職場における喫煙対策 (7) 職場における健康づくり (8) 職場における感染症対策 (9) メンタルヘルス 事例検討 学会・研究会の活用法	講義	<p>[予習] 教科書を読み、労働衛生における健康問題や産業衛生管理方法を確認する。 (学習時間120分)</p> <p>[復習] 各回の授業で用いたプリントを中心に復習を行なうこと。産業保健活動を行なうためのプロセス及び管理方法をまとめる。 (学習時間120分)</p> <p>[キーワード] 生活習慣病、メンタルヘルス、健康管理、作業管理、作業環境管理、特定健康診査・特定保健指導、定期健康診断、特殊健康診断、健康相談、健康教育、健康増進</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政・地域）	必修・選択	選択
英語科目名	Practicum in Public Health Nursing I	対象学年	4年
開講学期	後期前半	単位数	3単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	ANL34C1
担当教員	櫻井しのぶ※、原田静香※、岡本美代子※、仲里良子※、板井麻衣※、岡部花枝※、鹿島田祐子※、中山久子※、森永みさ子※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に生活する個人、家族、集団を対象とし、健康レベルや地域特性に応じた健康の保持増進、健康問題の発生および悪化の予防を支援する看護活動の展開について、実践を通して学ぶ。さらに、保健・医療・福祉のあり方について理解を深め、地域看護活動に必要な実践能力を養う。 2. 看護の応用的、専門的実践活動についての理解をさらに深めるために、自らの学習テーマに沿って、既学習内容を総合的に応用し、主体的に探究する。そしてリフレクションを通して保健師活動の在り方を熟考するとともに、科学的思考能力を高め、公衆衛生看護の実践能力を養う。 				
授業の位置づけ	本実習は保健師科目に関するすべての単位を取得した上で臨む臨地実習である。カリキュラムマップの「看護の理解と方法」のAdvanced Nursing Levelに位置している。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅲ、○DP2-I、○DP2-II、○DP3-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健所、市町村における衛生行政の機能と役割を説明することができる。 2. 地域診断実習にて抽出した健康問題について、実習を通して再検討した上でその内容を説明することができる。 3. 地域の特性をふまえた健康に関する看護活動（健康教育、健康相談、家庭訪問、健康診査、地区組織活動など）の実践的な展開方法を理解（一部、指導者の指導の下に実施）できる。 4. 地域における看護職の役割について説明することができる。 5. 保健・医療・福祉の関係機関との連絡調整、社会資源の活用等を通して連携のあり方を説明することができる。 6. 保健医療福祉チームメンバーとして必要な態度を養い、実行できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	公衆衛生看護学概論、保健学概論、地域生涯保健活動論、公衆衛生看護活動論、地域診断論、保健医療福祉行政論、学校保健、産業保健、地域包括ケアシステム論、統合実習、公衆衛生看護学実習Ⅱ				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習担当地域の地域踏査、地域診断を積極的に実施し、担当教員と十分に検討しておくこと。 2. 地域診断より抽出された担当地域の健康課題解決に向け、自らの実習目的・計画を立てること。 3. 事前課題に取り組み、臨地実習に必要な知識と技術を備えて実習に臨むこと。保健師活動に関するDVD教材は図書館に設置してあるため、必ず事前に視聴しておくこと。 4. 実習期間中は臨地の状況によって経験する保健師活動は様々であるが、実習時間内を活用して学生間でのカンファレンスと情報交換を行い、学びを共有する。 				
成績評価の方法					
評価方法	実習内容及び実習記録（60%）、学習者としての姿勢・態度（10%）、実習報告・レポート（30%）				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・行政で行われている保健活動について説明ができるか ・地域や対象集団の特性を把握し、その特性と保健師活動との関連を理解し説明することができるか ・公衆衛生における看護職の役割について述べるができるか 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等についてのフィードバックは、実習中の個別指導の際に各教員からコメント、またはJ-passへの掲示等で行います。また、希望者には随時メールも受け付けます。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生看護学. JP	荒賀直子・後閑容子	インターメディカル	978-4-900828-81-0	
	国民衛生の動向（最新版）		一般財団法人 厚生労働統計協会		
	最新公衆衛生看護学総論、各論1・2		日本看護協会出版会		
参考文献					
保健師業務要覧 日本看護協会出版会					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（担当教員へ事前にメールで連絡のこと） 櫻井：ssakura@juntendo.ac.jp 原田：sharada@juntendo.ac.jp 岡本：myokamo@juntendo.ac.jp 仲里：r-nakazato@juntendo.ac.jp 板井：m.itai_bq@juntendo.ac.jp 岡部：（後日提示） 鹿島田：ykashima@juntendo.ac.jp 中山：hnakaya@juntendo.ac.jp 森永：m-morinaga@juntendo.ac.jp				
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護学.jp インターメディカル 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 3. 保健師業務要覧 日本看護協会出版会 4. 最新公衆衛生看護学総論、各論1～2 日本看護協会出版会 				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
	櫻井しのぶ 原田静香 岡本美代子 仲里良子 板井麻衣 岡部花枝 鹿島田祐子 中山久子 森永みさ子	<p>実習内容：</p> <p>1) オリエンテーション ・施設における組織や地域の特徴に関する説明等</p> <p>2) 学内実習 ・既習の知識についての確認 ・健診場面における保健指導の演習 ・家庭訪問演習</p> <p>3) 臨地実習 ・家庭訪問・健康相談・健康診査・健康教育・地区組織活動の育成・地域ケアシステムの創造等、保健師活動の見学や実践 ・住民に対する健康教育の実践 ・健康支援に関する多職種との連携の見学及び説明 ・健康支援に関連する社会資源の見学、及び説明 等</p> <p>4) 実習のまとめ ・実習報告レポートの作成 ・地域診断レポートの完成</p>	<p>実習方法：1グループ3～4名に分かれ、3単位の実習を行う。 実習施設：保健所、市町村、産業保健等の臨地において実習を行う。 詳細は実習要項等に記す。</p>	<p>【予習】</p> <p>1) 以下について既習の知識の復習をしておく。各項目の詳細な内容については実習要項に記載している。予習の項目については、実習前に確認テストを実施する。(各60～120分)</p> <p>①地域保健活動に関する基礎知識について学習する。 ②保健師活動時に必要な知識や技術 ③保健師活動の関連したDVD教材の視聴</p> <p>2) 実習前学内演習の準備 詳細は実習要項に記載している。実習オリエンテーションにおいても該当の資料を配布する。</p> <p>①家庭訪問演習について(約120分) ・家庭訪問計画の立案 ・訪問計画に立案した内容についての手技の確認 ②健康教育の準備(必要時間は実習担当地域の状況による) ・企画書、指導案、台本の作成</p> <p>【復習】 担当地域の健康課題解決に向け、地域に適した保健師活動を考える。(約60分)</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	公衆衛生看護学実習II (産業)	必修・選択	選択
英語科目名	Practicum in Public Health Nursing II	対象学年	4年
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	ANL34C2
担当教員	櫻井しのぶ※、原田静香※、岡本美代子※、仲里良子※、板井麻衣※、岡部花枝※、鹿島田祐子※、久田 雅紀子※、森永みさ子※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	1. 働く人々や組織を対象とし、企業特性に応じた健康の保持増進、健康問題の発生および悪化の予防を支援する産業保健活動の展開について学ぶ。また、産業保健専門職および安全衛生部門の役割を学び、企業内関係部署との連携および地域との連携について理解を深め、産業看護職の役割を遂行できる能力を養う。 2. 産業保健の応用的・専門的実践活動についての理解をさらに深めるために、自らの学習テーマに沿って、既学習内容を総合的に応用し、主体的に探究する。その結果をレポートとしてまとめ、リフレクションを通して産業保健活動のあり方を熟考することとともに、産業看護職としての能力を養う。				
授業の位置づけ	本実習は保健師科目に関するすべての単位を取得した上で臨む臨地実習である。カリキュラムマップの「看護の理解と方法」のAdvanced Nursing Levelに位置している。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-II、◎DP2-III、ODP3-I、ODP5-I				
到達目標	1. 企業・事業所における健康支援部門および安全衛生部門の役割を説明することができる。 2. 企業・事業所の特性と健康問題を把握し産業看護職の役割の現状と課題を説明することができる。 3. 他職種・他組織との連携について学び連携における産業看護職の役割を説明することができる。 4. 産業保健における看護職の役割や今後の展望や課題について説明することができる。 5. 産業看護職としてよりよい活動を目指した自己の資質向上のために努力する態度を養い、実行することができる。				
先修要件	なし				
関連科目	公衆衛生看護学概論、地域生涯保健活動論、公衆衛生看護活動論、地域診断論、産業保健、学校保健、地域包括ケアシステム論、公衆衛生看護学実習I (行政・地域)				
学修上の注意	1. 事前に実習先となる企業・事業所の概要を、実習先の企業・事業所ホームページ等を調べてまとめ、そこから抽出した実習先の健康課題解決に向け、自らの実習目的・計画を立てること。 2. 産業保健に必要な知識と技術を備えて実習に臨むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	実習内容及び実習記録 (70%)、学習者としての姿勢・態度 (10%)、実習報告・レポート (20%)				
評価基準	1. 企業・事業所における健康支援部門および安全衛生部門の役割を説明できるか。 2. 企業・事業所の特性と健康問題を把握し産業看護職の役割の現状と課題を説明することができるか。 3. 他職種・他組織との連携について学び連携における産業看護職の役割を説明することができるか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等についてのフィードバックは、実習中の個別指導の際に各教員からコメント、またはJ-passへの掲示等で行います。また、希望者には随時メールも受け付けます。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生看護学.jp		インターイカ		最新版
	国民衛生の動向		厚生労働統計協会		最新号
	保健師業務要覧		日本看護協会出版会		最新版
	最新公衆衛生看護学総論、各論1~2		日本看護協会出版会		最新版
	産業看護学		日本看護協会出版会		最新版
参考文献					
随時紹介					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時 (担当教員へ事前にメールで連絡のこと) 櫻井: ssakura@juntendo.ac.jp 原田: sharada@juntendo.ac.jp 岡本: myokamo@juntendo.ac.jp 仲里: r-nakazato@juntendo.ac.jp 板井: m.itai.bq@juntendo.ac.jp 岡部: (後日提示) 鹿島田: ykashima@juntendo.ac.jp 久田: a-hisada@juntendo.ac.jp 森永: m-morinaga@juntendo.ac.jp				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
	櫻井 原田 岡本 仲里 板井 岡部 鹿島田 森永 久田	<p>実習方法：1 グループ 3～10名に分かれ、1 単位の実習を行う。 実習施設：産業保健の臨地において実習を行う。詳細は実習要項等に記す。</p> <p>実習内容：</p> <p>1) オリエンテーション ・施設における組織に関する説明等</p> <p>2) 学内実習 ・保健指導 ・身体計測、及び環境測定 ・実習企業・事業所の特性と保健ニーズを抽出する。</p> <p>3) 臨地実習 ・実習企業・事業所の事業内容・産業保健活動や安全衛生活動についての概要説明を受ける。 ・事業所内を実習企業・事業所の特性を踏まえ、特に労働者の作業環境に注目して見学する。 ・産業保健活動・安全衛生活動について、職場巡視・保健指導・健康教育・安全衛生委員会等の活動を見学する。 ・保健活動・安全衛生活動の法的根拠および企業・事業所の保健ニーズと保健活動の計画、実施、評価など一連の過程を学ぶ。</p> <p>4) 実習のまとめ ・実習報告レポートの作成</p>		<p>予習：</p> <p>1) 以下について既習の知識の復習をしておく。各項目の詳細な内容については実習要項に記載している。予習の項目については、実習前に確認テストを実施する。(各60～120分) ①産業保健活動の根拠や関連する法律を学習する。 ②労働安全衛生に関する行政機構との連携 ③地域における産業保健推進支援体制</p> <p>2) 実習前学内演習の準備(約120分) 詳細は実習要項に記載している。実習オリエンテーションにおいても該当の資料を配布する。 ①特定保健指導計画立案およびロールプレイについて ②健康診断における測定について</p> <p>復習： 実習で学んだ事をもとに、実習先の健康課題解決に向けて、「産業保健における看護職の役割と今後の課題」について考える。(約60分)</p> <p>【キーワード】 労働法規 保健衛生法規 労働衛生の5管理 産業保健総合支援センター トータル・ヘルスプロモーション・プラン</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	看護研究の原理と方法	必修・選択	必修
英語科目名	Principle and Method of Nursing Research	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	大西 麻未	ナンバリング	PNL42A1
担当教員	大西麻未※、飯島佐知子※ ※…実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	研究とは何か、看護における研究の重要性について理解する。また、代表的な研究の種類や方法を知り、自分の関心あるテーマがどんな研究課題になるかを考える。研究論文の批判的吟味の視点について理解することを通して、研究成果を看護実践に適用するために必要な知識・態度を習得する。			
授業の位置づけ	本授業では、看護実践のエビデンスとなる科学的知識を探し活用したり、新たに作り出すために必要な基本的知識を習得することをめざしている。本研究で身につけた知識は、「医療看護研究Ⅰ」「医療看護研究Ⅱ」の基盤となるものである。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-Ⅲ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅱ、○DP4-Ⅰ、○DP5-Ⅰ、△DP3-Ⅰ			
到達目標	1) 研究とは何か、看護における研究の意義を理解し、今後研究として取り組みたい疑問や問題意識から研究テーマを考えることができる。 2) 基本的な看護研究の種類と方法を説明できる。 3) 研究倫理の考え方や倫理的配慮の方法について理解する。 4) 看護の研究論文を批判的に読むための視点やポイントを理解できる。			
先修要件	なし			
関連科目	ゼミナール、統計学、健康と疫学、保健統計、医療看護研究Ⅰ、医療看護研究Ⅱ			
学修上の注意	自分自身の既習の知識や経験を踏まえて、より深く知りたいこと、問題意識を持っていることはどんなことか、あらかじめ考えて授業に臨むこと。 授業ごとの課題により成績評価を行う。提出期限は厳守すること。			
成績評価の方法				
評価方法	授業ごとの課題60%、論文の批判的評価40%			
評価基準	1) 看護における研究の意義を説明でき、日頃の疑問や問題意識を研究テーマに結びつけることができる。 2) 基本的な看護研究の種類と方法を説明できるか。 3) 研究における倫理的配慮の必要性や基本的方法について理解できるか。 4) 看護の研究論文を批判的に読み、評価することができるか。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
授業内または掲示によりフィードバックを行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
よくわかる看護研究の進め方・まとめ方(第3版)	横山美江	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23690-1	
参考文献				
近藤潤子監訳：看護研究-原理と方法-第2版，医学書院，2010.				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時 事前にメールで連絡のこと 大西 mami-o@juntendo.ac.jp 飯島 sijijima@juntendo.ac.jp			
備考				
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	大西	看護研究の意義・目的 1. 研究とは何か 2. なぜ看護の研究を行うのか(意義) 3. 看護の研究の事例 4. 研究のプロセス 5. 自分の問いを書き出してみよう	講義	[予習] 事前にテキスト1章(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間2時間) [キーワード] 看護研究、EBM/EBN

2	大西	研究計画の立案 1. 研究計画書の必要性 2. 研究計画書の構成 3. 研究倫理とは何か、倫理的配慮の必要性と方法	講義	[予習] 事前にテキストp.65-92, 98-125を読んでおくこと。(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。 授業内で記述した、自分の興味ある研究テーマを振り返り、研究の意義を明確化するために必要な情報や研究計画として不足している部分を確認しておく。 (学習時間2時間) [キーワード] 研究計画書、研究倫理、倫理的配慮
3	飯島	研究のプロセス 1) 研究課題の選択 2) 理論・概念 3) 変数・仮説 4) 標本抽出 5) 信頼性・妥当性 6) データの分析 7) エビデンス・レベル	講義	[予習] 事前にテキスト.17, 65-68, 74-98を読んでおく。(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。 (学習時間2時間) [キーワード] 理論・概念、変数・仮説、標本抽出、エビデンス・レベル
4	飯島	研究の種類1 因子探索研究、関連探索研究、関連検証研究	講義	[予習] 事前にテキストp.14-34を読んでおくこと。(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。 (学習時間2時間) [キーワード] 質的研究、記述研究、観察研究 エビデンスレベル
5	飯島	研究の種類2 因果仮説検証研究	講義	[予習] 事前にテキストp.35-44を読んでおく。(学習時間2時間) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。 (学習時間2時間) [キーワード] エビデンス・レベル、因果関係、実験研究、準実験研究
6	大西・白川	文献検索演習、研究論文の読み方	講義	[予習] テキストp.69-73(文献検索)、p.154-193(論文クリティーク)を読んでおく。 事前に課題論文を読み、評価表に従って評価しておく。 (学習時間2時間) [復習] 自分の関心あるテーマの文献検索を行ってみる。 課題論文を再度批判的に読んでみる。 (学習時間2時間) [キーワード] 文献検索、批判的吟味
7	大西・白川	文献検索演習、研究論文の読み方	講義	[予習] テキストp.69-73(文献検索)、p.154-193(論文クリティーク)を読んでおく。 事前に課題論文を読み、評価表に従って評価しておく。 (学習時間2時間) [復習] 自分の関心あるテーマの文献検索を行ってみる。 課題論文を再度批判的に読んでみる。 (学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療看護研究I	必修・選択	必修
英語科目名	Health Care and Nursing Research I	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	飯島 佐知子	ナンバリング	PNL42A2
担当教員	飯島佐知子、大西麻未、全専任教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	根拠に基づいた看護を提供するための情報を探索し、基本的な研究過程を実践することを通して、看護を科学的に実践する態度を養う。			
授業の位置づけ	自ら研究し論文を作成することは、専門職者として不可欠な情報リテラシー高めるために必要な経験であり、大学教育の醍醐味である。看護研究Iで基礎的な方法論を学び、医療看護研究IIでは研究プロセスを実践する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学修することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP5-I：生涯にわたり専門職者として研鑽し続ける能力			
到達目標	1) 学生各自が自身の関心あるテーマを選択し、そのテーマに関連する研究論文を収集できる。 2) 収集した論文を読み、批判的に吟味することによって、自身の研究課題を明確にできる。 3) 研究課題に適した研究計画を立案し、研究計画書を作成することができる。			
先修要件	なし			
関連科目	医療看護ゼミナール、看護研究の原理と方法、情報科学、統計学			
学修上の注意	「看護研究の原理と方法」で学んだ知識・技術をもとにして学修する。 学習時間は予習。復習とも80分とする。 指導担当教員との綿密な連絡を取り、研究を進める。自己の関心のあるテーマについて追究できる機会として、主体的に学習する。少人数のゼミ形式で授業を進めるため、学生間で積極的にディスカッションすることが求められる。また事前準備として、読んだ論文について等、プレゼンテーション準備が必要である。具体的進め方は、各指導教員の指示に従う。			
成績評価の方法				
評価方法	ゼミでの発表および参加状況(50%)、研究計画書(50%)を総合して評価する。			
評価基準	1) 学生各自が自身の関心あるテーマを選択し、そのテーマに関連する研究論文を収集できる(和文10件以上、英文3件以上)。 2) 収集した論文を読み、批判的に吟味することによって、自身の研究課題を明確に記述できる。 3) 研究課題に適した研究計画を立案し、研究計画書を作成することができる。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
フィードバックの希望には随時メールで受け付ける。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
よくわかる看護研究の進め方・まとめ方(第3版)	横山美江(2017)	医歯薬出版株式会社		
参考文献				
近藤潤子監訳：看護研究-原理と方法-第2版、医学書院、2010。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	各担当教員が対応する			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	各指導教員	研究キーワードの設定、文献収集 [キーワード] 研究課題、文献検索		[予習] (学習時間90分) 看護研究の原理と方法の配布資料とテキストを読み返しておくこと。事前に関心あるテーマのキーワードで文献を検索し、文献リストを作成し文献収集を進めておく。発表等については、担当教員の指示に従う。 [復習] (学習時間90分) ゼミでの教員からの助言や指示を振り返り、次回までの課題に取り組む。
2 3 4 5	各指導教員	文献検討 [キーワード] 文献の批判的吟味		[予習] (学習時間90分) テキストp. 69-73(文献検索)、p. 154-193(論文クリティーク) を読んでおく。事前に課題論文を読み、評価表に従って評価して、発表用資料を作成する。 [復習] (学習時間90分) ゼミでの教員やグループメンバーからの助言や指示を振り返り、次回までの課題に取り組む。
6 7 8 9	各指導教員	文献検討、研究課題・目的の明確化 [キーワード] 文献の批判的吟味、研究目的		[予習] (学習時間90分) 事前にテキストp. 65-92、98-125を読んでおくこと。 複数の文献を精読した結果を統合し、自身の研究課題や目的について検討する。研究の背景として、社会的状況、先行研究で明らかになっていること、明らかになっていないこと、その研究をすることの意義を記述する。 [復習] (学習時間90分) ゼミでの教員やグループメンバーからの助言や指示を振り返り、次回までの課題に取り組む。
10 11 12	各指導教員	研究方法の検討 [キーワード] 研究デザイン、サンプリング		[予習] (学習時間90分) 事前にテキストp. 65-92、98-125を読んでおくこと。(学習時間60分)自身の研究テーマに適した研究方法を先行研究を参照しながら記述する。研究デザイン、対象者、調査場所、対象者数、調査項目、データの収集方法、分析方法、倫理的配慮について記述する。 [復習] (学習時間90分) ゼミでの教員やグループメンバーからの助言や指示を振り返り、次回までの課題に取り組む。
13	各指導教員	研究計画書の作成 [キーワード] 研究計画書		[予習] (学習時間90分) 明確にした研究目的、方法を基盤に、研究計画書の作成を進める。 [復習] (学習時間90分) ゼミでの教員やグループメンバーからの助言や指示を振り返り、回次のゼミまでの課題に取り組むこと。
14	各指導教員	研究計画書の完成・発表 [キーワード] 研究計画書		[予習] (学習時間90分) 研究計画書をパワーポイント等で発表する。完成した研究計画書を提出する。 [復習] (学習時間90分) 研究計画書を最終確認して、提出する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	医療看護研究II	必修・選択	選択
英語科目名	Health Care and Nursing Research II	対象学年	4年
開講学期	通期	単位数	2単位
代表教員	飯島 佐知子	ナンバリング	ANL42A1
担当教員	飯島佐知子 大西麻未 全専任教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	「医療看護研究 I」において立案した研究計画を基盤として、研究過程を実践し発表することを通して、看護を科学的に実践する態度を養う。				
授業の位置づけ	教員の指導のもとに、学生各自が「医療看護研究 I」で立案した研究計画に沿って、データ収集、分析評価、論文作成の一連の研究過程を実践する				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学修することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ◎DP5-CA：生涯にわたり専門職者として研鑽し続ける能力 ○DP2-CA：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ○DP2-CB：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力				
到達目標	1) 教員の指導のもとに、学生各自が「医療看護研究 I」で立案した研究計画に沿って、データ収集、分析評価、論文作成の一連の研究過程を実践できる。 2) 研究結果を口演発表し、教員・学生と共有してディスカッションできる。				
先修要件	看護研究の原理と方法、医療看護研究 I				
関連科目	ゼミナール、看護研究の原理と方法、医療看護研究 I、情報科学、統計学、統計演習				
学修上の注意	指導担当教員との綿密な連絡をとりながら、主体的に研究を進めることが求められる。				
成績評価の方法					
評価方法	提出論文の内容(60%)、研究発表の内容(40%)を総合して評価する。				
評価基準	提出論文については以下の7点を満たすこと。 1. 先行研究に関するレビューにより、これまで明らかになっていることを整理して記述している 2. 先行研究に関するレビューにより、これまで明らかになっていないことは何かを明確に記述している。 3. 社会的背景を踏まえて、その研究をする意義が述べられている。 4. 目的が明確である。 5. 目的を明らかにするために適切な研究方法が記述されている。 6. 得られた結果について、先行研究を踏まえた考察が記述されている。 7. 得られた結果から妥当な結論が述べられている。 研究発表については以下の2点を満たすこと。 1. 研究の背景、先行研究、研究の意義、目的について聴衆にわかりやすく説明できる 2. 方法、結果、考察、結論について聴衆にわかりやすく説明できる				
試験・課題に対するフィードバック方法					
論文等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	これからの看護研究「基礎と応用」第3版	小笠原知枝, 松木光子編集	ヌーベルヒロカワ, 2012.		
参考文献					
必要に応じて、担当教員より文献を提示する。 アメリカ心理学会 (APA) : APA 論文作成マニュアル第2版 : 医学書院 2011 小塩真司 : 第3版 SPSSとAMOSによる心理・調査データ解析 因子分析・共分散構造分析まで 東京図書 2018 阿部陽子 訳 : 看護研究のための文献レビュー マトリックス式 医学書院 2012 康永 秀生 : 必ずアクセプトされる医学英語論文 完全攻略50の鉄則 金原出版 2016 近藤潤子監訳 : 看護研究-原理と方法-第2版, 医学書院, 2010.					
その他					
連絡先・オフィスアワー	担当教員に連絡すること				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	各教員	研究計画書の確認、行動計画の立案 [キーワード] 研究計画書、データ収集		[予習] (学習時間90分) 医療看護研究Ⅰで作成した研究計画書を見直し、論文提出・発表までの行動計画を考えておく。 [復習] (学習時間90分) 行動計画に基づき、データ収集の準備を進める。
2 3	各教員	データ収集準備 : 質問紙、インタビューガイドの最終確認・完成、実験手順や物品・環境準備、説明・同意の準備 [キーワード] サンプリング、倫理的配慮、プロトコル		[予習] (学習時間90分) 研究対象に協力を得る方法や説明の仕方を考えておく。 質問紙やインタビューガイドについて他者の意見を得るなどしておく。 [復習] (学習時間90分) 教員やグループからの意見に従って、時間や場所を含むデータ収集方法と手順を確認しておく。
4 5 6 7 8 9 10	各教員	データ収集 [キーワード] データ収集、データ分析		[予習] (学習時間90分) 担当教員の指示に従い、各自のデータ収集に必要な準備を行う。 [復習] (学習時間90分) 担当教員からの指示に従い、データ分析の方法を学ぶなど、次回の授業までの準備を進める。
11 12 13 14 15 16 17	各教員	データ分析 [キーワード] 統計解析、質的分析		[予習] (学習時間90分) 自身の収集したデータ及び研究目的に従い、適切な分析方法について学ぶ。適宜、担当教員に提示するための資料を作成する。 [復習] (学習時間90分) 教員から指示に従い、次回までの準備を行う。
18 19 20 21	各教員	分析結果の整理・考察 [キーワード] データ分析、考察		[予習] (学習時間90分) 分析結果から図表を作成したり、結果の意味について考える。考察に必要な文献を集める。 [復習] (学習時間90分) 教員からの指示に従い、次回までの準備をしておく。
22 23 24 25	各教員	論文作成 [キーワード] 論文の構成		[予習] (学習時間90分) 図表の作成や引用文献リストを作成する。 [復習] (学習時間90分) 教員からの指示に従い、次回までの準備をしておく。
26 27	各教員	研究発表準備 [キーワード] 口演発表		[予習] (学習時間90分) 発表要領を確認しスライド・原稿作成を進める。 [復習] (学習時間90分) 教員の指示に従い、次回までの準備を行う。
28	各教員	論文完成・提出 研究発表会での発表 [キーワード] 研究論文、口演発表		[予習] (学習時間90分) 論文の最終確認、発表練習を行う。 [復習] (学習時間90分) 一連の研究実施過程で学んだことを整理する。

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	看護の質と安全管理	必修・選択	必修
英語科目名	Patient Safety Management	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	飯島 佐知子	ナンバリング	PNL44A1
担当教員	飯島 佐知子、大西 麻未、幅下 貞美、會田 秀子、養田 絢子	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	患者の安全は看護師が個別に専門技術を提供しているだけでは十分に確保できない。医療チームで患者の安全な医療を提供するためには、自分が組織の一員であることを自覚し、他のメンバーとの関係性の中で、どのように情報伝達し、行動するかを考える必要がある。本講義では、2011年に世界保健機関（WHO）が発表した「WHO患者安全カリキュラムガイド」を踏まえて、「人間は間違いから逃れない」ことを意識し、「組織人として行動すること」の大切さを学ぶ。「看護の質と安全管理」の回で、医療事故やヒューマン・エラーの種類を学び、組織的な取り組み方を身につける。さらに、「周産期における医療安全管理」の回で、周産期医療におけるリスクマネジメントの実際について学ぶ。			
授業の位置づけ	基礎看護学で学習した患者の安全について、臨床実習を前に病棟で実践されている安全管理の方法について体系的に学び、理解を深める。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。 ODP2-CA：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力 ODP2-CB：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力 ODP2-CC：健康レベルに応じた看護を展開する能力 ODP3-CA：保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力			
到達目標	1) 医療事故の定義、看護に関わる医療事故の全国的な発生状況を説明できる。 2) 医療事故の原因、組織としての医療安全対策について説明できる。 3) 看護関連の主要な事故の要因をアセスメントし、予防対策を立案できる。 4) 事故分析を実施し、改善案を立案できる。 5) 事故を起こさないために必要な知識を説明できる。			
先修要件	なし			
関連科目	看護管理学			
学修上の注意	学習時間は予習・復習ともに各回80分 使用テキストは予め読んでおくこと。			
成績評価の方法				
評価方法	授業後の確認テスト・課題（30点）、RCA分析の提出物（20点）期末テスト（50点）により評価を行う。			
評価基準	1) 授業後の確認テスト・課題の評価が70%であること。 2) 転倒事例のRCA分析実施し、根本原因を3つ以上抽出し、結果を要約して記述し、予防対策の立案項目数が3つ以上であること。 3) 期末テストの正解率が60%以上であること			
試験・課題に対するフィードバック方法				
授業後の確認テストについては、回答を公表する。RCA分析については講評を行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
『看護管理と医療安全』	飯島佐知子、大島由美子編	放送大学出版会 2012		
参考文献				
川村治子：医療安全ワークブック第2版、医学書院、2008 相馬孝博：WHO患者安全カリキュラムガイド、メディカ出版、2013 相馬孝博：患者安全のためのノンテクニカルスキル超入門-WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版を踏まえてー、メディカ出版、2014 G. Sherwood, J. Barnsteiner：Quality and Safety in Nursing -A competency approach to improving outcome, 2012				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時 事前にアポイントを取ること。sijijima@juntendo.ac.jp			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	飯島	看護の質と安全管理① 医療・看護の質の評価と医療事故の定義 1) 医療の質の評価・公表等推進事業における医療安全の評価指標について 2) 医療事故の定義と分類 3) 1999年の「患者取り違い事件」 4) 医療事故の発生状況 [キーワード] 医療事故、インシデント、ニア・ミス	講義	[予習] 使用テキスト①P. 203～223を予め読んでおくこと。過去の新聞などの医療事故報道について記事を集めておく。(学習時間80分) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間80分)
2	大西	看護の質と安全管理② 医療事故の原因、組織としての医療安全対策 1) 医療事故の原因 2) 医療事故防止の考え方、ヒューマンエラー 3) 国の医療安全対策 4) 組織で取り組む安全対策 5) 事故発生時の組織の対応 6) 安全文化の醸成 [キーワード] 医療事故情報収集等事業、ヒューマンエラー、リスク・マネジメント	講義	[予習] 使用テキスト①P. 203～223, p276～294を予め読んでおくこと。実習経験や事故事例の知識から、医療事故の原因にはどのようなものがあるのか考えておく。(学習時間80分) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間80分)
3	飯島	看護の質と安全管理③ 療養上の世話における事故の防止 1) 転倒・転落 [キーワード] 転倒・転落		[予習] 使用テキスト①P. 254～275を予め読んでおくこと。(学習時間80分) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間80分)
4	飯島	看護の質と安全管理④ 事故分析の方法 1) SHELモデル 2) 4 M4E分析 3) 根本原因分析 (RCA) 4) 故障モード影響解析法 (FMEA) [キーワード] 医療事故原因の分析、SHELモデル、4 M4E分析、根本原因分析 (RCA) 故障モード影響解析法 (FMEA)	講義	[予習] キーワードについて事前に自分なりに調べておくこと。(学習時間80分) [復習] 配布資料により講義内容を整理しておくこと。(学習時間80分)
5～6	櫻井、養田、大西、飯島	看護の質と安全管理⑤ 事故分析のグループ・ワーク 1) 根本原因分析 (RCA) 分析を用いて実際に起きた事故事例を分析してみる。 2) 再発防止策を立案する。 3) 発表、講評 [キーワード] 根本原因分析 (RCA)、事故防止対策の立案	講義	[予習] 根本原因分析 (RCA) に関する講義内容を理解しておくこと。(学習時間80分) [復習] 配布資料により講義内容を整理しておくこと。(学習時間80分)
7	大西	診療補助に伴う事故の防止 1) 診療の補助業務の危険要因 2) 与薬 3) 輸血 4) チューブ類の管理 [キーワード] 誤薬、誤注射、チューブトラブル、輸液ポンプ	講義	[予習] 使用テキスト①P. 224～253を予め読んでおくこと。(学習時間80分) [復習] 授業資料とテキストの該当箇所を確認して整理しておくこと。(学習時間80分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	看護管理学	必修・選択	必修
英語科目名	Nursing Administration	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	飯島 佐知子	ナンバリング	PNL44A2
担当教員	飯島 佐知子、大西 麻未、幅下 貞美	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	看護職者が、地域社会や組織の中で、他の人々と共に働く上での自身の役割について理解し、質の高い看護を提供するために必要となる基本的な知識・スキルを習得することである。				
授業の位置づけ					
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本科目を学修することで、以下の能力の基礎が身につきます。</p> <p>○DP2-CA：医学および関連領域の知識を看護に応用できる能力</p> <p>○DP2-CB：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力</p> <p>◎DP3-CA：保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力</p> <p>○DP5-CA：生涯にわたり専門職者として研鑽し続ける能力</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護管理とは何か説明できる。 2) 看護の質を評価する必要性とその方法について説明できる。 3) 看護組織をマネジメントするための理論的枠組みや具体的な手法について説明できる。 4) 日本の医療の現状を分析し、保健医療福祉における看護職の役割について説明できる。 5) 専門職としての自己のキャリア発達の過程や生涯学習の計画を立案できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	社会保障論、社会福祉論、医療と看護政策				
学修上の注意	講義中は適宜課題を提示する。周囲とディスカッションしながら主体的に取り組むこと。				
成績評価の方法					
評価方法	講義後の確認問題と課題への取り組み(50%)、定期試験(50%)により評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義後の確認問題、課題の提出率100%であること。 2) 講義後の確認問題で単元の看護管理に関するトピックスの正解率80%であること。 3) 日本の医療の現状を分析し、保健医療福祉における看護職の役割について考察する課題の評価が60%以上であること。 4) 専門職としての自己のキャリア発達の過程や生涯学習の計画を立案できること。 5) 定期試験の正解率が60%以上であること 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
フィードバックの希望には随時メールで受け付ける。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	看護管理と医療安全	大島弓子、飯島佐知子編集	放送大学出版会、2018.		
参考文献					
<p>川野雅資監修・平井さよ子編集：看護実践「看護管理学」、日本放射線技師会出版会、2008.</p> <p>平井 さよ子：看護職のキャリア開発-転換期のヒューマンリソースマネジメント、医学書院、2009.</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時、事前にアポイントを取ること (sijima@)				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	大西	看護管理学と医療の質 1) 看護管理とは 2) 医療の質と質評価の枠組み 3) 質評価の方法 4) 看護の質 5) 質改善活動 [キーワード] 看護管理学、医療の質、質評価、第三者評価、臨床指標、ベンチマーキング	講義	[予習] 看護管理学とはどのような分野か、教科書や既存の知識から自分なりに考えておくこと。テキスト11章を読んでおく。 (学習時間60分) [復習] テキスト11章や配布資料を読み返して整理しておくこと。 (学習時間90分)
2	大西	看護管理と組織 1) 組織とは 2) 組織構造の設計、組織図 3) 組織の中での個人の役割 [キーワード] 組織、組織構造、組織図、看護管理者、社会人基礎力	講義	[予習] 事前にテキスト4章を読んでおくこと。 (学習時間60分) [復習] テキストや配布資料を読み返して整理しておくこと。 (学習時間90分)
3	大西	看護ケアのマネジメント 1) 看護職員の配置 2) 看護提供体制、勤務体制 3) 経営管理論の活用①—科学的管理法、標準化 [キーワード] 組織、組織構造、動機づけ、目標管理	講義	[予習] 事前にテキスト4章、5章を読む。 (学習時間60分) [復習] テキストや配布資料を読み返して整理しておくこと。 (学習時間90分)
4	大西	看護ケアのマネジメント 1) 経営管理論②人間関係論 2) 動機づけ理論 3) 目標管理 4) リーダーシップ [キーワード] 看護提供システム、ケアプロセス、リーダーシップ	講義	[予習] 事前にテキスト5章、6章を読む。 (学習時間60分) [復習] テキストや配布資料を読み返して整理しておくこと。 (学習時間90分)
5	飯島	看護管理学と日本の医療の現状 1) 国民医療費の動向 2) 医療システムの評価の視点（アクセスの公平性、統合性、医療の質、効率性） 3) 日本の医療システムを評価してみる。グループワークにより、3つの視点から評価を行い発表する。 [キーワード] 国民医療費、医療システム	講義	[予習] テキスト2章を読んでおくこと。 (学習時間60分) [復習] テキストや配布資料を読み返して整理しておくこと。 (学習時間90分)
6	飯島	看護関連の診療報酬と病院の費用 1) 看護系学会等社会保険連合 2) 看護関連の診療報酬 3) 診療報酬の改定の動向 4) 病院の費用 5) 病院原価計算 6) 費用効果分析 [キーワード] 診療報酬、費用効果分析	講義	[予習] 事前にテキスト3章、4章を読んでおくこと。 (学習時間60分) [復習] テキストや配布資料を読み返して整理しておくこと。 (学習時間90分)
7	飯島 幅下	看護専門職のキャリア開発 1) キャリアとは何か 2) キャリアに関連する理論、キャリア・アンカー 3) ベナー看護論 4) 看護師のキャリア開発 5) 看護職の多様な働き方 6) 自己のキャリア発達の過程や生涯学習の計画を立案する 看護専門職として社会的役割を果たすために、自らのキャリア発達について、目標管理、クリニカルラダー、継続教育などを学習したキーワードを活用しながら図を作成し、学習計画を立案する。 [キーワード] キャリア開発、クリニカル・ラダー	講義	[予習] 事前に教科書9章を読んでおくこと。 日本の医療の現状、医療の質、目標管理、クリニカル・ラダー、継続教育などの用語の意味、自分自身のキャリア開発について考察しておくこと (学習時間60分) [復習] 専門職として生涯にわたり学習し続け、成長していくために自己を評価し管理していく重要性について考察を深める (学習時間60分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療と看護政策	必修・選択	選択
英語科目名	Health Care and Nursing Policies	対象学年	4年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	大西 麻未	ナンバリング	ANL44A1
担当教員	大西麻未※ 石田昌宏※ 伊勢田暁子※ 窪田和巳※ 橋本美穂※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	近年の保健医療の動向を踏まえ、変動する社会ニーズにかなった質の高い看護を提供するために、我が国の医療・看護の政策がどのように機能しているか、今後の課題にはどのようなものがあるか、看護職としてどのように政策に関われば良いのかについて理解する。				
授業の位置づけ	国内外の社会の動向およびそれに基づくニーズを理解し、それらの動向に対応する医療・看護政策について知ることにより、社会の変化に応じた看護のあり方を広く考える視点を身につけ、国や地域レベルでの問題解決の方法について理解することをめざす。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP3-I、OD4-I				
到達目標	1) 看護政策とは何かを理解し、学ぶことの重要性を理解できる。 2) 我が国において現在重要な看護政策について理解できる。 3) 変動する社会ニーズと医療・看護政策の関連について理解できる。 4) 看護政策の現状と課題について自分の意見を述べるができる。				
先修要件	なし				
関連科目	看護管理学、法と生活、現代社会と経済、医療の歴史、世界の医療・福祉制度				
学修上の注意	講義では積極的に質問するなど、主体的に参加すること。日頃からニュースなどを通じて、自分の関心のある医療・看護の問題はどんなものか考えておくこと。				
成績評価の方法					
評価方法	授業内での発表(30%)、授業への参加状況(20%)、レポート(50%)				
評価基準	1) 看護政策を学ぶことの重要性について説明できる。 2) 我が国において現在重要な看護政策についてその背景や意義を説明できる。 3) 変動する社会ニーズと医療・看護政策の関連について説明できる。 4) 自分の関心のある医療・看護上の政策を取り上げ、その現状と課題について自分の意見を述べられる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
発表内容については授業内でフィードバックする。 レポートは授業の全体予定終了後、返却時にコメントをする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
日本看護協会編「日本看護協会の政策提言活動」日本看護協会出版会、2010 見藤隆子・石田昌宏・大串正樹・北浦暁子・伊勢田暁子「看護職者のための政策過程入門」日本看護協会出版会、2007					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと） 大西 mami-o@juntendo.ac.jp				
備考	授業のつど資料配布 外部講師の都合により、講義日程は変更になる可能性もあるので、連絡に注意する。				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法*	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	窪田	1. 政策とは 2. 医療・看護と政策のつながり 3. 看護政策にはどんなものがあるか 4. 関心ある医療・看護上の問題を考えてみよう	講義	[予習] ニュースなどを調べ（キーワードを参考に）、関心ある医療・看護の問題を考えておく。（学習時間2時間） [復習] ディスカッションした内容も含めて、自分の関心のある看護政策の課題について再度考え、整理する。（学習時間2時間） [キーワード] 医療法、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律、看護の将来ビジョン	

2	窪田	自分の関心ある医療・看護政策の現状と課題についての発表	講義 ディスカッション	<p>[予習] ニュースなどを調べ（キーワードを参考に）、関心ある医療・看護の問題を考えておく。（学習時間2時間）</p> <p>[復習] ディスカッションした内容も含めて、自分の関心のある看護政策の課題について再度考え、整理する。（学習時間2時間）</p> <p>[キーワード] 医療法、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律、看護の将来ビジョン</p>
3	伊勢田	1. 看護政策の決定過程 2. 看護政策実現の例	講義 ディスカッション	<p>[予習] 自分の関心ある医療・看護の問題について、問題点や疑問点を明確にしておく。（学習時間2時間）</p> <p>[復習] 看護政策立案における看護職の役割について整理しておく。（学習時間2時間）</p> <p>[キーワード] ロビー活動、パブリックコメント</p>
4	伊勢田	3. ロビー活動とは 4. 政策立案における看護職の役割	講義	<p>[予習] 自分の関心ある医療・看護の問題について、問題点や疑問点を明確にしておく。（学習時間2時間）</p> <p>[復習] 看護政策立案における看護職の役割について整理しておく。（学習時間2時間）</p> <p>[キーワード] ロビー活動、パブリックコメント</p>
5	橋本	看護政策立案における日本看護協会の役割	講義	<p>[予習] 日本看護協会の役割についてホームページや書籍で調べ、看護職個人とどのような関係にあるか、自分なりに整理しておく。（学習時間2時間）</p> <p>[復習] 日本看護協会の役割と現在の重点政策について整理しておく。（学習時間2時間）</p> <p>[キーワード] 日本看護協会、労働環境、人材確保</p>
6	橋本	看護政策立案における日本看護協会の役割	講義 ディスカッション	<p>[予習] 日本看護協会の役割についてホームページや書籍で調べ、看護職個人とどのような関係にあるか、自分なりに整理しておく。（学2時間2時間）</p> <p>[復習] 日本看護協会の役割と現在の重点政策について整理しておく。（学習時間2時間）</p> <p>[キーワード] 日本看護協会、労働環境、人材確保</p>
7	石田	1. 政策の決定過程 2. 政策決定における国会議員の活動の実際 3. 保健医療政策の今後	講義 ディスカッション	<p>[予習] 国会議員の役割について調べ、疑問点を明確にしておく。（学習時間2時間）</p> <p>[復習] 授業を踏まえ、自分自身の考え方や社会問題を見る視点がどのように変化したか、整理しておく。（学習時間2時間）</p> <p>[キーワード] 国会、国会議員、保健医療福祉政策</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	地域包括ケアシステム論	必修・選択	必修
英語科目名	Community-based Integrated Care Systems	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	原田 静香	ナンバリング	PNL41A1
担当教員	原田静香※、伊藤龍子※、大月恵理子※、種市ひろみ※、湯浅美千代※、長瀬雅子※、倉田慶子※、松浦彩美※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	<p>地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援等が一体的に提供される仕組みのことを指し、我が国における介護や医療を取り巻く健康問題を解決していくために必要な施策として推進されています。そこで本科目においては、以下について学び、システムの重要性・必要性について各自が深く考えることを目指しています。</p> <p>1) 地域において疾病や障害を抱えながら暮らす対象者を支援する看護専門職として、健康問題を解決するための仕組みの創造を目指した、地域包括ケアシステムの目的と意義について理解する。</p> <p>2) 地域包括ケアシステムの構築を通して、保健医療福祉の各分野における看護職の役割と連携について学ぶ。</p>			
授業の位置づけ	本科目は医療看護の統合と発展に位置づけられており、DP3に明示されている「関連分野の人々と協働し、看護職者の役割を果たしていく」ために既存の知識をつなぎ、保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力を養うことを目的に学びます。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。</p> <p>◎DP3-I：保健医療福祉における他職種と協働・連携する能力</p> <p>○DP2-I：医学及び関連領域の知識を看護に活用できる能力</p> <p>○DP2-II：エビデンスに基づいた看護を適切に実践する能力</p> <p>○DP2-III：健康レベルに応じた看護を展開する能力</p>			
到達目標	<p>1) 地域特性に応じた地域包括ケアシステム概念について理解する。</p> <p>2) 地域包括ケアシステムにおける看護の対象である、高齢者、子育て中の親子、難病患者、重症心身障害児者、精神障害者等、健康問題を持ちながら地域で生活している者への対象理解を深め、看護専門職として支援を行うための、看護職の機能や専門性について分かる。</p> <p>3) 地域包括ケアシステムの構築に関わる概念や理論をもとにしながら、実践事例等を通し政策や関係機関との連携について理解する。</p>			
先修要件	特になし			
関連科目	公衆衛生看護学概論、小児看護学概論、母性看護学概論、成人看護学概論、高齢者看護学概論、精神看護学概論、在宅看護学概論			
学修上の注意	・本科目では、医療・看護の知識の他、医療制度、様々な保健対策、社会資源等の知識をつないで考える必要があるため、事前の準備として既習の学習を振り返っておくこと。			
成績評価の方法				
評価方法	各講義後の課題（50％）、終了時課題レポート（50％）			
評価基準	健康問題を抱えた人々が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることが出来るために必要なシステムを考え、説明することが出来るか。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題へのフィードバックは、次回の講義時に講評またはJuntendo-Passportにてフィードバックを行う予定です。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
厚生指標増刊 国民衛生の動向 最新刊	一般財団法人 厚生労働統計協会	同	9784875118305	
参考文献				
<p>・荒神裕之他著：看護の現場ですぐに役立つ 地域包括ケアのキホン、秀和システム、2018。</p> <p>・高橋紘士編：地域包括ケアシステム、オーム社、2012。</p> <p>・秋山正子：つながる・ささえる・つくりだす 在宅現場の地域包括ケア、医学書院、2016。</p> <p>・田中滋監修：新版 地域包括ケアサクセスガイド、mcメディア出版、2020。</p> <p>・筒井孝子：地域包括ケアシステムの深化、中央法規、2019。</p> <p>その他、必要時紹介する。</p>				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時可能。不在のことがあるので事前にメールで連絡のこと。（sharada@juntendo.ac.jp）			
備考	講義進行に合わせて適宜、レデュメを配布する			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1・2	原田静香	1. 地域包括ケアシステムを必要とする健康問題・地域包括ケアシステムの目的と意義 2. 地域包括ケアシステムに関わる既存の概念・理論の概観	講義、一部演習を行う。	【予習】 使用テキスト（国民衛生の動向第4編 医療提供体制と医療保険）を予め読んでおくこと。（学習時間20分） 【復習】 地域包括ケアシステム構築に必要な要素が説明できるようにしておくこと。（学習時間20分）
3・4	大月恵理子 伊藤龍子 倉田慶子 原田静香	3. 地域社会で次世代を育てていくためのケアシステム ・妊娠から出産・育児に至る切れ目のない子育て支援を目指したケアシステム等 ・障害や疾病等の健康問題を持ちながら地域で生活している子育て中の親子を支援するケアシステム ・重症心身障害児に対応した支援を通し、医療的ケアを必要とする小児在宅医療を推進するケアシステム等	講義	【予習】 使用テキスト（国民衛生の動向 第3編 第2章保健対策「1. 母子保健」「3. 障害児・者施策」「小児慢性特定疾病対策」）を予め読んでおくこと。（学習時間20分） 【復習】 講義を振り返って、学んだ点・気が付いた点を振り返り、指定された箇所に回答すること。詳細は講義内で説明します。（学習時間30分）
5・6	長瀬雅子 松浦彩美 湯浅美千代 原田静香	4. 疾患や障害を患いながら地域で暮らす人々の視点にたったケアシステム ・慢性疾患や難病を患いながら地域で暮らす人々を支援するケアシステム等 ・精神疾患を患いながら地域で暮らす人々を支援するケアシステム等 ・認知症者と介護家族への支援に対応したケアシステム等	講義	【予習】 使用テキストを（国民衛生の動向 第3編 第2章保健対策「4. 精神保健」「2. 老人保健」、第4章疾患対策「1. がん対策」「2. 難病対策」）を予め読んでおくこと。（学習時間20分） 【復習】 講義を振り返って、学んだ点・気が付いた点を振り返り、指定された箇所に回答すること。詳細は講義内で説明します。（学習時間30分）
7	種市ひろみ 原田静香	5. 住み慣れた街で最期までQOLの高い生活を送るためのケアシステムの構築 ・多世代交流を促進するケアシステム等 6. 個人ワーク・最終レポート課題の説明 7. まとめ	講義・演習	【予習】 使用テキスト（国民衛生の動向 第3編 第2章保健対策「2. 老人保健」、第5編介護保険）を予め読んでおくこと。（学習時間20分） 授業内の個人ワークに取り組めるよう、1回目から6回目までの講義内容を振り返っておくこと。（学習時間20分） 【復習】 講義を振り返って、学んだ点・気が付いた点を振り返り、指定された箇所に回答すること。詳細は講義内で説明します。（学習時間30分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	家族看護論	必修・選択	選択
英語科目名	Family Nursing	対象学年	2年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	杉山 智子	ナンバリング	CNL46A1
担当教員	大月 恵理子※、田中 朋子※、杉山 智子※、北村 幸恵※、重田ちさと※、菅原 淳※ ※・・・実務家担当教員	授業形態	講義

※・・・実務家担当教員

授業概要					
全体内容	家族看護におけるアセスメント及び援助方法について学ぶ。その上で、家族及び家族の発達、家族看護における看護の役割を理解し、家族看護を実践するための援助方法を理解する。				
授業の位置づけ	他の看護分野や関連領域の知識をふまえ、家族に必要な看護を展開するための知識・技術を学び、看護実践へ活かす。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	△DP1-IV、ODP2-1、◎DP2-II、ODP2-III、ODP3-I				
到達目標	1. 家族看護の定義と目標および家族看護学の主要な理論について説明することができる。 2. 家族看護におけるアセスメントや援助方法について述べるができる。 3. さまざまな健康問題をもつ家族の看護について述べるができる。				
先修要件	なし				
関連科目	「看護の理論と方法」に属する科目全般				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は予習ならびに復習をし、積極的に臨む。 ・授業内容は、各看護分野の概論ならびに方法論に関連する科目、既習の知識と関連ならびに活用しながら統合し、学修を進める。 ・問いに対して活発に意見交換すること ・配付資料の重要部分にマーカーを引き、キーワードを覚え、自分の言葉で説明できるようにする。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（85％）と授業への理解度・学習状況（小テスト・課題レポート）（15％）を総合して評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・家族看護の定義と目標および家族看護学の主要な理論について説明することができるか。 ・家族看護におけるアセスメントや援助方法について説明することができるか。 ・さまざまな健康問題をもつ家族の看護について説明することができるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
小テストは提出後に解答・解説を課題管理に掲載する。レポートは、最終回の講義時にコメントとともにフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし					
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木和子、渡辺裕子、佐藤律子著：家族看護学 理論と実践 第5版、日本看護協会出版会、2019 ・系統看護学講座 別巻 家族看護学、医学書院、2018 ・小林奈美、グループで学ぶ家族看護論第2版、カルガリー式家族看護モデル実践へのファーストステップ、医歯薬出版、2011 ・野嶋佐由美、渡辺裕子編著：家族看護選書 第1-5巻、日本看護協会出版会、2012 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時 事前にメールにて連絡を入れる（杉山：tsugiya@）				
備考	各授業で資料配付ならびに担当教員より参考文献を提示する。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	杉山智子	家族看護の定義・変遷・主要な理論 [キーワード] 家族形態、家族構造、家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論	講義	予習：家族の形態、機能に関連するニュースを見ておく。(学習時間:70分) 復習：家族とは何か、理論について自分なりの言葉で説明できることできる。(学習時間:70分)
2	杉山智子	家族アセスメントと援助方法 [キーワード] ジェノグラム、エコマップ、家族アセスメントモデル	講義	予習：(学習時間:70分) ①前回の講義から家族アセスメントとは何かを復習し自分の言葉で説明できるようにする。 ②家族看護とは何かを復習し自分の言葉で説明できるようにする。 復習：(学習時間:70分) ①家族看護におけるアセスメントのポイントをまとめる。 ②家族の看護過程のポイントについて説明できる。
3	大月恵理子	3) 家族看護の実際 1) 母性における家族看護 [キーワード] 周産期看護、女性の健康、多職種連携、家族システム、DV	講義	予習：周産期における家族の問題、女性の健康問題に家族がどのように影響を与えるのかを、母性看護学概論等で学んだ内容を復習し、考える。(学習時間:70分) 復習：母性における家族看護のポイントを説明できるようにまとめる。(学習時間:70分)
4	菅原淳	2) 小児における家族看護 [キーワード] きょうだい、親役割、虐待、意思決定、インフォームド・コンセント	講義	予習：小児看護学概論で学んだ子どもの特徴や家族に関連する内容を復習しておく。(学習時間:70分) 復習：小児における家族看護の援助について説明できる。(学習時間:70分)
5	重田ちさと	3) 精神における家族看護 [キーワード] 家族療法、家族心理教育、オープンダイアログ	講義	予習：ナーシンググラフィカ 精神看護学 ①「家族への支援」と「統合失調症患者の看護の実際」の家族への関わりを読んでおく。(学習時間:70分) 復習：精神疾患を持つ当事者の家族の現状と課題を理解し求められる支援についてまとめておく。(学習時間:70分)
6	杉山智子	4) 高齢者における家族看護 [キーワード] 介護家族、意思決定支援、介護負担感	講義	予習：老年看護学(医学書院)のテキスト第9章C介護家族への看護の部分を読み、まとめておく。(学習時間:70分) 復習：講義で使用した資料を読み返し、整理する。(学習時間:70分)
7	田中朋子 北村幸恵	5) 成人(急性期・慢性期)における家族看護 [キーワード] 救急医療・集中治療の場での家族看護、代理意思決定支援、慢性期疾患、患者家族の対応能力	講義	予習：(学習時間:70分) ①成人看護学概論(南江堂)のテキスト第II章1家族をめぐる状況、第IV章4統合を支援するのAを読んでおく。 ②慢性期看護(南江堂)のテキスト第II章4慢性疾患を有する人を支える家族の特徴を読んでおく。 復習：講義(慢性期)で使用した資料を読み返す。(学習時間:70分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	感染看護	必修・選択	選択
英語科目名	Nursing for Infectious Disease	対象学年	3年
開講学期	前期後半	単位数	1単位
代表教員	川上 和美	ナンバリング	PNL41A2
担当教員	川上 和美※、堀 賢※、横山 久美※、王 迪※、原 光寛※、岩淵 和久※、中山 仁志※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	あらゆる場と対象への看護実践の基盤となる感染看護について、チーム医療の一員として多職種と連携し実践できるための知識と技術を学修する。 感染症をめぐる諸外国および日本の動向と課題を理解したうえで、集団を対象とした感染制御システム、個人を対象とした感染看護および患者をとりまく倫理的課題、地域との連携・協働の実際を学ぶ。				
授業の位置づけ	医療機関（病院）、外来、福祉施設、在宅などのさまざまな場において発生する感染症の予防を目指し、人間の健康を支援するための関連科目、すべての看護分野の知識を基盤とし、小児から高齢者までのあらゆる発達段階の人を対象に必要な感染看護を展開するための知識・技術を学び、分野別実習、統合実習で活用するための科目と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-II、ODP2-I、ODP2-III				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症の歴史の変遷と感染症をめぐる国内外の課題、感染症対策の制度について説明できる。 2. 医療機関の多職種連携による感染制御システムと看護職の役割について説明できる。 3. 感染症患者および易感染患者への感染看護と感染予防策について説明できる。 4. 感染看護における倫理的課題と問題解決の方法を説明できる。 				
先修要件	なし				
関連科目	形態機能学Ⅰ、微生物学、薬理学、臨床検査学、生化学、病理学、臨床医学ⅠA・ⅠB、臨床医学ⅡA・ⅡB、保健医療福祉行政論、基礎看護方法論Ⅱ・Ⅲ、地域生涯保健活動論				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・コースガイドに基づいて進める。 ・コースガイドには、予習・復習課題の提出期日を提示しているので、計画的に取り組むこと。 ・予習課題に基づいて授業を進め、復習課題により学習内容を定着させる。授業内で提示する課題も含め、必ず取り組むこと。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（80%）、課題レポート（20%）により評価する。				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近年の感染症の動向と課題、感染症対策の制度について説明できるか。 2. 感染症対策を推進するための医療機関の感染制御システムと関連職種の役割、活動内容を説明できるか。 3. 感染看護の対象者の特徴とアセスメントの視点、ケア方法を説明できるか。 4. 感染看護の実践上で生じる倫理的課題と解決に向けた看護師のかかわりを説明できるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題レポートは授業内で解説を行いフィードバックする。 グループワークの発表に対しては、授業内でコメントをフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	看護学テキストNiCE 感染看護学	操華子、川上和美	南江堂	978-4-524-22978-9	
参考文献					
毎回配布される講義資料を活用する。 参考文献 <ol style="list-style-type: none"> 1. 坂本史衣（2019）. 基礎からわかる医療関連感染対策 - 標準予防策からサーベイランスまで 改訂第3版. 南江堂 2. 堀賢（2015）. 感染対策実践マニュアル 考え方と運営のポイント 第3版. じほう 3. 大曲貴夫、操華子 編（2015）. 感染管理・感染症看護テキスト. 照林社 4. 満田年宏訳.（2007）. 隔離予防策のためのCDCガイドライン. ヴァンメディカル 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	質問、相談等は随時メールで受け付ける。 科目責任者：kzkawaka@				
備考	なし				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	川上 和美	感染看護概論 1) 感染看護を学ぶ意義 2) 感染看護の歴史と世界的動向 3) 感染看護と関係法規 4) 感染症をめぐる現状と課題 5) 感染予防における看護職の役割 <キーワード> ナイチンゲール、感染症法、予防接種法、検疫法、感染症看護専門看護師、感染管理認定看護師	講義	予習：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）について調べる。（学習時間：2時間） 復習：授業資料を読み、感染看護における看護職の役割について整理する。（学習時間：2時間）
2	川上 和美 原 光寛	感染管理看護師の役割と活動 1) 感染制御における感染管理看護師の役割 2) 病院内での手指衛生の推進と評価の実際 3) 職員を対象とした教育活動 <キーワード> エビデンス、感染予防ガイドライン、医療関連感染サーベイランス、手指衛生、職員教育、リンクナース	講義	予習：感染症看護専門看護師、感染管理認定看護師について調べる。（学習時間：2時間） 復習：授業資料を読み、学んだことを整理する。手指衛生遵守向上のために自身ができることを考えてまとめる。（学習時間：2時間）
3	川上 和美 横山 久美 王 迪 原 光寛	感染症患者および易感染患者に対する看護 1) 対象の特徴とアセスメント 2) 感染症患者に対する看護 3) 易感染患者に対する看護 <キーワード> 感染リスクアセスメント、免疫不全、薬剤耐性菌、セルフケア、患者教育	講義 演習	予習：事例を読み、感染症患者および易感染患者に対する感染予防策と看護をまとめる。（学習時間：2時間） 復習：授業資料を活用し、感染症患者および易感染患者に対する看護を整理する。（学習時間：2時間）
4	堀 賢	医療機関における感染制御活動 1) 世界における新興・再興感染症の発生動向とその対応 2) 感染制御とは何か 3) 医療機関における感染制御システム 4) 多職種医療チームによる感染制御活動の実際 <キーワード> 新興・再興感染症、感染制御システム、感染対策チーム（ICT）、感染対策室、感染制御医師（ICD）、アウトブレイク	講義	予習：感染対策委員会、感染対策チームについて調べる。（学習時間：2時間） 復習：配布資料を読み、授業で学んだことを整理する。授業の学びを指定されたフォームへ記述する。（学習時間：2時間）
5	川上 和美 横山 久美 王 迪 原 光寛	感染看護における倫理的課題とその対応 1) 感染看護の実践上で生じる倫理的課題 2) 感染看護における倫理的課題への対応の実際 <キーワード> 感染症法、隔離、偏見、差別、医療資源の配分、個人情報保護	講義 演習	予習：事前に提示される事例を読み、感染症患者に対する感染対策と看護実践上の倫理的課題を考える。（学習時間：2時間） 復習：授業内で検討した事例への対応方法について自身の考えをまとめる。（学習時間：2時間）
6-7	横山 久美 川上 和美 王 迪 原 光寛 中山 仁志 岩淵 和久	さまざまな臨床場面における感染予防策と看護 1) 臨床場面の状況のアセスメント 2) 臨床場面に応じた感染予防策と看護の立案 3) 状況のアセスメントをふまえた臨床場面ごとの感染予防策と看護の発表 <キーワード> 標準予防策、感染経路別予防策、手指衛生、個人防護具、環境清掃	演習	予習：標準予防策と感染経路別予防策について復習する。（学習時間：2時間） 復習：授業資料を読み、提示された場面における感染予防策と看護について整理する。（学習時間：2時間）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	エンド・オブ・ライフケア論	必修・選択	選択
英語科目名	End of Life Care	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	樋野 恵子	ナンバリング	PNL41A4
担当教員	樋野 恵子※、長瀬 雅子※、高谷 真由美※、奥出 有香子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	生きる意味といかに死を迎えるか、またいかに看取るかについて考え、人生の最終段階における看護の役割について理解する。エンド・オブ・ライフに特徴的な心身の状態を理解し、症状をコントロールしたり緩和したりするための具体的な方法について学ぶ。また、家族等が抱える苦悩や、エンド・オブ・ライフに特徴的な倫理的課題と医療職者としての役割について学ぶ。				
授業の位置づけ	エンド・オブ・ライフにある人とその家族等に対して必要とされる看護に関わる知識・技術を統合的に理解することで、質の高い看護を提供する実践能力を養う。関連授業科目および看護学実習等における既習の知識や技術、経験を生かしながら、自己の考えを深める。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1-Ⅲ、ODP2-Ⅰ、ODP2-Ⅱ、◎DP2-Ⅲ、△DP3-Ⅰ、△DP4-Ⅰ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間のライフサイクルにおける死の意味について理解し、エンド・オブ・ライフの場における看護の役割について説明できる。 2. エンド・オブ・ライフにある患者とその家族等の状況や特徴について理解し、人間としての尊厳を保ちながら、死を迎えるための看護を説明できる。 3. エンド・オブ・ライフにみられる症状と症状コントロール、緩和ケアの具体的方法について説明できる。 4. 遺族に対するケアの必要性を理解し、遺族への支援における看護の役割を説明できる。 5. エンド・オブ・ライフにおいてどのような倫理的課題があるのかを理解し、支援の方法について説明できる。 6. 学習のプロセスを通して、自己の死生観について考えることができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	成人看護方法論ⅡⅢⅣ、高齢者看護方法論ⅠⅡ、在宅看護方法論ⅠⅡ、小児看護方法論ⅠⅡ、精神看護方法論ⅠⅡ、看護倫理				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義・演習の前には、必ず関連する既習科目を復習する。 2. 課題に対し、積極的に資料や文献を活用する。 3. 自らの疑問や課題を持ちながら思考を深め、積極的な姿勢で授業に参加する。 				
成績評価の方法					
評価方法	定期試験（60％）、グループワーク・プレゼンテーション（30％）、授業内レポート（10％）				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の生と死について考え、現時点での生きる意味や死の在り方について、自身の考えを述べるができる。 2. 他者の死生観や死生観など価値観の多様性を理解し、エンド・オブ・ライフにおける看護の役割について説明できる。 3. エンド・オブ・ライフにある患者を支えるために必要な緩和ケアの具体的な方法について説明できる。 4. エンド・オブ・ライフに特徴的な倫理的課題と医療職者としての役割について、自身の考えを述べるができる。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題・レポート、グループワーク・プレゼンテーションについては、授業内でフィードバックする。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
<p>小笠原知枝編著『エンドオブライフケア看護学 知識と実践』、ヌーヴェルヒロカワ、2018。 梅田恵・射場典子編『看護学テキストNICE 緩和ケア』第2版、南江堂、2018。 Jane Nicol, Brian Nyatanga "Palliative and End of Life Care in Nursing" 2nd ed., SAGE, 2017. Keri Thomas, Ben Lobo, Karen Detering "Advance Care Planning in End of Life Care" 2nd ed., OXFORD, 2018 . Friedman, M., Bowden, V. & Jones, E., "Family Nursing ? Research, theory, and practice." 5th ed., Prentice Hall, 2003. Veatch, R.M., "The Basics of Bioethics" 2nd ed., Pearson education, 2003. (=品川哲彦監訳『生命倫理学の基礎』メディカ出版, 2004.) Kim K. Kuebler, Patricia H. Berry, Debra E. Heidrich "END-OF-LIFE CARE Clinical Practice Guidelines" W. B. Saunders Company, 2002. (=エンドオブライフ・ケア 終末期の臨床指針, 医学書院, 2004.) シシリー・ソンドース『ターミナルケア 死にゆく人に寄り添うということ』北大路書房, 2017。 長江弘子編『看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア』日本看護協会出版会, 2014。 宮下洋一『安楽死を遂げるまで』, 小学館, 2017。 宮下洋一『安楽死を遂げた日本人』, 小学館, 2019。 清水哲郎・島園進編『ケア従事者のための死生学』ヌーヴェルヒロカワ, 2010。 アトゥール・ガワンデ『死すべき定め』みすず書房, 2016。 井上俊・上野千鶴子他編『病と医療の社会学』岩波書店, 1996。</p>					
その他					
連絡先・オフィスアワー	樋野 恵子 随時（事前にメールで連絡のこと k-hino@）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	樋野 恵子	ライフサイクルにおける死の概念の発達および死の意味、終末期医療の歴史の変遷と現状	講義	予習：ライフサイクルについて復習する。生きること、死ぬこととはどういうことかを考える。(学習時間：2時間) 復習：社会文化的背景や個人的要因を振り返り、自己の死生観について考える。(学習時間：2時間)
2	樋野 恵子	人生の最終段階に向き合うということ：死にゆく人と周囲の人々の思い	講義	予習：死の受容過程と危機理論について整理する。家族等へのアセスメントについて調べる。(学習時間：2時間) 復習：進行性難病にある人がどのような思いを抱き、人生を選択しようとするのか、家族等の思いを整理し、最善の死とは何かを考える。(学習時間：2時間)
3	高谷 真由美	エンド・オブ・ライフにある患者に対する代替・補完療法による症状緩和：アロマセラピーを中心に	講義	予習：アロマセラピーについて調べ整理する。(学習時間：2時間) 復習：代替・補完療法の種類とエンド・オブ・ライフにある患者に使用する際の注意事項について説明する。(学習時間：2時間)
4	長瀬 雅子	死をめぐる倫理的課題とその対応	講義	予習：脳死と脳死臓器移植について調べる。(学習時間：2時間) 復習：終末期医療における倫理的課題と対処について整理する。自己の死生観について熟考する。(学習時間：2時間)
5	奥出 有香子	死にゆく人々の日常生活を調整し、支えるケアシステム：療養環境調整と退院調整	講義	予習：成人看護方法論Ⅳ(がん看護)で学習した内容を復習する。(学習時間：2時間) 復習：エンド・オブ・ライフにある患者が在宅へ移行する際の課題と看護師の役割、がん終末期患者の退院支援において重要なことを整理する。(学習時間：2時間)
6	樋野 恵子	エンド・オブ・ライフにある患者の看護に必要なスキル① エンド・オブ・ライフにある患者に生じやすい症状と具体的な看護ケアに関するグループ学習	グループワーク	予習：エンド・オブ・ライフにある患者に特徴的な症状について調べる。(学習時間：2時間) 復習：関心をもった症状とケアについて、そのメカニズムとエビデンス、実施時期、具体的方法などについてまとめる。(学習時間：2時間)
7	樋野 恵子	エンド・オブ・ライフにある患者の看護に必要なスキル② エンド・オブ・ライフにある患者に生じやすい症状と具体的な看護ケアに関するグループ学習成果発表、知識の共有	プレゼンテーション、ディスカッション	予習：グループで調べた結果をプレゼンテーション資料にまとめる。(学習時間：2時間) 復習：ディスカッションを通して学んだことを、臨床で実践・活用できるよう整理する。(学習時間：2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	救急看護	必修・選択	選択
英語科目名	Emergency and Critical Care Nursing	対象学年	4年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	田中 朋子	ナンバリング	ANL41A1
担当教員	田中 朋子、池田 恵、阿久澤 優佳、佐野 裕子、松田 繁	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	<p>急病や事故、災害などにより健康状態が急激に変化した人々や家族の特徴を踏まえた看護を実践するために必要な基礎知識と科学的根拠に基づいた看護実践について学ぶ。</p> <p>健康状態が急激に悪化した人々を救う救急医療の一部に位置づけられる救急看護では、緊急度・重症度を基軸に急性の状態にある患者の病態を適切に評価し、処置や治療に迅速に対応するために必要な援助の在り方を理解し、患者や家族の心理的危機状態に対応し、治療優先になりがちな状況下で患者や家族の自立性を最大限に尊重するための看護実践について考える。</p> <p>また、救急患者における主要病態、救急搬送事例を用いた学習を通して、診断がついていない状態から緊急的な処置や検査が行われる中で診断され、治療、救急外来から救急病棟入室等とつながる一連の流れを理解し、危機的状況にある患者や家族の特徴をふまえて対応する医療者としてのあるべき態度と患者の個別性を反映させた救急看護を実践していくための基礎知識とアセスメント能力を習得する。</p>			
授業の位置づけ	<p>健康状態が急激に悪化した人々の疾患は多岐にわたる。既習の臨床医学の知識は救急看護を学ぶ上で前提となる。大切な人の命を救う救急医療の一部に位置づけられる救急看護では、緊急度・重症度を基軸に危機的状況にある患者の病態を既に修得したフィジカルアセスメントの基礎知識と基礎看護方法論Ⅲで修得した技術を用い、的確にアセスメントできる能力が求められる。生命の危機的状況にある救急患者にケアや処置、治療を迅速に提供するためには、基本的な基礎看護技術や成人看護方法論で学んだ原理原則に則した看護技術の励行が不可欠となる。様々な発達段階にある患者や家族の心理的危機状態に対応し、治療優先になりがちな状況下で患者や家族の自律性を最大限に尊重するためには、小児看護方法論、成人看護学概論、成人看護方法論、高齢者看護方法論、精神看護方法論の知識の修得が基盤となる。</p>			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	<p>【該当するコンピテンシー】</p> <p>本科目を学習することで、以下の能力の基礎が身につきます。</p> <p>△DP1-Ⅲ、○DP2-Ⅰ、○DP2-Ⅱ、◎DP2-Ⅲ、○DP3-Ⅰ</p>			
到達目標	<p>(1)救命救急時や災害時の救急医療の実際を知る。</p> <p>(2)救急医療に関連する看護の専門分野の特徴と多職種との連携の在り方について説明することができる。</p> <p>(3)救急外来や救急病棟における患者家族の特徴と医療看護活動について、説明することができる。</p> <p>(4)急変時や救急時の事例を検討し、対象者の状態に応じた看護実践の方法を判断して実施、評価することができる。</p>			
先修要件	なし			
関連科目	臨床医学、フィジカルアセスメント、基礎看護方法論Ⅲ、成人看護学概論、成人看護方法論、小児看護方法論、高齢者看護方法論、精神看護方法論			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の一次救命処置（BLS）の基本的方法を復習し授業に臨むこと。 ・授業には予習をし主体的に臨むこと。 ・提示した復習内容を必ず実施すること。 ・演習やグループワークでは、グループメンバーと主体的に意見交換をおこなうこと。 			
成績評価の方法				
評価方法	筆記試験（60%）、演習発表（20%）、授業内レポート（10%）により評価する。			
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療に関連する看護の専門分野の特徴と多職種との連携の在り方について説明することができるか ・基本的看護の方法をおさえ、対象者に合った看護を学生同士で考察、実践することができるか ・対象者の個別性に応じた具体的な看護方法を提案することができるか 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
課題レポート、グループワーク、プレゼンテーションについては、授業内でフィードバックする。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
成人看護学急性期看護Ⅱ救急看護・クリティカルケア	佐藤まゆみ	南江堂	978-4-524-24164-4	
参考文献				
適宜紹介				
その他				
連絡先・オフィスアワー	田中 朋子 随時（事前にメールで連絡の事 tmtanaka@）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 4 月7日	田中	授業ガイダンス ・救急医療の現状 ・歴史と動向 ・救急医療体制 ・プレホスピタルケア ・救急医療と関連法令 ・救急医療と倫理 ・救急看護とは ・緊急度と重症度の判断 ・家族看護 ・意思決定支援 [キーワード] 救急医療体制、プレホスピタルケア、多職種連携、蘇生法（ガイドライン）、救急看護、危機モデル、重症度、緊急度、トリアージ、JCS（ジャパンコーマスケール）、GCS（グラスゴーコーマスケール）、ECS（エマージェンシーコーマスケール）、生命維持機能モニタリング	講義	[予習] ・救命救急看護における自己の課題について考えてくること。 ・キーワードについて、緊急度と重症度の判断について事前学習を行うこと。（学習時間：2時間） [復習] ・授業資料になる授業計画を確認し、授業全体のイメージをつかむ ・救急看護の対象である患者の身体的特徴、心理的特徴について整理する。（学習時間：2時間）
2 4 月7日	田中 阿久澤	救命救急処置 ・一次救命処置：BLS ・心肺蘇生 ・その他の救急処置 [キーワード] BLS（一時救命処置）、胸骨圧迫、電氣的除細動、酸塩基平衡、救急カート	講義	[予習] 配布資料を基に一次救命処置のCABDを復習しておく。（学習時間：2時間） [復習] 一次救命処置のCABDについて説明できるよう振り返る。（学習時間：2時間）
3 4月 14日	池田	事例で考える救急看護、救命救急処置 [キーワード] 病歴聴取（SAMPLE+OPQRST）、適切な報告：SBAR、胸痛、急性心筋梗塞、大動脈内バルーンパンピング（IABP）、経皮的心肺補助法（PCPS）、ACLS（二次救命処置）、ICU-AW、PICS	講義	[予習] キーワードについて事前学習を行うこと。（学習時間：2時間） [復習] 授業内容を振り返り、整理する。（学習時間：2時間）
4 4 月14日	田中 池田 阿久澤	事例検討（グループワーク） 提示した救急患者の事例について、診断、検査、処置、看護、連携まで一連の流れを考慮し、患者の個性を反映させながら基礎知識を基にアセスメントした内容と援助方法について、自己の記述内容を基にグループワークで検討し、パワーポイント発表と実演発表の準備をおこなう グループワーク	グループワーク	[予習] 事前に配布した事例課題の個人ワークを終わらせておく。また、グループ討議に必要な参考資料を準備する。（学習時間：2時間） [復習] グループで検討した内容と、自己の事前課題内容を比較検討し良い点や改善点について明らかにする。また、6回目の授業で発表できるよう役割分担をし、発表資料の準備を行う。（学習時間：2時間）
5 4 月21日	佐野	急性期のリハビリテーション [キーワード] 早期離床、呼吸理学療法、ICU-AW、PICS 講義	講義	[予習] COPD急性増悪について復習する。（学習時間：2時間） [復習] 授業内容を振り返り看護師として急性期リハビリテーションについて整理する。（学習時間：2時間）
6 4月 21日	田中 池田 阿久澤	事例発表会	プレゼンテーション	[予習] 発表ができるように役割分担等、必要な準備をしておく。（学習時間：2時間） [復習] 発表から事例課題の内容で不足していた部分等について振り返る。また、授業を通して救急看護における事故の課題について考える。（学習時間：2時間）
7 4 月25日	松田	救急医療と救急患者の特徴 [キーワード] 緊急度と重症度 一次評価と二次評価、救急看護、災害医療、DMAT（災害派遣医療チーム）、敗血症、多臓器機能障害症候群（MODS）、多臓器不全（MOF）	講義	[予習] キーワードについて予習し、救急看護の役割について考えてくる。（学習時間：2時間） [復習] 授業内容をもとに、救急医療の実際における救急看護の役割について考える。（学習時間：2時間）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統合実習	必修・選択	必修
英語科目名	Integrated Nursing Practicum	対象学年	4年
開講学期	前期	単位数	2単位
代表教員	湯浅 美千代	ナンバリング	ANL42A2
担当教員	看護学系専任教員※	授業形態	実習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	既習の学習内容を基盤として、学生自身が選択した分野の専門的・応用的実践に取り組むことを通じて、看護実践能力を高める。				
授業の位置づけ	4年間の講義・演習・実習を統合し、選択した分野での実習を通して専門的・応用的な看護実践能力を高める。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP5-I、○DP2-I、○DP2-II、○DP2-III、○DP3-I、△DP1-III、△DP1-IV				
到達目標	1) 選択した分野の専門的・応用的な実践活動を展開できる。 2) 実習成果をレポートにまとめることができる。				
先修要件					
関連科目	既習の学習内容全般				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの看護学および関連領域の講義・演習・実習内容を復習し、看護実践能力を高めるための自身の学習課題を明確にしておくこと。 ・選択した分野ごとに技術の復習、文献検討、事故の課題の明確化、実習計画作成などの事前課題が提示される。担当教員によく確認を取り、十分に準備をして臨むこと。 ・3年の1～3月に分野選択の調整を行う。 				
成績評価の方法					
評価方法	実習内容・実習への取り組み状況（70%）、レポート（30%）を総合して評価する。				
評価基準	1) 実習において、求められた看護実践活動を展開できたか。 2) 実習成果をレポートにまとめることができたか。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>実習中、適宜担当教員からコメントする。 実習記録・レポートは実習終了後に各担当教員からコメントを付けて返却する。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
各担当教員の指定による。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	不明な点などは科目責任者（湯浅）myuasa@または、担当教員にメール連絡してください。				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
	湯浅美千代	実習オリエンテーション（目標、注意事項等の説明）	オリエンテーション	予習： 既存の学習内容を振り返り、実習分野で学びたいことを、看護実践上の自身の課題と関連づけて述べる。 関連する講義・演習・実習の内容を整理しておく。 復習： 各分野の実習内容を参照し、自身の課題にどのように取り組むことができるかを述べる。 （学習時間：各60～90分）
	各担当教員	各分野のオリエンテーション（実習場所、内容等の提示、事前課題等の提示）	オリエンテーション	予習： 実習分野で学びたいことを整理し、担当教員と話し合えるように準備しておく。 各分野で提示された課題に取り組む。 復習： 各分野で提示された課題に取り組む。 担当教員と共に実習計画の立案を進める。 （学習時間：各120分）
	各担当教員	配置された分野で2週間の実習を行う。	実習	予習： 実習分野および関連領域の講義・演習・実習内容を復習する。 各分野で提示された課題に取り組む。 担当教員の指示に従い、実習計画を洗練させる。 復習： 実習記録を整理する。 レポート課題に取り組む。 実習記録やレポートに対するフィードバックを活用して、実習から得られた学びを整理する。 （学習時間：各60～120分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	順天堂の先端医療と看護	必修・選択	選択
英語科目名	Advanced Healthcare&Nursing in Juntendo	対象学年	3～4年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	長瀬 雅子	ナンバリング	ANL44A2
担当教員	長瀬雅子※、植木純※、櫻井順子※、内藤俊夫※、辻村晃※、山路健※、大山彦光※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	診断法の進歩、高度先進医療や先端医療等の新しい知識も含めて、現在の医療を理解する。さらに現在の医療システム、チーム医療（専門職間連携）、看護・医療の継続性について学ぶ。これらの医療の持つ社会的側面や倫理的側面についての考察も深める。			
授業の位置づけ	医療は情報技術、システム工学、ロボット工学などの科学技術の発展とともに、診断法、治療法、医療提供システムなどが目まぐるしく変化しており、保健医療システムにおける専門職の役割や連携のあり方も柔軟に対応する必要がある。教育・研究の中心である大学と特定機能病院としての役割を担う大学病院における先端的な取り組みの一端を知ること、生涯学習の視点を養う。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1-III ODP2-I ODP3-I ◎DP5-I			
到達目標	1) 我が国の医療システムの概要と高度医療を提供する医療機関の役割と機能について説明できる。 2) 順天堂が特定機能病院、高度急性期医療、地域医療支援病院等の役割を担うなかで、大切にしている看護の役割と機能を理解する。 3) 先進医療、高度先端医療等の知識を得るとともに、これらの医療の持つ社会的側面、倫理的側面について考え、意見を述べるができる。また、看護職および各専門職種との役割と多職種連携・協働、また課題について説明できる。			
先修要件	なし			
関連科目	臨床医学Ⅰ・Ⅱ、看護管理学			
学修上の注意	現代の保健医療福祉をとりまく諸問題に関心をもつとともに、高度・先端医療を提供する医療施設及びそこで働く看護職の役割について考えることを期待する。			
成績評価の方法				
評価方法	課題レポート 50% 日々の学習状況；予習課題、質疑への積極的な参加 50%			
評価基準	・高度医療や先端医療などの医療を含めた、現在の医療の仕組みについて述べるができるか。 ・高度医療、先端医療における看護師の役割、ならびにチーム医療や医療の継続性における現状と課題について述べるができるか。 ・現代医療の倫理的課題について述べるができるか。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
フィードバックの方法は、授業内で提示する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
適宜参考文献や資料を提示する。				
その他				
連絡先・オフィスアワー	長瀬雅子 mnagase@juntendo.ac.jp ※質問、コメントはメールで受け付けます。直接話す方が良い場合は、不在にしていることがあるので、先にメールでご連絡ください。			
備考	特になし。講義時に資料を配布する。			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	長瀬雅子	現代の保健医療システムの概要と将来の課題	講義	<p>[予習] 医療法、病院の分類と設置基準について勉強しておくこと。 (学習時間60分)</p> <p>[復習] 授業時間内に指示する。 (学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 医療制度、病院の分類と機能、特定機能病院、先端医療、専門職間連携、医療の継続性、専門職倫理</p>
2	植木純	医療用アプリ(App)の開発と臨床導入の実際	講義	<p>[予習] 医療に取り入れられているICTは何かを調べてくる。 (学習時間60分)</p> <p>[復習] 授業時間内に指示する。 (学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 情報通信技術 (ICT)、セルフマネジメント、アプリケーションソフトウェア(App)</p>
3	辻村晃	ロボット支援手術等について	講義	<p>[予習] ロボット支援手術について予習する。 (学習時間60分)</p> <p>[復習] 授業時間内に指示する。 (学習時間60分)</p> <p>[キーワード] ロボット支援手術</p>
4	山路健	難病患者の継続的な治療と日常生活/職業生活の支援	講義	<p>[予習] 難病をもつ人々への社会保障制度や支援体制について調べておく。 (学習時間60分)</p> <p>[復習] 授業時間内に指示する。 (学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 難病医療ネットワーク、難病対策</p>
5	内藤俊夫	国際化への対応	講義	<p>[予習] グローバル化によって生じる健康上の諸問題について復習しておく。 (学習時間60分)</p> <p>[復習] 授業時間内に指示する。 (学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 医療ツーリズム、国際化、感染症</p>
6	大山彦光	メタパースの臨床応用	講義	<p>[予習] 遠隔医療とその課題、VRやAIなどのデジタル技術を活用する上での課題について調べ、まとめておく。 (学習時間60分)</p> <p>[復習] 授業時間内に指示する。 (学習時間60分)</p> <p>[キーワード] メタパース、VR、AI、遠隔医療、倫理</p>
7	櫻井順子	順天堂の看護	講義	<p>[予習] 順天堂の歴史と、看護の役割について復習する。 (学習時間60分)</p> <p>[復習] 授業時間内に指示する。 (学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 順天堂、先進医療、先端医療、国際認証</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	看護職キャリア開発論	必修・選択	選択
英語科目名	Nursing Career Development	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	田中 ひとみ	ナンバリング	PNL43A1
担当教員	田中ひとみ※、戸島郁子※、佐藤典子※、根岸万里子※、桜井順子※、堀込 克代※、多田真也※、前田浩※、山下小夜子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	看護職の専門職化が確立してきた背景とキャリア開発の方策を理解する。ここでは臨床の視点で専門職としての看護師のキャリア開発の特徴を多角的に学ぶ。6大学附属病院におけるキャリア開発モデルの提示、高度急性期医療を担う施設で活動する実践者からも看護師モデルを提示する。これらの講義の学びを通して自身のキャリアについて洞察を深める。				
授業の位置づけ	組織における看護職の役割、看護管理、高度な実践を行う看護師の活動などを臨床の視点から幅広く学ぶ。仕事を通じたキャリア開発について自分事として捉え、ビジョンや課題を明確化する。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP3-1 ODP5-1				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護教育制度の変遷と時代に求められる看護師の役割と機能を理解する 2) キャリア開発支援に向けた主要な概念と生涯発達の見点からキャリア開発とキャリアデザインについて理解する 3) 医療現場の特徴と看護師のキャリア開発の特徴について関連を理解し、組織におけるキャリア開発の位置づけを理解する 4) 病院組織における看護の役割を理解し、看護部門に必要なマネジメントのあり方について理解する 5) 診療看護師、手術室看護師のキャリア・実践を理解する 				
先修要件	なし				
関連科目	看護管理学、看護の質と安全管理、保健医療福祉行政論、順天堂の先端医療と看護、医療と看護政策				
学修上の注意	専門職として看護を実践するために「看護とは何か」「看護師としてあるべき姿」について考える力を高める。社会の変化に伴う看護職の役割変化・専門分化についても考える。集中してオンライン講義から学んでいただきたい。				
成績評価の方法					
評価方法	定時出席（60%）、講義毎にミニレポート提出（40%）※テーマは講義時間内に講師から指示する				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニレポート内容：学習者自身の視点でキャリア観、キャリア開発に関して述べられている ・平常点（授業に積極的に参加する意欲等） 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
希望があれば個別にミニレポートのフィードバックをする					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	看護サービス管理第5版	中西睦子、小池智子ら	医学書院、2018		
参考文献					
その他					
連絡先・オフィスアワー	問い合わせ等は、随時浦安キャンパス事務室（メールアドレス：urayasu@）まで連絡すること				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1 4/7	田中ひとみ	1. プロフェッショナルとしての看護 2. 看護職の歴史的発展と新たな働き方 3. キャリア開発の方策 4. 順天堂医院の特徴とキャリア支援 〔キーワード〕 看護職の倫理綱領、キャリアデザイン	講義	〔予習〕 使用テキストP. 213～241を読む (第1回～3回まで同様：学習時間70分) 〔復習〕 キャリア開発に関連する用語を整理する 自身の周辺の人々にキャリア観を聴き視点を広げる (学習時間90分)
2 4/7	戸島 郁子	組織におけるキャリア開発の特徴 その1 1. 組織におけるキャリア開発の位置づけ 2. 浦安病院における医療現場の特徴と看護師に求められる役割 3. 看護師のキャリア開発と支援 〔キーワード〕 新人看護師 クリニカルリーダー 看護管理	講義	〔予習〕 使用テキストP. 213～241を読む (第1回～3回まで同様：学習時間70分) 〔復習〕 浦安病院の特徴と看護職のキャリアアップ支援についてまとめる 新人看護師に必要な学習課題をまとめておく (学習時間90分)
3 4/14	佐藤 典子	組織におけるキャリア開発の特徴 その2 1. 組織におけるキャリア開発の位置づけ 2. 高齢者医療センターにおける医療現場の特徴と看護師に求められる役割 3. 看護師のキャリア開発と支援 〔キーワード〕 高齢者医療・政策 キャリア開発 看護管理	講義	〔予習〕 使用テキストP. 213～241を読む (第1回～3回まで同様：学習時間70分) 〔復習〕 キャリア開発に関連する用語を整理する 他者のキャリア観を参考に自分のキャリアプランをまとめてみる (学習時間90分)
4 4/14	根岸万里子	組織におけるキャリア開発の特徴 その3 1. 組織におけるキャリア開発の位置づけ 2. 練馬病院における医療現場の特徴と看護師に求められる役割 3. 看護師のキャリア開発と支援 〔キーワード〕 継続看護 地域連携 キャリア開発 看護管理	講義 (オンライン)	〔予習〕 前回までの講義を振り返り、重要なポイントを整理しておく (学習時間70分) 〔復習〕 練馬病院の特徴と看護職のキャリアアップ支援についてまとめる 1～4回までの講義内容を活用して、自分のキャリアプランを考えてみる (学習時間90分)
5 4/21	櫻井 順子	病院組織におけるキャリア開発 1. 病院内で組織横断的に対応する看護師 2. 医療安全管理者の役割 3. 医療安全管理者としての看護師のキャリア開発 精神科における継続教育 1. 精神科看護に特化した日本精神科看護協会版クリニカルリーダー 〔キーワード〕 病院組織 看護管理者 医療安全管理者	講義	〔予習〕 組織・医療安全管理についてまとめておく (学習時間70分) 〔復習〕 講義内容を振り返り、重要なポイントを整理しておく (学習時間90分)
6 4/21	堀込 克代 山下 小夜子	組織におけるキャリア開発の特徴 1. 組織におけるキャリア開発の位置づけ 2. 静岡病院における医療現場の特徴と看護師に求められる役割 3. 看護師のキャリア開発と支援 〔キーワード〕 新人看護師 キャリア開発 クリニカルリーダー 入退院支援	講義	〔予習〕 前回講義を振り返り、重要なポイントを整理しておく (学習時間70分) 〔復習〕 静岡病院の特徴と看護職のキャリアアップ支援について振り返り、自身のキャリアプランを考えてみる (学習時間90分)
7 4/21	多田 真也、 前田 浩	前半：診療看護師 (NP) の活動 (多田) 1. 診療看護師 (NP) を目指した理由と教育課程 2. 診療看護師 (NP) の役割と活動の実際 3. 診療看護師 (NP) が看護師特定行為研修をマネジメントする意義 〔キーワード〕 看護師特定行為 診療看護師 (Nurse Practitioner)、チーム医療 後半：手術室看護師としてのキャリア-世界で働けるスキルの獲得へ (前田) 1. 「手術看護」ってどんな看護？ 2. 手術室看護師としてのキャリア 3. 手術室で働く専門職の紹介 〔キーワード〕 手術看護 (器械だし看護、外回り看護)	講義	〔予習〕 看護師特定行為、看護師特定行為研修修了者 (通称名：特定看護師)、診療看護師 (NP: Nurse Practitioner) について調べる (多田) 手術室看護の概要について調べる (前田) (学習時間70分) 〔復習〕 講義内容を振り返り、重要なポイントを整理しておく (学習時間90分)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	看護健康教育論	必修・選択	選択
英語科目名	Health Education in Nursing	対象学年	3年
開講学期	後期後半	単位数	1単位
代表教員	高谷 真由美	ナンバリング	PNL41A5
担当教員	高谷真由美※、坂本亜弓※ ※実務家担当教員	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	1)看護における教育的援助の位置づけと意義を理解する。 2)様々な健康レベルにある看護の対象者に必要な保健行動を理解し、その人にとっての最適な健康状態を目指す支援について考える。 3)看護の対象者に教育的援助を行なうための具体的な方法を理解し計画を立案する。 4)看護の様々な場面を想定し、そこで必要とされる教育的援助の技術と看護の役割について考える。			
授業の位置づけ	看護の基本的な機能である教育的役割について、他の看護方法論系の授業で学修したことを復習しながら確認し、教育的援助について実践的な理論や方法を付加していく。3年次、4年次の分野別実習の間に行われるため、看護における教育的援助について3年次の実習中の経験から、各自の課題を見出し、講義・演習で学修したことを4年次の実習で活用し確認する。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I ○DP2-II ○DP2-III			
到達目標	1)看護における教育的援助の位置づけと意義について説明できる。 2)様々な健康レベルにある看護の対象者に必要な保健行動について例を挙げて説明することができ、個人にとっての最適な健康状態について自分の考えが述べられる。 3)教育的援助を実施するための計画を具体的に立案できる。 4)様々な場面に適切な教育技術を選んで適用させることができる。 5)をこれまでの経験と講義内容を統合して、看護における教育的援助の重要性と今後の課題を説明できる。			
先修要件	なし			
関連科目	看護学概論、成人（他すべての）看護学概論、成人看護方法論Ⅰ～Ⅳ、地域生涯保健活動論、公衆衛生看護学概論、健康運動方法論、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、小児看護学実習、高齢者看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習			
学修上の注意	日常生活や臨床実習での経験から、看護における教育的な援助について、自分の考えや疑問を持って授業に参加する。日ごろから、様々なメディアにおける健康に関する情報や話題に関心をもち、気になったものは紙媒体や電子媒体に保存しておく。自分や身近な人が健康のために行なっていることに注目し、行動のきっかけや根拠、得られている成果を記録しておく。			
成績評価の方法				
評価方法	教育的援助技術演習課題（2題分）50%、授業内知識確認小テスト（6回分）40%、授業内課題と発表10%			
評価基準	1)看護における教育的援助の位置づけと意義について説明できるか。 2)様々な健康レベルにある看護の対象者に必要な保健行動について例を挙げて説明することができ、個人にとっての最適な健康状態について自分の考えが述べられるか。 3)教育的援助を実施するための計画を具体的に立案できるか。 4)様々な場面に適切な教育技術を選んで適用させることができ、看護における教育的援助の重要性を述べるができるか。			
試験・課題に対するフィードバック方法				
知識確認小テストの結果、および提出課題については2週間以内に個別にフィードバックを行う。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし				
参考文献				
「成人看護学 ヘルスプロモーション」ヌーベルヒロカワ 「患者教育のポイントーアセスメントから評価まで」医学書院 藤沢晃治著 「分かりやすい表現」の技術 講談社 「成人看護学概論」メディカ出版 向後千春著 「上手な教え方の教科書ー入門インストラクショナルデザイン」技術評論社				
その他				
連絡先・オフィスアワー	随時：担当教員にメールで連絡を取る 高谷 (mtakaya@) 坂本 (aysakamo@)			
備考	講義中に配布される資料を使用する。			

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	高谷	1. 健康教育とヘルスプロモーション 2. 看護における教育的な援助とは [キーワード] ヘルスプロモーション、セルフマネジメント、教育的援助、健康教育	講義	[予習]:30分 これまでの実習の中で自分が実施した教育的援助を振り返り、実施したことを整理する。 [復習]:30分 健康教育とヘルスプロモーションという言葉の定義を再確認し、説明できるようにしておく。
2	高谷	1. 看護の中で活用される教育的援助に関する理論と技法 1) 教育的援助に活用される理論 2) 教育的援助に活用される技法 2. 様々な対象者に応じた教育方法 1) アンドラゴジー・ベタゴジー・ジェロゴジー 2) 対象者の特徴に合わせた教育方法の選択 3) 個人・家族・集団を対象にした教育方法 [キーワード] 自己効力感、エンパワメント、アンドラゴジー、ベタゴジー、ジェロゴジー、ステップバイステップ法、目標設定、グループダイナミクス	講義	[予習]:30分 自分が実際に行なった教育的援助を振り返り、その基盤となっている理論を挙げておく。 [復習]:30分 教育的援助に有用な理論と教育技法名を挙げ、その特徴をまとめておく
3	高谷	1. 様々な健康レベルにある対象者への教育的援助① 一慢性期にある人への教育的援助ー [キーワード] 糖尿病、腎臓病、食事指導、 身体活動調整、自己効力感、 行動変容、情緒的刺激	講義	[予習]:30分 糖尿病、腎臓病についての病態と治療、患者に必要な療養行動の内容を整理しておく [復習]:40分 一生続くセルフケア行動の継続を支援するために有用な理論と教育技法をまとめておく
4	坂本	1. 様々な健康レベルにある対象者への教育的援助② 一急性・回復期にある人への教育的援助ー [キーワード] 救急看護、周術期看護、リハビリテーション看護	講義	[予習]:30分 手術前・手術後に必要な教育的援助の内容、急性期・回復期リハビリテーションの概念について授業プリントなどを読み直しておく [復習]:30分 急性期・回復期それぞれの時期に合わせた教育的援助の特徴をまとめておく
5	高谷	1. 様々な健康レベルにある対象者への教育的援助③ 一エンド・オブ・ライフ期にある人への教育的援助ー [キーワード] 緩和ケア、トータルペイン、 エンドオブライフ、家族ケア	講義	[予習]30分：実習中や自分の身近な例などから、ターミナル期に必要な教育的援助をあげてみる。 [復習]30分：ターミナル期の人に教育的援助を行なう場合に最も重要なことは何か説明できるようにまとめておく
6	高谷、 坂本	1. 看護の様々な場面で必要とされる教育的援助 1) 提示された事例の中で、興味のあるものを1つ選択し、教育的援助が必要な状況と内容をアセスメントして絞込み、教育的援助の計画を立案する。(個人ワーク) 2) 立案した計画の実施に必要な指導教材や指導媒体を選択、作成する。(個人またはグループワーク) 3) 指導計画の中の1場面を選んで、ロールプレイを行なって発表する。 4) ロールプレイで気づいたこと、改善案などについて全員で討議する。 [キーワード] 集団指導、個別指導、退院指導、教材化、指導媒体	GW・発表・ロール プレイ	[予習]60分：3、4、5回目の授業の中で、自分が最も興味ある内容を振り返り、重要なポイントを整理しておく [復習]40分：教育的援助を実施する場合に重要なポイントで、これまで意識していなかった内容を整理し、テキストなどで知識を再確認しておく。
7	高谷	1. 現代の社会状況における看護の教育的援助の重要性 2. チーム医療の中で発揮される看護の教育能力とは [キーワード] チーム医療、環境問題、QOL、ヘルスリテラシー、AI教材	講義・GW	[予習]30分：近年社会的に話題になっている健康問題や、健康に影響を及ぼしそうな社会現象について、情報を集めておく [復習]40分：医療チームのそれぞれが、果たしている教育的役割の特徴をまとめてみる

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ナーシング・スキルアップ	必修・選択	選択
英語科目名	Nursing Skill Advancement	対象学年	
開講学期	後期前半	単位数	1単位
代表教員	齋藤 雪絵	ナンバリング	ANL43A1
担当教員	齋藤雪絵※、鈴木小百合※、村越春那※ ※実務家担当教員	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要				
全体内容	4年間に学んだ既習の知識と技術を用いて、複雑な健康問題をもつ対象者への適切な看護を提供するためのエビデンスに基づいた臨床実践能力を身につける。事例課題に沿った実践的なシミュレーション学習を通して臨床実践能力を身につけることができる。			
授業の位置づけ	臨床現場で看護職として職務を全うするために必要となる臨床実践能力を育成する。全ての講義・実習が終了している4年生後期に開講されることから、4年間で学習した知識、技術、態度の総まとめとして位置づける。			
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP2-I、ODP2-II、ODP2-III、ODP5-I			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既習の知識・技術を振り返り、自己の課題を見出し、解決方法を提案することができる。 2. 適切な看護を提供するための臨床判断に至った思考のプロセスを説明することができる。 3. 実践的なシミュレーション学習を行うことで、臨床実践能力を身につけることができる。 4. 複雑な健康問題を持つ事例患者に対して適切な看護を提供することができる。 5. 自律した学習を行い、自己の強み・弱みを明確にし、自己研鑽に努めることができる。 			
先修要件	なし			
関連科目	基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護理論・看護過程、フィジカルアセスメント、小児看護方法論、成人看護方法論、高齢者看護方法論、精神看護方法論、在宅看護方法論Ⅰ・Ⅱ、母性看護方法論、等			
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間で学びを振り返り、自己の課題を明確にして学習に取り組む。 ・ 本科目では、全ての事例について実際の看護場面を再現したシミュレーション学習で行う。 ・ 事例課題ごとの演習計画は、実践できる計画を立案し、シミュレーション学習がスムーズに実施できるように準備する。 ・ シミュレーションは、事例課題ごとに1人1回、実践できるようにする（履修人数により変更する可能性あり）。 ・ テキストや参考文献、eラーニングなどの複数の教材を活用して主体的に学習をすすめる。 ・ グループディスカッションを通して学びを共有したり、疑問点など解決する。 			
成績評価の方法				
評価方法	授業への取り組み30%、演習計画・事後レポート40%、課題レポート20%、学びの発表10%を総合して評価する。			
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題となる事例についての演習計画を不足なく実践可能な計画を立案し、授業に臨んでいる。 2. 適切な看護を提供するための臨床判断に至った思考プロセスを自分の言葉で説明することができる。 3. シミュレーション学習で実践した技術は、患者の安全・安楽、自己の安全が守られている。 4. シミュレーション学習で実践した技術は、適切な時間内に実践できている。 5. 授業を通して学んだこと、自分自身の今後の課題についてレポートに記述している。 6. 授業を通して学んだことについて相手に伝わる発表が実施できている。 			
試験・課題に対するフィードバック方法				
提出された事後レポート、課題レポートは、コメントを記述し返却する。 シミュレーション学習中に実践した技術は、授業内にフィードバックし、より事例患者に適した方法を検討する。				
テキスト				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野 香おる	医学書院	978-4-260-04211-6	
系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ	有田 清子	医学書院	978-4-260-04212-3	
看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメントがみえる		メディックメディア	978-4-89632-781-6	
eラーニング（ナーシング・スキルなど）		ELSEVIER		
参考文献				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版」 株式会社メディックメディア 2. 「看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版」 株式会社メディックメディア 3. 「学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版」 医歯薬出版株式会社 				
その他				
連絡先・オフィスアワー	<連絡先・オフィスアワー> 齋藤雪絵：ysaito@ 随時（事前にメールで連絡をください） 鈴木小百合：sayusuzu@ 随時（事前にメールで連絡をください） 村越春那：h.murakoshi.fo@ 随時（事前にメールで連絡をください）			
備考				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1・2	齋藤、鈴木、 村越	1. 授業ガイダンス ・ 授業の進め方 ・ 学習方法について ・ 評価方法について 2. シミュレーション学習とは ・ シミュレーション学習とは ・ シミュレータの使用方の説明 3. 臨床判断とは 4. 課題1 ・ 事例についての説明 ・ 学習内容の説明 ・ 演習計画の立て方 [キーワード] シミュレーション学習、デブリーフィング、実施、評価、臨床実践能力、臨床判断	講義・演習	[予習] ・ これまでの授業、実習を通した自己の課題についてまとめる。 (学習時間60分) [復習] ・ 演習に必要な知識、技術を再確認する。 (学習時間60分)
3・4	齋藤	1. 課題1のシミュレーション学習 ・ オリエンテーション ・ グループで演習計画の意見交換 ・ シミュレーションの実施(個人で行う) ・ デブリーフィング ・ グループでの学びの共有 ・ まとめ 2. 課題2-1の説明 ・ 事例についての説明 ・ 援助計画の立案 [キーワード] アセスメント、思考、観察	演習	[予習] ・ 課題1についての援助計画を立案する。 ・ 必要な知識、わからないことは調べておく。 (学習時間60分) [復習] ・ 演習計画を修正、追記し、不足した内容について必要な知識、技術を再確認する。 (学習時間60分)
5・6	村越	課題2-1 1. 課題2-1のシミュレーション学習 ・ オリエンテーション ・ グループで演習計画の共有、検討 ・ シミュレーション実施 ・ デブリーフィング ・ グループでの学びの共有 ・ まとめ 2. 課題2-2の説明 ・ 事例についての説明 ・ 援助計画の立案 [キーワード] インシデント、アクシデント	演習	[予習] ・ 課題2-1についての援助計画を立案する。 (学習時間60分) [復習] ・ 演習計画を修正、追記し、不足した内容について必要な知識、技術を再確認する。 (学習時間60分)
7・8	村越	課題2-2 3. 課題2-2のシミュレーション学習 ・ オリエンテーション ・ グループで演習計画の共有、検討 ・ シミュレーション実施 ・ デブリーフィング ・ グループでの学びの共有 ・ まとめ 4. 課題1～2の復習 ・ 異なるグループでのディスカッション ・ 自己課題について [キーワード] 状態変化	演習	[予習] ・ 課題2-2についての援助計画を立案する。 (学習時間60分) [復習] ・ 演習計画を修正、追記し、不足した内容について必要な知識、技術を再確認する。 (学習時間60分)
9・10	鈴木	自分が習得したい(苦手とする)技術や課題1・課題2の事例から見直しが必要となった技術を繰り返し実践する。 以下の看護技術を実施し、手順と根拠を確認する。内容は、個人によって異なる。 ・ フィジカルアセスメント ・ ベッドメイキング ・ 移乗 ・ 体位変換 ・ 寝衣交換 ・ 洗髪 ・ 足浴 ・ 陰部洗浄、オムツ交換 ・ 静脈血採血 ・ 注射(皮下、筋肉、静脈内) ・ 一時的導尿・持続的導尿 ・ 洗腸 ・ 経管栄養 他 [キーワード] 安全、安楽、観察、動線	演習	[予習] ・ 課題1～2を通して不足していた技術について、テキスト・動画で手順、根拠を確認する。 (学習時間60分) [復習] ・ 再習得した技術についての活用方法、観察ポイントについて、確認しまとめる。 (学習時間60分)

11・12	齋藤	課題3（多重課題：2人の患者を受け持つ事例を予定している） 3. 課題3のシミュレーション学習 ・ オリエンテーション ・ グループで演習計画の意見交換 ・ シミュレーションの実施（個人で行う） ・ デブリーフィング ・ グループでの学びの共有 ・ まとめ [キーワード] 多重課題、優先順位	演習	[予習] ・ 課題3についての援助計画を立案する。 （学習時間60分） [復習] ・ 演習計画を修正、追記し、不足した内容について必要な知識、技術を再確認する。 （学習時間60分）
13・14	齋藤、鈴木、 村越	課題1～3まとめ 学習成果の発表	講義、発表	[予習] ・ 課題1～3について疑問があればまとめておく。 ・ 学習成果の発表準備をする。 （学習時間120分） [復習] ・ 疑問に思った点や必要となる知識、技術を再確認する。 （学習時間60分）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	国際看護	必修・選択	選択
英語科目名	International Nursing	対象学年	3年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	若林 律子	ナンバリング	PNL45A1
担当教員	若林 律子※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	多様な社会、環境、文化や価値観を理解し、グローバルな視点をもって健康課題を分析できる能力を習得する。世界保健機構（WHO）や国際協力などグローバルヘルスにおける具体的な国際援助について知り、世界における健康課題解決のための看護職者の役割や看護実践を考察できる能力を習得する。国籍、人種、宗教、年齢、性などの多様性を理解、尊重し、国内外の人々へ看護を実践するための方法を探求する。				
授業の位置づけ	グローバル化が進む現代社会に柔軟に対応でき、多様な価値観を理解し、適切な判断と課題解決ができるための理論と方法を学修し、国際的視野をもって看護活動できるための基礎と位置付ける。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	ODP1-I ODP3-I ODP4-I ODP5-I				
到達目標	1. 国際看護、異文化看護の概念や視点を述べるができる。 2. 国際保健、グローバルヘルスの基本理念と目標について概要を述べるができる。 3. 諸外国の健康課題、取り組み、看護職の役割について述べるができる。 4. 異なる文化、習慣、宗教をもつ人々への看護に必要な知識・技術を述べるができる。				
先修要件	なし				
関連科目	世界の医療・福祉制度、多文化の医療と看護				
学修上の注意	予習・復習課題に積極的に取り組むこと。グループワークにはメンバーと協力し、積極的に参加すること。				
成績評価の方法					
評価方法	原則として課題レポート（70%）、プレゼンテーション（20%）、グループワーク参加（10%）				
評価基準	1. 国際看護、異文化看護の概念や視点を述べるができる。 2. 国際保健、グローバルヘルスの基本理念と目標について概要を述べるができる。 3. 諸外国の健康課題、取り組み、看護職の役割について述べるができる。 4. 異なる文化、習慣、宗教をもつ人々への看護に必要な知識・技術を述べるができる。				
試験・課題に対するフィードバック方法					
課題等に対するフィードバックは授業内で行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	特になし				
参考文献					
<ul style="list-style-type: none"> ・丸井英二・森口育子・李節子編「国際看護・国際保健」弘文堂 2015 ・日本国際保健医療学会編「国際保健医療学 第3版」杏林書院 2013 ・日本国際看護学会編「国際看護学入門 第2版」医学書院 2020 ・近藤麻理著「知って考えて実践する国際看護 第2版」医学書院 2018 					
その他					
連絡先・オフィスアワー	事前にメールで連絡のこと r.wakabayashi@juntendo.ac.jp				
備考	海外研修参加を希望している学生は履修しておく参考になる。				

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
第1回	若林律子	国際看護とは 1. 国際看護のおこり・国際看護の概念、対象者 2. 異文化看護 <キーワード> 国際看護、異文化看護、グローバルヘルス、グローバルナースィング	講義	<予習> 身近にある国際と異文化について感じたことについてまとめる（学修時間2時間） <復習> 国際看護、異文化看護を实践する上で必要となる技術、知識をまとめる（学修時間2時間）
第2回	若林律子	国際看護の実際 <キーワード> グローバルヘルス、国際看護、健康格差、健康の社会的決定要因	講義	<予習> グローバルヘルス、健康格差、健康の社会的決定要因について調べる（学修時間2時間） <復習> グローバルヘルスの目的、課題、対策について整理する（学修時間2時間）
第3回	若林律子	国際保健を支える仕組み <キーワード> 世界保健機関、国連児童基金、世界銀行、国際協力機構、SDGs	講義	<予習> 国際援助機関について調べる（学修時間2時間） <復習> 国際援助機関の役割、国際保健政策について整理する（学修時間2時間）
第4回	若林律子	文化とダイバシティ 1. FGM（女性性器切除） 2. ジェンダー 3. HIV/AIDS <キーワード> ダイバシティ、FGM、LGBT、スティグマ、マイノリティ	講義	<予習> ダイバシティ、FGM、LGBT、スティグマ、マイノリティについて調べる（学修時間2時間） <復習> 多様な人々や文化をもつ人々のケアにおける看護師に必要な能力をまとめる（学修時間2時間）
第5回	若林律子	国際フォーラム① 1. 健康課題の抽出 2. 健康課題に対する計画立案	GW（討議）	<予習> 世界で取り組む必要があると思われる健康課題について調べる また、その健康課題を解決するために必要な方法を調べる（学修時間2時間） <復習> 健康課題、解決方法について討議した内容をまとめる（学修時間2時間）
第6回	若林律子	国際フォーラム② 1. 健康課題の抽出 2. 健康課題に対する計画立案	GW（討議）	<予習> 世界で取り組む必要があると思われる健康課題について調べる また、その健康課題を解決するために必要な方法を調べる（学修時間2時間） <復習> 健康課題、解決方法について討議した内容をまとめる（学修時間2時間）
第7回	若林律子	国際フォーラム③	GW（発表・討議）	<予習> 健康課題に関連している要因について調べ、具体的な解決方法を整理する（学修時間2時間） <復習> 健康課題、解決方法について討議した内容をまとめる（学修時間2時間）

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	災害看護	必修・選択	選択
英語科目名	Disaster Nursing	対象学年	4年
開講学期	前期前半	単位数	1単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	ANL41A2
担当教員	櫻井しのぶ※、杉田学※、野村智久※、中西唯公※	授業形態	講義

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	災害による人や社会への影響、災害に対する社会的対応システム（発災前の準備、発災後の対応等）、国際的視野から捉えた災害看護の在り方等を理解し、災害に対する看護職の役割を学修する。また、災害医療活動に必要な基本的な知識及び技術やその方法について学び、他の医療職者や他職種と連携した支援の在り方を学修する。				
授業の位置づけ	災害による人や社会への影響、災害に対する社会的対応システム（発災前の準備、発災後の対応等）、国際的視野から捉えた災害看護の在り方等を理解し、災害に対する看護職の役割を学び、災害医療活動に必要な基本的な知識及び技術・方法と他職種と連携した支援の在り方を学修することで、既習の看護や科目を統合する位置づけとなる。				
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP2-I ○DP2-II ○DP2-III ○DP3-I ○DP4-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害による人や社会への影響について説明できる。 2. 災害に対する社会的対応システム（発災前の準備、発災後の対応等）について説明できる。 3. 災害時要援護者への支援内容と課題について説明できる。 4. 地域における災害保健活動について説明できる。 5. 災害時の国際的看護活動の重要性と課題について説明できる。 6. 日本のDMAT活動内容と連携について説明できる。 7. トリアージの考え方とその方法を修得する。 				
先修要件	なし				
関連科目	地域生涯保健活動論、救急看護				
学修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1) 既習の知識を活用し、学修に臨むこと。 2) 講義に出されている演習課題についても積極的に取り組む。 3) 演習には全出席を求める。 4) 災害看護において関連する知識として、同時期に学修する「救急看護」と関連付けながら授業に臨む。 5) 地域生涯保健活動論での学びを復習しておく。 				
成績評価の方法					
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1) レポート課題(70%) 2) 各講義事の課題や演習の取り組み状況(30%) 				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害による人や社会への影響について説明できる。 2. 災害に対する社会的対応システム（発災前の準備、発災後の対応等）：災害サイクルに応じた内容について説明できる。 3. 災害時要援護者への支援内容と課題について説明できる。 4. 地域における災害保健活動について説明できる。 5. 災害時の国際的看護活動の重要性と課題について説明できる。 6. 日本のDMAT活動内容と連携について説明できる。 7. トリアージの考え方とその方法を修得する。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
<p>課題や演習における評価は全体を総括して、講義の中でフィードバックする。 其々の講義における課題の回答やレポートの記載内容にて到達目標の達成度を判断する。 課題等に対するフィードバックの希望者には随時メールで受け付ける。</p>					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
酒井明子他、災害看護、南江堂、2018。 適時提示します。					
その他					
連絡先・オフィスアワー	・随時（事前にメールで連絡のこと ssakura@juntendo.ac.jp まで）				
備考					

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	櫻井しのぶ	1) 災害・災害看護の概念と歴史 2) 災害サイクルと災害の種類と疾病構造 3) 災害発生時の社会システム 災害に関する制度 災害時の支援体制 災害時のリスクコミュニケーション 4) 災害サイクル別における看護活動 5) 災害時の多職種連携の在り方	講義	[予習] 自然災害の概要について調べてくる。(学習時間2時間) [復習] 関心を持った過去の災害について調べ再考する。(学習時間2時間)
2	櫻井しのぶ	災害における支援の実際 1) 災害要援護者への看護 2) 災害時のメンタルヘルス 3) 災害特有の疾病 4) 災害時における避難所での健康管理	講義	予習 災害時における要援護者の人がどのようにダメージを受けているのかネット等で調べておく(学習時間2時間) [復習] 災害時の支援者として被災者への声掛けにどのように気を遣うべきなのかサイロジカルファーストエイドのサイトを閲覧して、自分の考えとしてまとめる。(学習時間2時間)
3	中西唯公	地域における災害保健活動 1) 平常時の災害予防対策と保健師活動 ① 地域の実態把握 ② 住民の実態把握 ③ 自治防災活動などのネットワークづくり ④ 地域防災の実際 2) 災害時の保健師活動の実際 ① 急性期・亜急性期の地域保健活動 ② 復旧・復興時の地域保健活動 3) 長期の災害後の地域復興支援における看護職の役割やその支援の実際	講義	[予習] 地域における復興の例をネットで探して、実際の課題は何かについて調べる。(学習時間2時間) [復習] 東日本大震災や今までの水害被害にあった地域のその後の復興において何が問題でどのような解決が可能であるのか?今までの講義を参考に自分の考えをまとめる。(学習時間2時間)
4	杉田学	1. 国外における災害時の支援活動 1) 国際緊急援助の概要 2) 国際的な災害時緊急援助の支援調整体制 2. 国際緊急援助における看護師の役割 3. 国際緊急援助隊医療チームと救助チームの活動	講義	[予習] 1回~3回の授業を復習し参加する。(学習時間2時間) [復習]授業の内容を振り返り、授業で触れなかった海外における災害についてもその概要を調べる。(学習時間2時間)
5	野村智久	国内における災害時の支援活動 1) 災害時における医師の役割 2) 災害時における看護師の役割 3) 災害時の他職種連携 4) 日本のDMAT活動 5) 災害計画と広域搬送 6) 災害時に必要な技術(トリアージ他)	講義 GW	予習]前回の授業内容を復習し参加する。(学習時間2時間) [復習]日本のDMATの現状を整理する。(学習時間2時間)
6	杉田学 野村智久	机上シミュレーション 発災時の初動とマネジメント 1) 災害時の初動 2) 人員配置とBCP 3) トリアージと根本治療 練馬病院を例に取り、その想定の下に事例を展開しながらグループで災害が起こった時の対応を考え発表し、災害医療担当の医師や看護師らとディスカッションを行う。	講義 GW	[予習]災害時の役割とトリアージの方法について調べる。(学習時間2時間) [復習]シミュレーションの重要ポイントを整理する。(学習時間2時間)
7	櫻井しのぶ 中西唯公	1) 災害支援及び看護活動に関する課題と展望 2) 国内外での災害後の地域保健活動の実際を事例と共に学ぶ	講義 GW	[予習] 6回の授業内容を整理し、災害時の支援に対する課題と展望をまとめ整理し参加する。(学習時間2時間) [復習]7回の授業を通し、レポート整理に必要な情報収集をする。(学習時間2時間)

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記(PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

科目名	多文化の医療と看護（海外研修）	必修・選択	選択
英語科目名	Multicultural Healthcare and Nursing	対象学年	2～4年
開講学期	通年	単位数	2単位
代表教員	櫻井 しのぶ	ナンバリング	ANL45A1
担当教員	櫻井しのぶ、野崎真奈美、若林律子、寺岡三左子、池田恵、金子育世、岡本美代子、中山仁志、寺岡三左子、宮本圭、板井麻衣、野村菜摘、中西唯公、グロウ デボラ アン	授業形態	演習

※…実務家担当教員

授業概要					
全体内容	異文化を理解し、グローバルな視点での看護実践や研究の展開、異文化看護領域のリーダーシップに資する基礎的能力を養う。				
授業の位置づけ					
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	◎DP4-I、ODP1-II、ODP3-I、ODP5-I				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 訪問国の文化について述べるができる。 2) 訪問国の看護教育、看護師の職域（APN、CNS、NP、NA、NM等）、チーム医療について述べるができる。 3) 訪問国の保険制度・医療の現状と課題、日本と比較した長所・短所を述べるができる。 4) 訪問国の大学病院・総合病院における先端医療について述べるができる。 5) 訪問国の医療福祉保健関連施設等におけるケアについて述べるができる。 6) 訪問国の健康に関する信念と実践について述べるができる。 				
先修要件	なし				
関連科目	看護学概論、フィジカルアセスメント、小児看護方法論、成人看護方法論、高齢者看護方法論、周産期の看護、ターミナルケア論、看護管理学、臨床医学Ⅰ、臨床医学Ⅱ、実践看護英語、英語多読多聴Ⅱ、医療英語講読				
学修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問国によって違うが、最小催行人数は2名、最大催行人数は30名とする。催行人数が満たない場合は科目として成立しないことがある。 ・ 国内外の社会事情などにより催行不可能な場合もある。 ・ 研修に参加するには以下の条件を満たす必要がある。 <ol style="list-style-type: none"> 1) TOEFLスコアが400点以上かつ2回目以降のスコアが上昇していること。満たない場合は2023年4月のTOEFL受験を考慮する。 2) GPAが2年生は2.3以上、3-4年生は3.0以上であること。 ・ 教室での講義（浦安・訪問国）、訪問国での医療関連施設見学やシャドーイング実習などを行う。 ・ 訪問国での講義や演習は順天堂医療看護学部との協定や提携を結んでいる大学等で行う。 ・ 研修期間は各々の訪問国により違うが、大学の学生寮あるいはホテルに滞在する。 ・ 講義・施設見学等では研修場所によっては翻訳担当者が逐語訳を行うが、ほとんどの研修場所においては通訳は無い状態であるので、講師・施設紹介担当者に英語で質問すること。かなりの英語力を必要とするため、自主的にも語学力を磨いておく。 ・ 提示した予習、復習は必ず行うこと。 ・ 研修終了後、研修の成果について報告書を作成する。内容には以下の点を含める。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 訪問国の文化、看護、医療に関して新しく学んだこと 2) 健康に関する信念と実践についての訪問国と日本との比較 3) 自分自身のビジョンの変化 				
成績評価の方法					
評価方法	日々の学習状況 40%、レポート 60%				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問国の文化について述べるができるか。 ・ 訪問国の看護教育、看護師の職域（APN、CNS、NP、NA、NM等）、チーム医療について述べるができるか。 ・ 訪問国の保険制度・医療の現状と課題、日本と比較した長所・短所を述べるができるか。 ・ 訪問国の大学病院・総合病院における先端医療について述べるができるか。 ・ 訪問国の医療福祉保健関連施設等におけるケアについて述べるができるか。 ・ 訪問国の健康に関する信念と実践について述べるができるか。 				
試験・課題に対するフィードバック方法					
レポートは、提出後2週間以内にフィードバックを行う。					
テキスト					
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	なし				
参考文献					
随時紹介					
その他					
連絡先・オフィスアワー	随時（事前にメールで連絡のこと ssakura@ 迄）				
備考	随時紹介				
授業計画					
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間	
1	金子グロウ	浦安キャンパスでの講義 1. 日常生活英会話	講義	[予習] 英語での自己紹介の内容を考え、練習する。(学習時間60分) [復習] 入国審査・税関での対応、自己紹介、外食・ショッピング等、講義内で学んだ英会話を繰り返し練習する。(学習時間60分) [キーワード] 入国、自己紹介、生活における英会話	

2	金子 グロウ	2. 日常生活英会話	講義	<p>[予習] 英語での説明を考えながら折り紙の練習をする。日本文化（書道、花見、盆踊り、寿司屋等）について起源・特徴等を調べておく。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 講義内で学習した内容を繰り返し練習する。サンキューカードを作成する。(学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 日本文化紹介、ディスカッション</p>
3	金子 グロウ	3. 医療英語、プレゼンテーション	プレゼンテーション	<p>[予習] 事前に提示したテーマについてグループ学習し、スライドと発表原稿を作成する。(学習時間60分)</p> <p>[復習] アドバイスに沿ってスライド・原稿を修正し、プレゼンテーションの練習をする。医療関連の専門用語・イディオムを見直す。(学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 医療英語、プレゼンテーション</p>
4~6	櫻井しのぶ、 野崎真奈美、 若林律子、寺 岡三左子、池 田恵、金子育 世、岡本美代 子、中山仁 志、寺岡三左 子、宮本圭、 板井麻衣、野 村菜摘、中西 唯公、グロウ デボラ アン	<p>【訪問国での講義】</p> <p>1. 訪問国の医療保健福祉制度について</p> <p>2. 訪問国のヘルスケアシステム</p> <p>3. 訪問国の看護制度や看護の役割について</p>	講義、グループワーク	<p>[予習] 日本の医療保険制度についてまとめる。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 訪問国の保険制度、医療の現状と課題について振り返り、日本との比較における長所・短所をレポートに記述する。(学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 社会保障制度、医療保険、ケアシステム、医療組織、看護管理</p>
7~9	櫻井しのぶ、 野崎真奈美、 若林律子、寺 岡三左子、池 田恵、金子育 世、岡本美代 子、中山仁 志、寺岡三左 子、宮本圭、 板井麻衣、野 村菜摘、中西 唯公、グロウ デボラ アン	<p>【訪問国での講義】</p> <p>1. 訪問国の看護実践における特性</p> <p>2. 訪問国の看護教育</p> <p>3. 訪問国の医療福祉保健関連施設における看護ケアの実践</p>	講義、グループワーク	<p>[予習] 日本における看護教育の仕方、看護ケアの特性や特徴、看護の役割についてまとめる。(学習時間60分)</p> <p>[復習] 訪問国の看護の現状と課題について振り返り、日本との比較における長所・短所をレポートに記述する。(学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 看護ケア実践、看護教育、チーム医療</p> <p>[講師] 未定</p>
10	櫻井しのぶ、 野崎真奈美、 若林律子、寺 岡三左子、池 田恵、金子育 世、岡本美代 子、中山仁 志、寺岡三左 子、宮本圭、 板井麻衣、野 村菜摘、中西 唯公、グロウ デボラ アン	訪問国での研究活動や国際交流の実践	演習	<p>[復習] 順天堂大学における国際交流活動の実践を知り、考えたことをレポートに記述する。(学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 国際学会、大学院、留学、共同研究</p>
11~18	櫻井しのぶ、 野崎真奈美、 若林律子、寺 岡三左子、池 田恵、金子育 世、岡本美代 子、中山仁 志、寺岡三左 子、宮本圭、 板井麻衣、野 村菜摘、中西 唯公、グロウ デボラ アン	<p>【訪問国での演習】</p> <p>1. 訪問国での大学・医療施設見学</p> <p>2. 訪問国での看護現場の実践（病棟や福祉保健関連施設等で）</p> <p>3. 訪問国の対象者毎の支援が必要な場面におけるケア活動</p> <p>4. 看護教育の現場</p> <p>5. 実際の看護師とのディスカッション</p> <p>* 訪問国によって演習を行う施設に違いがあるが訪問国においてそれぞれの目的を持って、国際的な視野のもとに、主体的に取り組み、質疑応答や討議などを行う。</p>	演習、グループワーク	<p>[予習] 日本における医療保健福祉制度の実践について関係法規等も含めて調べる。スケジュールに沿って見学もしくは演習を行う場所や施設が日本においてはどうかを調べておく。(各回ごとに学習時間60分)</p> <p>[復習] 見学や演習、実際の看護師等から聞いて学んだことや考えたことをレポートに記述する。(各回ごとに学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 医療制度、ケアシステム、看護の役割</p>
19	櫻井しのぶ、 野崎真奈美、 若林律子、寺 岡三左子、池 田恵、金子育 世、岡本美代 子、中山仁 志、寺岡三左 子、宮本圭、 板井麻衣、野 村菜摘、中西 唯公、グロウ デボラ アン	<p>【訪問国での看護学生との交流、研修のまとめ、総合討議】</p> <p>1. 訪問国での看護学生との交流を通して、本国と日本の比較により発見した看護の実践や役割、課題などを話しあい、看護観を深める</p> <p>2. 訪問国の保健医療福祉現場の見学や演習、現地での生活及び様々な交流を通して、国際的視野からみた人々の健康課題や看護の在り方、今後日本の看護職や看護学生に求められる役割や責任、多様な文化背景を持つ対象への看護支援の在り方などについて、プレゼンテーションを行い、討議をし、自分の考えを表現する。</p>	グループワーク、プレゼンテーション	<p>[予習] 事前に選択したテーマに関することと、訪問国での見学や演習で発見した内容を統合して、英語にてプレゼンするための準備を行う。(学習時間90分)</p> <p>[復習] 総合討議などを通して、訪問国と日本との比較において考えたことをレポートに記述する。(学習時間60分)</p> <p>[キーワード] 国際比較、異文化コミュニケーション、国際的な看護の課題</p>

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）



順天堂大学 医療看護学部

浦安キャンパス

〒279-0023 千葉県浦安市高洲2-5-1

TEL:047-355-3111

<http://www.nurs.juntendo.ac.jp/>

学生番号	
氏名	